
野田市 介護保険サービス利用者等実態調査

(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

－ 報告書 －

令和5年 3月

千葉県 野田市

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 調査結果	3
1 基本属性	3
(1) 調査対象者の居住地	3
(2) 調査対象者の年齢	3
(3) 調査対象者の性別	3
(4) 調査対象者の介護認定	4
(5) 調査票の回答者	4
2 あなたのご家族や生活状況について	5
(1) 家族構成	5
(2) 日中独居の有無	6
(3) 介護・介助の必要性	7
(4) 現在の暮らしの状況	11
(5) 住まいの形態	11
3 からだを動かすことについて	12
(1) 階段の昇降	12
(2) 椅子からの立ち上がり	12
(3) 歩行時間	13
(4) 転倒した経験	13
(5) 転倒に対する不安	14
(6) 外出状況	14
(7) 外出回数の減少	15
(8) 外出を控えているか	15
(9) 外出を控えている理由	16
(10) 外出する際の移動手段	17
4 食べることについて	18
(1) BMI	18
(2) 固いものの摂取	19
(3) むせることがあるか	19
(4) 口の渇き	20
(5) 歯磨きの習慣	20
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況	21
(7) 歯の噛み合わせ	21
(8) 入れ歯の手入れ	22
(9) 体重減少の有無	22
(10) 誰かと食事をともにする機会	23

5	毎日の生活について	24
(1)	物忘れの状況	24
(2)	電話をかけること	24
(3)	日付の認識	24
(4)	バスや電車での外出	25
(5)	日用品の買い物	25
(6)	食事の用意	26
(7)	請求書の支払い	26
(8)	預貯金の出し入れ	27
(9)	書類の記入	27
(10)	新聞の購読	27
(11)	読書	28
(12)	健康についての関心	28
(13)	友人宅への訪問	28
(14)	相談にのる機会	29
(15)	見舞いの可否	29
(16)	若年者との会話	29
(17)	趣味の有無	30
(18)	生きがいの有無	30
(19)	日常生活における困難・不安	31
6	地域での活動について	33
(1)	会・グループ等への参加頻度	33
(2)	会・グループ等への不参加理由	34
(3)	会・グループ等への参加者としての参加意向	35
(4)	会・グループ等への企画・運営者としての参加意向	36
(5)	日常生活の楽しみ	37
(6)	介護支援ボランティア活動の認知状況	39
(7)	介護支援ボランティア活動の参加経験の有無	39
(8)	参加してみたい介護支援ボランティア活動	40
7	たすけあいについて	41
(1)	心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人	41
(2)	心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人	42
(3)	看病や世話をしてくれる人	43
(4)	看病や世話をしてあげる人	44
(5)	近所づきあいの程度	45
(6)	避難所へ避難できるかについて	46
(7)	家族・友人・知人以外の相談相手	48
(8)	友人・知人と会う頻度	50
(9)	友人・知人と会ったこと	51
(10)	よく会う友人・知人との関係	51

8	健康について	52
(1)	健康状態	52
(2)	幸福度	53
(3)	気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりする経験	54
(4)	興味・関心の低下	54
(5)	飲酒の有無	54
(6)	喫煙の有無	55
(7)	治療中の病気	56
(8)	実行している健康・体調管理	57
(9)	運動の有無	59
(10)	運動をしていない理由	60
9	認知症にかかる相談窓口の把握について	61
(1)	本人または家族に認知症の症状があるか	61
(2)	認知症に関する相談窓口の把握	62
10	介護予防について	63
(1)	介護予防・認知症支援事業の認知状況	63
11	介護保険制度について	64
(1)	介護保険制度全般の満足度	64
(2)	介護保険料と介護サービスの関係について	64
(3)	介護保険料（年額）	65
(4)	介護保険料の負担感	66
(5)	地域包括支援センターについて	67
(6)	地域密着型サービスの認知状況	70
(7)	高齢者福祉サービスの認知状況・利用意向	72
(8)	『定期巡回・随時対応型訪問介護看護』の利用意向	73
(9)	希望する介護内容	74
(10)	在宅介護を希望する理由	76
(11)	在宅介護の課題	77
12	介護保険の新たなサービスについて	78
(1)	サービス利用の自己負担額について（ホームヘルプ・専門職）	78
(2)	自己負担の許容額（ホームヘルプ・専門職）	78
(3)	サービス利用の自己負担額について（ホームヘルプ・無資格の雇用労働者）	79
(4)	自己負担の許容額（ホームヘルプ・無資格の雇用労働者）	79
(5)	サービス利用の自己負担額について（ホームヘルプ・有償ボランティア）	80
(6)	自己負担の許容額（ホームヘルプ・有償ボランティア）	80
(7)	サービス利用の自己負担額について（居宅での相談指導等・保健師等）	81
(8)	自己負担の許容額（居宅での相談指導等・保健師等）	81
(9)	サービス利用の自己負担額について（デイサービス・介護職員）	82
(10)	自己負担の許容額（デイサービス・介護職員）	82
(11)	サービス利用の自己負担額について（デイサービス・無資格の雇用労働者）	83
(12)	自己負担の許容額（デイサービス・無資格の雇用労働者）	83

(13) サービス利用の自己負担額について（デイサービス・有償ボランティア）	84
(14) 自己負担の許容額（デイサービス・有償ボランティア）	84
(15) サービス利用の自己負担額について（通所での生活機能改善プログラム）	85
(16) 自己負担の許容額（通所での生活機能改善プログラム）	85

Ⅲ 調査結果・まとめ **87**

【1】項目別まとめ	87
------------------------	-----------

【2】全体まとめ	91
-----------------------	-----------

I 調査の概要

【調査の目的】

「野田市シルバープラン（野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画）第9期計画」の策定に向けて、地域の高齢者における生活の状況、住まいや暮らし、健康状態や介護保険制度についての意識等を把握し、今後の高齢者福祉施策に活用することを目的として実施した。

【調査対象】

要介護認定を受けていない高齢者

【調査方法】

郵送配布・回収

【調査期間】

令和4年（2022年）10月

【回収結果】

配布数	1,000人
有効回収数	724人
有効回収率	72.4%

【報告書の見方について】

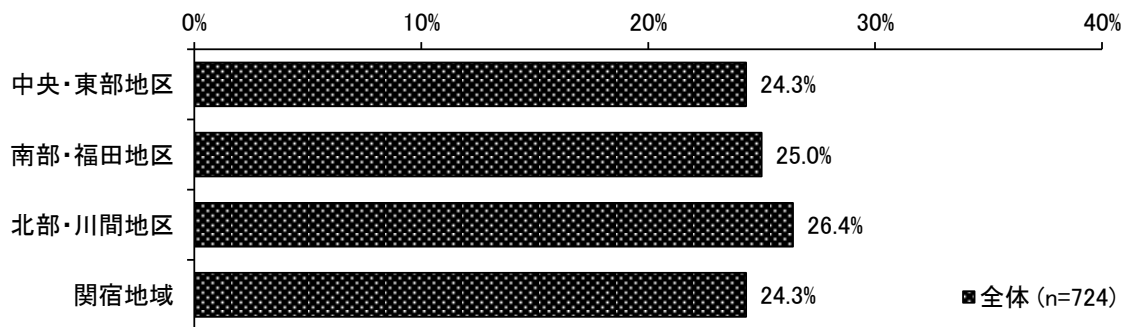
- （1）集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- （2）2つ以上の回答を可能とした設問（複数回答）の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- （3）図表中に示すnは、比率算出上の基数（標本数）である。
- （4）この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。



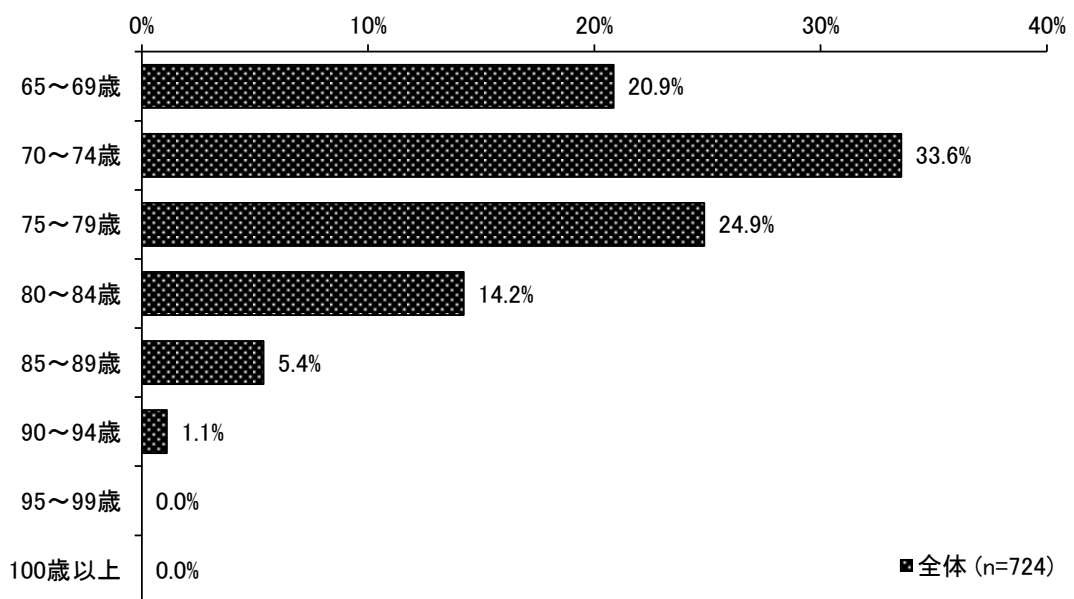
Ⅱ 調査結果

1 基本属性

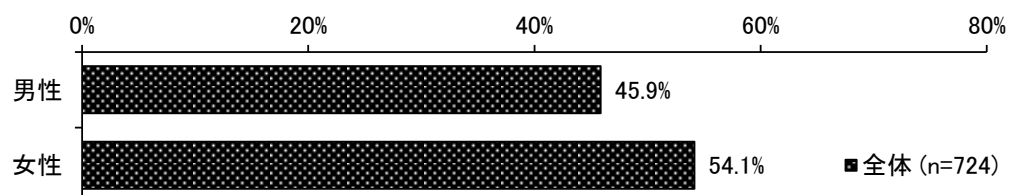
(1) 調査対象者の居住地域



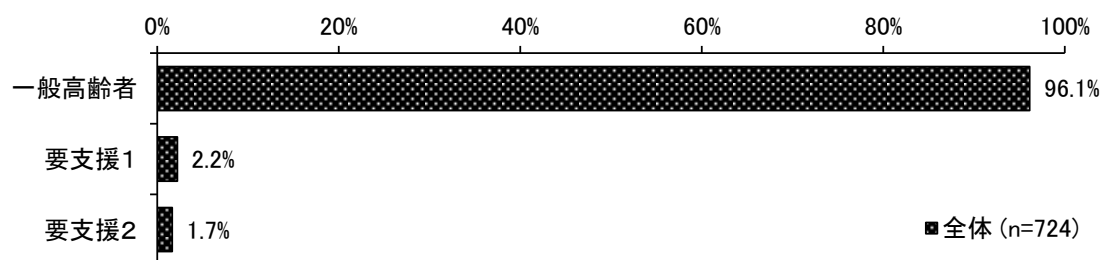
(2) 調査対象者の年齢



(3) 調査対象者の性別



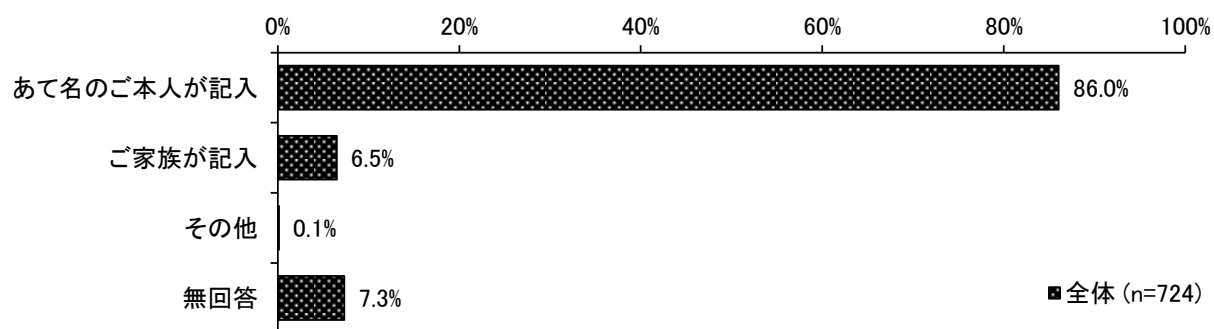
(4) 調査対象者の介護認定



(5) 調査票の回答者

調査票を記入されたのはどなたですか。(☑は一つ)

調査票の回答者については、「あて名のご本人が記入」が 86.0%、「ご家族が記入」が 6.5%となっています。

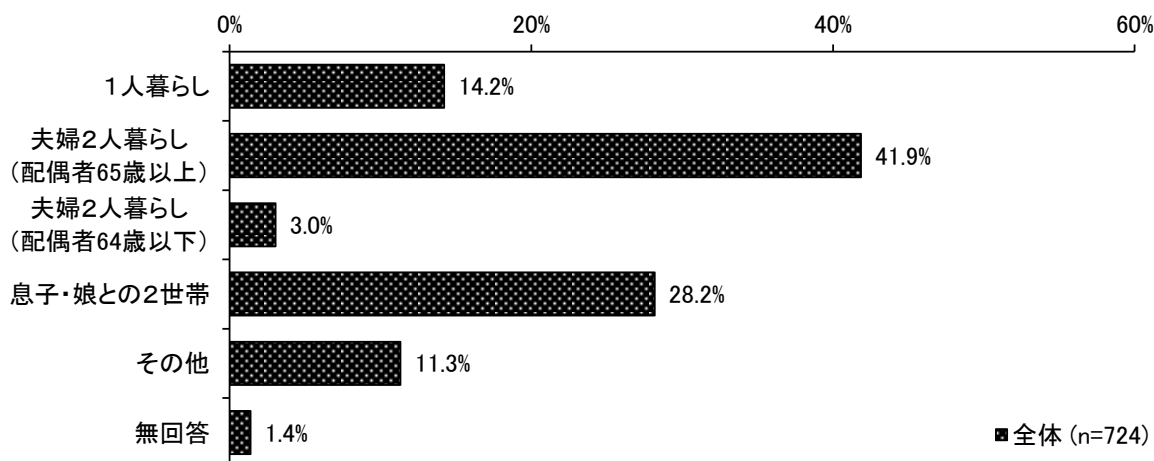


2 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成

問1(1) あなたの家族構成をお教えてください。(☑は一つ)

家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が41.9%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」(28.2%)、「1人暮らし」(14.2%)の順となっています。

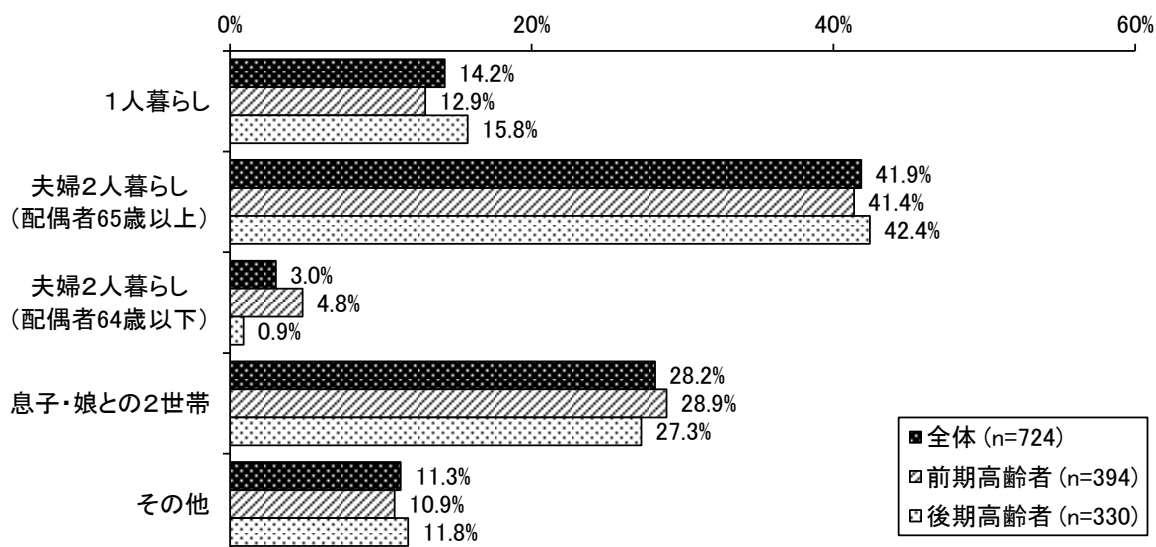


クロス集計

【家族構成(前期・後期高齢者別)】

家族構成について前期・後期高齢者別にみると、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が前期高齢者で41.4%、後期高齢者で42.4%と最も高くなっています。

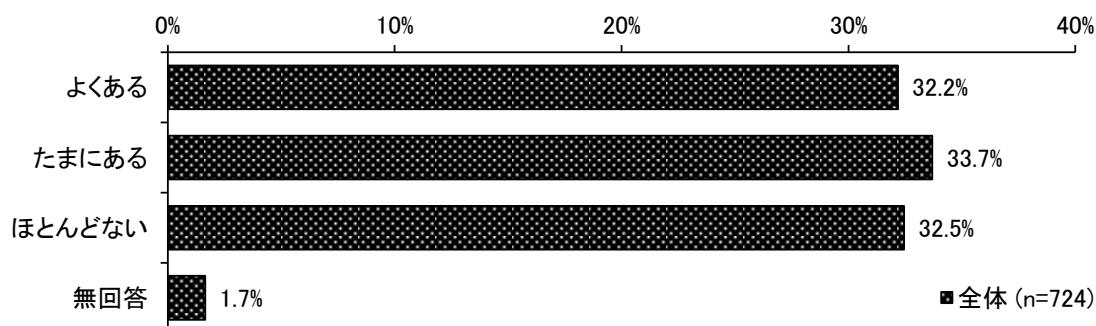
前期高齢者と後期高齢者を比較すると、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」「息子・娘との2世帯」では前期高齢者の割合が高くなっており、一方、「1人暮らし」「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」では後期高齢者の割合が高くなっています。



(2) 日中独居の有無

問1(2) あなたは日中、家で一人になることがありますか。(☑は一つ)

日中独居の有無については、「たまにある」の割合が33.7%と最も高く、次いで「ほとんどない」(32.5%)、「よくある」(32.2%)の順となっています。

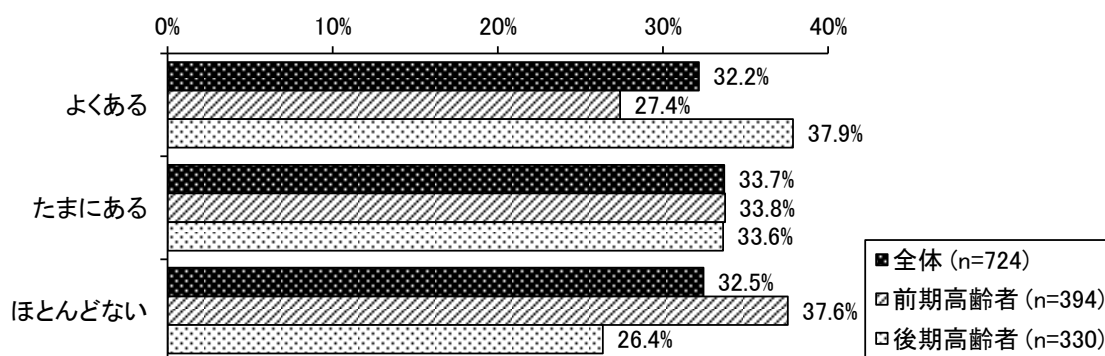


クロス集計

【日中独居の有無（前期・後期高齢者別）】

日中独居の有無について前期・後期高齢者別にみると、前期高齢者は「ほとんどない」が37.6%、後期高齢者は「よくある」が37.9%で最も高くなっています。

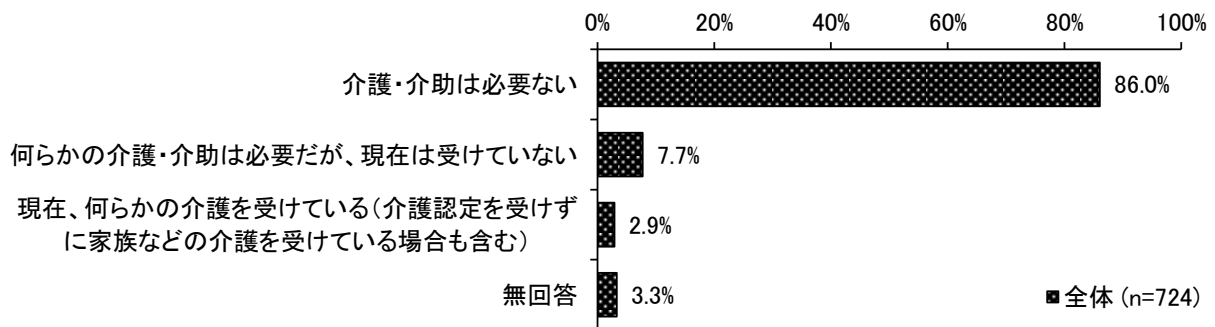
前期高齢者と後期高齢者を比較すると、「たまにある」「ほとんどない」では前期高齢者の割合が高くなっており、一方、「よくある」では後期高齢者の割合が高くなっています。



(3) 介護・介助の必要性

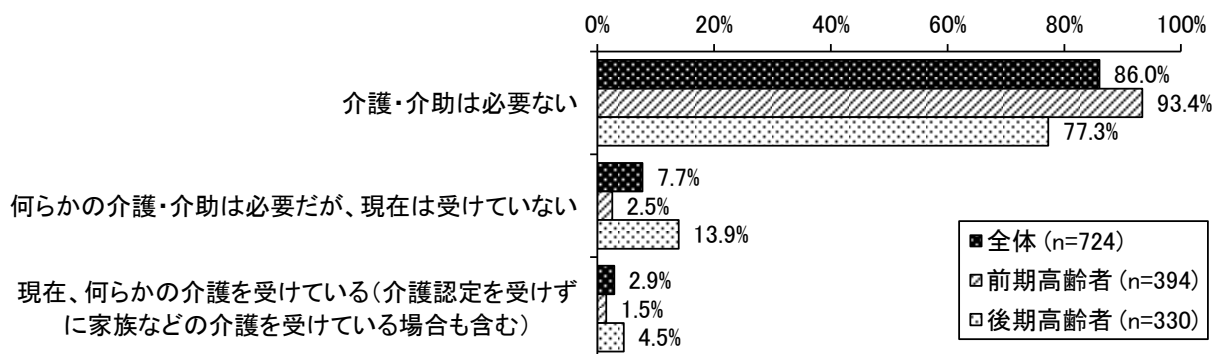
問1(3) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。
(☑は一つ)

介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」の割合が86.0%と突出して高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(7.7%)、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」(2.9%)の順となっています。

**クロス集計****【介護・介助の必要性(前期・後期高齢者別)】**

介護・介助の必要性について前期・後期高齢者別にみると、「介護・介助は必要ない」が前期高齢者で93.4%、後期高齢者で77.3%と最も高くなっています。

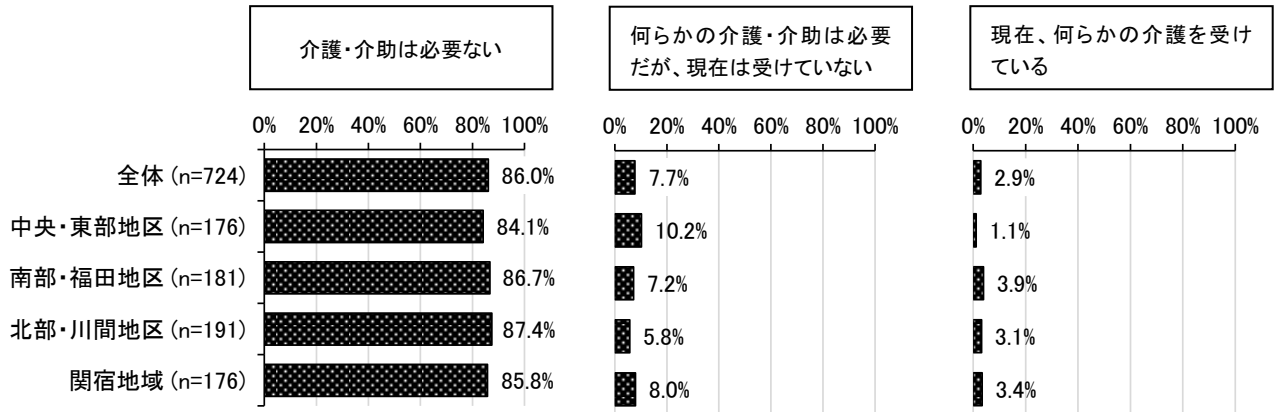
前期高齢者と後期高齢者を比較すると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」ともに後期高齢者の割合が高くなっています。



クロス集計

【介護・介助の必要性（地区別）】

介護・介助の必要性について地区別にみると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は中央・東部地区が 10.2%、「現在、何らかの介護を受けている」は、南部・福田地区が 3.9%で最も高くなっています。



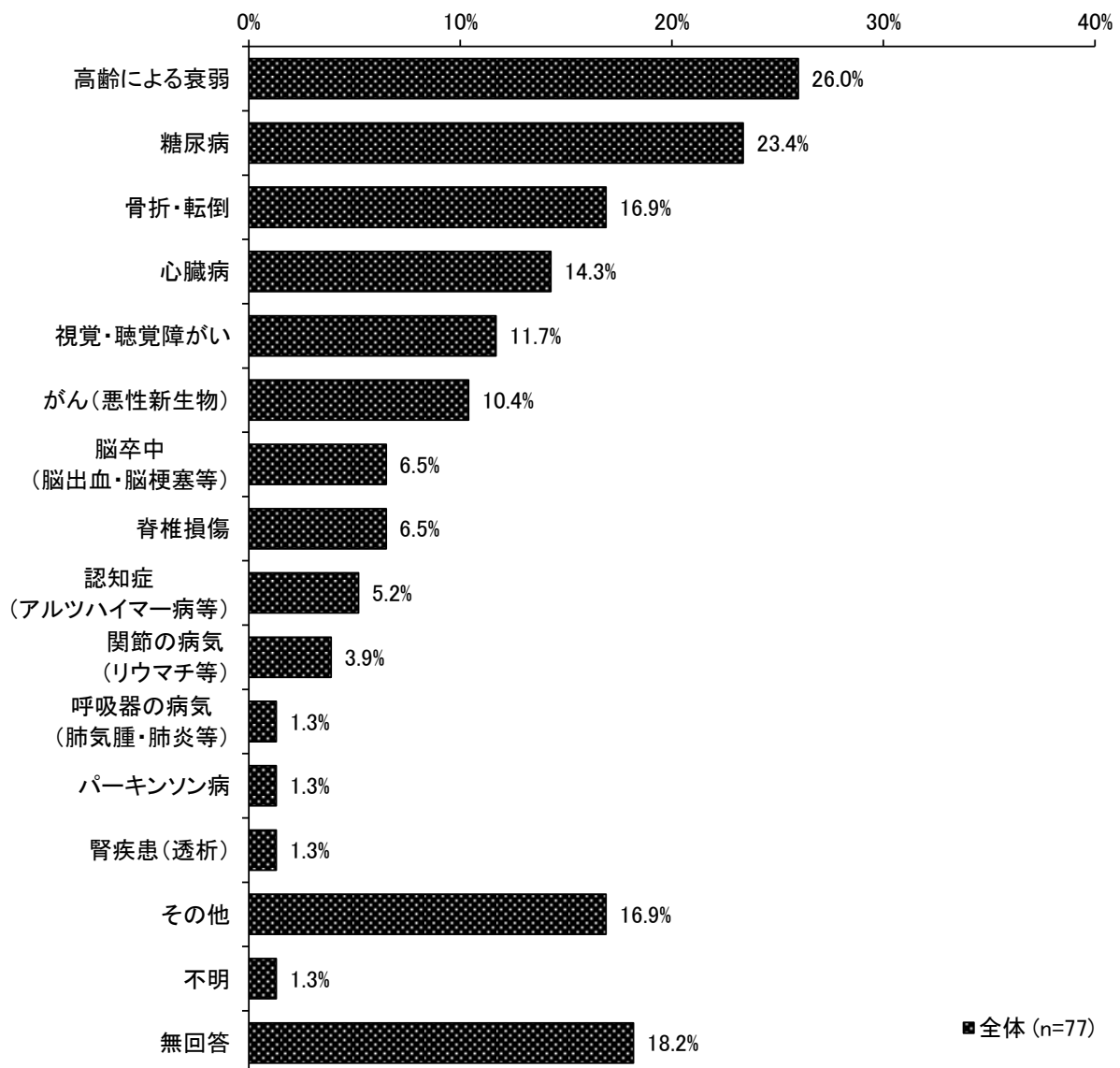
①介護・介助が必要になった原因

【（３）で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方のみお答えください】

問１（３）－① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。

（あてはまるものすべてに☑）

介護・介助が必要になった原因については、「高齢による衰弱」の割合が26.0%と最も高く、次いで「糖尿病」(23.4%)、「骨折・転倒」(16.9%)、「心臓病」(14.3%)、「視覚・聴覚障がい」(11.7%)、「がん(悪性新生物)」(10.4%)の順となっています。



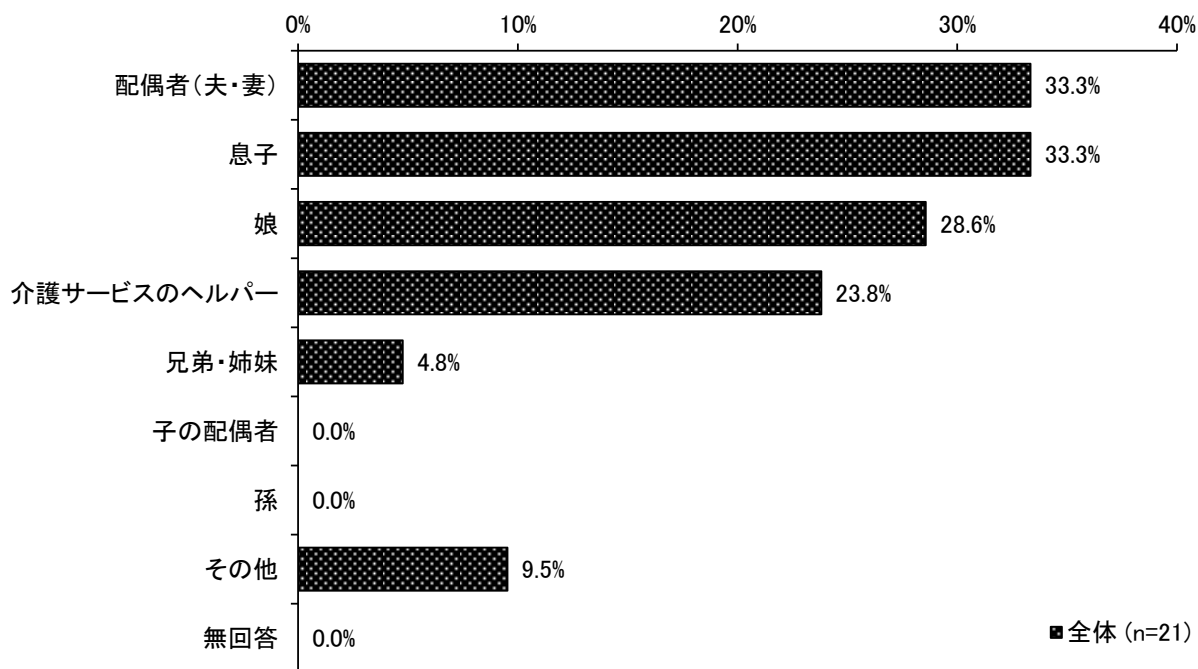
②主な介護者

【(3)で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方のみお答えください】

問1(3)-② 主にどなたからの介護、介助を受けていますか。

(あてはまるものすべてに☑)

主な介護者については、「配偶者(夫・妻)」「息子」の割合が各33.3%と最も高く、次いで「娘」(28.6%)、「介護サービスのヘルパー」(23.8%)の順となっています。

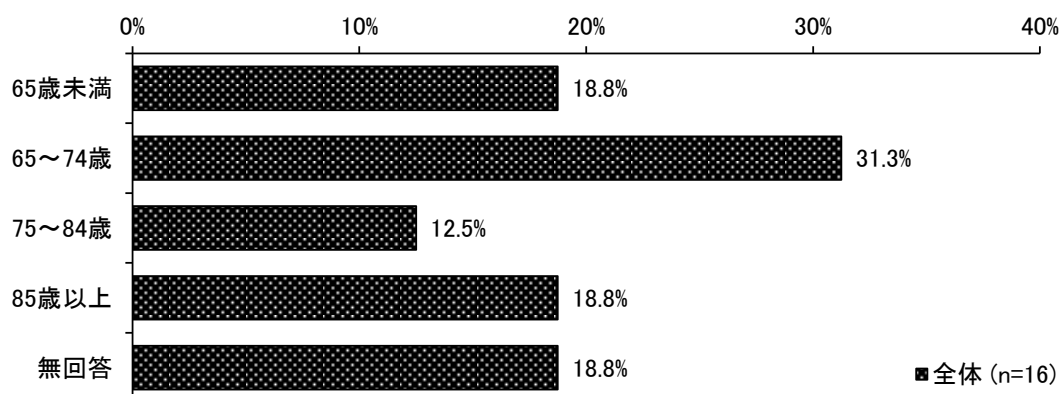


③介護者の年齢

【(3)で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方のみお答えください。ただし、(3)-②で「介護サービスのヘルパー」と回答した方は除きます】

問1(3)-③ 主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか。(☑は一つ)

介護者の年齢については、「65～74歳」の割合が31.3%と最も高く、次いで「65歳未満」「85歳以上」(各18.8%)、「75～84歳」(12.5%)の順となっています。

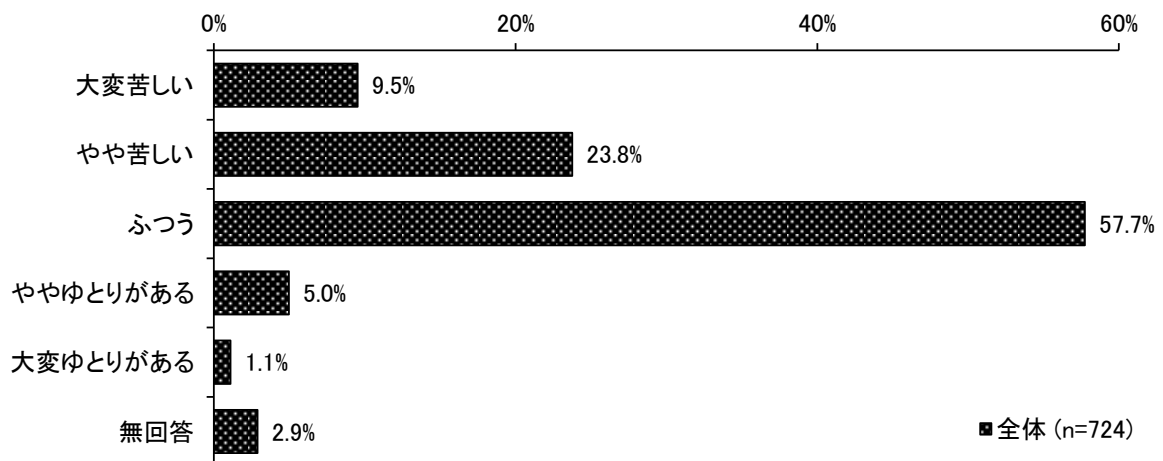


(4) 現在の暮らしの状況

【ここからは全員の方がお答えください】

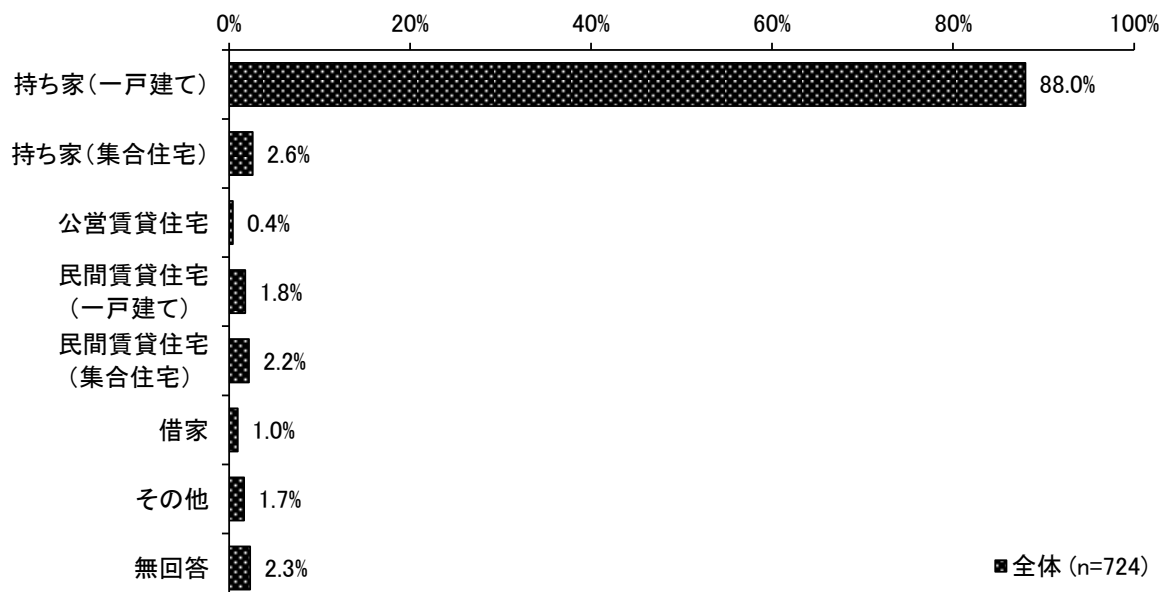
問1(4) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(☑は一つ)

現在の暮らしの状況については、「ふつう」の割合が57.7%と最も高いものの、「やや苦しい」(23.8%)、「大変苦しい」(9.5%)を合計すると33.3%が『苦しい』と回答しています。一方、「ややゆとりがある」(5.0%)、「大変ゆとりがある」(1.1%)の合計は6.1%となっています。

**(5) 住まいの形態**

問1(5) お住まいは、次のどれにあたりますか。(☑は一つ)

住まいの形態については、「持ち家(一戸建て)」の割合が88.0%と大半を占めています。

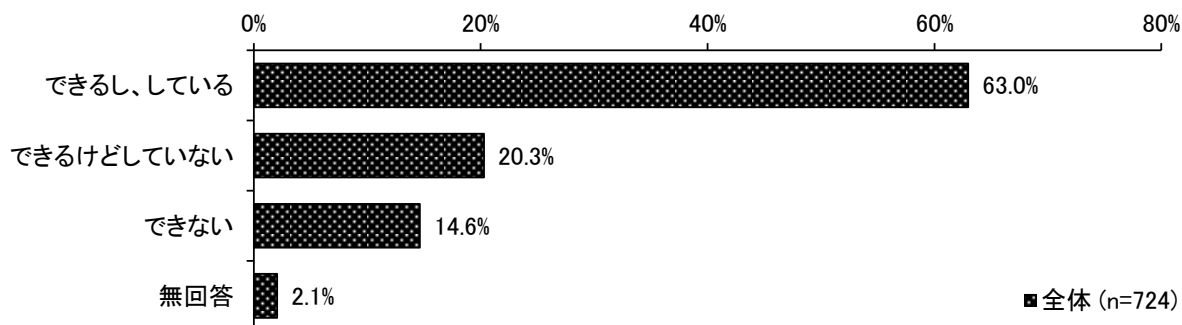


3 からだを動かすことについて

(1) 階段の昇降

問2 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(☑は一つ)

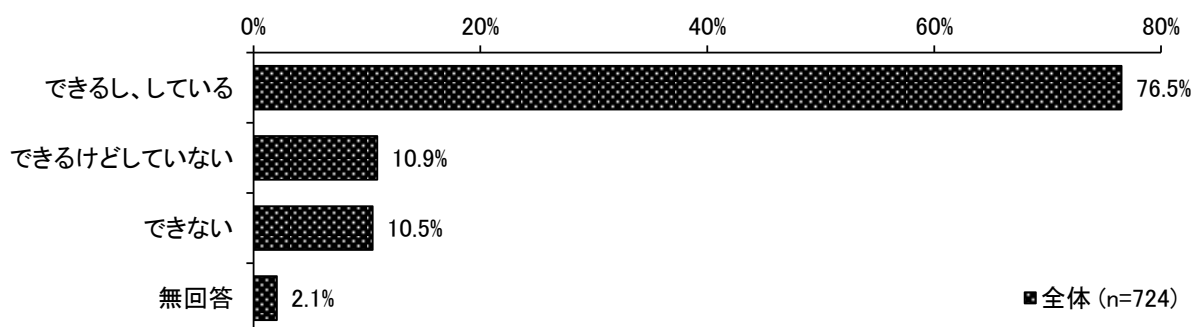
階段の昇降については、「できるし、している」の割合が63.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(20.3%)、「できない」(14.6%)の順となっています。



(2) 椅子からの立ち上がり

問2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(☑は一つ)

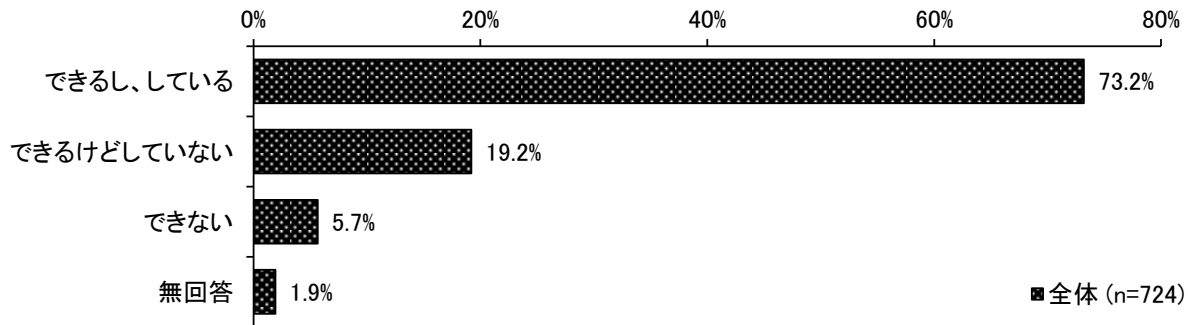
椅子からの立ち上がりについては、「できるし、している」の割合が76.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(10.9%)、「できない」(10.5%)の順となっています。



(3) 歩行時間

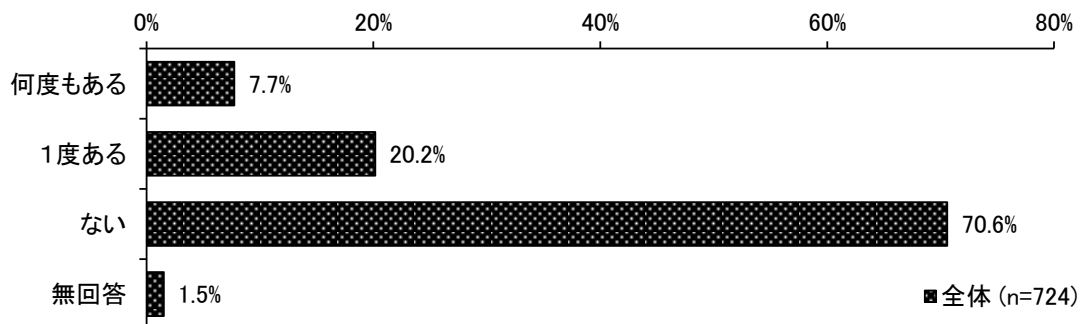
問2(3) 15分位続けて歩いていますか。(☑は一つ)

歩行時間については、「できるし、している」の割合が73.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(19.2%)、「できない」(5.7%)の順となっています。

**(4) 転倒した経験**

問2(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(☑は一つ)

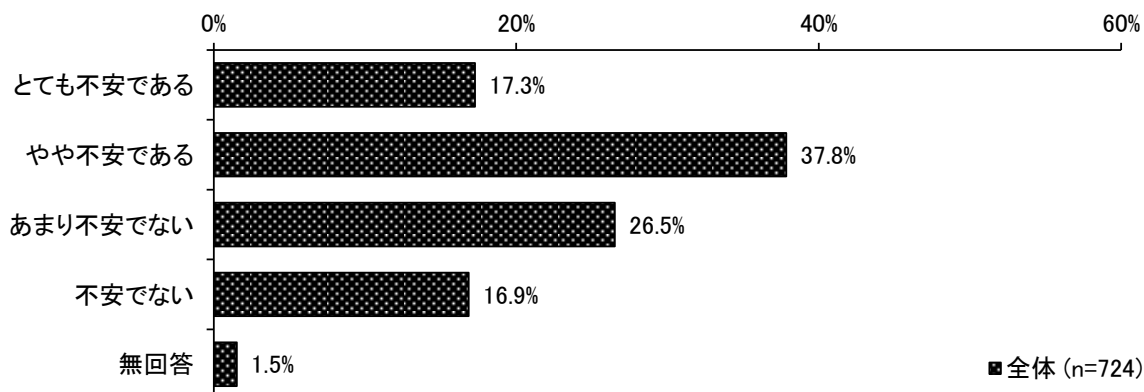
転倒した経験については、「ない」の割合が70.6%と最も高く、次いで「1度ある」(20.2%)、「何度もある」(7.7%)の順となっています。



(5) 転倒に対する不安

問2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか。(☑は一つ)

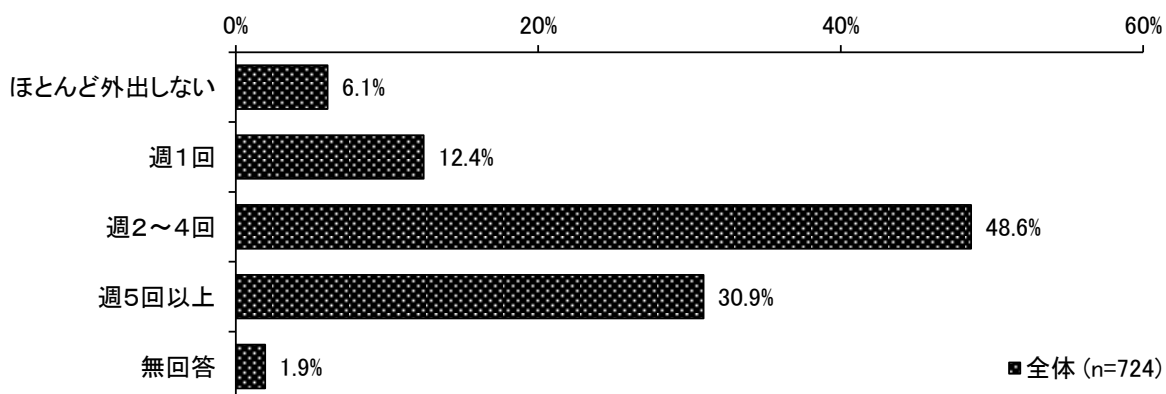
転倒に対する不安については、「やや不安である」の割合が37.8%と最も高く、「とても不安である」(17.3%)を合計すると55.1%が『不安』と回答しています。一方、「あまり不安でない」(26.5%)、「不安でない」(16.9%)の合計は43.4%となっています。



(6) 外出状況

問2 (6) 週に1回以上は外出していますか。(☑は一つ)

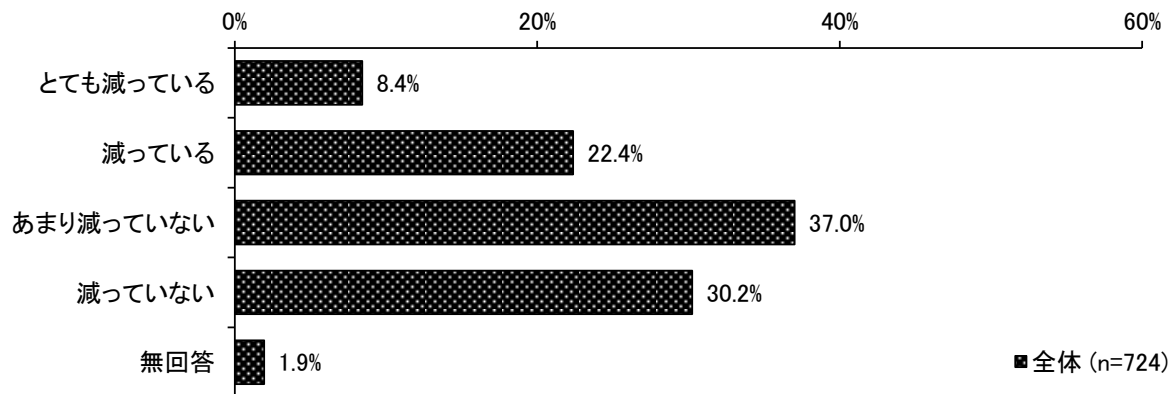
外出状況については、「週2～4回」の割合が48.6%と最も高く、次いで「週5回以上」(30.9%)、「週1回」(12.4%)の順となっています。



(7) 外出回数の減少

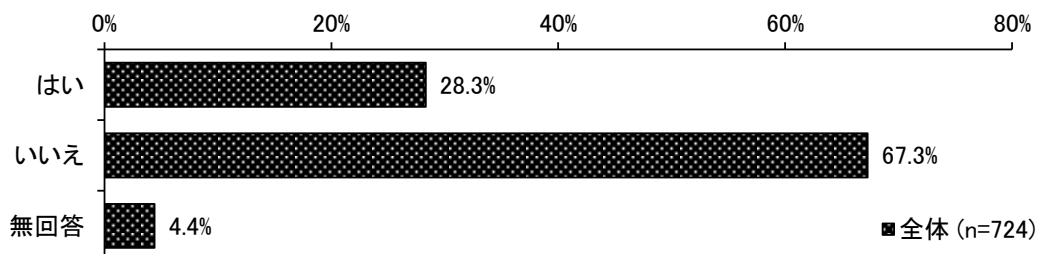
問2 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(☑は一つ)

外出回数の減少については、「あまり減っていない」の割合が37.0%と最も高く、「減っていない」(30.2%)を合計すると67.2%が『減っていない』と回答しています。一方、「減っている」(22.4%)、「とても減っている」(8.4%)の合計は30.8%となっています。

**(8) 外出を控えているか**

問2 (8) 外出を控えていますか。(☑は一つ)

外出を控えているかについては、「はい」が28.3%、「いいえ」が67.3%となっています。



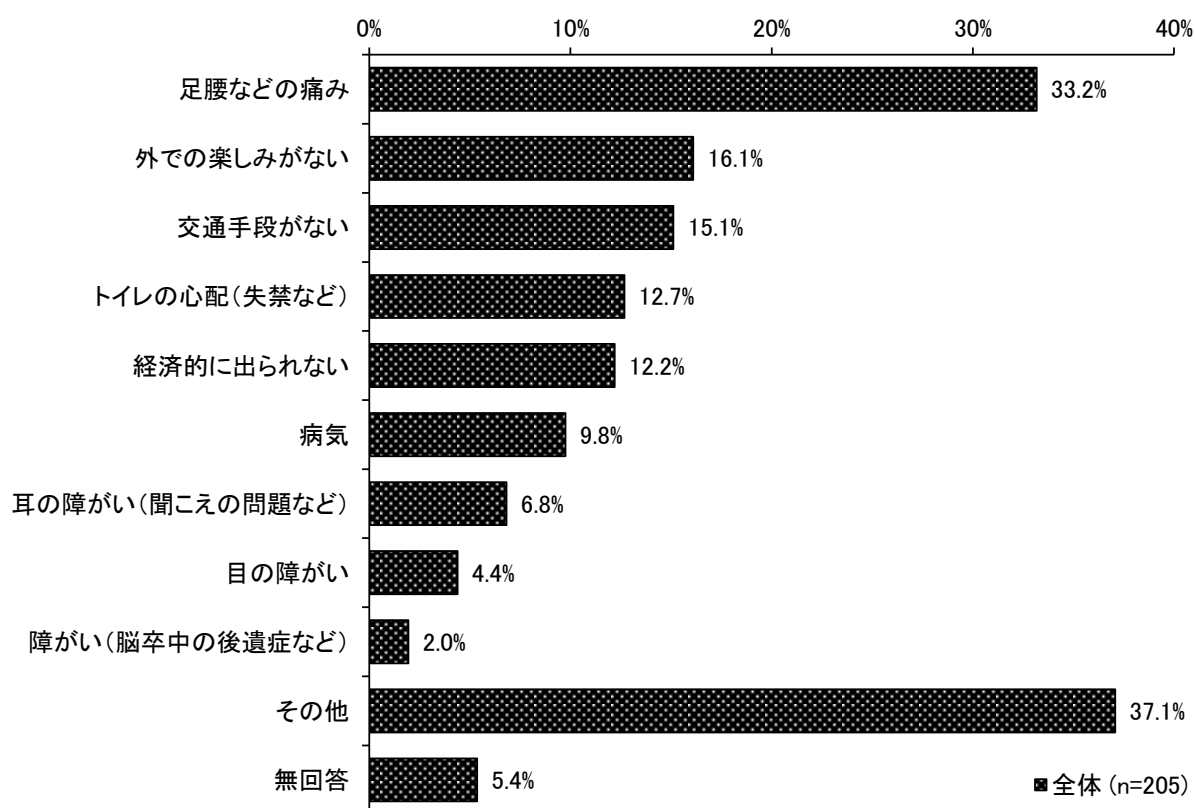
(9) 外出を控えている理由

【(8)で「はい」と回答した方のみお答えください】

問2(8)-① 外出を控えている理由は、次のどれですか。

(あてはまるものすべてに☑)

外出を控えている理由については、「その他」の割合が37.1%と最も高く、次いで「足腰などの痛み」(33.2%)、「外での楽しみがない」(16.1%)、「交通手段がない」(15.1%)、「交通手段がない」(15.1%)、「トイレの心配(失禁など)」(12.7%)、「経済的に出られない」(12.2%)の順となっています。また、「その他」の内容をみると、新型コロナウイルス感染症(76件中63件)が突出して多くなっています。

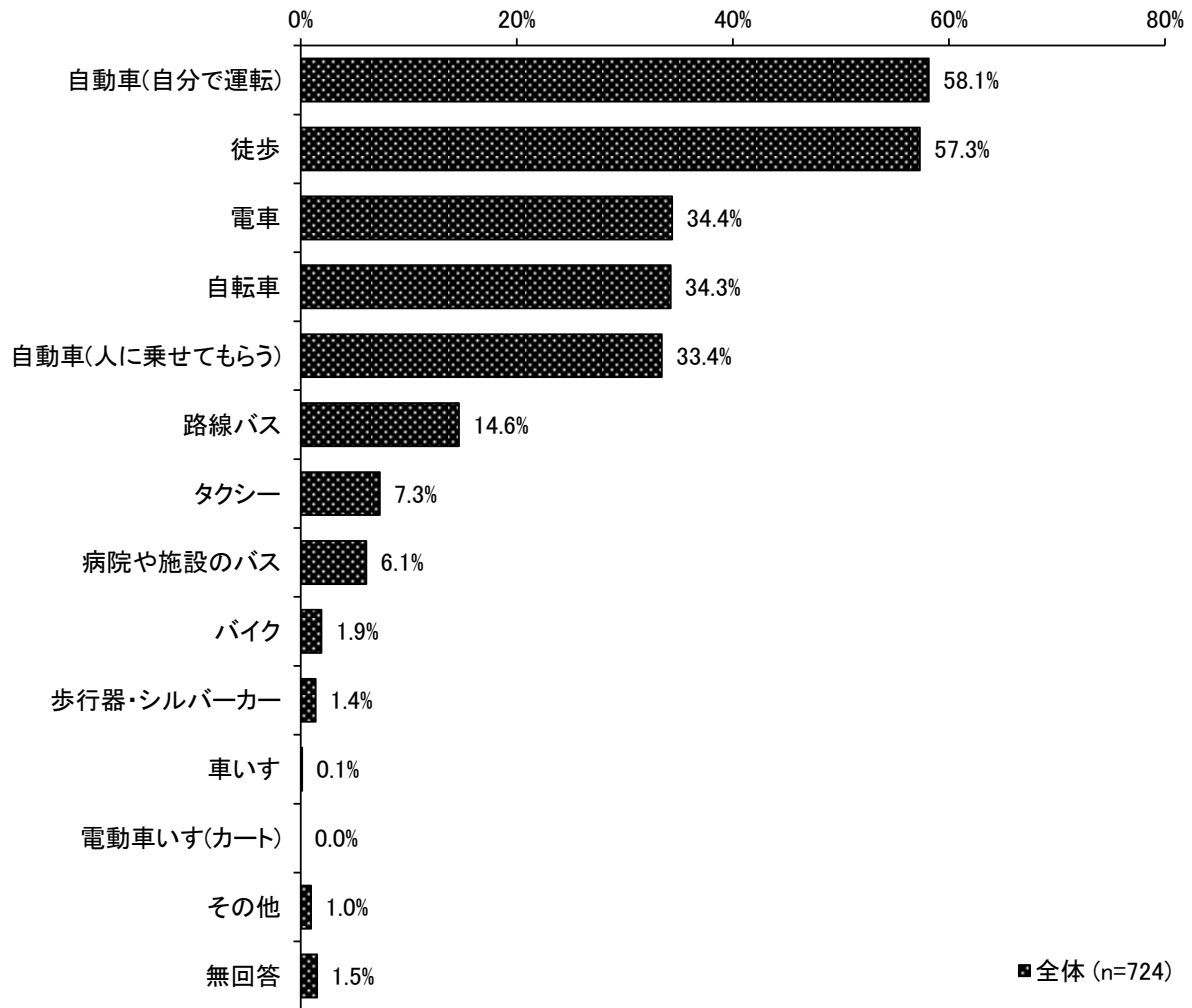


(10) 外出する際の移動手段

【ここからは全員の方がお答えください】

問2(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに☑)

外出する際の移動手段については、「自動車(自分で運転)」の割合が58.1%と最も高く、次いで「徒歩」(57.3%)、「電車」(34.4%)、「自転車」(34.3%)の順となっています。



4 食べることについて

(1) BMI

問3 (1) あなたの身長・体重を書き入れてください。

性別による身長・体重の分布は以下の通りです。

【身長】

(単位：人)

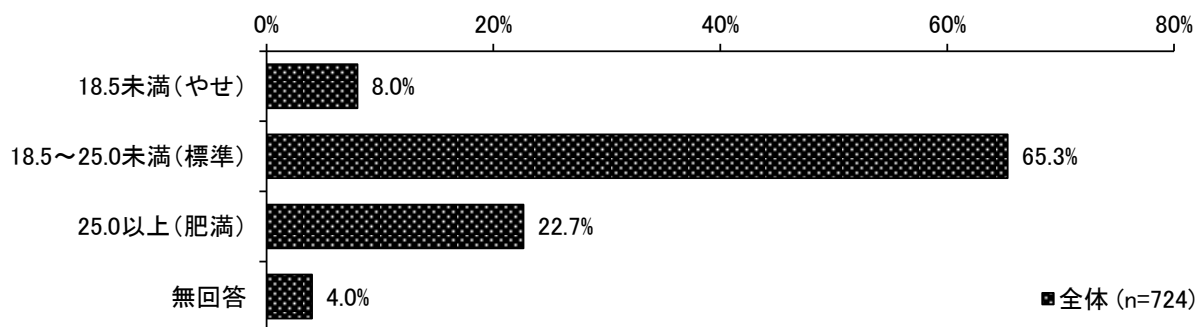
	150cm未満	150～160cm未満	160～170cm未満	170～180cm未満	180cm以上	無回答
男性	4	42	197	77	2	10
女性	104	227	44	3	0	14

【体重】

(単位：人)

	40kg未満	40～50kg未満	50～60kg未満	60～70kg未満	70～80kg未満	80kg以上	無回答
男性	0	29	71	150	49	21	12
女性	12	129	152	64	16	3	16

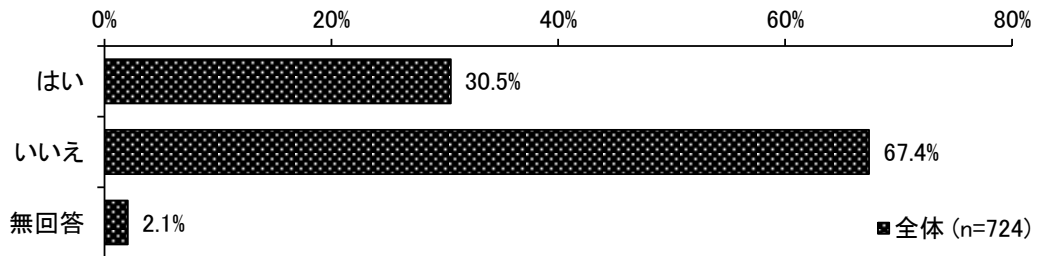
BMIについては、「18.5～25.0未満(標準)」の割合が65.3%と最も高く、次いで「25.0以上(肥満)」(22.7%)、「18.5未満(やせ)」(8.0%)の順となっています。



(2) 固いものの摂取

問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(☑は一つ)

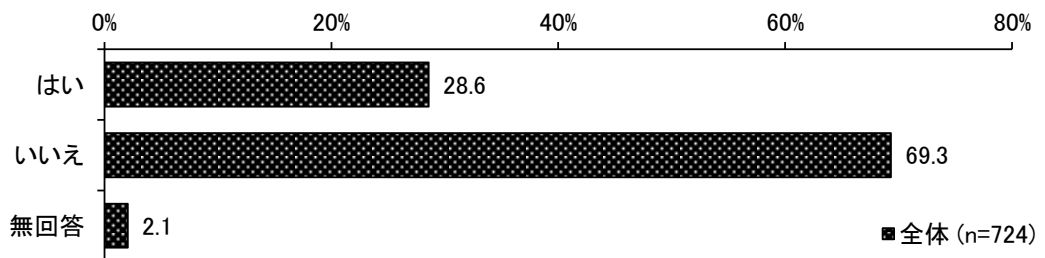
固いものの摂取については、「はい」が30.5%、「いいえ」が67.4%となっています。



(3) むせることがあるか

問3 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(☑は一つ)

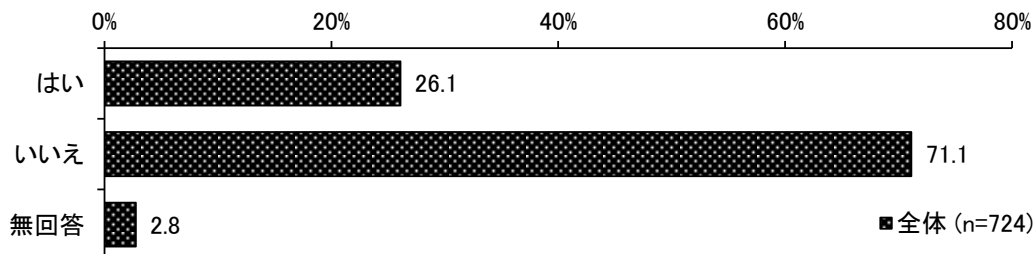
むせることがあるかについては、「はい」が28.6%、「いいえ」が69.3%となっています。



(4) 口の渇き

問3 (4) 口の渇きが気になりますか。(☑は一つ)

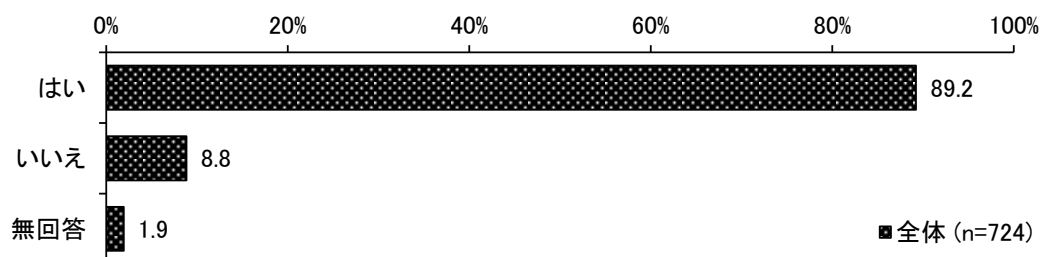
口の渇きについては、「はい」が26.1%、「いいえ」が71.1%となっています。



(5) 歯磨きの習慣

問3 (5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(☑は一つ)

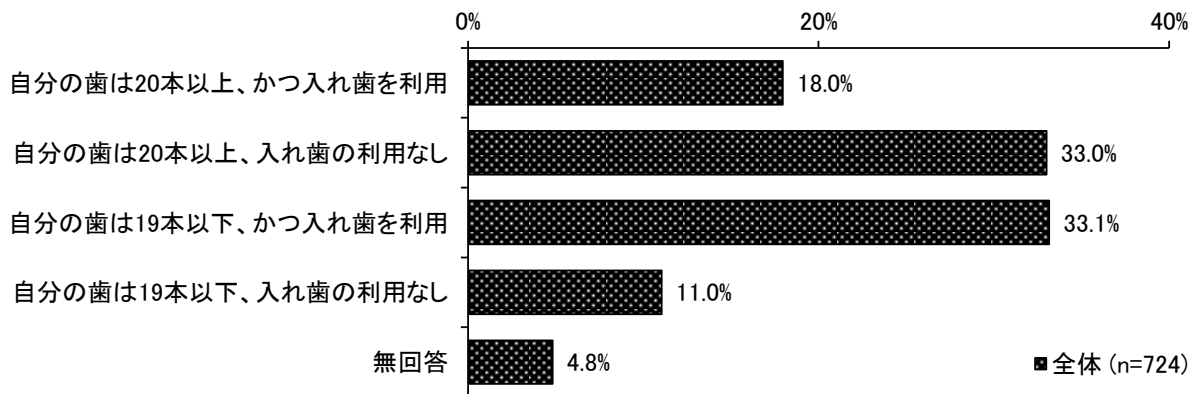
歯磨きの習慣については、「はい」が89.2%、「いいえ」が8.8%となっています。



(6) 歯の数と入れ歯の利用状況

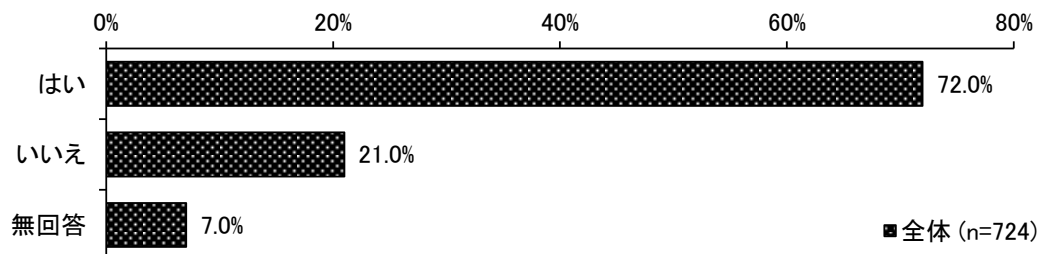
問3(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(☑は一つ)

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が33.1%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(33.0%)となっています。また、入れ歯の使用率は51.1%となっています。

**(7) 歯の噛み合わせ**

問3(6)-① 噛み合わせは良いですか。(☑は一つ)

歯の噛み合わせについては、「はい」が72.0%、「いいえ」が21.0%となっています。

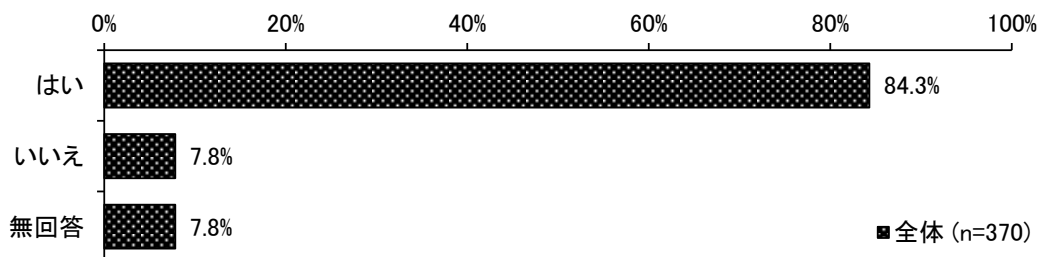


(8) 入れ歯の手入れ

【(6)で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方のみお答えください】

問3(6)-② 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(☑は一つ)

入れ歯の手入れについては、「はい」が84.3%、「いいえ」が7.8%となっています。

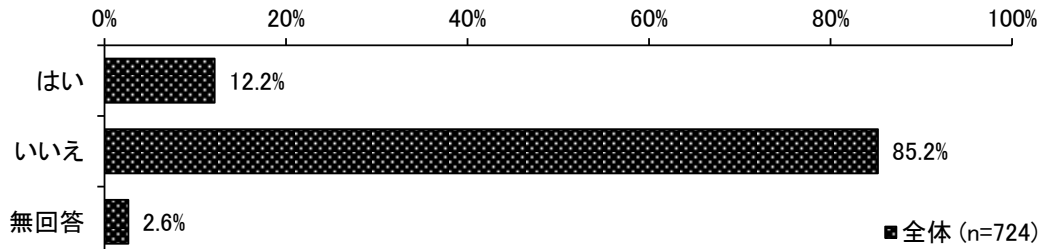


(9) 体重減少の有無

【ここからは全員の方がお答えください】

問3(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(☑は一つ)

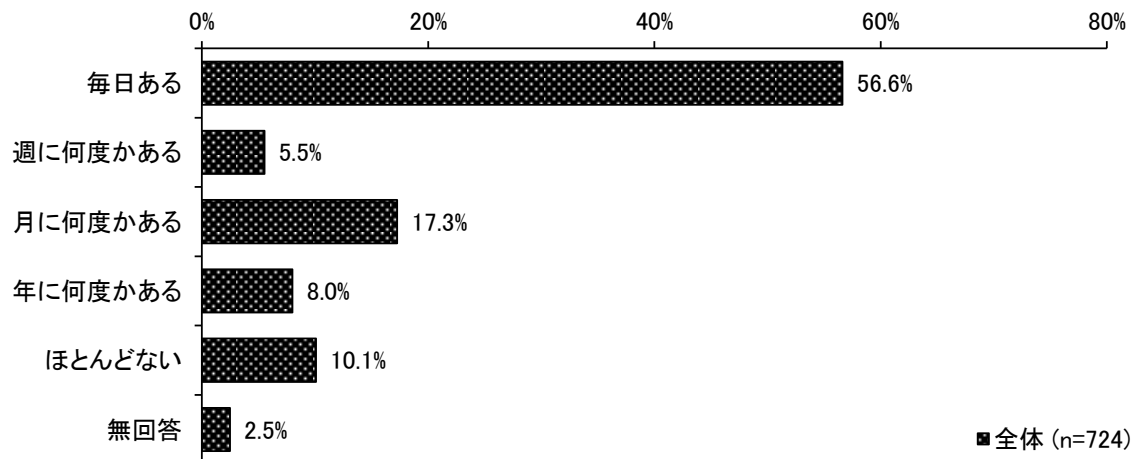
体重減少の有無については、「はい」が12.2%、「いいえ」が85.2%となっています。



(10) 誰かと食事をとる機会

問3 (8) どなたかと食事をとる機会がありますか。(☑は一つ)

誰かと食事をとる機会については、「毎日ある」の割合が 56.6%と最も高く、次いで「月に何度かある」(17.3%)、「ほとんどない」(10.1%)の順となっています。

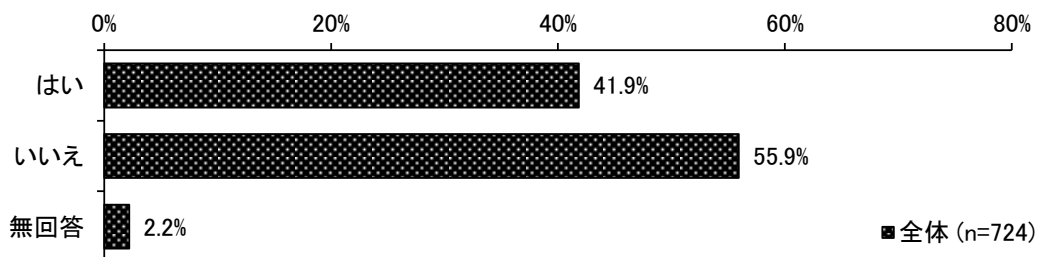


5 毎日の生活について

(1) 物忘れの状況

問4(1) 物忘れが多いと感じますか。(☑は一つ)

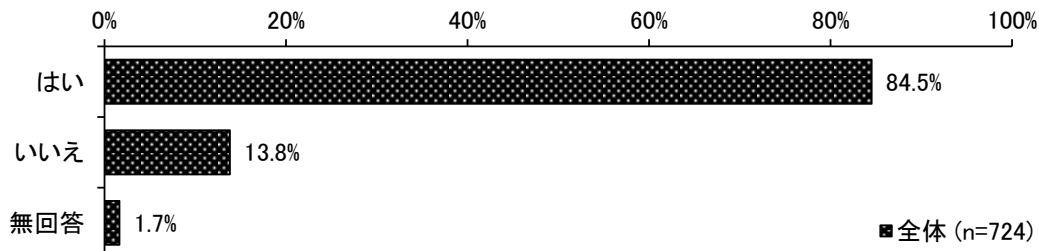
物忘れの状況については、「はい」が41.9%、「いいえ」が55.9%となっています。



(2) 電話をかけること

問4(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(☑は一つ)

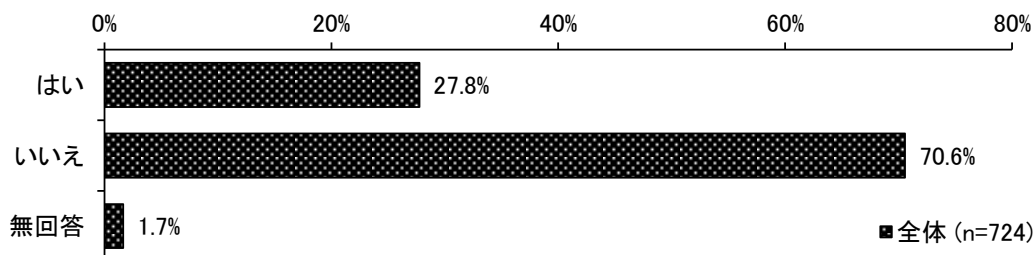
電話をかけることについては、「はい」が84.5%、「いいえ」が13.8%となっています。



(3) 日付の認識

問4(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。(☑は一つ)

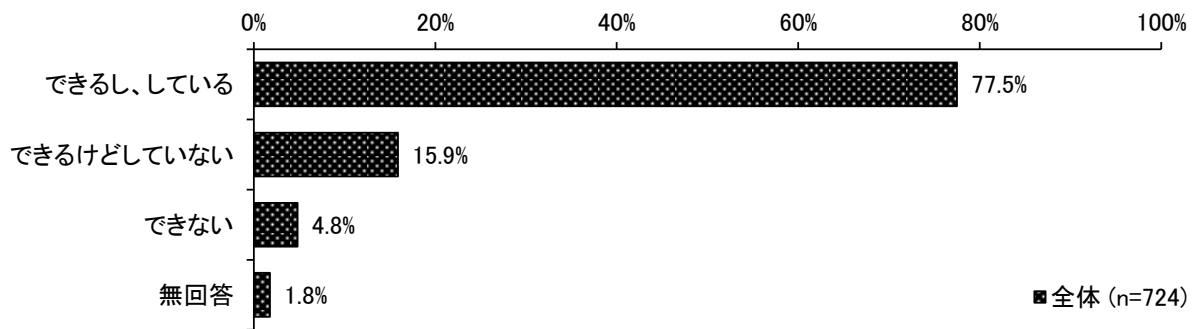
日付の認識については、「はい」が27.8%、「いいえ」が70.6%となっています。



(4) バスや電車での外出

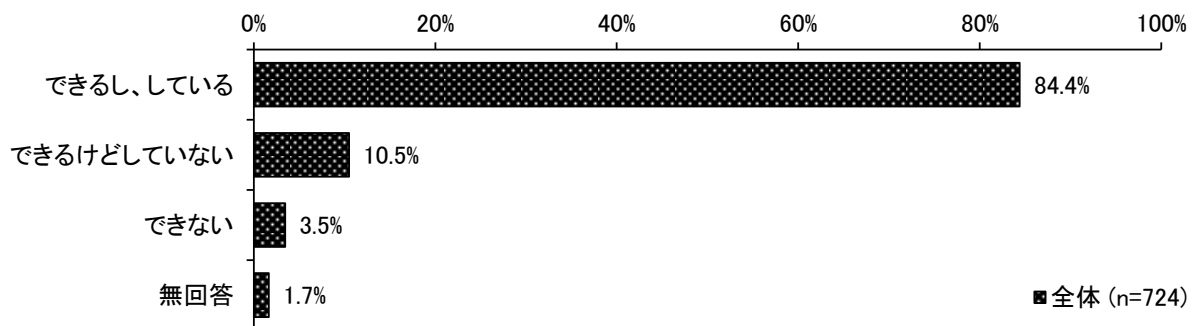
問4(4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(☑は一つ)

バスや電車での外出については、「できるし、している」の割合が77.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(15.9%)、「できない」(4.8%)の順となっています。

**(5) 日用品の買い物**

問4(5) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(☑は一つ)

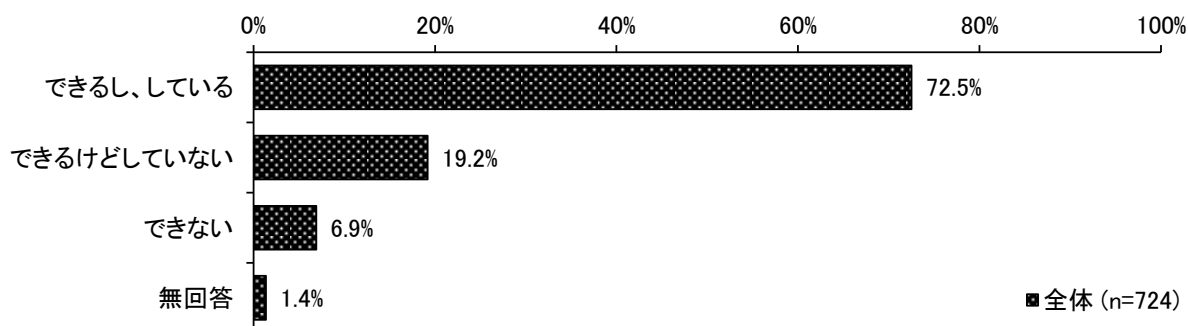
日用品の買い物については、「できるし、している」の割合が84.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(10.5%)、「できない」(3.5%)の順となっています。



(6) 食事の用意

問4(6) 自分で食事の用意をしていますか。(☑は一つ)

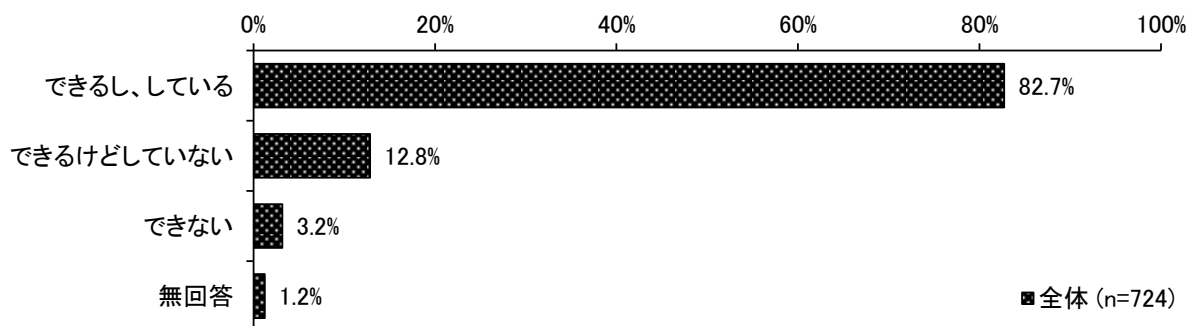
食事の用意については、「できるし、している」の割合が72.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(19.2%)、「できない」(6.9%)の順となっています。



(7) 請求書の支払い

問4(7) 自分で請求書の支払いをしていますか。(☑は一つ)

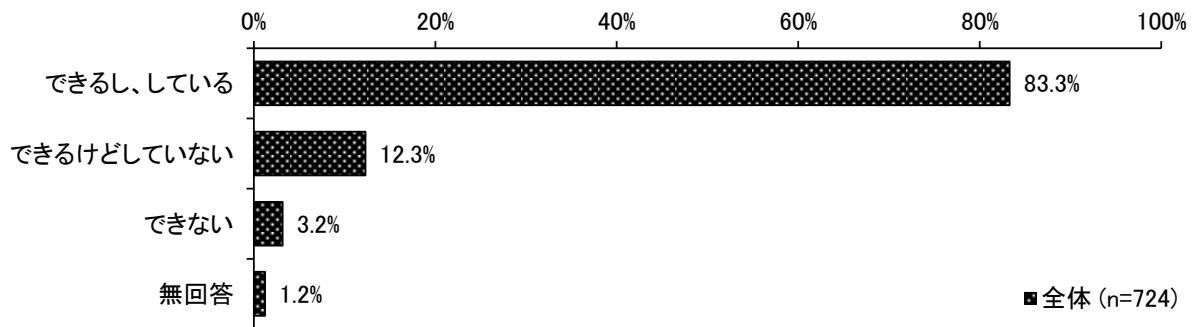
請求書の支払いについては、「できるし、している」の割合が82.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(12.8%)、「できない」(3.2%)の順となっています。



(8) 預貯金の出し入れ

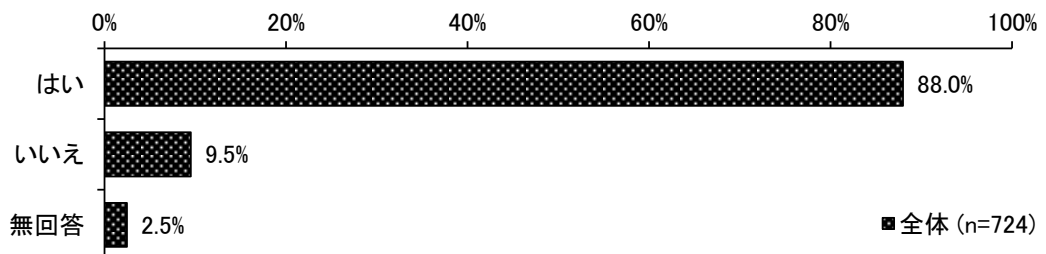
問4(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(☑は一つ)

預貯金の出し入れについては、「できるし、している」の割合が83.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(12.3%)、「できない」(3.2%)の順となっています。

**(9) 書類の記入**

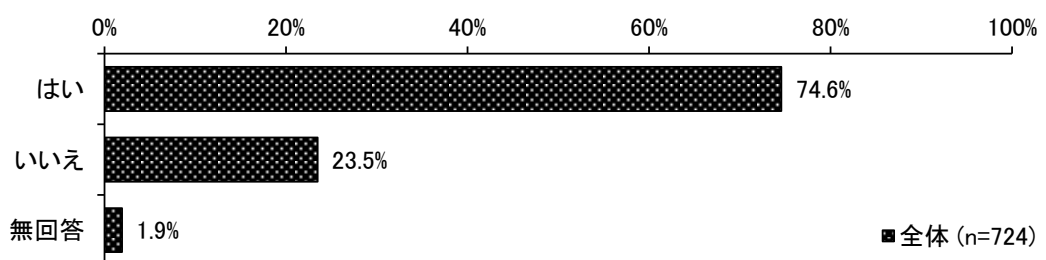
問4(9) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(☑は一つ)

書類の記入については、「はい」が88.0%、「いいえ」が9.5%となっています。

**(10) 新聞の購読**

問4(10) 新聞を読んでいますか。(☑は一つ)

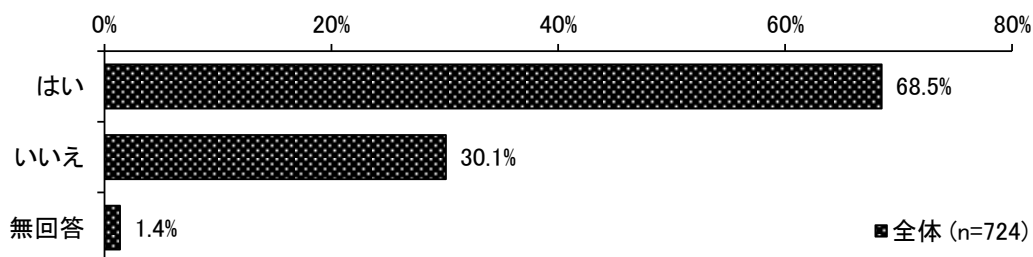
新聞の購読については、「はい」が74.6%、「いいえ」が23.5%となっています。



(11) 読書

問 4 (11) 本や雑誌を読んでいますか。(☑は一つ)

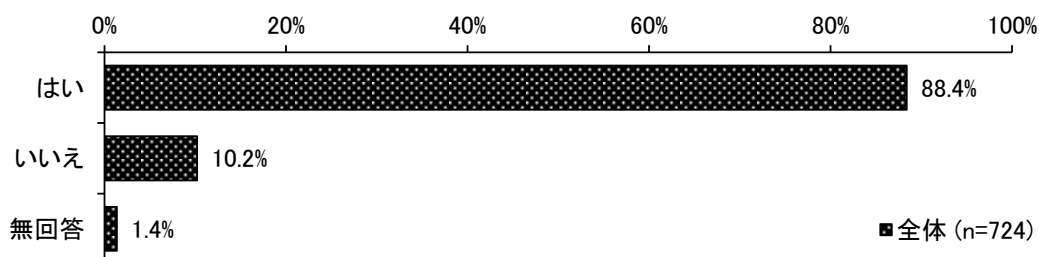
読書については、「はい」が 68.5%、「いいえ」が 30.1%となっています。



(12) 健康についての関心

問 4 (12) 健康についての記事や番組に関心がありますか。(☑は一つ)

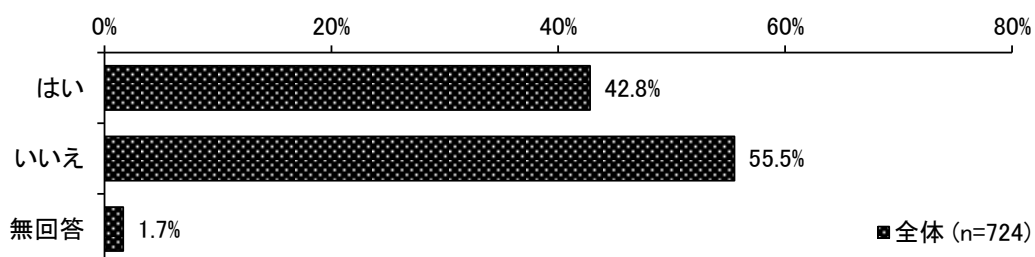
健康についての関心については、「はい」が 88.4%、「いいえ」が 10.2%となっています。



(13) 友人宅への訪問

問 4 (13) 友人の家を訪ねていますか。(☑は一つ)

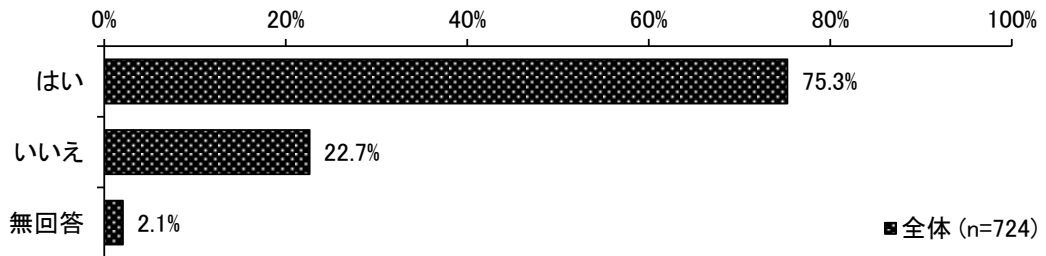
友人宅への訪問については、「はい」が 42.8%、「いいえ」が 55.5%となっています。



(14) 相談にのる機会

問 4 (14) 家族や友人の相談にのっていますか。(☑は一つ)

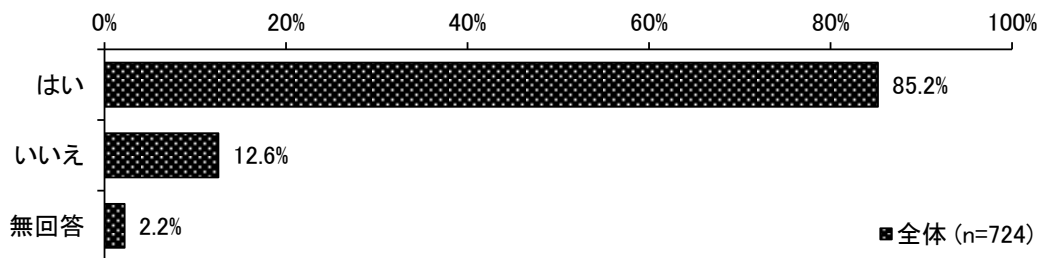
相談にのる機会については、「はい」が75.3%、「いいえ」が22.7%となっています。



(15) 見舞いの可否

問 4 (15) 病人を見舞うことができますか。(☑は一つ)

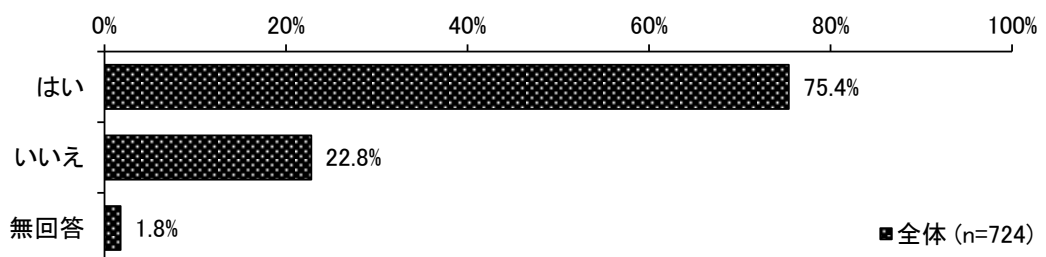
見舞いの可否については、「はい」が85.2%、「いいえ」が12.6%となっています。



(16) 若年者との会話

問 4 (16) 若い人に自分から話しかけることがありますか。(☑は一つ)

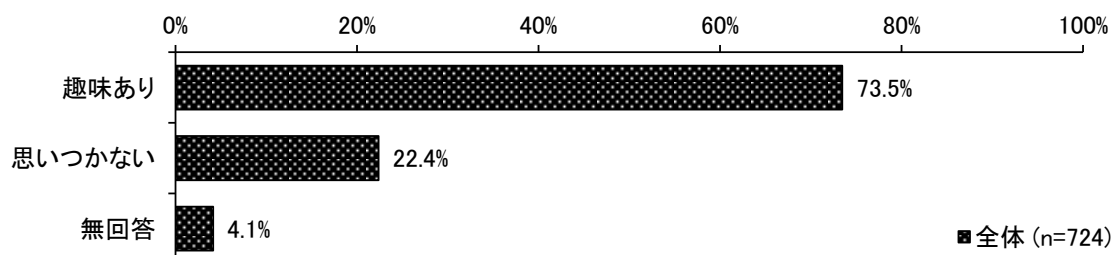
若年者との会話については、「はい」が75.4%、「いいえ」が22.8%となっています。



(17) 趣味の有無

問4 (17) 趣味はありますか。(☑は一つ)

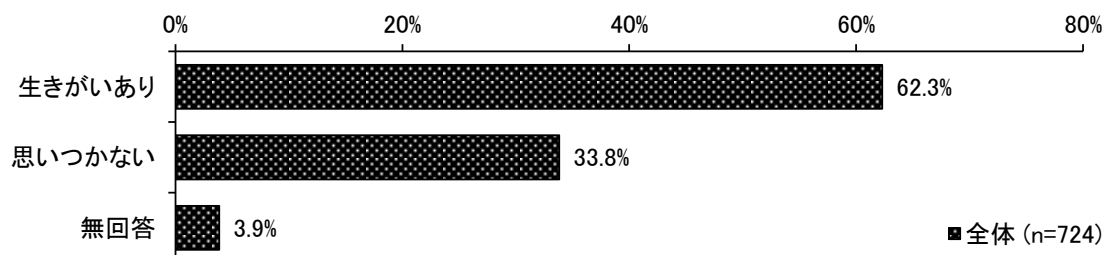
趣味の有無については、「趣味あり」が73.5%、「思いつかない」が22.4%となっています。



(18) 生きがいの有無

問4 (18) 生きがいはありますか。(☑は一つ)

生きがいの有無については、「生きがいあり」が62.3%、「思いつかない」が33.8%となっています。

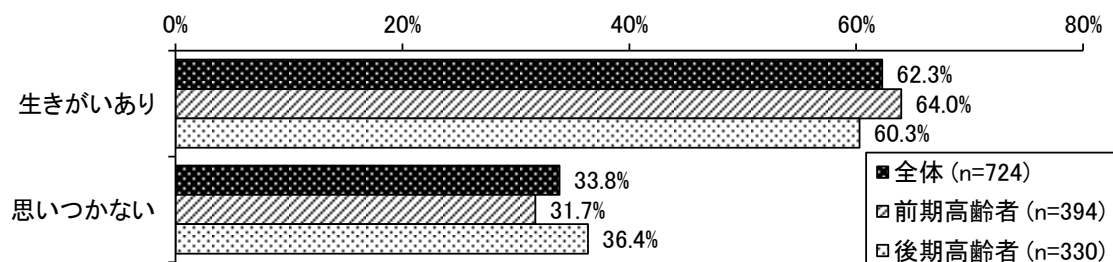


クロス集計

【生きがいの有無（前期・後期高齢者別）】

生きがいの有無について、前期・後期高齢者別にみると、「生きがいあり」は前期高齢者が64.0%、後期高齢者が60.3%で最も高くなっています。

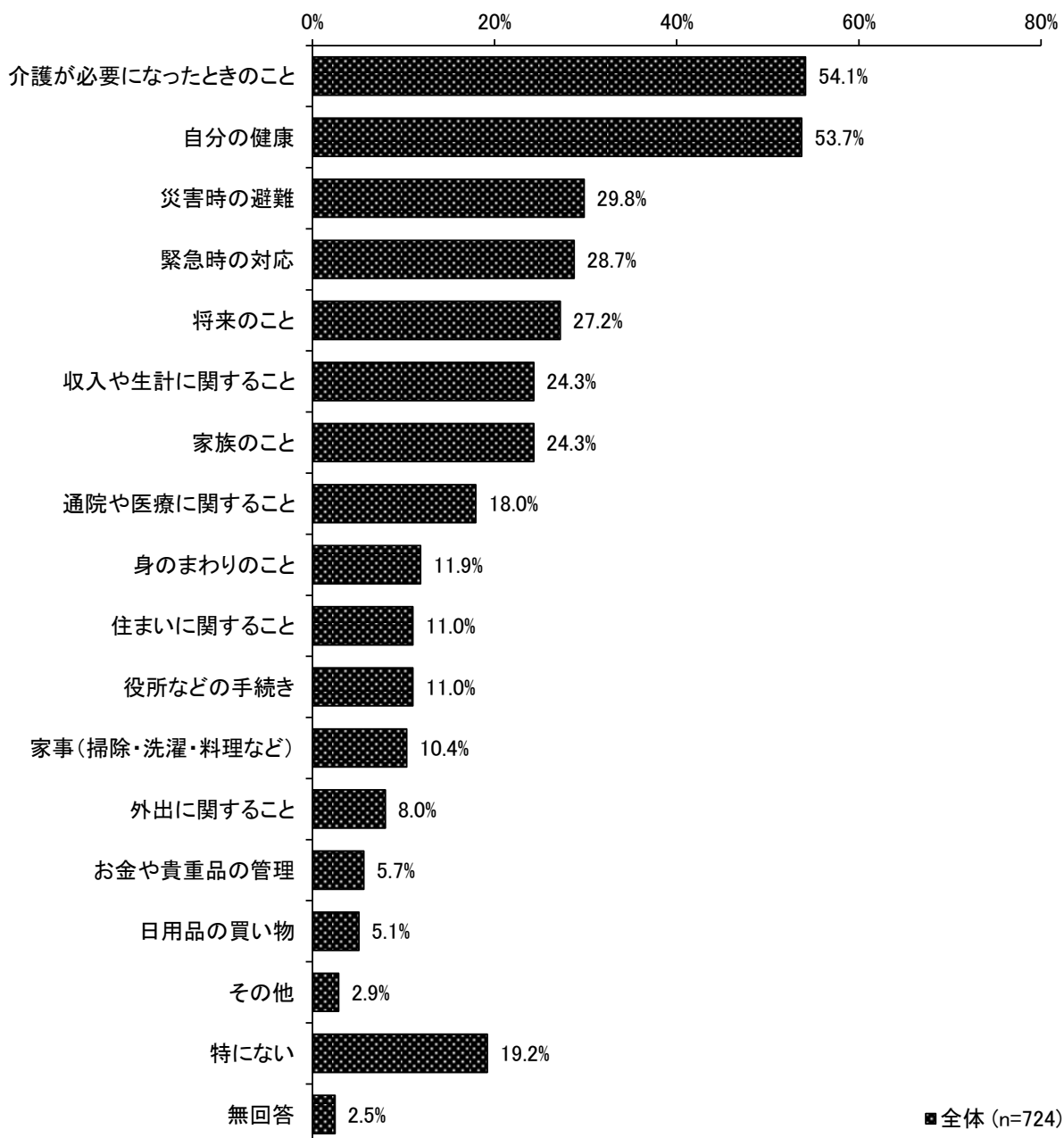
前期高齢者と後期高齢者を比較すると、「思いつかない」では前期高齢者（31.7%）、後期高齢者（36.4%）で、後期高齢者が4.7ポイント高くなっています。



(19) 日常生活における困難・不安

問4 (19) あなたには、現在日常生活で困っていること、不安に感じていることはありますか。(あてはまるものすべてに☑)

日常生活における困難・不安については、「介護が必要になったときのこと」の割合が54.1%と最も高く、次いで「自分の健康」(53.7%)、「災害時の避難」(29.8%)、「緊急時の対応」(28.7%)、「将来のこと」(27.2%)、「収入や生計に関すること」「家族のこと」(各24.3%)の順となっています。

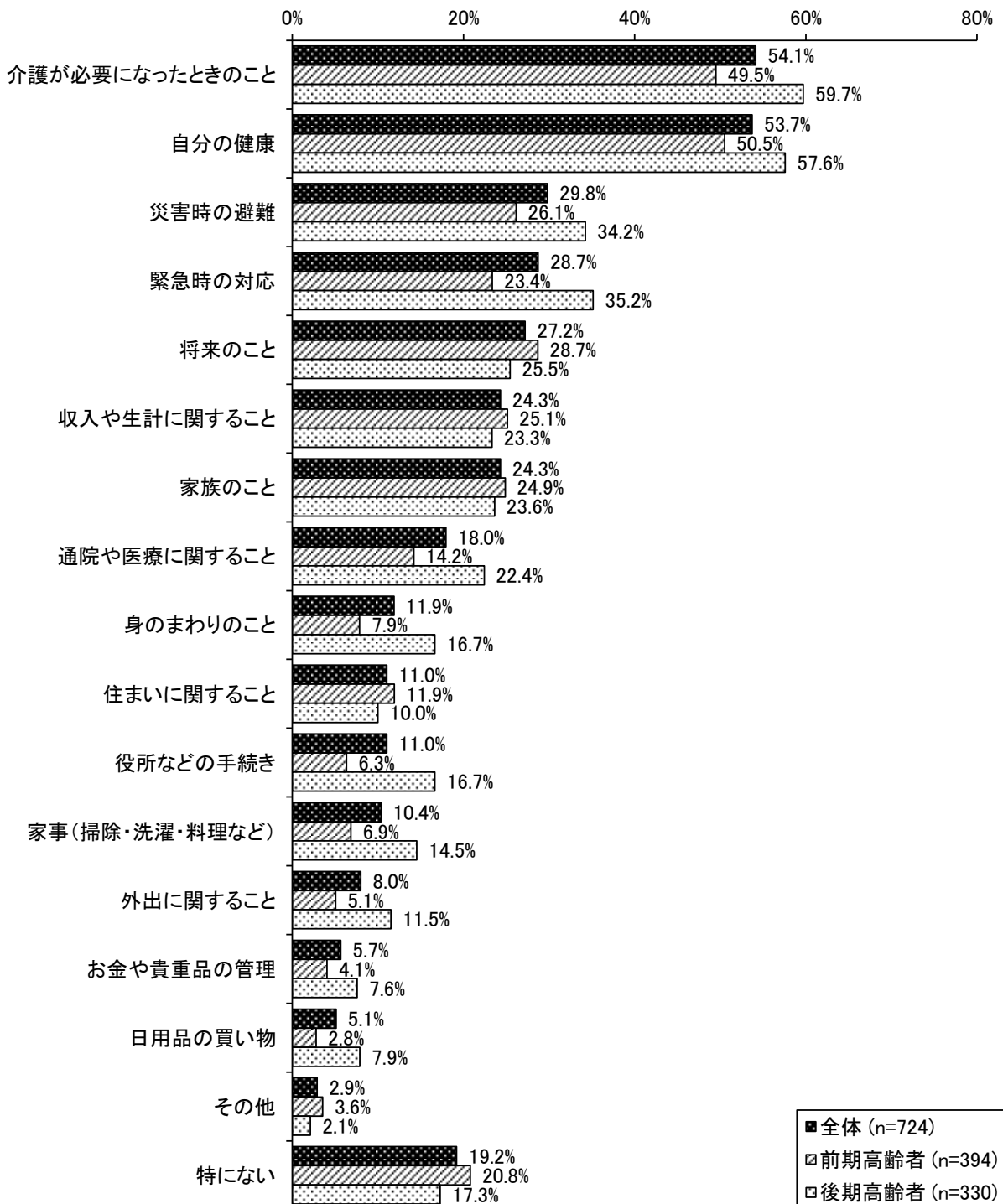


クロス集計

【日常生活における困難・不安（前期・後期高齢者別）】

日常生活における困難・不安について前期・後期高齢者別にみると、前期高齢者は「自分の健康」が50.5%、後期高齢者は「介護が必要になったときのこと」が59.7%で最も高くなっています。

前期高齢者と後期高齢者を比較すると、「介護が必要になったときのこと」「自分の健康」「災害時の避難」「緊急時の対応」などで後期高齢者の割合が高くなっており、一方、「将来のこと」「収入や生計に関すること」「家族のこと」などでは前期高齢者の割合が高くなっています。

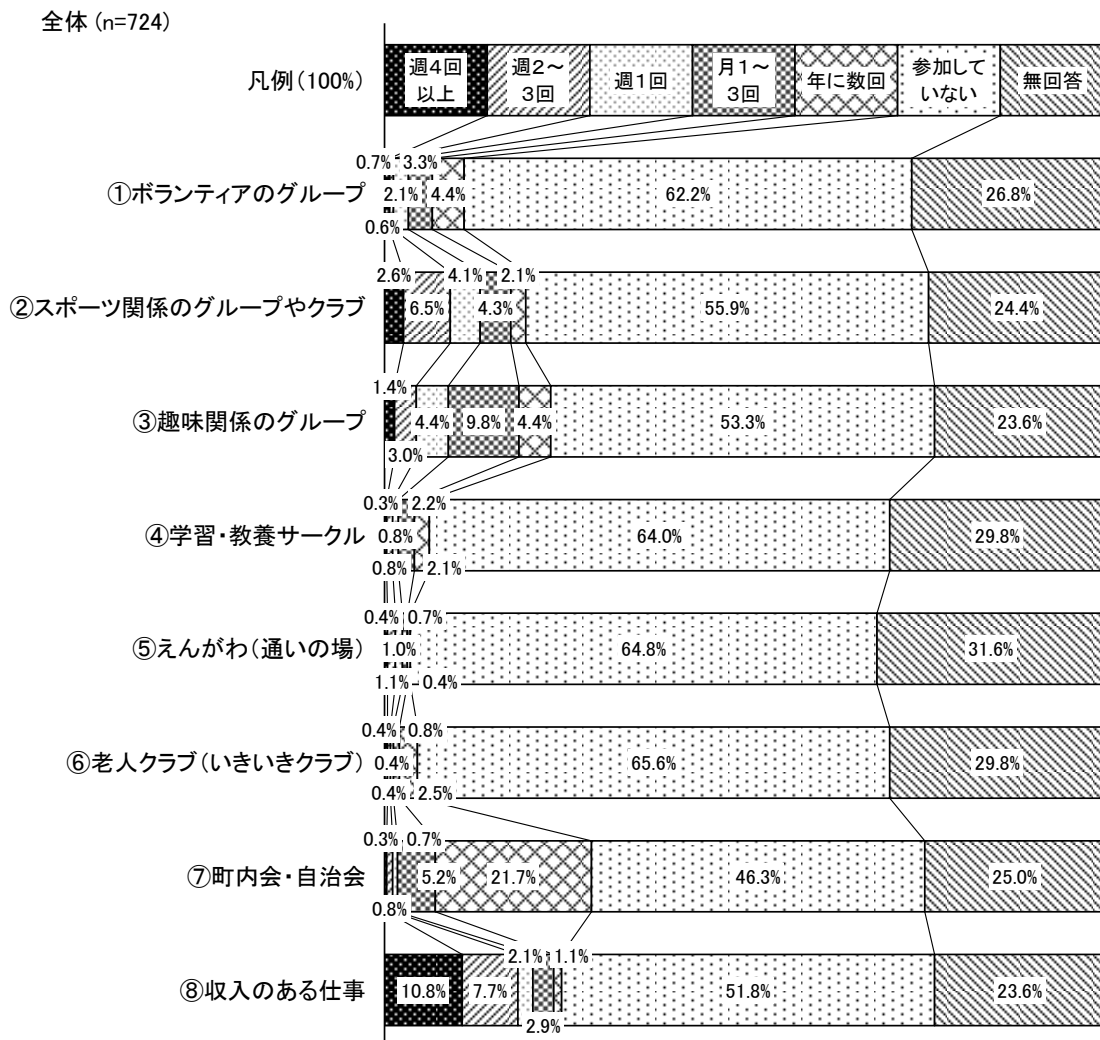


6 地域での活動について

(1) 会・グループ等への参加頻度

問5 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
 (①-⑧それぞれにあてはまる場所へ☑で回答してください)

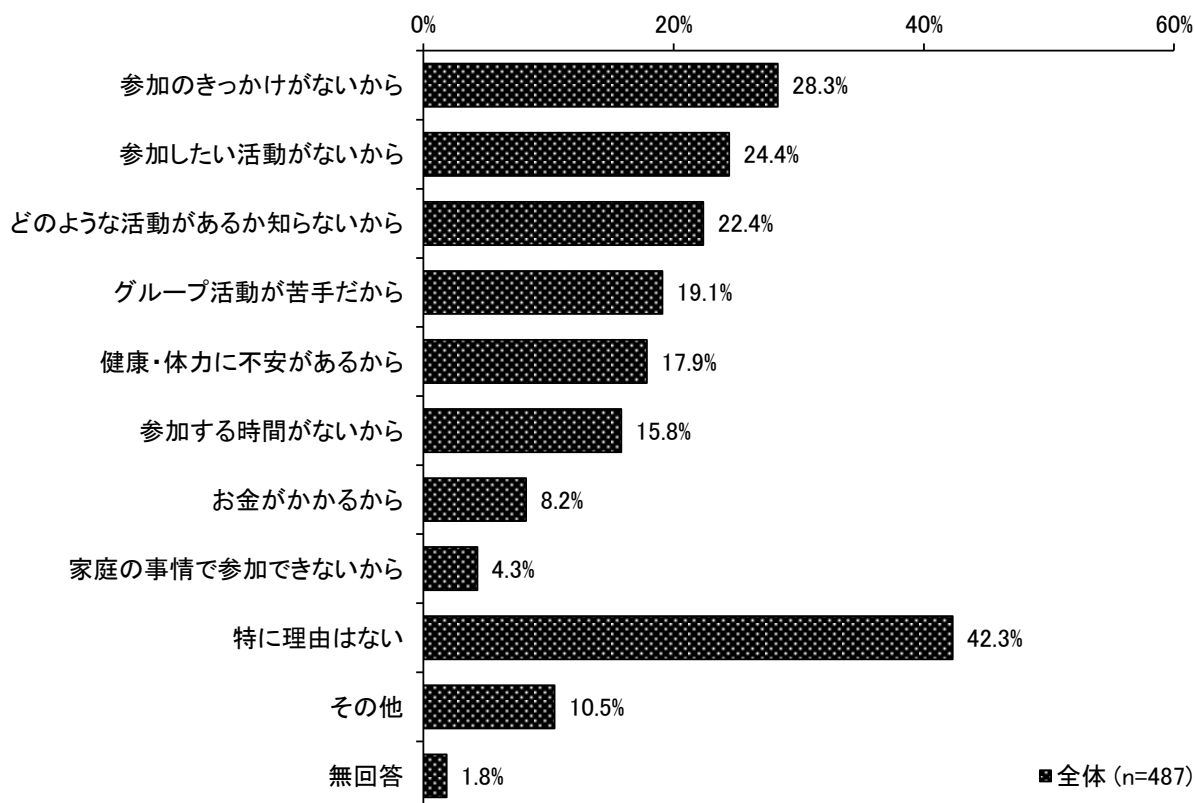
会・グループ等への参加頻度については、「②スポーツ関係のグループやクラブ」「③趣味関係のグループ」「⑦町内会・自治会」「⑧収入のある仕事」は比較的参加頻度が高く、特に「③趣味関係のグループ」では「月1～3回」が9.8%となっています。一方で「①ボランティアのグループ」「④学習・教養サークル」「⑤えんがわ(通いの場)」「⑥老人クラブ(いきいきクラブ)」は6割以上が「参加してない」と回答しています。



(2) 会・グループ等への不参加理由

【(1)で①～⑦の項目で3つ以上「参加していない」と回答した方のみお答えください】
問5(1)-① 参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに☑)

会・グループ等への不参加理由については、「特に理由はない」の割合が42.3%と最も高く、次いで「参加のきっかけがないから」(28.3%)、「参加したい活動がないから」(24.4%)、「どのような活動があるか知らないから」(22.4%)、「グループ活動が苦手だから」(19.1%)の順となっています。

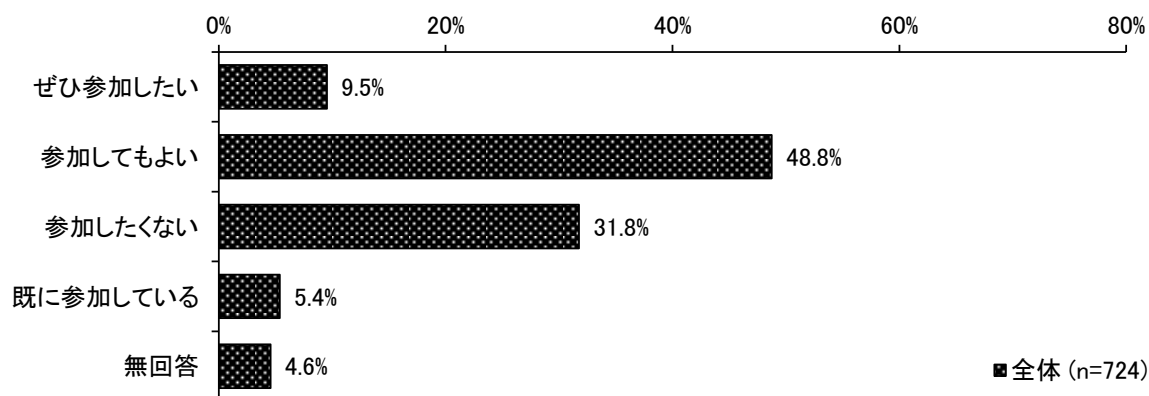


(3) 会・グループ等への参加者としての参加意向

【ここからは全員の方がお答えください】

問5(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(☑は一つ)

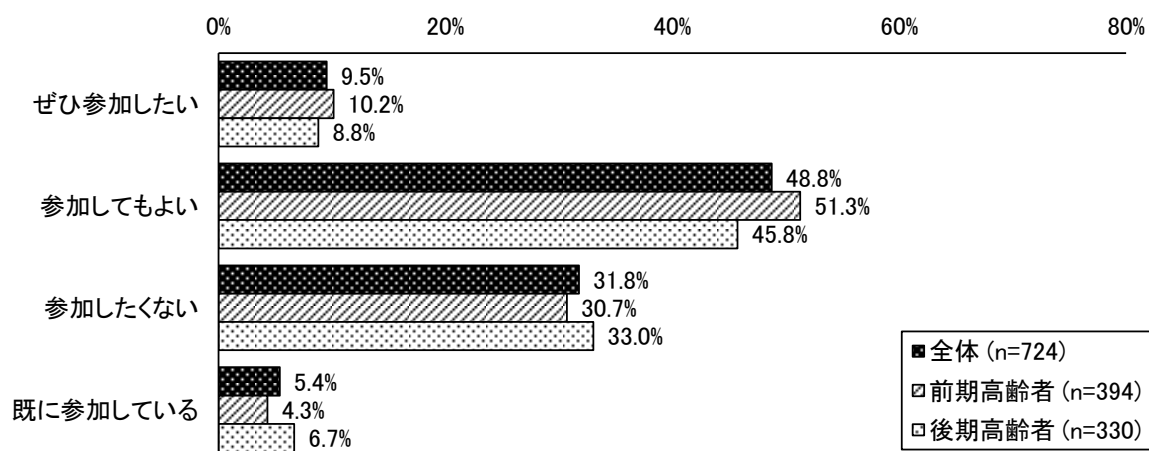
会・グループ等への参加者としての参加意向については、「参加してもよい」の割合が48.8%と最も高く、次いで「参加したくない」(31.8%)、「ぜひ参加したい」(9.5%)の順となっています。



クロス集計

【会・グループ等への参加者としての参加意向（前期・後期高齢者別）】

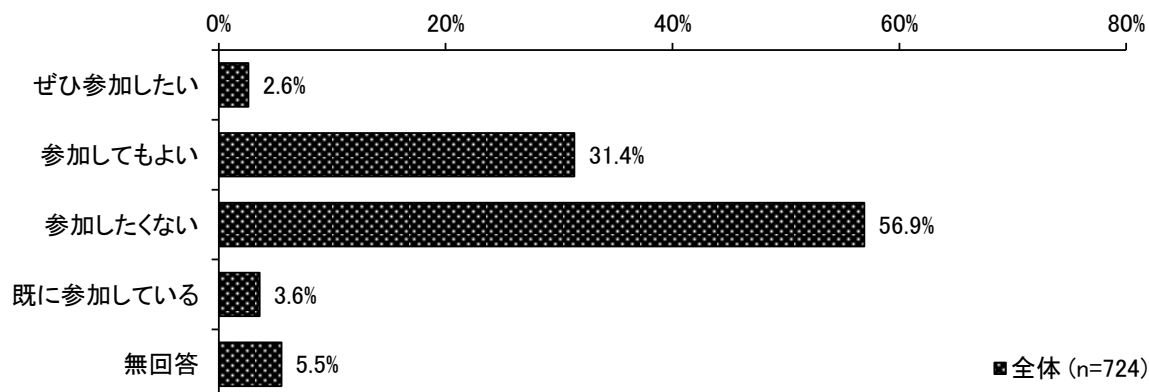
会・グループ等への参加者としての参加意向について前期高齢者と後期高齢者を比較すると、「参加してもよい」では前期高齢者(51.3%)、後期高齢者(45.8%)で、前期高齢者が5.5ポイント高くなっています。



(4) 会・グループ等への企画・運営者としての参加意向

問5(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(☑は一つ)

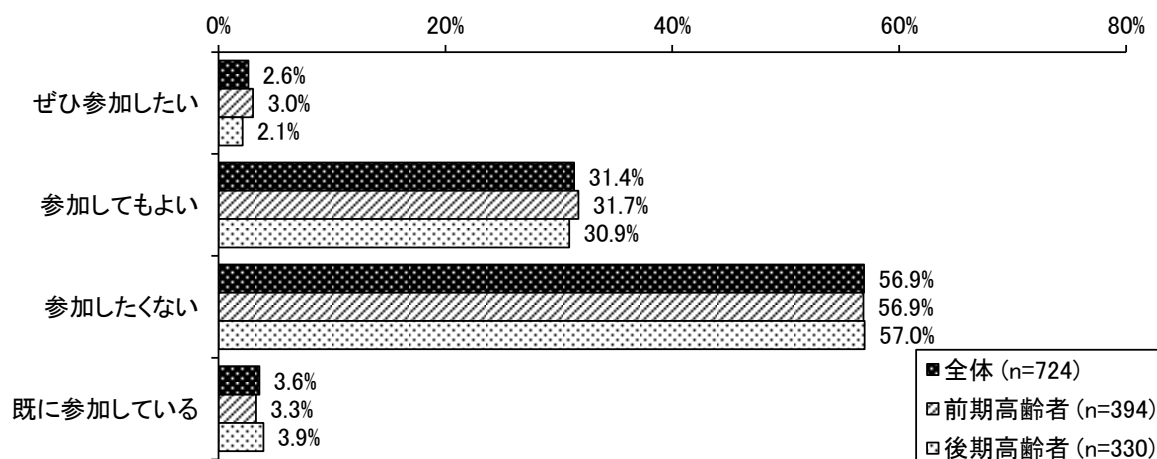
会・グループ等への企画・運営者としての参加意向については、「参加したくない」の割合が56.9%と最も高く、次いで「参加してもよい」(31.4%)、「既に参加している」(3.6%)の順となっています。



クロス集計

【会・グループ等への企画・運営者としての参加意向(前期・後期高齢者別)】

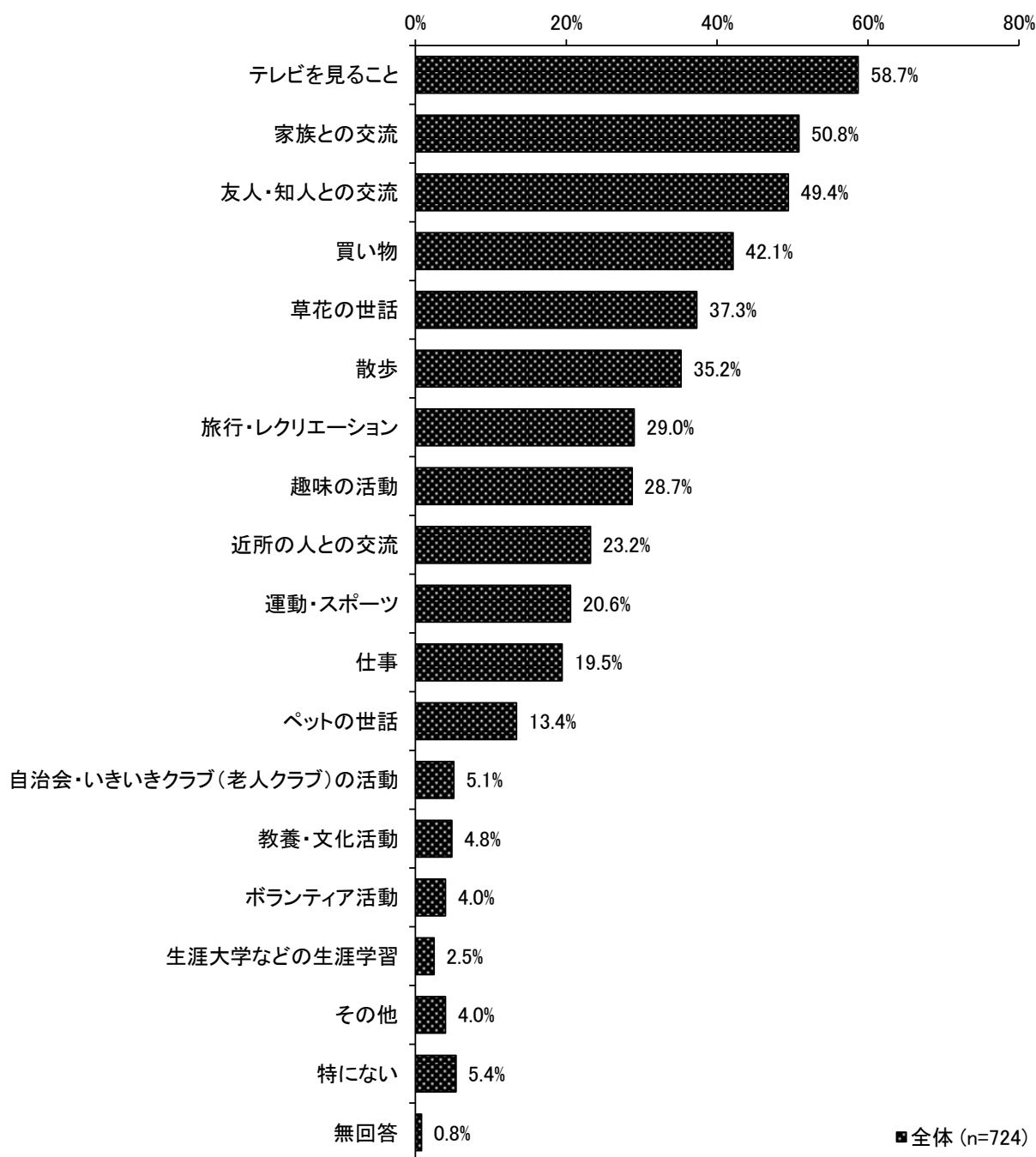
会・グループ等への企画・運営者としての参加意向を前期・後期高齢者別にみると、「参加したくない」は前期高齢者が56.9%、後期高齢者が57.0%で最も高くなっています。



(5) 日常生活の楽しみ

問5(4) あなたが現在、日常生活で楽しみにしていることは何ですか。
(あてはまるものすべてに☑)

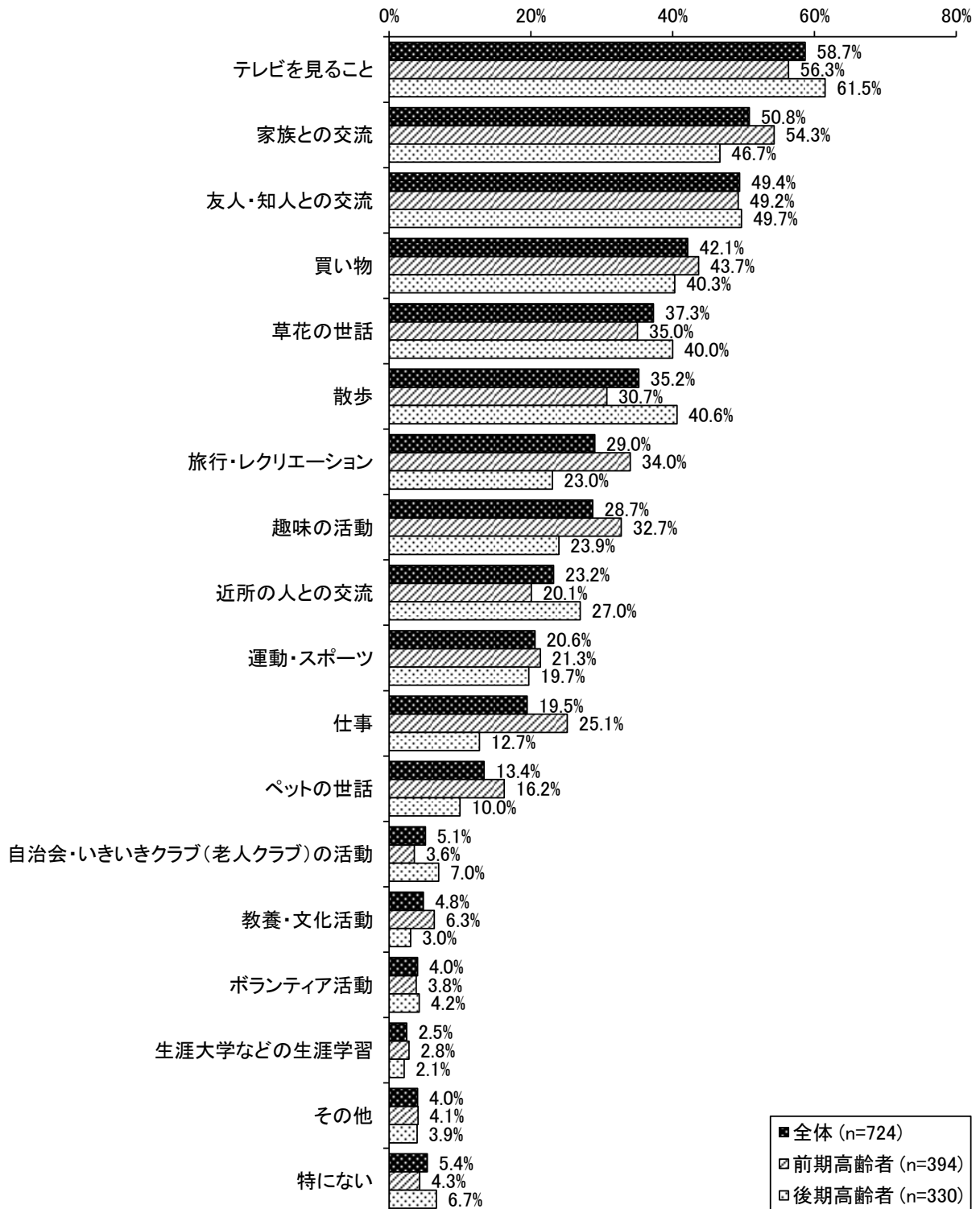
日常生活の楽しみについては、「テレビを見ること」の割合が58.7%と最も高く、次いで「家族との交流」(50.8%)、「友人・知人との交流」(49.4%)、「買い物」(42.1%)、「草花の世話」(37.3%)、「散歩」(35.2%)の順となっています。



クロス集計

【日常生活の楽しみ（前期・後期高齢者別）】

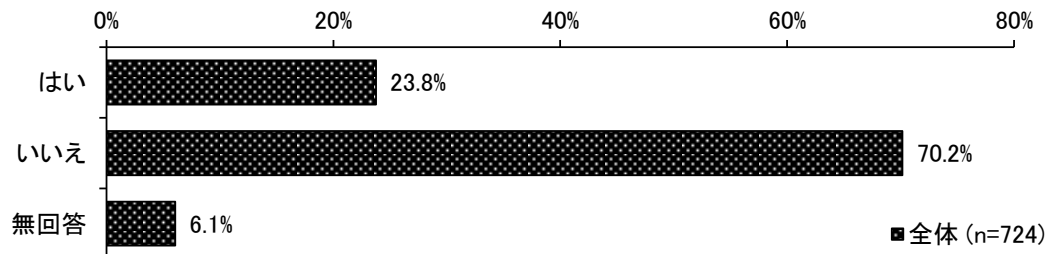
日常生活の楽しみについて前期高齢者と後期高齢者を比較すると、「家族との交流」「買い物」などで前期高齢者の割合が高くなっており、一方、「テレビを見ること」「友人・知人との交流」「草花の世話」「散歩」などでは後期高齢者の割合が高くなっています。



(6) 介護支援ボランティア活動の認知状況

問5(5) あなたは介護支援ボランティア活動をご存知ですか。(☑は一つ)

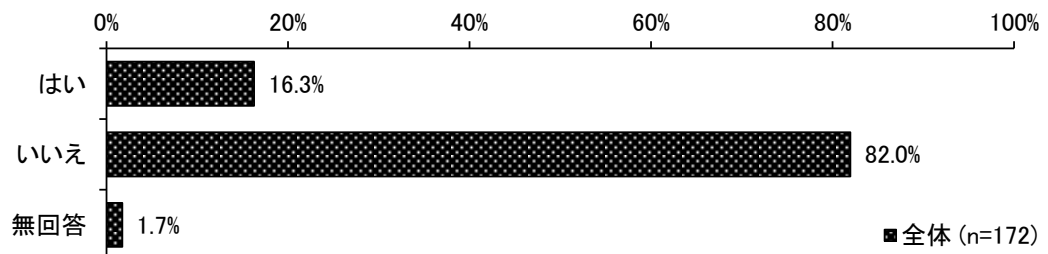
介護支援ボランティア活動の認知状況については、「はい」が23.8%、「いいえ」が70.2%となっています。

**(7) 介護支援ボランティア活動の参加経験の有無**

【(5)で「はい」と回答した方のみお答えください】

問5(5)-① あなたは介護支援ボランティア活動に参加したことがありますか。(☑は一つ)

介護支援ボランティア活動の参加経験の有無については、「はい」が16.3%、「いいえ」が82.0%となっています。

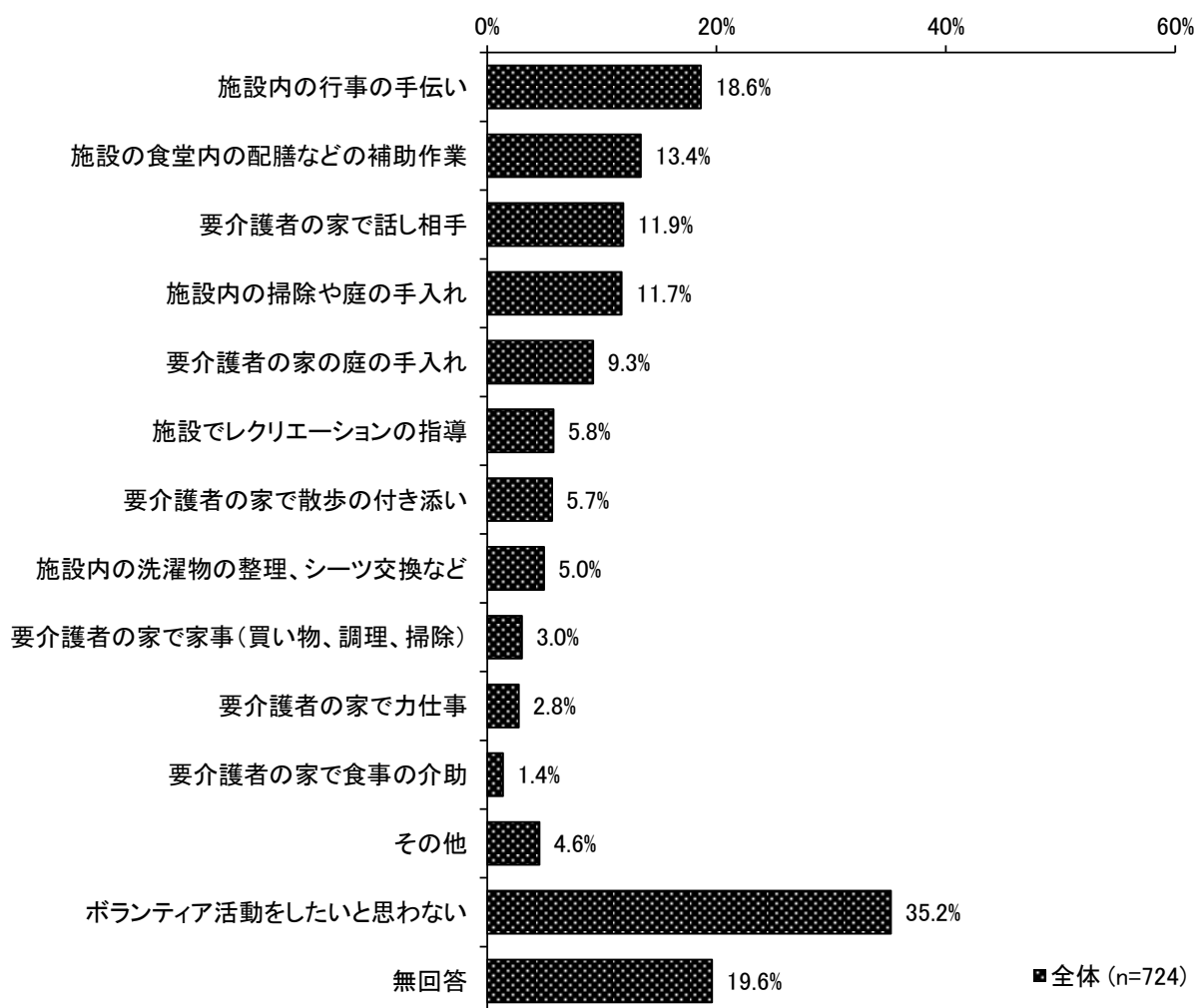


(8) 参加してみたい介護支援ボランティア活動

【ここからは全員の方がお答えください】

問5(6) ボランティア活動に参加するとしたらどのような活動をしてみたいです
か。(あてはまるものすべてに☑)

参加してみたい介護支援ボランティア活動については、「施設内の行事の手伝い」の割合が18.6%と最も高く、次いで「施設の食堂内の配膳などの補助作業」(13.4%)、「要介護者の家で話し相手」(11.9%)、「施設内の掃除や庭の手入れ」(11.7%)、「要介護者の家の庭の手入れ」(9.3%)の順となっています。

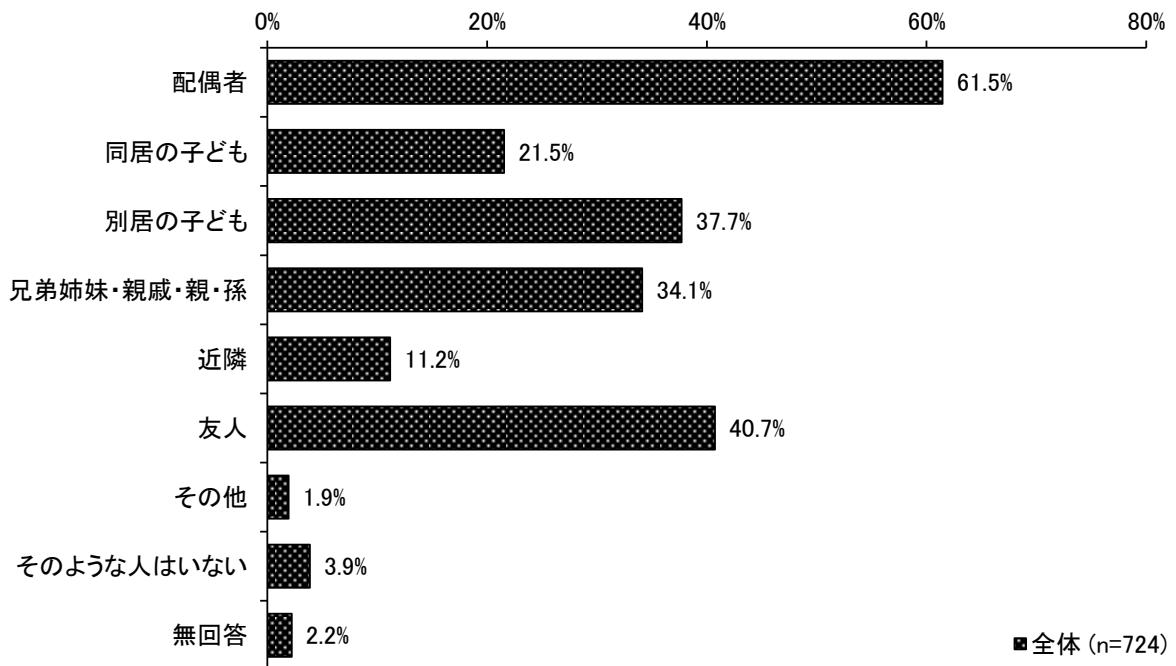


7 たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人

問6(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。
 (あてはまるものすべてに☑)

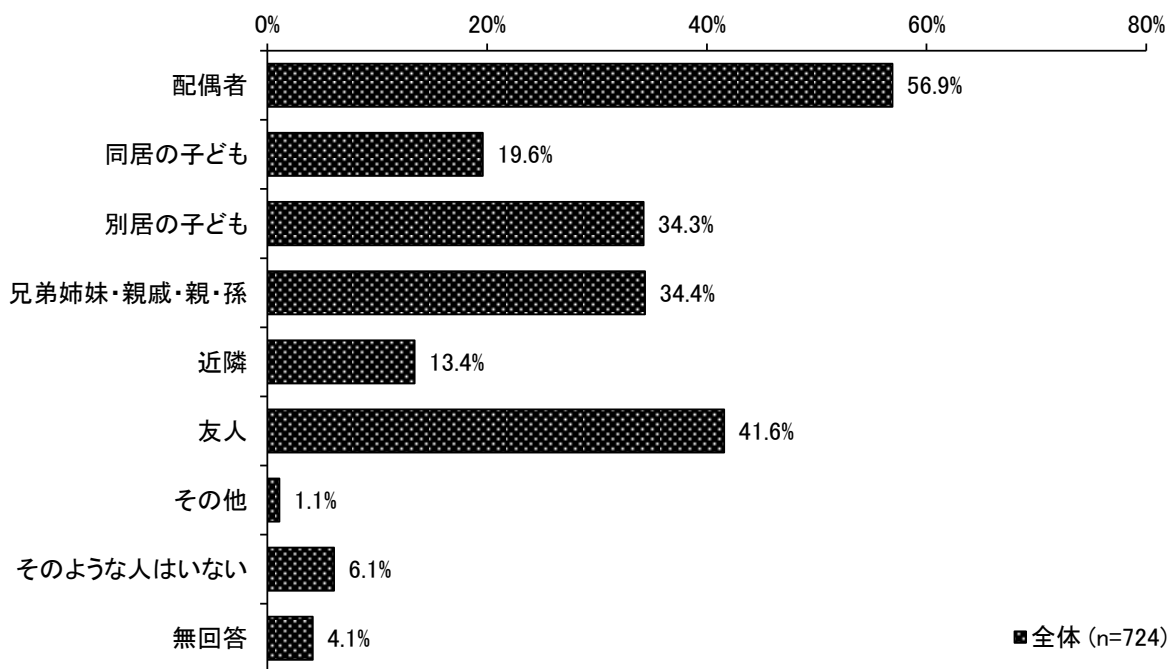
心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人については、「配偶者」の割合が61.5%と最も高く、次いで「友人」(40.7%)、「別居の子ども」(37.7%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(34.1%)の順となっています。



(2) 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人

問6(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。
(あてはまるものすべてに☑)

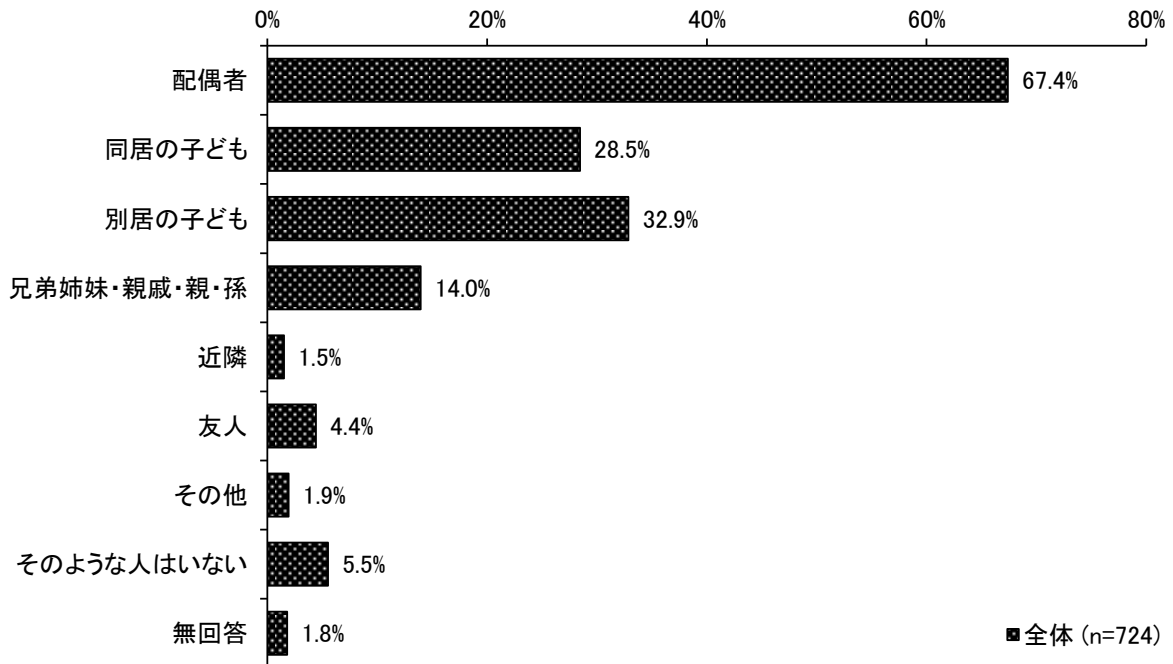
心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人については、「配偶者」の割合が56.9%と最も高く、次いで「友人」(41.6%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(34.4%)、「別居の子ども」(34.3%)の順となっています。



(3) 看病や世話をしてくれる人

問6(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいませんか。(あてはまるものすべてに☑)

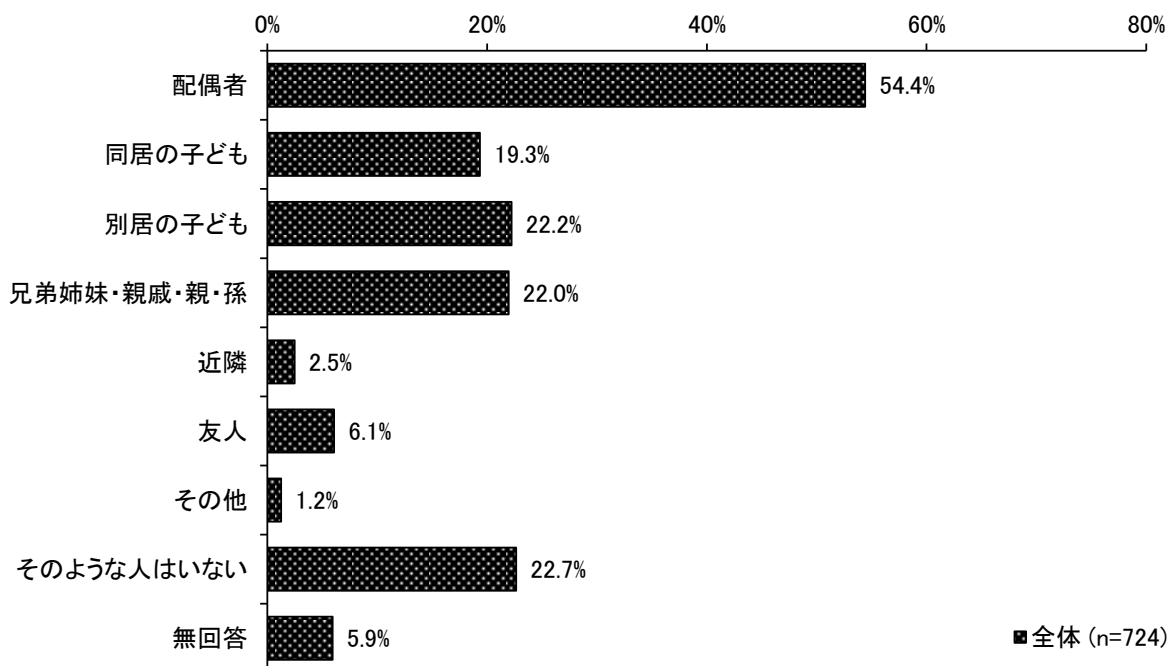
看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」の割合が67.4%と最も高く、次いで「別居の子ども」(32.9%)、「同居の子ども」(28.5%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(14.0%)の順となっています。



(4) 看病や世話をしあける人

問6(4) 反対に、看病や世話をしあける人はいますか。
(あてはまるものすべてに☑)

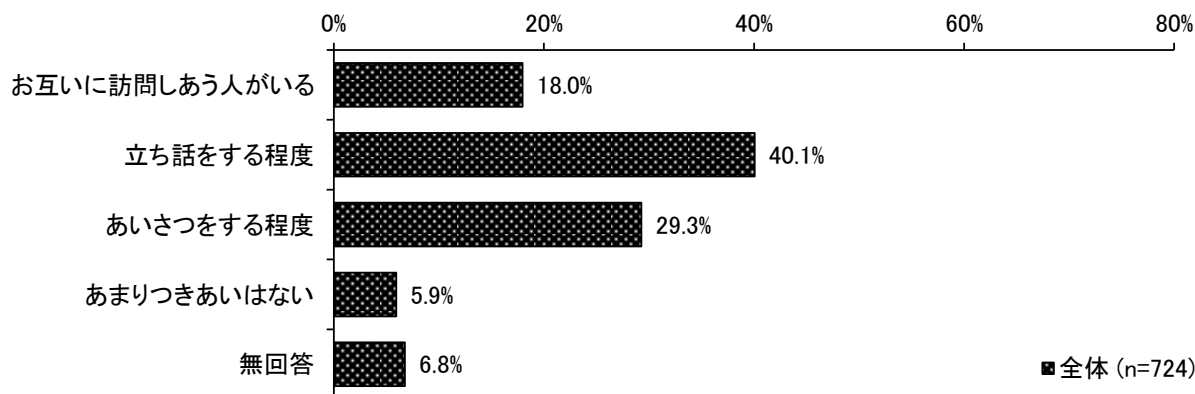
看病や世話をしあける人については、「配偶者」の割合が54.4%と最も高く、次いで「別居の子ども」(22.2%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(22.0%)、「同居の子ども」(19.3%)の順となっています。一方で、「そのような人はいない」の割合は22.7%を占めています。



(5) 近所づきあいの程度

問6 (5) あなたは、近所の人とどの程度のつきあいがありますか。(☑は一つ)

近所づきあいの程度については、「立ち話をする程度」の割合が40.1%と最も高く、次いで「あいさつをする程度」(29.3%)、「お互いに訪問しあう人がいる」(18.0%)の順となっています。

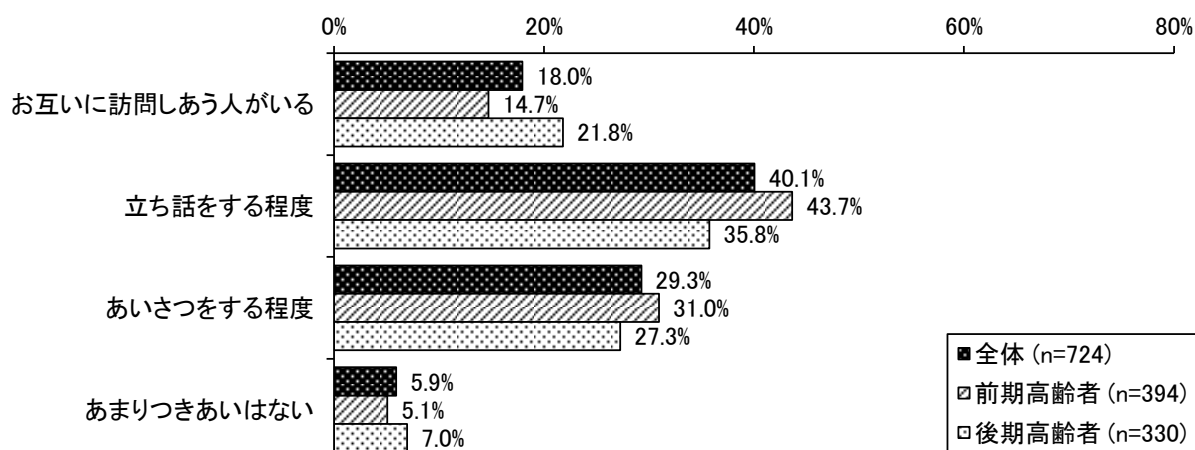


クロス集計

【近所づきあいの程度（前期・後期高齢者別）】

近所づきあいの程度について前期・後期高齢者別にみると、「立ち話をする程度」は前期高齢者が43.7%、後期高齢者が35.8%で最も高くなっています。

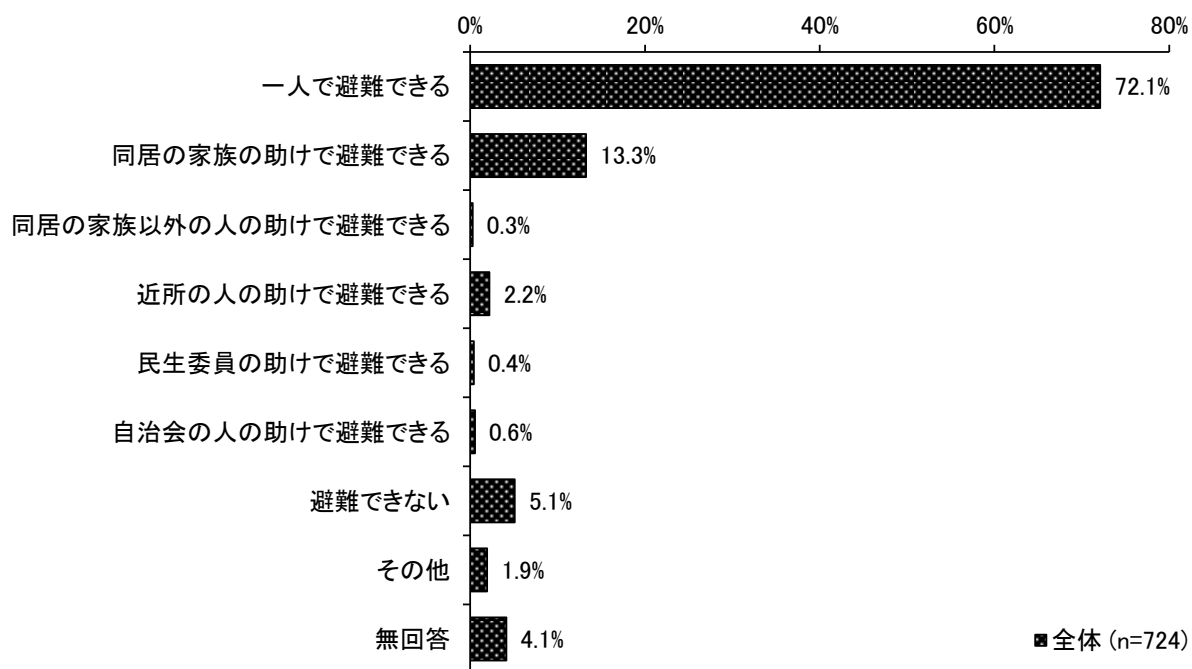
前期高齢者と後期高齢者を比較すると、「立ち話をする程度」「あいさつをする程度」などで前期高齢者の割合が高くなっており、一方、「お互いに訪問しあう人がいる」「あまりつきあいはない」などでは後期高齢者の割合が高くなっています。



(6) 避難所へ避難できるかについて

問6(6) あなたは、地震などの災害発生時に自宅から避難所まで避難できますか。
(☑は一つ)

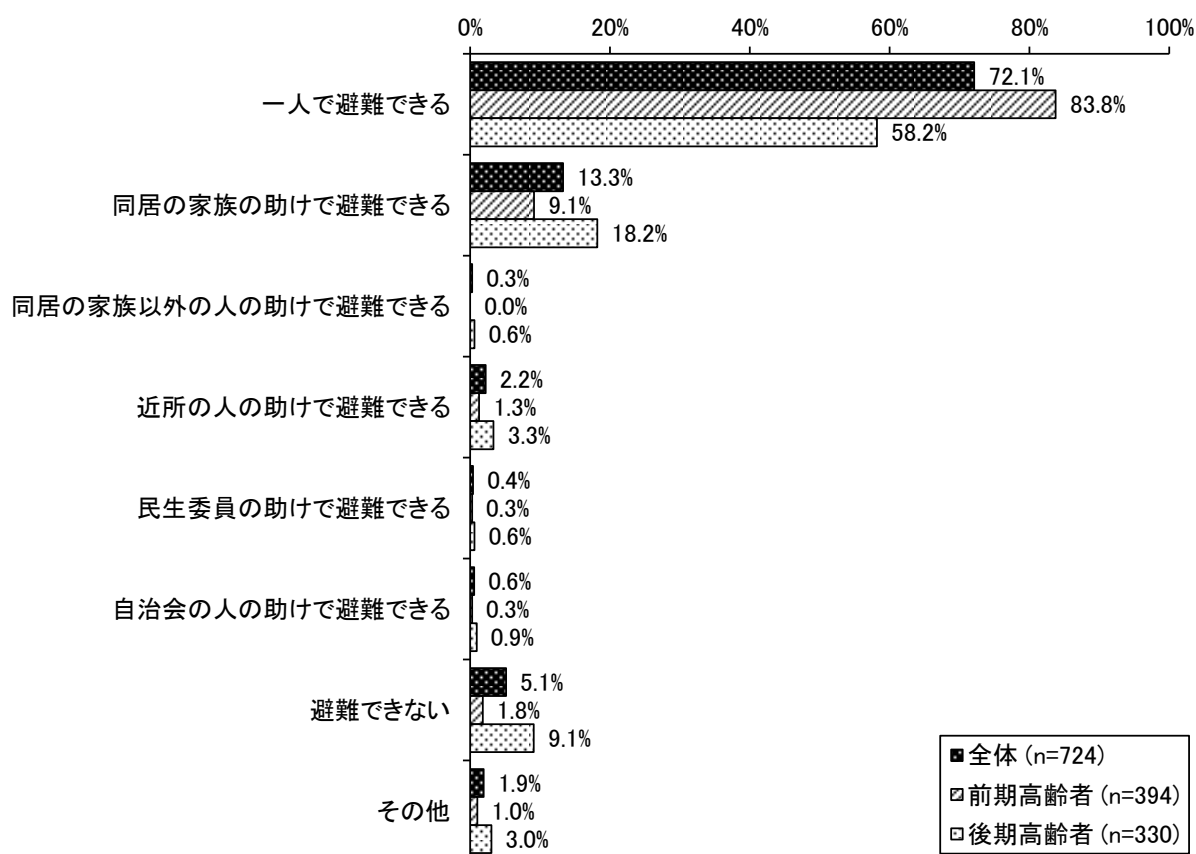
避難所へ避難できるかについては、「一人で避難できる」の割合が72.1%と突出して高くなっています。



クロス集計

【避難所へ避難できるかについて（前期・後期高齢者別）】

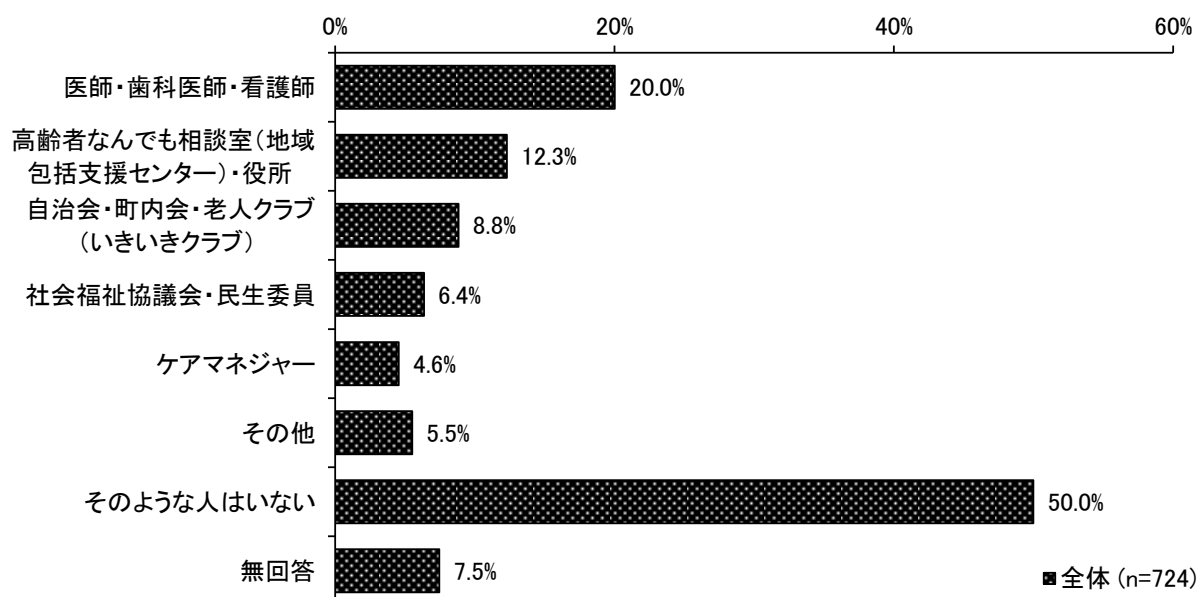
避難所へ避難できるかについて前期高齢者と後期高齢者を比較すると、「一人で避難できる」で前期高齢者の割合が高くなっており、一方、「同居の家族の助けで避難できる」「避難できない」などでは後期高齢者の割合が高くなっています。



(7) 家族・友人・知人以外の相談相手

問6(7) あなたが家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(あてはまるものすべてに☑)

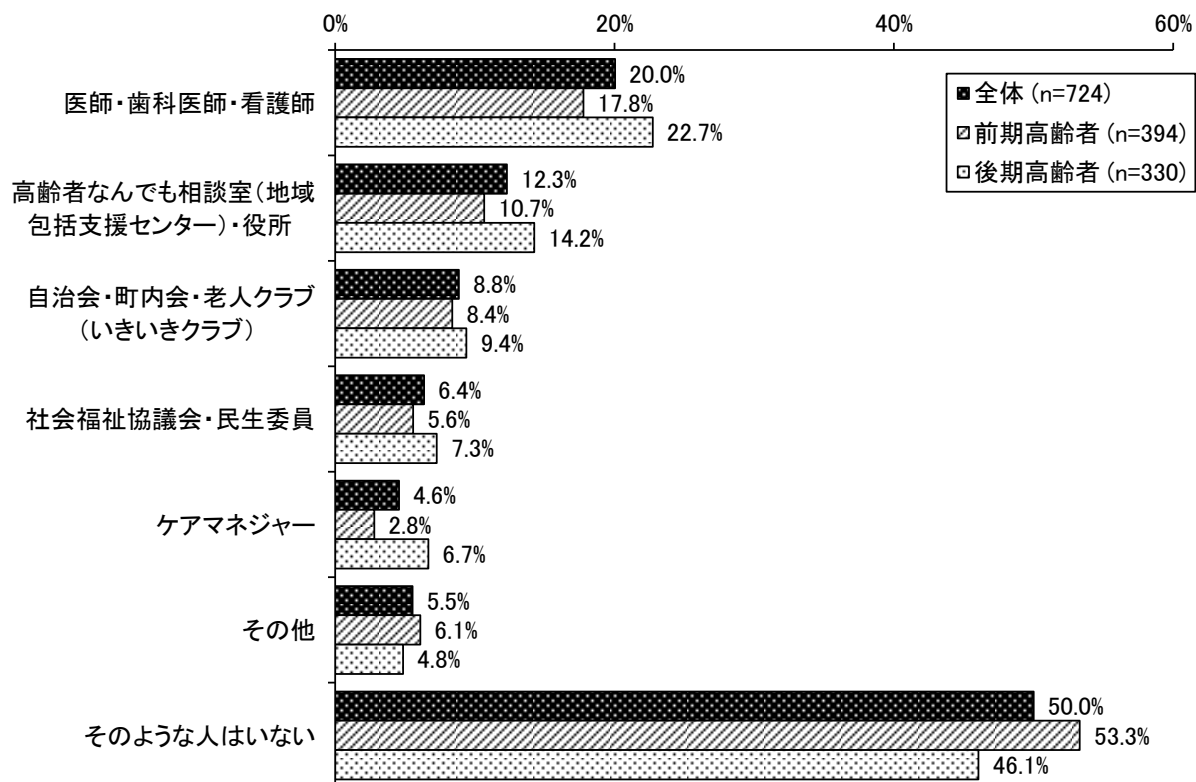
家族・友人・知人以外の相談相手については、「医師・歯科医師・看護師」の割合が20.0%と最も高く、次いで「高齢者なんでも相談室(地域包括支援センター)・役所」(12.3%)、「自治会・町内会・老人クラブ(いきいきクラブ)」(8.8%)の順となっています。一方で、「そのような人はいない」の割合は50.0%を占めています。



クロス集計

【家族・友人・知人以外の相談相手（前期・後期高齢者別）】

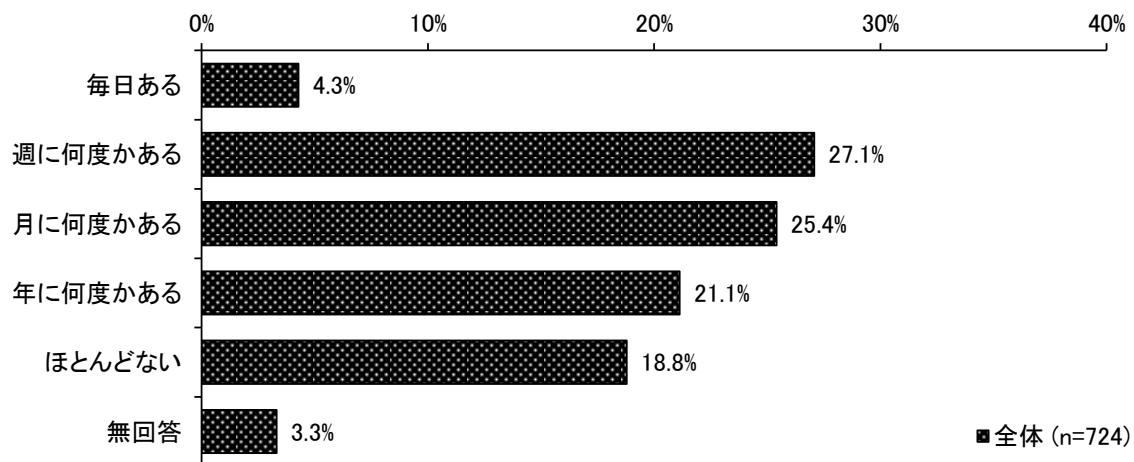
家族・友人・知人以外の相談相手について前期・後期高齢者別にみると、「そのような人はいない」は前期高齢者が53.3%、後期高齢者が46.1%で最も高くなっています。



(8) 友人・知人と会う頻度

問6 (8) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(☑は一つ)

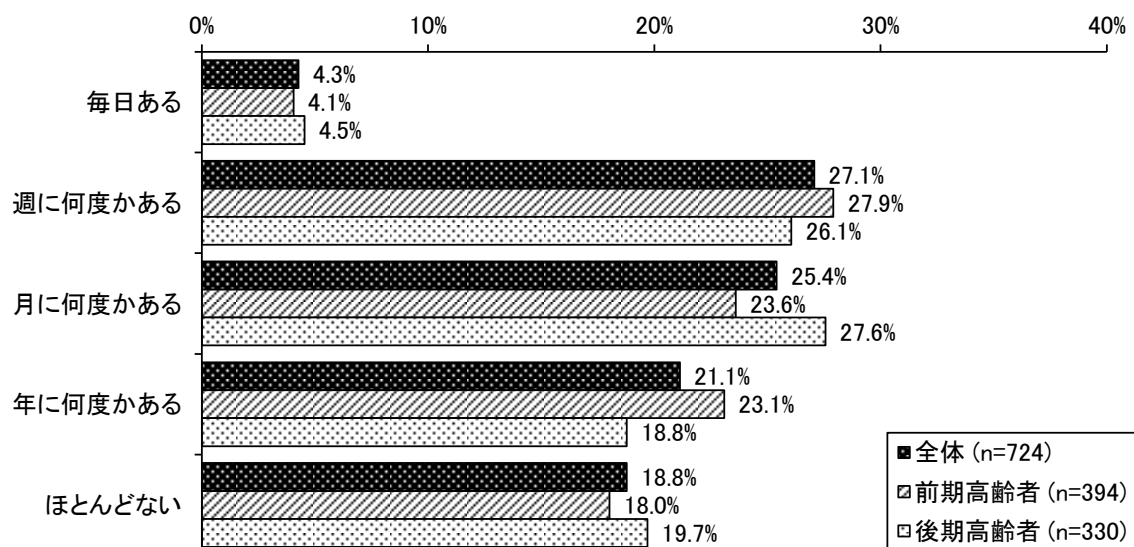
友人・知人と会う頻度については、「週に何度かある」の割合が 27.1%と最も高く、次いで「月に何度かある」(25.4%)、「年に何度かある」(21.1%)の順となっています。



クロス集計

【友人・知人と会う頻度（前期・後期高齢者別）】

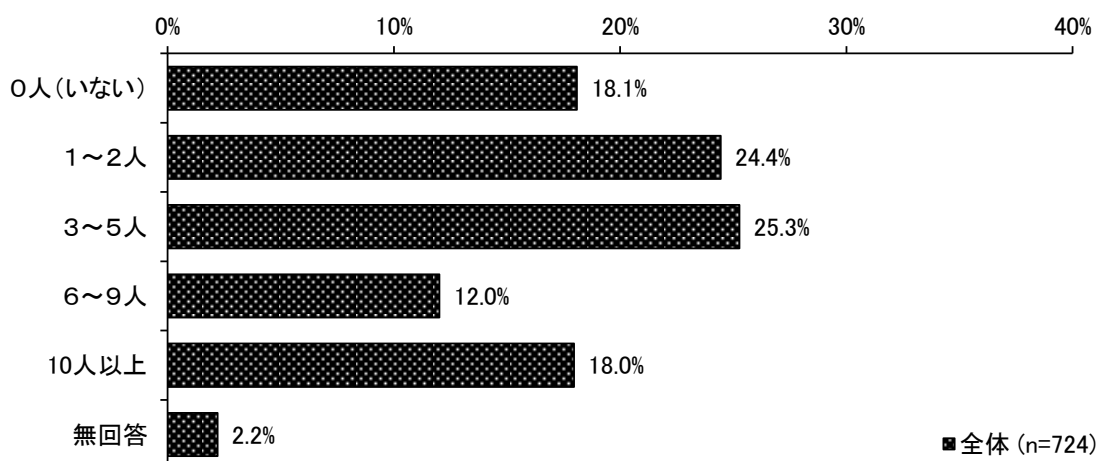
友人・知人と会う頻度について前期・後期高齢者別にみると、前期高齢者は「週に何度かある」が 27.9%、後期高齢者は「月に何度かある」が 27.6%で最も高くなっています。



(9) 友人・知人と会ったこと

問6 (9) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(☑は一つ)

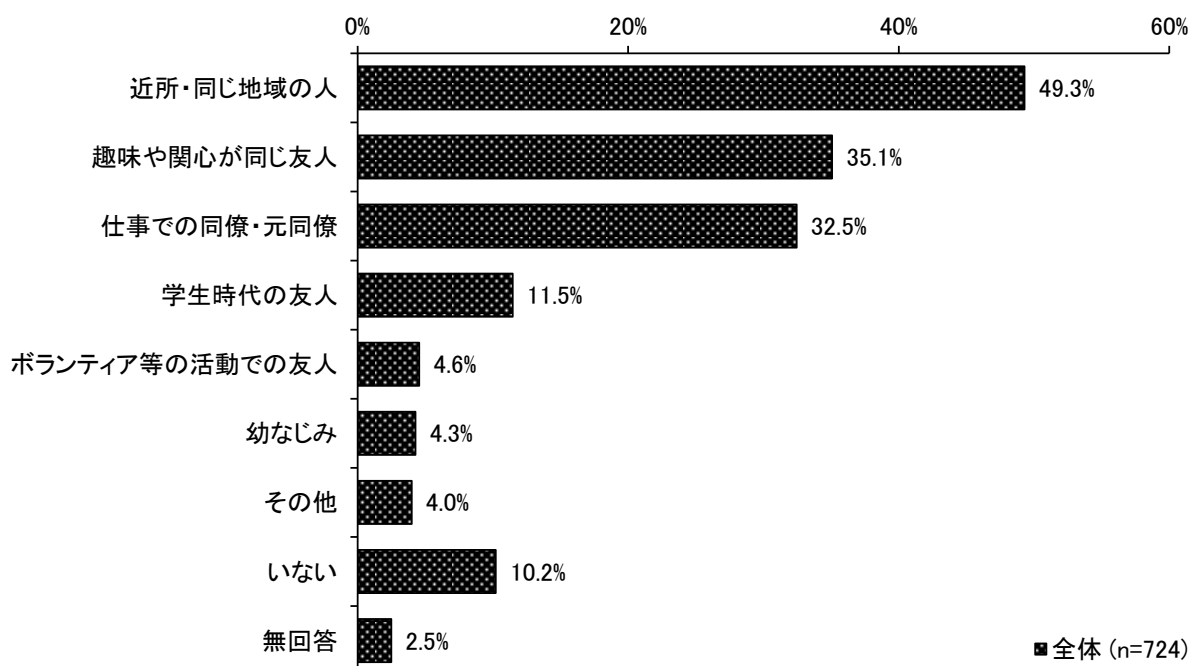
友人・知人と会ったことについては、「3～5人」の割合が25.3%と最も高く、次いで「1～2人」(24.4%)、「0人(いない)」(18.1%)の順となっています。



(10) よく会う友人・知人との関係

問6 (10) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(あてはまるものすべてに☑)

よく会う友人・知人との関係については、「近所・同じ地域の人」の割合が49.3%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(35.1%)、「仕事での同僚・元同僚」(32.5%)、「学生時代の友人」(11.5%)の順となっています。

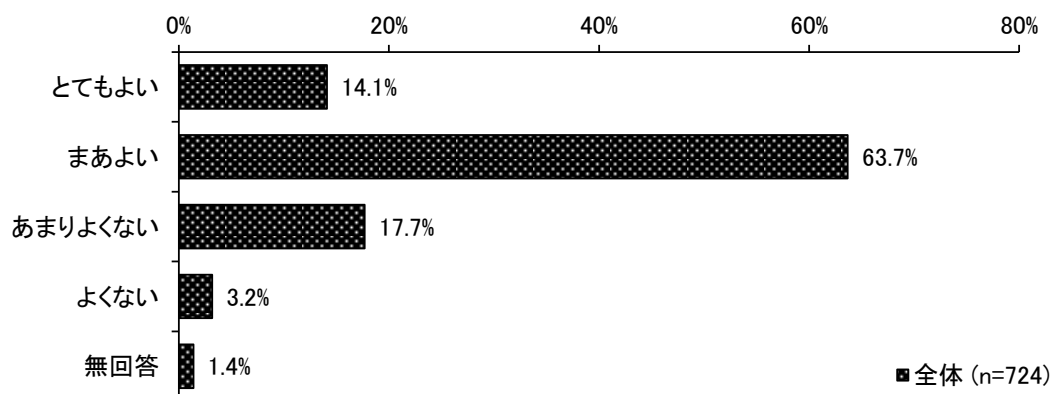


8 健康について

(1) 健康状態

問7(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(☑は一つ)

健康状態については、「まあよい」の割合が63.7%と最も高く、「とてもよい」(14.1%)を合計すると77.8%が『よい』と回答しています。一方、「あまりよくない」(17.7%)、「よくない」(3.2%)の合計は20.9%となっています。

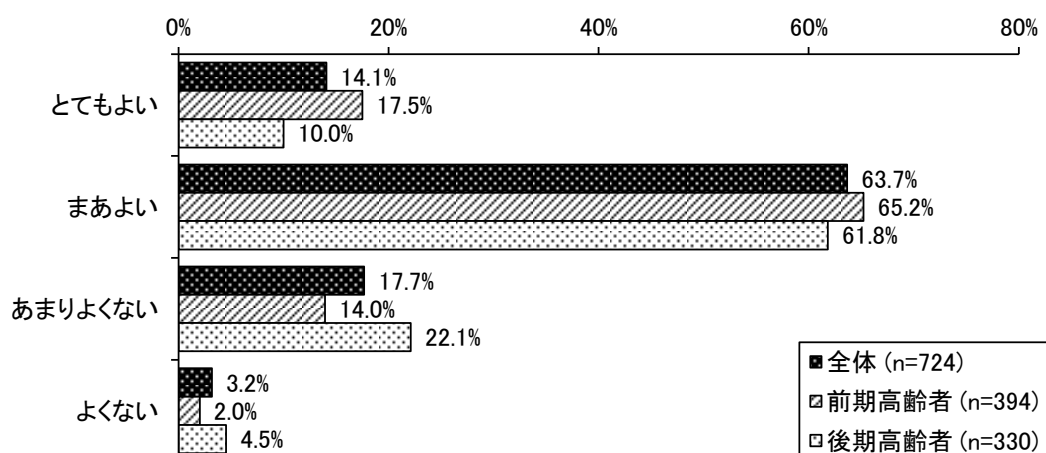


クロス集計

【健康状態（前期・後期高齢者別）】

健康状態について前期・後期高齢者別にみると、「まあよい」は前期高齢者が65.2%、後期高齢者が61.8%で最も高くなっています。

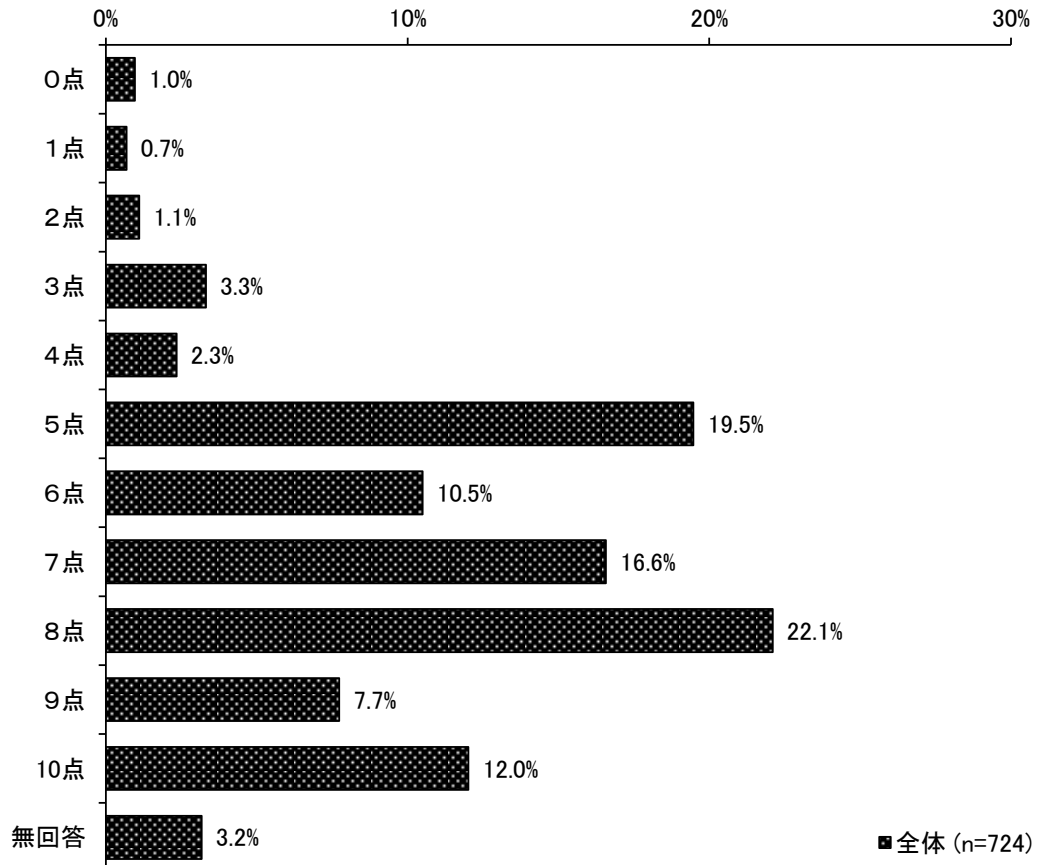
前期高齢者と後期高齢者を比較すると、「とてもよい」で前期高齢者の割合が高くなっており、「あまりよくない」で後期高齢者の割合が高くなっています。



(2) 幸福度

問7(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(☑は一つ)
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

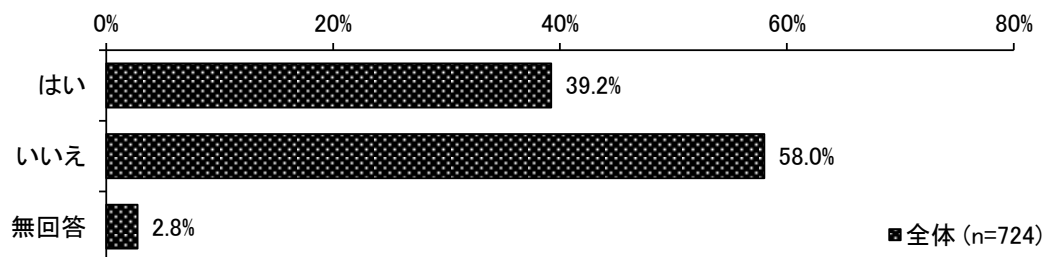
幸福度については、「8点」の割合が22.1%と最も高く、次いで「5点」(19.5%)、「7点」(16.6%)、「10点」(12.0%)の順となっており、平均点で6.9点となっています。



(3) 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりする経験

問7(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(☑は一つ)

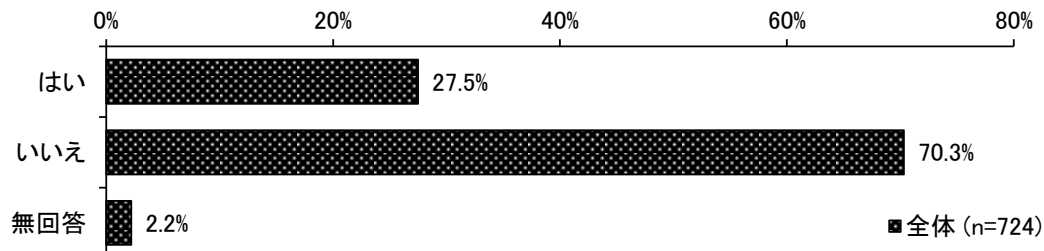
気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりする経験については、「はい」が39.2%、「いいえ」が58.0%となっています。



(4) 興味・関心の低下

問7(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(☑は一つ)

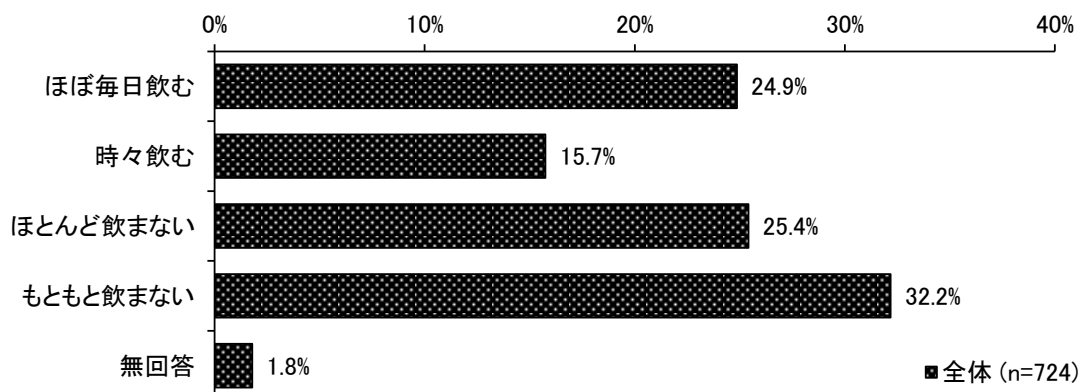
興味・関心の低下については、「はい」が27.5%、「いいえ」が70.3%となっています。



(5) 飲酒の有無

問7(5) お酒は飲みますか。(☑は一つ)

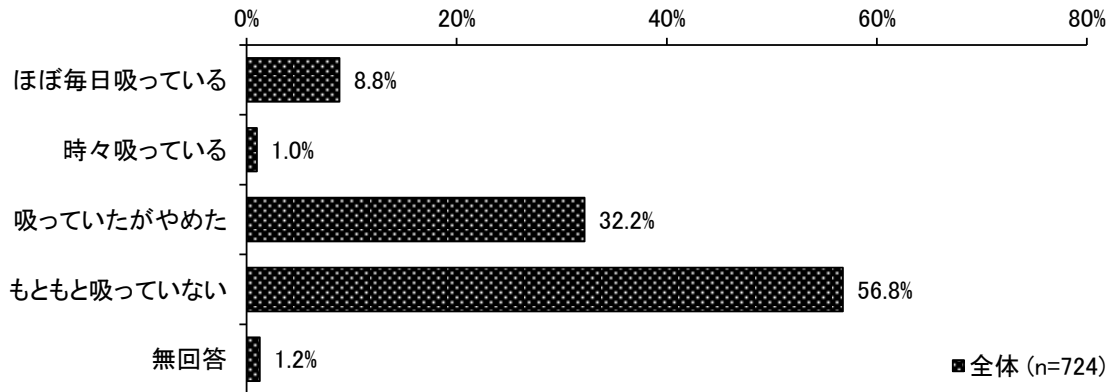
飲酒の有無については、「もともと飲まない」の割合が32.2%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」(25.4%)、「ほぼ毎日飲む」(24.9%)の順となっています。



(6) 喫煙の有無

問7(6) タバコは吸っていますか。(☑は一つ)

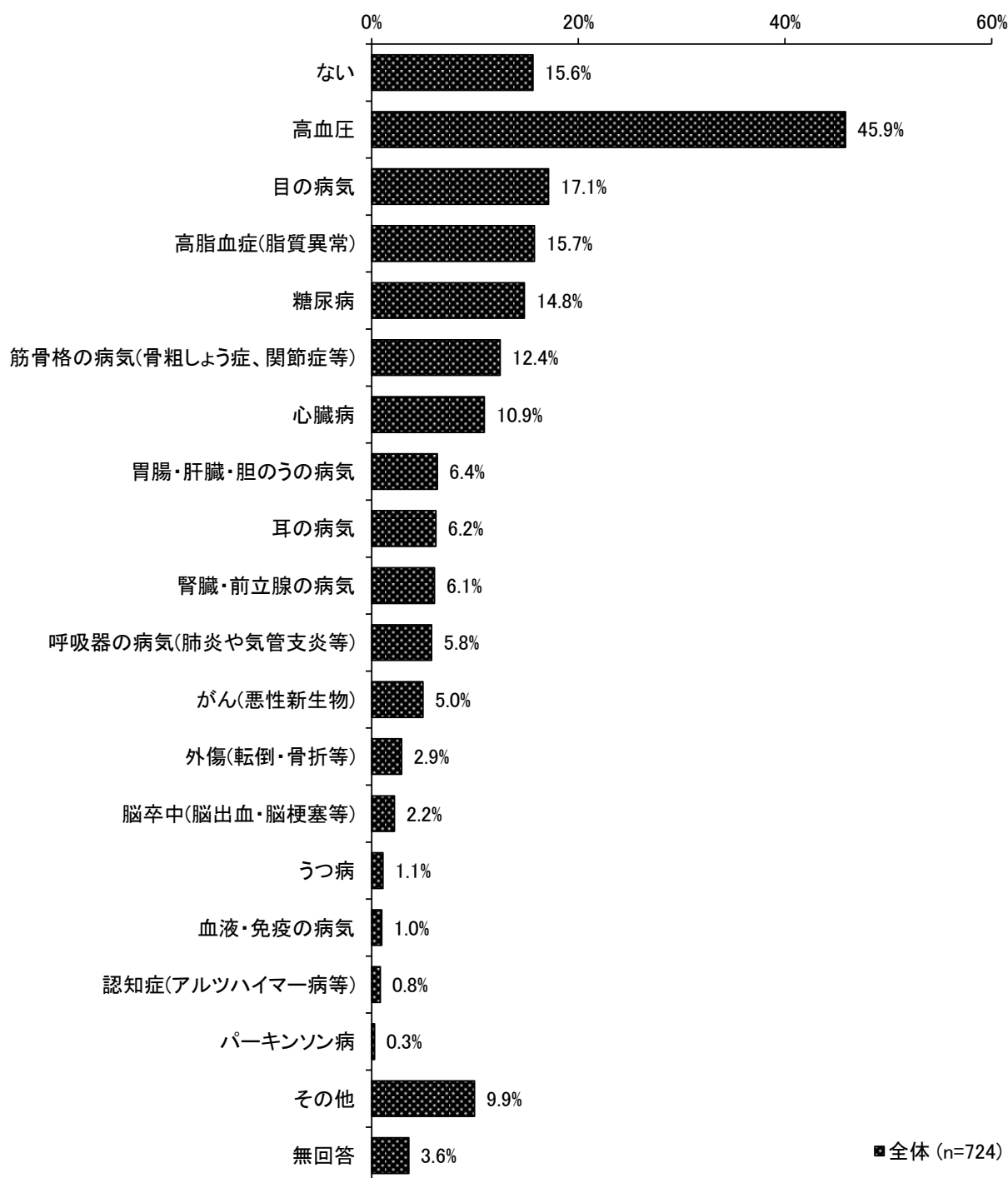
喫煙の有無については、「もともと吸っていない」の割合が56.8%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」(32.2%)、「ほぼ毎日吸っている」(8.8%)の順となっています。



(7) 治療中の病気

問7(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。
(あてはまるものすべてに☑)

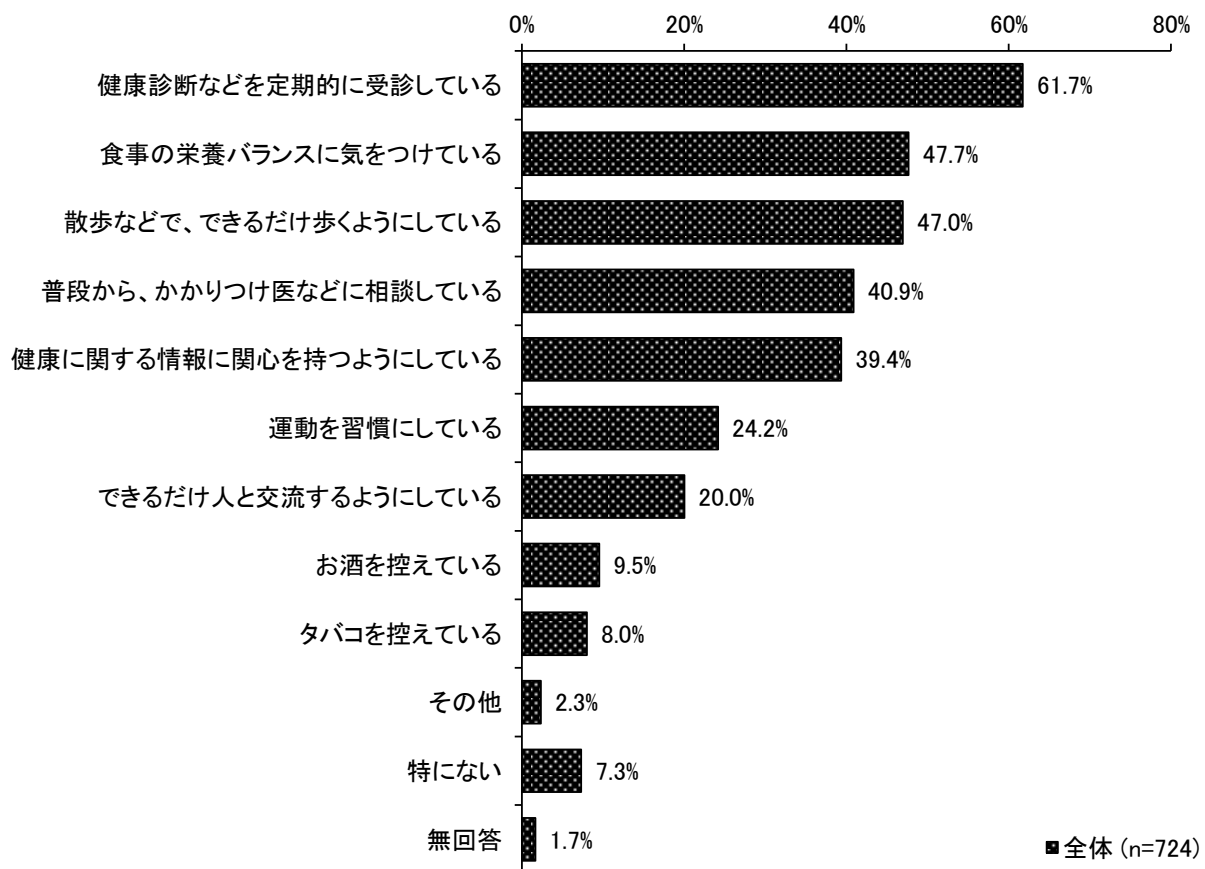
治療中の病気については、「高血圧」の割合が45.9%と最も高く、次いで「目の病気」(17.1%)、「高脂血症(脂質異常)」(15.7%)、「糖尿病」(14.8%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(12.4%)、「心臓病」(10.9%)の順となっています。一方で、「ない」の割合は15.6%となっています。



(8) 実行している健康・体調管理

問7(8) あなたには、健康や体調管理のために実行していることはありますか。
(あてはまるものすべてに☑)

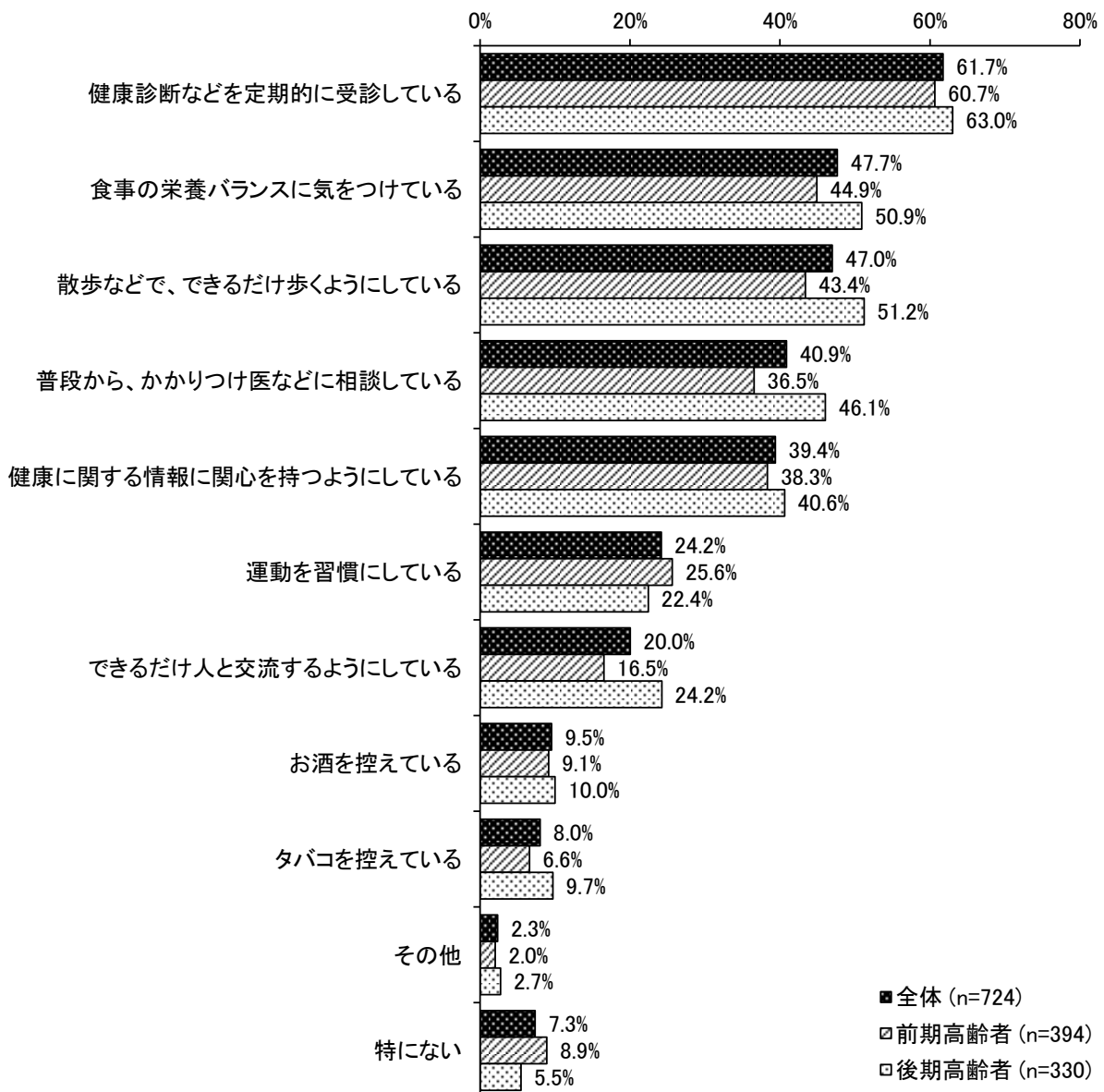
実行している健康・体調管理については、「健康診断などを定期的に受診している」の割合が61.7%と最も高く、次いで「食事の栄養バランスに気をつけている」(47.7%)、「散歩などで、できるだけ歩くようにしている」(47.0%)、「普段から、かかりつけ医などに相談している」(40.9%)、「健康に関する情報に関心を持つようにしている」(39.4%)の順となっています。



【実行している健康・体調管理（前期・後期高齢者別）】

実行している健康・体調管理について、前期・後期高齢者別にみると、「健康診断などを定期的に受診している」は前期高齢者が 60.7%、後期高齢者が 63.0%で最も高くなっています。

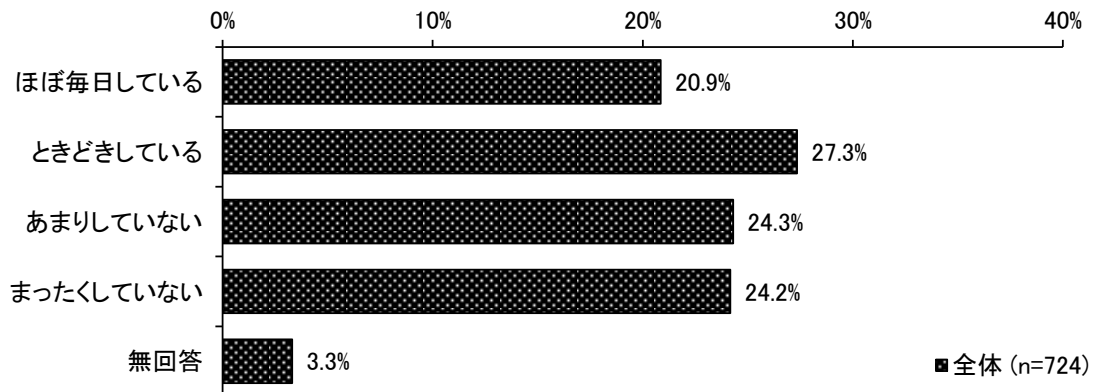
前期高齢者と後期高齢者を比較すると、「運動を習慣にしている」で前期高齢者の割合が高くなっており、一方、「健康診断などを定期的に受診している」「食事の栄養バランスに気をつけている」「散歩などで、できるだけ歩くようにしている」「普段から、かかりつけ医などに相談している」「健康に関する情報に関心を持つようにしている」「できるだけ人と交流するようになっている」などでは後期高齢者の割合が高くなっています。



(9) 運動の有無

問7(9) あなたは普段、健康維持のためにスポーツや運動などをしていますか。
(☑は一つ)

運動の有無については、「ときどきしている」の割合が27.3%と最も高く、「ほぼ毎日している」(20.9%)を合計すると48.2%が『している』と回答しています。一方、「あまりしていない」(24.3%)、「まったくしていない」(24.2%)の合計は48.5%となっています。

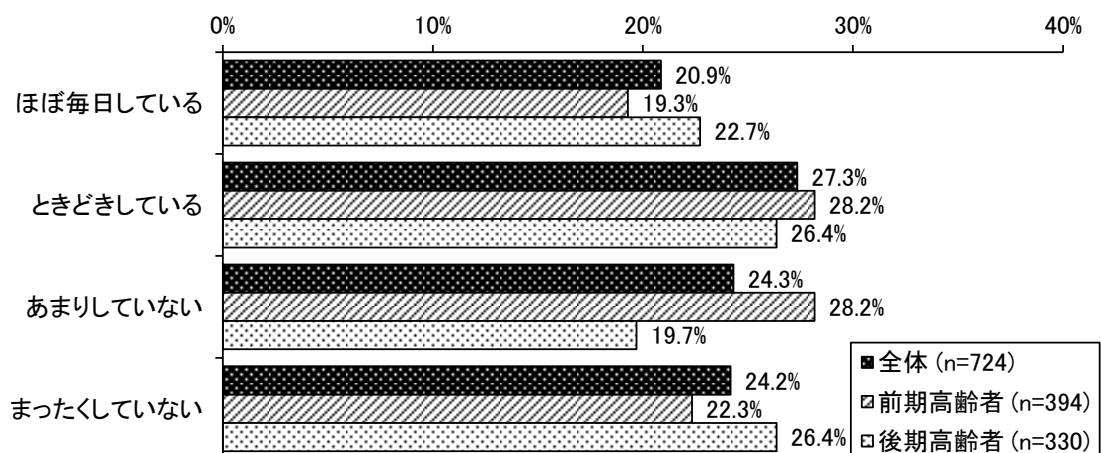


クロス集計

【運動の有無（前期・後期高齢者別）】

運動の有無について、前期・後期高齢者別にみると、前期高齢者は「ときどきしている」「あまりしていない」がともに28.2%、後期高齢者は「ときどきしている」「まったくしていない」がともに26.4%で最も高くなっています。

前期高齢者と後期高齢者を比較すると、「まったくしていない」では前期高齢者(22.3%)、後期高齢者(26.4%)で、後期高齢者が4.1ポイント高くなっています。



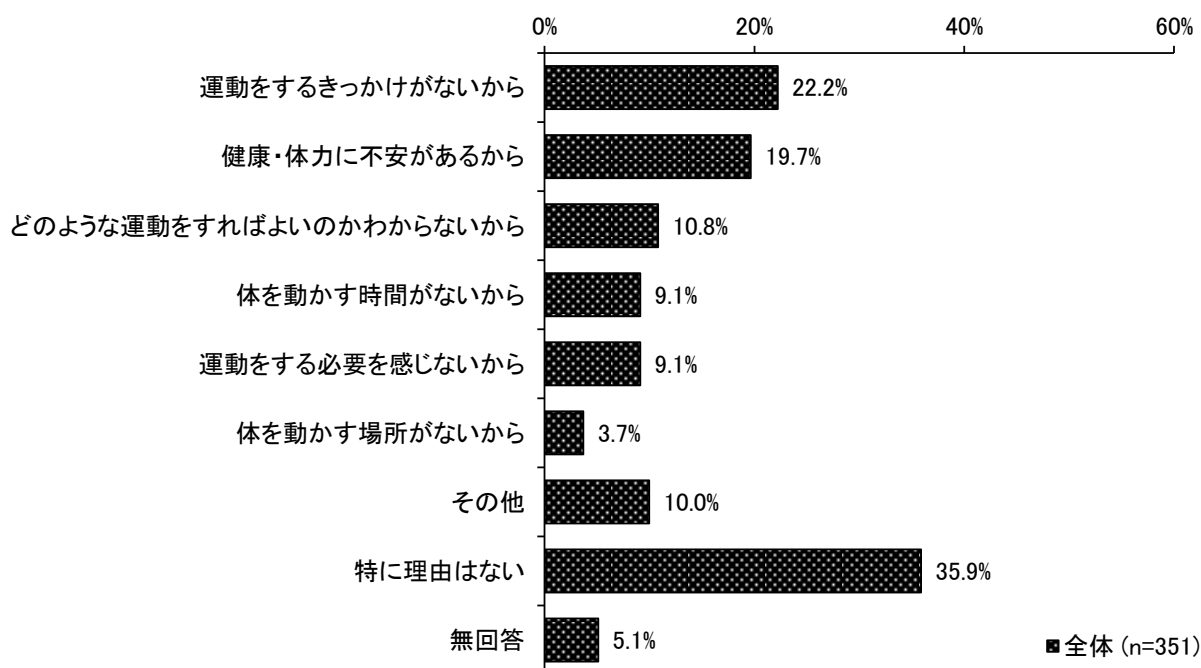
(10) 運動をしていない理由

【(9)で「あまりしていない」、「まったくしていない」と回答した方のみお答えください】

問7 (10) -① スポーツや運動をしていない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに☑)

運動をしていない理由については、「特に理由はない」の割合が35.9%と最も高く、次いで「運動をするきっかけがないから」(22.2%)、「健康・体力に不安があるから」(19.7%)の順となっています。

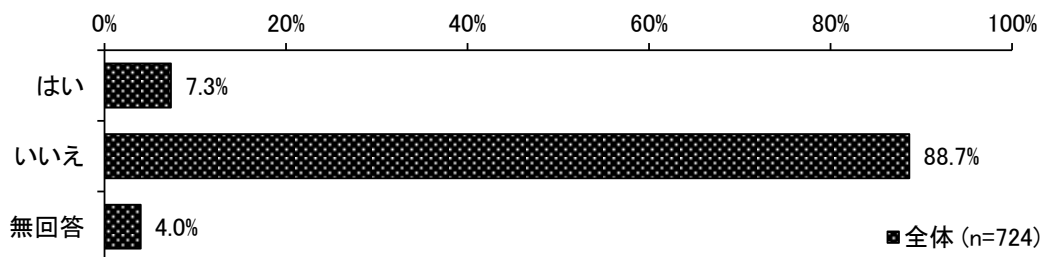


9 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 本人または家族に認知症の症状があるか

問8(1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。
(☑は一つ)

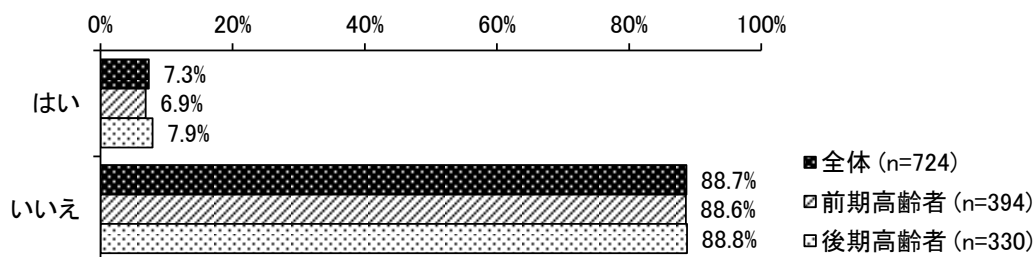
本人または家族に認知症の症状があるかについては、「はい」が7.3%、「いいえ」が88.7%となっています。



クロス集計

【本人または家族に認知症の症状があるか（前期・後期高齢者別）】

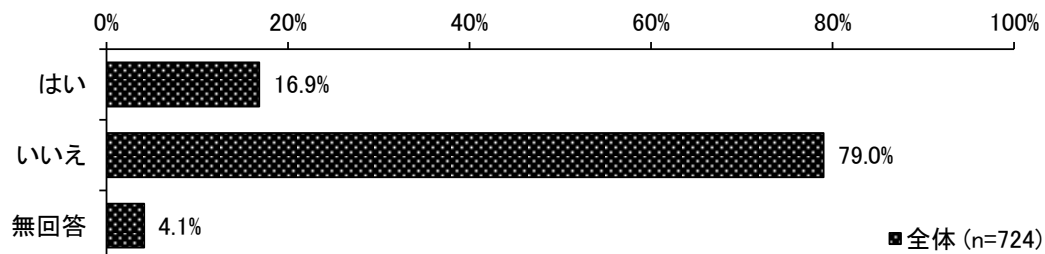
本人または家族に認知症の症状があるかについて前期高齢者と後期高齢者を比較すると、「はい」では前期高齢者（6.9%）、後期高齢者（7.9%）で、後期高齢者が1.0ポイント高くなっています。



(2) 認知症に関する相談窓口の把握

問8 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(☑は一つ)

認知症に関する相談窓口の把握については、「はい」が16.9%、「いいえ」が79.0%となっています。



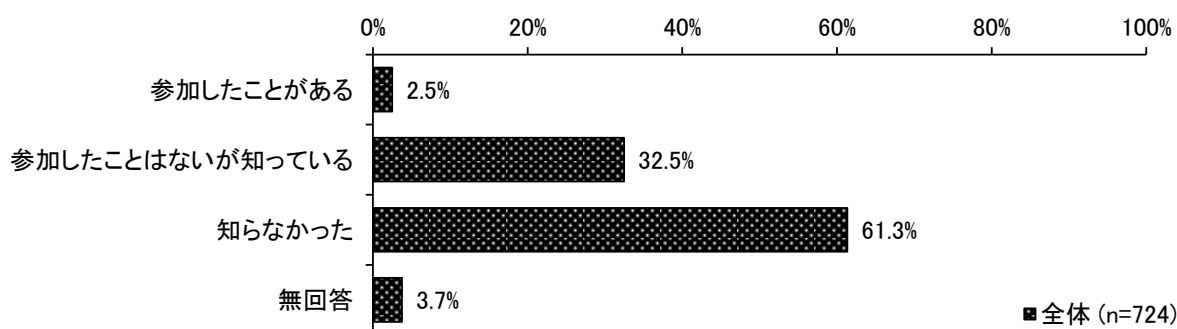
10 介護予防について

(1) 介護予防・認知症支援事業の認知状況

問9(1) あなたは、野田市が実施している次のような介護予防・認知症支援事業を知っていますか。(それぞれ☑は一つ)

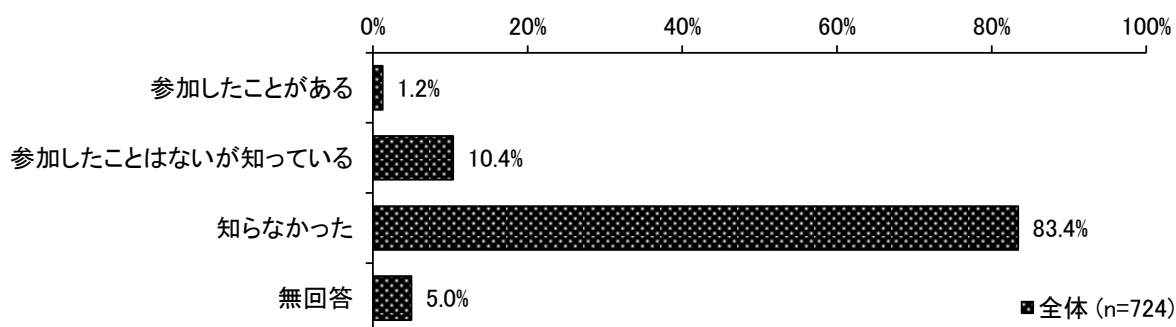
① シルバーサロン

シルバーサロンについては、「知らなかった」の割合が61.3%と最も高く、次いで「参加したことはないが知っている」(32.5%)の順となっています。



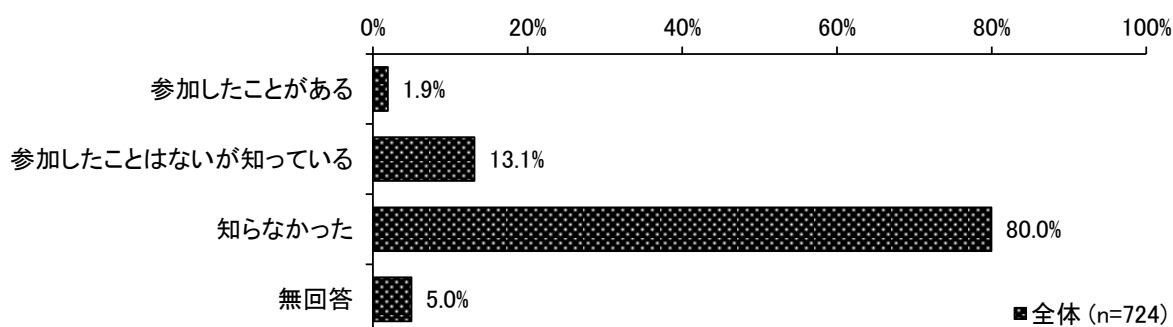
② オレンジカフェ

オレンジカフェについては、「知らなかった」の割合が83.4%と最も高く、次いで「参加したことはないが知っている」(10.4%)の順となっています。



③ 認知症サポーター

認知症サポーターについては、「知らなかった」の割合が80.0%と最も高く、次いで「参加したことはないが知っている」(13.1%)の順となっています。

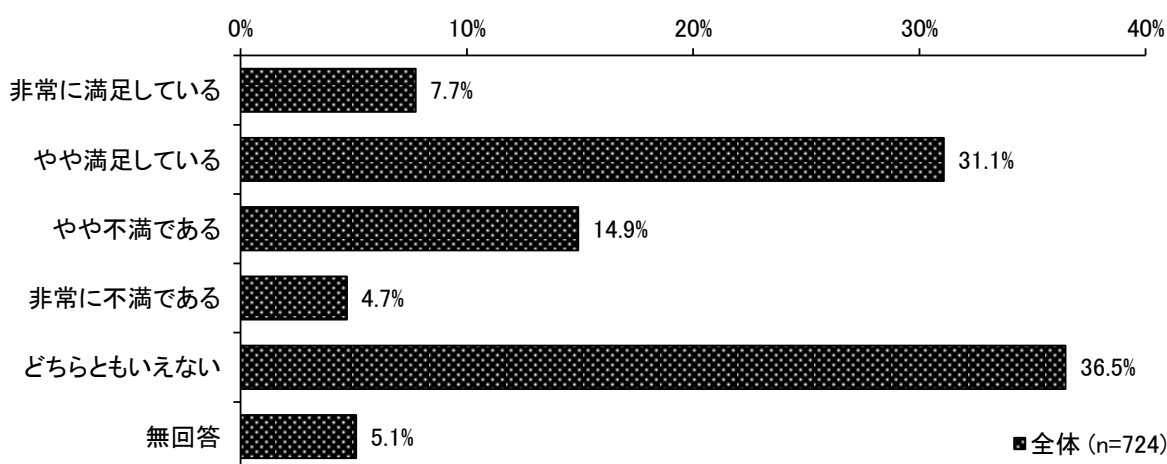


11 介護保険制度について

(1) 介護保険制度全般の満足度

問 10 (1) あなたは、このような介護保険制度全般について、どのように感じていますか。(☑は一つ)

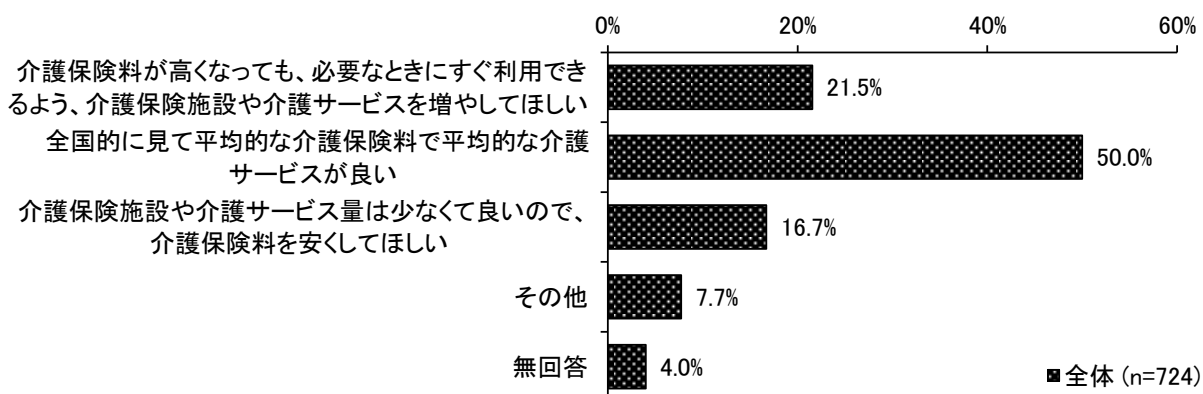
介護保険制度全般の満足度については、「どちらともいえない」の割合が 36.5%と最も高いものの、「非常に満足している」(7.7%)、「やや満足している」(31.1%)を合計すると 38.8%が『満足』と回答しています。一方、「やや不満である」(14.9%)、「非常に不満である」(4.7%)の合計は 19.6%となっています。



(2) 介護保険料と介護サービスの関係について

問 10 (2) あなたは、介護保険料と介護サービスの関係について、どのように思われますか。(☑は一つ)

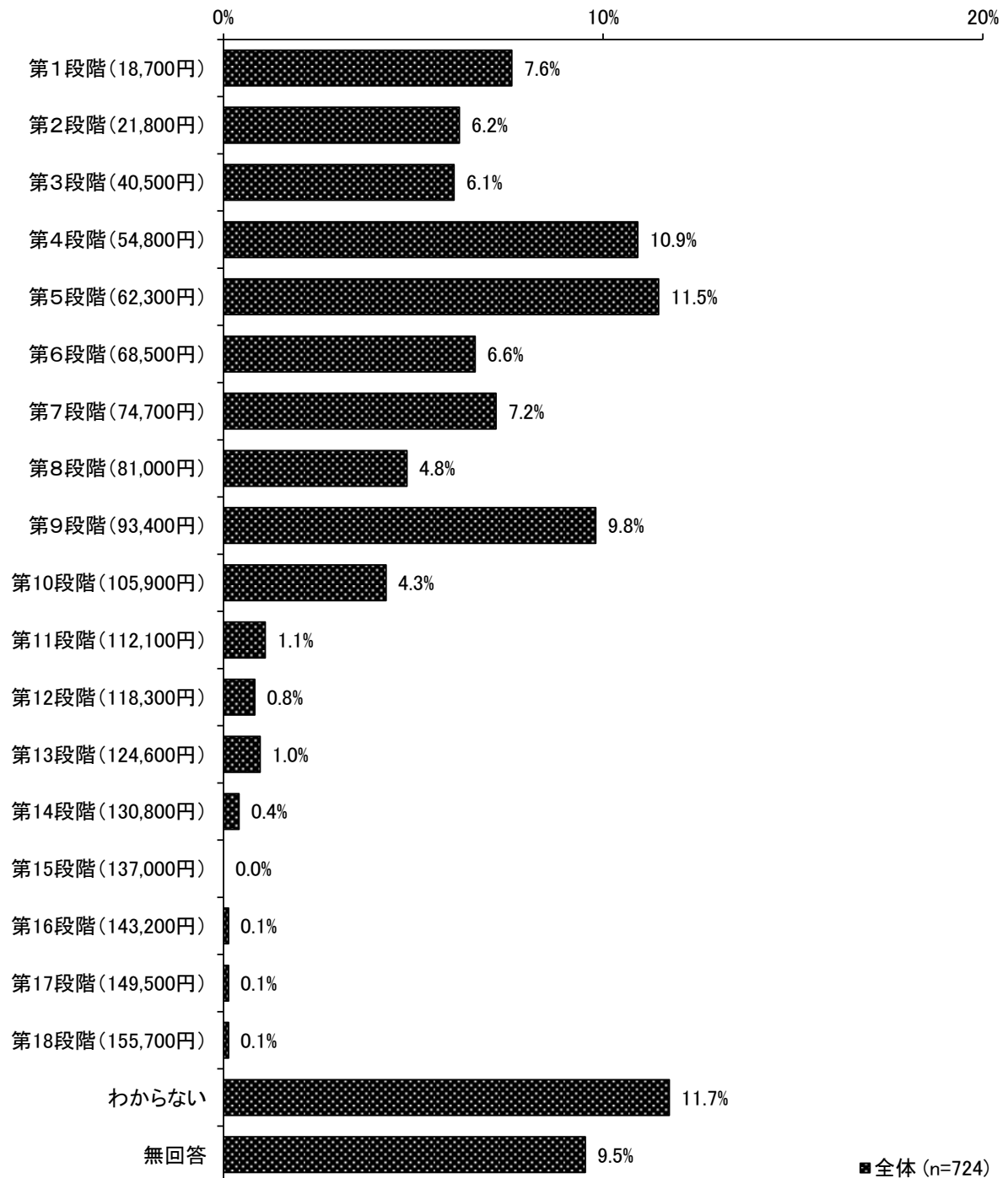
介護保険料と介護サービスの関係については、「全国的に見て平均的な介護保険料で平均的な介護サービスが良い」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「介護保険料が高くなっても、必要なときにすぐ利用できるよう、介護保険施設や介護サービスを増やしてほしい」(21.5%)の順となっています。



(3) 介護保険料（年額）

問 10 (3) あなたの介護保険料（年額）は、次のうちどれですか。（☑は一つ）

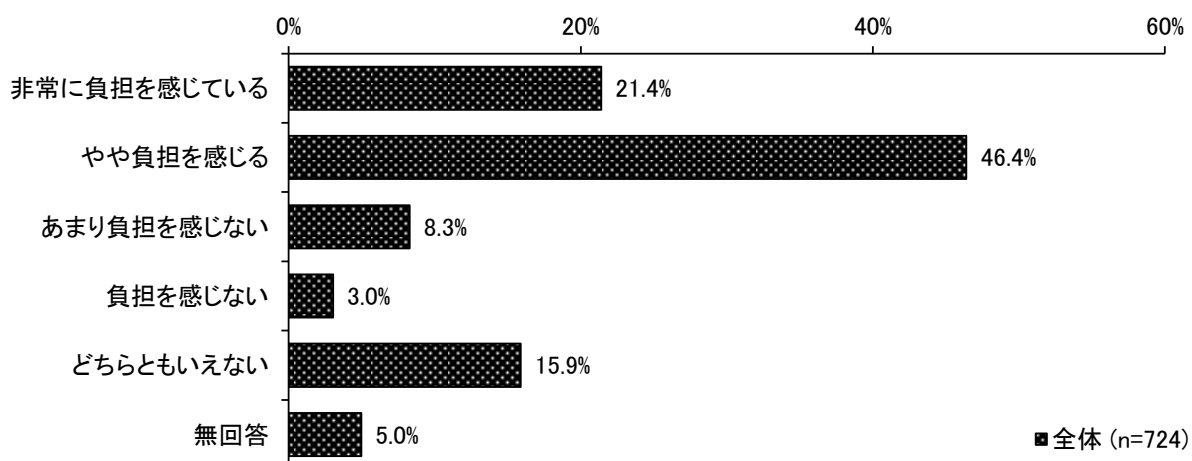
介護保険料（年額）については、「第5段階」の割合が11.5%と最も高く、次いで「第4段階」（10.9%）、「第9段階」（9.8%）の順となっています。



(4) 介護保険料の負担感

問 10 (4) あなたは、ご自身が支払っている介護保険料について、どのように感じていますか。(☑は一つ)

介護保険料の負担感については、「やや負担を感じる」の割合が 46.4%と最も高く、「非常に負担を感じている」(21.4%)を合計すると 67.8%が『負担を感じる』と回答しています。一方、「あまり負担を感じない」(8.3%)、「負担を感じない」(3.0%)の合計は 11.3%となっています。

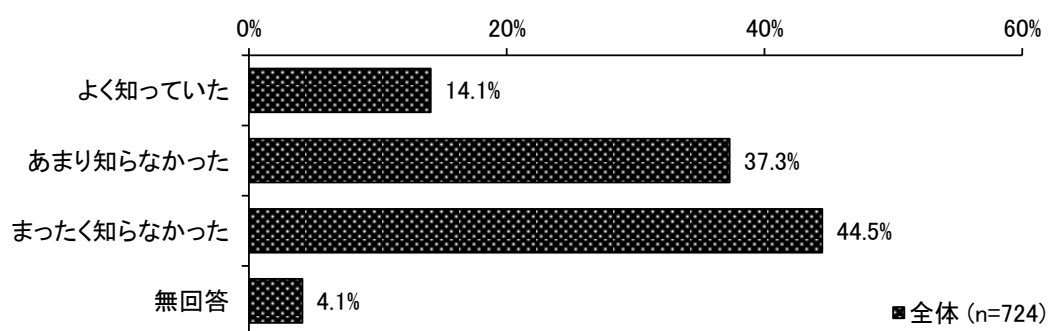


(5) 地域包括支援センターについて

問 10 (5) 高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）についてお聞きます。
（それぞれ☑は一つ）

① 高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の認知状況

高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の認知状況については、「まったく知らなかった」の割合が 44.5%と最も高く、次いで「あまり知らなかった」（37.3%）、「よく知っていた」（14.1%）の順となっています。

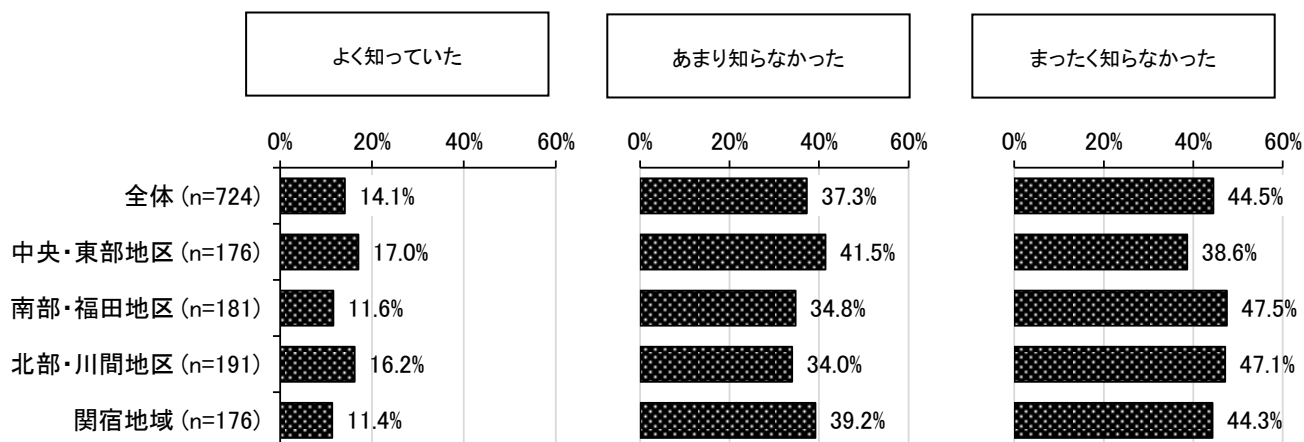


クロス集計

【高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の認知状況（地区別）】

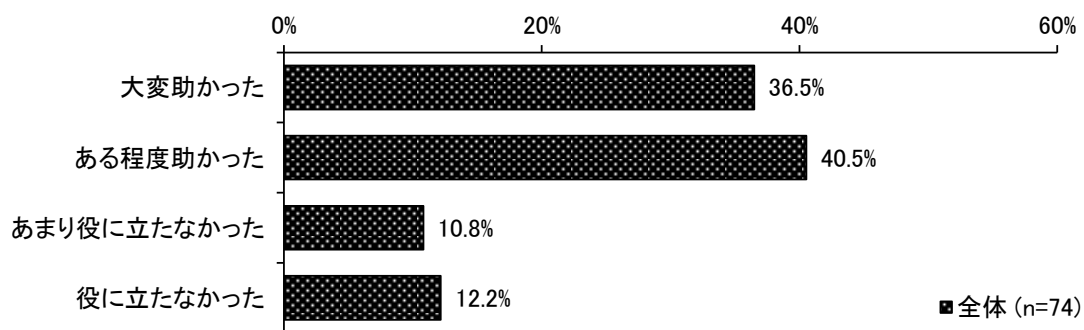
高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の認知状況について地区別にみると、「よく知っていた」の割合が中央・東部地区で 17.0%と最も高く、次いで北部・川間地区（16.2%）、南部・福田地区（11.6%）の順となっています。

南部・福田地区では「まったく知らなかった」が 47.5%と最も高く、他の地区に比べて認知度が低いことがうかがえます。



②高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の利用評価

高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の利用評価については、「ある程度助かった」の割合が40.5%と最も高く、「大変助かった」（36.5%）を合計すると77.0%が『助かった』と回答しています。一方、「あまり役に立たなかった」（10.8%）、「役に立たなかった」（12.2%）の合計は23.0%となっています。※無回答を除くグラフになっています。

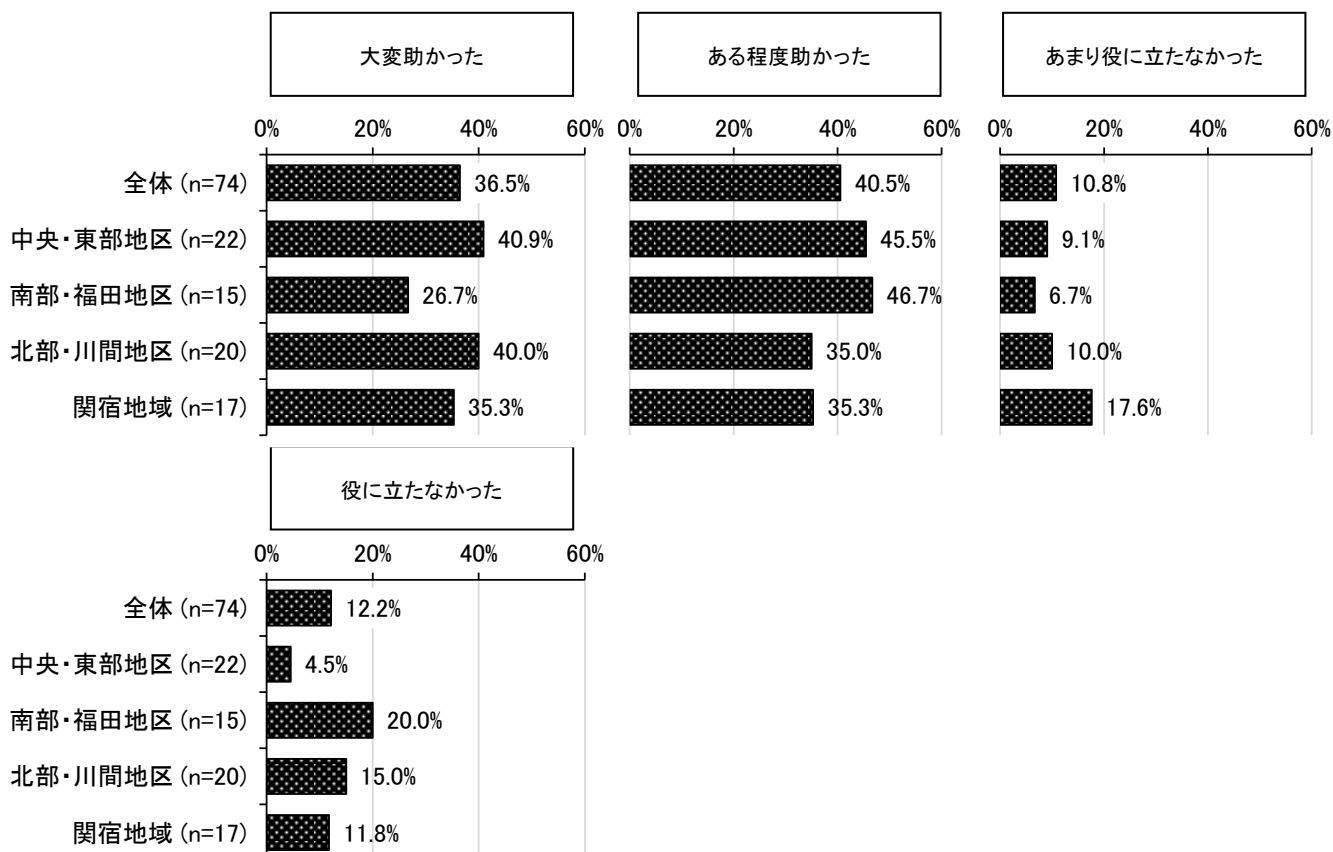


クロス集計

【高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の利用評価（地区別）】

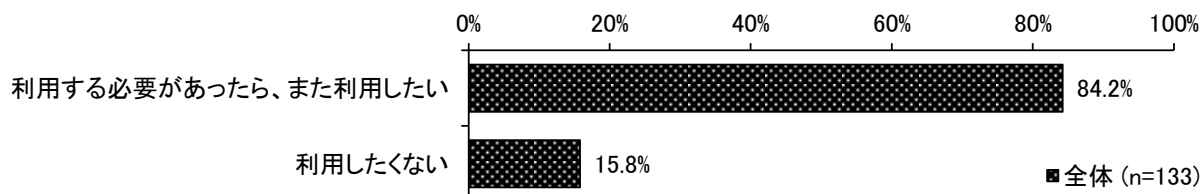
高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の利用評価について地区別にみると、「大変助かった」の割合が中央・東部地区で40.9%と最も高く、次いで北部・川間地区（40.0%）の順となっています。

「役に立たなかった」の割合は南部・福田地区で20.0%と最も高くなっています。



③高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の利用意向

高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の利用意向については、「利用する必要があったら、また利用したい」の割合が84.2%となっています。※無回答を除くグラフになっています。

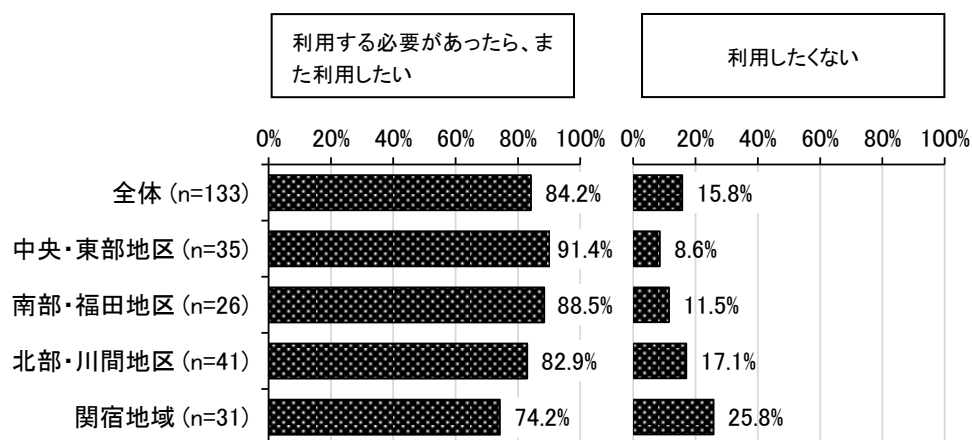


クロス集計

【高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の利用意向（地区別）】

高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の利用意向について地区別にみると、「利用する必要があったら、また利用したい」の割合は中央・東部地区で91.4%と9割を超え最も高く、他の地域においても7割を超えています。

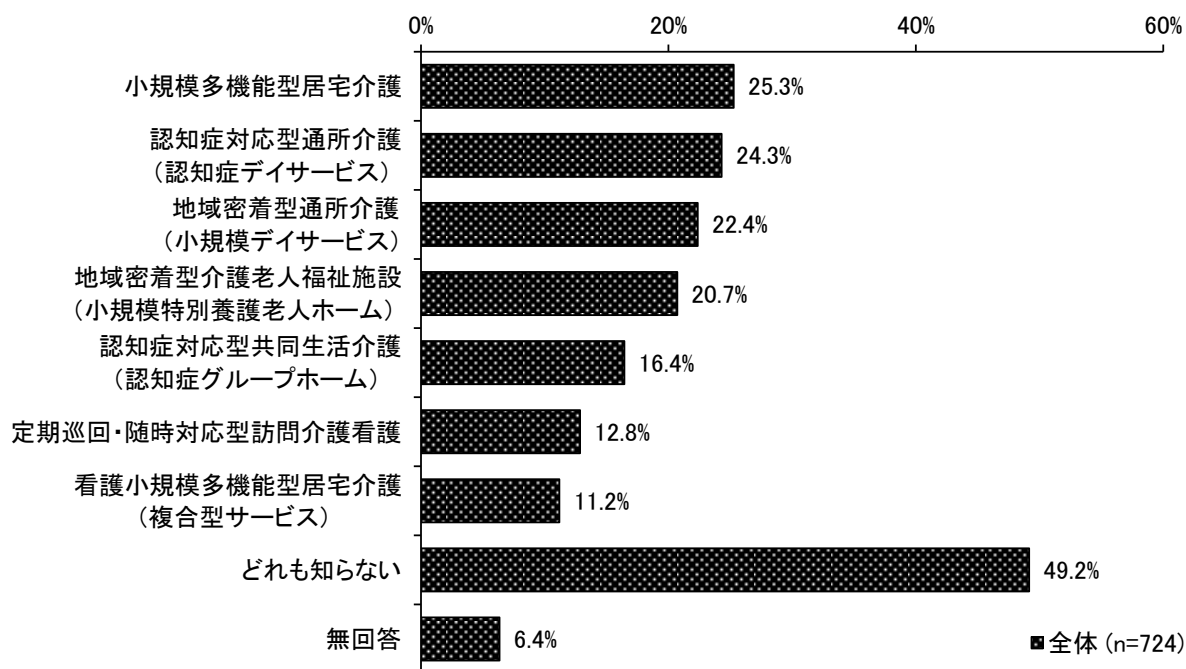
「利用したくない」の割合は関宿地域で25.8%と最も高く、次いで北部・川間地区（17.1%）、南部・福田地区（11.5%）の順となっており、中央・東部地区では8.6%と最も低くなっています。



(6) 地域密着型サービスの認知状況

問 10 (6) 住みなれた地域でいつまでも安心して暮らせるよう、地域密着型サービスがあります。あなたは、次のようなサービスを知っていますか。
(☑はいくつでも)

地域密着型サービスの認知状況については、「小規模多機能型居宅介護」の割合が 25.3%と最も高く、次いで「認知症対応型通所介護（認知症デイサービス）」(24.3%)、「地域密着型通所介護（小規模デイサービス）」(22.4%)の順となっています。

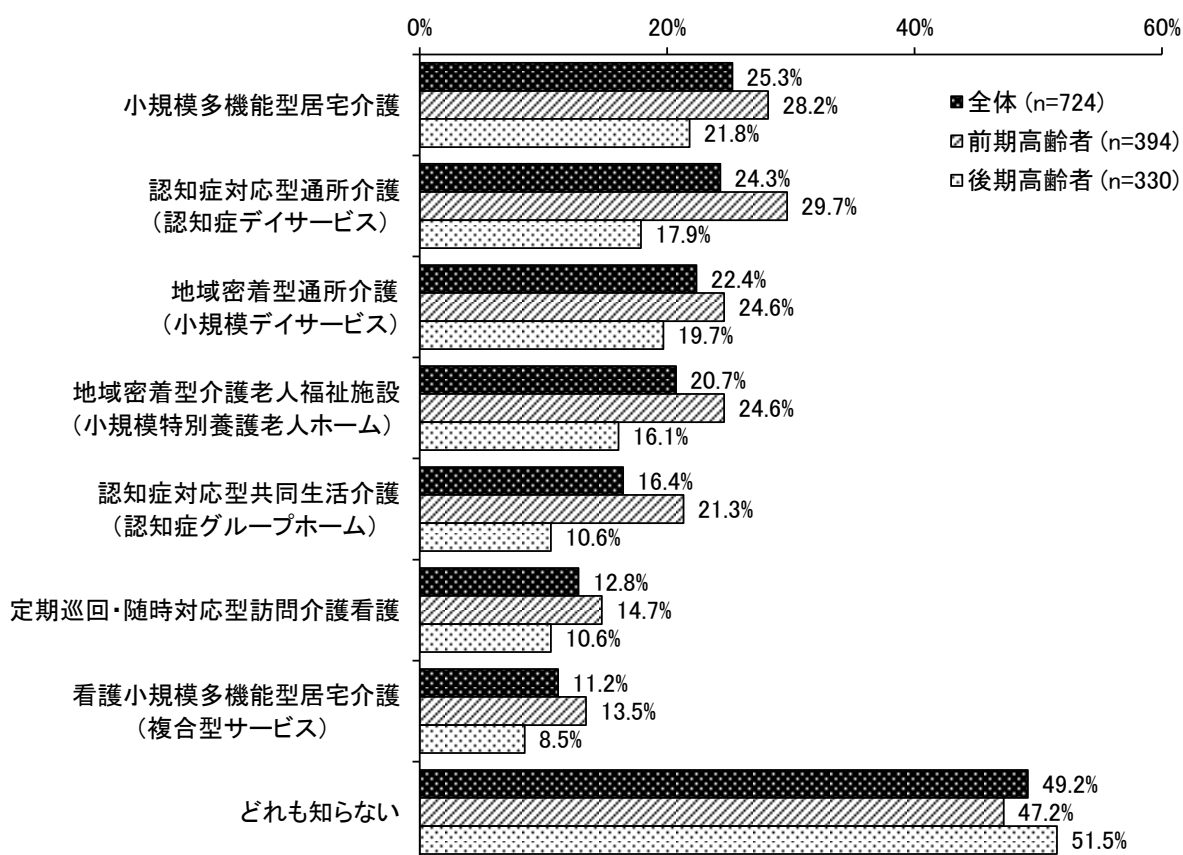


クロス集計

【地域密着型サービスの認知状況（前期・後期高齢者別）】

地域密着型サービスの認知状況について、前期・後期高齢者別にみると、前期高齢者は「認知症対応型通所介護（認知症デイサービス）」が29.7%、後期高齢者は「小規模多機能型居宅介護」が21.8%で最も高くなっています。

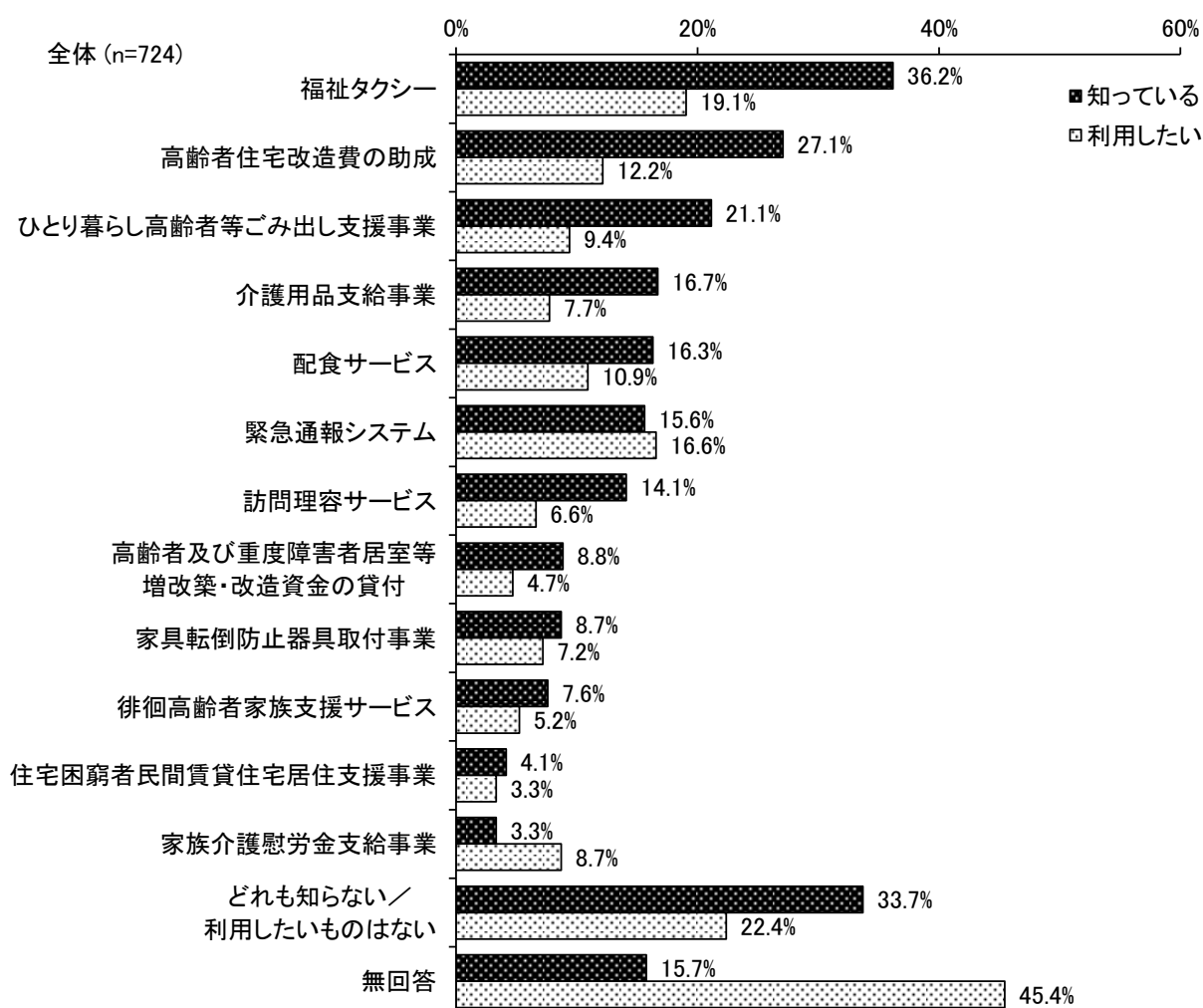
前期高齢者と後期高齢者を比較すると、「どれも知らない」を除く全ての項目で前期高齢者の認知度が高くなっています。



(7) 高齢者福祉サービスの認知状況・利用意向

問 10 (7) あなたは、市が実施している次のような高齢者福祉サービスを知っていますか。また利用したいサービスは何ですか。
(あてはまるものすべてに☑)

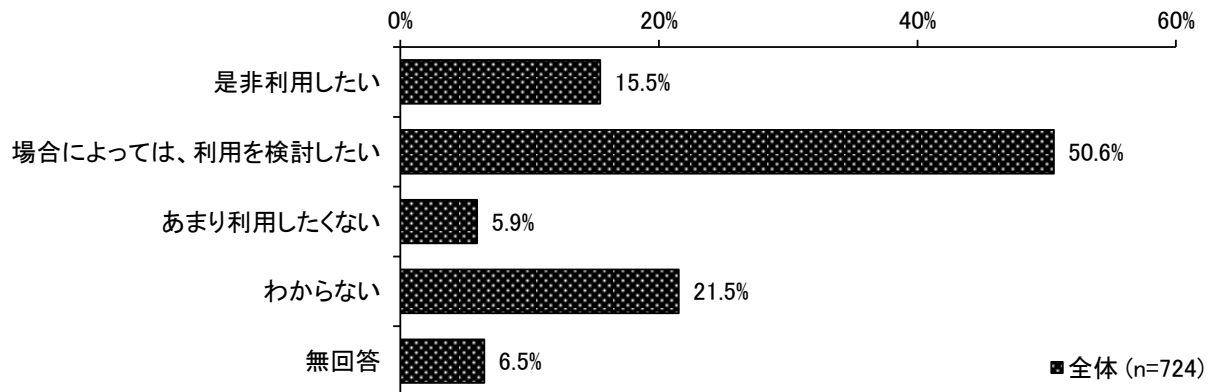
高齢者福祉サービスの認知状況については、「福祉タクシー」の割合が 36.2%と最も高く、次いで「高齢者住宅改造費の助成」(27.1%)、「ひとり暮らし高齢者等ごみ出し支援事業」(21.1%)、「介護用品支給事業」(16.7%)、「配食サービス」(16.3%) の順となっています。一方、利用意向については、「福祉タクシー」の割合が 19.1%と最も高く、次いで「緊急通報システム」(16.6%)、「高齢者住宅改造費の助成」(12.2%)、「配食サービス」(10.9%)、「ひとり暮らし高齢者等ごみ出し支援事業」(9.4%) の順となっています。



(8) 『定期巡回・随時対応型訪問介護看護』の利用意向

問 10 (8) あなたは、このような『定期巡回・随時対応型訪問介護看護』が整備された場合、利用したいと思いますか。(☑は一つ)

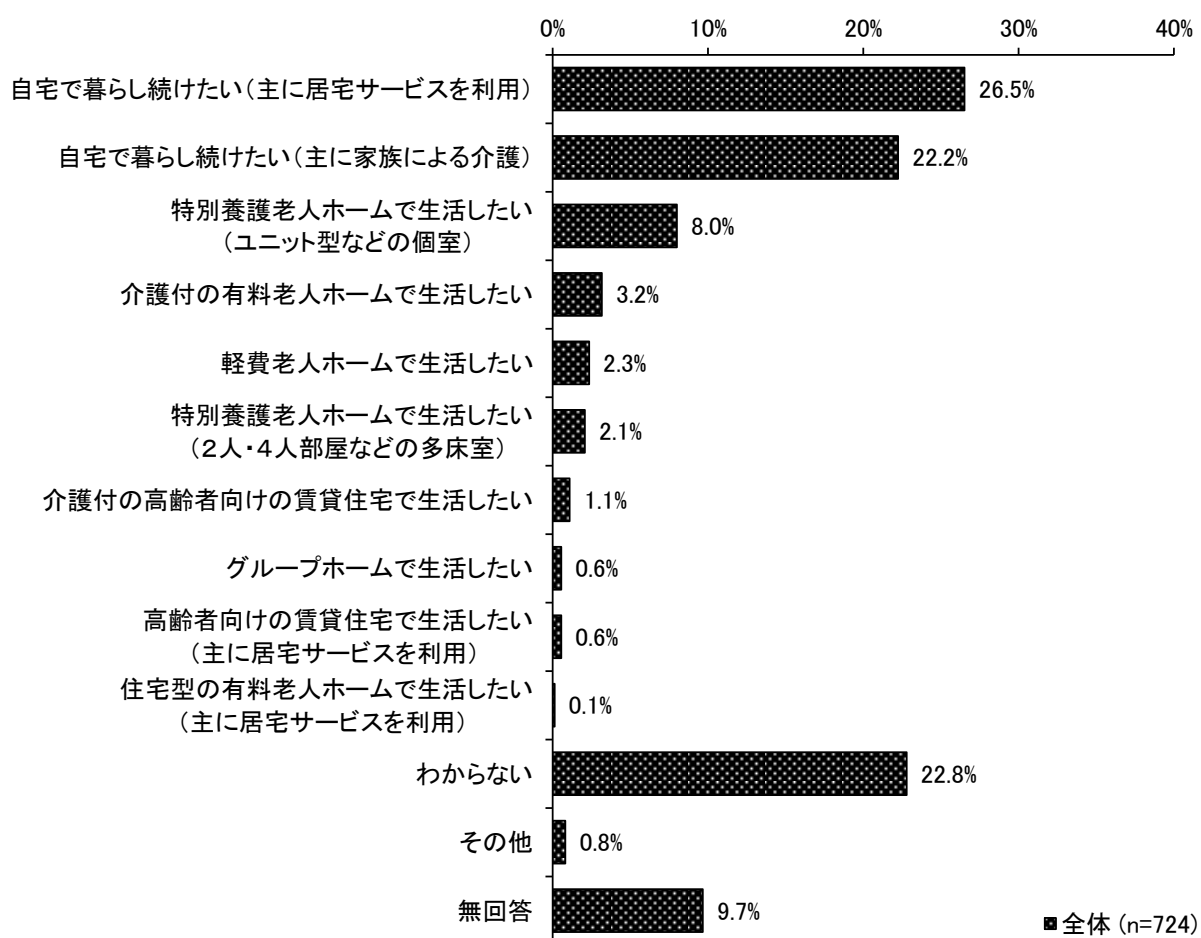
『定期巡回・随時対応型訪問介護看護』の利用意向については、「場合によっては、利用を検討したい」の割合が 50.6%と最も高く、「是非利用したい」(15.5%)を合計すると 66.1%が『利用したい』と回答しています。



(9) 希望する介護内容

問 10 (9) あなたは、万一介護が必要になったときには、どのような介護を希望しますか。既に介護を受けている方は、今後の希望をお答えください。
(☑は一つ)

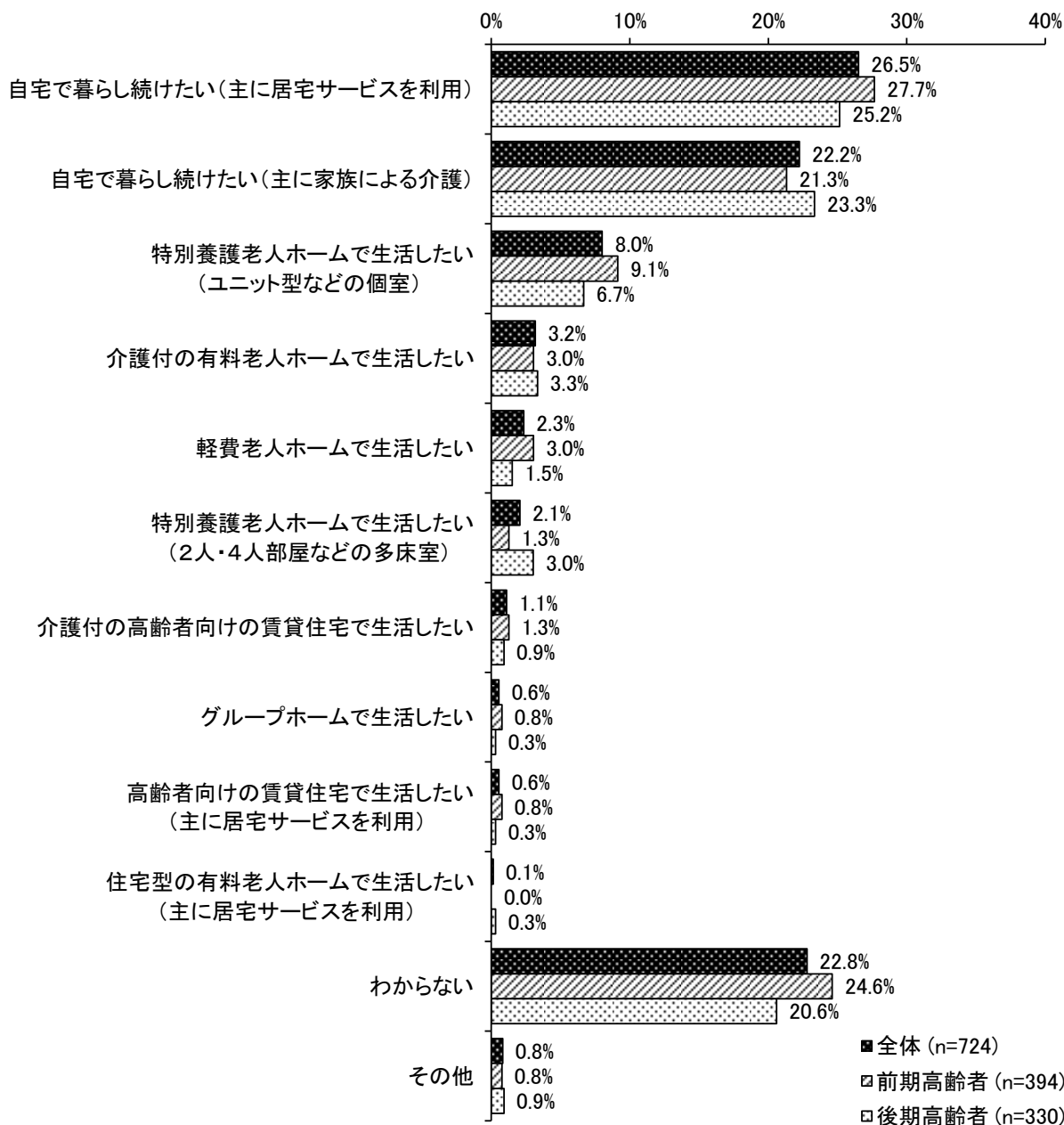
希望する介護内容については、「自宅で暮らし続けたい(主に居宅サービスを利用)」の割合が26.5%と最も高く、次いで「自宅で暮らし続けたい(主に家族による介護)」(22.2%)、「特別養護老人ホームで生活したい(ユニット型などの個室)」(8.0%)の順となっています。



クロス集計

【希望する介護内容（前期・後期高齢者別）】

希望する介護内容について前期高齢者と後期高齢者を比較すると、「自宅で暮らし続けたい（主に居宅サービスを利用）」「特別養護老人ホームで生活したい（ユニット型などの個室）」「わからない」などで前期高齢者の割合が高くなっており、「自宅で暮らし続けたい（主に家族による介護）」などでは後期高齢者の割合が高くなっていきます。

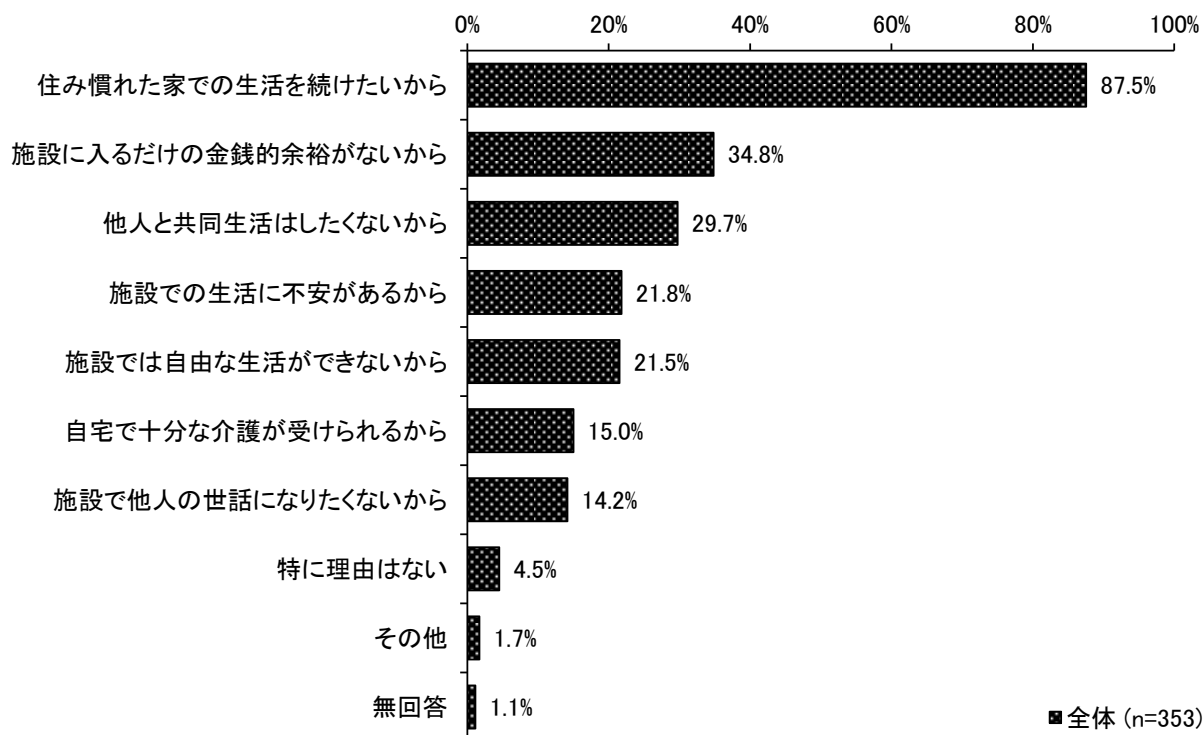


(10) 在宅介護を希望する理由

【(9)で「自宅で暮らし続けたい(主に家族による介護)」、「自宅で暮らし続けたい(主に居宅サービスを利用)」と回答した方のみお答えください】

問10(9)－① 自宅での介護を望む理由は何ですか。(あてはまるものすべてに☑)

在宅介護を希望する理由については、「住み慣れた家での生活を続けたいから」の割合が87.5%と最も高く、次いで「施設に入るだけの金銭的余裕がないから」(34.8%)、「他人と共同生活はしたくないから」(29.7%)の順となっています。



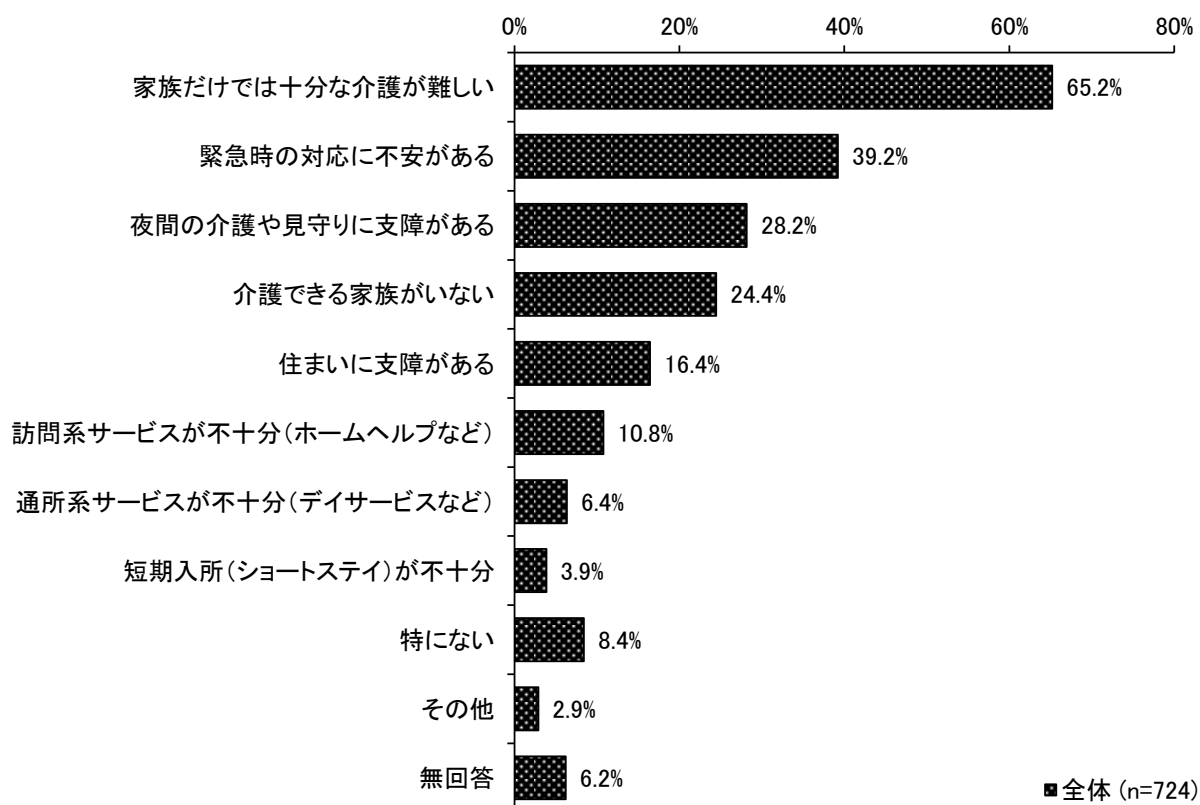
(11) 在宅介護の課題

【ここからは全員の方がお答えください】

問 10 (10) 万一介護が必要になった場合、あなたが自宅で暮らし続けるためには、どのようなことが課題になると思いますか。

(あてはまるものすべてに☑)

在宅介護の課題については、「家族だけでは十分な介護が難しい」の割合が 65.2%と最も高く、次いで「緊急時の対応に不安がある」(39.2%)、「夜間の介護や見守りに支障がある」(28.2%)の順となっています。

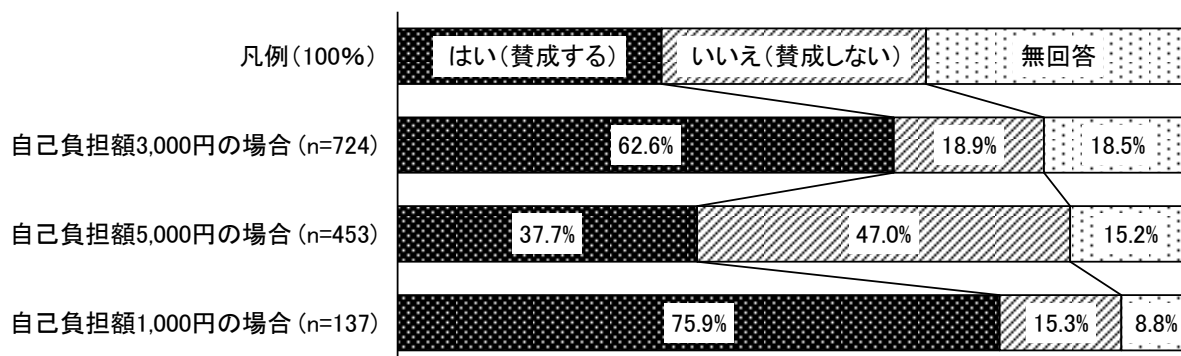


12 介護保険の新たなサービスについて

(1) サービス利用の自己負担額について（ホームヘルプ・専門職）

- 問 11 (1) あなたは、ホームヘルプにおいて、訪問介護員（介護保険法にもとづく訪問介護を提供する専門職）からサービスを受ける際、本サービス利用の自己負担額が月に 3,000 円となる場合、賛成しますか。（☑は一つ）
- 問 11 (1) -① その自己負担額が月に 5,000 円となる場合、賛成しますか。（☑は一つ）
- 問 11 (1) -② その自己負担額が月に 1,000 円となる場合、賛成しますか。（☑は一つ）

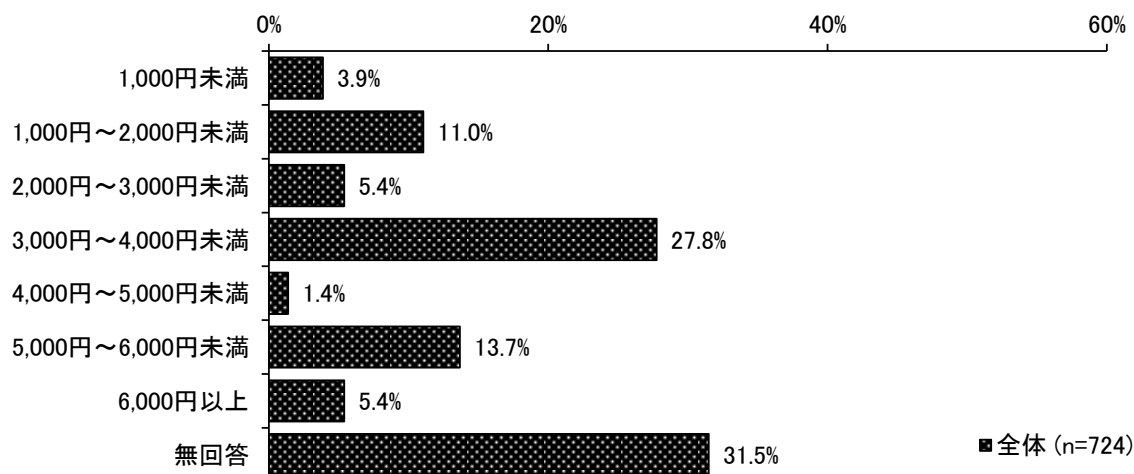
ホームヘルプで専門職からサービスを受ける場合の自己負担額については、月額 3,000 円で 62.6%、5,000 円で 37.7%、1,000 円で 75.9%が「はい（賛成する）」となっています。



(2) 自己負担の許容額（ホームヘルプ・専門職）

- 問 11 (1) -③ あなたは、月額の自己負担額が、いくらほどなら賛成しますか。

ホームヘルプで専門職からサービスを受ける場合の、自己負担月額がいくらほどなら賛成かについては、「3,000 円～4,000 円未満」の割合が 27.8%と最も高く、次いで「5,000 円～6,000 円未満」(13.7%)、「1,000 円～2,000 円未満」(11.0%) の順となっています。



(3) サービス利用の自己負担額について（ホームヘルプ・無資格の雇用労働者）

問 11 (2) あなたは、ホームヘルプにおいて、介護事業所の雇用労働者（訪問介護員のような資格を保有していない）からサービスを受ける際、本サービス利用の自己負担額が月に 3,000 円となる場合、賛成しますか。

(☑は一つ)

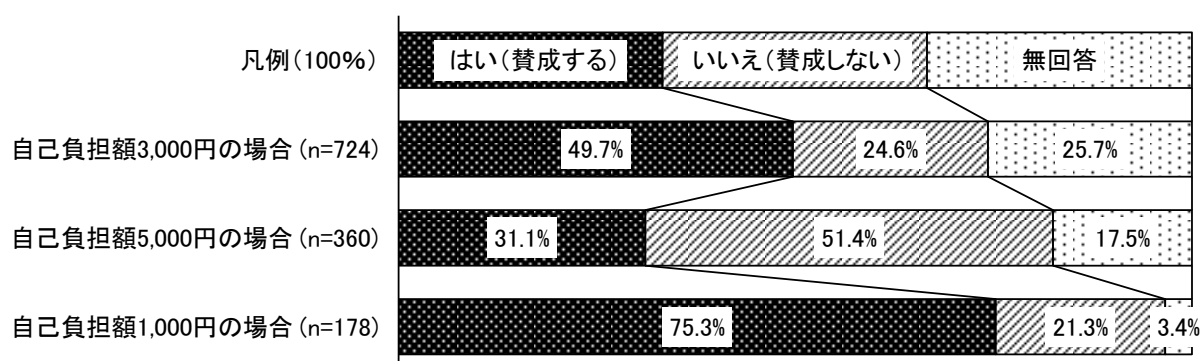
問 11 (2) -① その自己負担額が月に 5,000 円となる場合、賛成しますか。

(☑は一つ)

問 11 (2) -② その自己負担額が月に 1,000 円となる場合、賛成しますか。

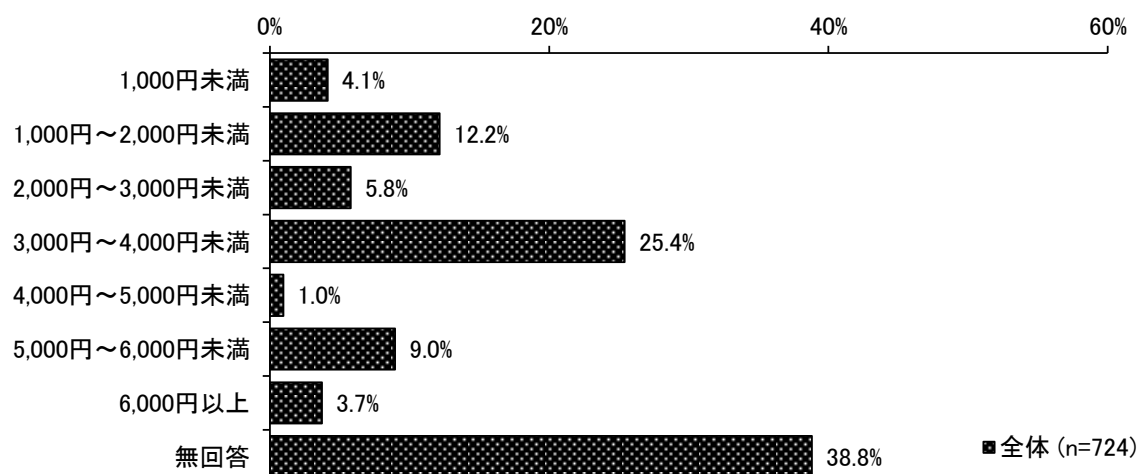
(☑は一つ)

ホームヘルプで無資格の雇用労働者からサービスを受ける場合の自己負担額については、月額 3,000 円で 49.7%、5,000 円で 31.1%、1,000 円で 75.3%が「はい（賛成する）」となっています。

**(4) 自己負担の許容額（ホームヘルプ・無資格の雇用労働者）**

問 11 (2) -③ あなたは、月額自己負担額が、いくらほどなら賛成しますか。

ホームヘルプで無資格の雇用労働者からサービスを受ける場合の、自己負担月額がいくらほどなら賛成かについては、「3,000 円～4,000 円未満」の割合が 25.4%と最も高く、次いで「1,000 円～2,000 円未満」(12.2%)、「5,000 円～6,000 円未満」(9.0%) の順となっています。



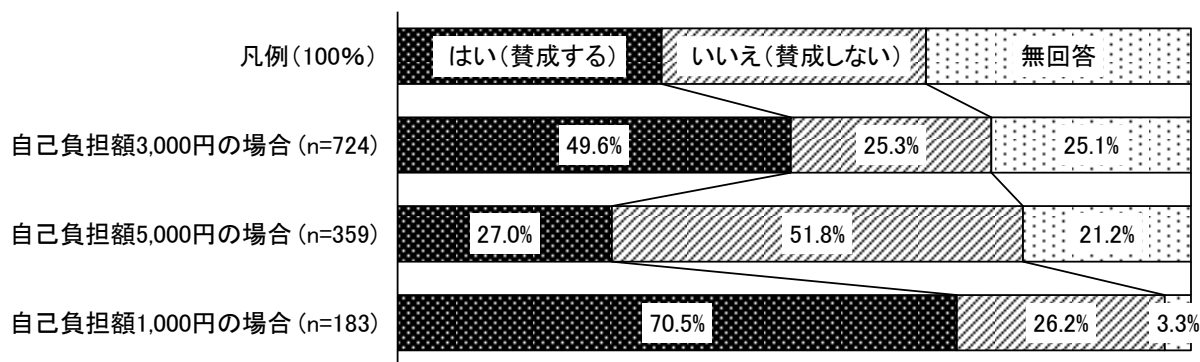
(5) サービス利用の自己負担額について（ホームヘルプ・有償ボランティア）

問 11 (3) あなたは、ホームヘルプにおいて、野田市住民等の有償ボランティアからサービスを受ける際、本サービス利用の自己負担額が月に 3,000 円となる場合、賛成しますか。（☑は一つ）

問 11 (3) -① その自己負担額が月に 5,000 円となる場合、賛成しますか。（☑は一つ）

問 11 (3) -② その自己負担額が月に 1,000 円となる場合、賛成しますか。（☑は一つ）

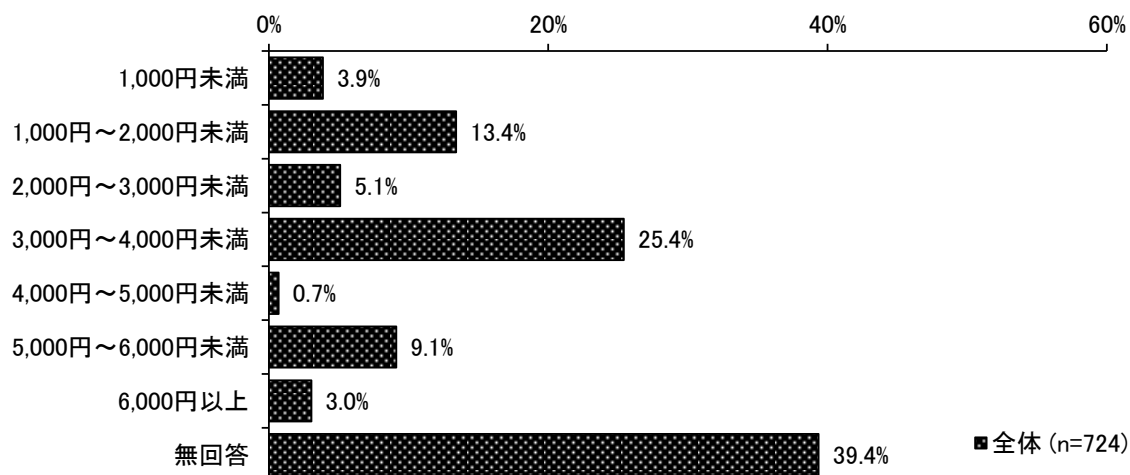
ホームヘルプで有償ボランティアからサービスを受ける場合の自己負担額については、月額 3,000 円で 49.6%、5,000 円で 27.0%、1,000 円で 70.5%が「はい（賛成する）」となっています。



(6) 自己負担の許容額（ホームヘルプ・有償ボランティア）

問 11 (3) -③ あなたは、月額の自己負担額が、いくらほどなら賛成しますか。

ホームヘルプで有償ボランティアからサービスを受ける場合の、自己負担月額がいくらほどなら賛成かについては、「3,000 円～4,000 円未満」の割合が 25.4%と最も高く、次いで「1,000 円～2,000 円未満」(13.4%)、「5,000 円～6,000 円未満」(9.1%)の順となっています。



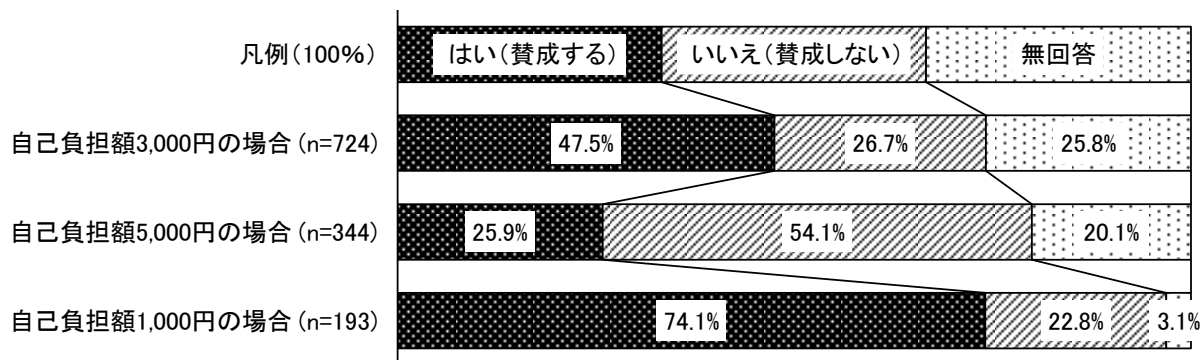
(7) サービス利用の自己負担額について（居宅での相談指導等・保健師等）

問 11 (4) あなたは、保健師等による居宅での相談指導等のサービスを受ける際、本サービス利用の自己負担額が月に 3,000 円となる場合、賛成しますか。
 (☑は一つ)

問 11 (4) -① その自己負担額が月に 5,000 円となる場合、賛成しますか。
 (☑は一つ)

問 11 (4) -② その自己負担額が月に 1,000 円となる場合、賛成しますか。
 (☑は一つ)

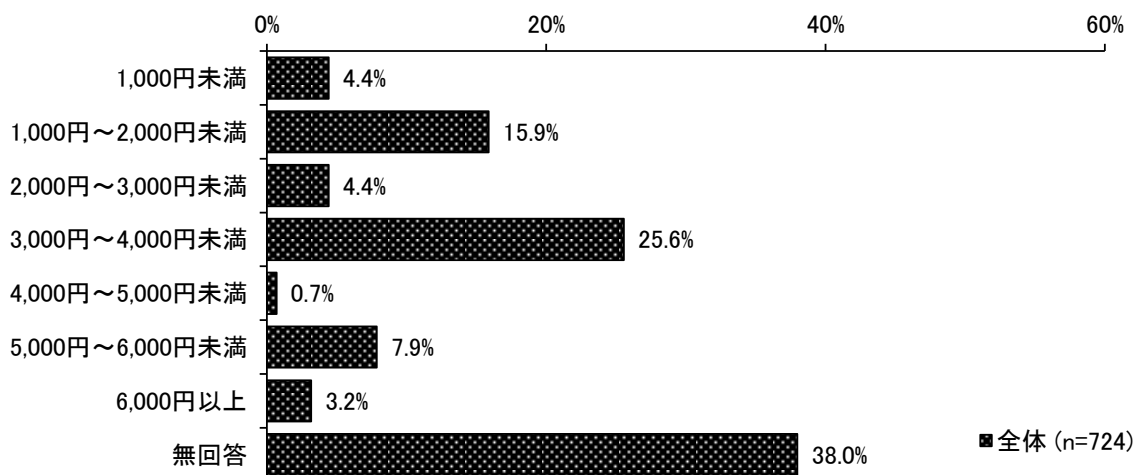
保健師等から居宅での相談指導等のサービスを受ける場合の自己負担額については、月額 3,000 円で 47.5%、5,000 円で 25.9%、1,000 円で 74.1%が「はい（賛成する）」となっています。



(8) 自己負担の許容額（居宅での相談指導等・保健師等）

問 11 (4) -③ あなたは、月額の自己負担額が、いくらほどなら賛成しますか。

保健師等から居宅での相談指導等のサービスを受ける場合の、自己負担月額がいくらほどなら賛成かについては、「3,000 円～4,000 円未満」の割合が 25.6%と最も高く、次いで「1,000 円～2,000 円未満」(15.9%)、「5,000 円～6,000 円未満」(7.9%) の順となっています。



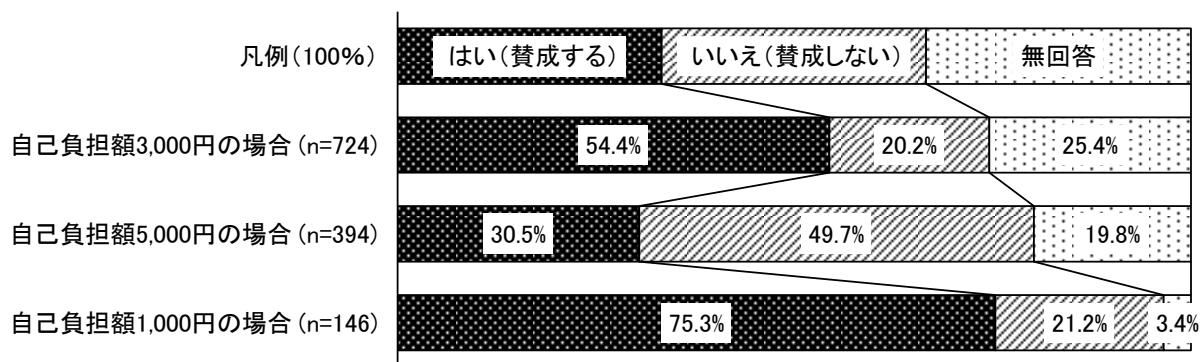
(9) サービス利用の自己負担額について（デイサービス・介護職員）

問 11 (5) あなたは、デイサービスにおいて、介護職員（介護保険法にもとづく通所介護を提供する者）からサービスを受ける際、本サービス利用の自己負担額が月に 3,000 円となる場合、賛成しますか。（☑は一つ）

問 11 (5) -① その自己負担額が月に 5,000 円となる場合、賛成しますか。（☑は一つ）

問 11 (5) -② その自己負担額が月に 1,000 円となる場合、賛成しますか。（☑は一つ）

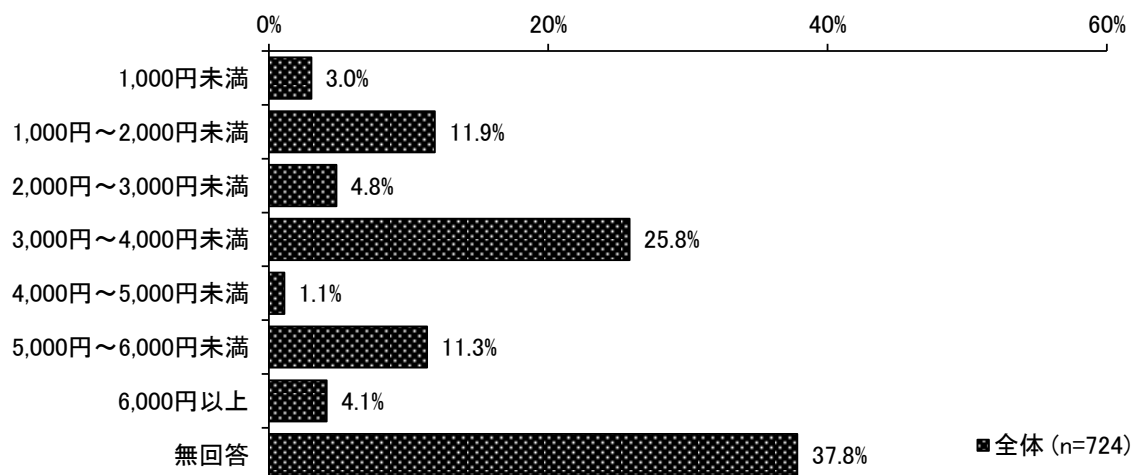
デイサービスで介護職員からサービスを受ける場合の自己負担額については、月額 3,000 円で 54.4%、5,000 円で 30.5%、1,000 円で 75.3%が「はい（賛成する）」となっています。



(10) 自己負担の許容額（デイサービス・介護職員）

問 11 (5) -③ あなたは、月額の自己負担額が、いくらほどなら賛成しますか。

デイサービスで介護職員からサービスを受ける場合の、自己負担月額がいくらほどなら賛成かについては、「3,000 円～4,000 円未満」の割合が 25.8%と最も高く、次いで「1,000 円～2,000 円未満」（11.9%）、「5,000 円～6,000 円未満」（11.3%）の順となっています。



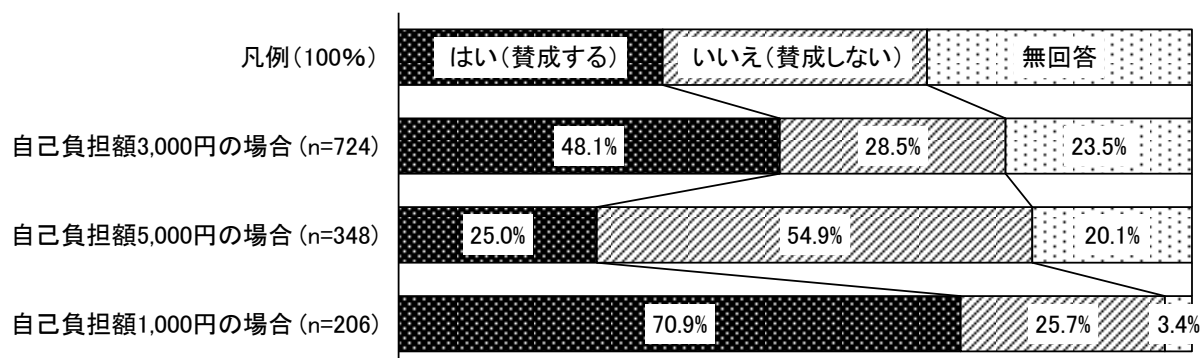
(11) サービス利用の自己負担額について（デイサービス・無資格の雇用労働者）

問 11（6） あなたは、デイサービスにおいて、介護事業所の雇用労働者（介護保険法にもとづく資格を有していない）からサービスを受ける際、本サービス利用の自己負担額が月に3,000円となる場合、賛成しますか。（☑は一つ）

問 11（6）－① その自己負担額が月に5,000円となる場合、賛成しますか。（☑は一つ）

問 11（6）－② その自己負担額が月に1,000円となる場合、賛成しますか。（☑は一つ）

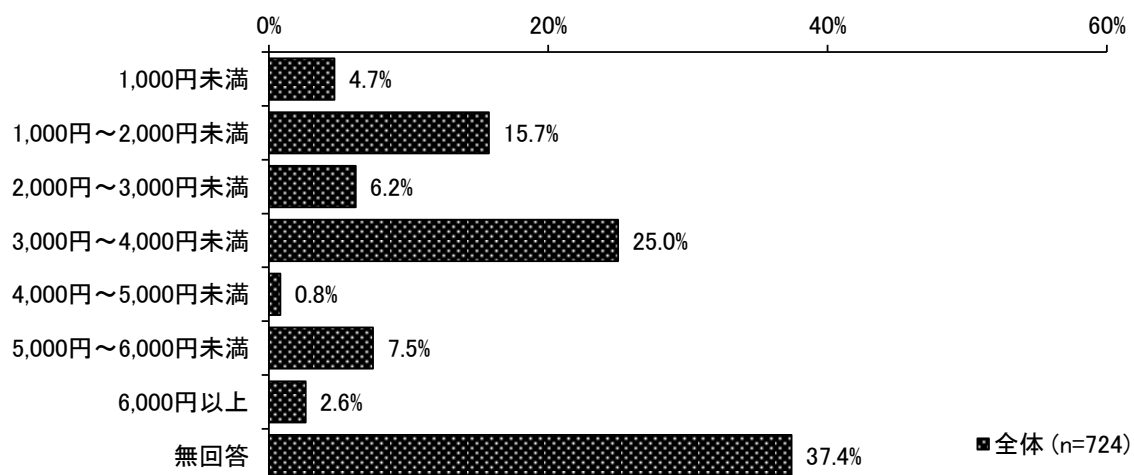
デイサービスで無資格の雇用労働者からサービスを受ける場合の自己負担額については、月額3,000円で48.1%、5,000円で25.0%、1,000円で70.9%が「はい（賛成する）」となっています。



(12) 自己負担の許容額（デイサービス・無資格の雇用労働者）

問 11（6）－③ あなたは、月額の自己負担額が、いくらほどなら賛成しますか。

デイサービスで無資格の雇用労働者からサービスを受ける場合の、自己負担月額がいくらほどなら賛成かについては、「3,000円～4,000円未満」の割合が25.0%と最も高く、次いで「1,000円～2,000円未満」（15.7%）、「5,000円～6,000円未満」（7.5%）の順となっています。



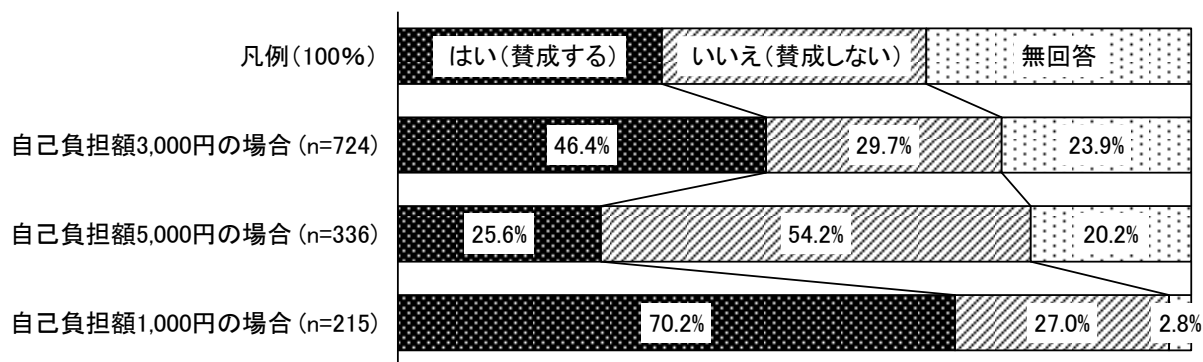
(13) サービス利用の自己負担額について（デイサービス・有償ボランティア）

問 11（7） あなたは、デイサービスにおいて、野田市住民等の有償ボランティアからサービスを受ける際、本サービス利用の自己負担額が月に 3,000 円となる場合、賛成しますか。（☑は一つ）

問 11（7）－① その自己負担額が月に 5,000 円となる場合、賛成しますか。（☑は一つ）

問 11（7）－② その自己負担額が月に 1,000 円となる場合、賛成しますか。（☑は一つ）

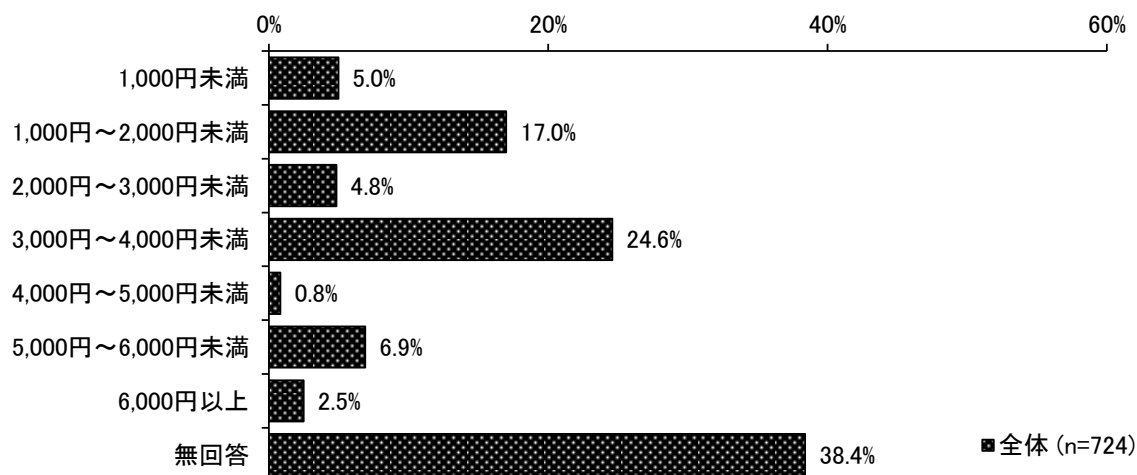
デイサービスで有償ボランティアからサービスを受ける場合の、自己負担額については、月額 3,000 円で 46.4%、5,000 円で 25.6%、1,000 円で 70.2%が「はい（賛成する）」となっています。



(14) 自己負担の許容額（デイサービス・有償ボランティア）

問 11（7）－③ あなたは、月額の自己負担額が、いくらほどなら賛成しますか。

デイサービスで有償ボランティアからサービスを受ける場合の、自己負担月額がいくらほどなら賛成かについては、「3,000 円～4,000 円未満」の割合が 24.6%と最も高く、次いで「1,000 円～2,000 円未満」（17.0%）、「5,000 円～6,000 円未満」（6.9%）の順となっています。



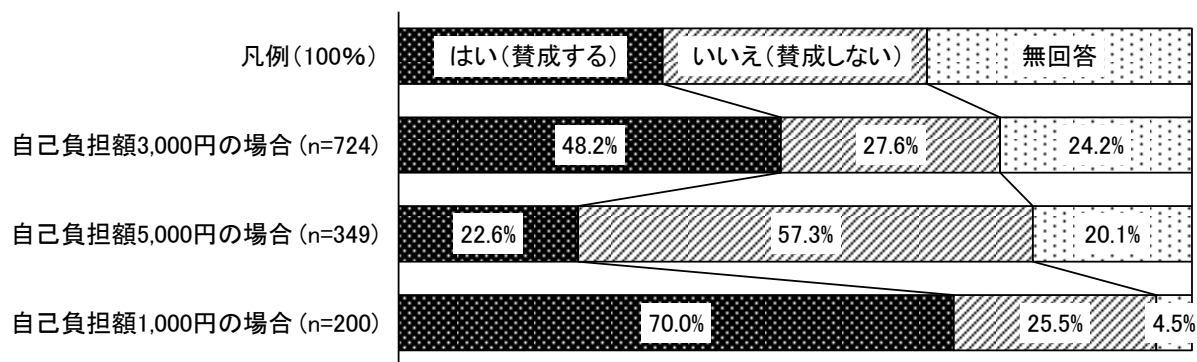
(15) サービス利用の自己負担額について（通所での生活機能改善プログラム）

問 11（8） あなたは、通所での生活機能を改善するための運動器の機能向上や栄養改善等のプログラムによるサービスを受ける際、本サービス利用の自己負担額が月に3,000円となる場合、賛成しますか。（☑は一つ）

問 11（8）－① その自己負担額が月に5,000円となる場合、賛成しますか。（☑は一つ）

問 11（8）－② その自己負担額が月に1,000円となる場合、賛成しますか。（☑は一つ）

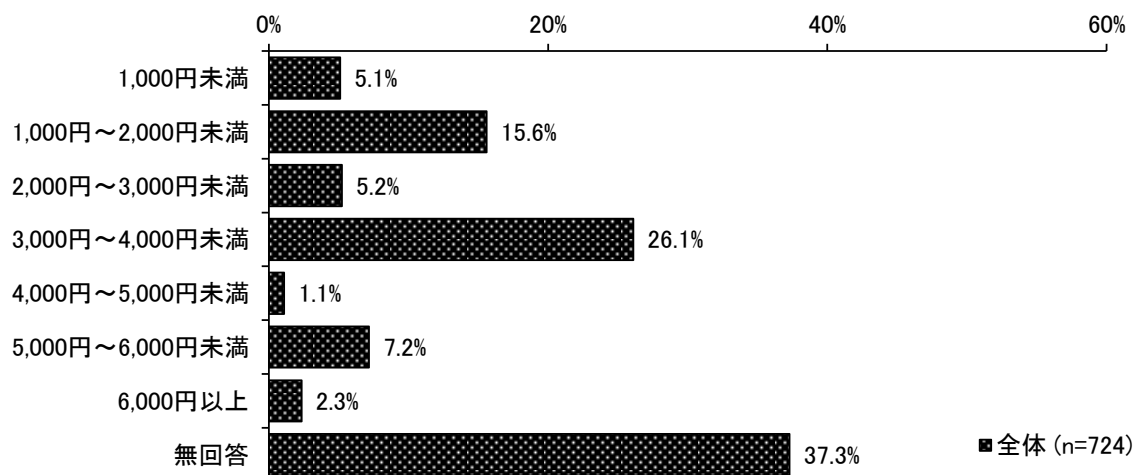
通所での生活機能を改善するための運動器の機能向上や栄養改善等のプログラムによるサービスを受ける場合の、自己負担額については、月額3,000円で48.2%、5,000円で22.6%、1,000円で70.0%が「はい（賛成する）」となっています。



(16) 自己負担の許容額（通所での生活機能改善プログラム）

問 11（8）－③ あなたは、月額の自己負担額が、いくらほどなら賛成しますか。

通所での生活機能を改善するための運動器の機能向上や栄養改善等のプログラムによるサービスを受ける場合の、自己負担月額がいくらほどなら賛成かについては、「3,000円～4,000円未満」の割合が26.1%と最も高く、次いで「1,000円～2,000円未満」(15.6%)、「5,000円～6,000円未満」(7.2%)の順となっています。





Ⅲ 調査結果・まとめ

【1】項目別まとめ

1 基本属性

調査票の回答者は、「あて名のご本人が記入」が 86.0%となっている。

2 あなたのご家族や生活状況について

高齢者の家族構成は「夫婦 2 人暮らし（65 歳以上）」が 41.9%で最も高く、日中独居の有無については、『日中に家で一人になることがある』（「よくある」「たまにある」の合計）が 65.9%となっている。

現状では、「介護・介助は必要ない」が 86.0%で最も高く、「元気な高齢者が多いまち」と言える。一方、介護・介助が必要になった原因については、「高齢による衰弱」「糖尿病」と回答している方が多くなっている。また、主な介護者としては、「配偶者（夫・妻）」「息子」がともに 33.3%で最も高く、介護者の年齢については、「65～74 歳」が 31.3%で最も高く、次いで「65 歳未満」「85 歳以上」が各 18.8%となっている。

現在の暮らしの状況については、「ふつう」が 57.7%と最も高くなっている。

3 からだを動かすことについて

転倒に対する不安については、『不安』（「とても不安である」「やや不安である」の合計）が 55.1%、『不安はない』（「あまり不安でない」「不安でない」の合計）が 43.4%となっており、『不安』が 11.7 ポイント高くなっている。

外出を控えているかについては、「はい」が 28.3%、「いいえ」が 67.3%となっている。控えている理由については、「その他」が 37.1%で最も高く、内容としては、新型コロナウイルス感染症が多くなっている。

外出する際の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が 58.1%で最も高く、次いで「徒歩」が 57.3%となっている。

4 食べることについて

BMI については、「18.5～25.0 未満（標準）」が 65.3%と最も高く、次いで「25.0 以上（肥満）」が 22.7%、「18.5 未満（やせ）」が 8.0%となっている。

誰かと食事をともにする機会については、「毎日ある」が 56.6%と最も高く、次いで「月に何度かある」が 17.3%、「ほとんどない」が 10.1%となっている。

5 毎日の生活について

物忘れの状況については、「はい（物忘れが多い）」が41.9%、「いいえ」が55.9%となっている。

日用品の買い物については、「できるし、している」が84.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が10.5%、「できない」が3.5%となっている。また、食事の用意については、「できるし、している」が72.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が19.2%、「できない」が6.9%となっている。

健康への関心については、「はい（関心がある）」が88.4%、「いいえ」が10.2%となっている。

生きがいの有無については、「生きがいあり」が62.3%、「思いつかない」が33.8%となっている。

6 地域での活動について

会・グループ等への参加頻度については、「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「町内会・自治会」「収入のある仕事」は比較的参加頻度が高く、特に「趣味関係のグループ」では「月1～3回」が9.8%となっている。一方で「ボランティアのグループ」「学習・教養サークル」「えんがわ（通いの場）」「老人クラブ（いきいきクラブ）」は6割以上が「参加してない」と回答している。

会・グループ等への参加者としての参加意向については、「参加してもよい」が48.8%と最も高く、次いで「参加したくない」が31.8%、「ぜひ参加したい」が9.5%となっている。

介護支援ボランティアの認知状況については、「はい（知っている）」が23.8%と約4人に1人となっている。介護支援ボランティアを知っている方で活動参加経験の有無については、「はい（参加経験あり）」が16.3%となっている。参加してみたい介護支援ボランティア活動については、「施設内の行事の手伝い」が18.6%で最も高く、次いで「施設の食堂内の配膳などの補助作業」が13.4%、「要介護者の家で話し相手」が11.9%、「施設内の掃除や庭の手入れ」が11.7%、「要介護者の家の庭の手入れ」が9.3%となっている。

7 たすけあいについて

心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人・聞いてあげる人は、ともに「配偶者」が最も高く、次いで「友人」となっている。

看病や世話をしてくれる人・してあげる人は、ともに「配偶者」が最も高く、次いで「別居の子ども」となっている。

近所づきあいの程度については、「立ち話をする程度」が40.1%と最も高く、次いで「あいさつをする程度」が29.3%、「お互いに訪問しあう人がいる」が18.0%となっている。

よく会う友人・知人との関係については、「近所・同じ地域の人」が49.3%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が35.1%、「仕事での同僚・元同僚」が32.5%となっている。

8 健康について

健康状態については、『よい』（「とてもよい」「まあよい」の合計）が77.8%となっている。一方、『よくない』（「あまりよくない」「よくない」の合計）が20.9%となっている。

運動の有無については、「ときどきしている」が27.3%と最も高く、「ほぼ毎日している」（20.9%）を合計すると48.2%が『している』と回答している。一方、「あまりしていない」（24.3%）、「まったくしていない」（24.2%）の合計は48.5%となっている。運動をしていない理由については、「特に理由はない」が35.9%で最も高く、次いで「運動をするきっかけがないから」が22.2%、「健康・体力に不安があるから」が19.7%となっている。

9 認知症にかかる相談窓口の把握について

本人または家族に認知症の症状があるかについては、「はい」が7.3%、「いいえ」が88.7%となっている。また、認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「いいえ（知らない）」が79.0%となっている。

10 介護予防について

介護予防・認知症支援事業の認知度については、「知らなかった」と回答した方は、シルバーサロンが61.3%、オレンジカフェが83.4%、認知症サポーターが80.0%となっている。

11 介護保険制度について

介護保険制度全般の満足度については、『満足』（「非常に満足している」「やや満足している」の合計）が38.8%、『不満』（「やや不満である」「非常に不満である」の合計）が19.6%となっており、『満足』が19.2ポイント高くなっている。

介護保険料と介護サービスの関係については、「全国的に見て平均的な介護保険料で平均的な介護サービスが良い」が50.0%で最も高くなっている。

地域包括支援センターの認知状況については、「まったく知らなかった」が44.5%で最も高いが、利用者の評価については、「ある程度助かった」が40.5%と最も高く、「大変助かった」（36.5%）を合計すると77.0%が『助かった』と回答している。また、利用者の地域包括支援センターの利用意向については、「利用する必要があったら、また利用したい」が84.2%となっている。

地域密着型サービスの認知状況については、「小規模多機能型居宅介護」が25.3%で最も高く、次いで「認知症対応型通所介護（認知症デイサービス）」が24.3%、「地域密着型通所介護（小規模デイサービス）」が22.4%となっている。

希望する介護内容については、「自宅で暮らし続けたい（主に居宅サービスを利用）」が26.5%で最も高く、次いで「自宅で暮らし続けたい（主に家族による介護）」が22.2%とこの2つが特に高くなっている。また、在宅介護の課題については、「家族だけでは十分な介護が難しい」が65.2%で最も高く、次いで「緊急時の対応に不安がある」が39.2%、「夜間の介護や見守りに支障がある」が28.2%となっている。

12 介護保険の新たなサービスについて

サービスを受けた場合の自己負担月額については、すべてのサービスで「はい（賛成する）」は月額1,000円が最も高く、次いで月額3,000円、月額5,000円の順となっている。

各サービスの自己負担の許容額では、すべてのサービスで「3,000円～4,000円未満」が最も高くなっている。

【2】全体まとめ

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査からは、全体的な傾向として「元気な高齢者が多いまち」と言える結果となっている。現状では「介護・介助は必要ない」が86.0%で最も高いが、一方で、介護・介助が必要になった原因として「高齢による衰弱」と「糖尿病」をあげている方が多いため、前期高齢者からの健康寿命延伸の取組や生活機能低下の可能性のある方を把握して状況に合わせた介護予防事業を展開していくことが必要と考えられる。

転倒に対する不安については、『不安』が55.1%、『不安はない』が43.4%と『不安』の方が多く結果となっている。また、健康状態については、『よい』（「とてもよい」「まあよい」の合計）が77.8%となっている。一方、『よくない』（「あまりよくない」「よくない」の合計）が20.9%となっている。

会・グループ等への参加頻度については、「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「町内会・自治会」「収入のある仕事」は比較的参加頻度が高いが、一方で「ボランティアのグループ」「学習・教養サークル」「えんがわ（通いの場）」「老人クラブ（いきいきクラブ）」は低くなっている。会・グループ等への参加者としての参加意向については、「参加してもよい」の割合が高くなっている。高齢者の孤立防止や生きがいがづくりの観点からも参加率の向上が必要と考えられる。

介護支援ボランティアの認知状況については、「はい（知っている）」が23.8%と約4人に1人となっている。介護支援ボランティアを知っている方で活動参加経験の有無については、「はい（参加経験あり）」が16.3%となっている。

認知症窓口を知らないと回答した方は、8割弱となっており、介護予防・認知症支援事業の認知度も低い状態となっているため、周知を図る必要があると考えられる。

今回の調査からは、

- ①前期高齢者への健康寿命の延伸
- ②運動・食事・日常生活で問題がある方の把握とその状況に合わせた事業の展開
- ③地域づくりを通じた健康づくり、介護予防の充実
- ④雇用やボランティア等の参加機会の確保
- ⑤認知症に関する相談窓口の周知等を通じた認知症施策の推進

などの課題が読み取れる。

野田市 介護保険サービス利用者等実態調査

(在宅介護実態調査 (兼特養入所希望者調査))

— 報告書 —

令和5年 3月

千葉県 野田市

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 調査結果	3
1 基本属性	3
(1) 調査対象者の居住地	3
(2) 調査対象者の年齢	3
(3) 調査対象者の性別	4
(4) 調査対象者の要支援・要介護度	4
(5) 調査票の回答者	5
(6) 世帯類型	5
(7) 日中独居の有無	6
2 介護者の状況	7
(1) 家族介護の頻度	7
(2) 主な介護者	7
(3) 介護者の性別	8
(4) 介護者の年齢	8
(5) 介護を理由とした退職の有無	9
(6) 介護者の健康状態	10
(7) 介護の「精神的な負担」の有無	11
(8) 介護の「身体的な負担」の有無	12
(9) 介護の内容	13
(10) 不安に感じる介護の内容	14
(11) 介護者の現在の勤務形態	16
(12) 無職の理由	17
(13) 介護のための働き方の調整等について	18
(14) 仕事と介護の両立に効果がある勤務先の支援	20
(15) 仕事と介護の継続について	21
3 介護サービスの利用状況等について	23
(1) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況	23
(2) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	24
(3) 住まいの障がい	26
(4) 施設等への入所・入居の検討状況	27
(5) 現在抱えている傷病	29
(6) 訪問診療の利用状況	30
(7) 介護保険サービスの利用状況	31
(8) 介護保険サービスの利用状況（詳細）	32
(9) 介護保険サービスの利用期間	34
(10) 介護保険サービス利用の効果について	35

(11) ケアマネジャーの選び方.....	36
(12) 容易にケアマネジャーを選ぶことができたかどうか	36
(13) ケアマネジャーの評価.....	37
(14) ケアマネジャーの満足度.....	38
(15) 現在利用しているサービス内容の満足度.....	38
(16) 現在利用しているサービス内容の不満点.....	39
(17) 介護保険サービスを利用していない理由.....	40
4 地域密着型サービスについて	41
(1) 地域密着型サービスの認知状況.....	41
(2) 地域密着型サービスの利用意向.....	42
(3) 本市実施の高齢者福祉サービスの認知状況・利用意向	46
5 介護保険制度について	47
(1) 介護保険制度全般について.....	47
(2) 介護保険制度への不満.....	48
(3) 介護保険料の負担感.....	49
(4) 地域包括支援センターの利用状況.....	49
(5) 要介護度が進んだ場合に希望する介護内容.....	50
(6) 在宅介護を希望する理由.....	52
(7) 在宅介護を続ける際の課題.....	53
6 施設入所について	54
(1) 特別養護老人ホームへの入所の申込み状況.....	54
(2) 特別養護老人ホームへの入所申込み理由.....	55
(3) 特別養護老人ホームに入所申込からの期間.....	57
(4) 特別養護老人ホーム以外に希望する施設.....	58
(5) 希望する居室	59
(6) 施設入所の必要度.....	59
(7) 現在の介護状況	60
(8) 入所を断った理由.....	60
7 終末期の過ごし方について	61
(1) 終末期の過ごし方に関する家族との話し合い.....	61
(2) 終末期をどこで過ごすか.....	61
III 調査結果・まとめ	63
【1】項目別まとめ	63
【2】全体まとめ	66

I 調査の概要

【調査の目的】

「野田市シルバープラン（野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画）第9期計画」の策定に向けて、在宅で介護保険サービス等を受けている高齢者における生活の状況、住まいや暮らし、健康状態や介護保険制度についての意識等を把握し、今後の高齢者福祉施策に活用することを目的として実施した。

【調査対象】

在宅で介護保険サービス等を受けている高齢者

【調査方法】

郵送配布・回収

【調査期間】

令和4年（2022年）10月

【回収結果】

配布数	1,281人
有効回収数	744人
有効回収率	58.1%

【報告書の見方について】

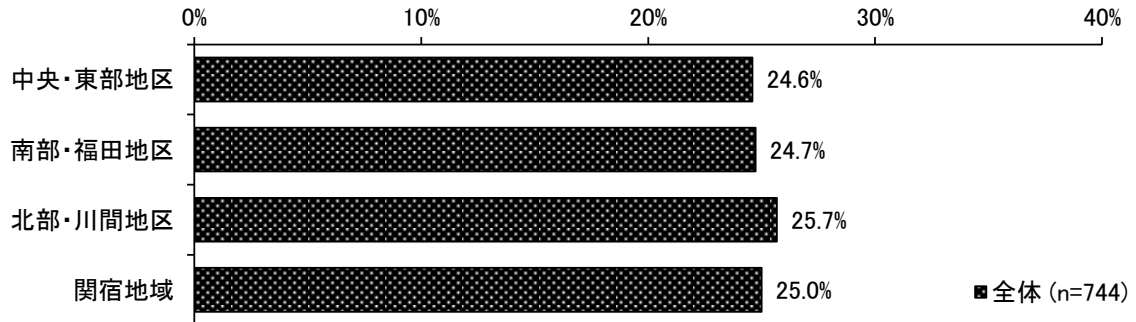
- （1）集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- （2）2つ以上の回答を可能とした設問（複数回答）の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- （3）図表中に示すnは、比率算出上の基数（標本数）である。
- （4）この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。



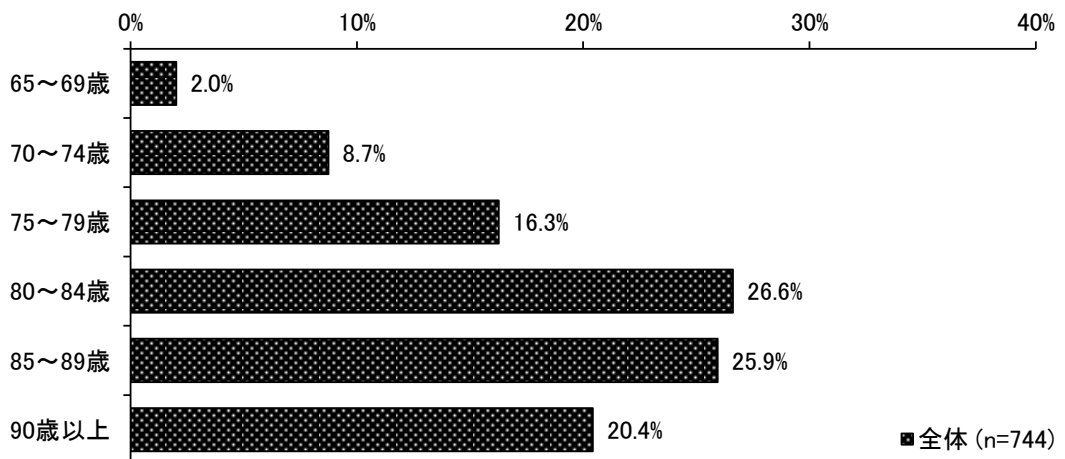
Ⅱ 調査結果

1 基本属性

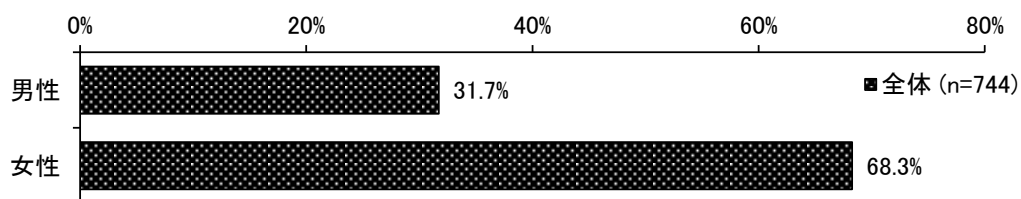
（1）調査対象者の居住地



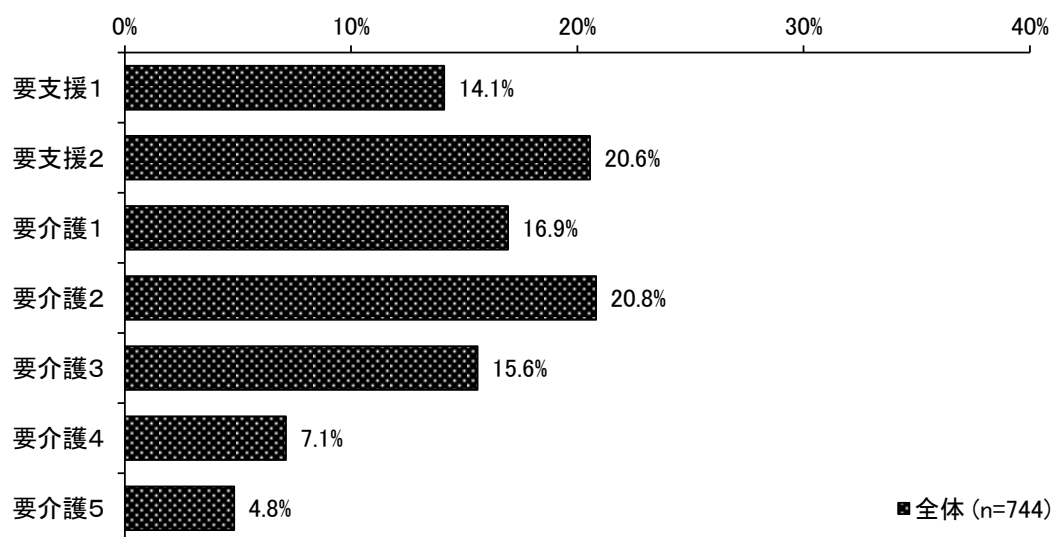
（2）調査対象者の年齢



(3) 調査対象者の性別



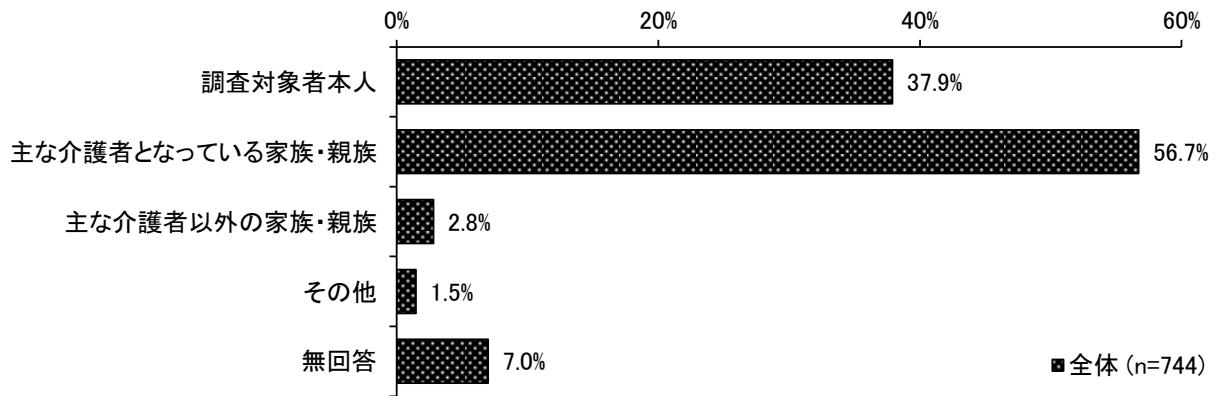
(4) 調査対象者の要支援・要介護度



(5) 調査票の回答者

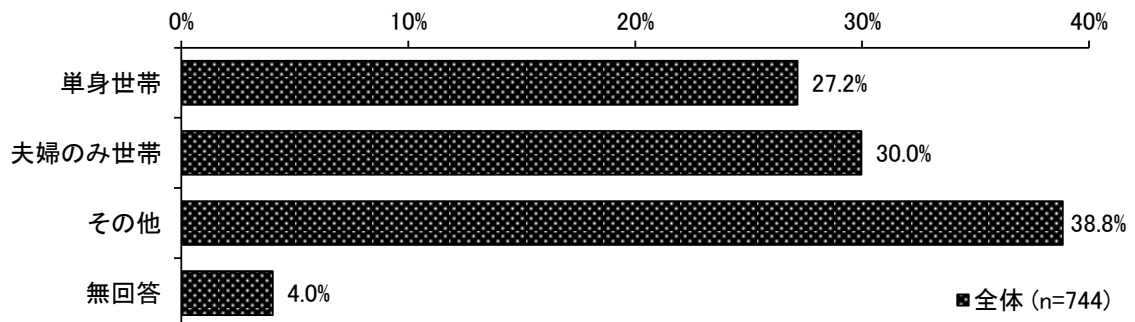
調査票を記入されたのはどなたですか。（あてはまるものすべてに☑）

調査票の回答者については、「主な介護者となっている家族・親族」の割合が 56.7%と最も高く、次いで「調査対象者本人」（37.9%）の順となっています。

**(6) 世帯類型**

問 1 (1) 世帯類型について、ご回答ください。（☑は1つ）

世帯類型については、「その他」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」（30.0%）、「単身世帯」（27.2%）の順となっています。

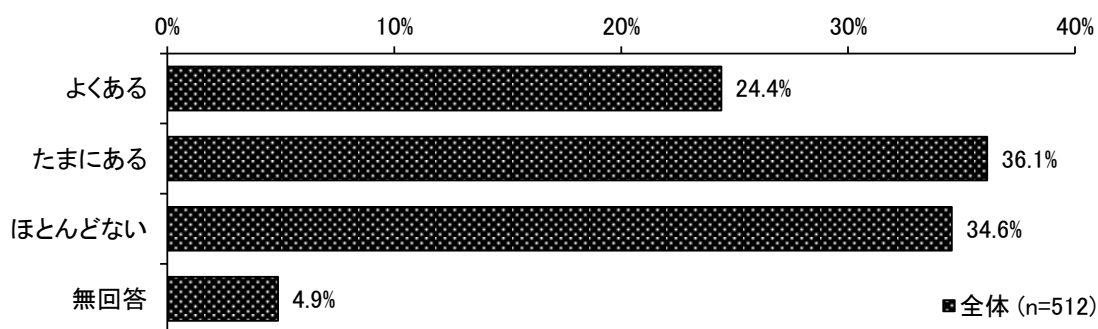


(7) 日中独居の有無

【(1)で「夫婦のみ世帯」、「その他」と回答した方のみお答えください】

問1(2) あなたは日中、家で一人になることがありますか。(☑は1つ)

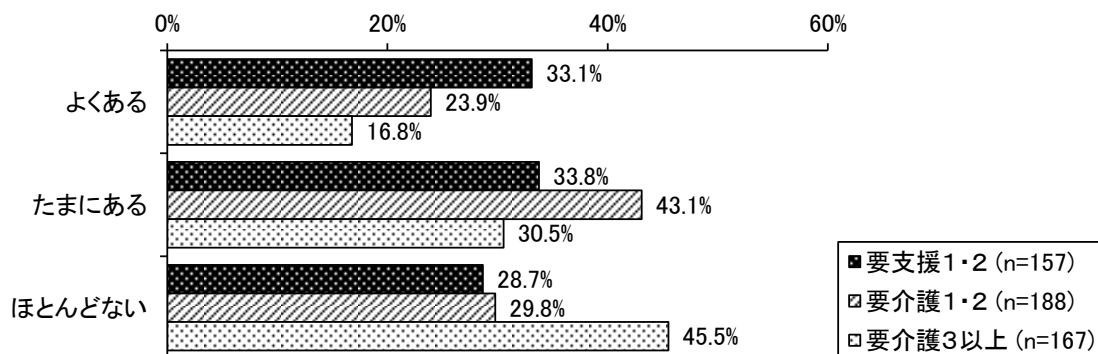
日中独居の有無については、「たまにある」の割合が36.1%と最も高く、次いで「ほとんどない」(34.6%)、「よくある」(24.4%)の順となっています。



クロス集計

【日中独居の有無（要介護度別）】

日中独居の有無について要介護度別にみると、「よくある」は要支援1・2、「たまにある」は要介護1・2、「ほとんどない」は要介護3以上が最も高くなっています。

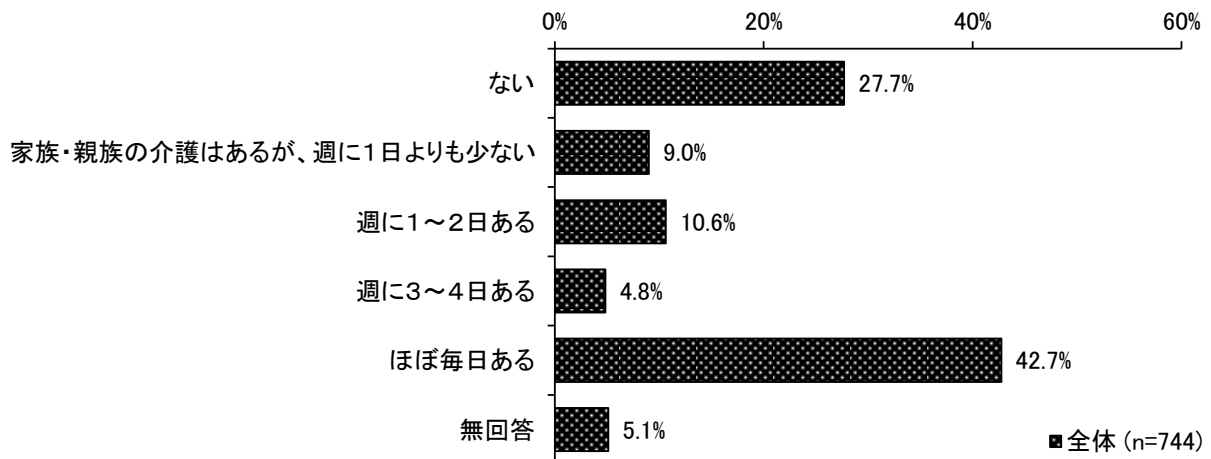


2 介護者の状況

(1) 家族介護の頻度

問2(1) ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (☑は1つ)

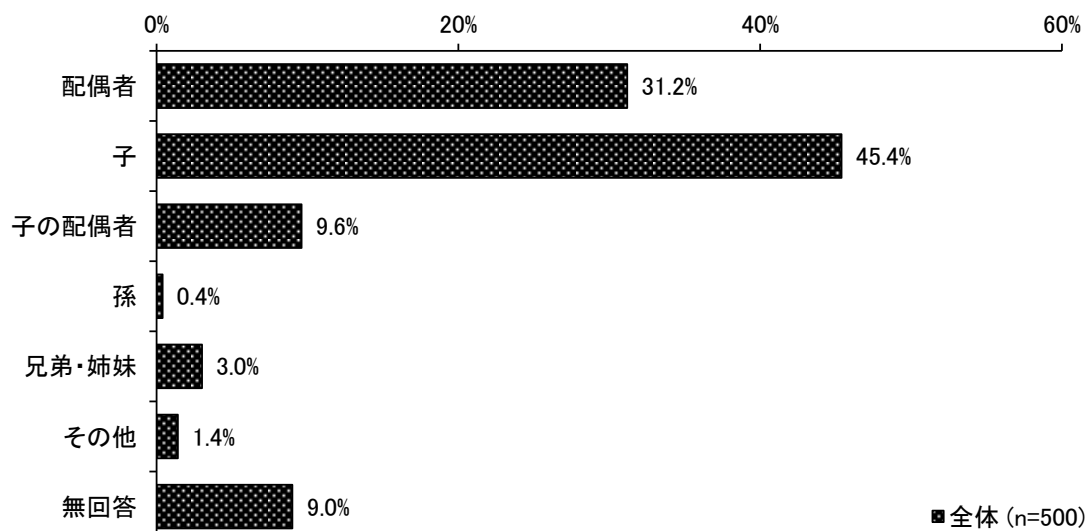
家族介護の頻度については、「ほぼ毎日ある」の割合が42.7%と最も高く、次いで「ない」(27.7%)の順となっています。



(2) 主な介護者

【(1)で家族・親族からの介護があると回答した方のみお答えください】
問2(2) 主な介護者の方は、どなたですか。(☑は1つ)

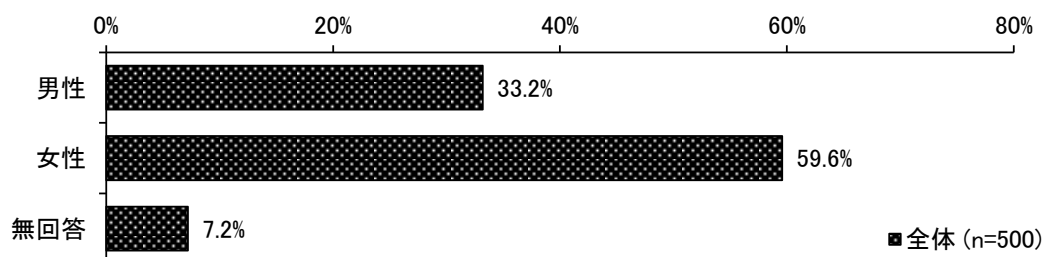
主な介護者については、「子」の割合が45.4%と最も高く、次いで「配偶者」(31.2%)、「子の配偶者」(9.6%)の順となっています。



(3) 介護者の性別

【問2(1)で家族・親族からの介護があると回答した方のみお答えください】
問2(3) 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(☑は1つ)

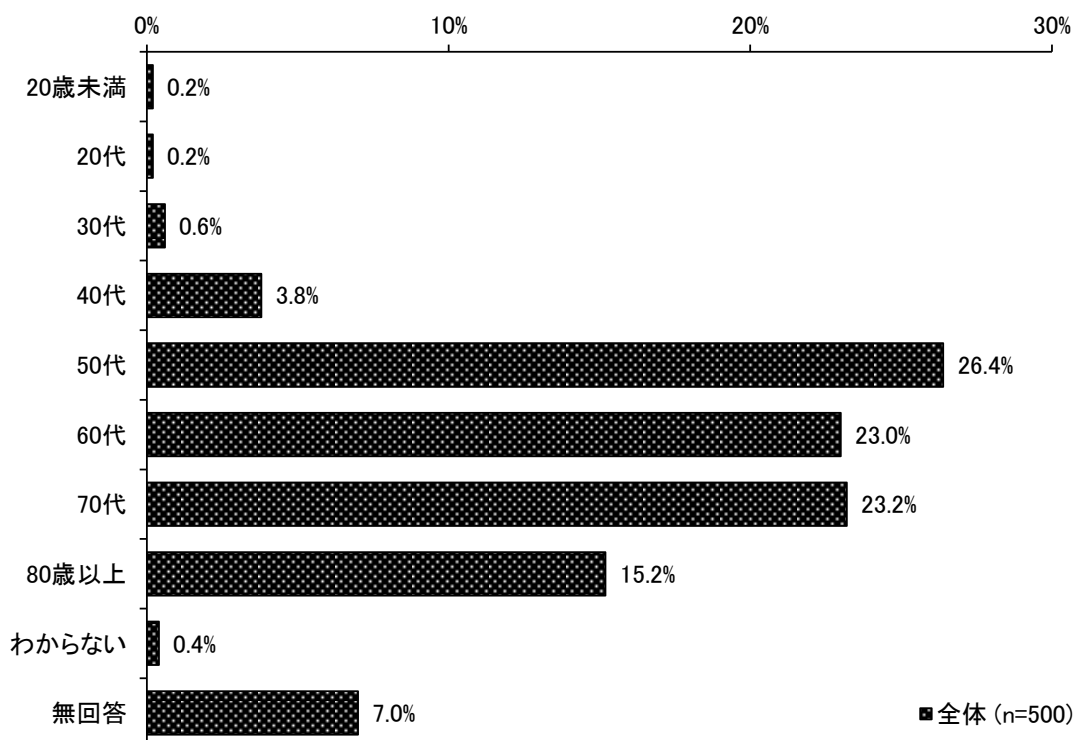
介護者の性別については、「男性」が33.2%、「女性」が59.6%となっています。



(4) 介護者の年齢

【問2(1)で家族・親族からの介護があると回答した方のみお答えください】
問2(4) 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(☑は1つ)

介護者の年齢については、「50代」の割合が26.4%と最も高く、次いで「70代」(23.2%)、「60代」(23.0%)、「80歳以上」(15.2%)、「40代」(3.8%)の順となっています。

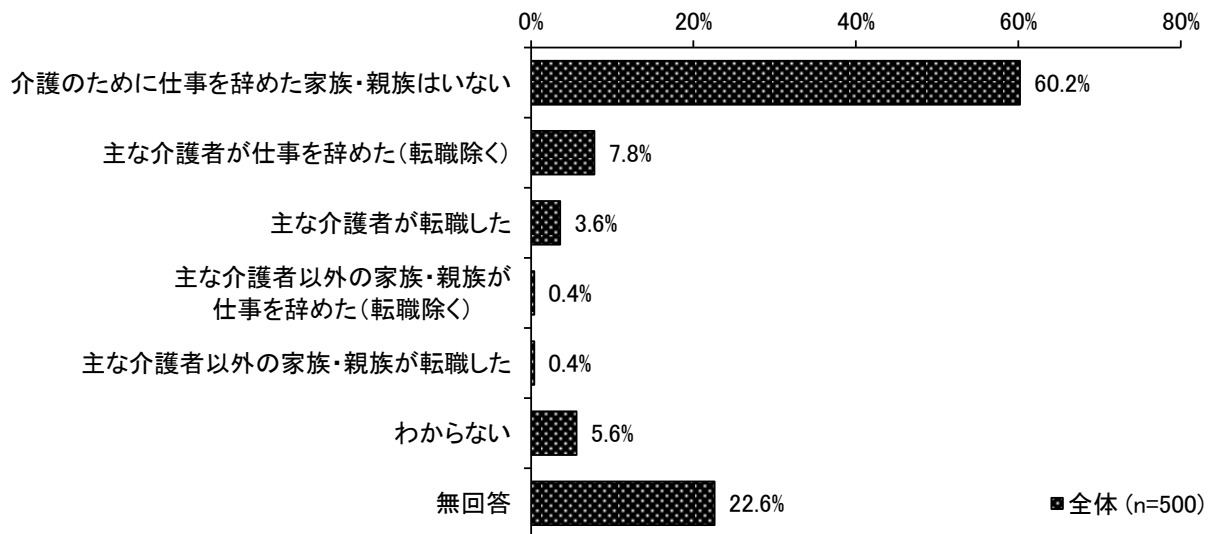


(5) 介護を理由とした退職の有無

【問2（1）で家族・親族からの介護があると回答した方のみお答えください】

問2（5） ご家族やご親族の中で、調査対象者本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（あてはまるものすべてに☑）

介護を理由とした退職の有無については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が60.2%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（7.8%）、「主な介護者が転職した」（3.6%）の順となっています。

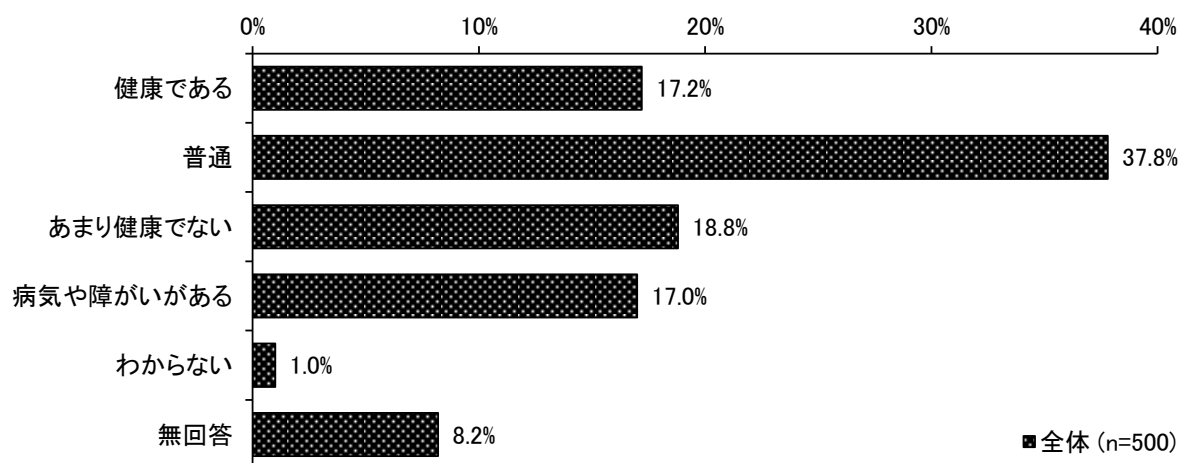


(6) 介護者の健康状態

【問2(1)で家族・親族からの介護があると回答した方のみお答えください】

問2(6) 主な介護者の方の健康状態はいかがですか。(☑は1つ)

介護者の健康状態については、「普通」の割合が37.8%と最も高く、次いで「あまり健康でない」(18.8%)、「健康である」(17.2%)の順となっています。

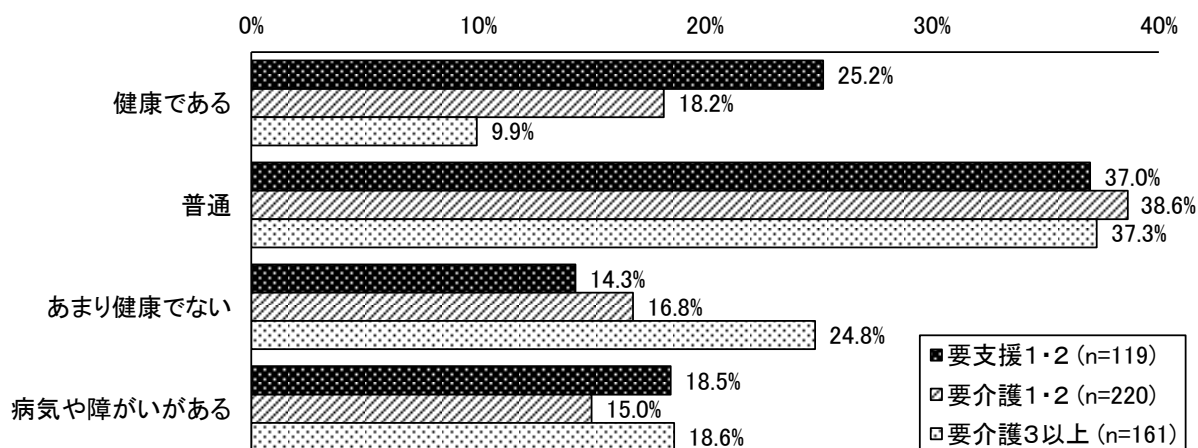


クロス集計

【介護者の健康状態（要介護度別）】

介護者の健康状態について要介護度別にみると、「健康である」は要支援1・2、「普通」は要介護1・2の割合が最も高くなっています。

一方、「あまり健康でない」「病気や障がいがある」では要介護3以上の割合が最も高くなっています。

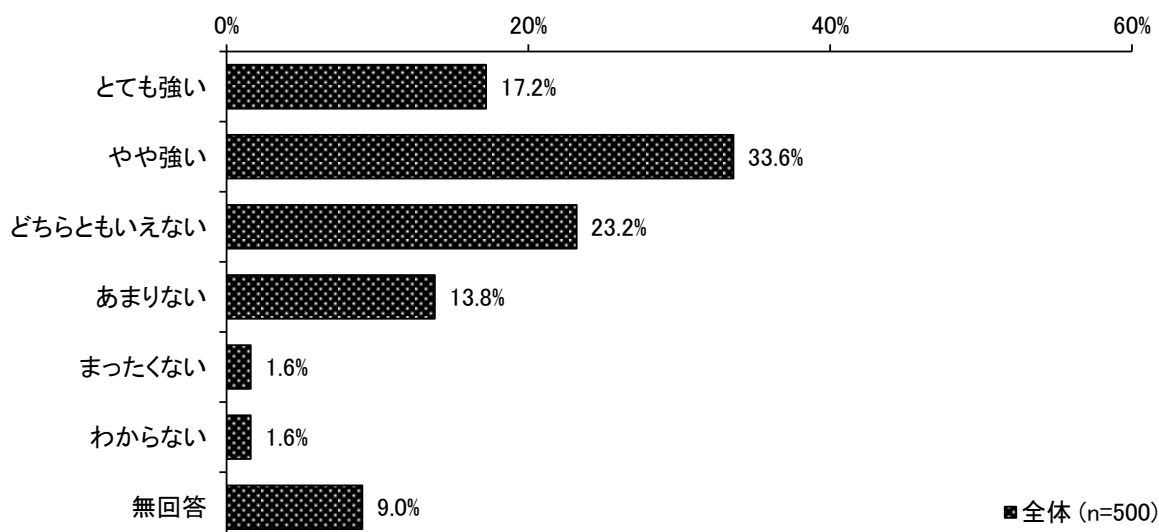


(7) 介護の「精神的な負担」の有無

【問2（1）で家族・親族からの介護があると回答した方のみお答えください】

問2（7） 介護による「精神的な負担」はいかがですか。（☑は1つ）

介護の「精神的な負担」の有無については、「やや強い」の割合が33.6%と最も高く、「とても強い」（17.2%）を合計すると50.8%が『負担が強い』と回答しています。一方、「あまりない」（13.8%）、「まったくない」（1.6%）の合計は15.4%となっています。

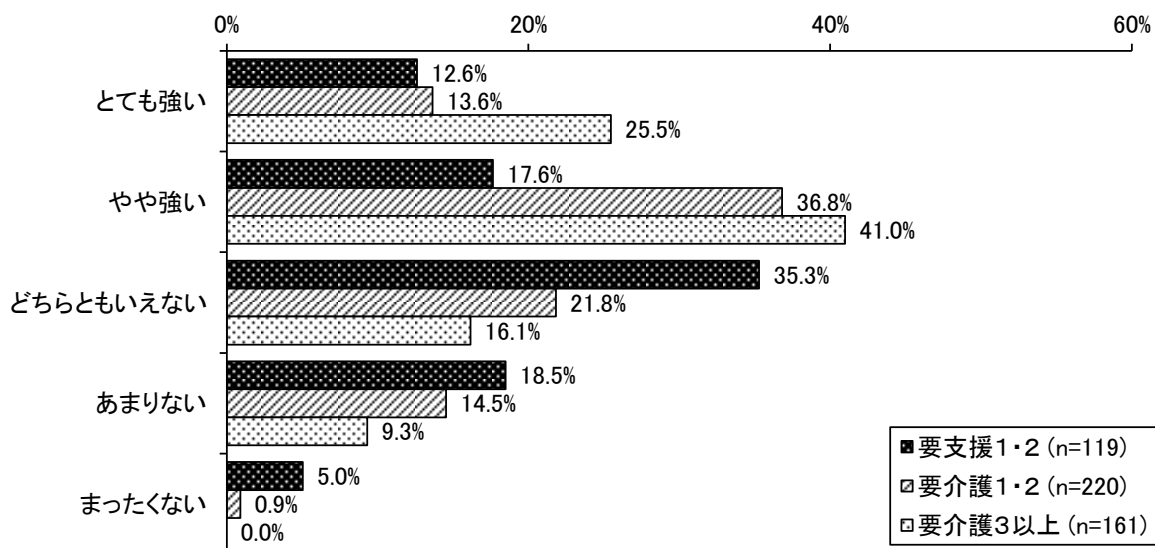


クロス集計

【介護の「精神的な負担」の有無（要介護度別）】

介護の「精神的な負担」の有無について要介護度別にみると、「とても強い」「やや強い」は要介護3以上の割合が最も高くなっています。

一方、「どちらともいえない」「あまりない」「まったくない」は要支援1・2の割合が最も高くなっています。

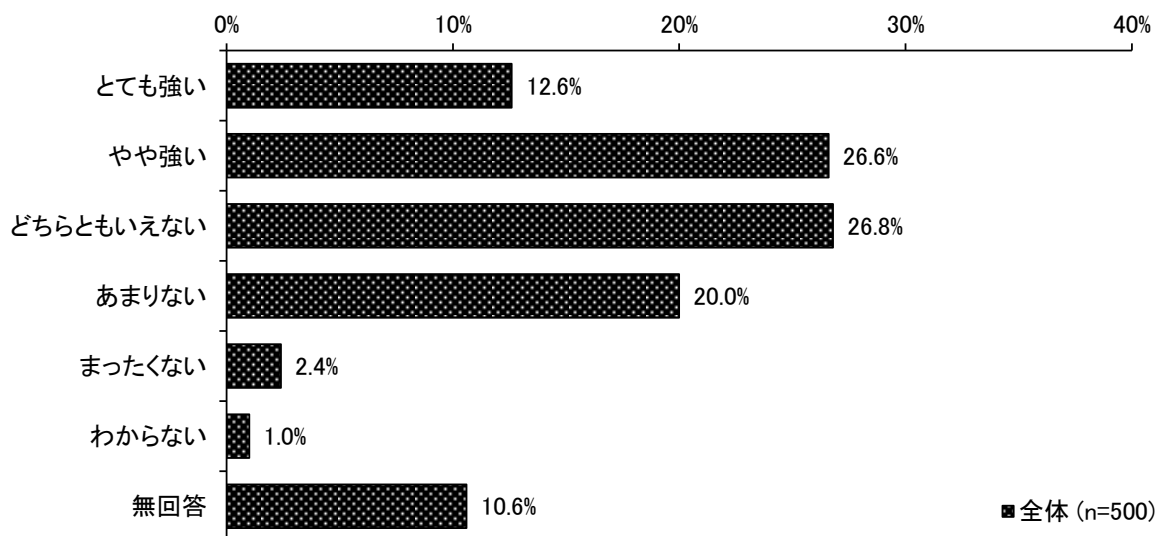


(8) 介護の「身体的な負担」の有無

【問2(1)で家族・親族からの介護があると回答した方のみお答えください】

問2(8) 介護による「身体的な負担」はいかがですか。(☑は1つ)

介護の「身体的な負担」の有無については、「どちらともいえない」(26.8%)を除くと、「やや強い」の割合が26.6%と最も高く、「とても強い」(12.6%)を合計すると39.2%が『負担が強い』と回答しています。一方、「あまりない」(20.0%)、「まったくない」(2.4%)の合計は22.4%となっています。

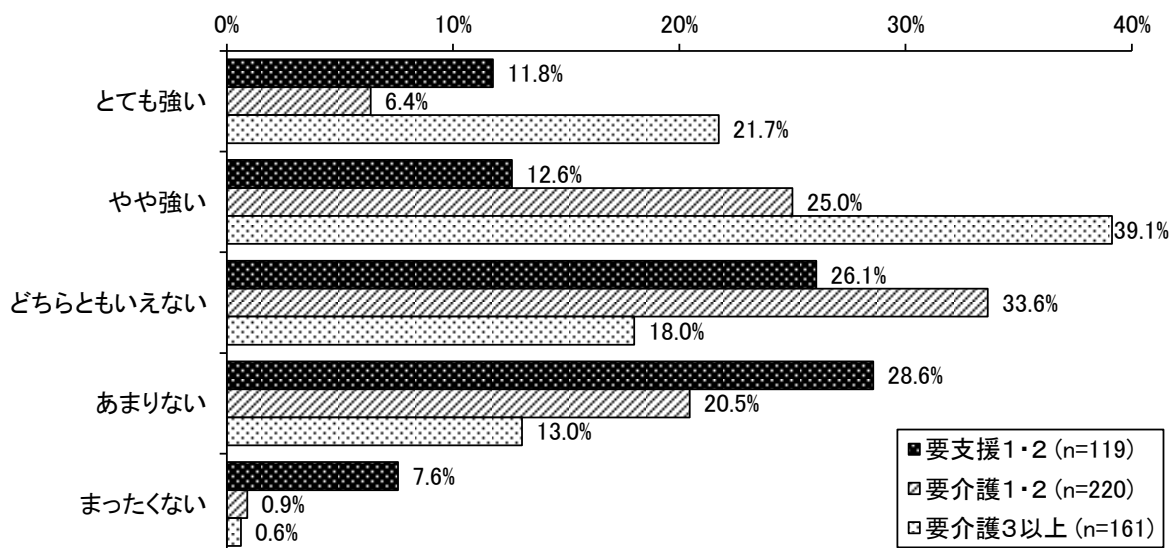


クロス集計

【介護の「身体的な負担」の有無（要介護度別）】

介護の「身体的な負担」の有無について要介護度別にみると、「とても強い」「やや強い」は要介護3以上の割合が最も高くなっています。

一方、「あまりない」「まったくない」は要支援1・2の割合が最も高くなっています。

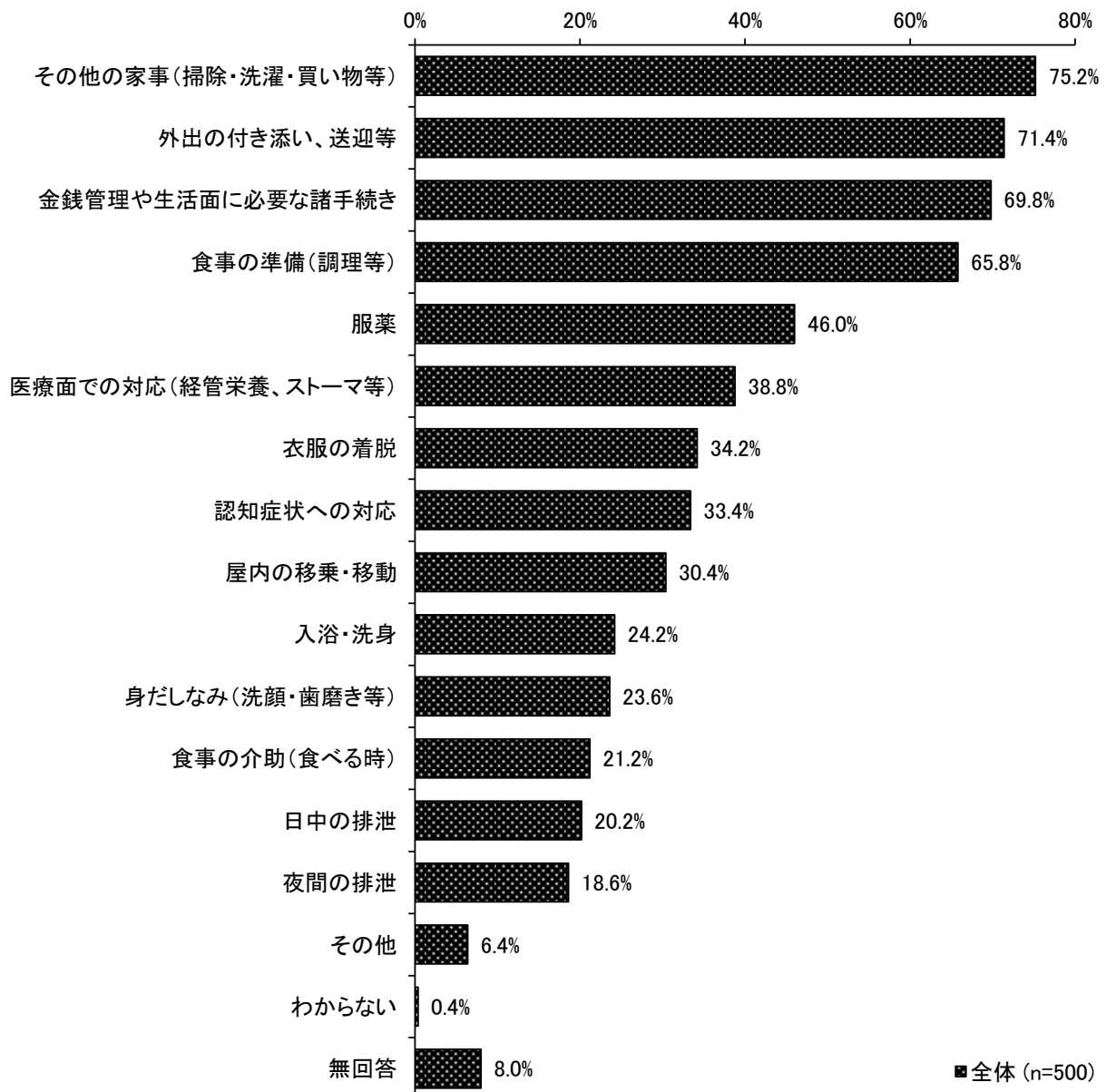


(9) 介護の内容

【問2(1)で家族・親族からの介護があると回答した方のみお答えください】

問2(9) 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。
(あてはまるものすべてに☑)

介護の内容については、「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」の割合が75.2%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」（71.4%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（69.8%）、「食事の準備（調理等）」（65.8%）、「服薬」（46.0%）の順となっています。



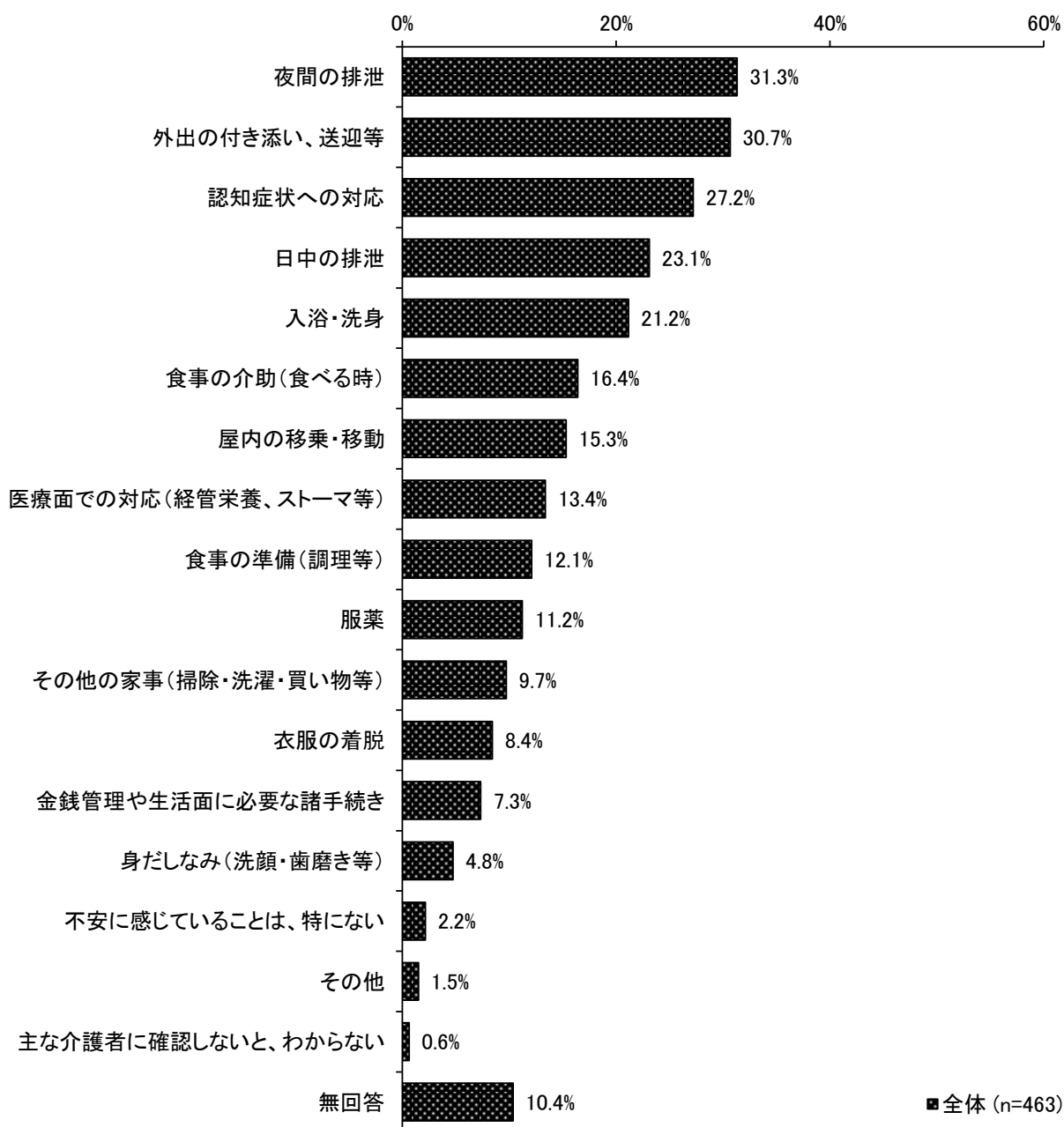
(10) 不安に感じる介護の内容

【問2(1)で家族・親族からの介護があると回答した方のみお答えください】

問2(10) 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。

(現状で行っているか否かは問いません) (☑は3つまで)

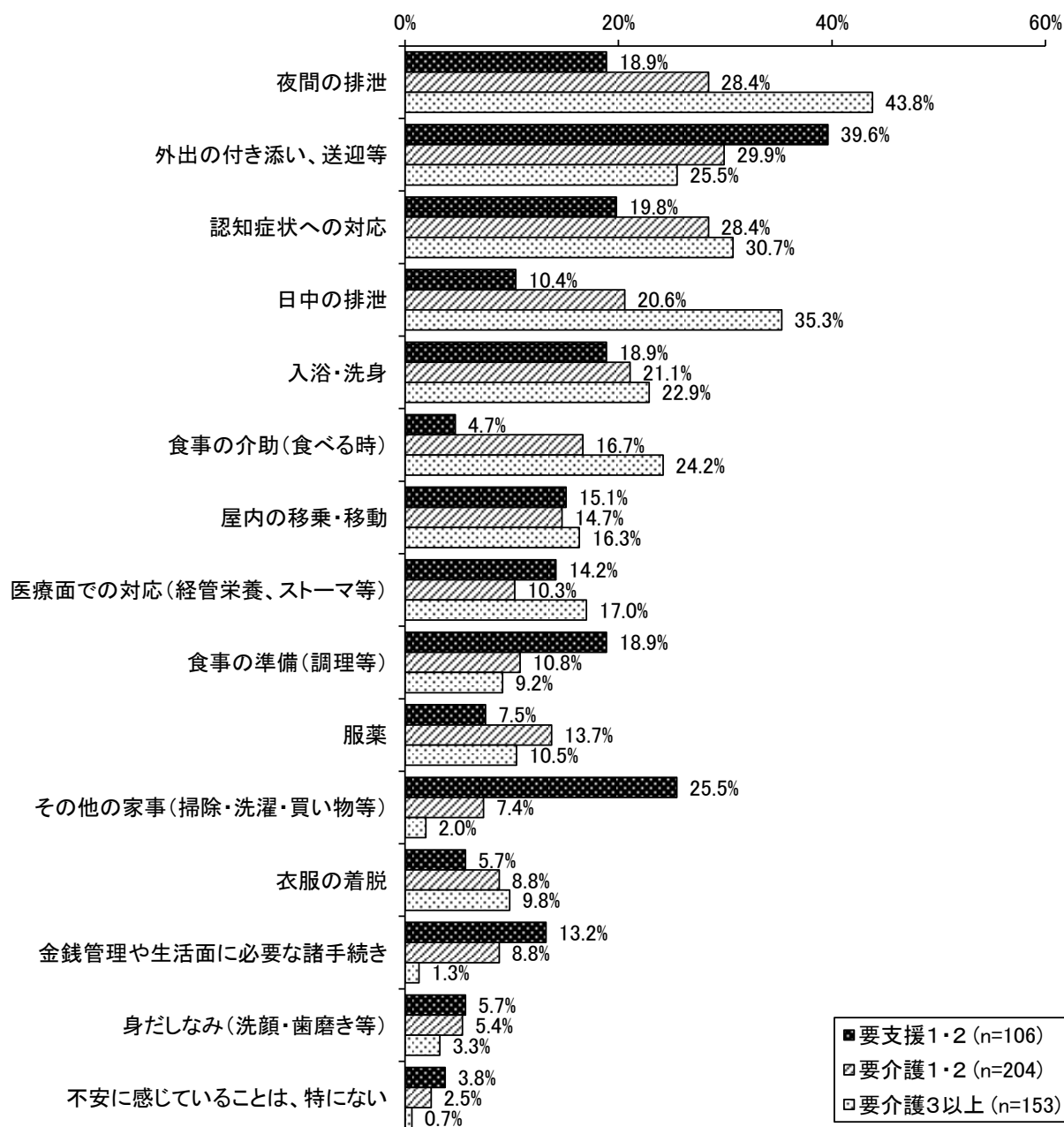
不安に感じる介護の内容については、「夜間の排泄」の割合が31.3%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」(30.7%)、「認知症状への対応」(27.2%)、「日中の排泄」(23.1%)、「入浴・洗身」(21.2%)、「食事の介助(食べる時)」(16.4%)、「屋内の移乗・移動」(15.3%)、「医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)」(13.4%)の順となっています。※記入者が調査対象者本人又は主な介護者を集計



クロス集計

【不安を感じる介護の内容（要介護度別）】

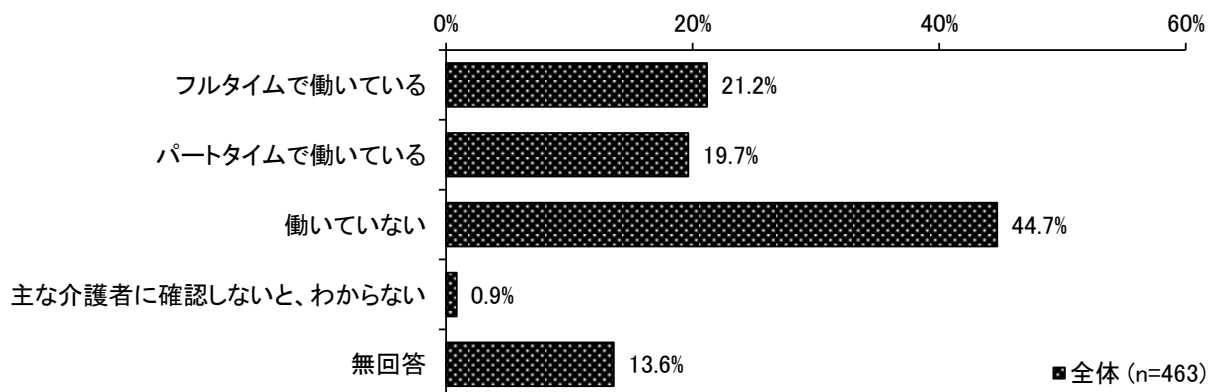
不安を感じる介護の内容について要介護度別にみると、「夜間の排泄」「認知症状への対応」「日中の排泄」「入浴・洗身」「食事の介助（食べる時）」「衣服の着脱」では要介護度があがるほどに不安を感じると回答する方が多くなる傾向となっています。また、「夜間の排泄」では要介護3以上で43.8%となっており、特に不安が大きいことがうかがえます。



(11) 介護者の現在の勤務形態

【問2(1)で家族・親族からの介護があると回答した方のみお答えください】
 問2(11) 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。
 (☑は1つ)

介護者の現在の勤務形態については、「働いていない」の割合が44.7%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」(21.2%)、「パートタイムで働いている」(19.7%)の順となっています。※記入者が調査対象者本人又は主な介護者を集計

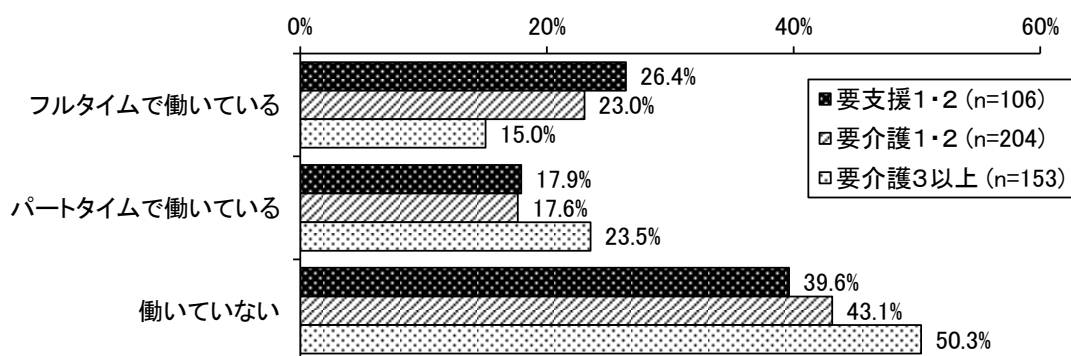


クロス集計

【介護者の現在の勤務形態（要介護度別）】

介護者の現在の勤務形態について要介護度別にみると、「フルタイムで働いている」では要支援1・2の26.4%、「パートタイムで働いている」では要介護3以上の23.5%、「働いていない」では要介護3以上の50.3%がそれぞれ最も高くなっています。

要介護度があがるほどに「働いていない」の割合が高くなっています。

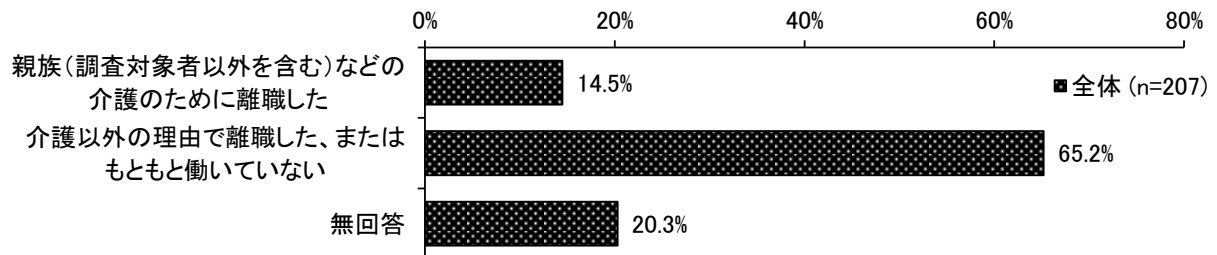


(12) 無職の理由

【問2（11）で「働いていない」と回答した方のみお答えください】

問2（12） 現在、職に就いていない理由は次のどちらですか。（☑は1つ）

無職の理由については、「介護以外の理由で離職した、またはもともと働いていない」が65.2%、「親族（調査対象者以外を含む）などの介護のために離職した」が14.5%となっています。※記入者が調査対象者本人又は主な介護者を集計

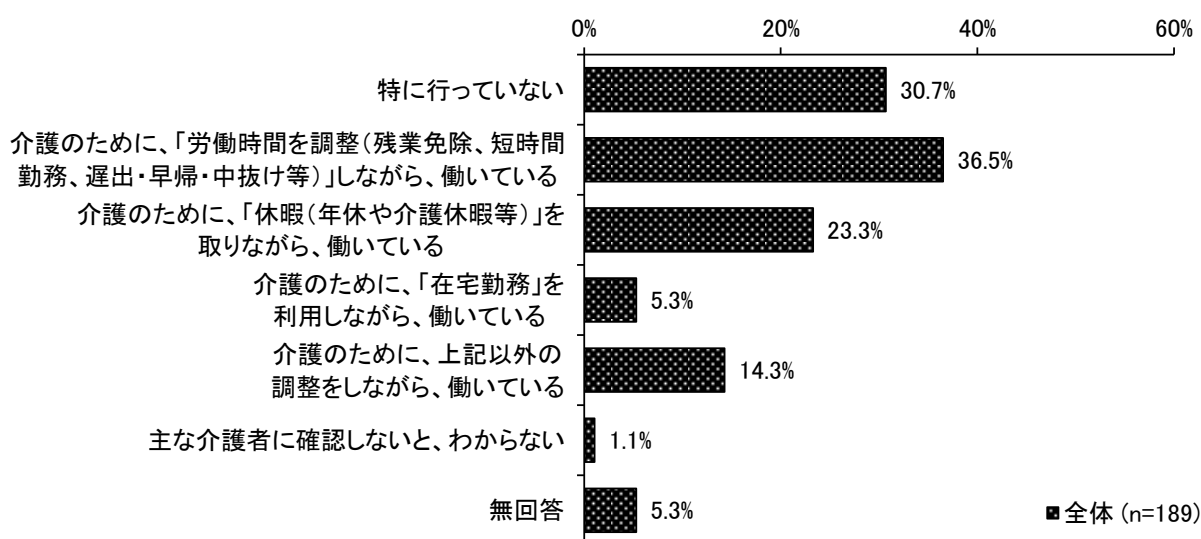


(13) 介護のための働き方の調整等について

【問2 (11) で「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」と回答した方のみお答えください】

問2 (13) 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(あてはまるものすべてに☑)

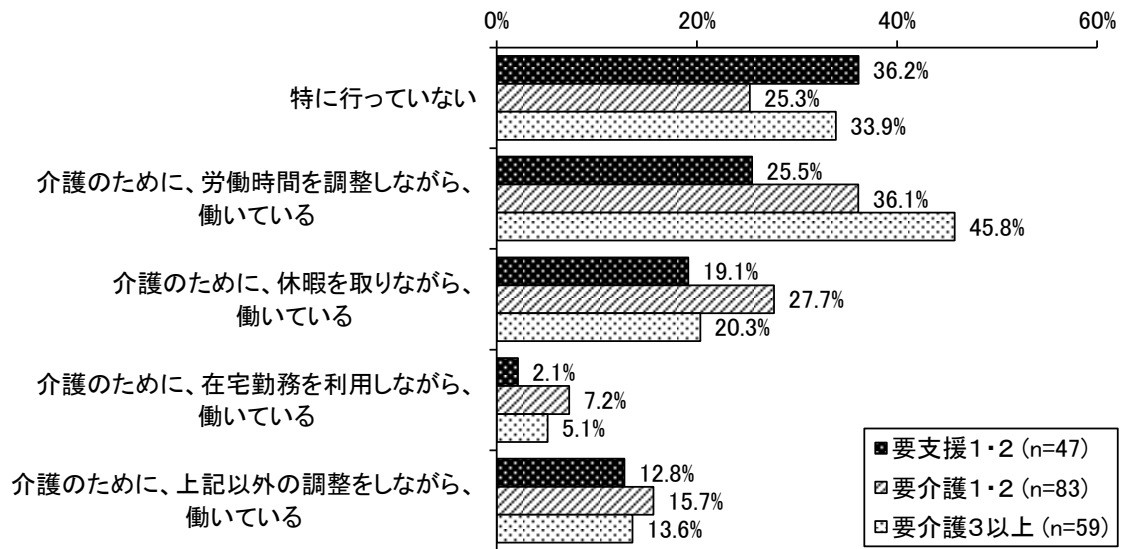
介護のための働き方の調整等については、「介護のために、『労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)』しながら、働いている」の割合が36.5%と最も高く、次いで「特に行っていない」(30.7%)、「介護のために、『休暇(年休や介護休暇等)』を取りながら、働いている」(23.3%)、「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」(14.3%)の順となっています。※記入者が調査対象者本人又は主な介護者を集計



クロス集計

【介護のための働き方の調整等について（要介護度別）】

介護のための働き方の調整等について要介護度別にみると、「介護のために、労働時間を調整しながら、働いている」は要介護1・2（36.1%）、要介護3以上（45.8%）でともに高くなっており、「介護のために、休暇を取りながら、働いている」では要介護1・2で27.7%となっています。

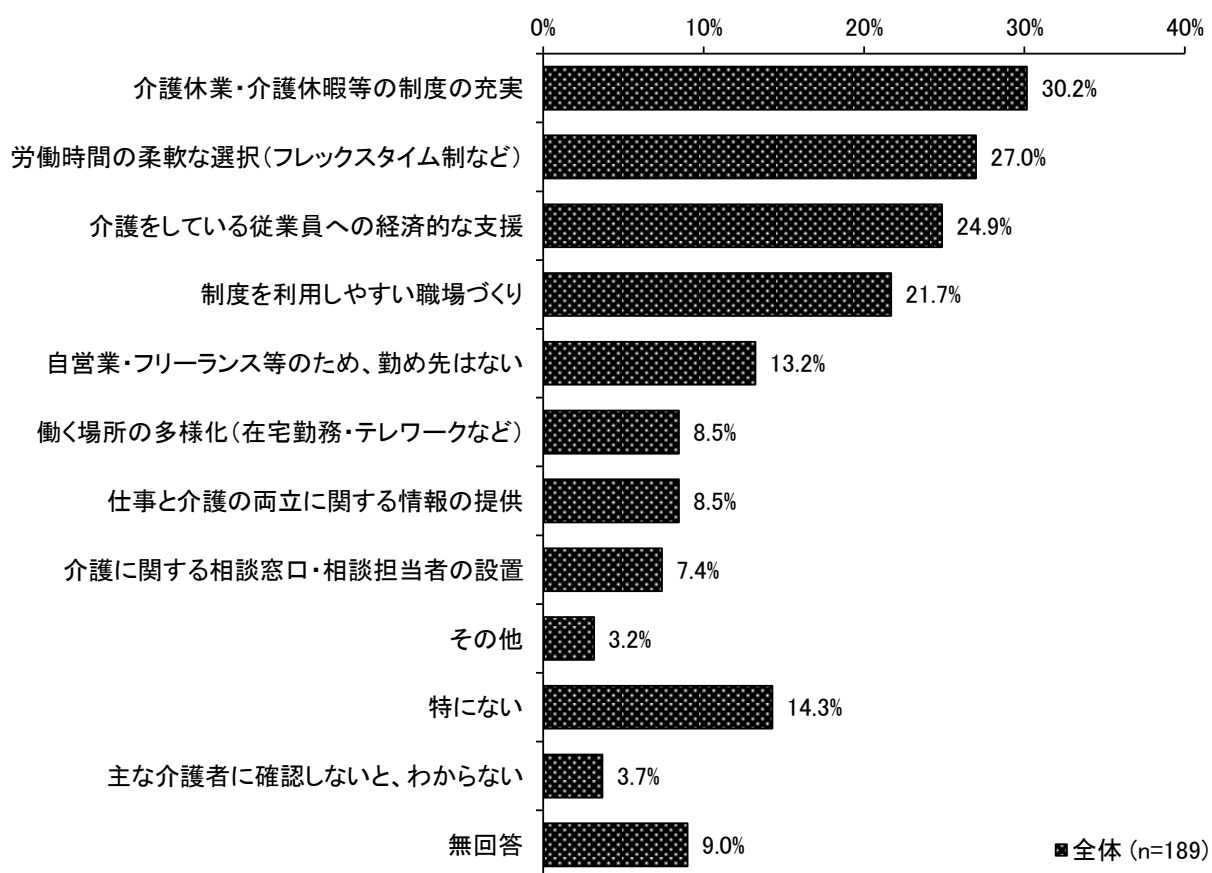


(14) 仕事と介護の両立に効果がある勤務先の支援

【問2 (11) で「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」と回答した方のみお答えください】

問2 (14) 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(☑は3つまで)

仕事と介護の両立に効果がある勤務先からの支援については、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が30.2%と最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」(27.0%)、「介護をしている従業員への経済的な支援」(24.9%)の順となっています。※記入者が調査対象者本人又は主な介護者を集計

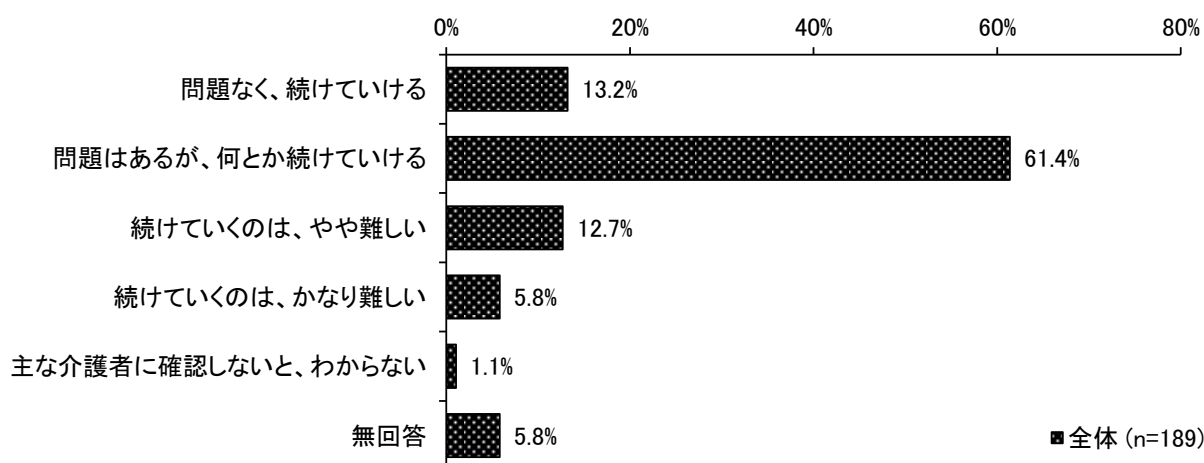


(15) 仕事と介護の継続について

【問2（11）で「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」と回答した方のみお答えください】

問2（15） 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。
 (☑は1つ)

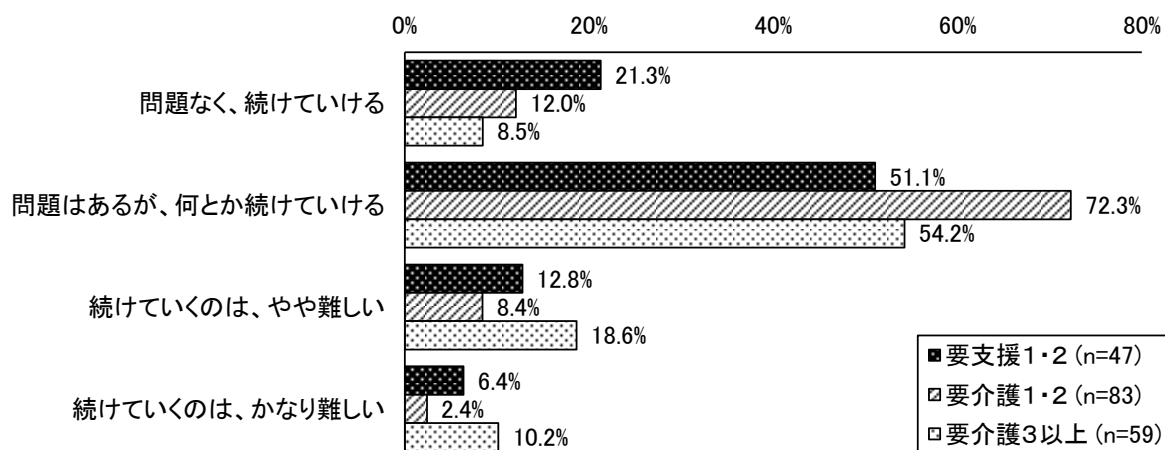
仕事と介護の継続については、「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が 61.4%と最も高く、「問題なく、続けていける」(13.2%)を合計すると 74.6%が『継続できる』と回答しています。一方、「続けていくのは、やや難しい」(12.7%)、「続けていくのは、かなり難しい」(5.8%)を合計した、『継続は難しい』は 18.5%となっています。※記入者が調査対象者本人又は主な介護者を集計



クロス集計

【仕事と介護の継続について（要介護度別）】

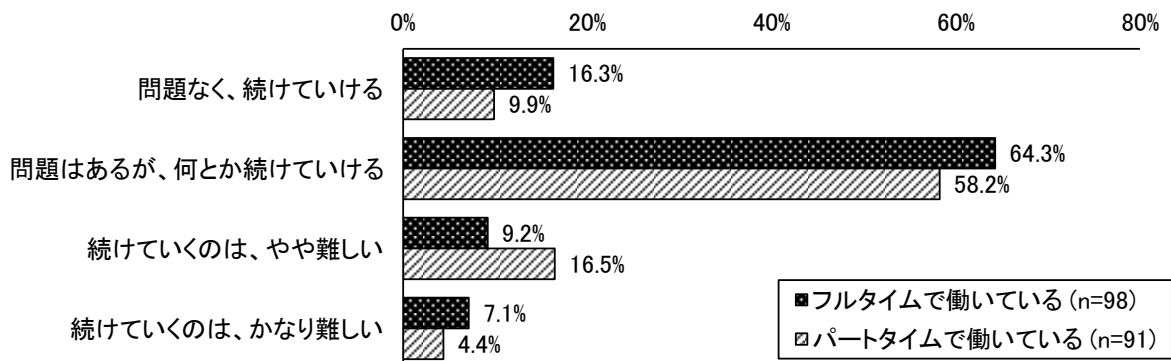
仕事と介護の継続について要介護度別にみると、『継続できる』は、要支援1・2で72.4%、要介護1・2で84.3%、要介護3以上で62.7%となっており、『継続は難しい』は要支援1・2で19.2%、要介護1・2で10.8%、要介護3以上で28.8%となっています。



クロス集計

【仕事と介護の継続について（勤務形態別）】

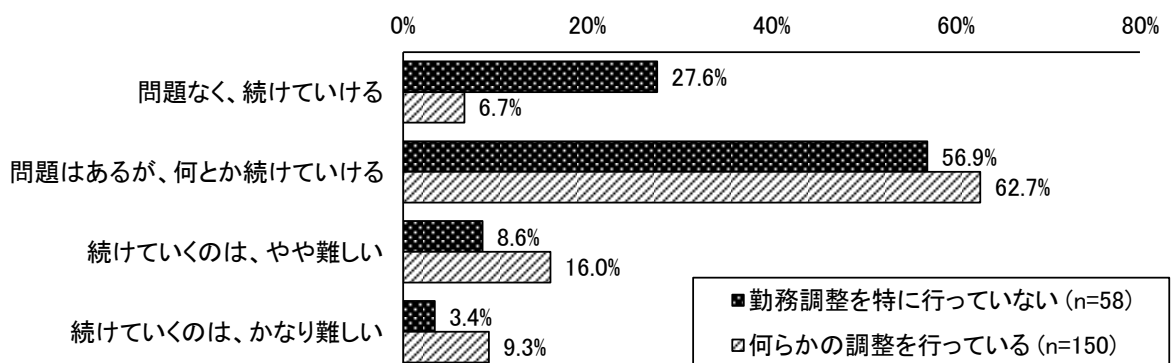
仕事と介護の継続について勤務形態別にみると、『継続できる』はフルタイムで働いている方で 80.6%、パートタイムで働いている方で 68.1%と、フルタイムで働いている方が 12.5 ポイント高くなっています。一方、『継続は難しい』はフルタイムで 16.3%、パートタイムで 20.9%となっています。



クロス集計

【仕事と介護の継続について（勤務調整別）】

仕事と介護の継続について労働時間調整や在宅勤務等の勤務調整の有無別にみると、『継続できる』は勤務調整を特に行っていないで 84.5%、何らかの調整を行っているのは 69.4%となっています。また、『継続は難しい』は勤務調整を特に行っていないで 12.0%、何らかの調整を行っているのは 25.3%と、勤務調整を行っていても仕事の継続は難しいと感じている方が多いことがわかります。

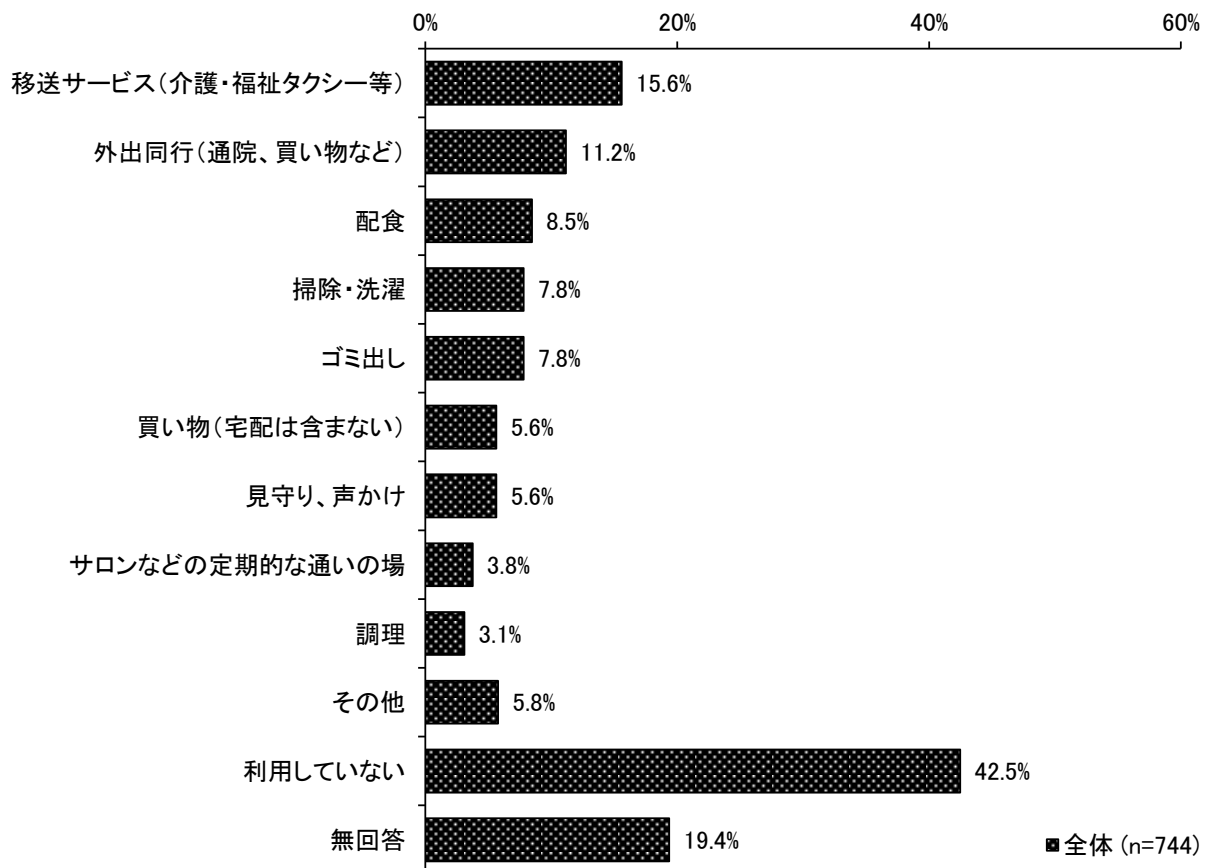


3 介護サービスの利用状況等について

(1) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況

問3(1) 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(あてはまるものすべてに☑)

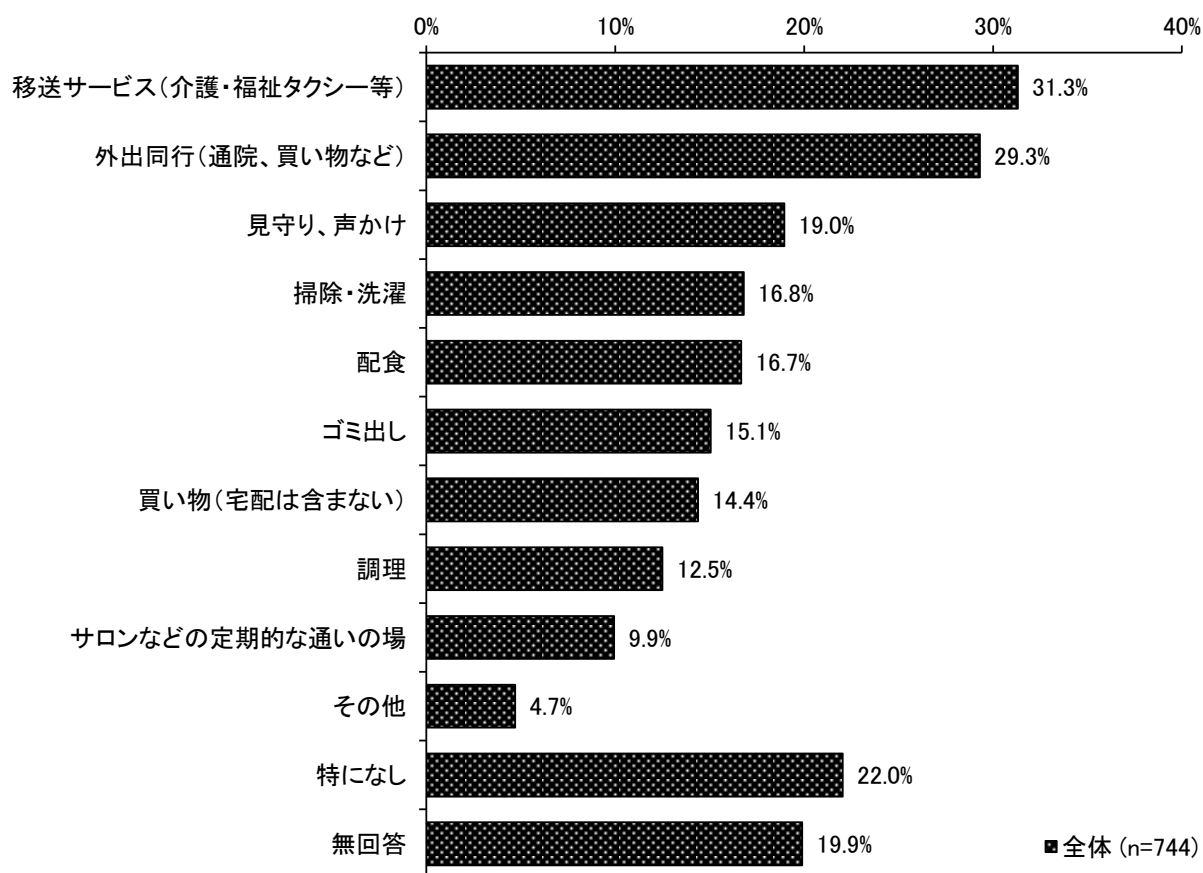
介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況については、「利用していない」の割合が42.5%と最も高いものの、利用内容としては「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(15.6%)、「外出同行(通院、買い物など)」(11.2%)、「配食」(8.5%)、「掃除・洗濯」「ゴミ出し」(各7.8%)の順となっています。



(2) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

問3 (2) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（あてはまるものすべてに☑）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が31.3%と最も高く、次いで、「外出同行（通院、買い物など）」（29.3%）、「見守り、声かけ」（19.0%）、「掃除・洗濯」（16.8%）の順となっています。

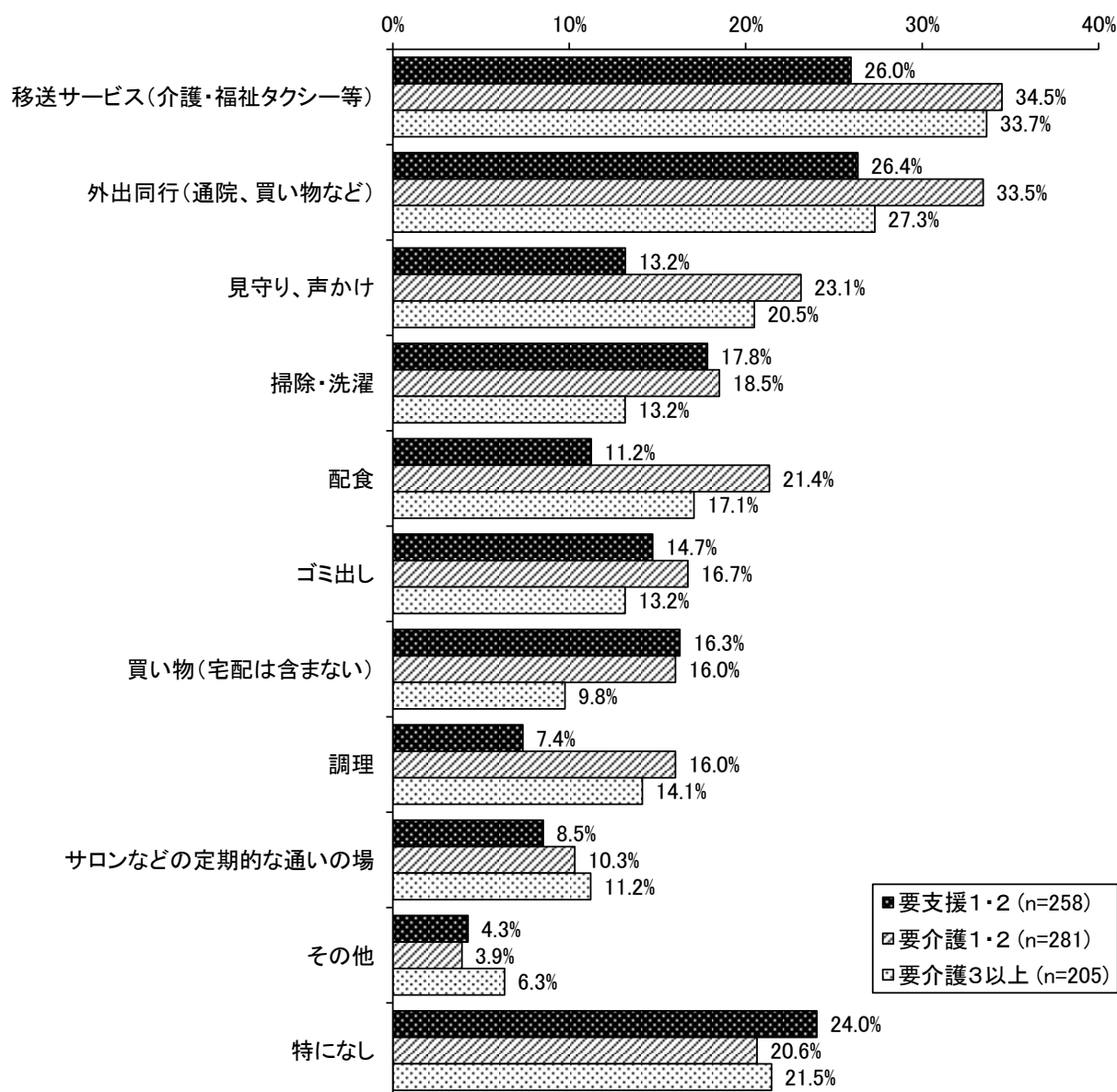


クロス集計

【今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて（要介護度別）】

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて要介護度別にみると、要支援1・2は「外出同行（通院、買い物など）」が26.4%、要介護1・2は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が34.5%、要介護3以上は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が33.7%で最も高くなっています。

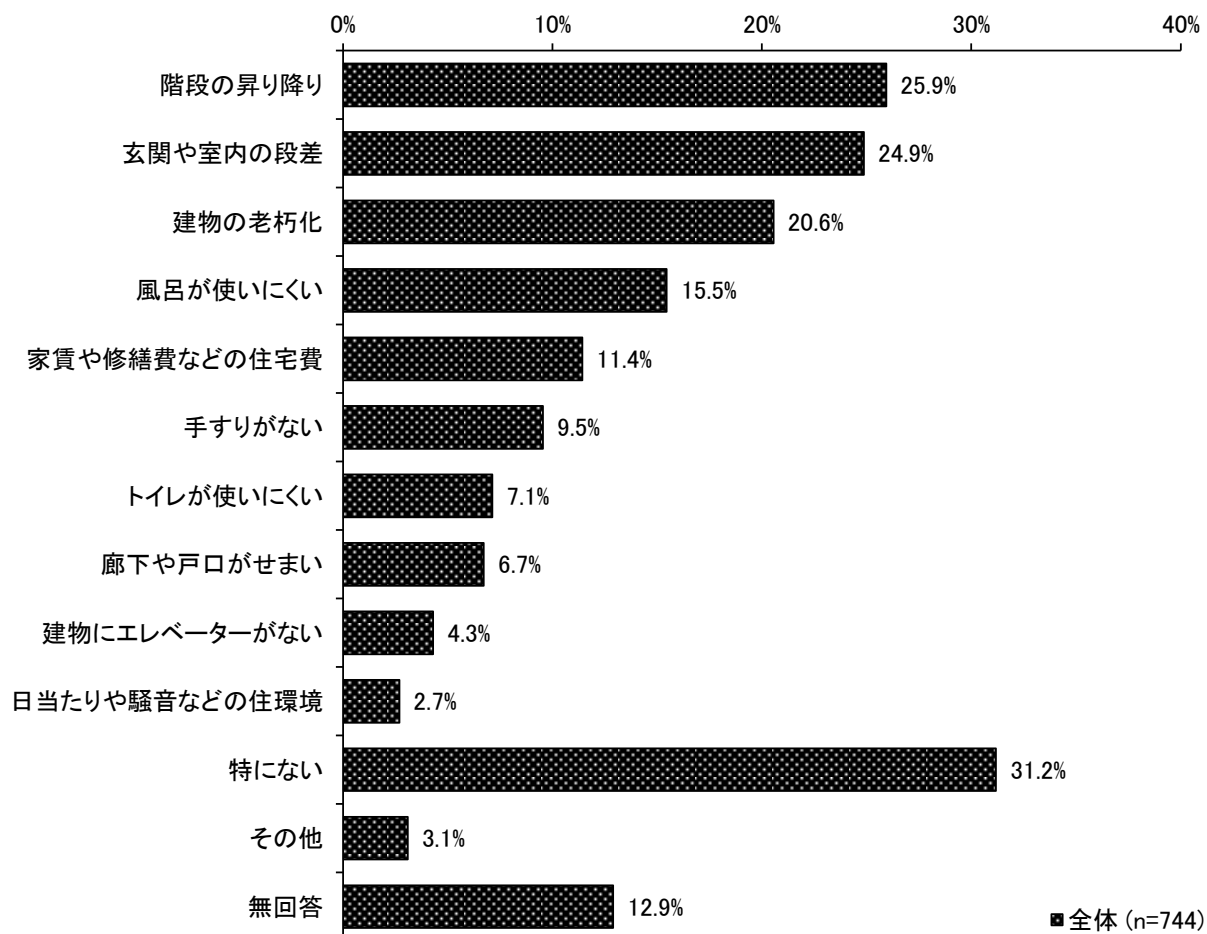
要支援1・2では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（26.0%）、「掃除・洗濯」（17.8%）と続いており、要介護1・2では「外出同行（通院、買い物など）」（33.5%）、「見守り、声かけ」（23.1%）、要介護3以上では「外出同行（通院、買い物など）」（27.3%）、「見守り、声かけ」（20.5%）と続いています。



(3) 住まいの障がい

問3 (3) あなたには住まいについて困っていることがありますか。
(あてはまるものすべてに☑)

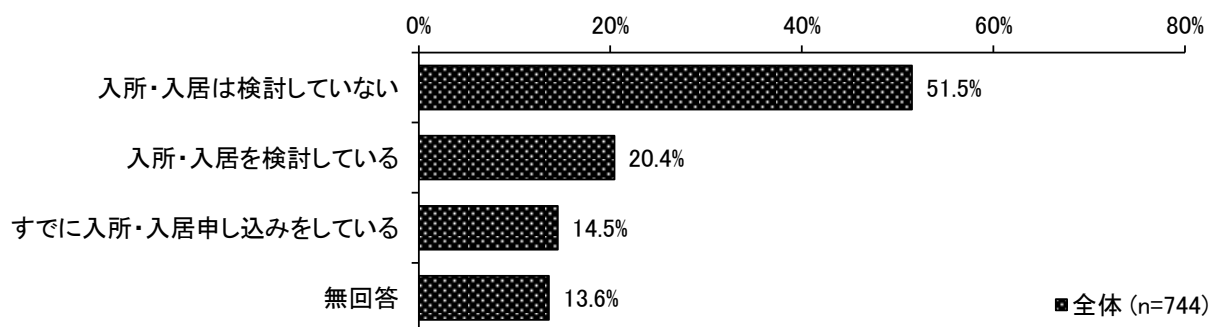
住まいの障がいについては、「特にない」の割合が31.2%と最も高いものの、住まいについて困っていることとしては「階段の昇り降り」(25.9%)、「玄関や室内の段差」(24.9%)、「建物の老朽化」(20.6%)、「風呂が使いにくい」(15.5%)の順となっています。



（４）施設等への入所・入居の検討状況

問３（４） 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（☑は１つ）

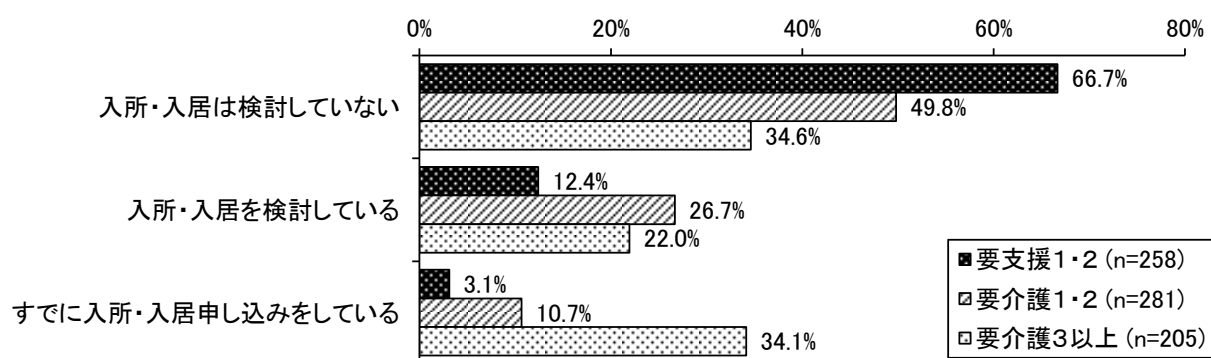
施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」の割合が51.5%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」(20.4%)、「すでに入所・入居申し込みをしている」(14.5%)の順となっています。



クロス集計

【施設等への入所・入居の検討状況（要介護度別）】

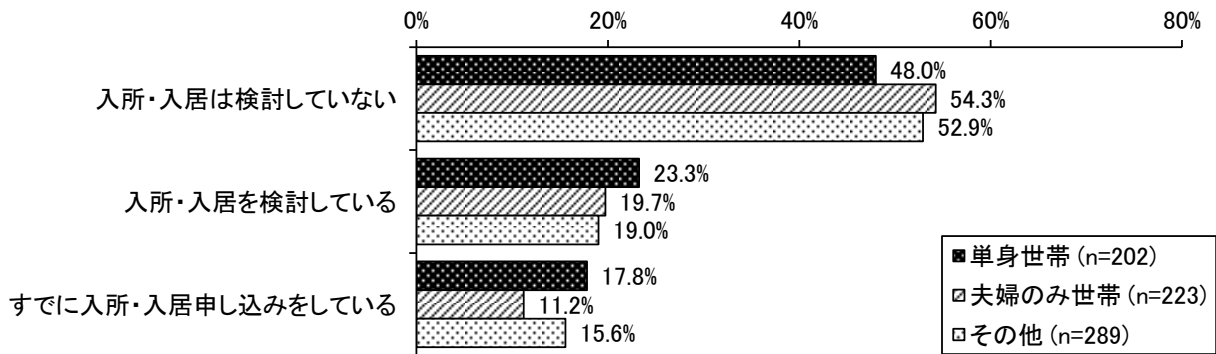
施設等への入所・入居の検討状況について要介護度別にみると、「入所・入居は検討していない」は要支援1・2が66.7%、要介護1・2が49.8%、要介護3以上が34.6%で最も高くなっています。また、「すでに入所・入居申し込みをしている」では要介護3以上で34.1%と特に高くなっています。



クロス集計

【施設等への入所・入居の検討状況（世帯類型別）】

施設等への入所・入居の検討状況について世帯類型別にみると、「入所・入居は検討していない」は夫婦のみ世帯の割合が高くなっており、「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」では単身世帯の割合が最も高くなっていきます。

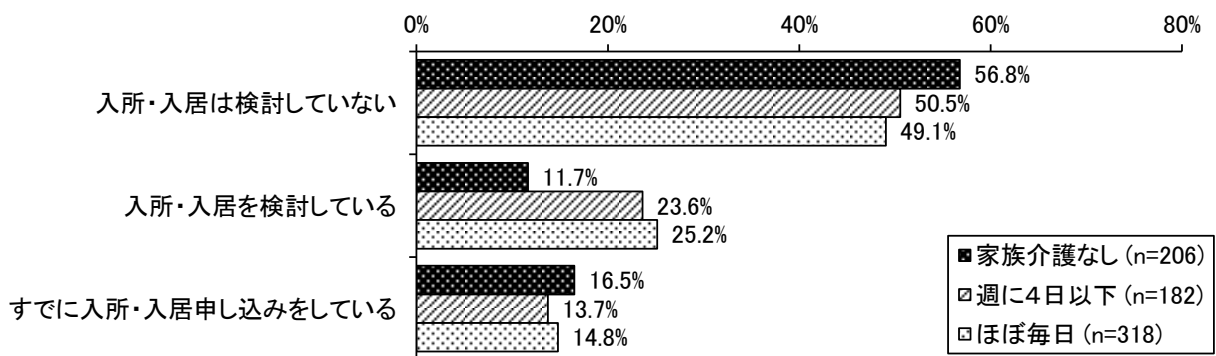


クロス集計

【施設等への入所・入居の検討状況（家族介護の頻度別）】

施設等への入所・入居の検討状況について家族介護の頻度別にみると、「入所・入居を検討している」では、ほぼ毎日が25.2%と最も高く、次いで週に4日以下が23.6%、家族介護なしが11.7%の順となっています。

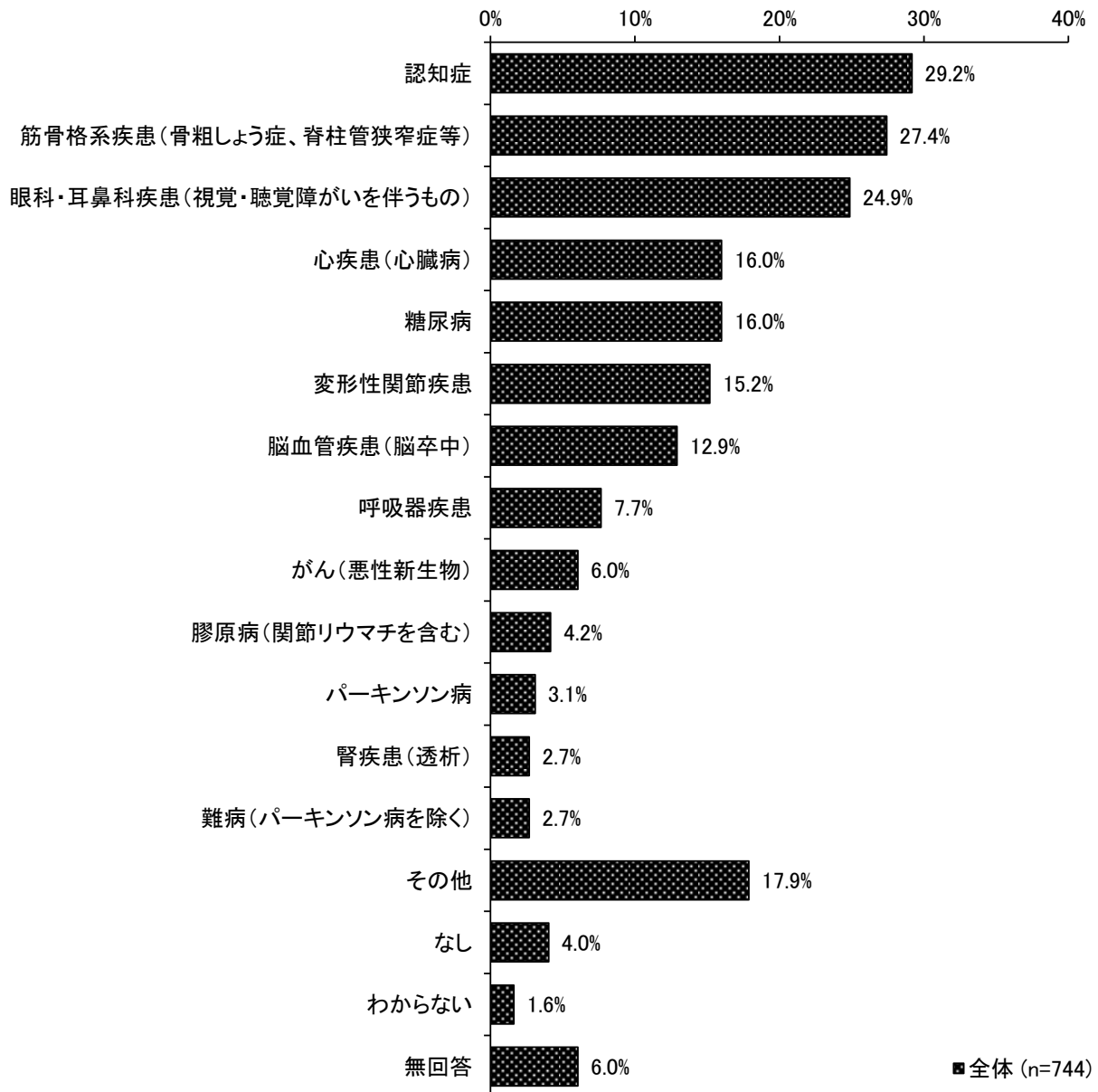
また、「すでに入所・入居申し込みをしている」では、家族介護なしが16.5%と最も高く、次いでほぼ毎日（14.8%）、週に4日以下（13.7%）の順となっています。



(5) 現在抱えている傷病

問3(5) 調査対象者本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。
(あてはまるものすべてに☑)

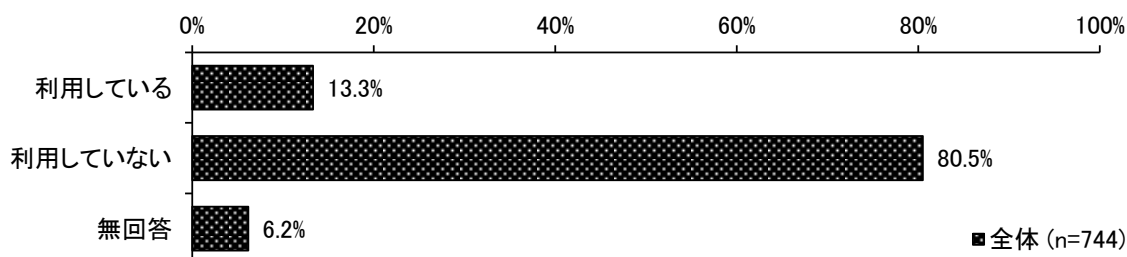
現在抱えている傷病については、「認知症」の割合が29.2%と最も高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」(27.4%)、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）」(24.9%)の順となっています。



(6) 訪問診療の利用状況

問3(6) 調査対象者本人は、現在、訪問診療を利用していますか。(☑は1つ)

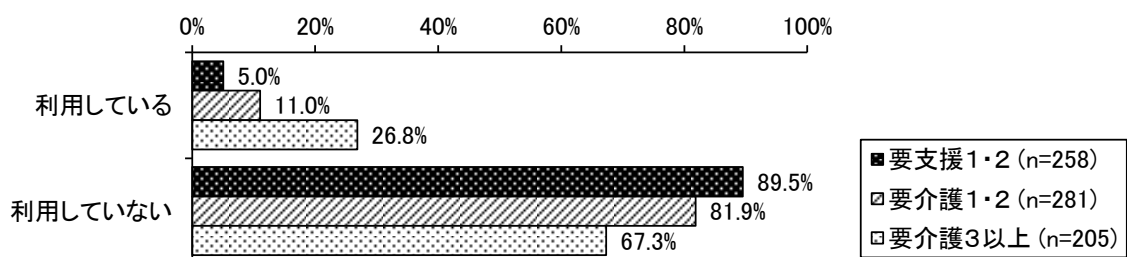
訪問診療の利用状況については、「利用していない」が80.5%、「利用している」が13.3%となっています。



クロス集計

【訪問診療の利用状況（要介護度別）】

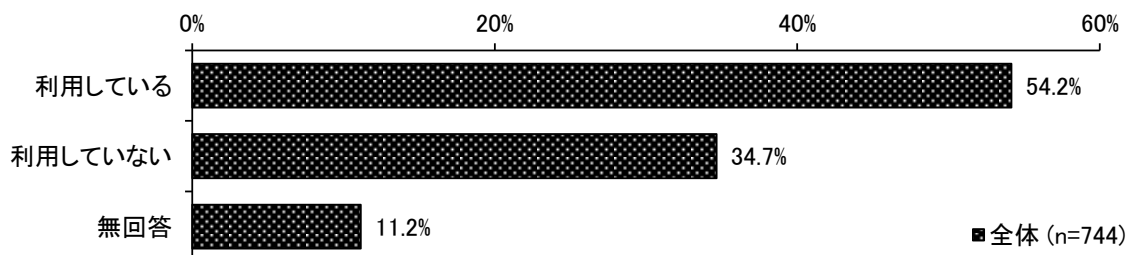
訪問診療の利用状況について要介護度別にみると、「利用している」では要介護3以上が26.8%と最も高く、次いで要介護1・2が11.0%、要支援1・2が5.0%の順となっています。



（7）介護保険サービスの利用状況

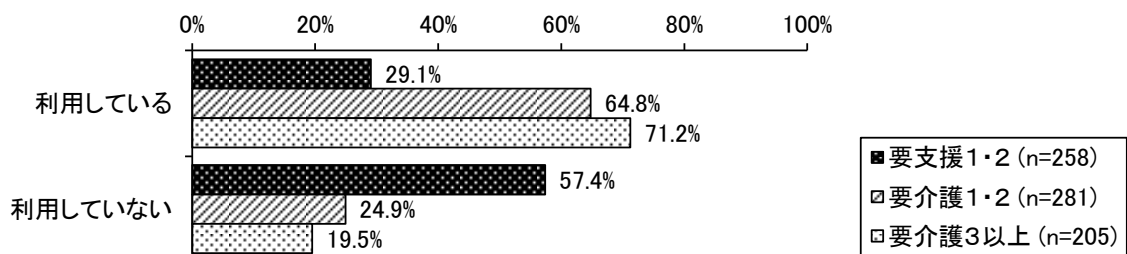
問3（7） 令和4年9月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか。（☑は1つ）

介護保険サービスの利用状況については、「利用している」が54.2%、「利用していない」が34.7%となっています。



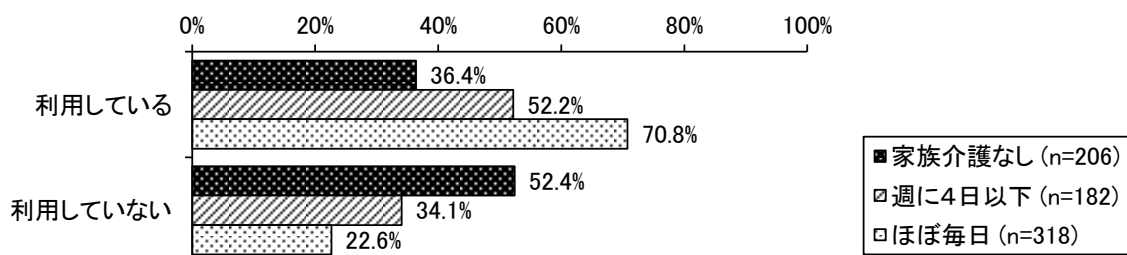
クロス集計 【介護保険サービスの利用状況（要介護度別）】

介護保険サービスの利用状況について要介護度別にみると、「利用している」では要介護3以上が71.2%と最も高く、次いで要介護1・2が64.8%、要支援1・2が29.1%の順となっています。



クロス集計 【介護保険サービスの利用状況（家族介護の頻度別）】

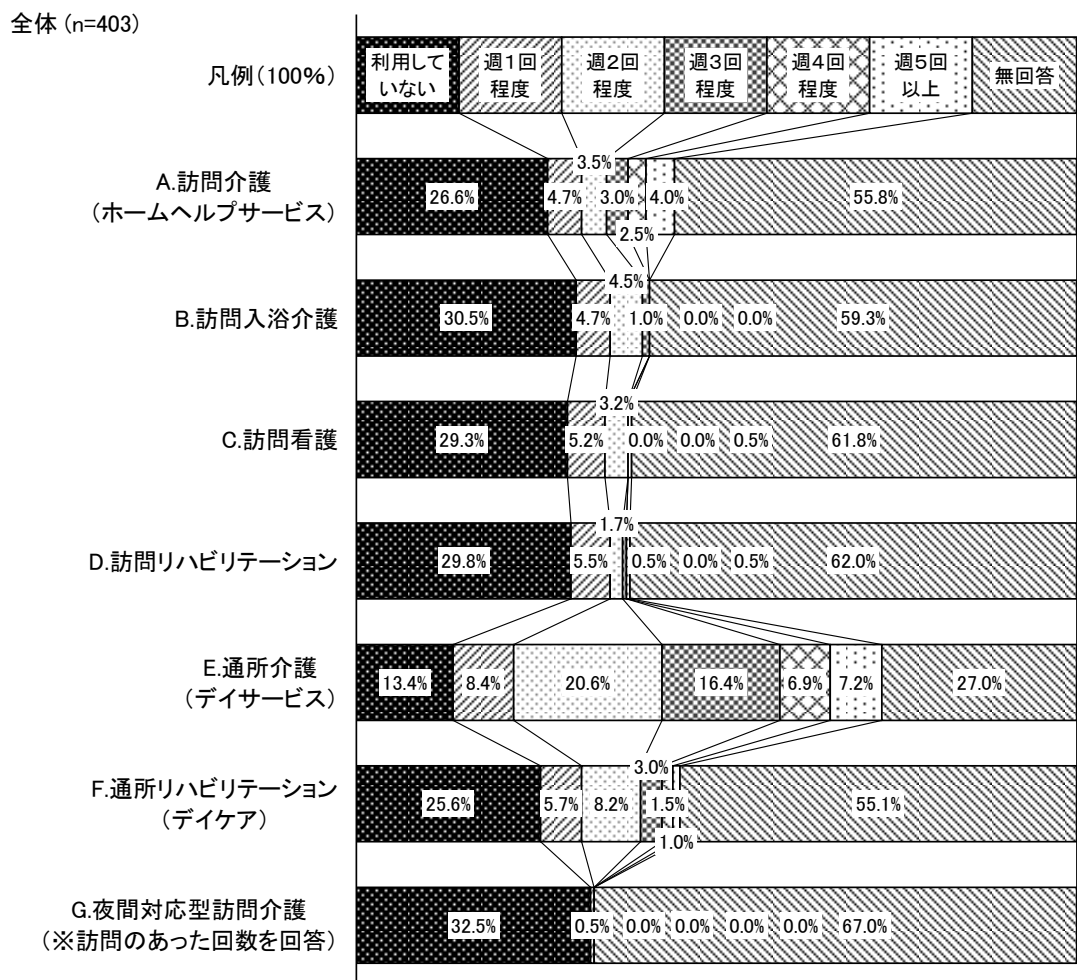
介護保険サービスの利用状況について家族介護の頻度別にみると、「利用している」ではほぼ毎日が70.8%と最も高く、次いで週に4日以下が52.2%、家族介護なしが36.4%の順となっています。

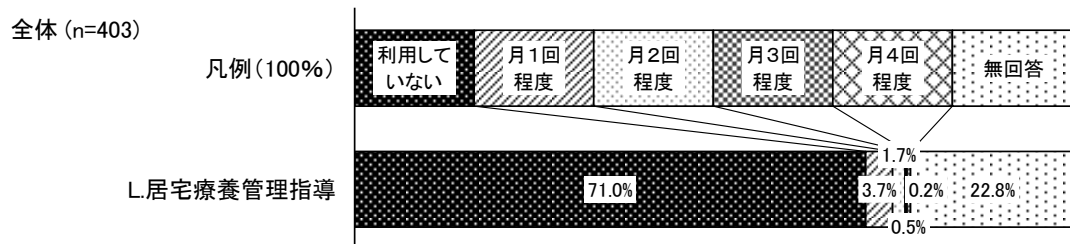
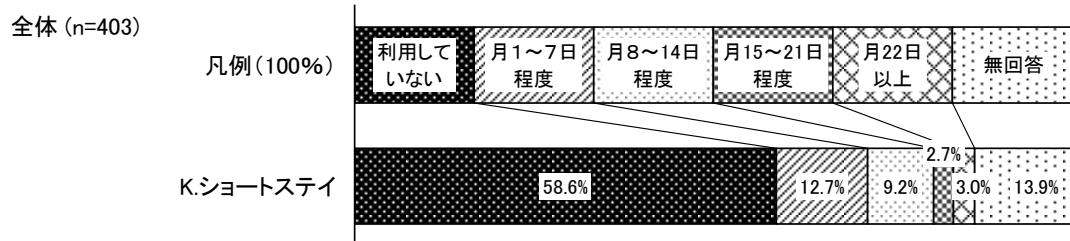
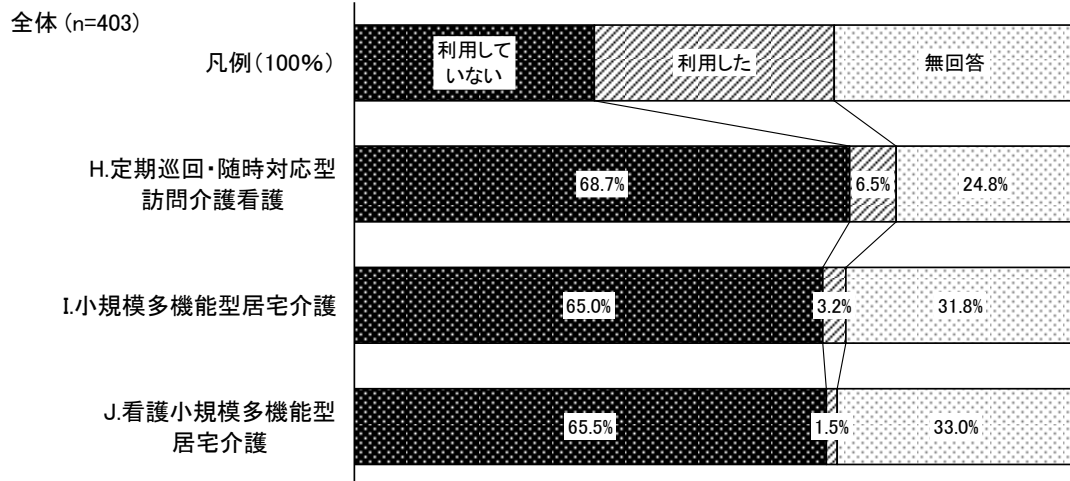


(8) 介護保険サービスの利用状況（詳細）

【問3（7）で「利用している」と回答した方のみお答えください】
 問3（8） 以下の介護保険サービスについて、令和4年9月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。（それぞれ1つに☑）

介護保険サービスの利用状況（詳細）については、「通所介護（デイサービス）」の割合が59.5%と最も高く、次いで「ショートステイ」（27.6%）、「通所リハビリテーション（デイケア）」（19.4%）、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」（17.7%）の順となっています。



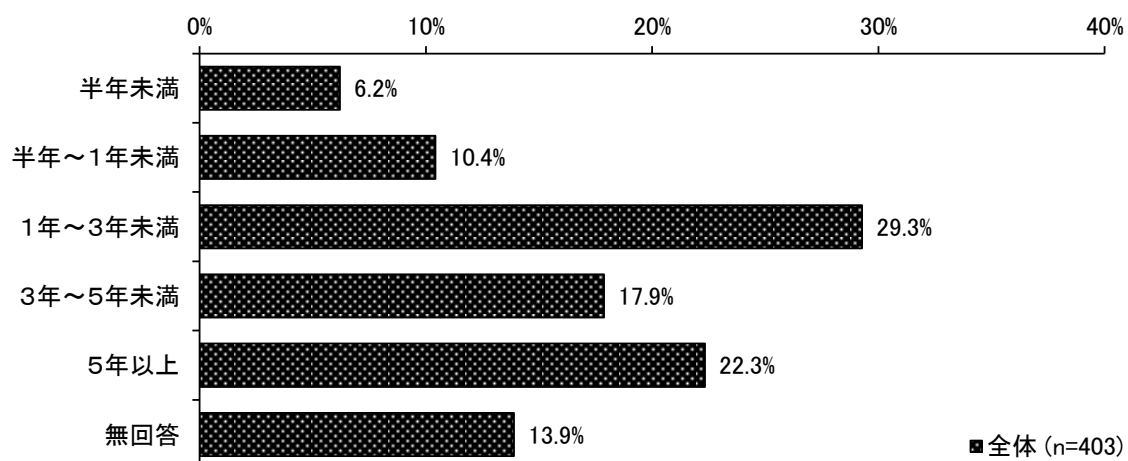


(9) 介護保険サービスの利用期間

【問3(7)で「利用している」と回答した方のみお答えください】

問3(9) サービスを利用してから、どのくらい経ちますか。(☑は1つ)

介護保険サービスの利用期間については、「1年～3年未満」の割合が29.3%と最も高く、次いで「5年以上」(22.3%)、「3年～5年未満」(17.9%)の順となっています。

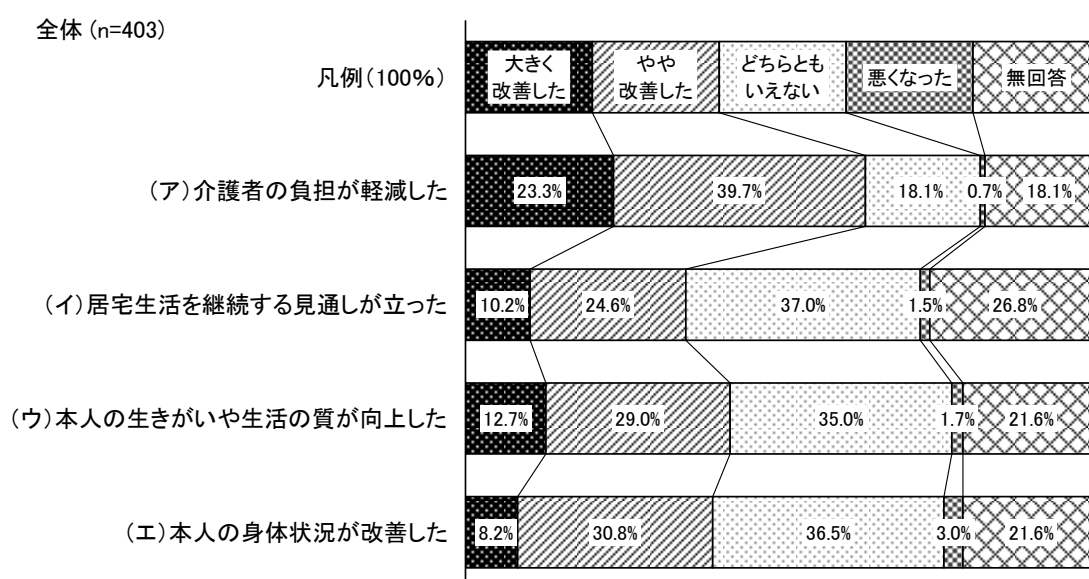


(10) 介護保険サービス利用の効果について

【問3(7)で「利用している」と回答した方のみお答えください】

問3(10) 介護保険サービスを利用することによって、どのような効果が得られたと思いますか。(それぞれに☑は1つ)

介護保険サービス利用の効果については、「介護者の負担が軽減した」の「大きく改善した」の割合が23.3%を占めており、「やや改善した」(39.7%)を合計すると63.0%が『改善した』と回答しています。以下『改善した(合計)』の高い順に、「本人の生きがいや生活の質が向上した」(41.7%)、「本人の身体状況が改善した」(39.0%)、「居宅生活を継続する見通しが立った」(34.8%)となっています。



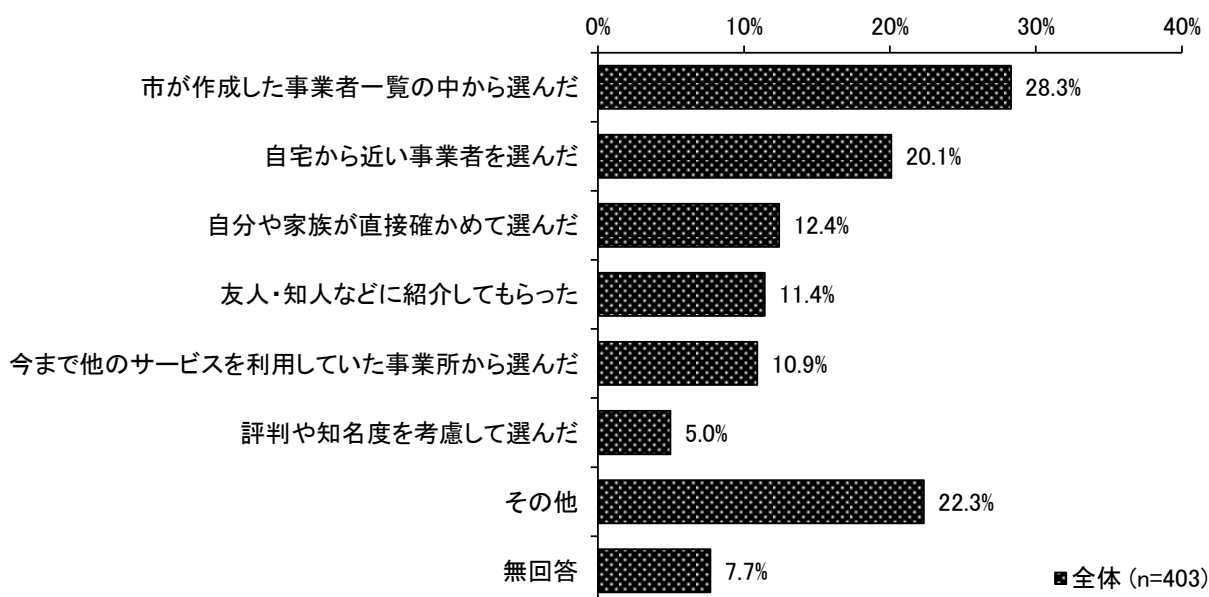
(11) ケアマネジャーの選び方

【問3（7）で「利用している」と回答した方のみお答えください】

問3（11） ケアマネジャーの事業者は、どのようにして選びましたか。

（あてはまるものすべてに☑）

ケアマネジャーの選び方については、「市が作成した事業者一覧の中から選んだ」の割合が28.3%と最も高く、次いで「その他」(22.3%)、「自宅から近い事業者を選んだ」(20.1%)、「自分や家族が直接確かめて選んだ」(12.4%)の順となっています。

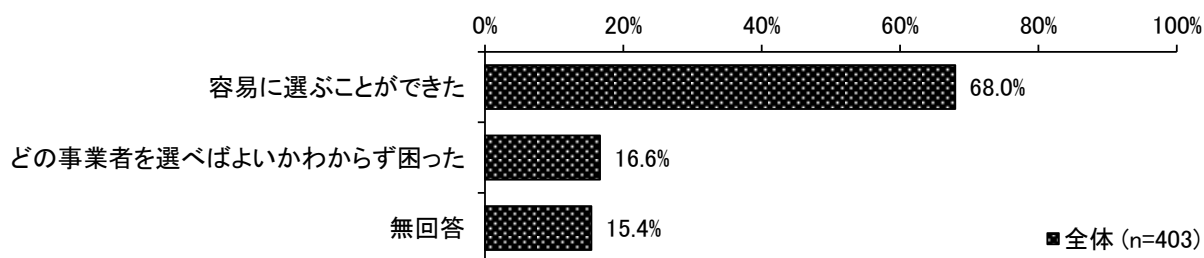


(12) 容易にケアマネジャーを選ぶことができたかどうか

【問3（7）で「利用している」と回答した方のみお答えください】

問3（12） ケアマネジャーの事業者は容易に選ぶことができましたか。（☑は1つ）

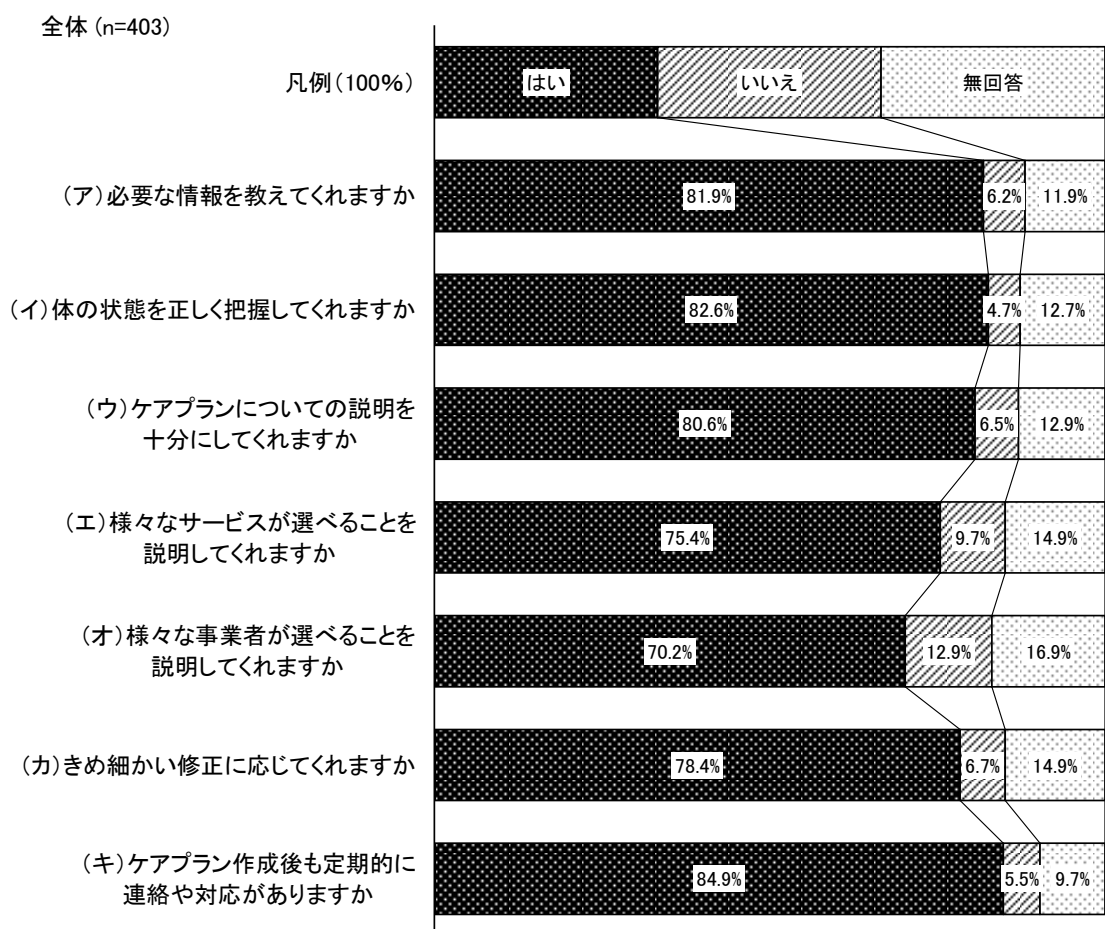
容易にケアマネジャーを選ぶことができたかどうかについては、「容易に選ぶことができた」が68.0%、「どの事業者を選べばよいかわからず困った」が16.6%となっています。



(13) ケアマネジャーの評価

【問3（7）で「利用している」と回答した方のみお答えください】
 問3（13） 調査対象者本人のケアマネジャーについて、お聞かせください。
 （それぞれに☑は1つ）

ケアマネジャーの評価については、「はい」の割合が高い順に「ケアプラン作成後も定期的に連絡や対応がありますか」（84.9%）、「体の状態を正しく把握してくれますか」（82.6%）、「必要な情報を教えてくれますか」（81.9%）となっています。



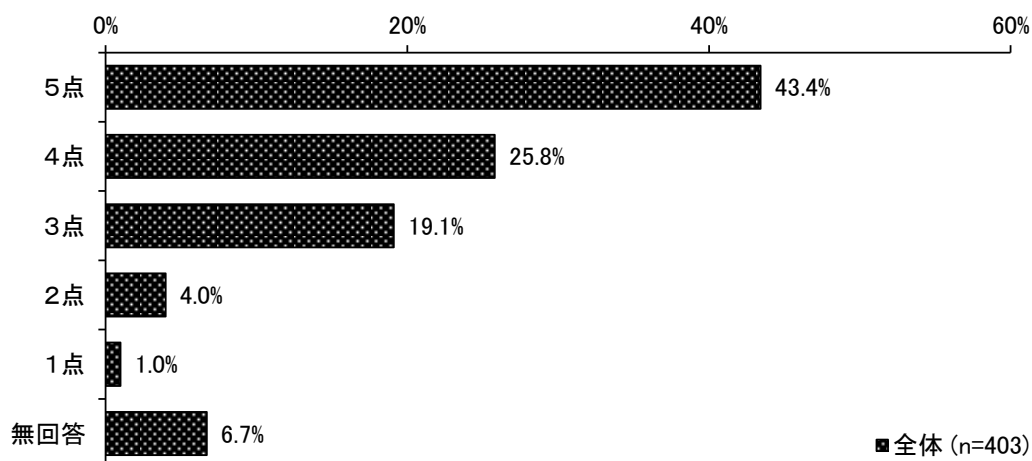
(14) ケアマネジャーの満足度

【問3（7）で「利用している」と回答した方のみお答えください】

問3（14） 現在のケアマネジャーに対する満足度について教えてください。

（☑は1つ）

ケアマネジャーの満足度については、「5点」の割合が43.4%と最も高く、次いで「4点」（25.8%）、「3点」（19.1%）の順となっています。



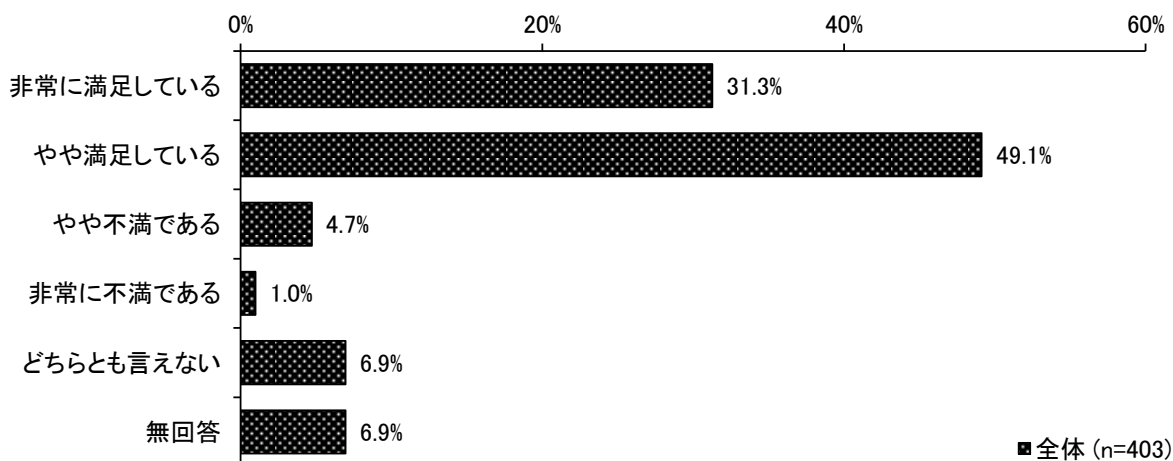
(15) 現在利用しているサービス内容の満足度

【問3（7）で「利用している」と回答した方のみお答えください】

問3（15） あなたは、現在利用しているサービスの内容に満足していますか。

（☑は1つ）

現在利用しているサービス内容の満足度については、「やや満足している」の割合が49.1%と最も高く、「非常に満足している」（31.3%）を合計すると80.4%が『満足』と回答しています。一方、「やや不満である」（4.7%）、「非常に不満である」（1.0%）の合計は5.7%となっています。

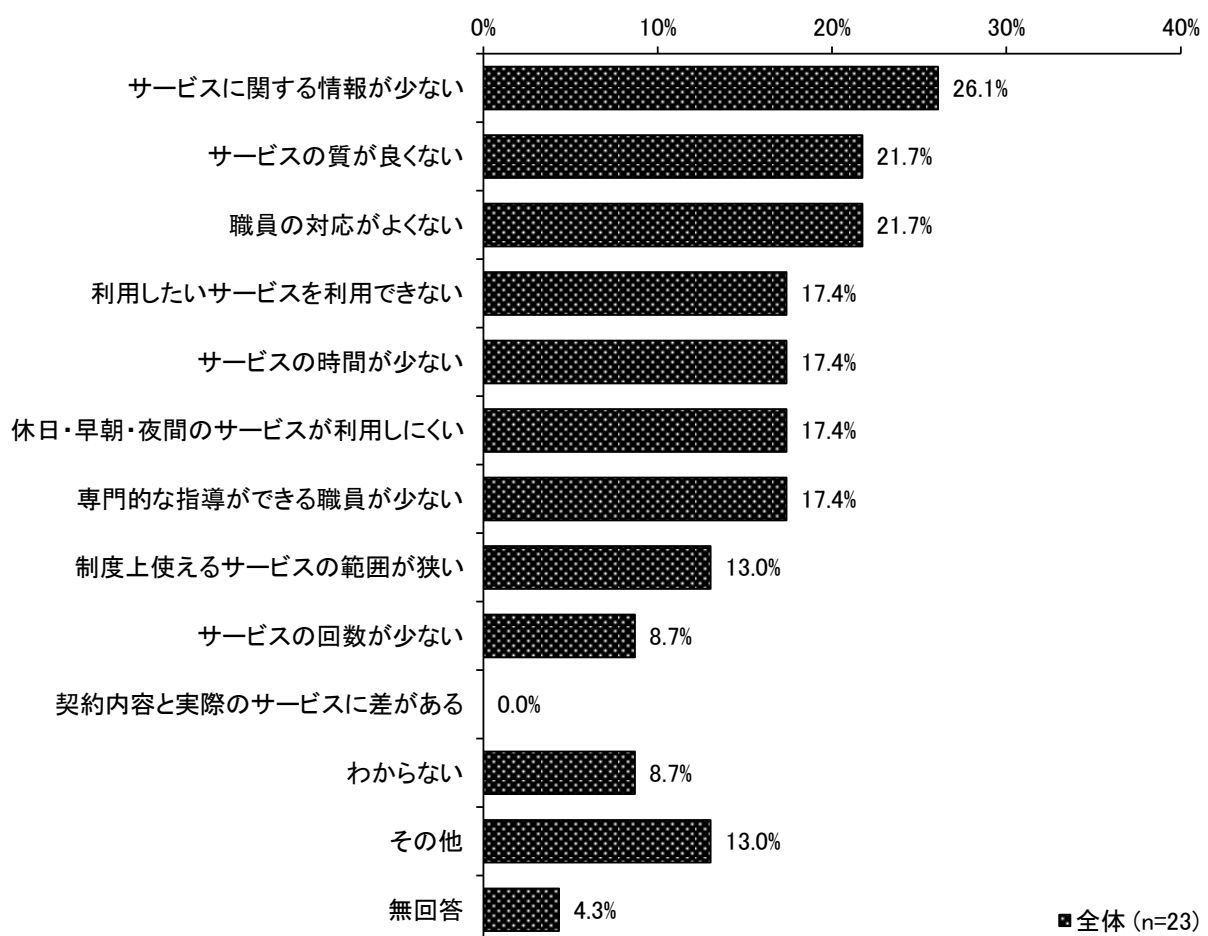


(16) 現在利用しているサービス内容の不満点

【問3（15）で「やや不満である」、「非常に不満である」と回答した方のみお答えください】

問3（16） どのようなことに不満を感じますか。（あてはまるものすべてに☑）

現在利用しているサービス内容の不満点については、「サービスに関する情報が少ない」の割合が26.1%と最も高く、次いで「サービスの質が良くない」「職員の対応が良くない」（各21.7%）、「利用したいサービスを利用できない」「サービスの時間が少ない」「休日・早朝・夜間のサービスが利用しにくい」「専門的な指導ができる職員が少ない」（各17.4%）の順となっています。



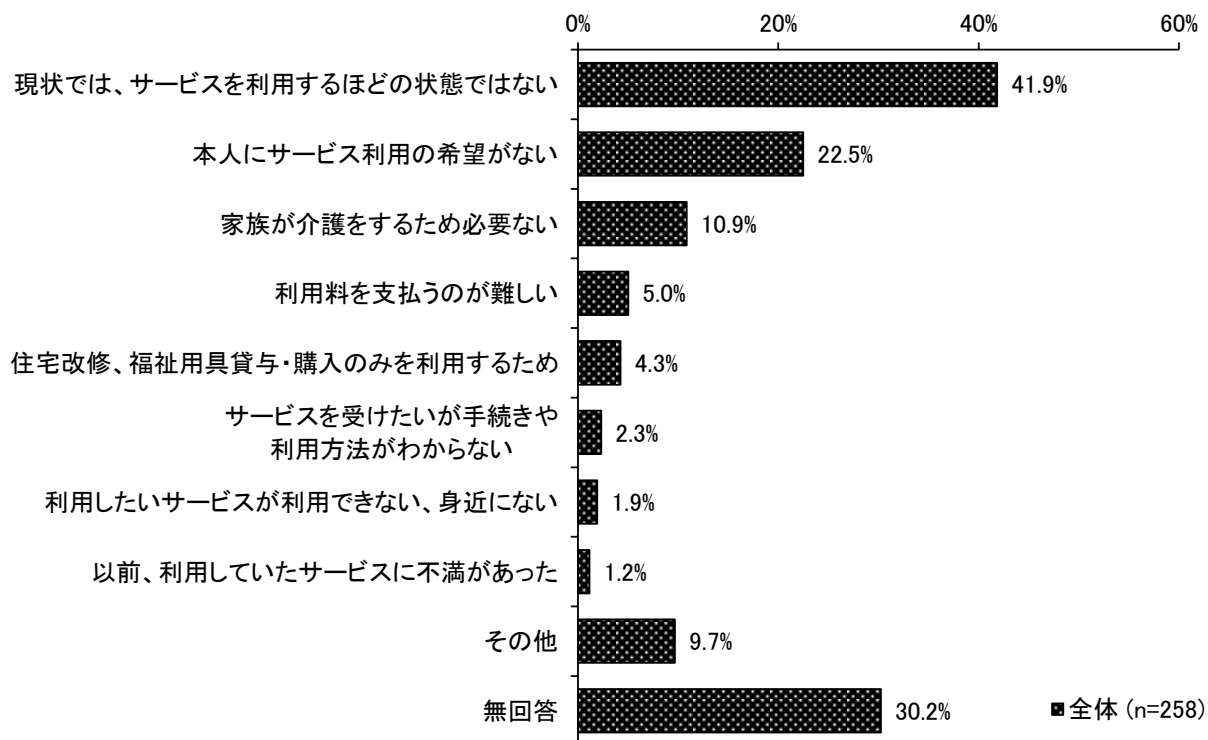
(17) 介護保険サービスを利用していない理由

【問3(7)で「利用していない」と回答した方のみお答えください】

問3(17) 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに☑)

介護保険サービスを利用していない理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が41.9%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」(22.5%)、「家族が介護をするため必要ない」(10.9%)の順となっています。

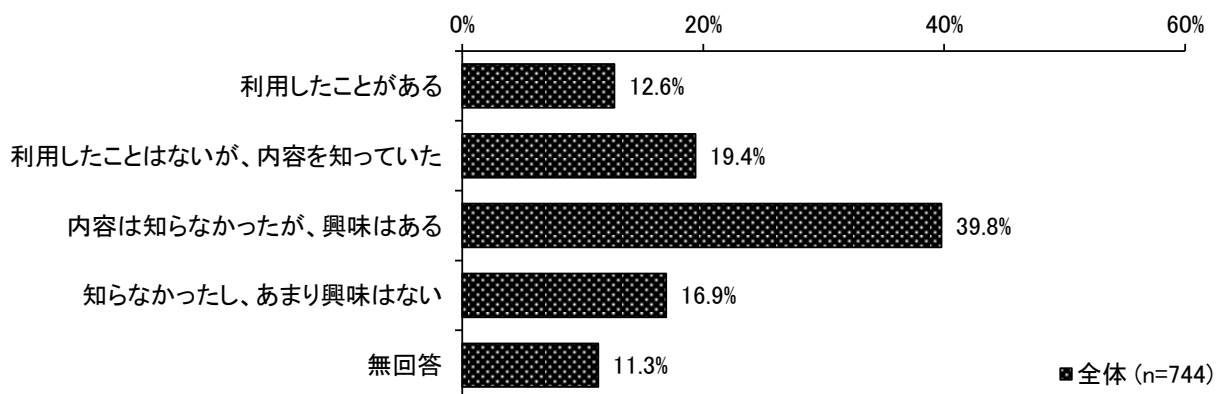


4 地域密着型サービスについて

（1）地域密着型サービスの認知状況

問4（1） あなたは、地域密着型サービスをご存知でしたか。（☑は1つ）

地域密着型サービスの認知状況については、「内容は知らなかったが、興味はある」の割合が39.8%と最も高く、次いで「利用したことはないが、内容を知っていた」（19.4%）、「知らなかったし、あまり興味はない」（16.9%）、「利用したことがある」（12.6%）の順となっています。

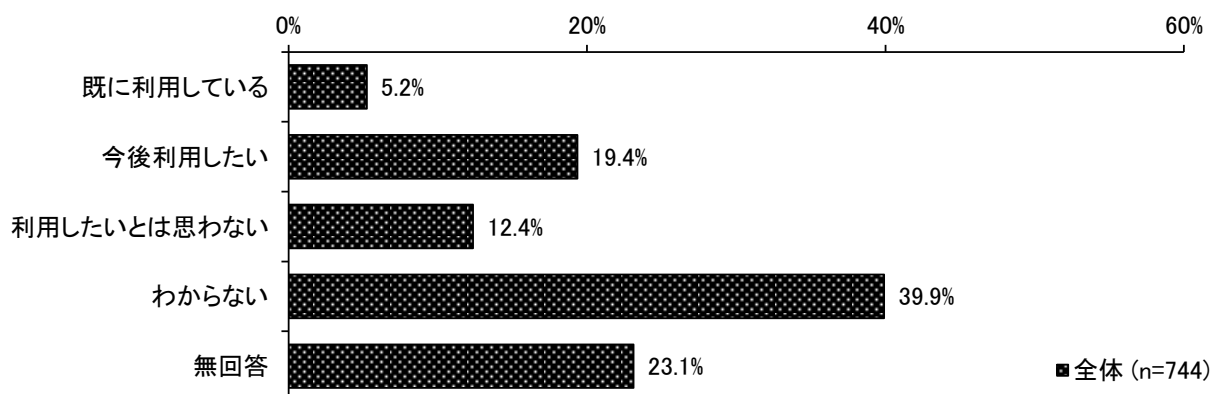


(2) 地域密着型サービスの利用意向

問4(2) あなたは地域密着型サービスを利用したいと思いますか。サービスごとにお答えください。(それぞれ☑は1つ)

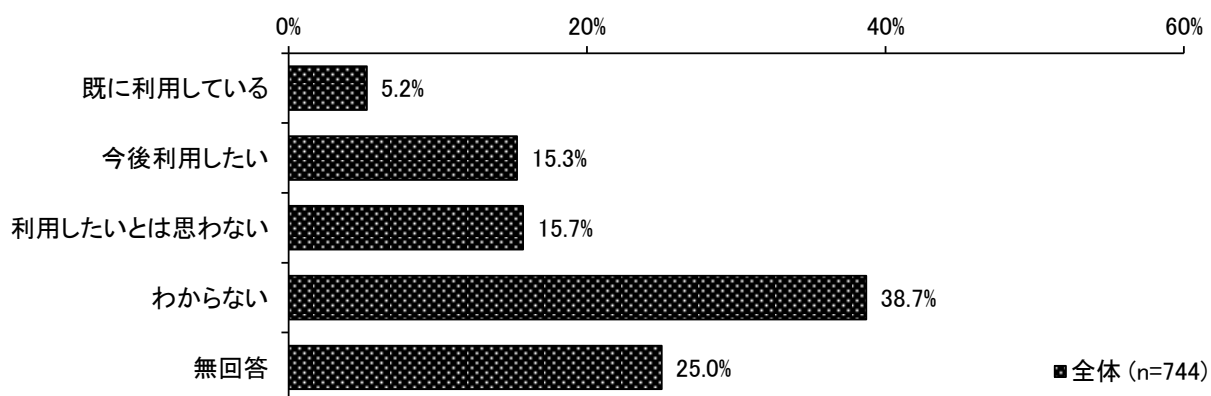
① 小規模多機能型居宅介護

小規模多機能型居宅介護については、「わからない」の割合が39.9%と最も高く、次いで「今後利用したい」(19.4%)、「利用したいとは思わない」(12.4%)、「既に利用している」(5.2%)の順となっています。



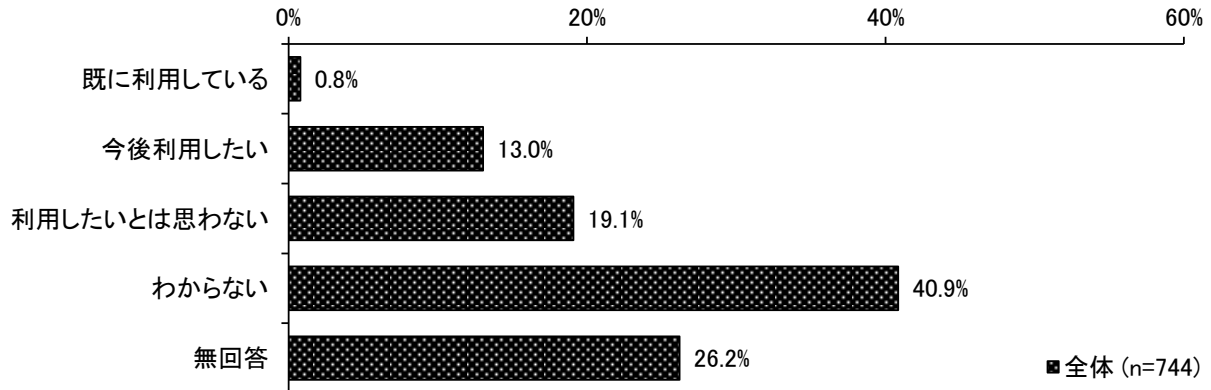
② 認知症対応型通所介護（認知症デイサービス）

認知症対応型通所介護（認知症デイサービス）については、「わからない」の割合が38.7%と最も高く、次いで「利用したいとは思わない」(15.7%)、「今後利用したい」(15.3%)、「既に利用している」(5.2%)の順となっています。



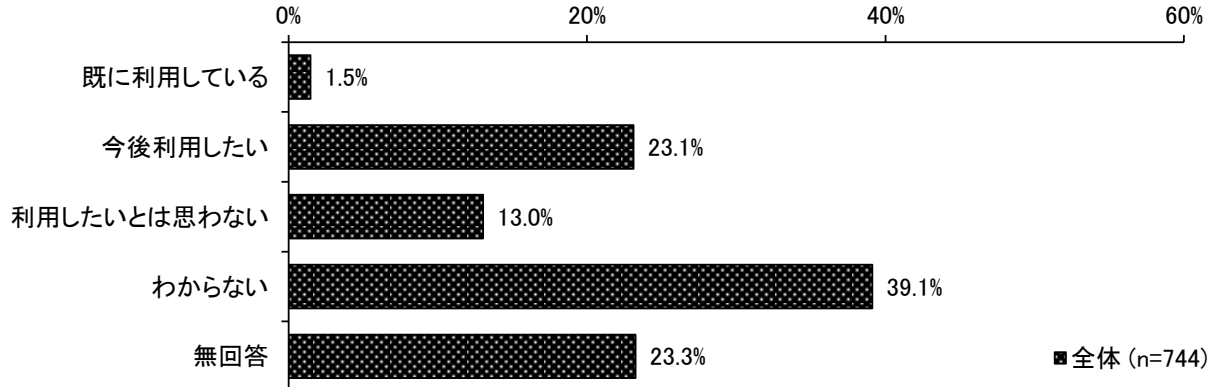
③ 認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）

認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）については、「わからない」の割合が 40.9%と最も高く、次いで「利用したいとは思わない」（19.1%）、「今後利用したい」（13.0%）、「既に利用している」（0.8%）の順となっています。



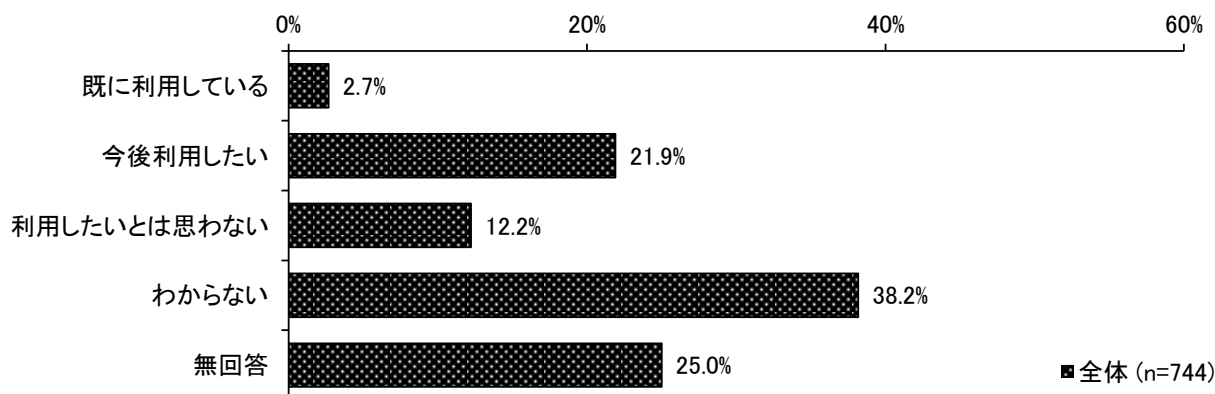
④ 地域密着型介護老人福祉施設（小規模特別養護老人ホーム）

地域密着型介護老人福祉施設（小規模特別養護老人ホーム）については、「わからない」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「今後利用したい」（23.1%）、「利用したいとは思わない」（13.0%）、「既に利用している」（1.5%）の順となっています。



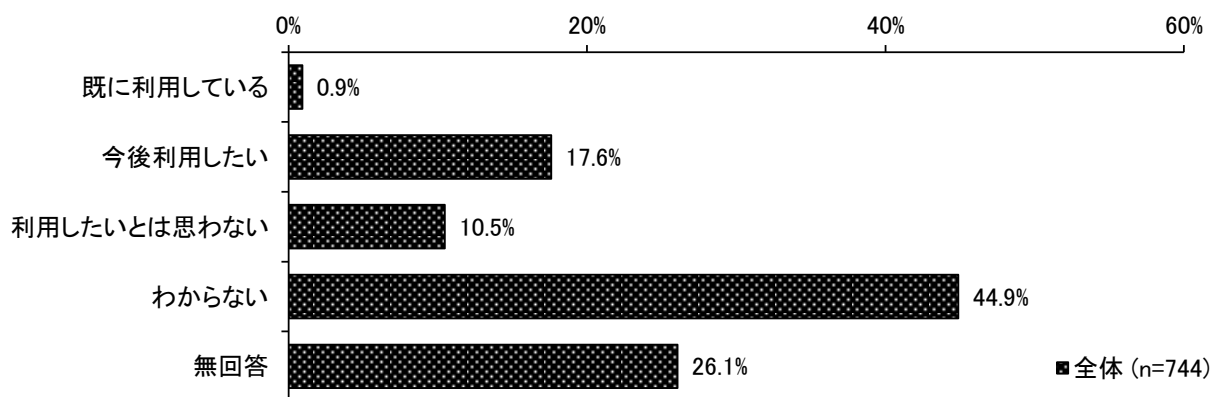
⑤ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

定期巡回・随時対応型訪問介護看護については、「わからない」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「今後利用したい」(21.9%)、「利用したいとは思わない」(12.2%)、「既に利用している」(2.7%)の順となっています。



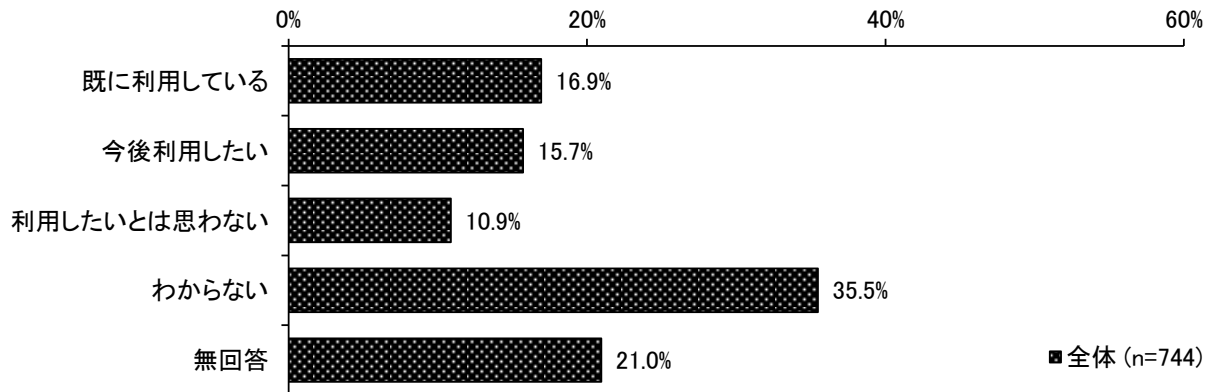
⑥ 看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）

看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）については、「わからない」の割合が 44.9%と最も高く、次いで「今後利用したい」(17.6%)、「利用したいとは思わない」(10.5%)、「既に利用している」(0.9%)の順となっています。



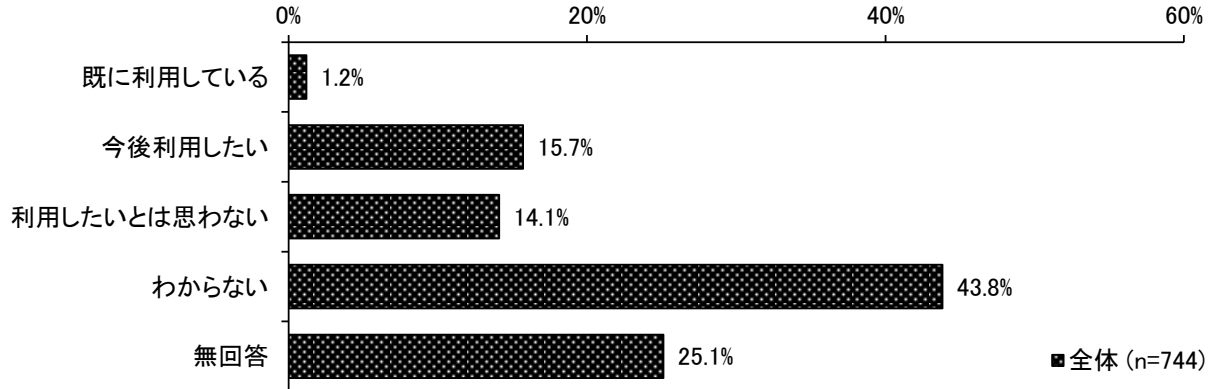
⑦ 地域密着型通所介護（小規模デイサービス）

地域密着型通所介護（小規模デイサービス）については、「わからない」の割合が35.5%と最も高く、次いで「既に利用している」（16.9%）、「今後利用したい」（15.7%）、「利用したいとは思わない」（10.9%）の順となっています。



⑧ 地域密着型特定施設入居者生活介護

地域密着型特定施設入居者生活介護については、「わからない」の割合が43.8%と最も高く、次いで「今後利用したい」（15.7%）、「利用したいとは思わない」（14.1%）、「既に利用している」（1.2%）の順となっています。

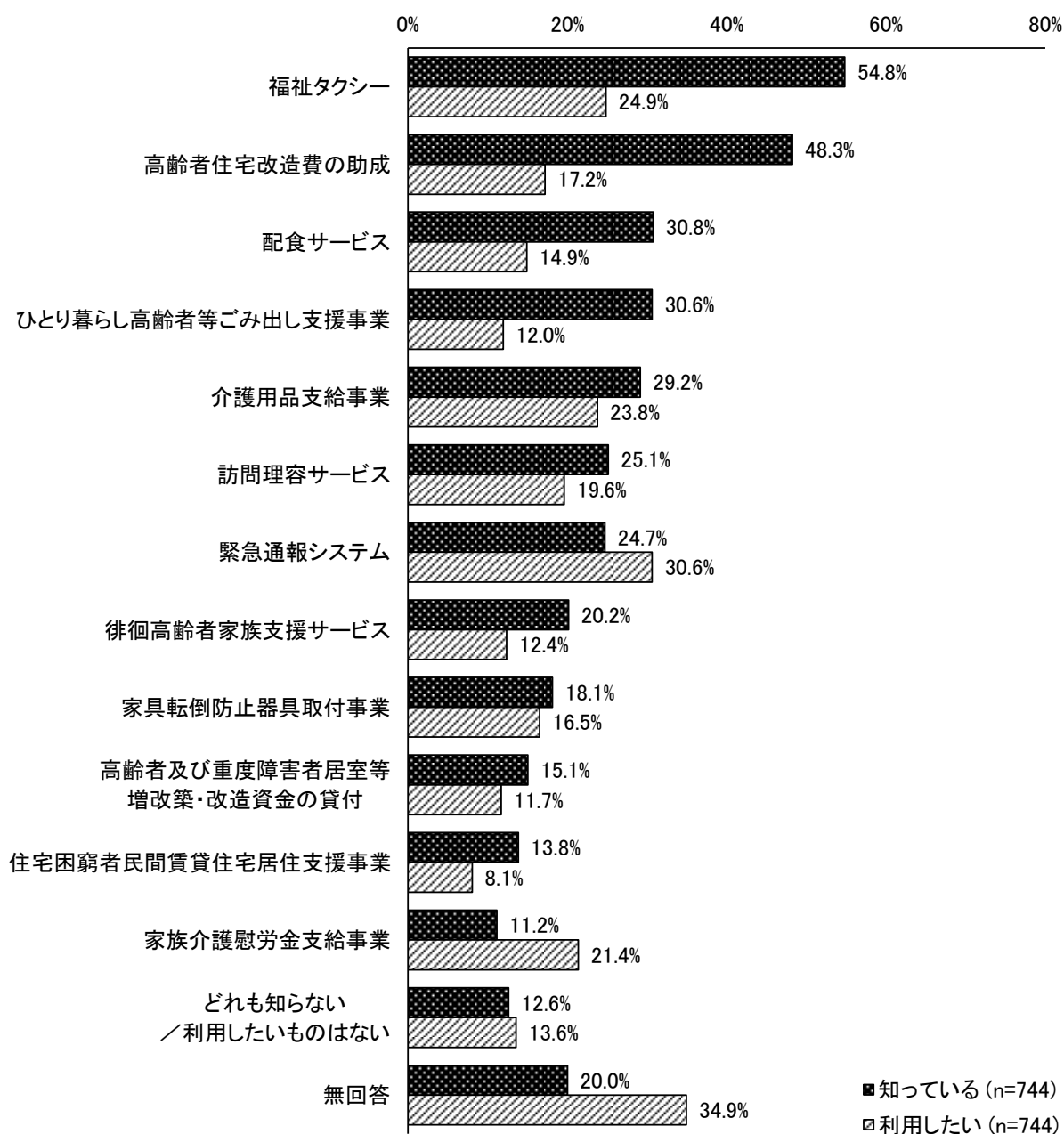


(3) 本市実施の高齢者福祉サービスの認知状況・利用意向

問4(3) あなたは、市が実施している次のような高齢者福祉サービスを知っていますか。また利用したいサービスは何ですか。
(あてはまるものすべてに☑)

本市実施の高齢者福祉サービスの認知状況については、「福祉タクシー」の割合が54.8%と最も高く、次いで「高齢者住宅改造費の助成」(48.3%)、「配食サービス」(30.8%)、「ひとり暮らし高齢者等ごみ出し支援事業」(30.6%)、「介護用品支給事業」(29.2%)、「訪問理容サービス」(25.1%)、「緊急通報システム」(24.7%)の順となっています。

また利用したいサービスについては、「緊急通報システム」の割合が30.6%と最も高く、次いで「福祉タクシー」(24.9%)、「介護用品支給事業」(23.8%)、「家族介護慰労金支給事業」(21.4%)の順となっています。

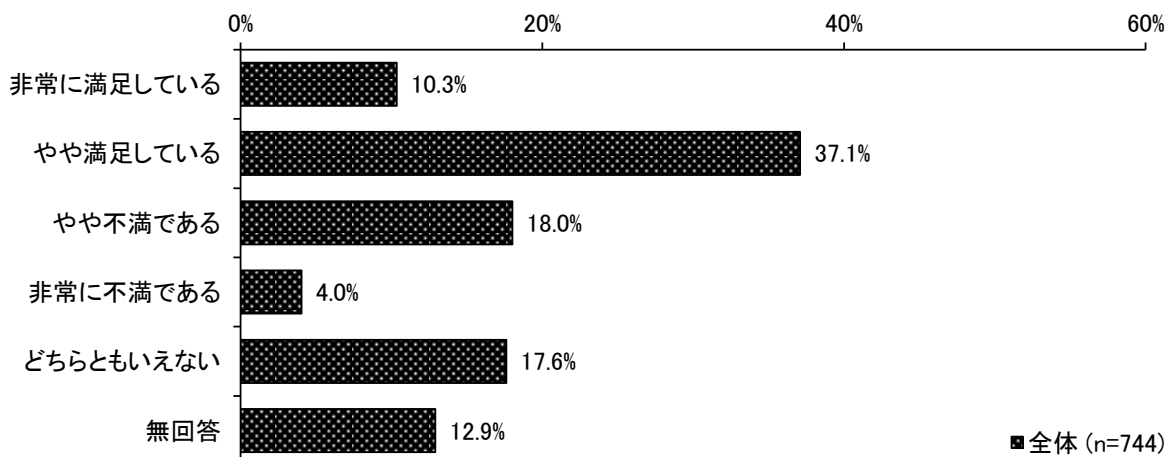


5 介護保険制度について

(1) 介護保険制度全般について

問5(1) あなたは、介護保険制度全般について、どのように感じていますか。
(☑は1つ)

介護保険制度全般については、「やや満足している」の割合が37.1%と最も高く、「非常に満足している」(10.3%)を合計すると47.4%が『満足』と回答しています。一方、「やや不満である」(18.0%)、「非常に不満である」(4.0%)の合計は22.0%となっています。

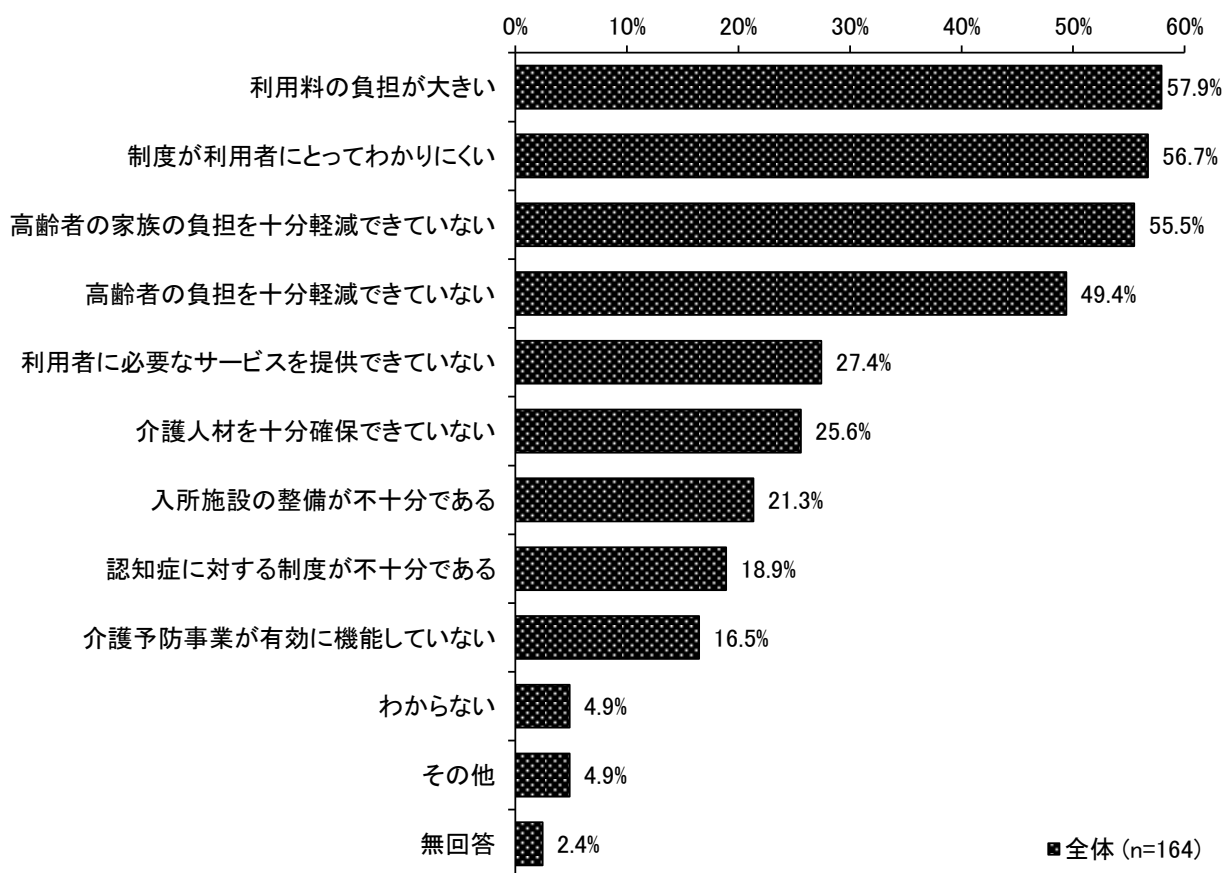


(2) 介護保険制度への不満

【問5(1)で「やや不満である」、「非常に不満である」と回答した方のみお答えください】

問5(2) どのようなことに不満を感じますか(あてはまるものすべてに☑)

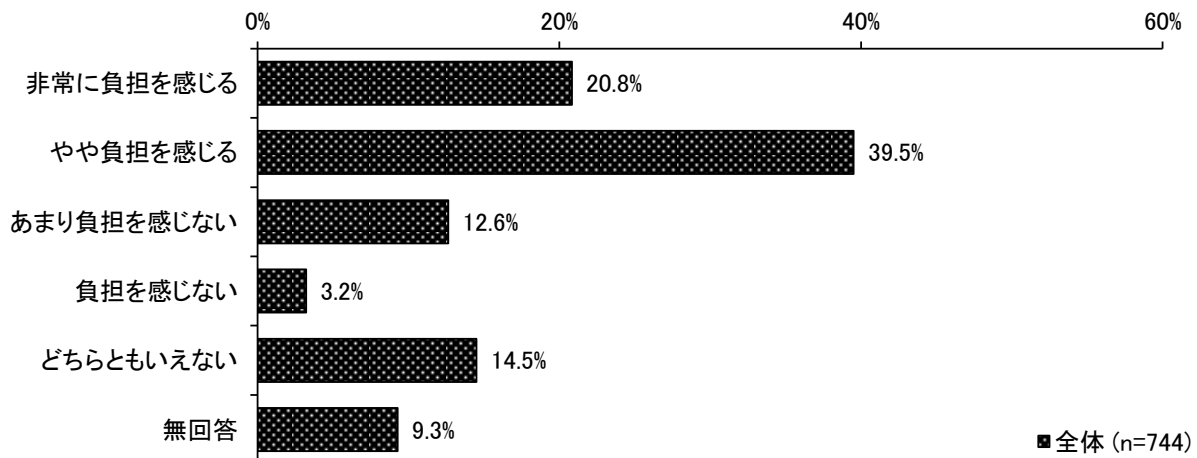
介護保険制度への不満については、「利用料の負担が大きい」の割合が57.9%と最も高く、次いで「制度が利用者にとってわかりにくい」(56.7%)、「高齢者の家族の負担を十分軽減できていない」(55.5%)、「高齢者の負担を十分軽減できていない」(49.4%)の順となっています。



（３）介護保険料の負担感

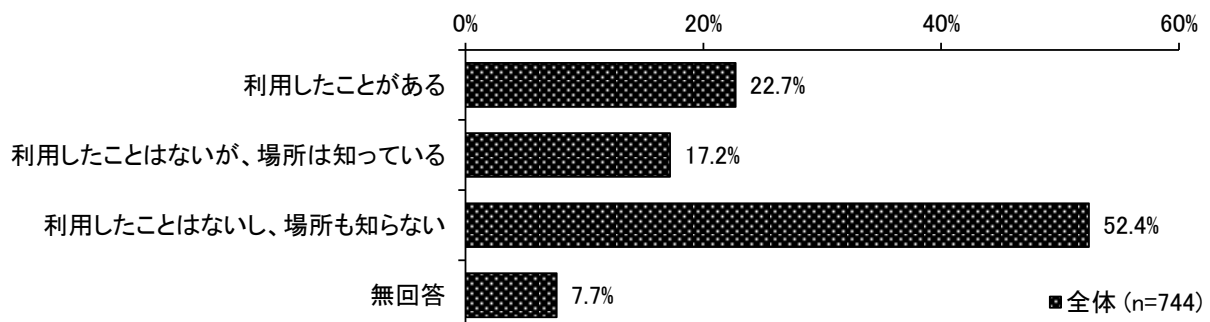
問５（３） あなたは、ご自身が支払っている介護保険料について、どのように感じていますか。（☑は１つ）

介護保険料の負担感については、「やや負担を感じる」の割合が39.5%と最も高く、「非常に負担を感じる」(20.8%)を合計すると60.3%が『負担を感じる』と回答しています。一方、「あまり負担を感じない」(12.6%)、「負担を感じない」(3.2%)の合計は15.8%となっています。

**（４）地域包括支援センターの利用状況**

問５（４） あなたは、地域包括支援センターを利用したことがありますか。（☑は１つ）

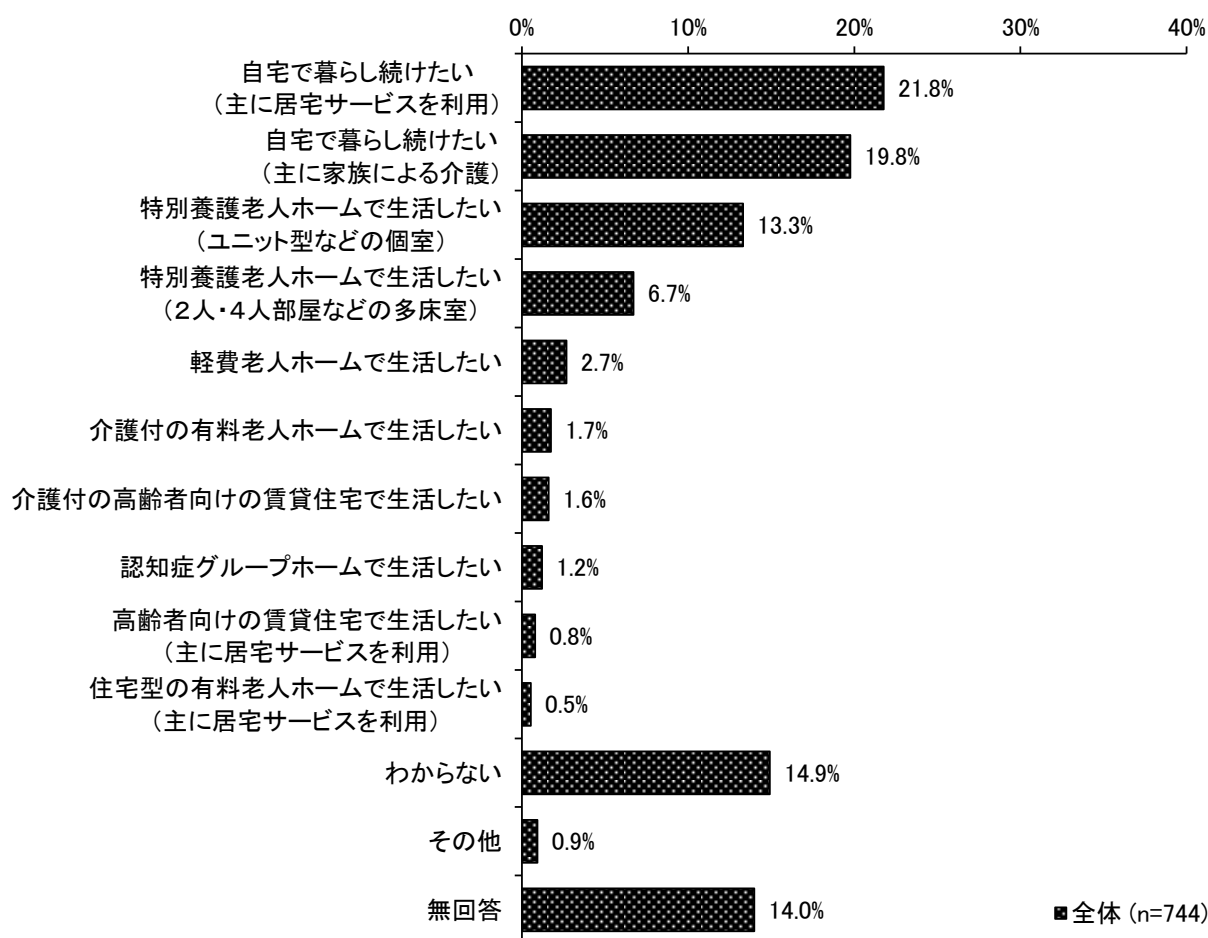
地域包括支援センターの利用状況については、「利用したことはないし、場所も知らない」の割合が52.4%と最も高く、次いで「利用したことがある」(22.7%)、「利用したことはないが、場所は知っている」(17.2%)の順となっています。



(5) 要介護度が進んだ場合に希望する介護内容

問5 (5) あなたは今後、現在より要介護度が重くなった場合に、どのような介護を希望しますか。(☑は1つ)

要介護度が進んだ場合に希望する介護内容については、「自宅で暮らし続けたい(主に居宅サービスを利用)」の割合が21.8%と最も高く、次いで「自宅で暮らし続けたい(主に家族による介護)」(19.8%)、「特別養護老人ホームで生活したい(ユニット型などの個室)」(13.3%)、「特別養護老人ホームで生活したい(2人・4人部屋などの多床室)」(6.7%)の順となっています。

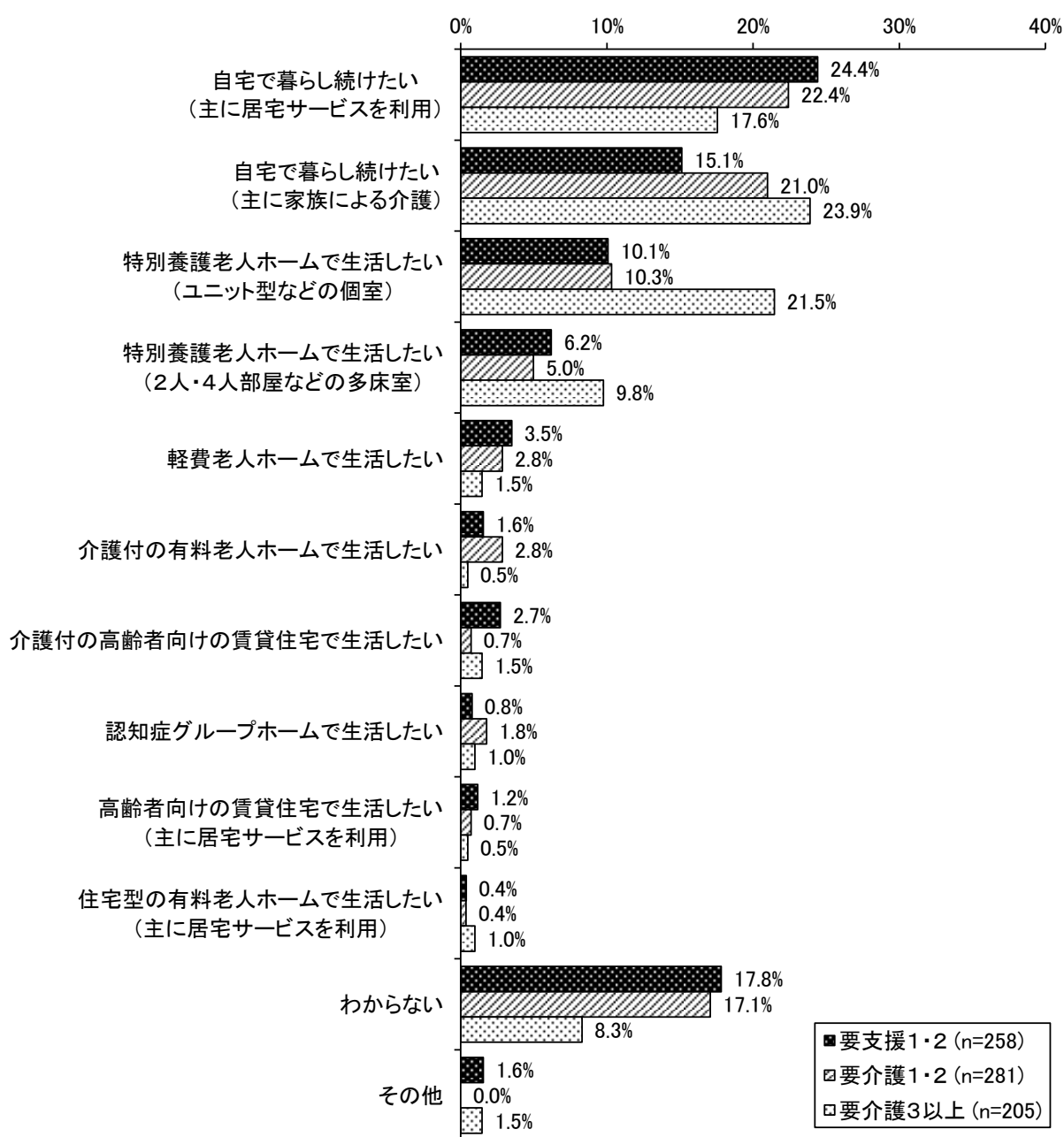


クロス集計

【要介護度が進んだ場合に希望する介護内容（要介護度別）】

要介護度が進んだ場合に希望する介護内容について要介護度別にみると、要支援1・2は「自宅で暮らし続けたい（主に居宅サービスを利用）」が24.4%、要介護1・2は「自宅で暮らし続けたい（主に居宅サービスを利用）」が22.4%、要介護3以上は「自宅で暮らし続けたい（主に家族による介護）」が23.9%で最も高くなっています。

要介護3以上では「特別養護老人ホームで生活したい（ユニット型などの個室）」が21.5%、「特別養護老人ホームで生活したい（2人・4人部屋などの多床室）」が9.8%で要支援1・2と要介護1・2よりも高くなっています。

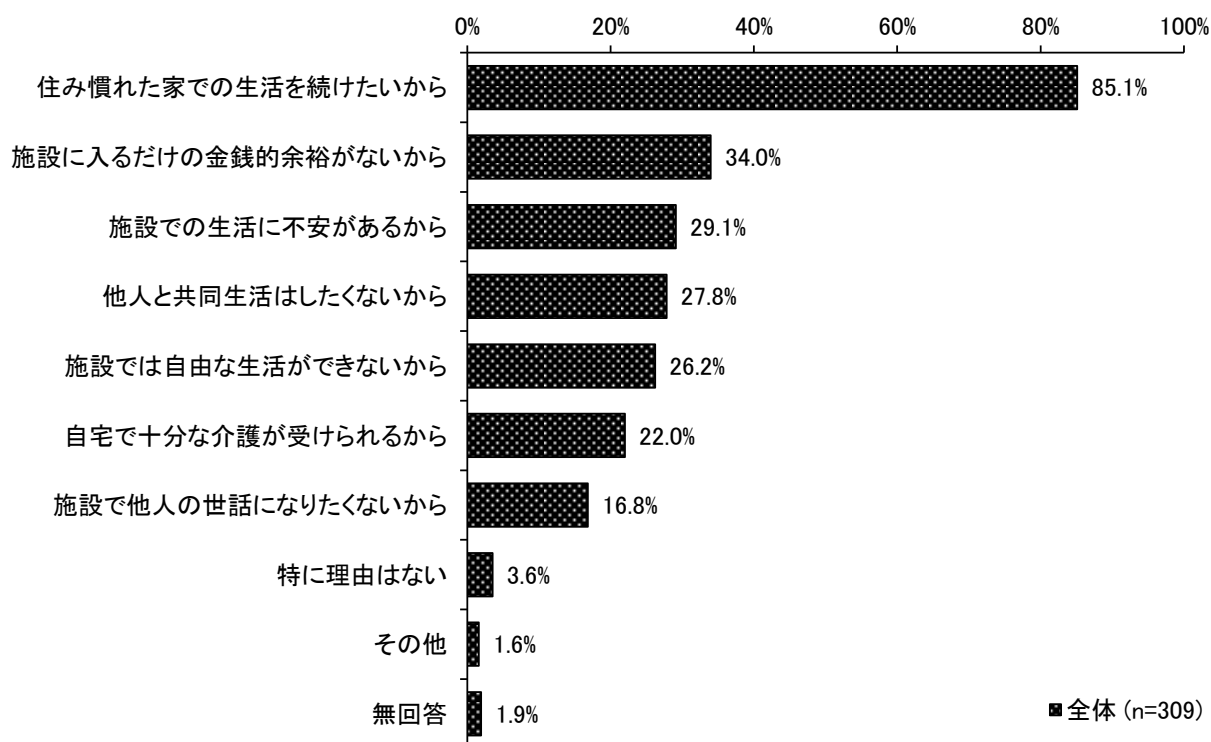


(6) 在宅介護を希望する理由

【問5(5)で「自宅で暮らし続けたい(主に家族による介護)」、「自宅で暮らし続けたい(主に居宅サービスを利用)」と回答した方のみお答えください】

問5(6) 自宅での介護を望む理由は何ですか。(あてはまるものすべてに☑)

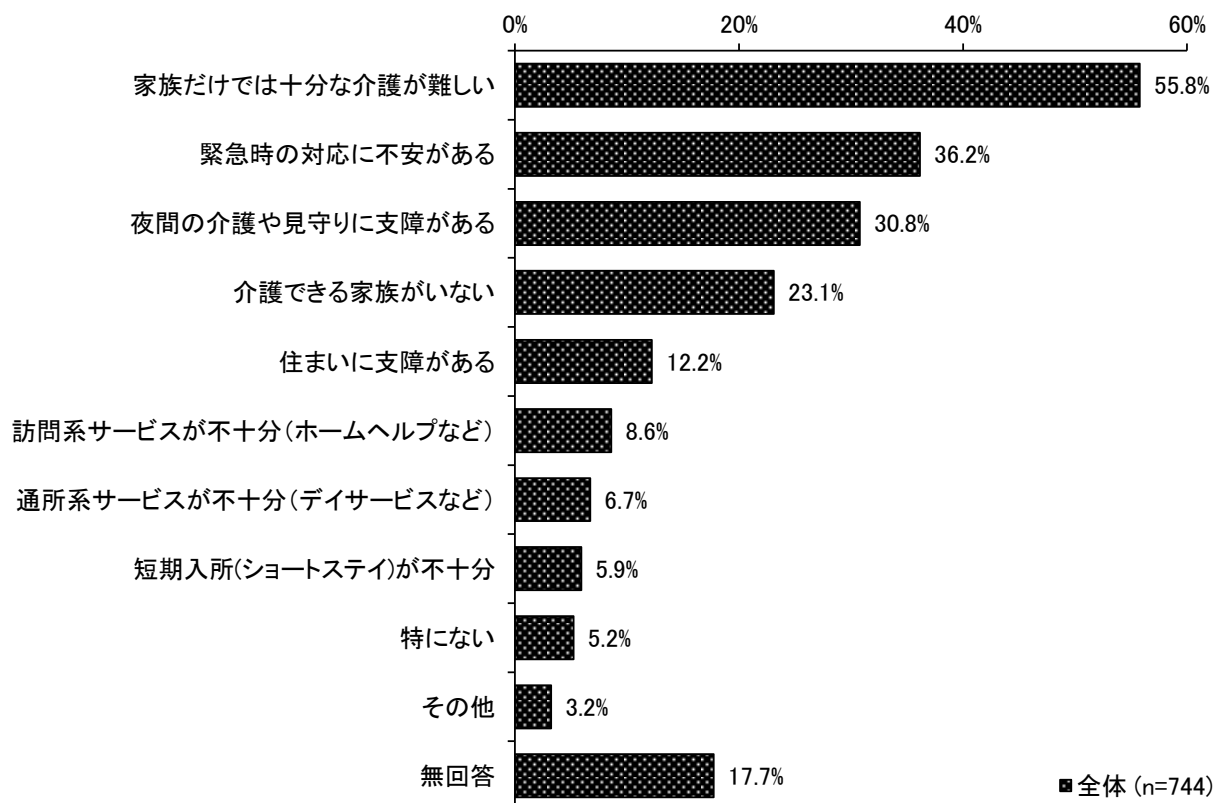
在宅介護を希望する理由については、「住み慣れた家での生活を続けたいから」の割合が85.1%と最も高く、次いで「施設に入るだけの金銭的余裕がないから」(34.0%)、「施設での生活に不安があるから」(29.1%)、「他人と共同生活はしたくないから」(27.8%)、「施設では自由な生活ができないから」(26.2%)の順となっています。



(7) 在宅介護を続ける際の課題

問5(7) 現在より要介護度が重くなった場合、あなたが自宅で暮らし続けるためには、どのようなことが課題になると思いますか。
(あてはまるものすべてに☑)

在宅介護を続ける際の課題については、「家族だけでは十分な介護が難しい」の割合が55.8%と最も高く、次いで「緊急時の対応に不安がある」(36.2%)、「夜間の介護や見守りに支障がある」(30.8%)、「介護できる家族がない」(23.1%)の順となっています。

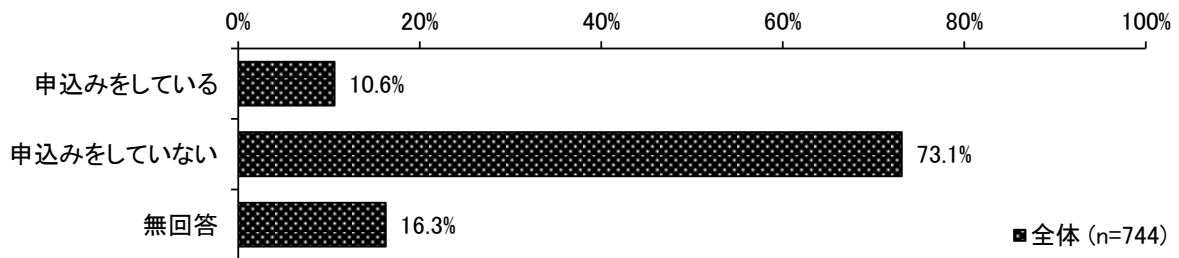


6 施設入所について

(1) 特別養護老人ホームへの入所の申込み状況

問6(1) あなたは現在、特別養護老人ホームに入所の申込みをしていますか。
(☑は1つ)

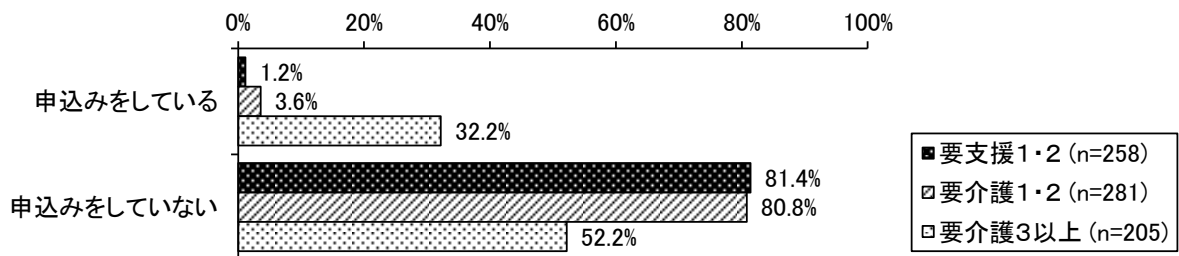
特別養護老人ホームへの入所の申込み状況については、「申込みをしている」が10.6%、「申込みをしていない」が73.1%となっています。



クロス集計

【特別養護老人ホームへの入所の申込み状況（要介護度別）】

特別養護老人ホームへの入所の申込み状況について要介護度別にみると、「申込みをしている」は要支援1・2(1.2%)、要介護1・2(3.6%)と比較すると、要介護3以上では32.2%となっており、その差が大きくなっています。



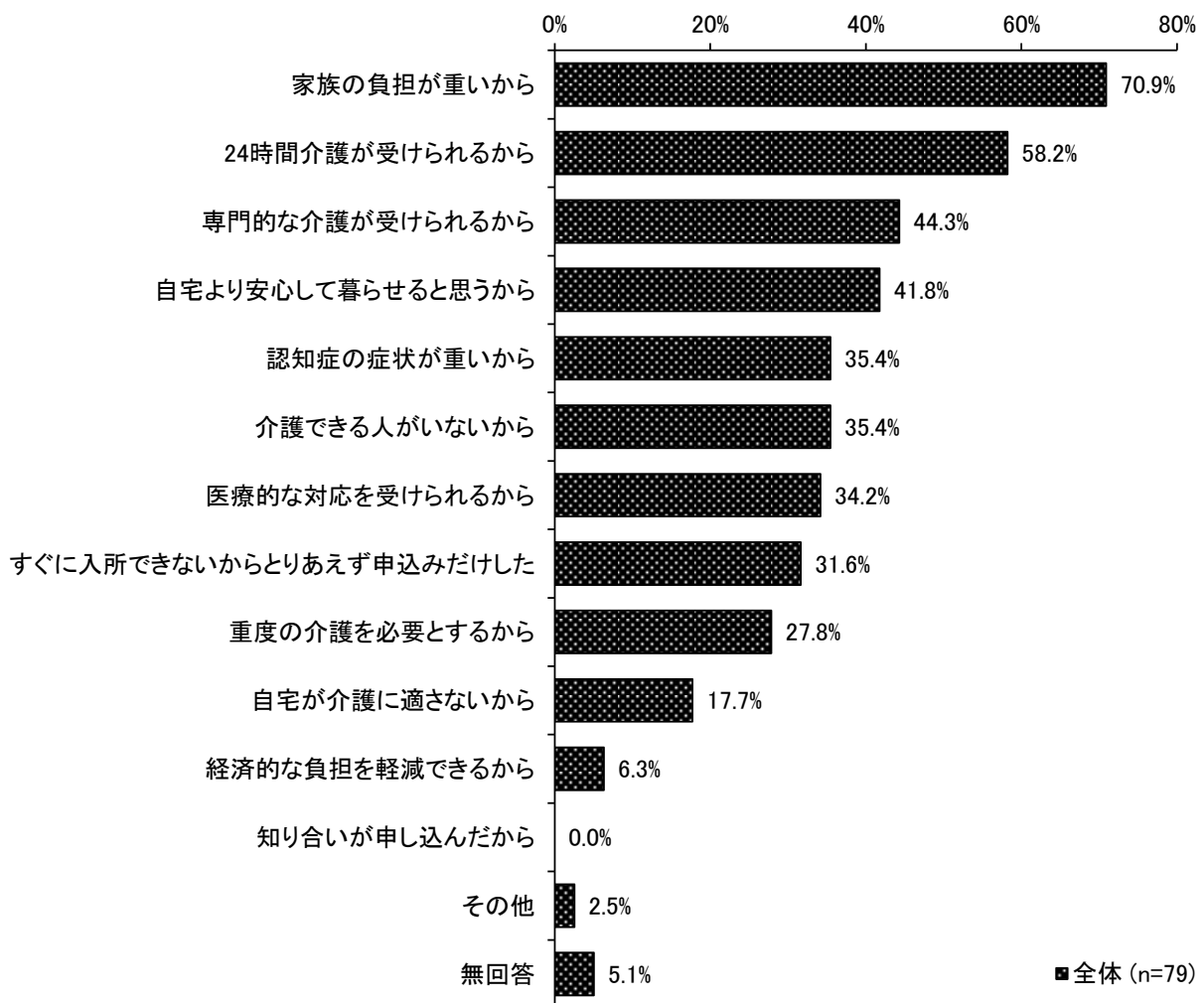
（２）特別養護老人ホームへの入所申込み理由

【問６（１）で「申込みをしている」と回答した方のみお答えください】

問６（２） 特別養護老人ホームに入所を申し込んでいる理由は何ですか。

（あてはまるものすべてに☑）

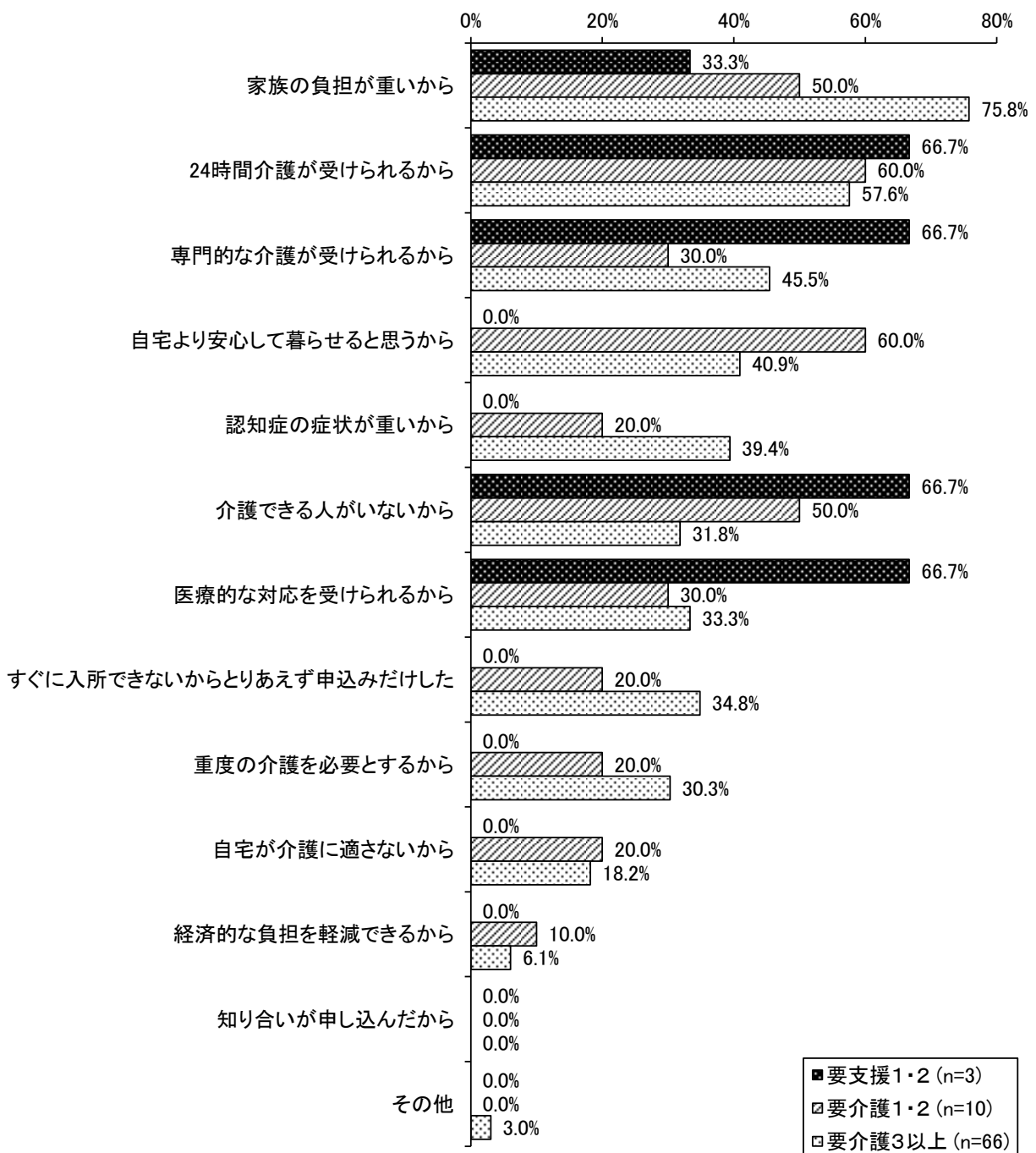
特別養護老人ホームへの入所申込み理由については、「家族の負担が重いから」の割合が70.9%と最も高く、次いで「24時間介護が受けられるから」（58.2%）、「専門的な介護が受けられるから」（44.3%）、「自宅より安心して暮らせると思うから」（41.8%）、「認知症の症状が重いから」「介護できる人がいないから」（各35.4%）の順となっています。



クロス集計

【特別養護老人ホームへの入所申込み理由（要介護度別）】

特別養護老人ホームへの入所申込み理由について要介護度別にみると、要支援1・2では「24時間介護が受けられるから」「専門的な介護が受けられるから」「介護できる人がいないから」「医療的な対応を受けられるから」が各66.7%と最も高く、次いで「家族の負担が重いから」が33.3%と続いています。要介護1・2では「24時間介護が受けられるから」「自宅より安心して暮らせると思うから」が各60.0%と最も高く、次いで「家族の負担が重いから」「介護できる人がいないから」が各50.0%と続いています。要介護3以上では「家族の負担が重いから」が75.8%で最も高く、次いで「24時間介護が受けられるから」が57.6%と続いています。

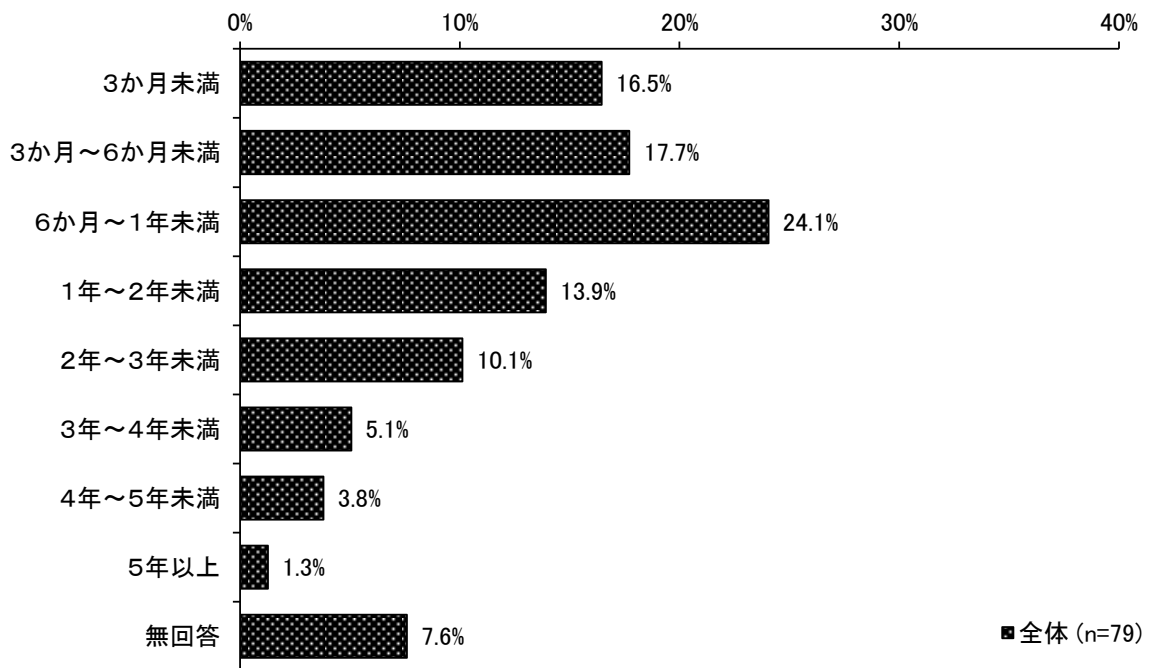


(3) 特別養護老人ホームに入所申込からの期間

【問6(1)で「申込をしている」と回答した方のみお答えください】

問6(3) 特別養護老人ホームに入所を申し込んでから現在まで、どのくらいの期間が経っていますか。(☑は1つ)

特別養護老人ホームへの入所申込からの期間については、「6か月～1年未満」の割合が24.1%と最も高く、次いで「3か月～6か月未満」(17.7%)、「3か月未満」(16.5%)、「1年～2年未満」(13.9%)の順となっています。

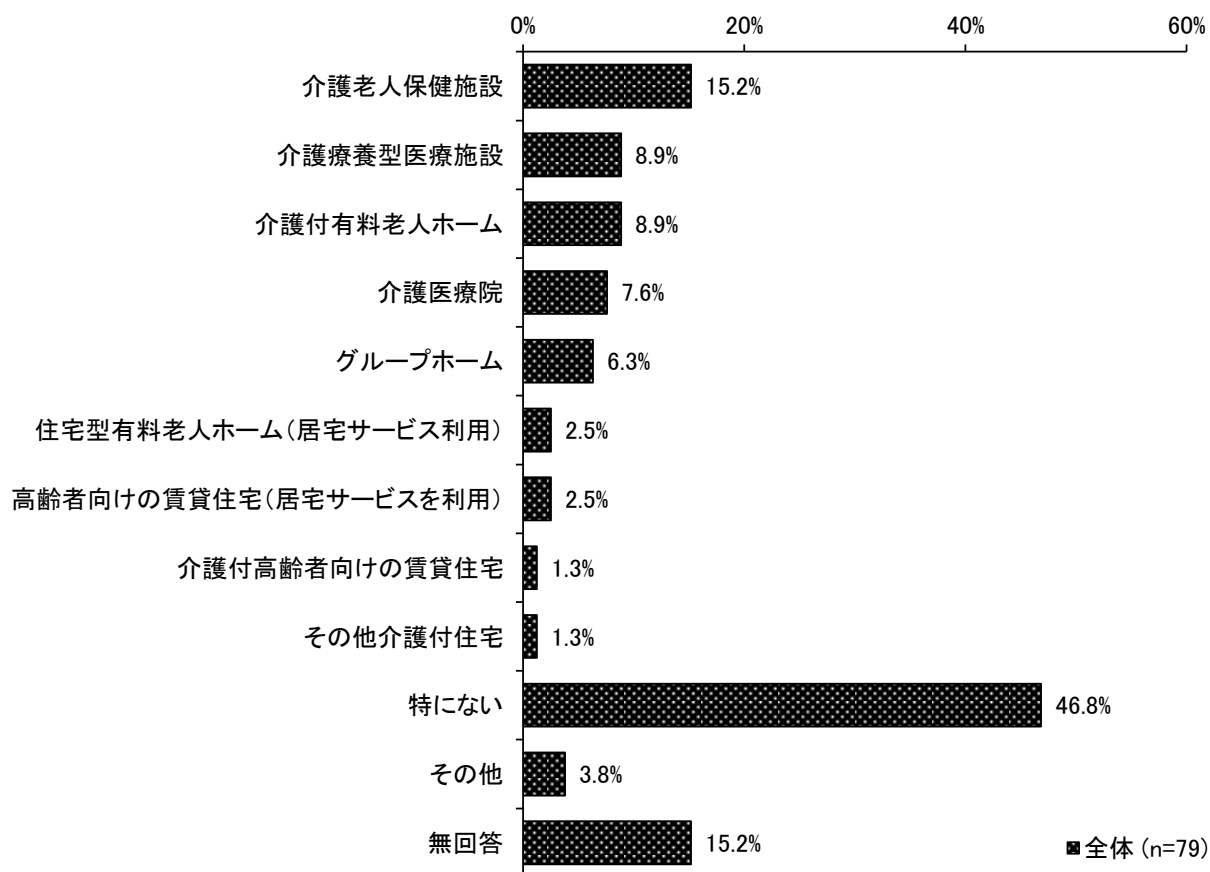


(4) 特別養護老人ホーム以外に希望する施設

【問6(1)で「申込をしている」と回答した方のみお答えください】

問6(4) 特別養護老人ホーム以外にも、入所や入居を希望する施設はありますか。
(あてはまるものすべてに☑)

特別養護老人ホーム以外に希望する施設については、「特にない」の割合が46.8%と最も高いものの、希望する施設としては「介護老人保健施設」(15.2%)、「介護療養型医療施設」「介護付有料老人ホーム」(各8.9%)の割合が高くなっています。

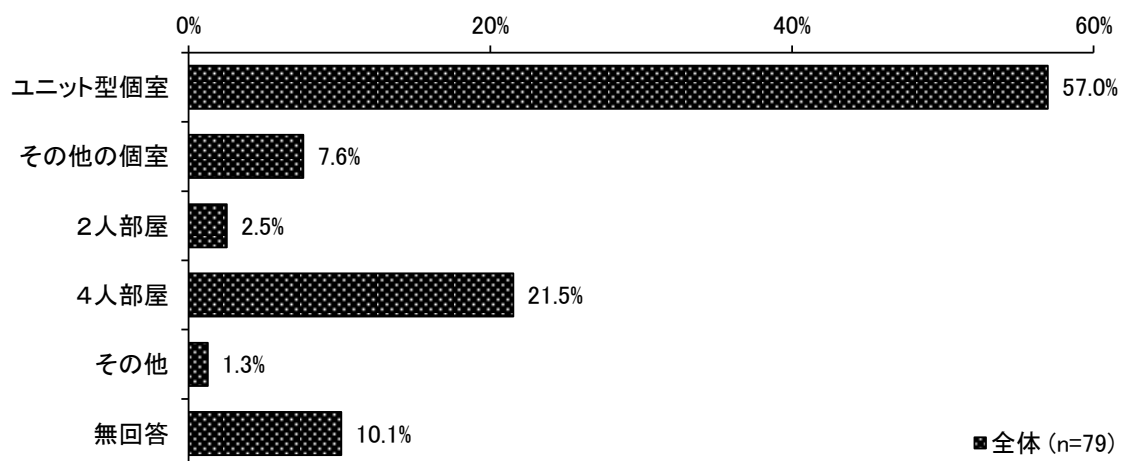


(5) 希望する居室

【問6(1)で「申込をしている」と回答した方のみお答えください】

問6(5) 入居する居室の種類を選べるとすれば、どのような居室が一番良いと思いますか。(☑は1つ)

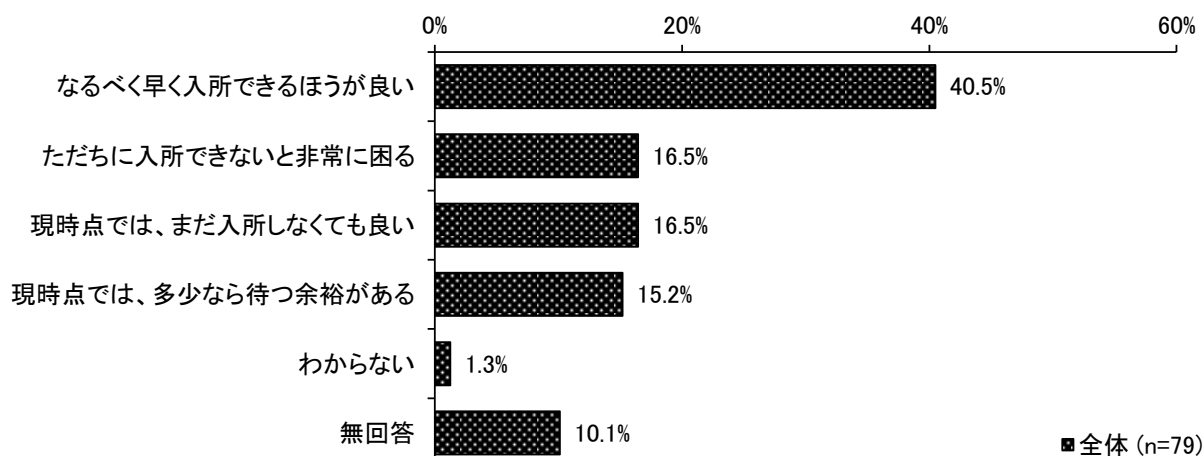
希望する居室については、「ユニット型個室」の割合が57.0%と最も高く、次いで「4人部屋」(21.5%)、「その他の個室」(7.6%)の順となっています。

**(6) 施設入所の必要度**

【問6(1)で「申込をしている」と回答した方のみお答えください】

問6(6) 現時点で、どの程度入所の必要を感じていますか。(☑は1つ)

施設入所の必要度については、「なるべく早く入所できるほうが良い」の割合が40.5%と最も高く、次いで「ただちに入所できないと非常に困る」「現時点では、まだ入所しなくても良い」(各16.5%)、「現時点では、多少なら待つ余裕がある」(15.2%)の順となっています。

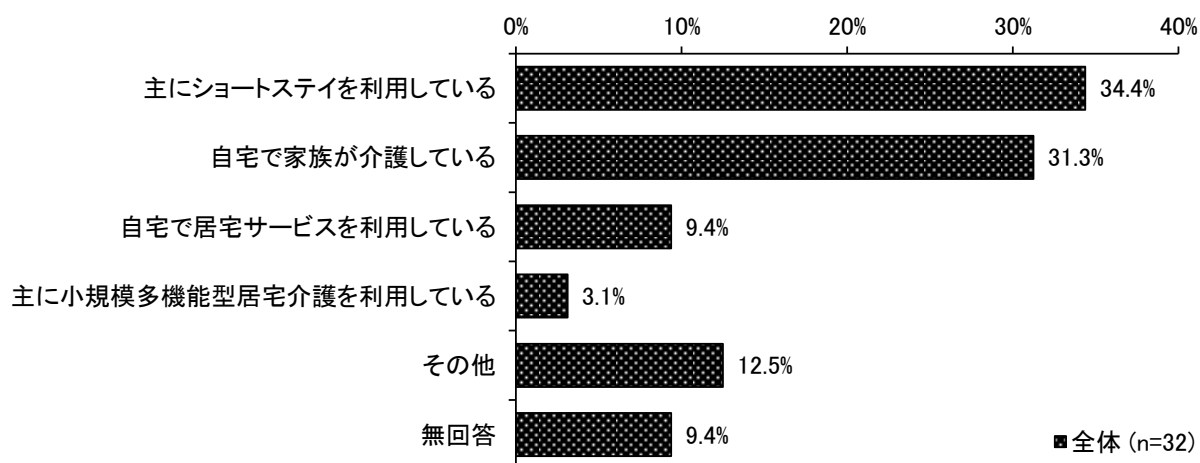


(7) 現在の介護状況

【問6(6)で「なるべく早く入所できるほうが良い」と回答した方のみお答えください】

問6(7) 現在の介護はどのような状況ですか。(☑は1つ)

現在の介護状況については、「主にショートステイを利用している」の割合が34.4%と最も高く、次いで「自宅で家族が介護している」(31.3%)、「その他」(12.5%)の順となっています。

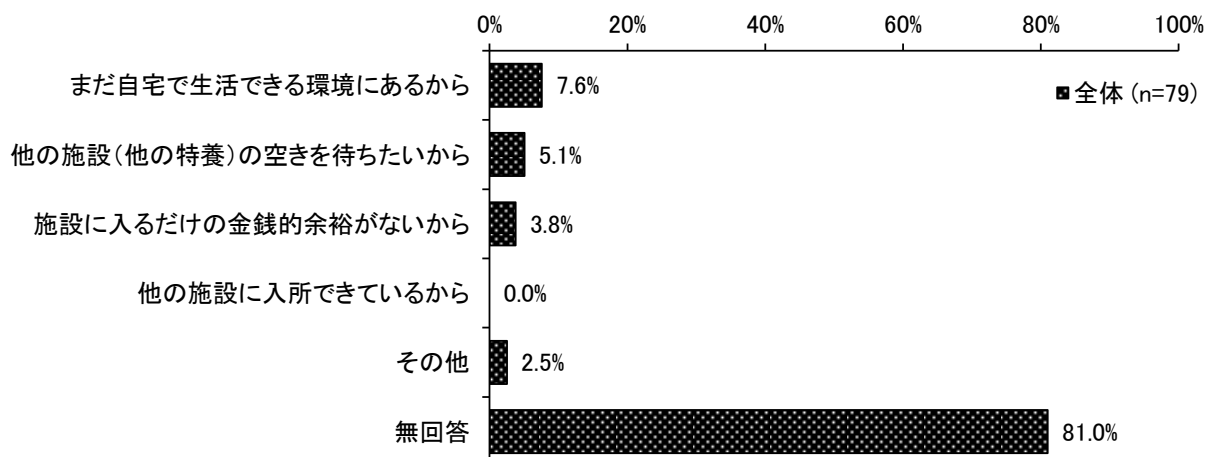


(8) 入所を断った理由

【入所を申し込んだ後、施設からの入所案内に対し入所を断ったことがある方にお聞きします。】

問6(8) 入所を断った理由は何ですか。(☑は1つ)

入所を断った理由については、「まだ自宅で生活できる環境にあるから」の割合が7.6%と最も高く、次いで「他の施設(他の特養)の空きを待ちたいから」(5.1%)、「施設に入るだけの金銭的余裕がないから」(3.8%)の順となっています。

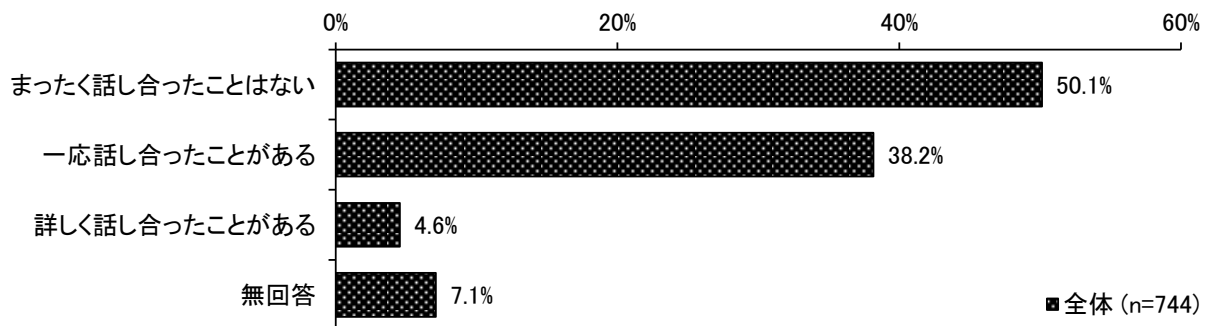


7 終末期の過ごし方について

(1) 終末期の過ごし方に関する家族との話し合い

問7(1) あなたは、終末期をどう過ごすか家族と話し合ったことがありますか。
(☑は1つ)

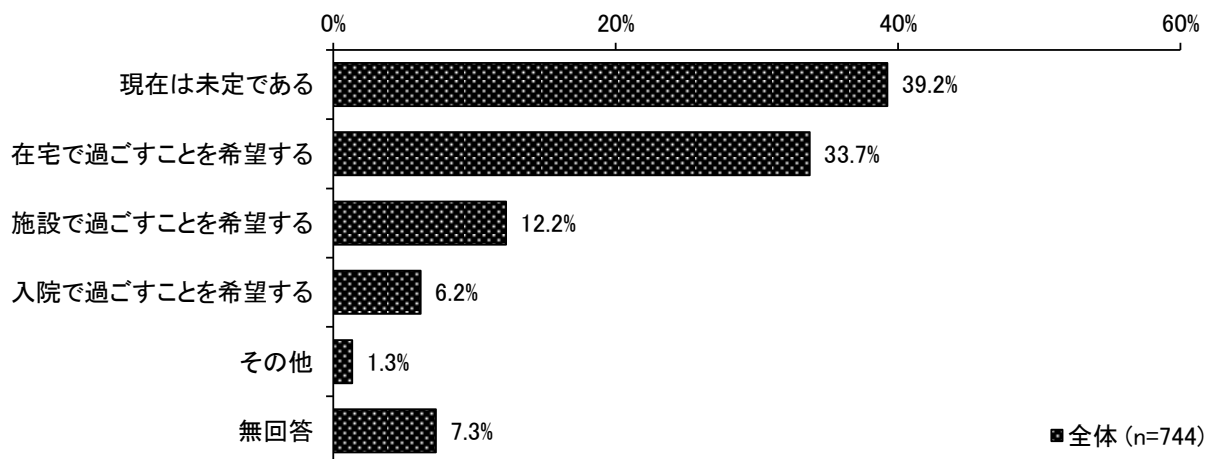
終末期の過ごし方に関する家族との話し合いについては、「まったく話し合ったことはない」の割合が50.1%と最も高く、次いで「一応話し合ったことがある」(38.2%)、「詳しく話し合ったことがある」(4.6%)の順となっています。



(2) 終末期をどこで過ごすか

問7(2) あなたは終末期をどこで過ごしたいと考えていますか。(☑は1つ)

終末期をどこで過ごすかについては、「現在は未定である」の割合が39.2%と最も高く、次いで「在宅で過ごすことを希望する」(33.7%)、「施設で過ごすことを希望する」(12.2%)の順となっています。





Ⅲ 調査結果・まとめ

【1】項目別まとめ

1 基本属性

回答者は「主な介護者となっている家族・親族」が 56.7%。世帯類型は、「その他」が 38.8%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」30.0%、「単身世帯」27.2%の順となっている。日中独居の有無は、「たまにある」が 36.1%となっている。

2 介護者の状況

家族介護の頻度については、「ほぼ毎日ある」が 42.7%、「ない」が 27.7%となっていて、主な介護者は、「子」が 45.4%と最も高く、次いで「配偶者」が 31.2%となっている。介護者の性別は「女性」が 59.6%、年齢は「50代」が 26.4%と最も高く、次いで「70代」23.2%の順となっている。

介護を理由とした退職については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 60.2%と最も高く、介護者の健康状態は「普通」が 37.8%と最も高い。「あまり健康でない」18.8%と「病気や障がいがある」17.0%を合わせると3割を超える。

介護の負担については、精神的な『負担が強い』が 50.8%、身体的な『負担が強い』が 39.2%となっている。

介護の内容については、「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」、「外出の付き添い、送迎等」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「食事の準備（調理等）」が6割を超えている。不安に感じる介護の内容については、「夜間の排泄」が 31.3%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 30.7%、「認知症状への対応」、「日中の排泄」、「入浴・洗身」が2割台となり、次いで「食事の介助（食べる時）」、「屋内の移乗・移動」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」の順となっている。

介護者の現在の勤務形態については、「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」を合わせると 40.9%であり、働き方の調整等については、「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が 36.5%、「特に行っていない」が 30.7%となっている。仕事と介護の継続については、『継続できる』が 74.6%となっている。

3 介護サービスの利用状況等について

介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況については、「利用していない」が 42.5%で最も高い。今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「外出同行（通院・買い物など）」、「見守り、声かけ」、「掃除・洗濯」、「配食」の順となっている。

施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が 51.5%、「入所・入居を検討している」が 20.4%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 14.5%の順となっている。

介護保険サービスの利用状況については、「利用している」が 54.2%であり、利用期間については、「1年～3年未満」が 29.3%と最も高く、次いで「5年以上」が 22.3%、「3

年～5年未満」が17.9%の順となっている。利用効果については、「介護者の負担が軽減した」で『改善した』が63.0%となっていて、現在利用しているサービス内容の満足度については、『満足している』が80.4%となっている。不満点については、「サービスに関する情報が少ない」が26.1%と最も高く、次いで「サービスの質が良くない」「職員の対応が良くない」が各21.7%、「利用したいサービスを利用できない」「サービスの時間が少ない」「休日・早朝・夜間のサービスが利用しにくい」「専門的な指導ができる職員が少ない」が各17.4%の順となっている。介護保険サービスを利用していない理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が41.9%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が22.5%、「家族が介護をするため必要ない」が10.9%の順となっている。

4 地域密着型サービスについて

地域密着型サービスの認知状況については、「内容は知らなかったが、興味はある」が39.8%と最も高く、次いで「利用したことはないが、内容を知っていた」が19.4%、「知らなかったし、あまり興味はない」が16.9%、「利用したことがある」が12.6%の順となっている。

小規模多機能型居宅介護、認知症対応型通所介護（認知症デイサービス）、地域密着型介護老人福祉施設（小規模特別養護老人ホーム）、定期巡回・随時対応型訪問介護看護では、「既に利用している」「今後利用したい」を合わせると2割を超え、地域密着型通所介護（小規模デイサービス）は3割を超えている。また、全てにおいて「わからない」は3割を超えている。

本市実施の高齢者福祉サービスの認知状況については、「福祉タクシー」が54.8%と最も高く、次いで「高齢者住宅改造費の助成」、「配食サービス」、「ひとり暮らし高齢者等ごみ出し支援事業」、「介護用品支給事業」、「訪問理容サービス」、「緊急通報システム」の順となっている。利用したいサービスについては、「緊急通報システム」が30.6%と最も高く、次いで「福祉タクシー」、「介護用品支給事業」、「家族介護慰労金支給事業」の順となっている。

5 介護保険制度について

介護保険制度全般については、「やや満足している」「非常に満足している」を合計すると47.4%が『満足』と回答し、「やや不満である」「非常に不満である」の合計は22.0%となっている。介護保険制度への不満については、「利用料の負担が大きい」が57.9%と最も高く、次いで「制度が利用者にとってわかりにくい」、「高齢者の家族の負担を十分軽減できていない」、「高齢者の負担を十分軽減できていない」の順となっている。

介護保険料の負担感については、60.3%が『負担を感じる』と回答している一方、『負担を感じない』の合計は15.8%となっている。

地域包括支援センターの利用状況については、「利用したことはないし、場所も知らない」が52.4%と最も高く、次いで「利用したことがある」が22.7%、「利用したことはないが、場所は知っている」が17.2%の順となっている。

要介護度が進んだ場合に希望する介護内容については、「自宅で暮らし続けたい（主に居宅サービスを利用）」が21.8%と最も高く、次いで「自宅で暮らし続けたい（主に家族に

よる介護)」、「特別養護老人ホームで生活したい(ユニット型などの個室)」、「特別養護老人ホームで生活したい(2人・4人部屋などの多床室)」の順となっている。

6 施設入所について

特別養護老人ホームへの入所の申込み状況については、「申込みをしている」が10.6%、「申込みをしていない」が73.1%となっている。特別養護老人ホームへの入所申込み理由については、「家族の負担が重いから」が70.9%と最も高く、次いで「24時間介護が受けられるから」、「専門的な介護が受けられるから」、「自宅より安心して暮らせると思うから」、「認知症の症状が重いから」「介護できる人がいないから」の順となっている。特別養護老人ホームへの入所申込からの期間については、「6か月～1年未満」が24.1%と最も高く、次いで「3か月～6か月未満」、「3か月未満」、「1年～2年未満」の順となっている。特別養護老人ホーム以外に希望する施設については、「特にない」が46.8%と最も高いものの、希望する施設としては「介護老人保健施設」、「介護療養型医療施設」「介護付有料老人ホーム」が高くなっている。希望する居室については、「ユニット型個室」が57.0%と最も高く、次いで「4人部屋」、「その他の個室」の順となっている。

7 終末期の過ごし方について

終末期の過ごし方に関する家族との話し合いについては、「まったく話し合ったことはない」が50.1%と最も高く、「詳しく話し合ったことがある」は4.6%に留まっている。終末期の希望する過ごし方については、「現在は未定である」が39.2%と最も高く、次いで「在宅で過ごすことを希望する」が33.7%の順となっている。一方、「入院で過ごすことを希望する」は1割未満となっている。

【2】全体まとめ

在宅介護実態調査（兼特別養護老人ホーム入所希望者調査）からは、全体的な傾向として利用者の現状に合わせた介護が実施されている結果となっている。必要に応じたサービスを利用しているが、介護離職は1割近く存在し、重度化の進展次第で状況が悪化することも考えられる。介護者は精神的・身体的に『負担が強い』と回答している方が多く、特に要介護度が上がるほど『負担が強い』と回答している方は増加している。また、介護者の健康状態については、「あまり健康でない」が18.8%、「病気や障がいがある」が17.0%と合わせて3割半ばが健康に不安があるという結果となっている。

介護をしながら働いている方で、何らかの働き方の調整をしている方は多くなっているが、今後も働きながら介護を続けていくことについては、「続けていくのは、やや難しい」（12.7%）、「続けていくのは、かなり難しい」（5.8%）を合計した、『継続は難しい』は18.5%となっている。

一方、要介護度が進んだ場合でも自宅で暮らし続けたいとする回答は多く、その理由としては「住み慣れた家での生活を続けたいから」が85.1%となっている。また、課題としては家族介護の難しさ、緊急時や夜間の対応で多くの回答がみられる。

特別養護老人ホームへの入所申込みについては、要介護3以上の方で3割弱の方が申込みをしていると回答しており、その理由としては家族の負担の重さと回答している方が約7割に及んでいる。

今回の調査からは、

- ①介護による離職を防ぐための介護者の負担軽減と、介護者への制度・サービス（介護保険サービス以外の支援・サービス、地域密着型サービス、本市実施の高齢者福祉サービス）の周知
- ②介護サービス利用者への重度化予防策
- ③地域包括ケアの周知と仕組みづくり

などの課題が読み取れる。

野田市 介護保険サービス利用者等実態調査

(施設サービス利用者調査 (兼特別養護老人ホーム入所希望者調査))

－ 報告書 －

令和5年 3月

千葉県 野田市

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 調査結果	3
1 基本属性	3
(1) 調査票の回答者	3
(2) 性別	3
(3) 年齢	4
(4) 主な収入源	4
(5) 現在の要介護度	5
(6) 治療中の病気	6
(7) 物忘れの有無	7
2 施設への入所について	8
(1) 施設の種類	8
(2) 現在の施設を選んだ理由	9
(3) 入所が決まるまでの期間	10
(4) 入所を申し込んでからの介護状況	10
(5) 入所期間	11
(6) 居室の種類	11
(7) 別の居室の希望状況	12
(8) 別の居室に移りたい理由	12
3 施設での生活について	13
(1) 面会の頻度	13
(2) 現在の楽しみ	13
(3) 施設生活の満足度	14
(4) 施設に入所して良かったと思うこと	15
(5) 施設に入所して不安や不満を感じていること	16
(6) 困ったとき相談する相手	17
(7) 施設に支払う費用	18
(8) 施設費用の負担感	18
(9) 施設への希望	19
(10) 自尊心を傷つけられる行為の有無	20
(11) 行為を受けた相手	20
4 今後の暮らし方について	21
(1) 今後の暮らし方の希望	21
(2) 他の施設に移りたい理由	21
(3) 地域で暮らすための課題	22

5	地域密着型サービスについて	23
	(1) 地域密着型サービスの認知状況	23
	(2) 地域密着型サービスの利用意向	24
6	介護保険制度について	25
	(1) 介護保険制度全般について	25
	(2) 介護保険制度への不満	26
	(3) 介護保険料の額	27
	(4) 介護保険料の負担感	28
	(5) 介護保険料と介護サービスの関係について	28
7	施設入所について	29
	(1) 特別養護老人ホームへの申込みの有無	29
	(2) 申込みをしている理由	30
	(3) 申し込んでから現在までの期間	31
	(4) 特別養護老人ホーム以外にも希望する施設の有無	32
	(5) 希望する居室の種類	33
	(6) 現時点での入所の必要度	33
	(7) 入所案内後に入所を断った理由	34
Ⅲ	調査結果・まとめ	35
	【1】項目別まとめ	35
	【2】全体まとめ	37

I 調査の概要

【調査の目的】

「野田市シルバープラン（野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画）第9期計画」の策定に向けて、施設サービス利用者における生活の状況や、介護保険制度についての意識等を把握し、今後の高齢者福祉施策に活用することを目的として実施した。

【調査対象】

介護保険施設サービス利用者

【調査方法】

郵送配布・回収

【調査期間】

令和4年（2022年）10月

【回収結果】

配布数	322人
有効回収数	142人
有効回収率	44.1%

【報告書の見方について】

- （1）集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- （2）2つ以上の回答を可能とした設問（複数回答）の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- （3）図表中に示すnは、比率算出上の基数（標本数）である。
- （4）この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。



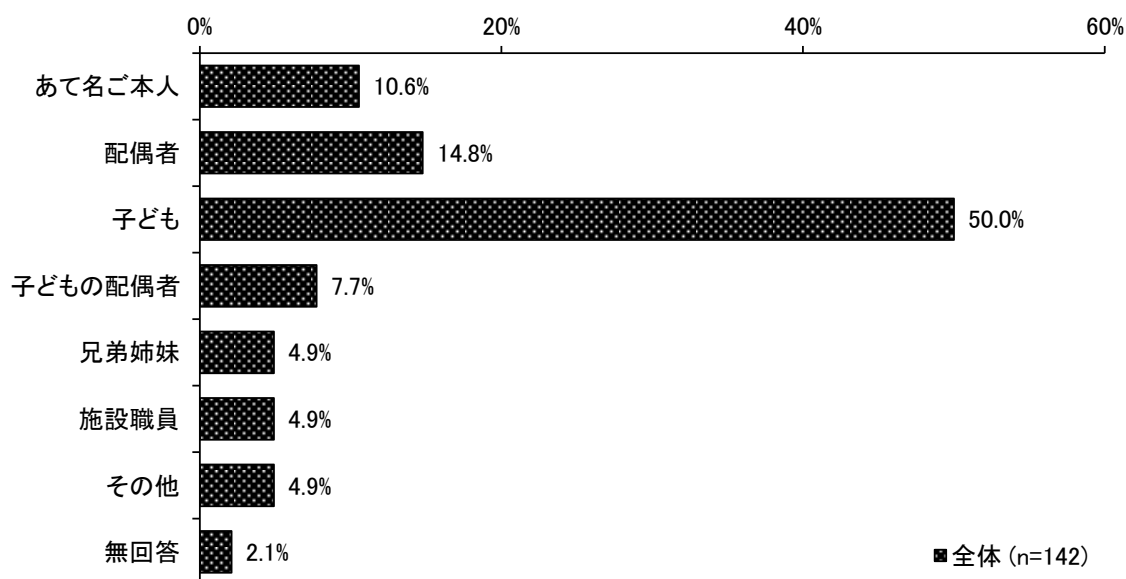
Ⅱ 調査結果

1 基本属性

(1) 調査票の回答者

問1(1) このアンケートにご回答いただく方はどなたですか。(☑は1つ)

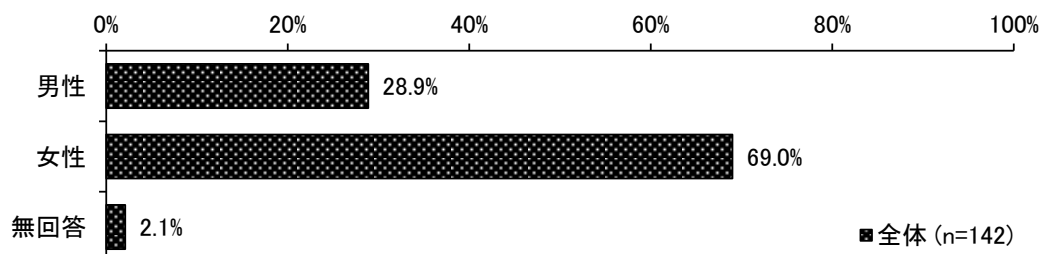
調査票の回答者については、「子ども」の割合が50.0%と最も高く、次いで「配偶者」(14.8%)、「あて名ご本人」(10.6%)の順となっています。



(2) 性別

問1(2) あなたの性別はどちらですか。(☑は1つ)

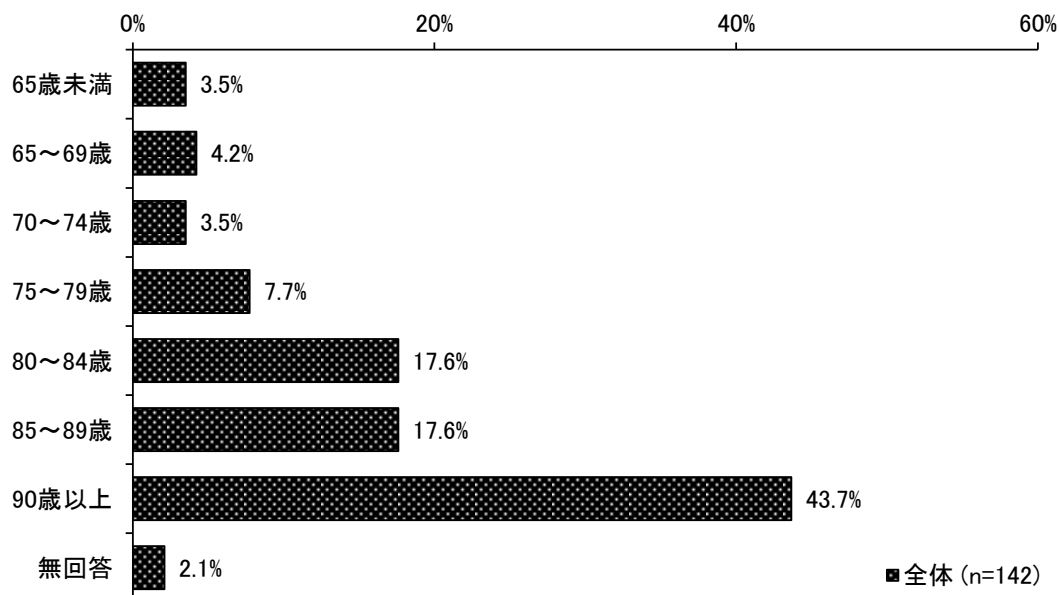
性別については、「男性」が28.9%、「女性」が69.0%となっています。



(3) 年齢

問1(3) あなたの年齢はおいくつですか。令和4年10月1日時点の満年齢をお書きください。

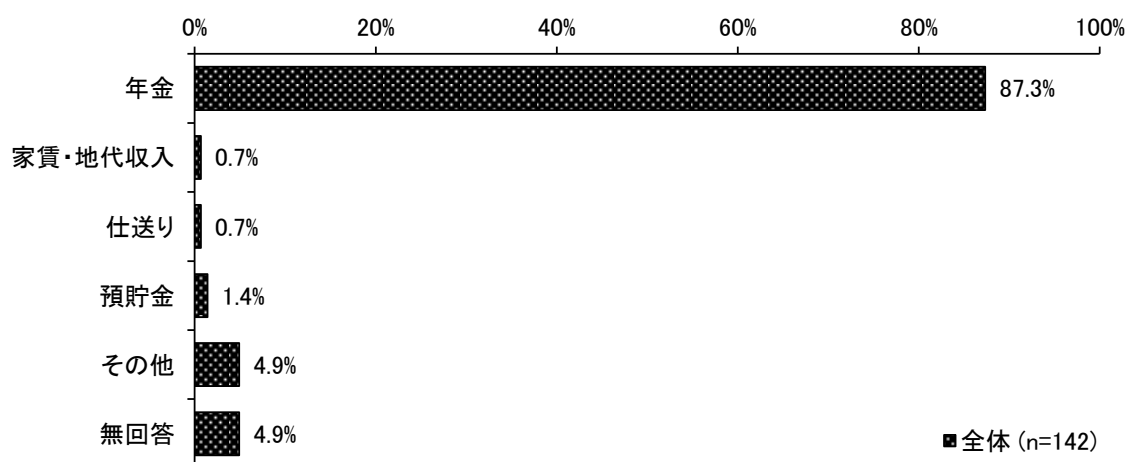
年齢については、「90歳以上」の割合が43.7%と最も高く、次いで「80～84歳」「85～89歳」(各17.6%)、「75～79歳」(7.7%)の順となっています。



(4) 主な収入源

問1(4) あなたの主な収入源は何ですか。(☑は1つ)

主な収入源については、「年金」が87.3%と大半を占めています。

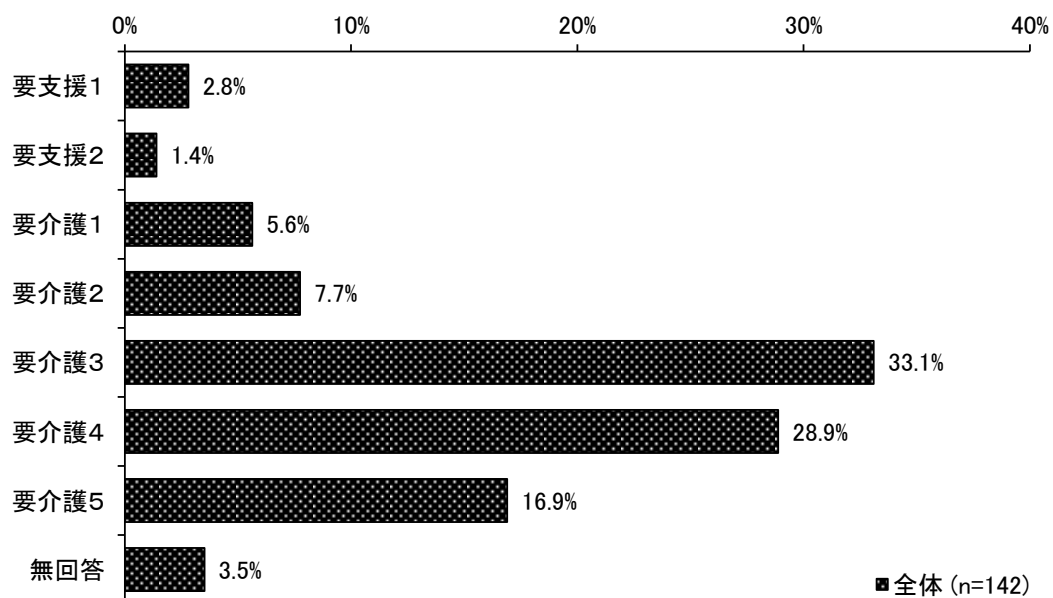


（5）現在の要介護度

問1（5） あなたの現在の要介護・要支援度はどれですか。（☑は1つ）

現在の要介護度については、「要介護3」の割合が33.1%と最も高く、次いで「要介護4」（28.9%）、「要介護5」（16.9%）の順となっています。

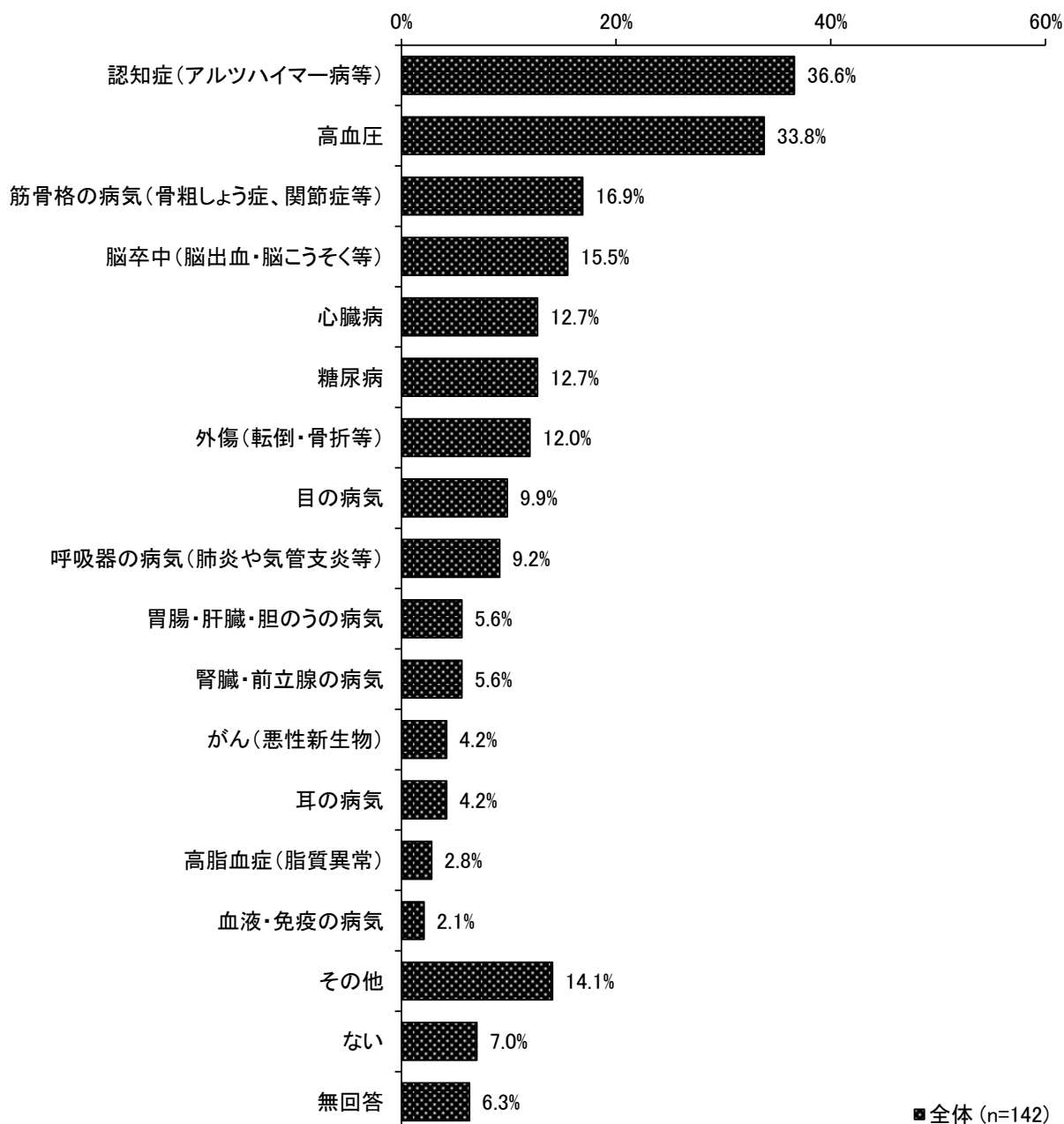
要支援の方の合計は4.2%、要介護の方の合計は92.2%となっています。



(6) 治療中の病気

問1(6) あなたには、現在治療中か、後遺症のある病気はありますか。
(あてはまるものすべてに☑)

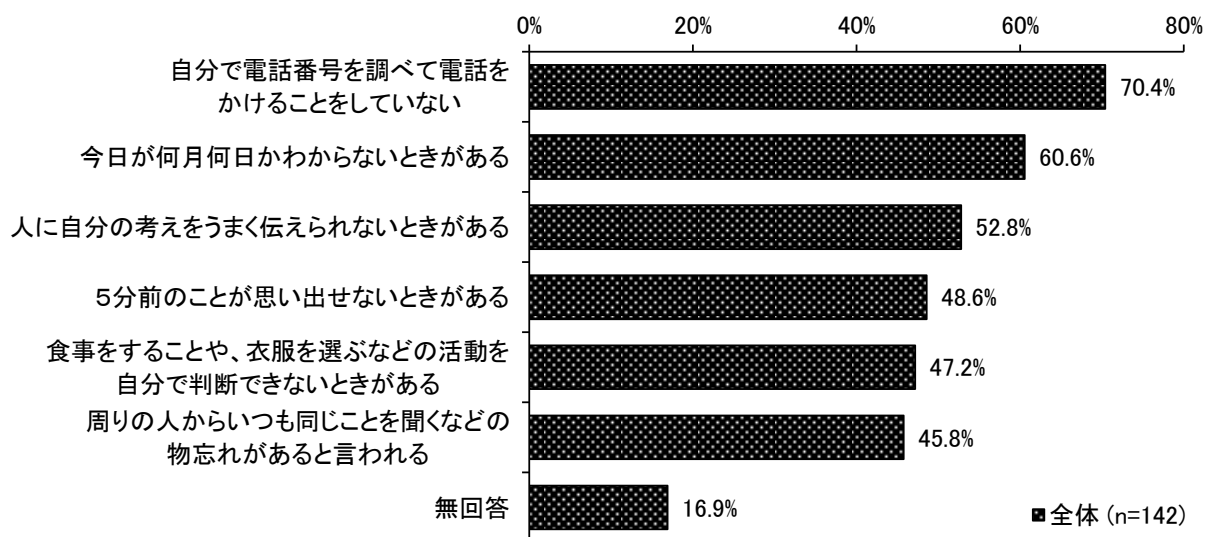
治療中の病気については、「認知症(アルツハイマー病等)」の割合が36.6%と最も高く、次いで「高血圧」(33.8%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(16.9%)、「脳卒中(脳出血・脳こうそく等)」(15.5%)、「心臓病」「糖尿病」(各12.7%)の順となっています。



（7）物忘れの有無

問1（7） あなたは、最近、次のような事がありますか。
（あてはまるものすべてに☑）

物忘れの有無については、「自分で電話番号を調べて電話をかけることをしていない」の割合が70.4%と最も高く、次いで「今日が何月何日かわからないときがある」（60.6%）、「人に自分の考えをうまく伝えられないときがある」（52.8%）の順となっています。

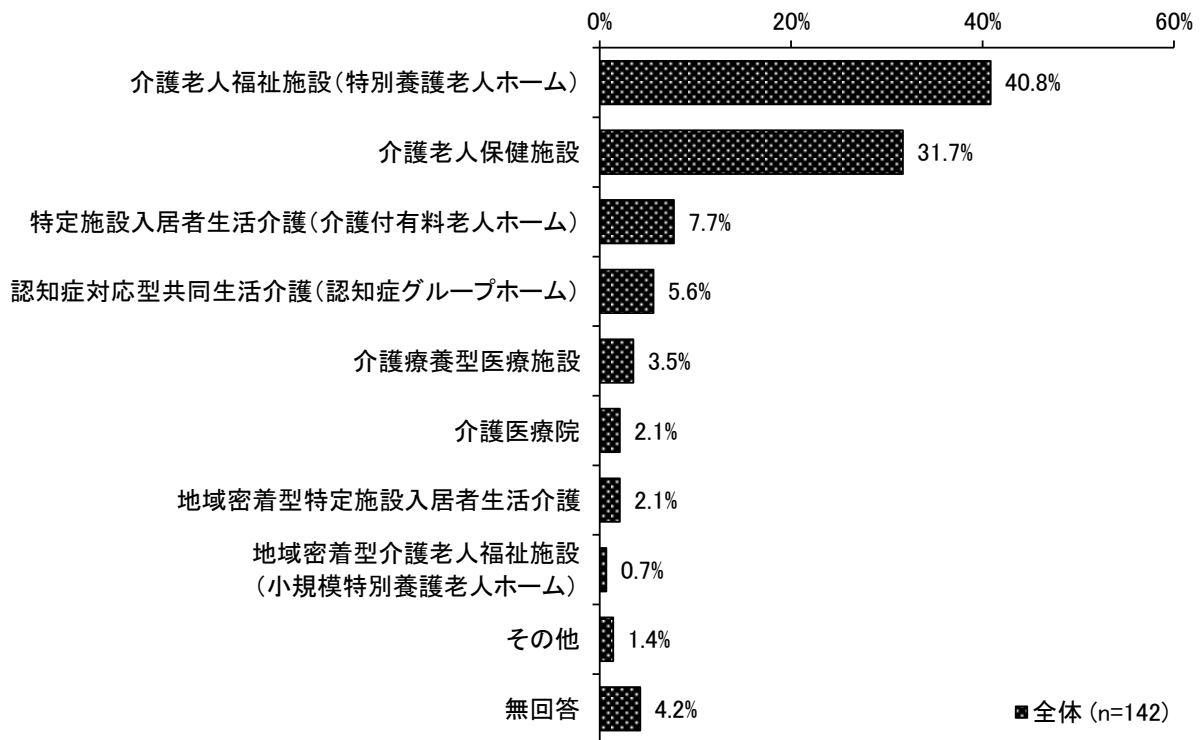


2 施設への入所について

(1) 施設の種類の種類

問2 (1) あなたが入所している施設の種類の種類はどれですか。(☑は1つ)

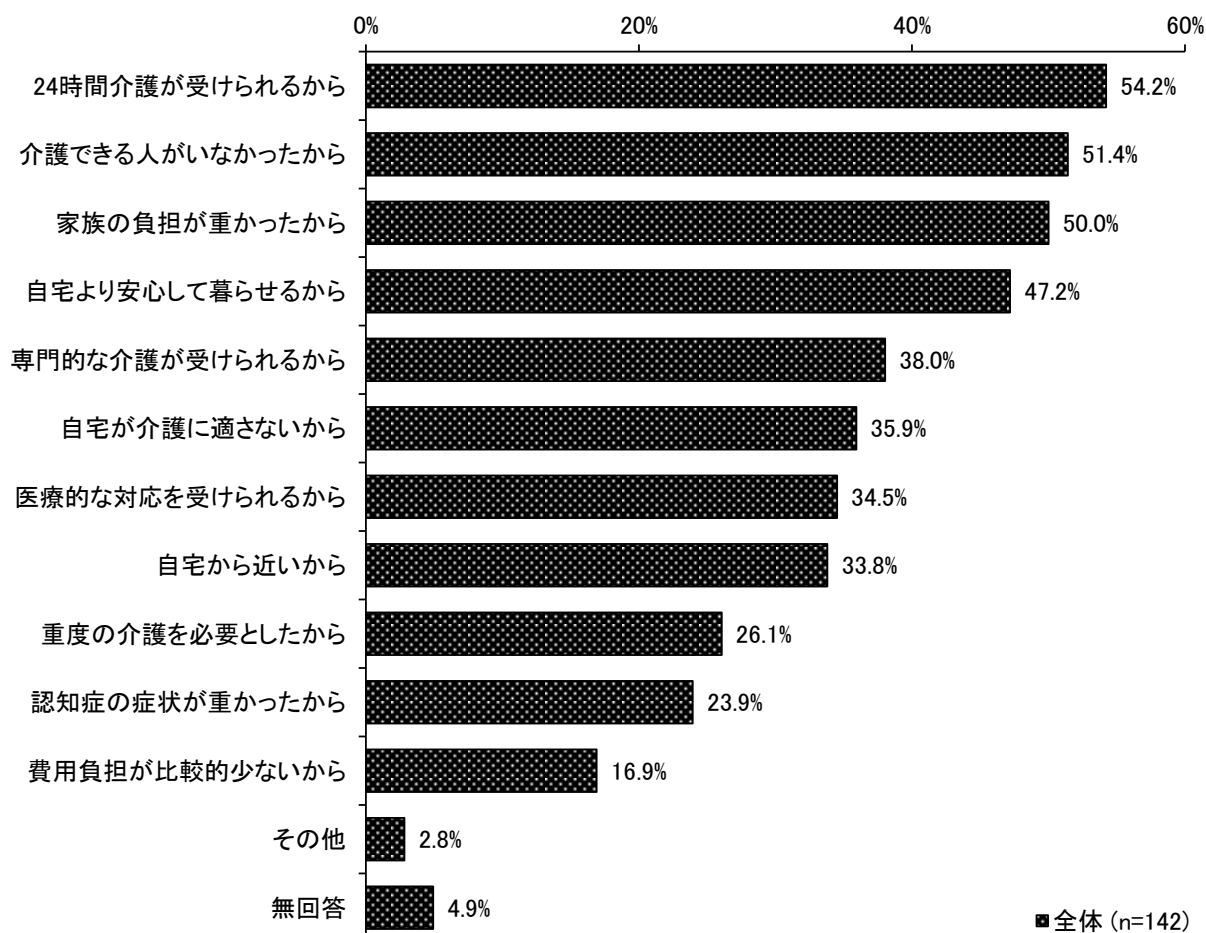
施設の種類の種類については、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」の割合が40.8%と最も高く、次いで「介護老人保健施設」（31.7%）の順となっています。



（２）現在の施設を選んだ理由

問２（２） 現在の施設を選んだ理由は何ですか。（あてはまるものすべてに☑）

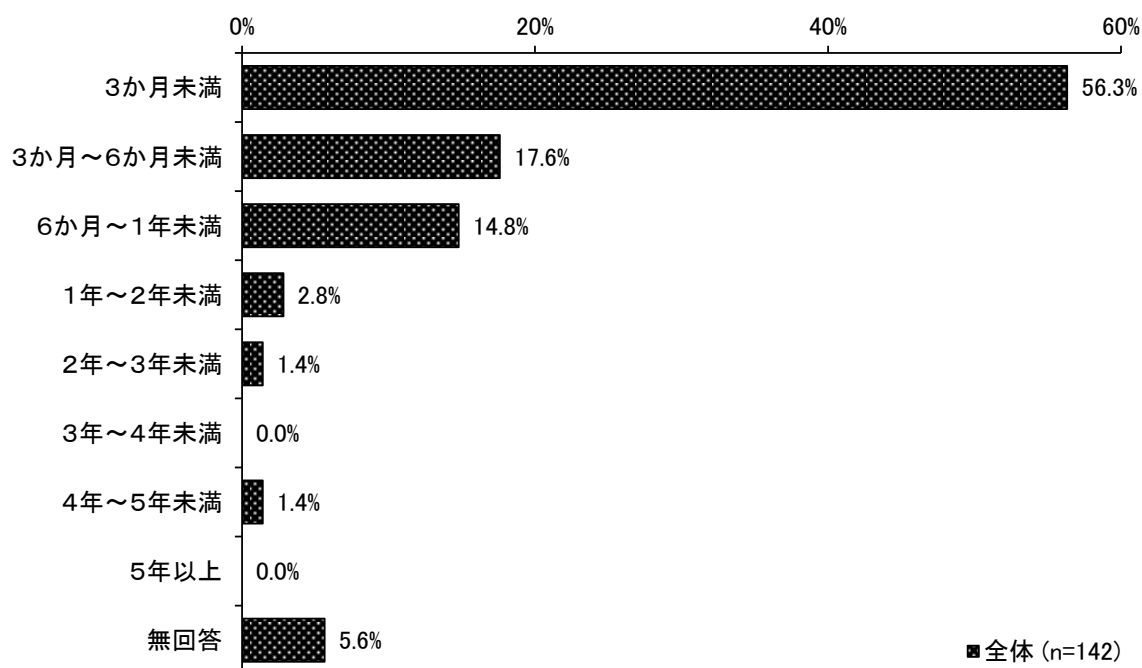
現在の施設を選んだ理由については、「24時間介護が受けられるから」の割合が54.2%と最も高く、次いで「介護できる人がいなかったから」（51.4%）、「家族の負担が重かったから」（50.0%）の順となっています。



(3) 入所が決まるまでの期間

問2(3) 現在の施設について、入所を申し込んでから実際に入所が決まるまで、どのくらいの期間がかかりましたか。(☑は1つ)

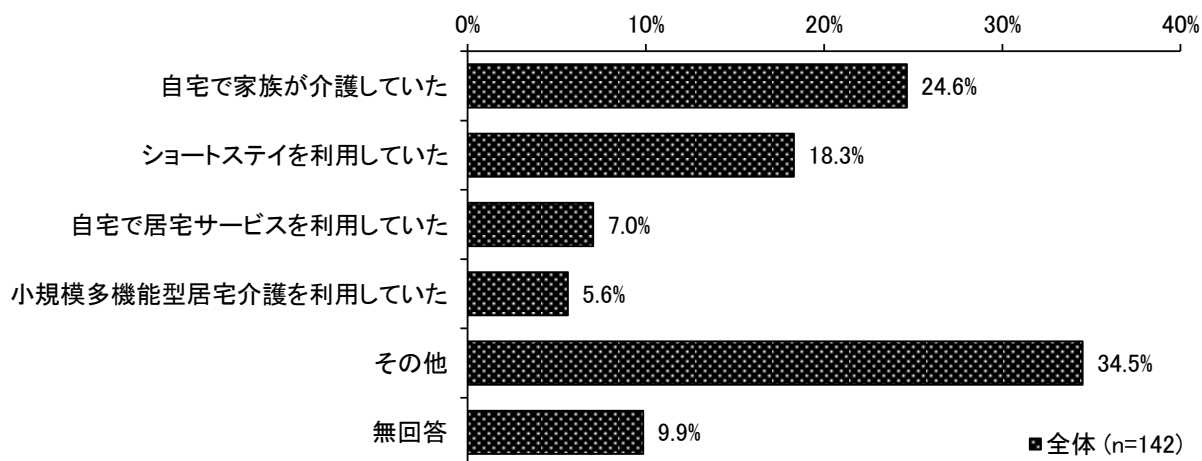
入所が決まるまでの期間については、「3か月未満」の割合が56.3%と最も高く、次いで「3か月～6か月未満」(17.6%)、「6か月～1年未満」(14.8%)、「1年～2年未満」(2.8%)の順となっています。



(4) 入所を申し込んでからの介護状況

問2(4) 入所を申し込んでから、入所するまでの介護は主にどうしていましたか。(☑は1つ)

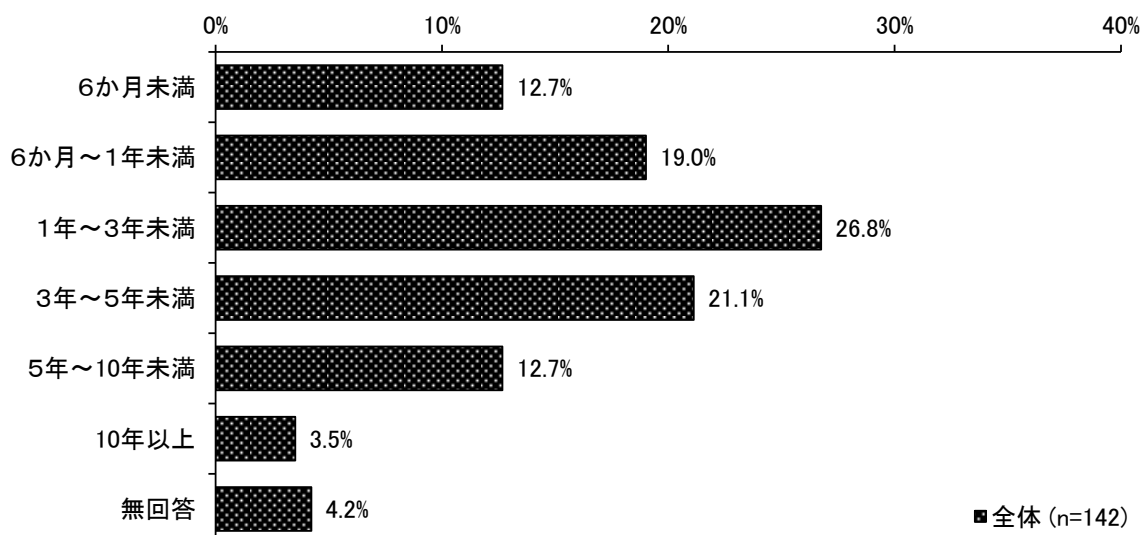
入所を申し込んでからの介護状況については、「その他」の割合が34.5%と最も高く、次いで「自宅で家族が介護していた」(24.6%)、「ショートステイを利用していた」(18.3%)の順となっています。



(5) 入所期間

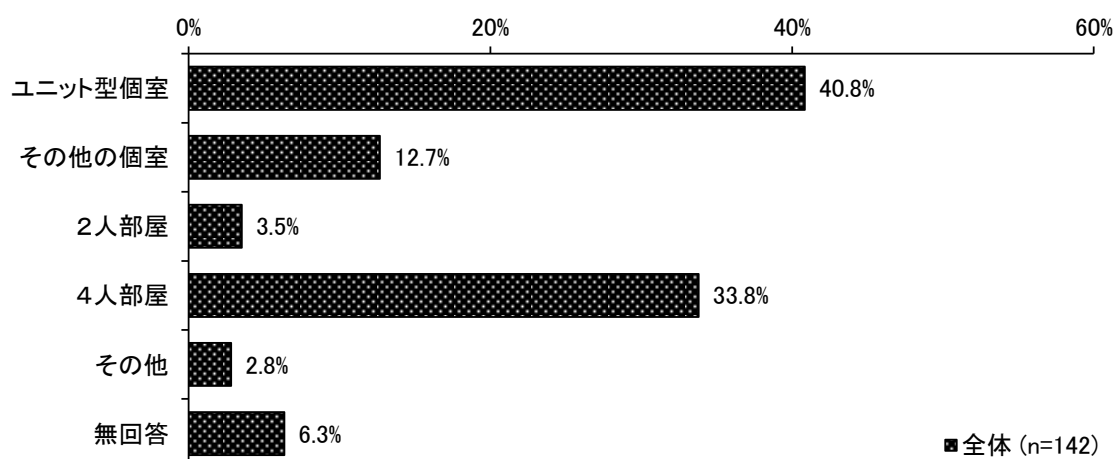
問2 (5) 現在の施設に入所して、どのくらい経ちますか。(☑は1つ)

入所期間については、「1年～3年未満」の割合が26.8%と最も高く、次いで「3年～5年未満」(21.1%)、「6か月～1年未満」(19.0%)の順となっています。

**(6) 居室の種類**

問2 (6) あなたが暮らしている居室の種類はどれですか。(☑は1つ)

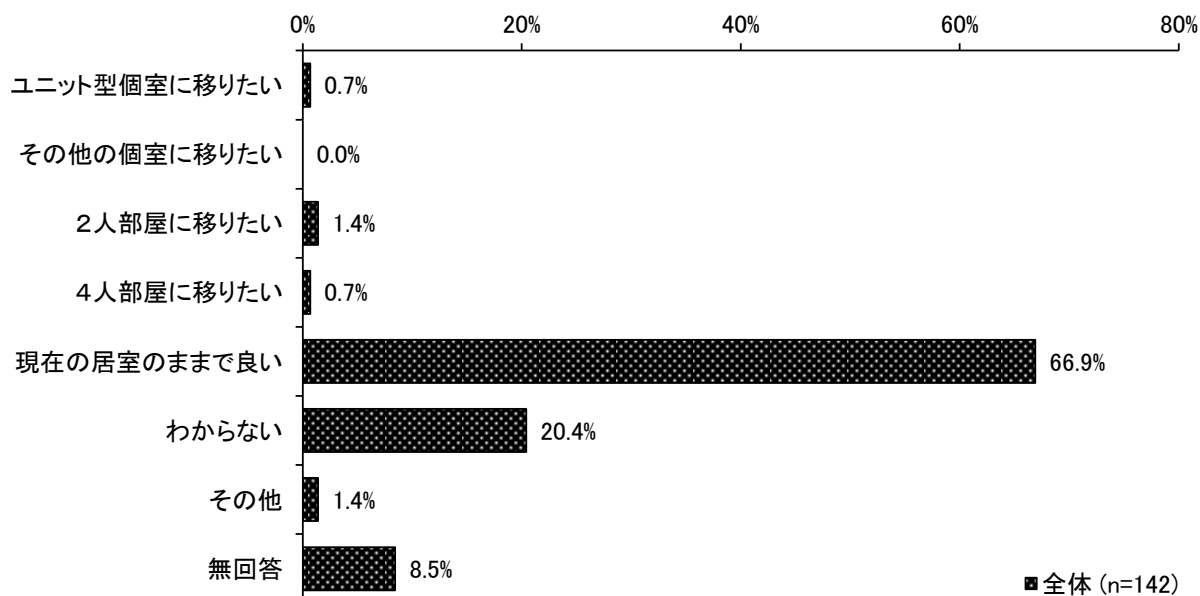
居室の種類については、「ユニット型個室」の割合が40.8%と最も高く、次いで「4人部屋」(33.8%)、「その他の個室」(12.7%)の順となっています。



(7) 別の居室の希望状況

問2(7) あなたは今後、別の種類の居室に移りたいと思いますか。(☑は1つ)

別の居室の希望状況については、「現在の居室のままで良い」の割合が66.9%と大半を占めています。

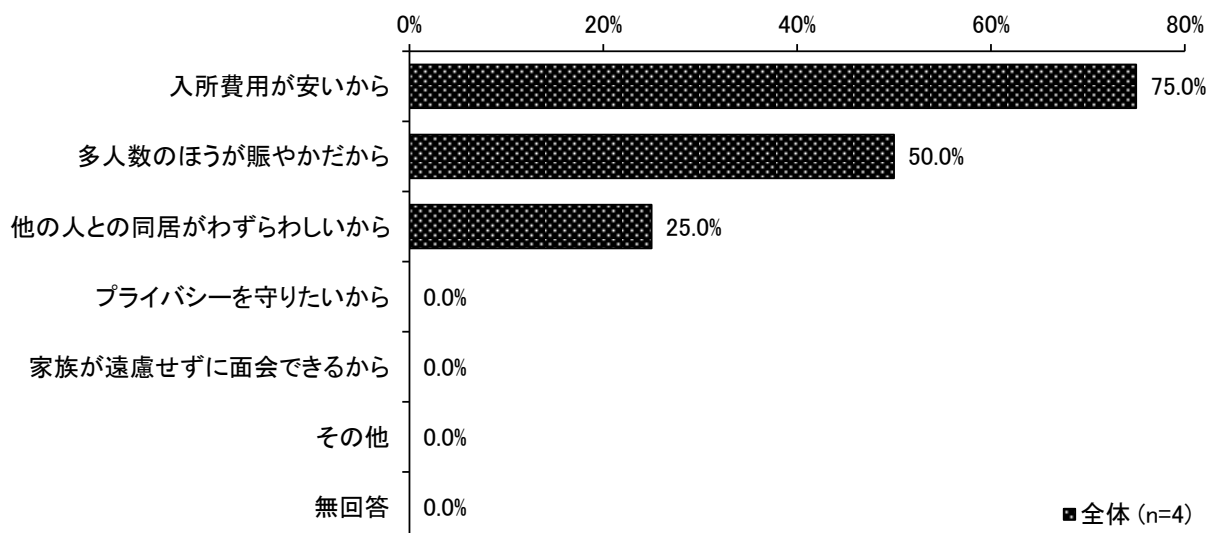


(8) 別の居室に移りたい理由

【問2(7)で「ユニット型個室に移りたい」、「その他の個室に移りたい」、「2人部屋に移りたい」、「4人部屋に移りたい」と回答した方にお聞きします。】

問2(8) 移りたい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに☑)

別の居室に移りたい理由について回答したのは4人で、「入所費用が安いから」が3件、「多人数のほうが賑やかだから」が2件となっています。

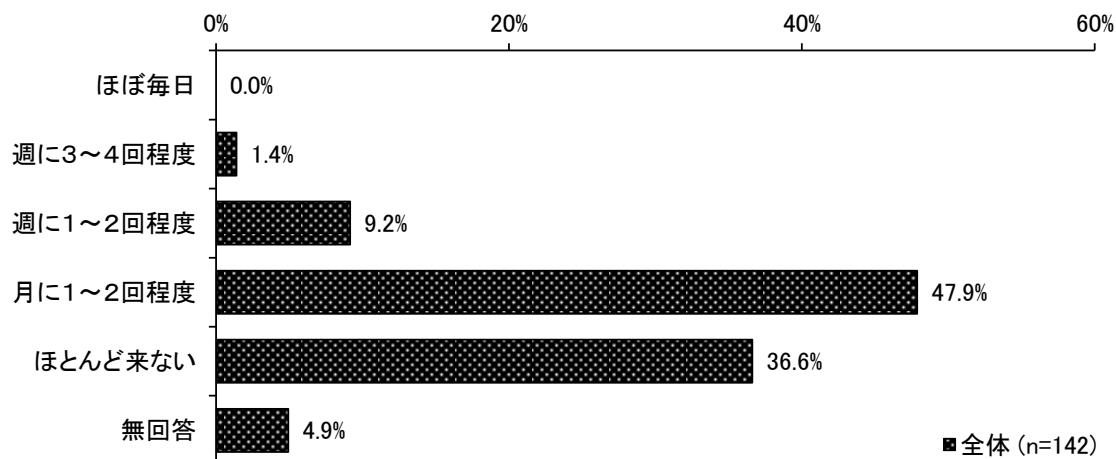


3 施設での生活について

(1) 面会の頻度

問3 (1) あなたのご家族や知人などは、どのくらいの頻度で面会に来ますか。
(☑は1つ)

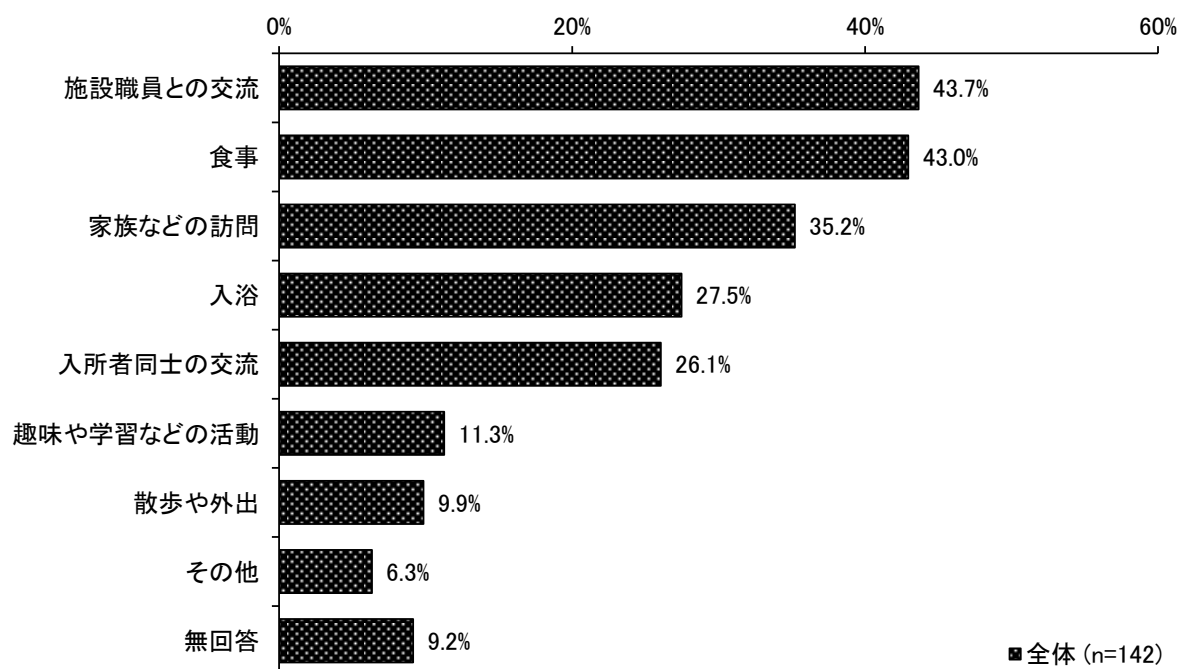
面会の頻度については、「月に1～2回程度」の割合が47.9%と最も高く、次いで「ほとんど来ない」(36.6%)、「週に1～2回程度」(9.2%)の順となっています。



(2) 現在の楽しみ

問3 (2) あなたの現在の楽しみは何ですか。(あてはまるものすべてに☑)

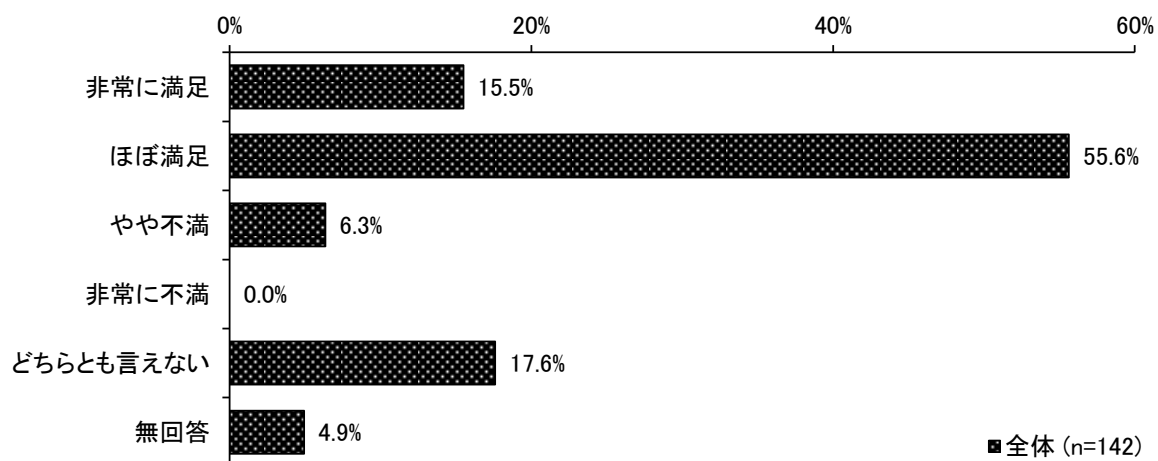
現在の楽しみについては、「施設職員との交流」の割合が43.7%と最も高く、次いで「食事」(43.0%)、「家族などの訪問」(35.2%)、「入浴」(27.5%)の順となっています。



(3) 施設生活の満足度

問3(3) あなたは、現在の施設でのサービスに満足していますか。(☑は1つ)

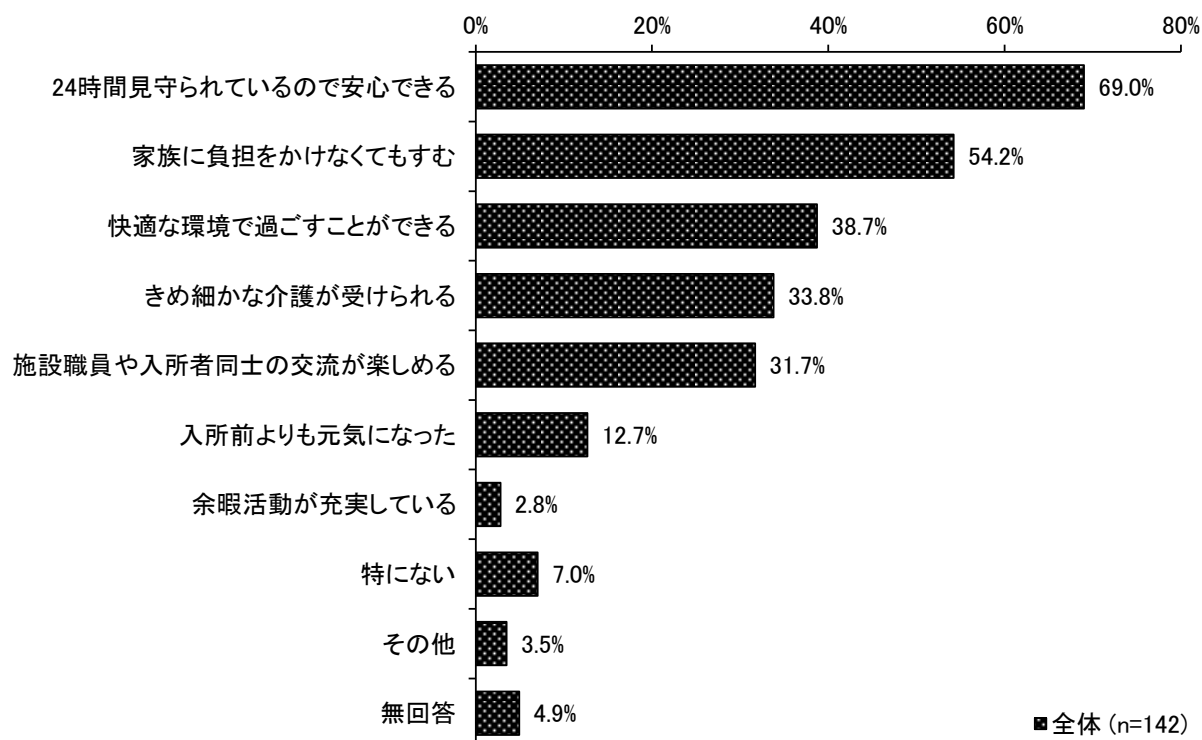
施設生活の満足度については、「ほぼ満足」の割合が 55.6%と最も高く、「非常に満足」(15.5%)を合計すると71.1%が『満足』と回答しています。一方、「やや不満」(6.3%)、「非常に不満」(0.0%)の合計は6.3%となっています。



（４）施設に入所して良かったと思うこと

問３（４） 施設に入所して、良かったと思うことは何ですか。
（あてはまるものすべてに☑）

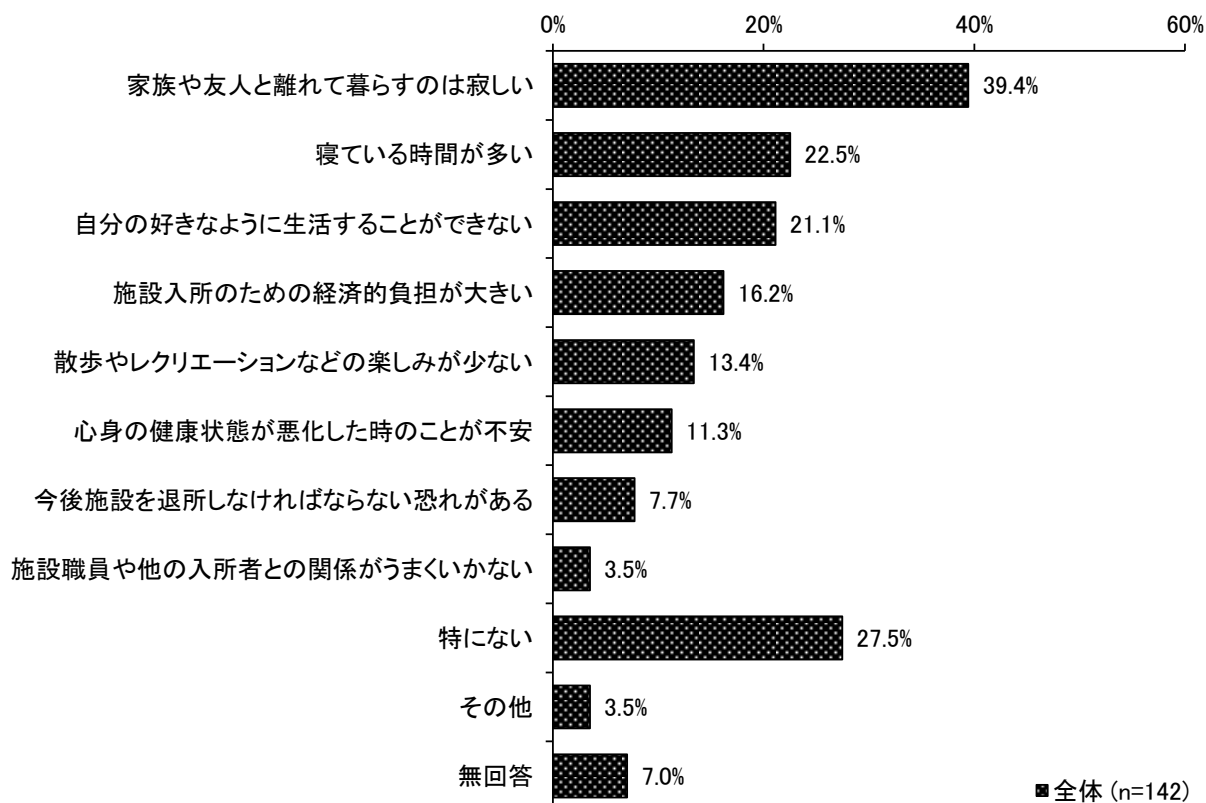
施設に入所して良かったと思うことについては、「24 時間見守られているので安心できる」の割合が 69.0%と最も高く、次いで「家族に負担をかけなくてもすむ」(54.2%)、「快適な環境で過ごすことができる」(38.7%)、「きめ細かな介護が受けられる」(33.8%)の順となっています。



(5) 施設に入所して不安や不満を感じていること

問3 (5) 施設に入所して、不安や不満を感じていることはありますか。
(あてはまるものすべてに☑)

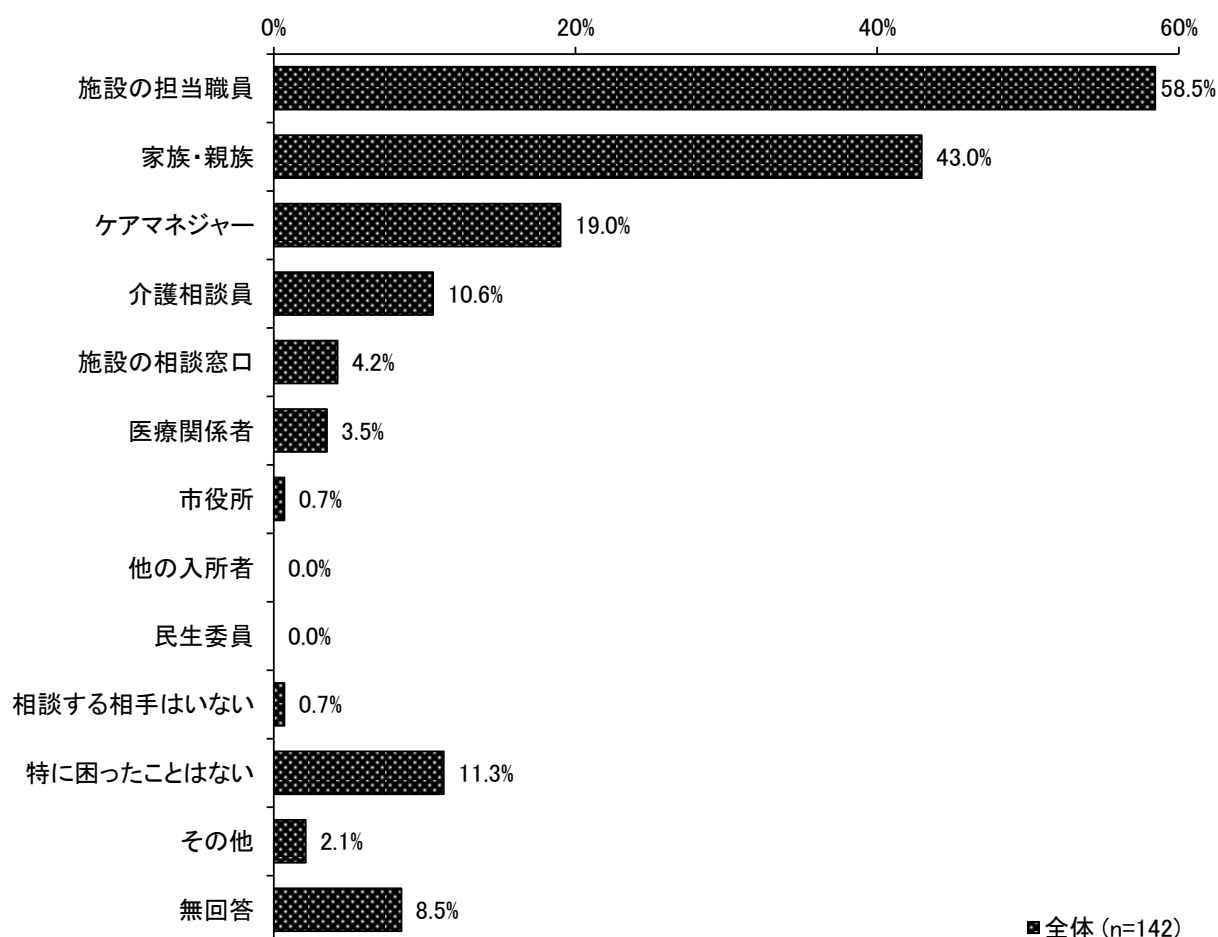
施設に入所して不安や不満を感じていることについては、「家族や友人と離れて暮らすのは寂しい」の割合が39.4%と最も高く、次いで「特にない」(27.5%)、「寝ている時間が多い」(22.5%)、「自分の好きなように生活することができない」(21.1%)、「施設入所のための経済的負担が大きい」(16.2%)の順となっています。



(6) 困ったとき相談する相手

問3(6) あなたは、施設生活で困ったことがあったとき、誰に相談しますか。
(あてはまるものすべてに☑)

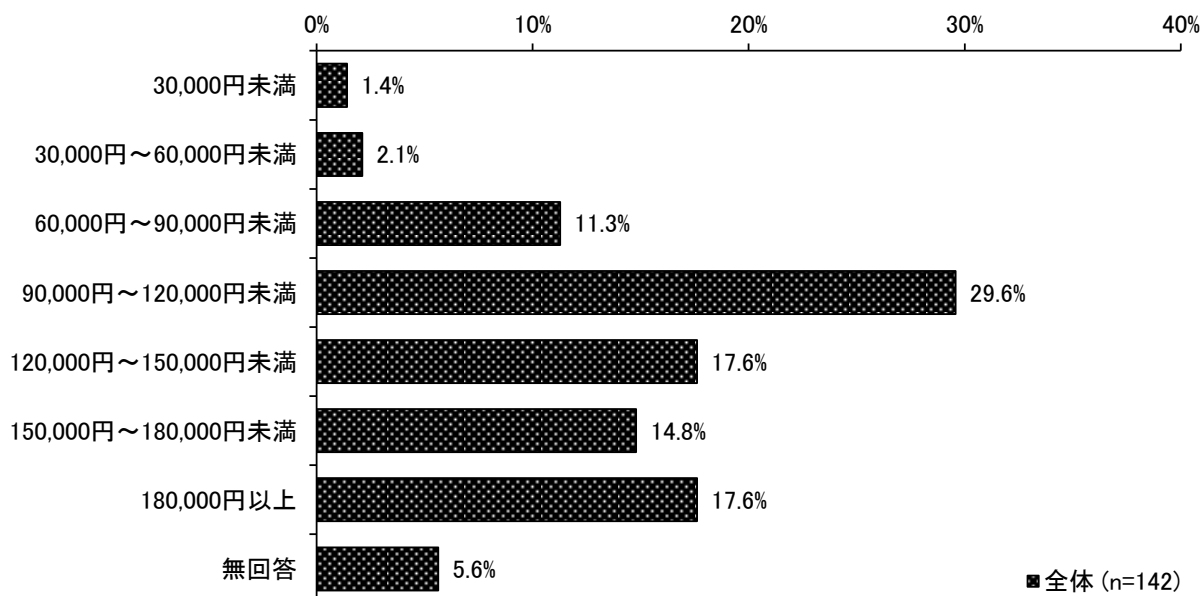
困ったとき相談する相手については、「施設の担当職員」の割合が58.5%と最も高く、次いで「家族・親族」(43.0%)、「ケアマネジャー」(19.0%)、「特に困ったことはない」(11.3%)の順となっています。



(7) 施設に支払う費用

問3 (7) 居住費や食費等を含めて、あなたが1か月に施設に支払う費用はどれくらいですか。(☑は1つ)

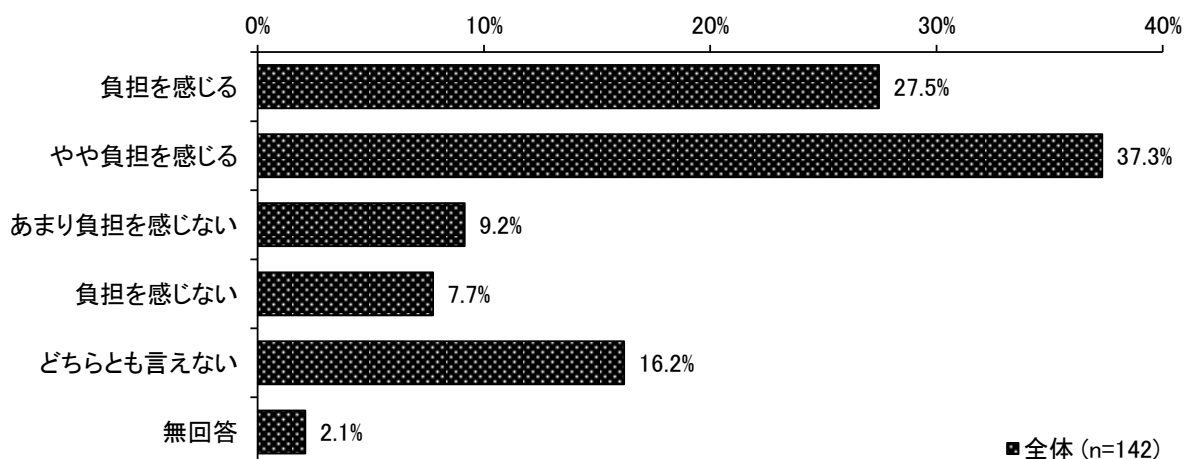
施設に支払う費用については、「90,000円～120,000円未満」の割合が29.6%と最も高く、次いで「120,000円～150,000円未満」「180,000円以上」(各17.6%)、「150,000円～180,000円未満」(14.8%)、「60,000円～90,000円未満」(11.3%)の順となっています。



(8) 施設費用の負担感

問3 (8) あなたは、施設に支払う費用について、どのように感じていますか。(☑は1つ)

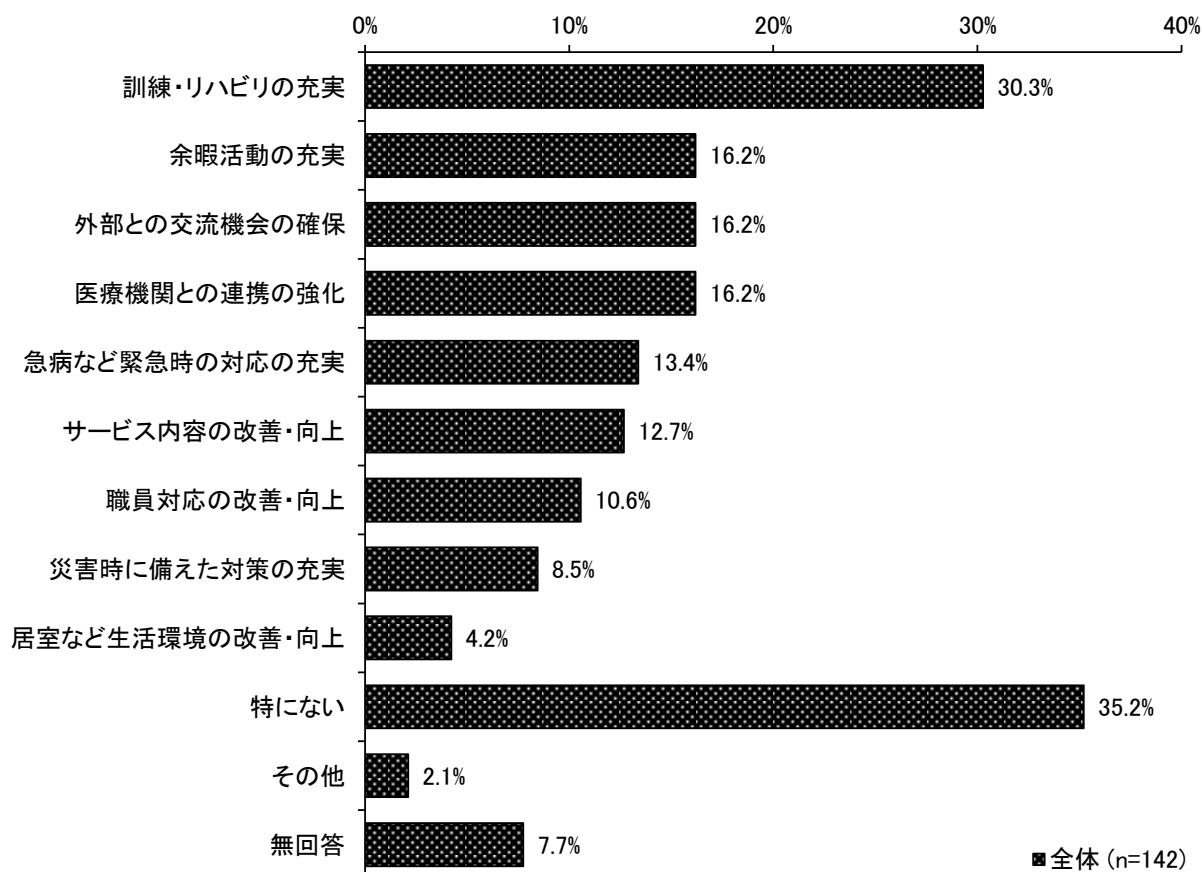
施設費用の負担感については、「やや負担を感じる」の割合が37.3%と最も高く、「負担を感じる」(27.5%)を合計すると64.8%が『負担』と回答しています。一方、「あまり負担を感じない」(9.2%)、「負担を感じない」(7.7%)の合計は16.9%となっています。



（9）施設への希望

問3（9） あなたは今後、施設に対してどのようなことを希望しますか。
（あてはまるものすべてに☑）

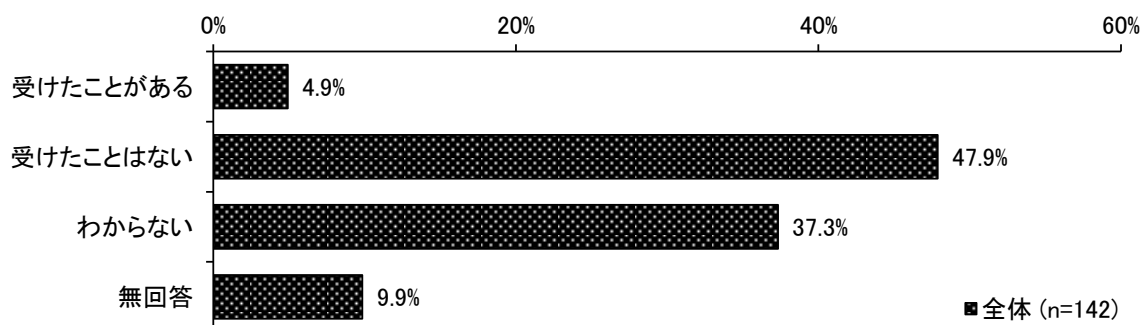
施設への希望については、「訓練・リハビリの充実」の割合が30.3%と最も高く、次いで「余暇活動の充実」「外部との交流機会の確保」「医療機関との連携の強化」（各16.2%）、「急病など緊急時の対応の充実」（13.4%）の順となっています。
また、「特にない」も35.2%と高くなっています。



(10) 自尊心を傷つけられる行為の有無

問3 (10) あなたは、家族などから自尊心を傷つけられるような行動や発言を受けたことがありますか。(☑は1つ)

自尊心を傷つけられる行為の有無については、「受けたことはない」が47.9%、「受けたことがある」が4.9%となっています。

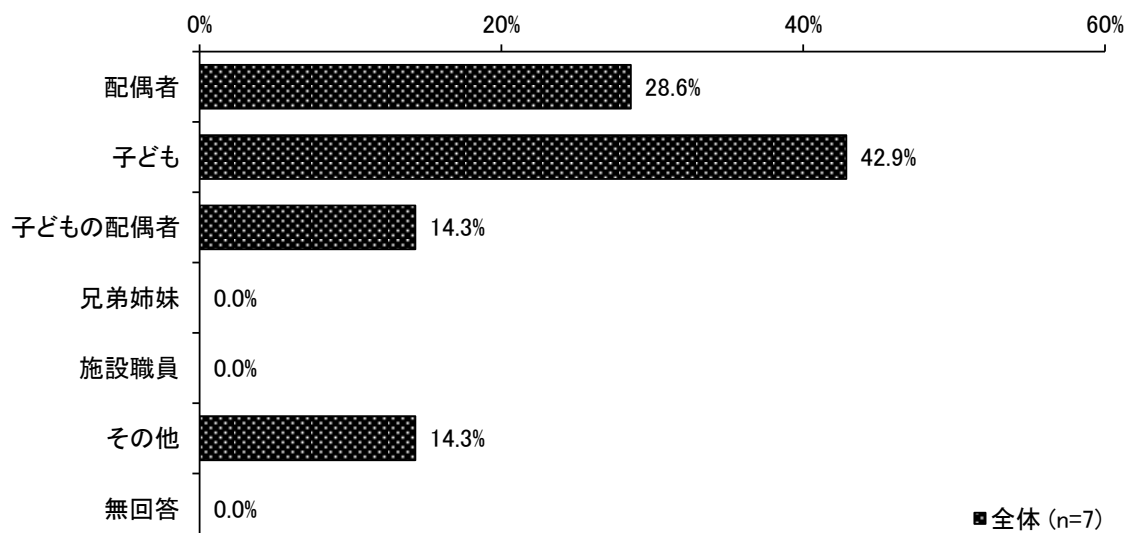


(11) 行為を受けた相手

【問3 (10) で「受けたことがある」と回答した方にお聞きします。】

問3 (11) そうした行為を誰から受けましたか。(☑は1つ)

行為を受けた相手について回答したのは7人で、「子ども」が3件、「配偶者」が2件、「子どもの配偶者」「その他」が各1件となっています。

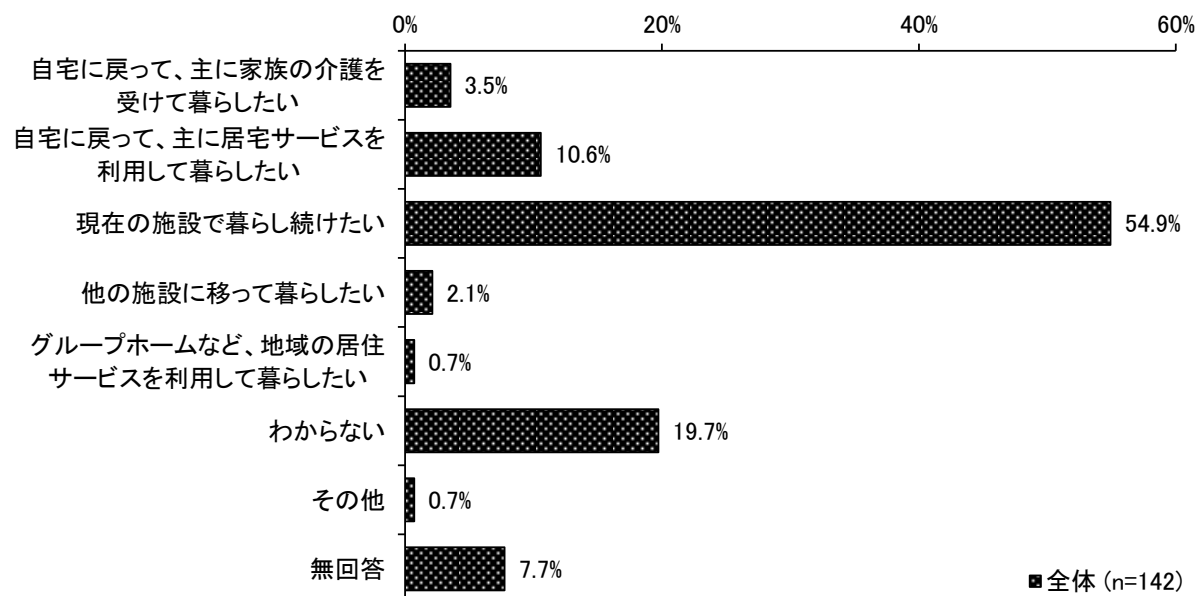


4 今後の暮らし方について

(1) 今後の暮らし方の希望

問4(1) あなたは今後、どのように暮らしたいと思いますか。(☑は1つ)

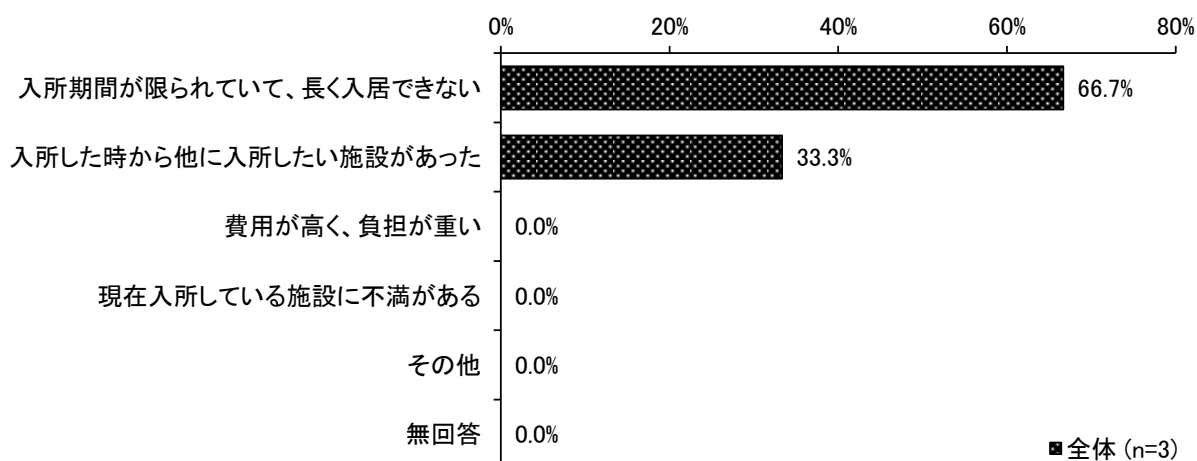
今後の暮らし方の希望については、「現在の施設で暮らし続けたい」の割合が54.9%と最も高く、次いで「わからない」(19.7%)、「自宅に戻って、主に居宅サービスを利用して暮らしたい」(10.6%)の順となっています。



(2) 他の施設に移りたい理由

【問4(1)で「他の施設に移って暮らしたい」と回答した方にお聞きします。】
問4(2) 移りたい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに☑)

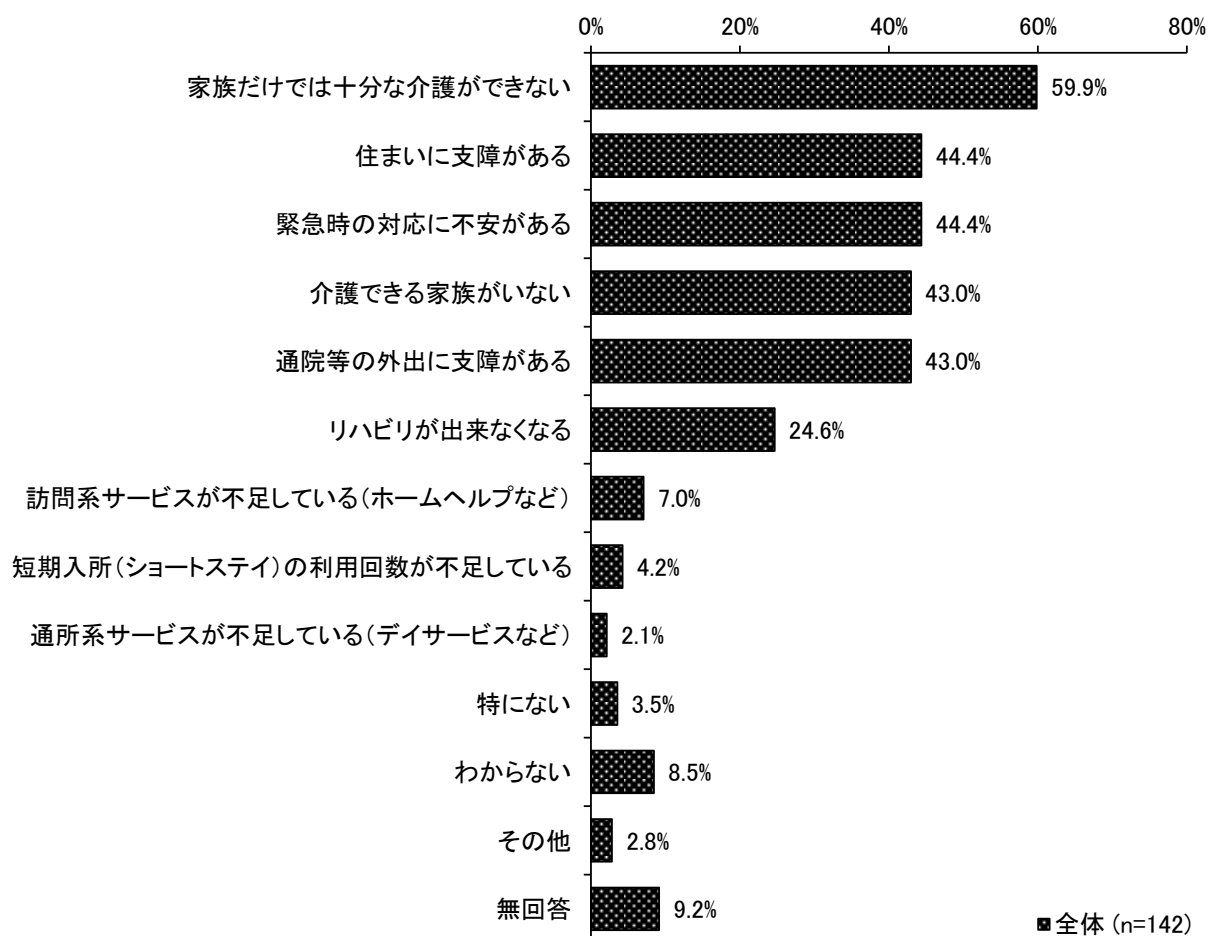
他の施設に移りたい理由について回答したのは3人で、「入所期間が限られていて、長く入居できない」が2件、「入所した時から他に入所したい施設があった」が1件となっています。



(3) 地域で暮らすための課題

問4(3) あなたが現在の施設を退所して、地域で暮らすことを想定した場合、どのようなことが課題になると思いますか。(あてはまるものすべてに☑)

地域で暮らすための課題については、「家族だけでは十分な介護ができない」の割合が59.9%と最も高く、次いで「住まいに支障がある」「緊急時の対応に不安がある」(各44.4%)、「介護できる家族がいない」「通院等の外出に支障がある」(各43.0%)の順となっています。

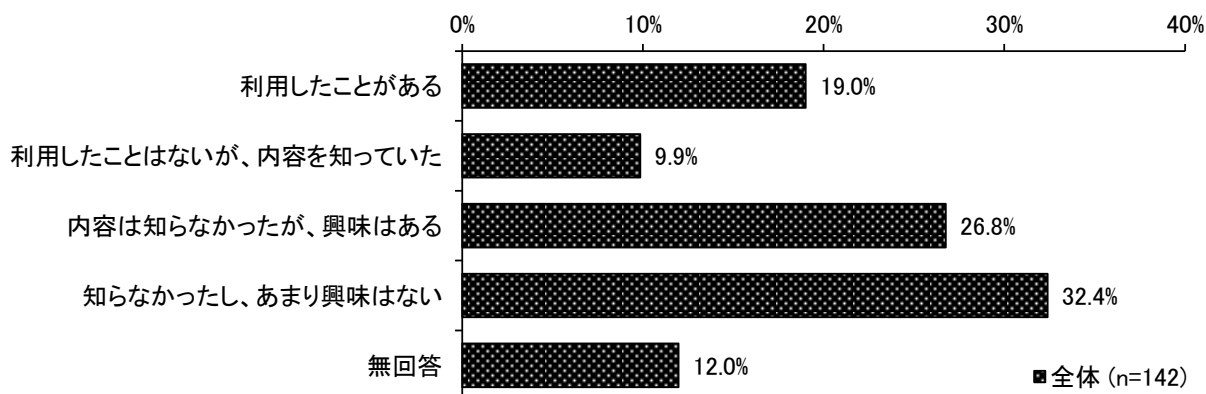


5 地域密着型サービスについて

（1）地域密着型サービスの認知状況

問5（1） あなたは、地域密着型サービスをご存知でしたか。（☑は1つ）

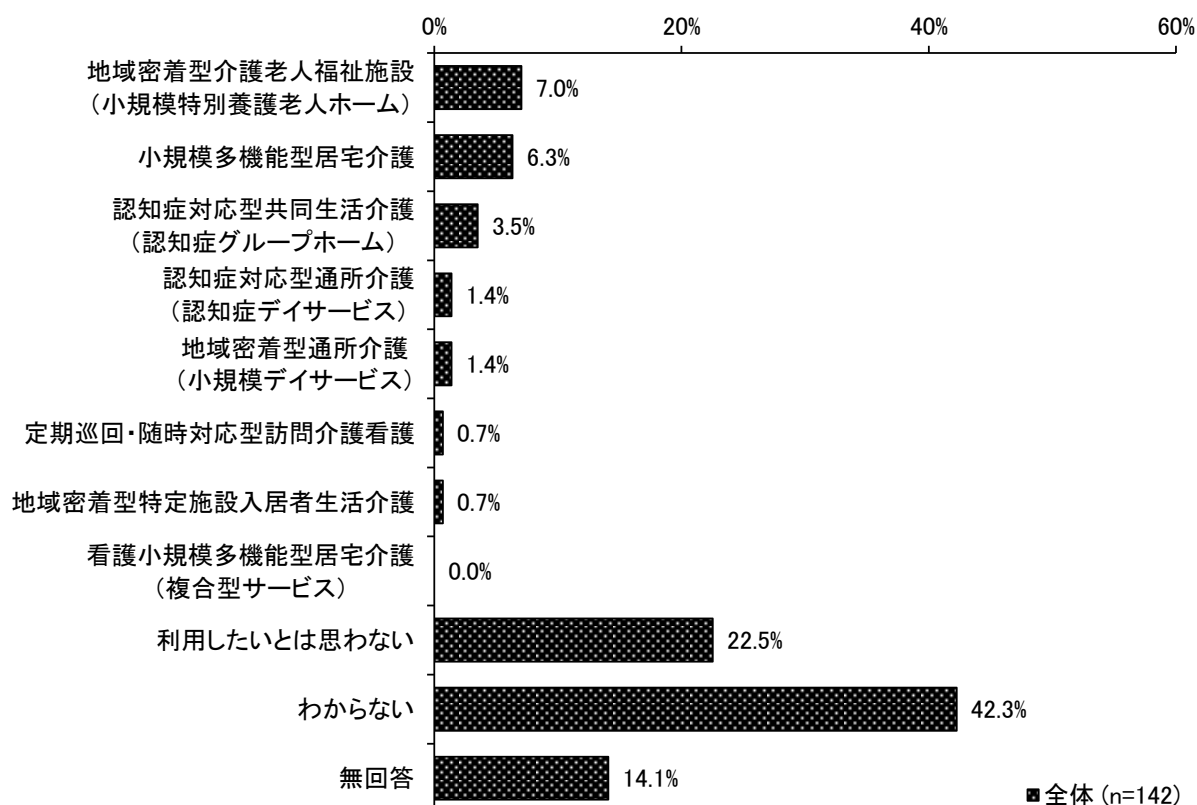
地域密着型サービスの認知状況については、「知らなかったし、あまり興味はない」の割合が32.4%と最も高く、次いで「内容は知らなかったが、興味はある」（26.8%）、「利用したことがある」（19.0%）の順となっています。



(2) 地域密着型サービスの利用意向

問5 (2) あなたは今後、地域密着型サービスを利用したいと思いますか。利用したい方は、該当するサービスをお答えください。
(あてはまるものすべてに☑)

地域密着型サービスの利用意向については、「わからない」の割合が42.3%と最も高く、次いで「利用したいとは思わない」(22.5%)となっています。利用意向としては「地域密着型介護老人福祉施設(小規模特別養護老人ホーム)」(7.0%)、「小規模多機能型居宅介護」(6.3%)、「認知症対応型共同生活介護(認知症グループホーム)」(3.5%)の順となっています。

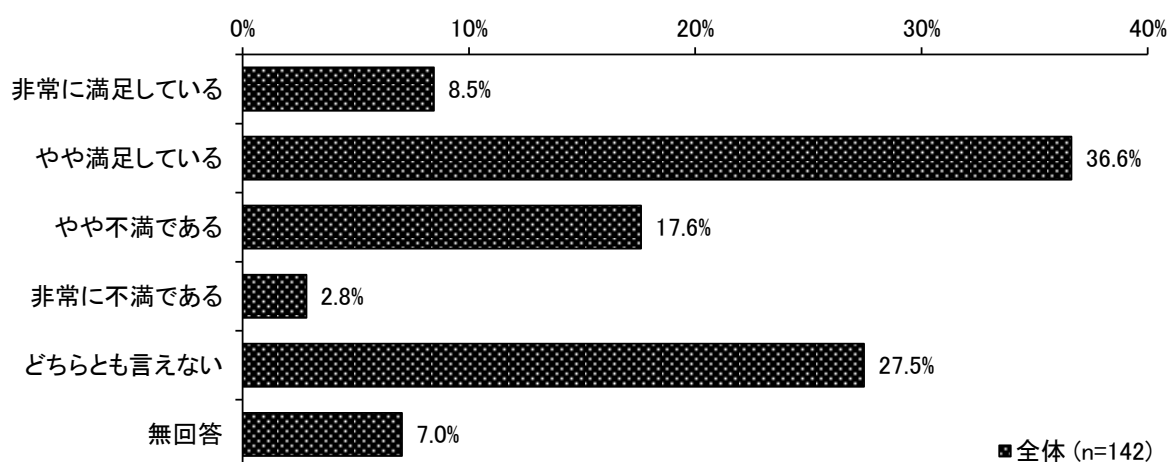


6 介護保険制度について

(1) 介護保険制度全般について

問6(1) あなたは、介護保険制度全般について、どのように感じていますか。
(☑は1つ)

介護保険制度全般については、「やや満足している」の割合が36.6%と最も高く、「非常に満足している」(8.5%)を合計すると45.1%が『満足』と回答しています。一方、「やや不満である」(17.6%)、「非常に不満である」(2.8%)の合計は20.4%となっています。

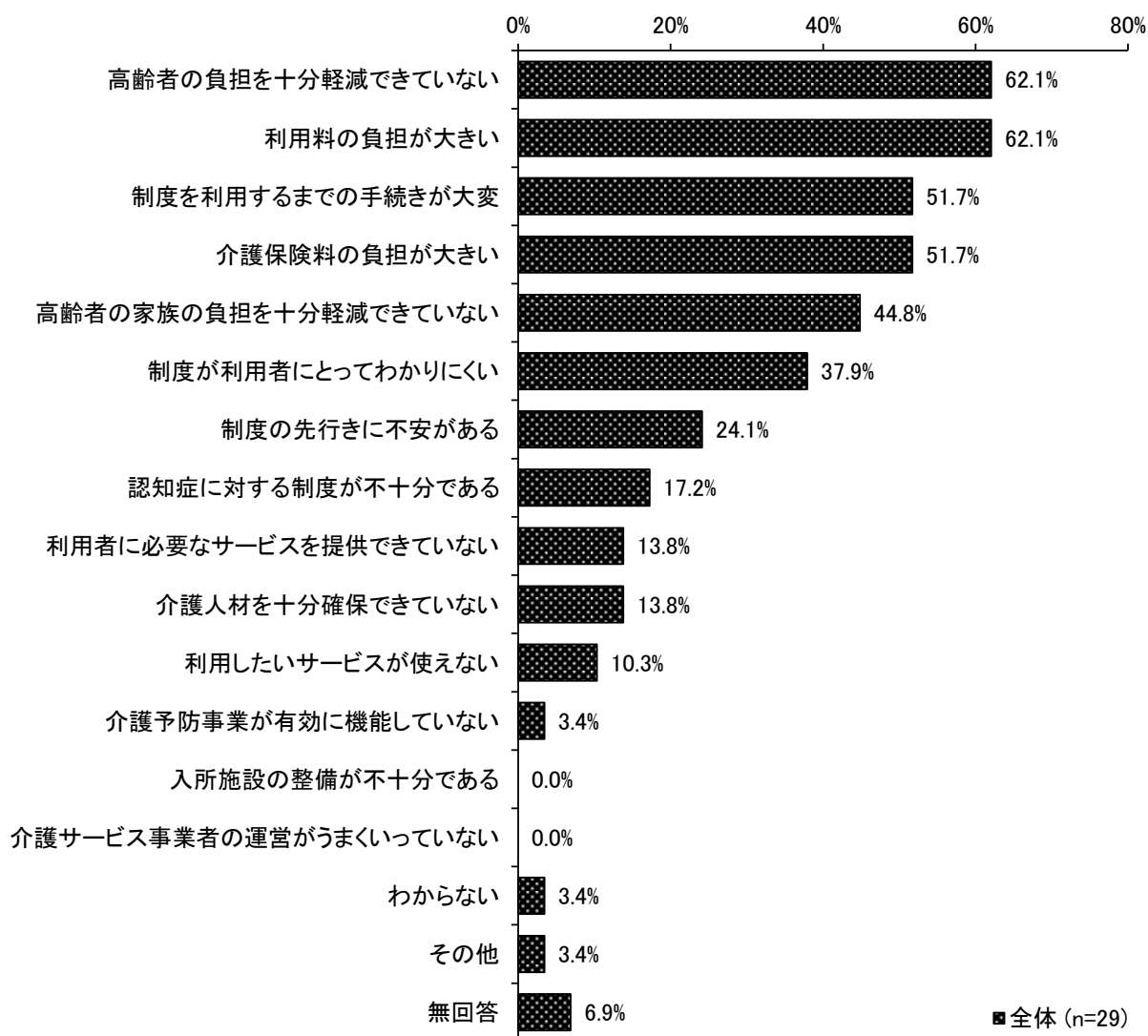


(2) 介護保険制度への不満

【問6(1)で、「やや不満である」、「非常に不満である」と回答した方にお聞きします。】

問6(2) どのようなことに不満を感じますか。(あてはまるものすべてに☑)

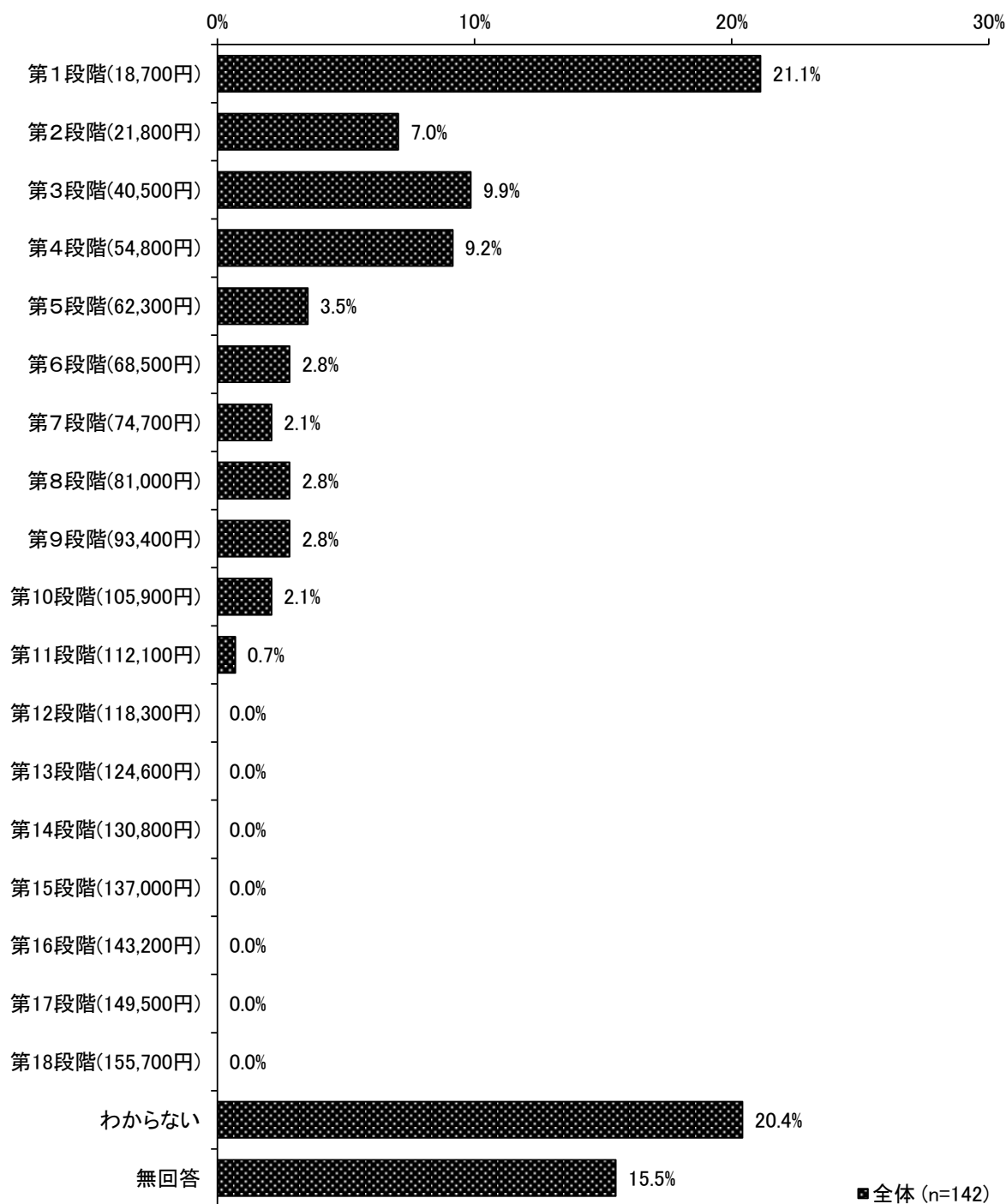
介護保険制度への不満については、「高齢者の負担を十分軽減できていない」「利用料の負担が大きい」の割合が各62.1%と最も高く、次いで「制度を利用するまでの手続きが大変」「介護保険料の負担が大きい」(各51.7%)、「高齢者の家族の負担を十分軽減できていない」(44.8%)、「制度が利用者にとってわかりにくい」(37.9%)の順となっています。



（３）介護保険料の額

問６（３） あなたの介護保険料（年額）は、次のうちどれですか。（☑は１つ）

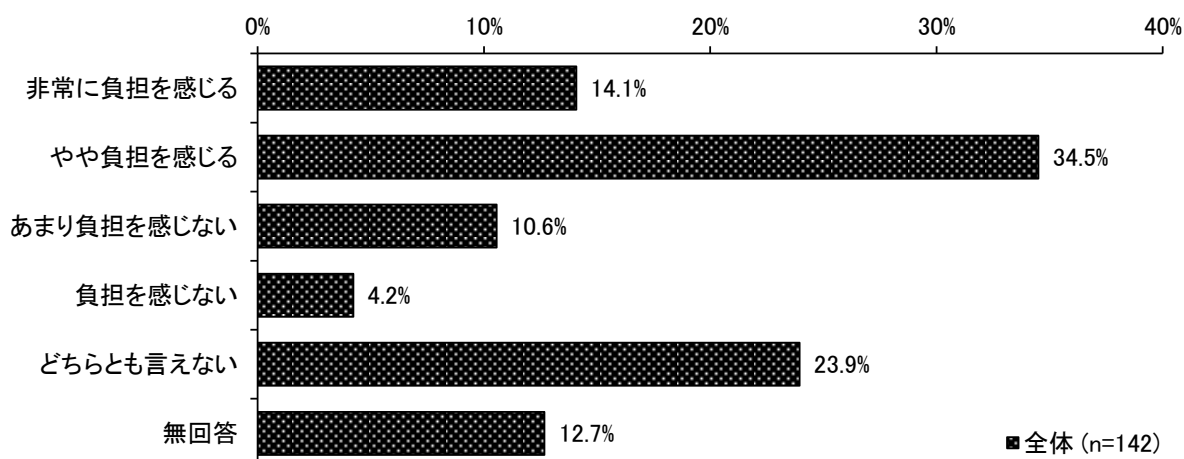
介護保険料の額については、「第１段階（18,700円）」の割合が21.1%と最も高く、次いで「わからない」（20.4%）、「第３段階（40,500円）」（9.9%）、「第４段階（54,800円）」（9.2%）、「第２段階（21,800円）」（7.0%）の順となっています。



(4) 介護保険料の負担感

問6(4) あなたは、ご自身が支払っている介護保険料について、どのように感じていますか。(☑は1つ)

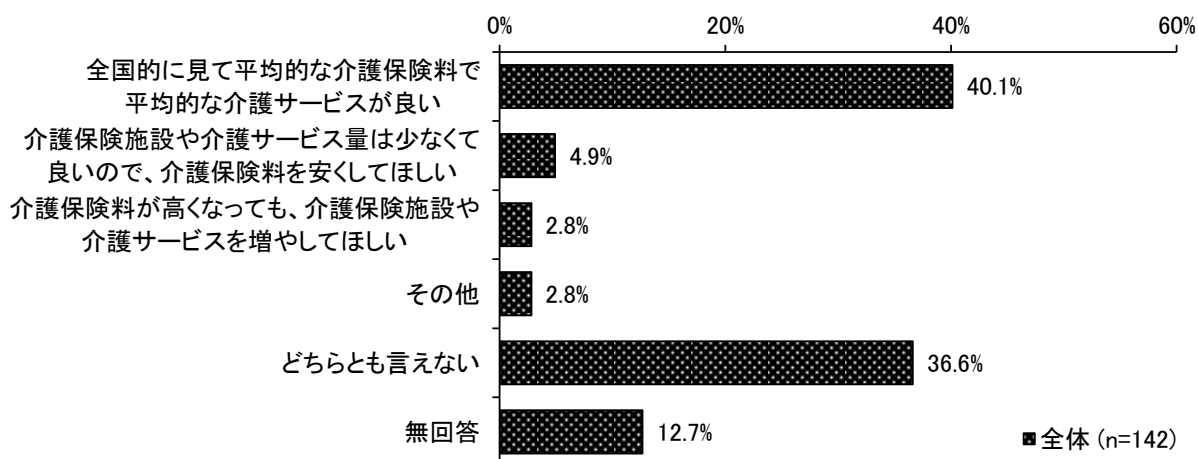
介護保険料の負担感については、「やや負担を感じる」の割合が34.5%と最も高く、「非常に負担を感じる」(14.1%)を合計すると48.6%が『負担』と回答しています。一方、「あまり負担を感じない」(10.6%)、「負担を感じない」(4.2%)の合計は14.8%となっています。



(5) 介護保険料と介護サービスの関係について

問6(5) あなたは、介護保険料と介護サービスの関係について、どのように思われますか。(☑は1つ)

介護保険料と介護サービスの関係については、「全国的に見て平均的な介護保険料で平均的な介護サービスが良い」の割合が40.1%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」(36.6%)、「介護保険施設や介護サービス量は少なくても良いので、介護保険料を安くしてほしい」(4.9%)、「介護保険料が高くなっても、介護保険施設や介護サービスを増やしてほしい」(2.8%)の順となっています。

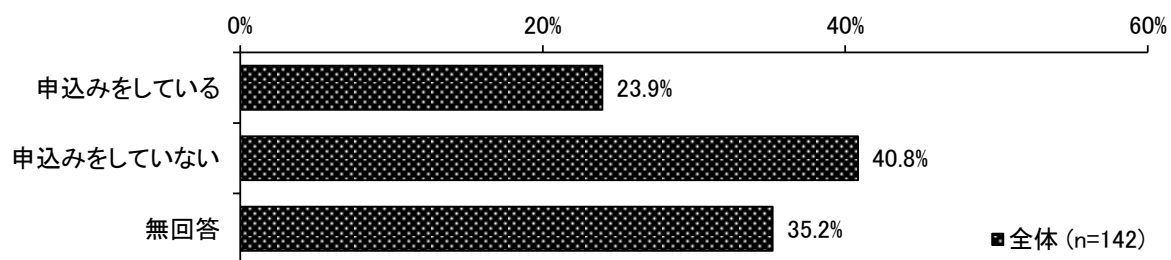


7 施設入所について

（1）特別養護老人ホームへの申込みの有無

問7（1） あなたは現在、特別養護老人ホームに入所の申込みをしていますか。
（☑は1つ）

特別養護老人ホームへの申込みの有無については、「申込みをしている」が23.9%、「申込みをしていない」が40.8%となっています。

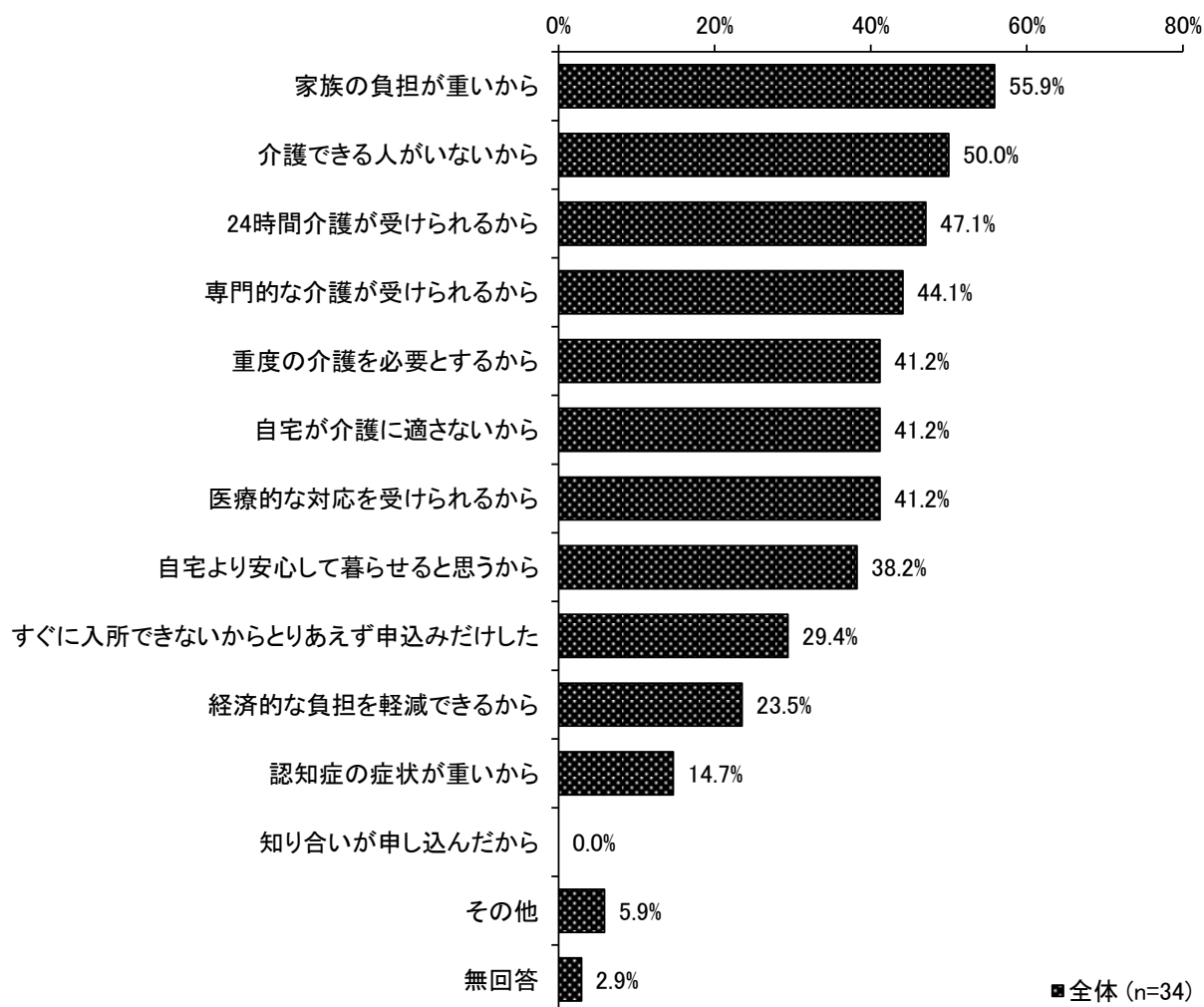


(2) 申込みをしている理由

【問7(1)で「申込みをしている」と回答した方のみお答えください】

問7(2) 特別養護老人ホームに入所を申し込んでいる理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに☑)

入所申込みをしている理由については、「家族の負担が重いから」の割合が55.9%と最も高く、次いで「介護できる人がいないから」(50.0%)、「24時間介護が受けられるから」(47.1%)の順となっています。

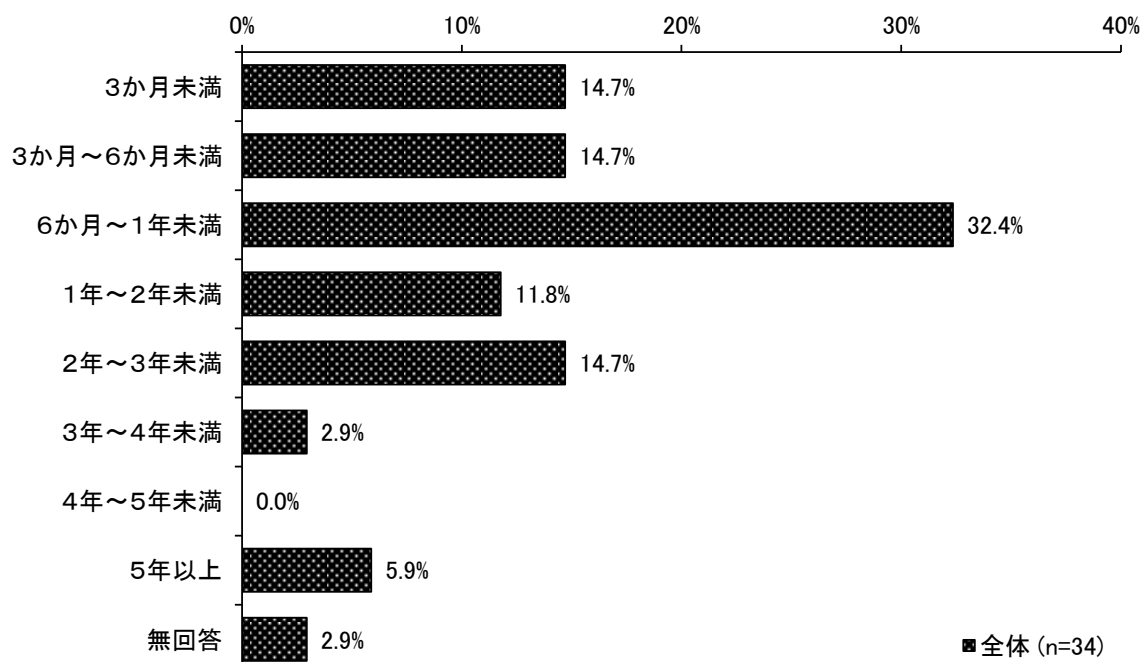


(3) 申し込んでから現在までの期間

【問7(1)で「申込みをしている」と回答した方のみお答えください】

問7(3) 特別養護老人ホームに入所を申し込んでから現在まで、どのくらいの期間が経っていますか。(☑は1つ)

入所を申し込んでから現在までの期間については、「6か月～1年未満」の割合が32.4%と最も高く、次いで「3か月未満」「3か月～6か月未満」「2年～3年未満」(各14.7%)の順となっています。

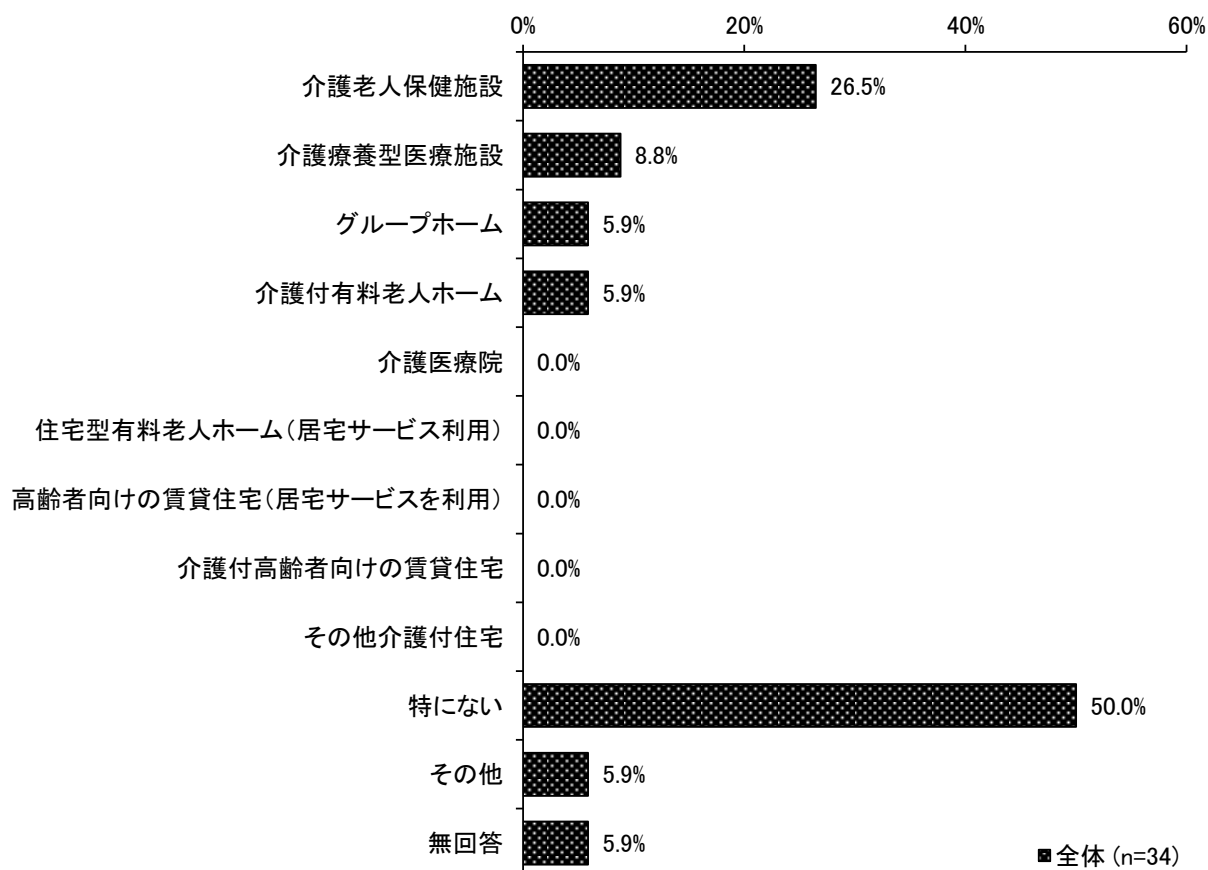


(4) 特別養護老人ホーム以外にも希望する施設の有無

【問7(1)で「申込みをしている」と回答した方のみお答えください】

問7(4) 特別養護老人ホーム以外にも、入所や入居を希望する施設はありますか。
(あてはまるものすべてに☑)

特別養護老人ホーム以外の施設にも希望する施設の有無については、「特にない」の割合が50.0%と最も高く、次いで「介護老人保健施設」(26.5%)、「介護療養型医療施設」(8.8%)の順となっています。

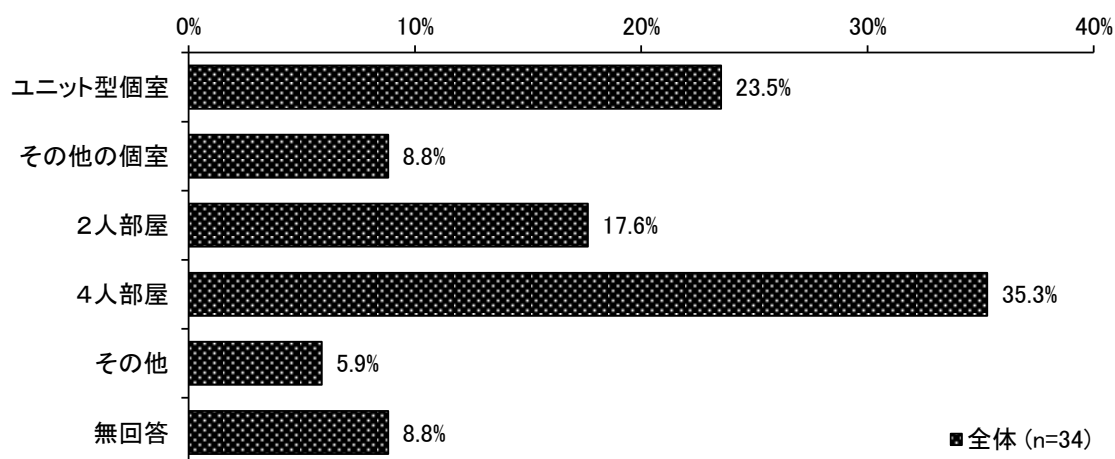


(5) 希望する居室の種類

【問7(1)で「申込みをしている」と回答した方のみお答えください】

問7(5) 入居する居室の種類を選べるとすれば、どのような居室が一番良いと思いますか。(☑は1つ)

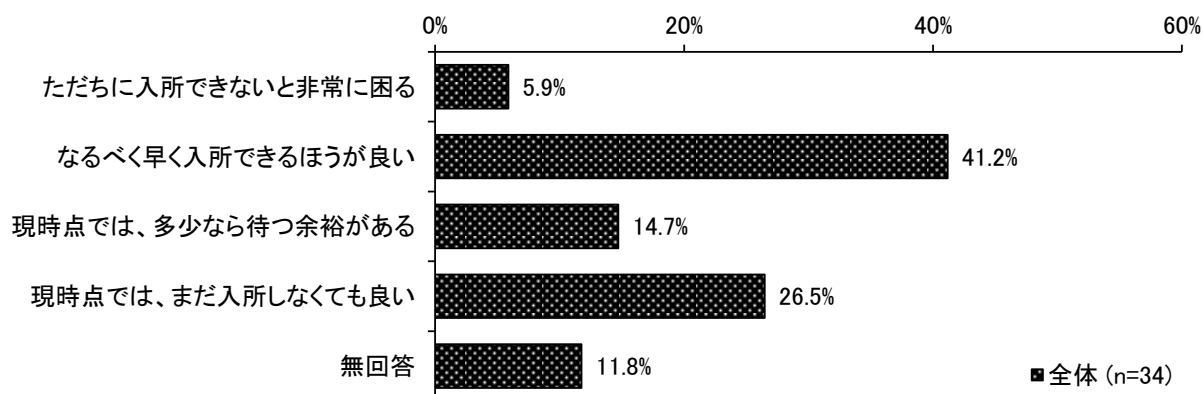
希望する居室の種類については、「4人部屋」の割合が35.3%と最も高く、次いで「ユニット型個室」(23.5%)、「2人部屋」(17.6%)の順となっています。

**(6) 現時点での入所の必要度**

【問7(1)で「申込みをしている」と回答した方のみお答えください】

問7(6) 現時点で、どの程度入所の必要を感じていますか。(☑は1つ)

現時点での入居の必要度としては、「なるべく早く入所できるほうが良い」の割合が41.2%と最も高く、次いで「現時点では、まだ入所しなくても良い」(26.5%)、「現時点では、多少なら待つ余裕がある」(14.7%)と続く一方で、「ただちに入所できないと非常に困る」(5.9%)となっています。

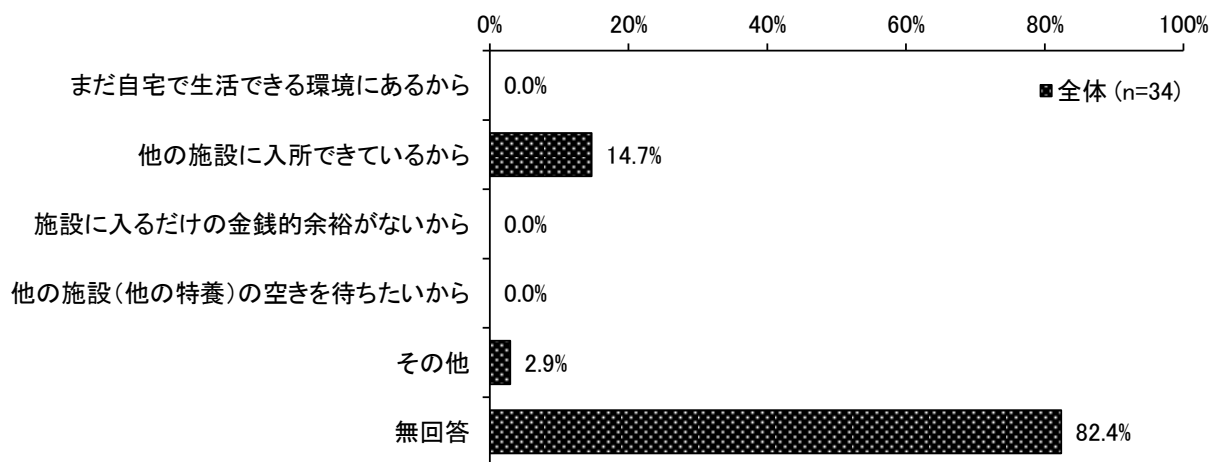


(7) 入所案内後に入所を断った理由

【入所を申し込んだ後、施設からの入所案内に対し入所を断ったことがある方にお聞きします。】

問7(7) 入所を断った理由は何ですか。(☑は1つ)

入所申込みの後、施設からの入所案内に対して断った理由については、「他の施設に入所できているから」の割合が14.7%と最も高く、次いで「その他」(2.9%)の順となっています。



Ⅲ 調査結果・まとめ

【1】項目別まとめ

1 基本属性

回答者は「子ども」が50.0%、「配偶者」が14.8%。性別は「男性」が28.9%、「女性」が69.0%。年齢は「90歳以上」が43.7%と最も高く、次いで「80～84歳」「85～89歳」「75～79歳」の順となっている。主な収入源については、「年金」が87.3%。現在の要介護度については、「要介護3」が33.1%と最も高く、次いで「要介護4」、「要介護5」の順となっている。物忘れの有無については、「自分で電話番号を調べて電話をかけることをしていない」が70.4%と最も高く、「今日が何月何日かわからないときがある」、「人に自分の考えをうまく伝えられないときがある」が5割を超えている。

2 施設への入所について

施設の種類については、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が40.8%と最も高く、次いで「介護老人保健施設」が31.7%。現在の施設を選んだ理由については、「24時間介護が受けられるから」が54.2%と最も高く、次いで「介護できる人がいなかったから」、「家族の負担が重かったから」の順となっている。

入所を申し込んでからの介護状況については、「その他」が34.5%と最も高く、次いで「自宅で家族が介護していた」、「ショートステイを利用していた」の順となっている。

居室の種類については、「ユニット型個室」が40.8%、「4人部屋」が33.8%。別の居室の希望状況については、「現在の居室のままで良い」が66.9%となっている。

3 施設での生活について

面会の頻度については、「月に1～2回程度」が47.9%と最も高く、次いで「週に1～2回程度」、「週に3～4回程度」の順となっている。現在の楽しみについては、「施設職員との交流」が43.7%と最も高く、次いで「食事」、「家族などの訪問」、「入浴」の順となっている。施設生活の満足度については、合計で71.1%が『満足』と回答していて、『不満』の合計は6.3%となっている。施設に入所して良かったと思うことについては、「24時間見守られているので安心できる」が69.0%と最も高く、次いで「家族に負担をかけなくてもすむ」、「快適な環境で過ごすことができる」、「きめ細かな介護が受けられる」の順となっている。

施設に入所して不安や不満を感じていることについては、「家族や友人と離れて暮らすのは寂しい」が39.4%と最も高く、次いで「寝ている時間が多い」、「自分の好きなように生活することができない」、「施設入所のための経済的負担が大きい」、「散歩やレクリエーションなどの楽しみが少ない」、「心身の健康状態が悪化した時のことが不安」の順となっている。困ったとき相談する相手については、「施設の担当職員」が58.5%と最も高く、次いで「家族・親族」、「ケアマネジャー」、「介護相談員」、「施設の相談窓口」の順となっている。施設費用の負担感については、合計で64.8%が『負担』と回答し、『負担を感じない』の合計は16.9%となっている。施設への希望については、「特にない」が35.2%と最も高いものの、次いで「訓練・リハビリの充実」、「余暇活動の充実」「外部との交流機会

の確保」「医療機関との連携の強化」の順で高くなっている。

自尊心を傷つけられる行為の有無については、「受けたことはない」が47.9%、「受けたことがある」が4.9%。

4 今後の暮らし方について

今後の暮らし方の希望については、「現在の施設で暮らし続けたい」が54.9%と最も高く、次いで「わからない」、「自宅に戻って、主に居宅サービスを利用して暮らしたい」の順となっている。

地域で暮らすための課題については、「家族だけでは十分な介護ができない」が59.9%と最も高く、次いで「住まいに支障がある」「緊急時の対応に不安がある」、「介護できる家族がいない」「通院等の外出に支障がある」の順となっている。

5 地域密着型サービスについて

地域密着型サービスの認知状況については、「知らなかったし、あまり興味はない」が32.4%と最も高く、次いで「内容は知らなかったが、興味はある」、「利用したことがある」の順となっている。地域密着型サービスの利用意向については、「わからない」が42.3%と最も高いものの、次いで「地域密着型介護老人福祉施設（小規模特別養護老人ホーム）」、「小規模多機能型居宅介護」、「認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）」の順で高くなっている。

6 介護保険制度について

介護保険制度全般については、合計で45.1%が『満足』、『不満』は合計で20.4%。介護保険制度への不満は、「高齢者の負担を十分軽減できていない」「利用料の負担が大きい」が各62.1%と最も高く、次いで「制度を利用するまでの手続きが大変」「介護保険料の負担が大きい」、「高齢者の家族の負担を十分軽減できていない」、「制度が利用者にとってわかりにくい」の順となっている。

介護保険料の負担感については、合計で48.6%が『負担』、『負担を感じない』の合計は14.8%。介護保険料と介護サービスの関係については、「全国的に見て平均的な介護保険料で平均的な介護サービスが良い」が40.1%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が36.6%、「介護保険施設や介護サービス量は少なくても良いので、介護保険料を安くしてほしい」「介護保険料が高くなっても、介護保険施設や介護サービスを増やしてほしい」は1割未満となっている。

7 施設入所について

特別養護老人ホームへの申込みについては、「申込みをしている」が23.9%、「申込みをしていない」が40.8%。申込みの理由は、「家族の負担が重いから」が55.9%と最も高く、次いで「介護できる人がいないから」、「24時間介護が受けられるから」、「専門的な介護が受けられるから」の順となっている。

申込みからの待機期間については、「6か月～1年未満」が32.4%と最も高く、次いで「3か月未満」「3か月～6か月未満」「2年～3年未満」の順となっている。希望する居室については、「4人部屋」が35.3%と最も高く、次いで「ユニット型個室」、「2人部屋」

「その他の個室」の順となっている。特別養護老人ホーム以外の入居希望については、「特にない」が50.0%と最も高く、次いで「介護老人保健施設」、「介護療養型医療施設」の順となっている。

現時点での入居の必要度は、「なるべく早く入所できるほうが良い」が41.2%と最も高く、次いで「現時点では、まだ入所しなくても良い」、「現時点では、多少なら待つ余裕がある」の順となっている。

【2】全体まとめ

施設サービス利用者調査からは、「要介護3以上」が全体の78.9%を占めていることから、これまでの介護の経緯・実態等で利用者の現状を反映した結果となっている。

施設生活の満足度については、『満足』が71.1%、『不満』が6.3%と多くの方が現状に満足している結果となっている。一方、施設に入所して不満に感じていることは、「家族や友人と離れて暮らすのは寂しい」の割合が39.4%と最も高く、次いで「特にない」、「寝ている時間が多い」、「自分の好きなように生活することができない」の順となっている。

施設費用の負担感については、『負担』が64.8%、『負担を感じない』が16.9%と多くの方が負担を感じている結果となっている。

現在の施設を退所して地域で暮らすための課題については、「家族だけでは十分な介護ができない」が59.9%と最も高く、次いで「住まいに支障がある」「緊急時の対応に不安がある」、「介護できる家族がない」「通院等の外出に支障がある」の順となっている。

介護保険制度全般の満足度については、『満足』が45.1%、『不満』が20.4%と満足している方が多い結果となっている。

特別養護老人ホームへの申込みについては、「申込みをしている」が23.9%となっている。また、申込みの理由は、「家族の負担が重いから」が55.9%と最も高くなっている。

現時点での特別養護老人ホーム入居の必要度については、「ただちに入所できないと非常に困る」が5.9%となっているが、「なるべく早く入所できるほうが良い」が41.2%となっている。

今回の調査からは、

- ①施設での生きがいつくりや充実感を持った生活
- ②金銭的な負担や施設生活での悩みへの対応
- ③多様な施設やサービス供給体制の整備

などの課題が読み取れる。

野田市 介護保険サービス利用者等実態調査
(介護サービス事業所調査)

－ 報告書 －

令和5年 3月
千葉県 野田市

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 調査結果	3
1 基本属性	3
(1) 経営主体	3
(2) 介護サービスの種類	4
2 運営状況について	5
(1) 居宅サービス利用者の増減	5
(2) 施設サービス入所申込者数の増減	5
(3) 要介護度別の現在の利用者数	6
(4) 令和3年度の総事業収支の状況	6
(5) 赤字だった事業	7
(6) 令和3年度総事業収益の当初見込み	8
(7) 令和3年度が当初の見込みを下回った理由	9
(8) 令和2年度総事業収益の当初見込み	10
(9) 令和2年度が当初の見込みを下回った理由	11
(10) 令和4年度総事業収益の見込み	12
(11) 事業経営上の問題点	13
(12) サービス提供上の問題点	14
(13) 介護サービスの利用率	15
3 職員体制や人材育成について	16
(1) 職員数	16
(2) 常勤職員の平均賃金と平均年齢	16
(3) 職種別採用者数・退職者数	17
(4) 退職理由	18
(5) 人材確保に向けた取り組み	19
(6) 導入している人材育成・教育制度	20
4 地域とのつながりについて	21
(1) 地域との交流	21
5 今後の事業展開について	22
(1) 新規参入や事業の拡充の意向	22
(2) 宿泊デイサービス事業への参入意向	23
(3) 地域密着型サービスへの参入意向	23
(4) 地域密着型サービス参入への課題	24
6 介護保険制度について	25
(1) 介護保険制度への評価	25
(2) 介護保険制度を評価している点	26
(3) 介護保険制度を評価できない点	27

Ⅲ 調査結果・まとめ	29
【1】項目別まとめ	29
【2】全体まとめ	31

I 調査の概要

【調査の目的】

「野田市シルバープラン（野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画）第9期計画」の策定に向けて、介護サービス事業所における事業運営の状況、介護保険制度についての意識等を把握し、今後の高齢者福祉施策に活用することを目的として実施した。

【調査対象】

市内の介護サービス事業所

【調査方法】

郵送配布・回収

【調査期間】

令和4年（2022年）10月

【回収結果】

配布数	136件
有効回収数	79件
有効回収率	58.1%

【報告書の見方について】

- （1）集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- （2）2つ以上の回答を可能とした設問（複数回答）の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- （3）図表中に示すnは、比率算出上の基数（標本数）である。
- （4）この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。



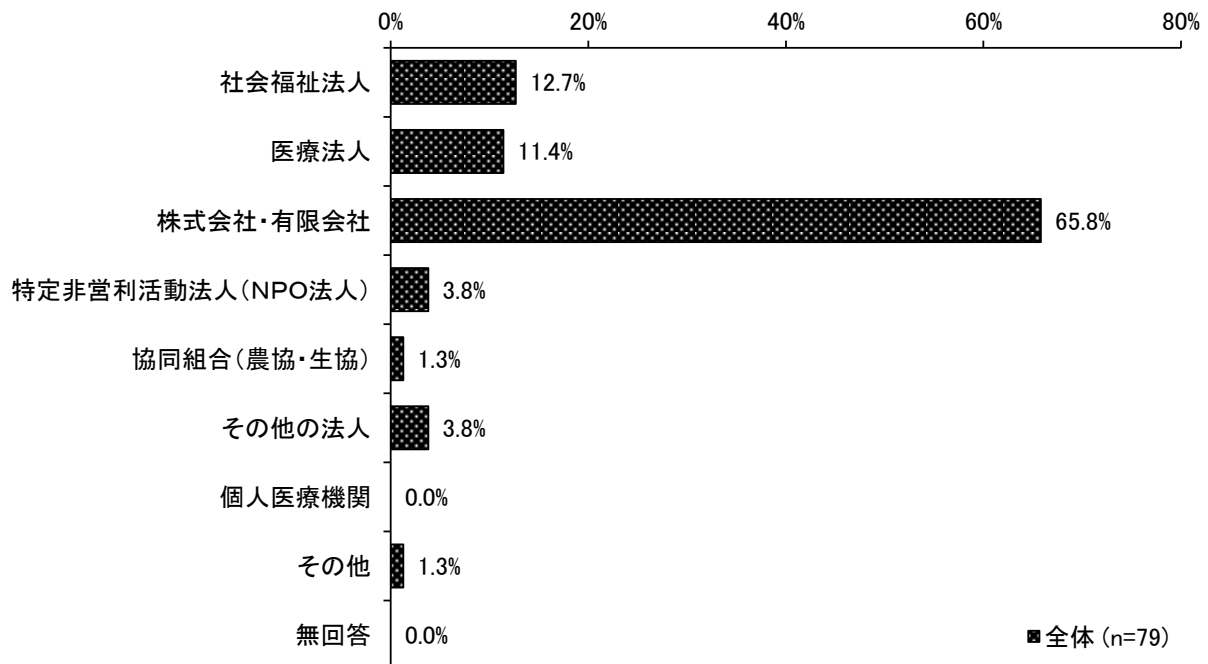
Ⅱ 調査結果

1 基本属性

(1) 経営主体

問1(1) 貴事業所の経営主体は、次のうちどれですか。(☑は1つ)

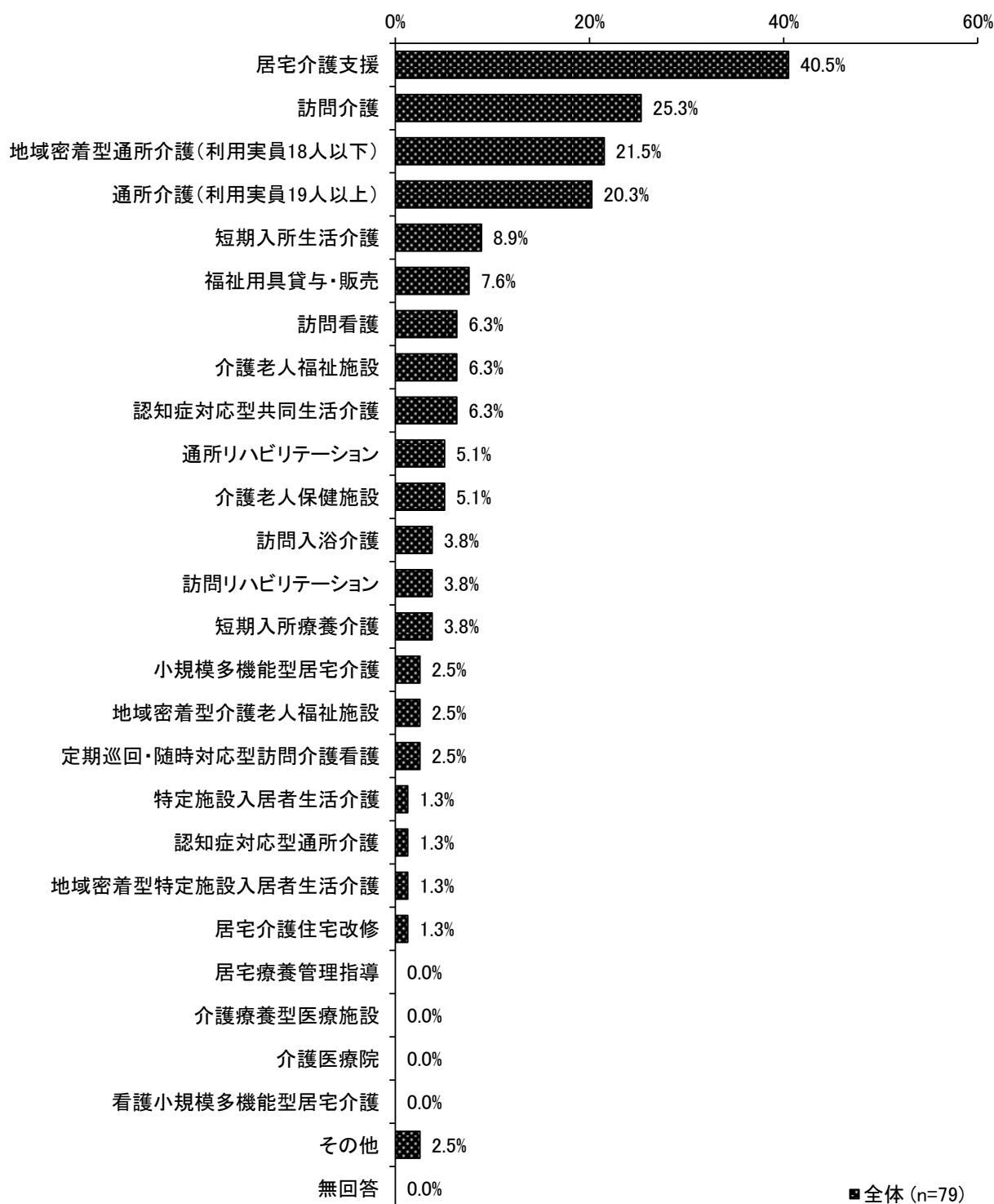
経営主体については、「株式会社・有限会社」の割合が65.8%と最も高く、次いで「社会福祉法人」(12.7%)、「医療法人」(11.4%)の順となっています。



(2) 介護サービスの種類

問1(2) 貴事業所で実施している介護サービスの種類は、次のうちどれですか。
(あてはまるものすべてに☑)

介護サービスの種類については、「居宅介護支援」の割合が40.5%と最も高く、次いで「訪問介護」(25.3%)、「地域密着型通所介護(利用実員18人以下)」(21.5%)、「通所介護(利用実員19人以上)」(20.3%)の順となっています。



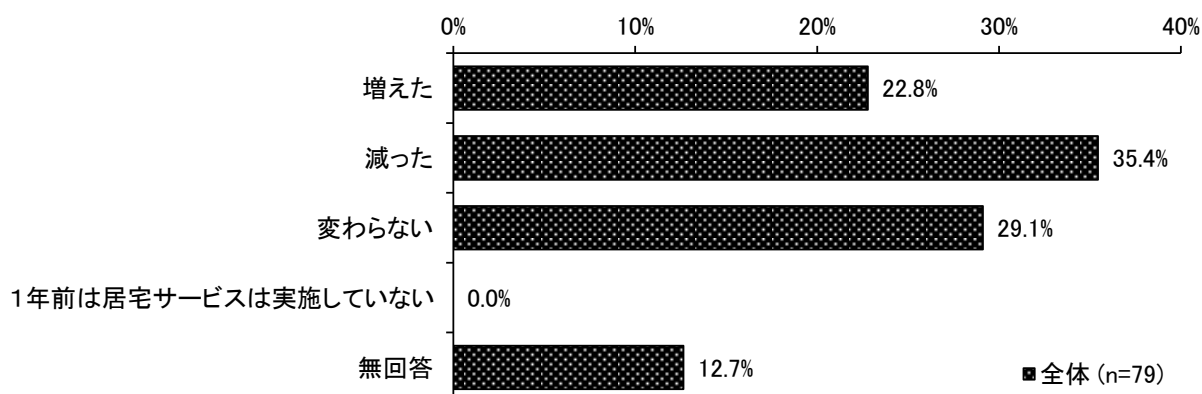
2 運営状況について

(1) 居宅サービス利用者の増減

【居宅サービス事業所の方にお聞きします。】

問2(1) 貴事業所の居宅サービス利用者数は、1年前と比べてどのようになっていますか。(☑は1つ)

居宅サービス利用者の増減については、「減った」の割合が35.4%と最も高く、次いで「変わらない」(29.1%)、「増えた」(22.8%)の順となっています。

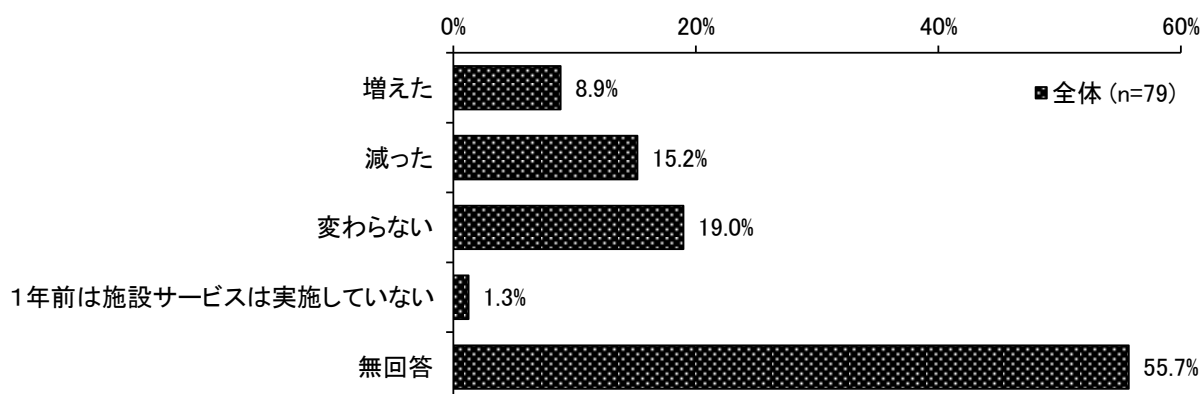


(2) 施設サービス入所申込者数の増減

【施設サービス事業所の方にお聞きします。】

問2(2) 貴事業所の施設サービス入所申込者数は、1年前に比べてどのようになっていますか。(☑は1つ)

施設サービス入所申込者数の増減については、「変わらない」の割合が19.0%と最も高く、次いで「減った」(15.2%)、「増えた」(8.9%)の順となっています。



(3) 要介護度別の現在の利用者数

問2(3) 現在の利用者数を、要介護度別にお書きください。

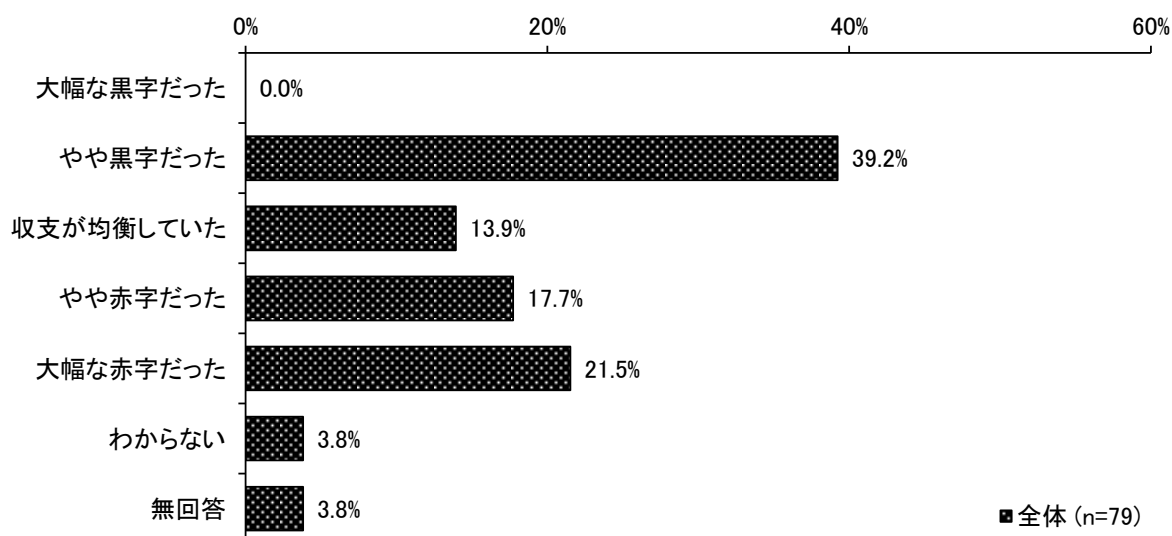
要介護度別の現在の利用者数については、「要介護4」の最大人数が442人と最も多くなっています。平均人数の多い順では、「要介護2」の平均人数が20.0人と最も多く、次いで「要介護3」(平均19.6人)、「要介護4」(平均16.5人)、「要介護1」(平均16.0人)となっています。

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
平均人数	4.8人	10.9人	16.0人	20.0人	19.6人	16.5人	7.9人
最大人数	33人	74人	104人	187人	415人	442人	159人
最小人数	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人

(4) 令和3年度の総事業収支の状況

問2(4) 令和3年度の総事業の収支はどのような状況でしたか。(☑は1つ)

令和3年度の総事業収支の状況については、「やや黒字だった」の割合が39.2%と最も高く、「大幅な黒字だった」(0.0%)を合計すると39.2%が『黒字』と回答しています。一方、「やや赤字だった」(17.7%)、「大幅な赤字だった」(21.5%)の合計は39.2%となっています。



(5) 赤字だった事業

問2(5) 令和3年度の事業収支のうち、赤字だった事業はありますか。
(あてはまるものすべてに☑)

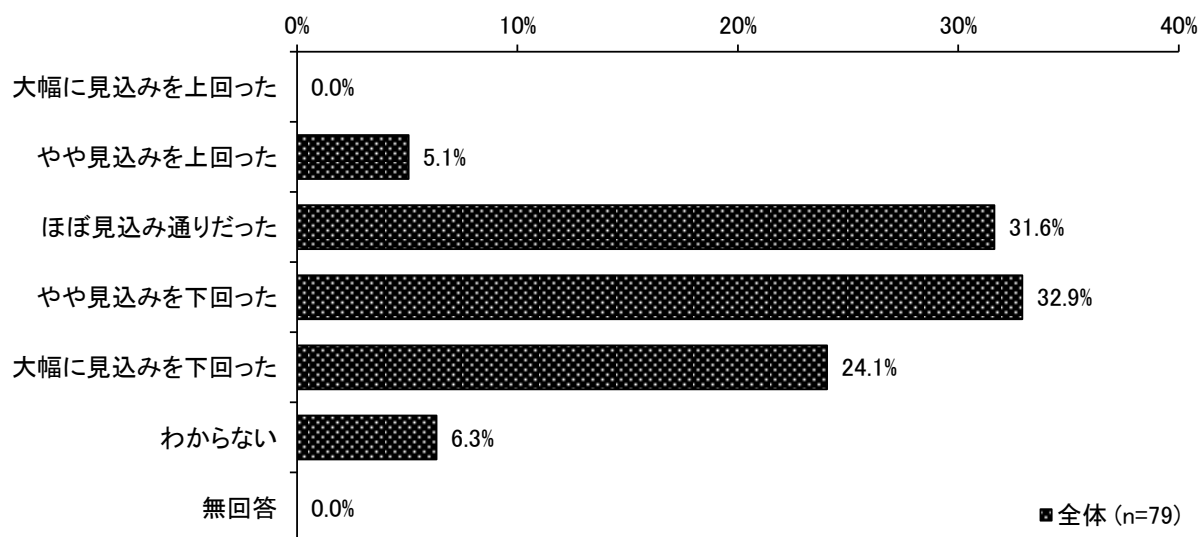
赤字だった事業については、「地域密着型通所介護(利用実員18人以下)」の割合が10.1%と最も高く、次いで「居宅介護支援」「通所介護(利用実員19人以上)」「赤字だった事業はない」(各8.9%)、「訪問介護」(7.6%)の順となっています。



(6) 令和3年度総事業収益の当初見込み

問2(6) 令和3年度の総事業の収益は、当初の見込みと比較してどのような状況でしたか。(☑は1つ)

令和3年度総事業収益の当初見込みについては、「やや見込みを下回った」の割合が32.9%と最も高く、「大幅に見込みを下回った」(24.1%)を合計すると57.0%が『下回った』と回答しています。一方、「やや見込みを上回った」は5.1%となっています。

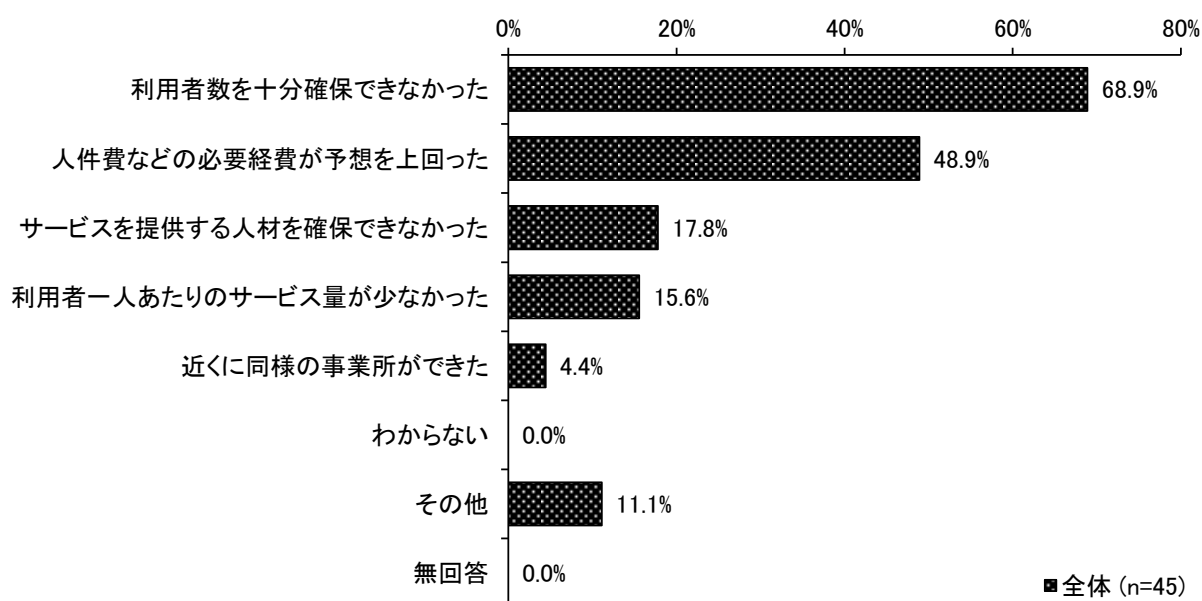


(7) 令和3年度が当初の見込みを下回った理由

【問2(6)で「やや見込みを下回った」、「大幅に見込みを下回った」と回答した方にお聞きします。】

問2(7) 収益が当初の見込みを下回った理由をどのようにお考えですか。
(あてはまるものすべてに☑)

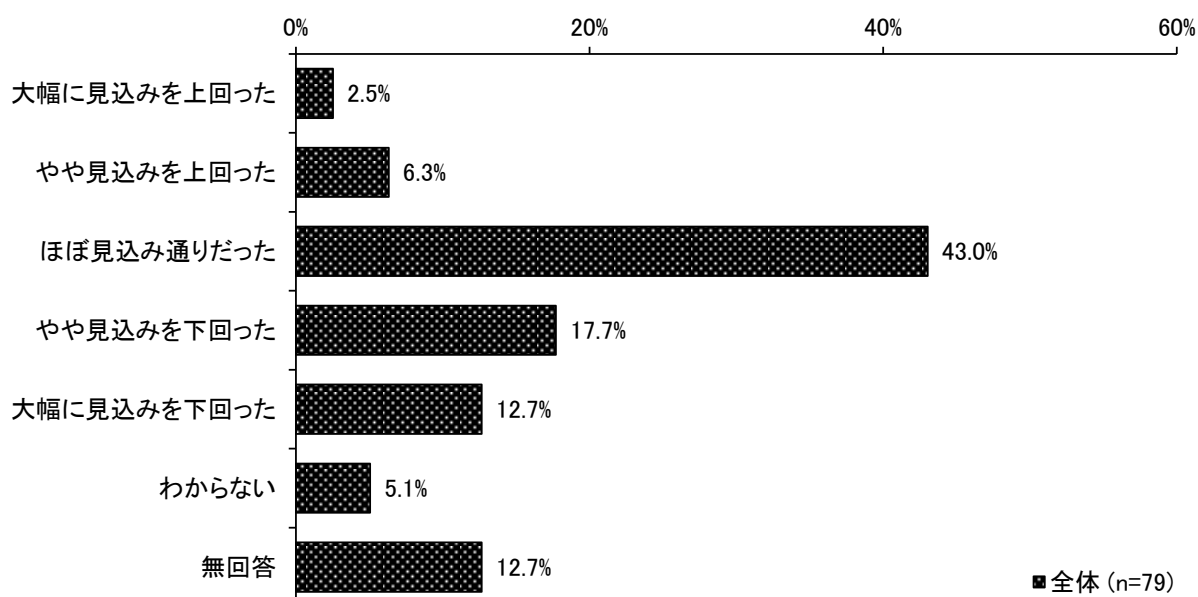
令和3年度総事業収益が当初の見込みを下回った理由については、「利用者数を十分確保できなかった」の割合が68.9%と最も高く、次いで「人件費などの必要経費が予想を上回った」(48.9%)、「サービスを提供する人材を確保できなかった」(17.8%)の順となっています。



(8) 令和2年度総事業収益の当初見込み

問2(8) 令和2年度の総事業の収益は、当初の見込みと比較してどのような状況でしたか。(☑は1つ)

令和2年度総事業収益の当初見込みについては、「ほぼ見込み通りだった」の割合が43.0%と最も高くなっています。「やや見込みを下回った」(17.7%)、「大幅に見込みを下回った」(12.7%)となっており、2つを合計すると30.4%が『下回った』と回答しています。一方、「やや見込みを上回った」(6.3%)、「大幅に見込みを上回った」(2.5%)の合計は8.8%となっています。

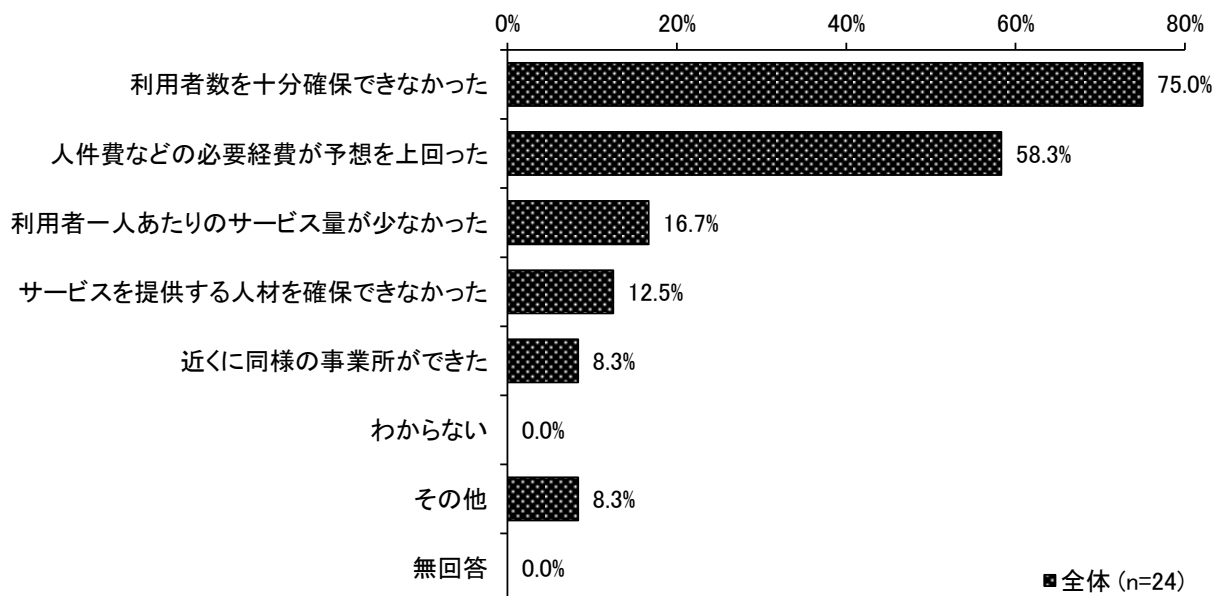


(9) 令和2年度が当初の見込みを下回った理由

【問2(8)で「やや見込みを下回った」、「大幅に見込みを下回った」と回答した方にお聞きします。】

問2(9) 収益が当初の見込みを下回った理由をどのようにお考えですか。
(あてはまるものすべてに☑)

令和2年度総事業収益が当初の見込みを下回った理由については、「利用者数を十分確保できなかった」の割合が75.0%と最も高く、次いで「人件費などの必要経費が予想を上回った」(58.3%)、「利用者一人あたりのサービス量が少なかった」(16.7%)の順となっています。

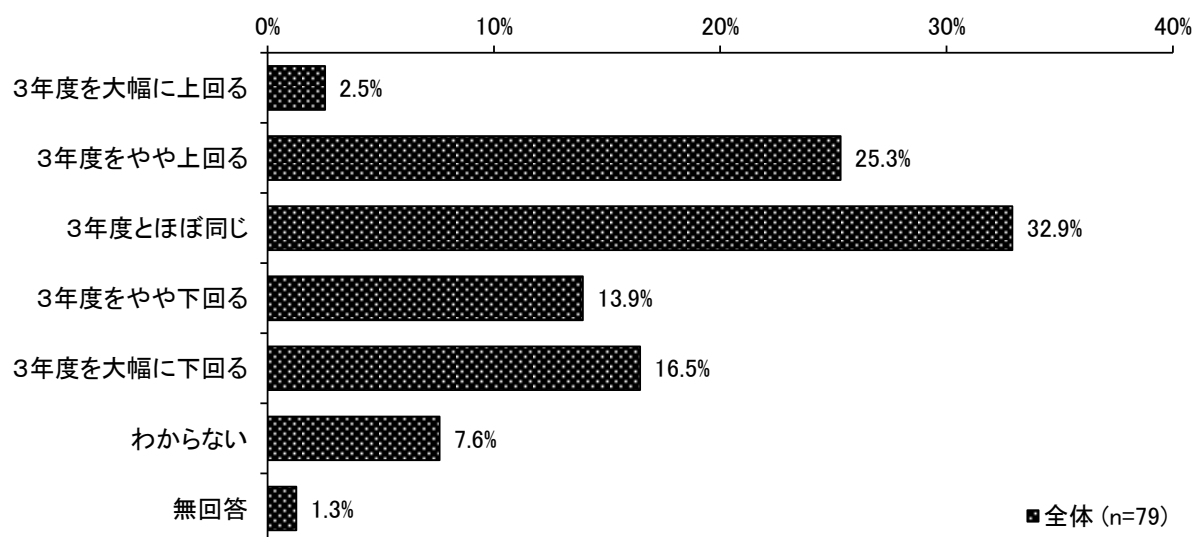


(10) 令和4年度総事業収益の見込み

【ここからはすべての事業所の方にお聞きします。】

問2 (10) 令和4年度の総事業の収益は、3年度と比べてどのような状況が見込まれますか。(☑は1つ)

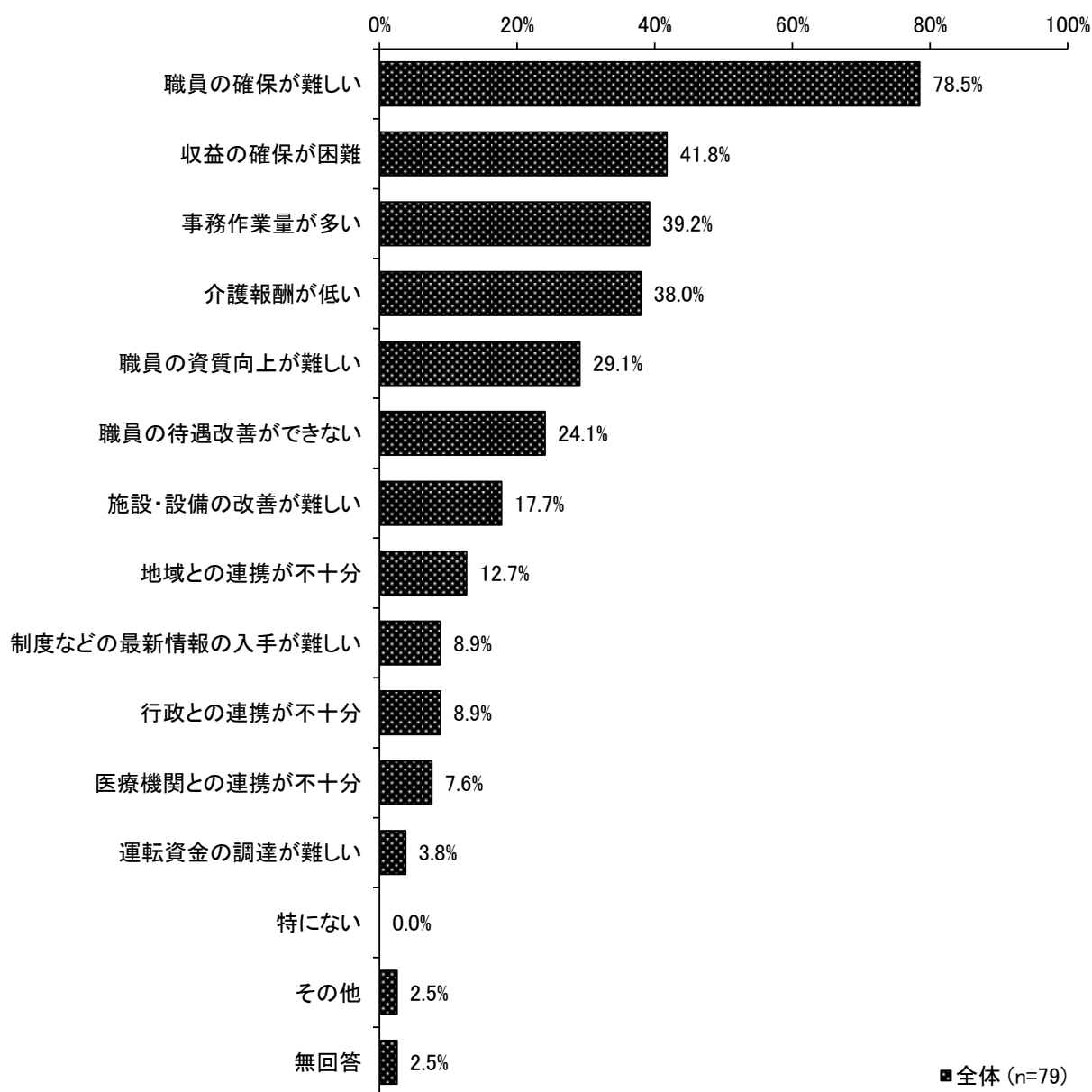
令和4年度総事業収益の見込みについては、「3年度とほぼ同じ」の割合が32.9%と最も高く、次いで「3年度をやや上回る」(25.3%)の順となっています。



(11) 事業経営上の問題点

問2 (11) 事業を運営していく上で、どのような問題がありますか。
(あてはまるものすべてに☑)

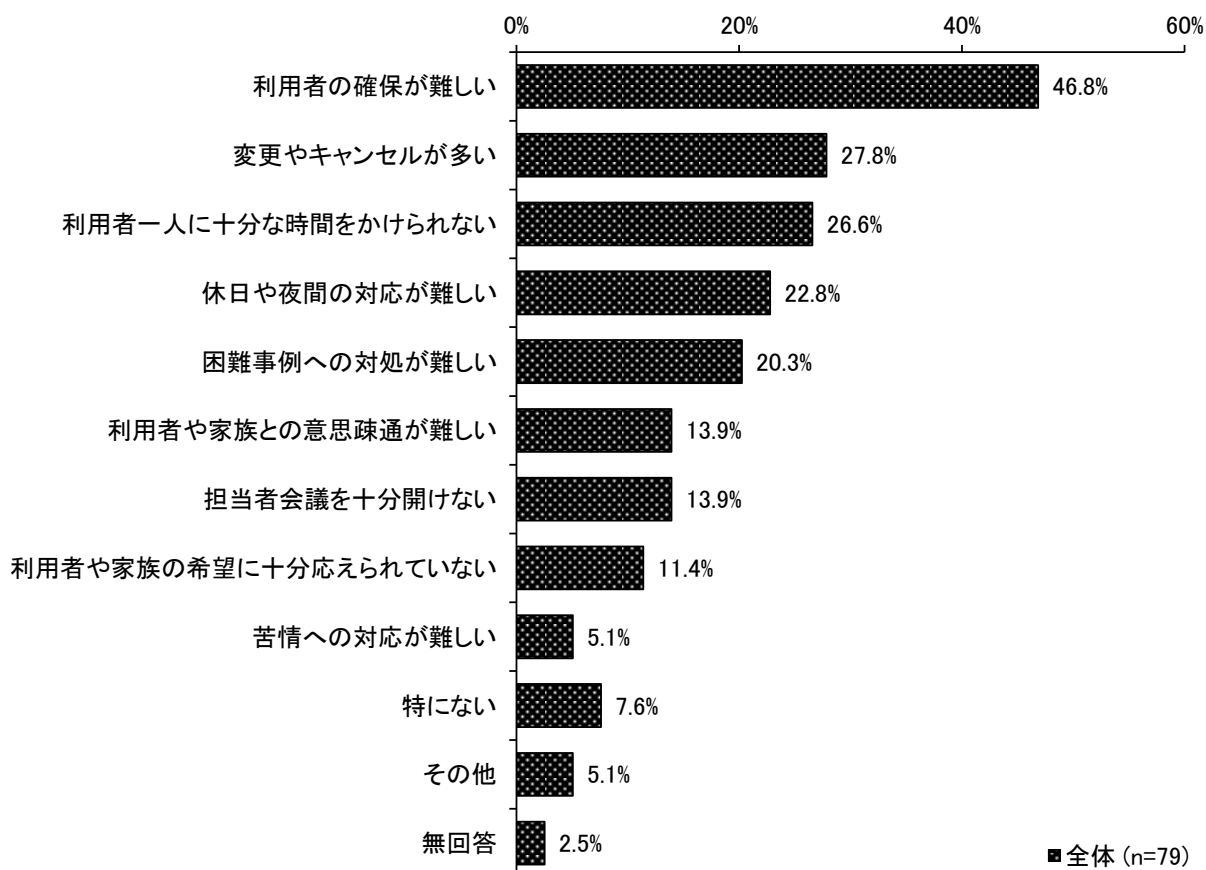
事業経営上の問題点については、「職員の確保が難しい」の割合が78.5%と最も高く、次いで「収益の確保が困難」(41.8%)、「事務作業量が多い」(39.2%)、「介護報酬が低い」(38.0%)、「職員の資質向上が難しい」(29.1%)、「職員の待遇改善ができない」(24.1%)の順となっています。



(12) サービス提供上の問題点

問2 (12) サービスを提供する上で、どのような問題がありますか。
(あてはまるものすべてに☑)

サービス提供上の問題点については、「利用者の確保が難しい」の割合が46.8%と最も高く、次いで「変更やキャンセルが多い」(27.8%)、「利用者一人に十分な時間をかけられない」(26.6%)、「休日や夜間の対応が難しい」(22.8%)、「困難事例への対応が難しい」(20.3%)の順となっています。

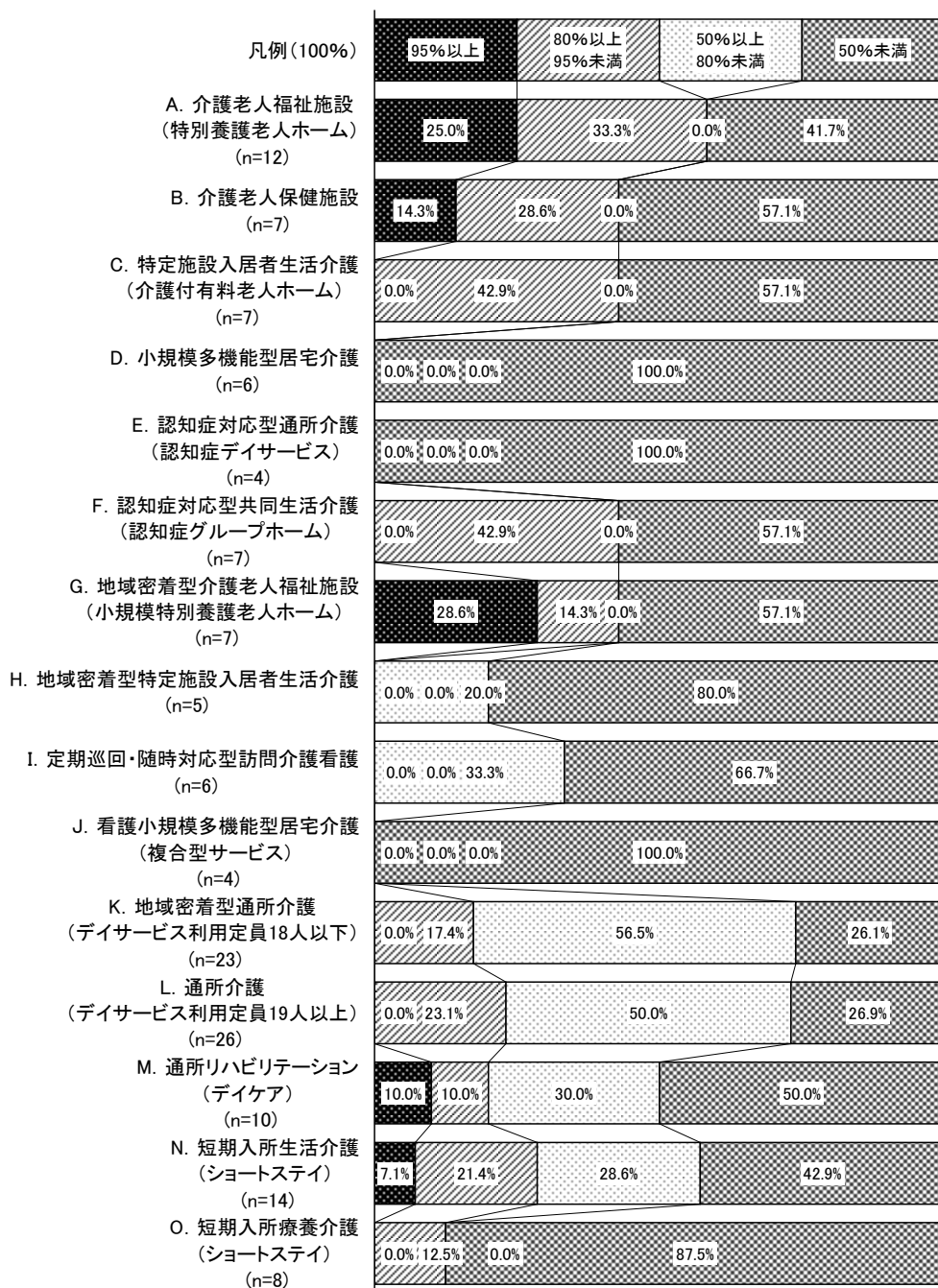


(13) 介護サービスの利用率

問 2 (13) 次の介護サービスのうち、貴事業所にあてはまる利用率をお伺いします。
 (実施している介護サービスの種類ごとに、直近3か月の平均利用率に☑
 を1つお書きください。) ※小数点以下は四捨五入。

介護サービスの利用率については、利用率95%以上では「地域密着型介護老人福祉施設(小規模特別養護老人ホーム)」の割合が28.6%と最も高く、次いで「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」(25.0%)の順となっています。

利用率50%未満では「小規模多機能型居宅介護」「認知症対応型通所介護(認知症デイサービス)」「看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス)」でともに100.0%となっているほか、「短期入所療養介護(ショートステイ)」(87.5%)、「地域密着型特定施設入居者生活介護」(80.0%)などで高くなっています。



3 職員体制や人材育成について

(1) 職員数

問3 (1) 貴事業所の職員の実人数をお書きください。

職員数の平均人数については、「常勤（正職員）」が9.8人、「常勤（臨時職員）」が0.7人、「非常勤職員（常勤以外）」が8.8人となっています。

	常勤 (正職員)	常勤 (臨時職員)	非常勤職員 (常勤以外)
平均人数	9.8人	0.7人	8.8人
最大人数	100人	5人	49人
最小人数	1人	0人	0人

(2) 常勤職員の平均賃金と平均年齢

問3 (2) 貴事業所における常勤職員の平均賃金（月額【諸手当・税込】）と平均年齢を、差し支えない範囲でお書きください。
※小数点以下は四捨五入してお書きください。

常勤職員の平均賃金と平均年齢は下表のとおりとなっています。

職種	正職員		臨時職員	
	平均賃金 (月額)	平均年齢	平均賃金 (月額)	平均年齢
施設長（所長）	385,769円	52.5歳	93,348円	56.0歳
事務員	214,951円	45.8歳	128,889円	42.7歳
生活相談員	267,212円	44.6歳	回答なし	48.8歳
介護支援専門員	273,217円	50.0歳	168,275円	49.3歳
介護職員	255,035円	46.6歳	123,008円	53.6歳
看護職員	337,085円	50.6歳	111,278円	61.5歳
機能訓練指導員	295,584円	43.0歳	回答なし	回答なし
理学・作業療法士	279,634円	40.5歳	回答なし	回答なし
栄養士	274,613円	38.5歳	回答なし	回答なし
保健士	321,243円	57.0歳	回答なし	回答なし
その他	216,670円	50.9歳	93,059円	64.4歳
全体	594,811円	47.2歳	135,336円	60.4歳

(3) 職種別採用者数・退職者数

問3(3) 貴事業所における令和3年1月～12月の採用者数・退職者数を職種別に実人数でお書きください。

職種別採用者数・退職者数は下表のとおりとなっています^(注)。

職種		常勤 (正職員)		常勤 (臨時職員)		非常勤職員 (常勤以外)		
		人数	施設数	人数	施設数	人数	施設数	
施設長(所長)	採用	1人	3	-	-	-	-	
	退職	1人	1	-	-	-	-	
事務員	採用	1人	1	1人	1	1人	1	
	退職	1人	1	-	-	1人	1	
生活相談員	採用	1人	4	-	-	1人	2	
	退職	1人	3	-	-	-	-	
介護支援専門員	採用	1人	6	-	-	1人	1	
	退職	1人	4	-	-	1人	1	
介護職員	採用	1人	12	1人	1	1人	10	
		2人	3			2人	10	
		3人	2			3人	2	
		4人	2			6人	1	
		5人	2					
	退職	7人	1					
		1人	9	1人	1	1人	8	
		2人	3			2人	2	
		3人	3			3人	4	
		4人	2			4人	2	
看護職員	採用	6人	1			7人	1	
		1人	3	-	-	1人	6	
		3人	1			2人	1	
		4人	2			4人	1	
	退職	5人	1			5人	1	
		1人	2	1人	1	1人	8	
		2人	1			5人	1	
		4人	1					
	機能訓練指導員	採用	1人	1	-	-	1人	2
		退職	-	-	-	-	1人	1
理学・作業療法士	採用	5人	2					
		2人	1					
	退職	1人	2	-	-	-	-	
		2人	1					
栄養士	採用	1人	3	-	-	-	-	
	退職	1人	1	-	-	-	-	
保健士	採用	-	-	-	-	-	-	
	退職	-	-	-	-	-	-	
その他	採用	1人	2	-	-	1人	1	
		2人	2			4人	1	
						6人	1	
	退職					8人	1	
		1人	1	-	-	1人	2	
						2人	1	
						6人	1	
				7人	1			

注:上記表は採用人数ごとの施設数を示しています。(例:施設長(所長)を1人採用した施設が3件)

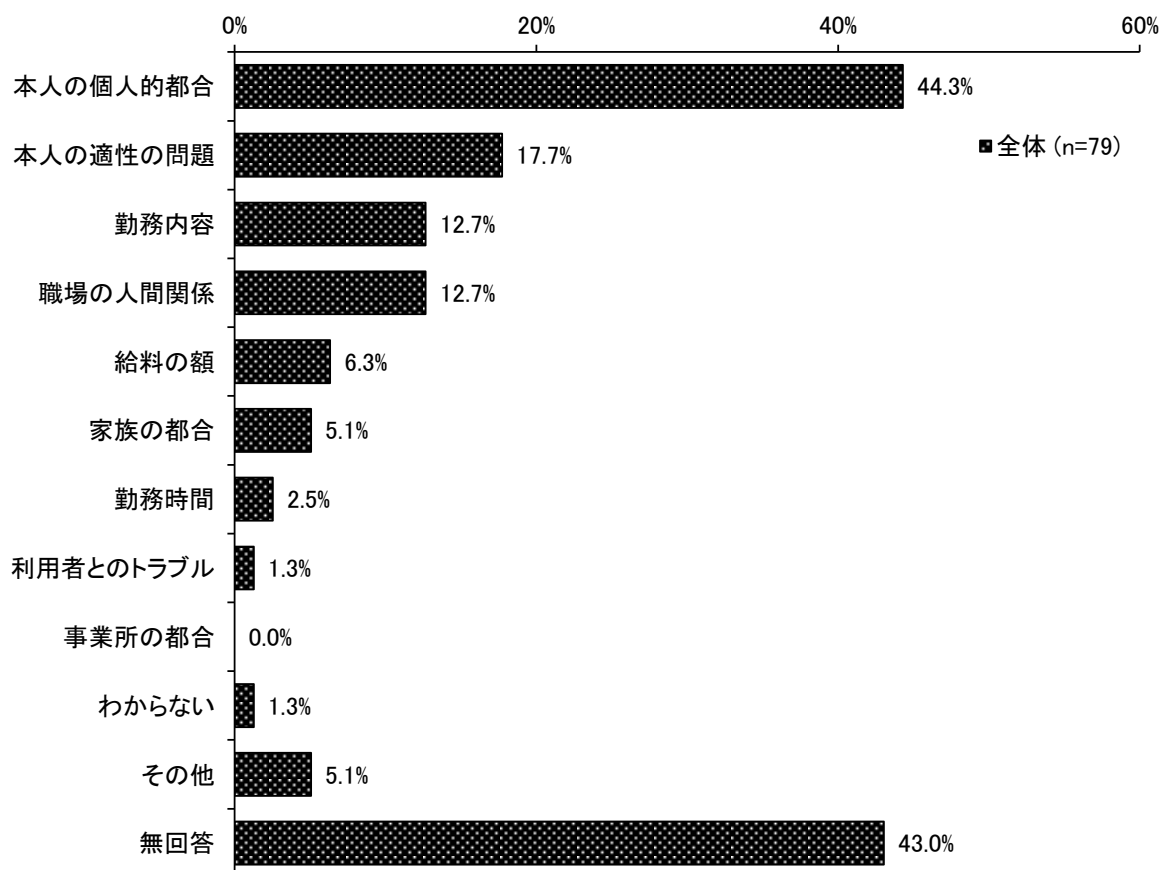
(4) 退職理由

【令和3年1月～12月に退職者がいた事業所の方にお聞きします。】

問3(4) 退職した理由をわかる範囲でお答えください。

(あてはまるものすべてに☑)

退職理由については、「本人の個人的都合」の割合が44.3%と最も高く、次いで「本人の適性の問題」(17.7%)、「勤務内容」「職場の人間関係」(各12.7%)、「給料の額」(6.3%)の順となっています。

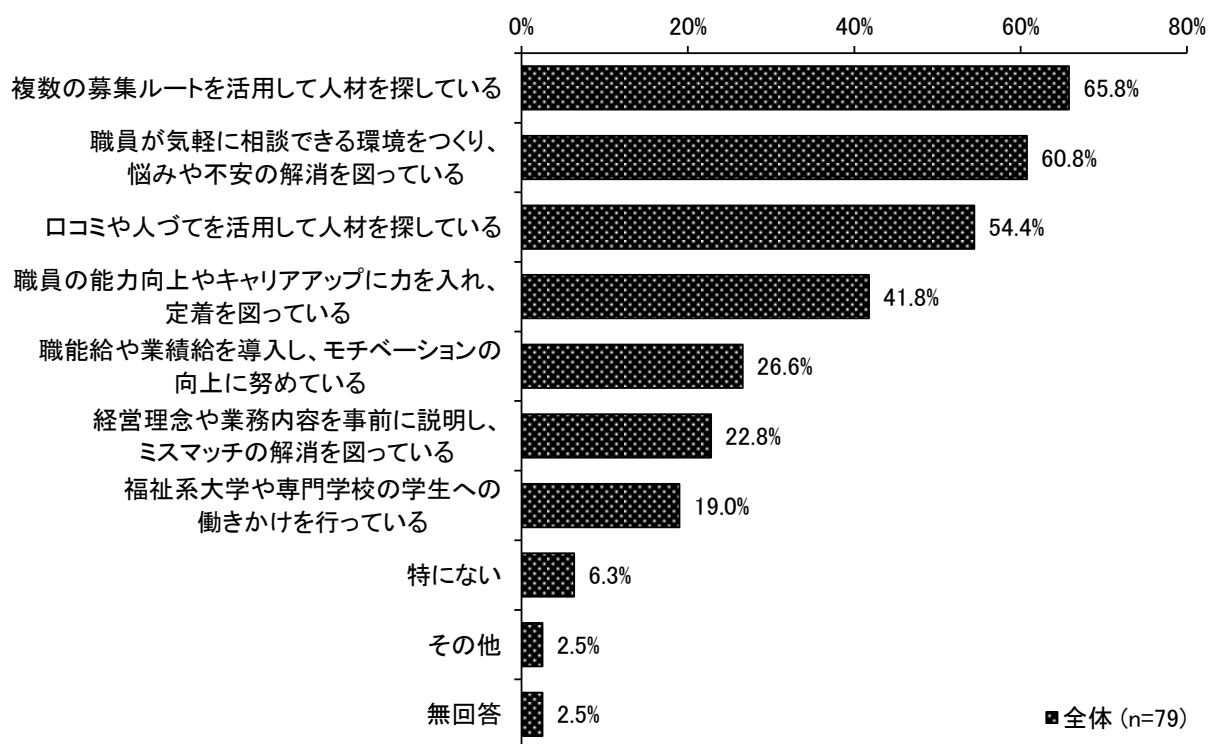


(5) 人材確保に向けた取り組み

【ここからはすべての事業所の方にお聞きします。】

問3(5) 貴事業所では、人材確保に向けて、どのような取り組みをしていますか。
(あてはまるものすべてに☑)

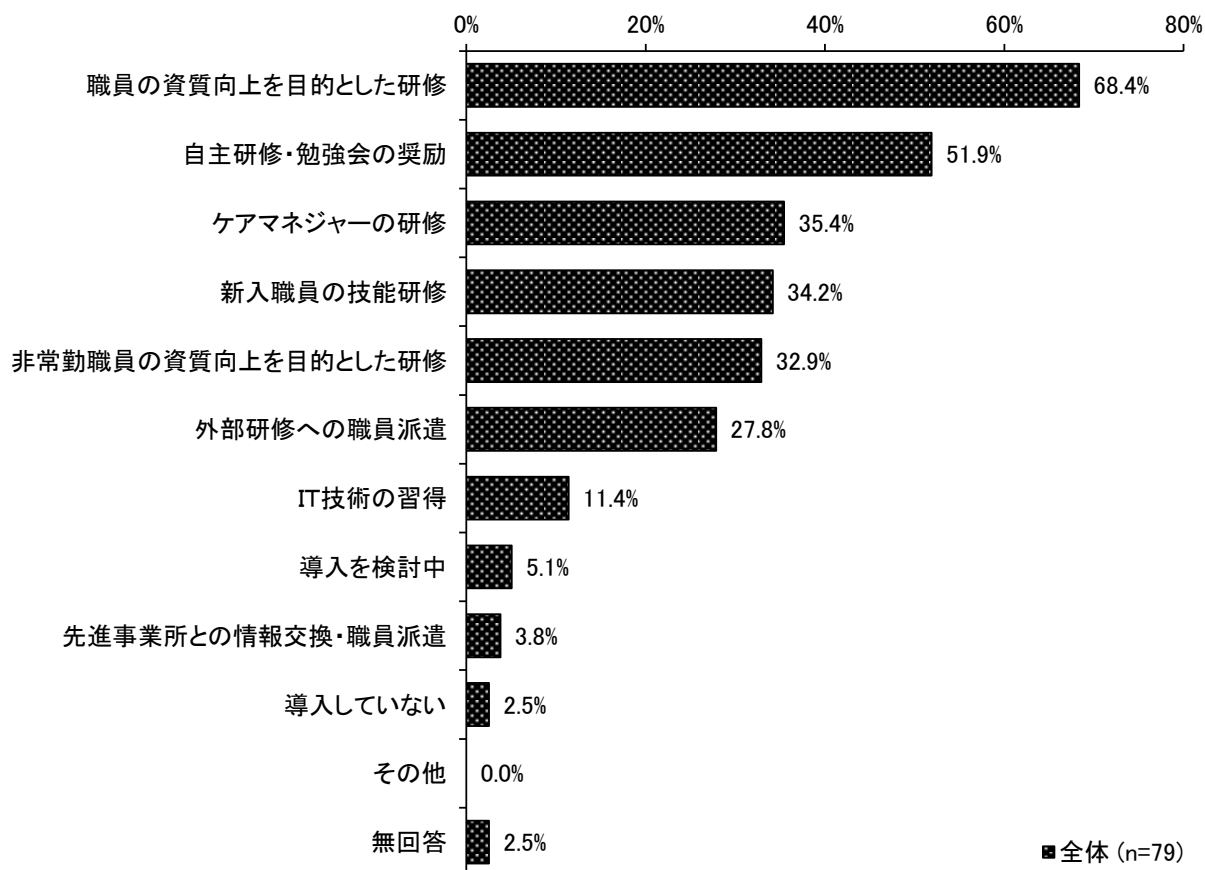
人材確保に向けた取り組みについては、「複数の募集ルートを活用して人材を探している」の割合が65.8%と最も高く、次いで「職員が気軽に相談できる環境をつくり、悩みや不安の解消を図っている」(60.8%)、「口コミや人づてを活用して人材を探している」(54.4%)、「職員の能力向上やキャリアアップに力を入れ、定着を図っている」(41.8%)の順となっています。



(6) 導入している人材育成・教育制度

問3(6) 貴事業所では、人材育成・教育制度を導入していますか。
(あてはまるものすべてに☑)

導入している人材育成・教育制度については、「職員の資質向上を目的とした研修」の割合が68.4%と最も高く、次いで「自主研修・勉強会の奨励」(51.9%)、「ケアマネジャーの研修」(35.4%)、「新入職員の技能研修」(34.2%)の順となっています。

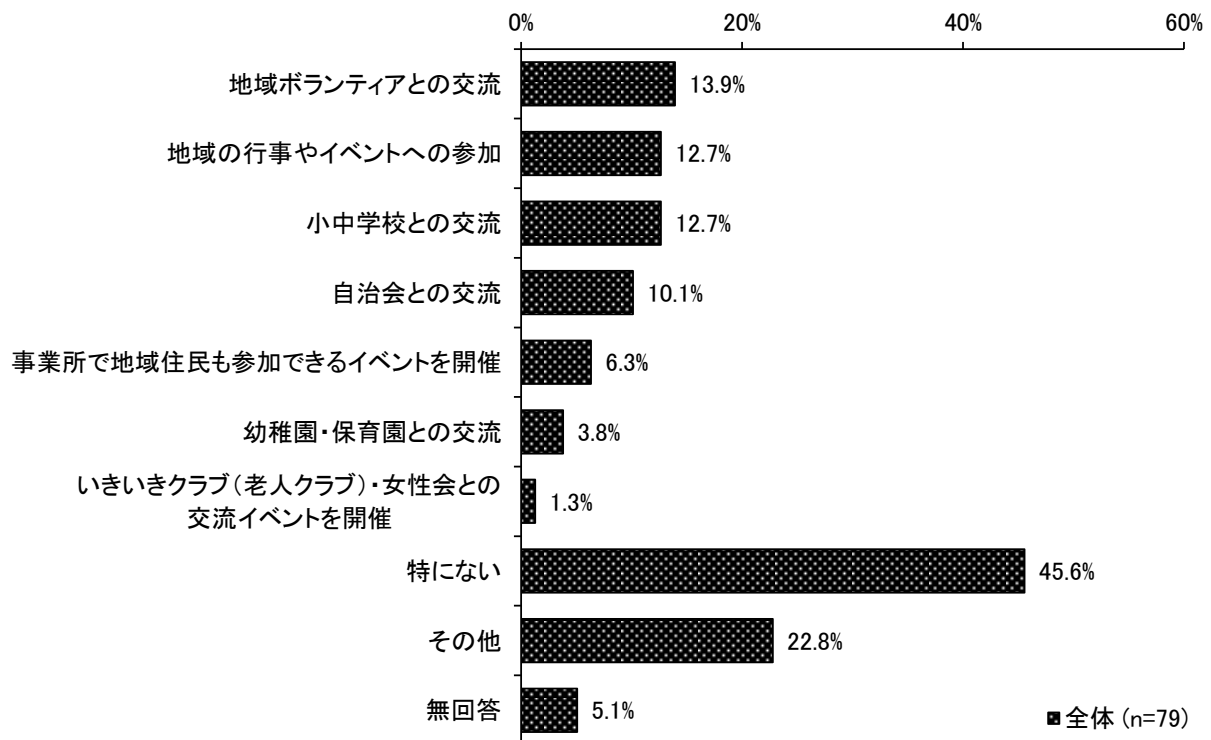


4 地域とのつながりについて

(1) 地域との交流

問4(1) 貴事業所では、地域との交流がありますか。
(あてはまるものすべてに☑)

地域との交流については、「特にない」の割合が45.6%と最も高く、次いで「その他」(22.8%)、「地域ボランティアとの交流」(13.9%)、「地域の行事やイベントへの参加」「小中学校との交流」(各12.7%)、「自治会との交流」(10.1%)、「事業所で地域住民も参加できるイベントを開催」(6.3%)、「幼稚園・保育園との交流」(3.8%)の順となっています。



5 今後の事業展開について

(1) 新規参入や事業の拡充の意向

問5(1) 貴事業所では、第9期計画期間中(令和6年度～8年度)に、市内で新規参入や事業の拡充を考えている事業はありますか。あてはまる年度に☑をつけてください。(あてはまるものすべてに☑)

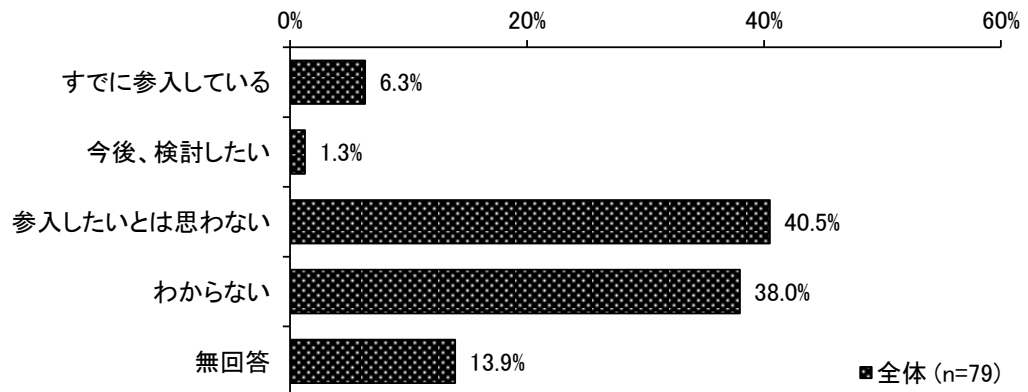
新規参入や事業の拡充の意向は下表のとおりとなっています。

サービスの種類	令和6年度	令和7年度	令和8年度
◆施設サービス等			
A. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	-	-	-
B. 介護老人保健施設	-	-	-
C. 特定施設入居者生活介護(介護付有料老人ホーム)	-	-	-
◆地域密着型サービス			
D. 小規模多機能型居宅介護	-	-	-
E. 認知症対応型通所介護(認知症デイサービス)	-	-	-
F. 認知症対応型共同生活介護(認知症グループホーム)	1	-	-
G. 地域密着型介護老人福祉施設(小規模特別養護老人ホーム)	-	-	-
H. 地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-
I. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	1	1
J. 看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス)	-	-	-
◆居宅サービス			
K. 居宅介護支援	2	-	-
L. 訪問介護(ホームヘルプ)	-	-	1
M. 訪問入浴介護	-	-	-
N. 訪問看護	1	-	-
O. 訪問リハビリテーション	-	-	-
P. 居宅療養管理指導	1	-	-
Q. 地域密着型通所介護(小規模デイサービス)(利用定員18人以下)	1	-	-
R. 通所介護(デイサービス)(利用定員19人以上)	-	-	-
S. 通所リハビリテーション(デイケア)	-	-	-
T. 短期入所生活介護(ショートステイ)	-	-	-
U. 短期入所療養介護(ショートステイ)	-	-	-
V. 福祉用具貸与・販売	-	-	-
◆その他			
W. その他	-	-	2

(2) 宿泊デイサービス事業への参入意向

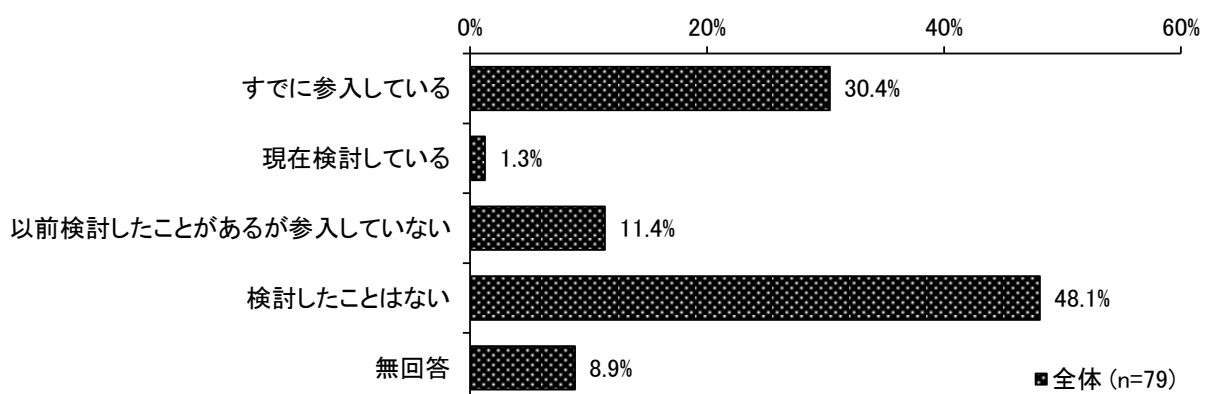
問5(2) 介護保険法適用外の自主事業である「宿泊デイサービス事業」の参入について、お伺いします。(☑は1つ)

宿泊デイサービス事業への参入意向については、「参入したいとは思わない」の割合が40.5%と最も高く、次いで「わからない」(38.0%)、「すでに参入している」(6.3%)の順となっています。

**(3) 地域密着型サービスへの参入意向**

問5(3) 貴事業所では、これまでに地域密着型サービスへの参入を検討したことがありますか。(☑は1つ)

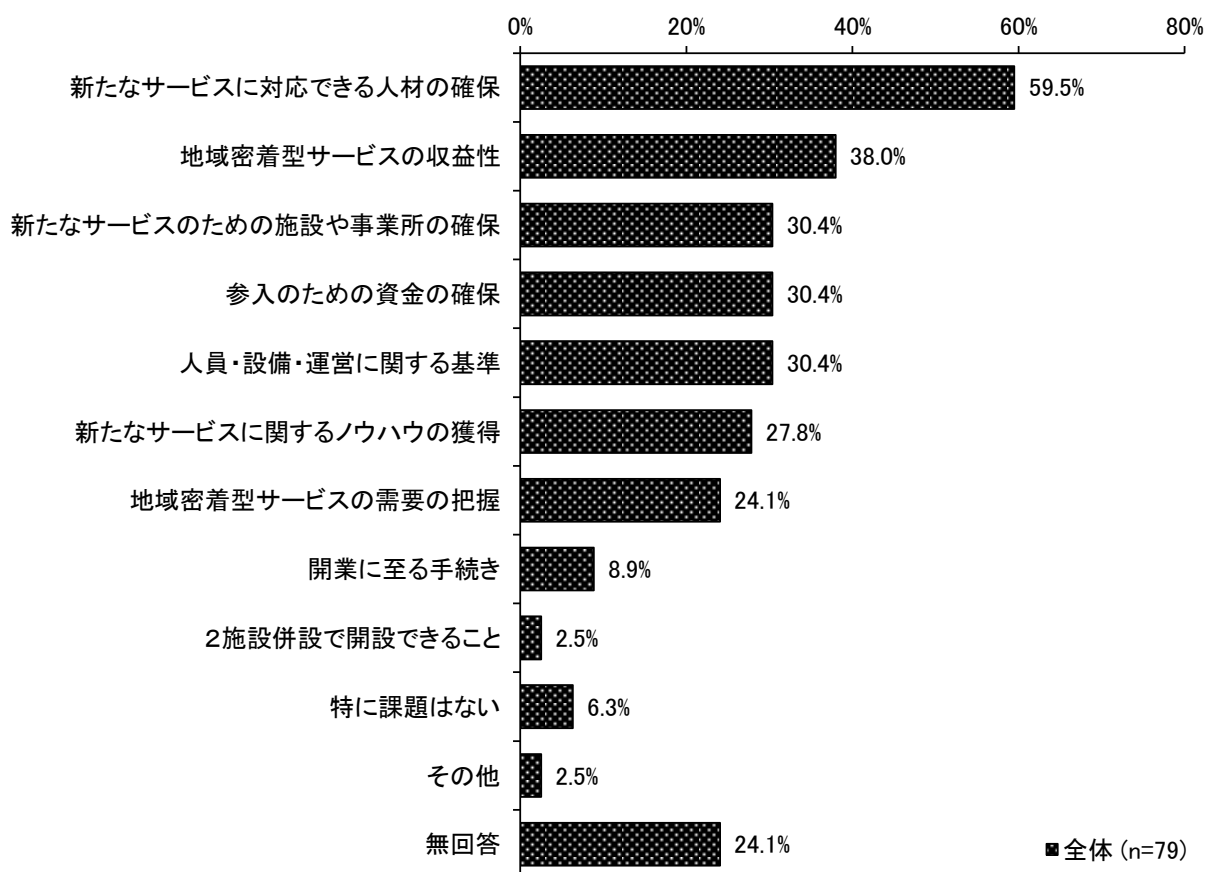
地域密着型サービスへの参入意向については、「検討したことはない」の割合が48.1%と最も高く、次いで「すでに参入している」(30.4%)、「以前検討したことがあるが参入していない」(11.4%)の順となっています。



(4) 地域密着型サービス参入への課題

問5 (4) 地域密着型サービスへの参入の際に、課題になることは何ですか。
(参入の予定がない事業所の方は、参入を想定した場合に課題になると
思われることをお答えください) (あてはまるものすべてに☑)

地域密着型サービス参入への課題については、「新たなサービスに対応できる人材の確保」の割合が59.5%と最も高く、次いで「地域密着型サービスの収益性」(38.0%)、「新たなサービスのための施設や事業所の確保」「参入のための資金の確保」「人員・設備・運営に関する基準」(各30.4%)の順となっています。

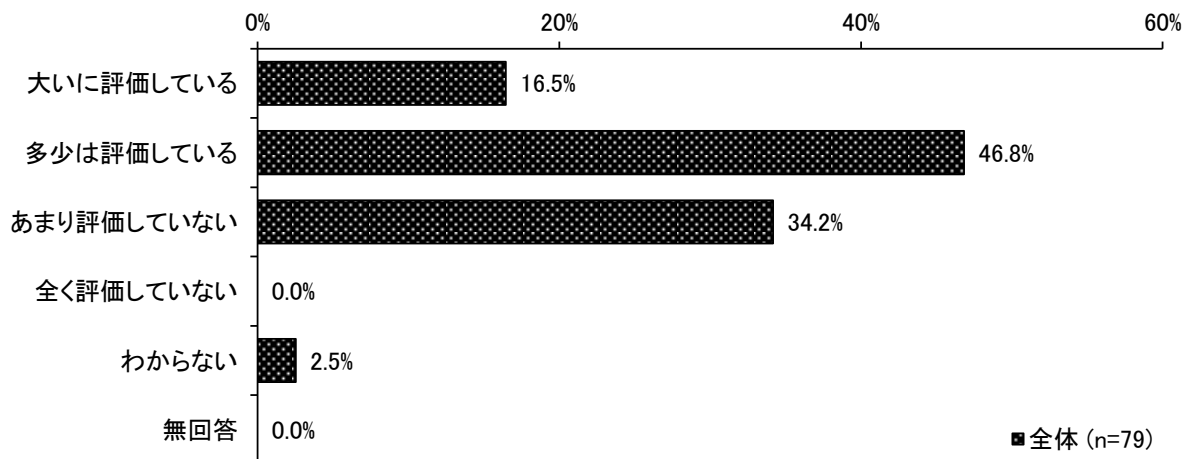


6 介護保険制度について

(1) 介護保険制度への評価

問6(1) 介護保険制度全般について、どのように評価していますか。(☑は1つ)

介護保険制度への評価については、「多少は評価している」の割合が46.8%と最も高く、「大いに評価している」(16.5%)を合計すると63.3%が『評価している』と回答しています。一方、「あまり評価していない」(34.2%)、「全く評価していない」(0.0%)の合計は34.2%となっています。

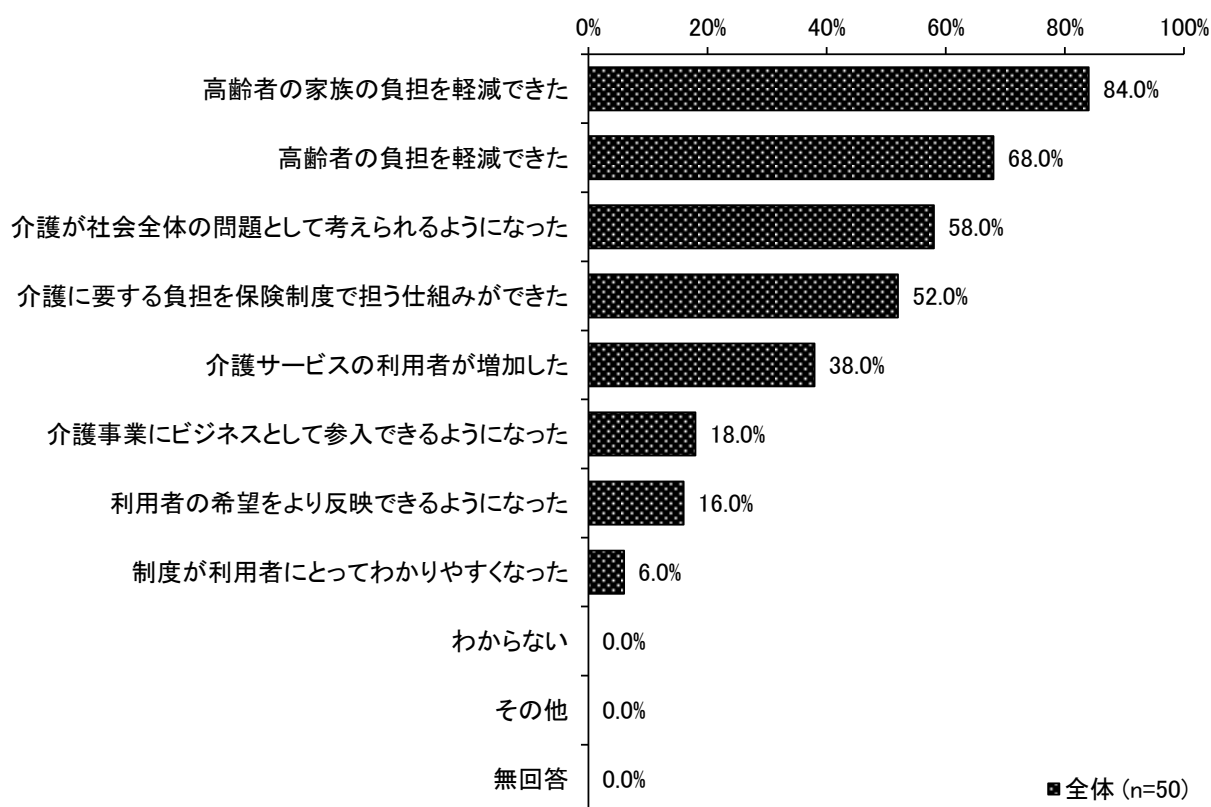


(2) 介護保険制度を評価している点

【問6(1)で「大いに評価している」、「多少は評価している」と回答した方にお聞きします。】

問6(2) どのような点を評価していますか。(あてはまるものすべてに☑)

介護保険制度を評価している点については、「高齢者の家族の負担を軽減できた」の割合が84.0%と最も高く、次いで「高齢者の負担を軽減できた」(68.0%)、「介護が社会全体の問題として考えられるようになった」(58.0%)、「介護に要する負担を保険制度で担う仕組みができた」(52.0%)の順となっています。

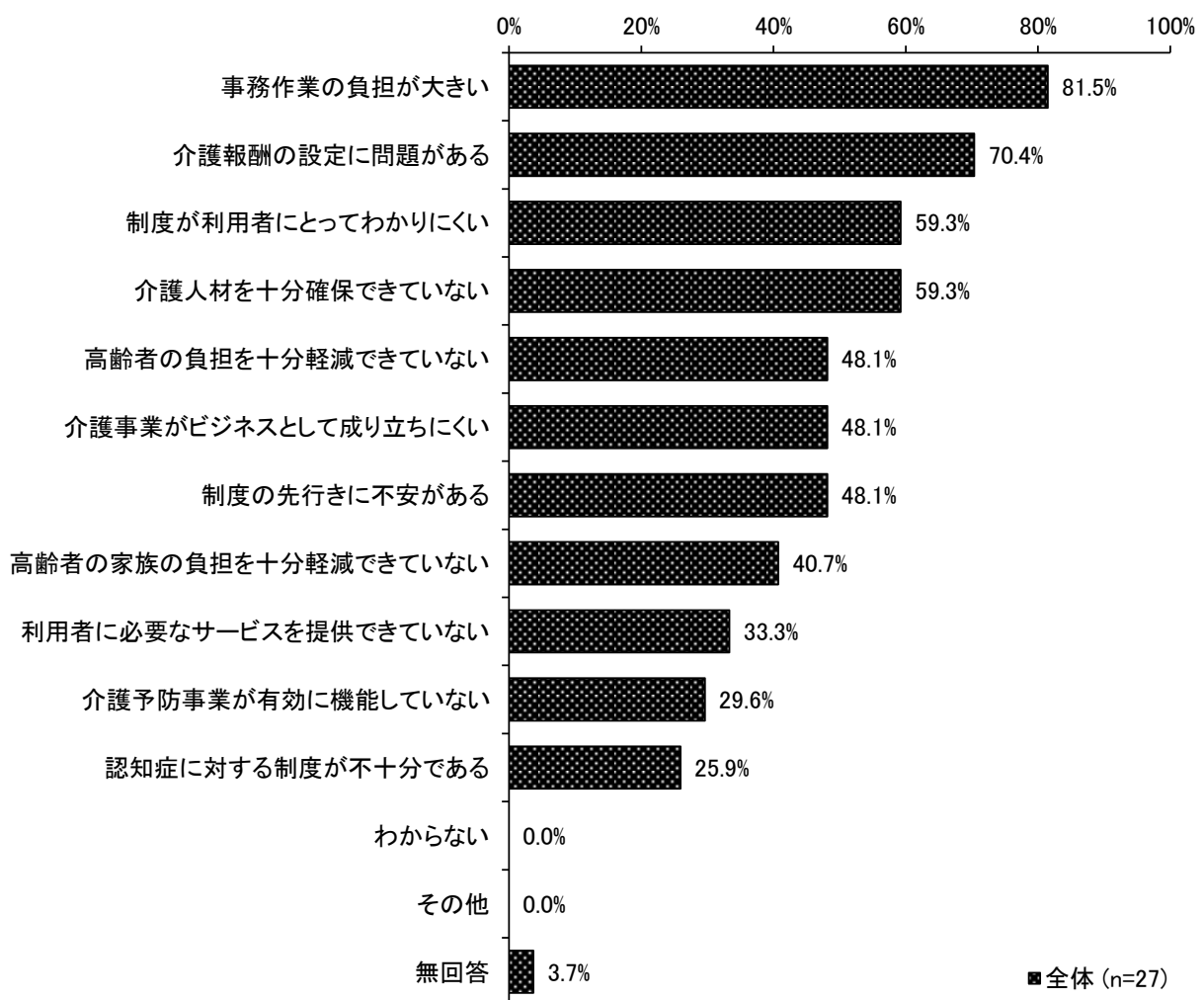


(3) 介護保険制度を評価できない点

【問6(1)で「あまり評価していない」、「全く評価していない」と回答した方にお聞きします。】

問6(3) どのような点を評価できないと感じていますか。
(あてはまるものすべてに☑)

介護保険制度を評価できない点については、「事務作業の負担が大きい」の割合が81.5%と最も高く、次いで「介護報酬の設定に問題がある」(70.4%)、「制度が利用者にとってわかりにくい」「介護人材を十分確保できていない」(各59.3%)、「高齢者の負担を十分軽減できていない」「介護事業がビジネスとして成り立ちにくい」「制度の先行きに不安がある」(各48.1%)の順となっています。





Ⅲ 調査結果・まとめ

【1】項目別まとめ

1 事業所の概要について

経営主体は、「株式会社・有限会社」が65.8%、「社会福祉法人」が12.7%、「医療法人」が11.4%。介護サービスの種類は、「居宅介護支援」が40.5%と最も高く、次いで「訪問介護」が25.3%、「地域密着型通所介護（利用実員18人以下）」が21.5%、「通所介護（利用実員19人以上）」が20.3%の順となっている。「居宅療養管理指導」「介護療養型医療施設」「介護医療院」「看護小規模多機能型居宅介護」は、いずれも0.0%。

2 運営状況について

居宅サービス利用者の増減については、「減った」が35.4%と最も高く、次いで「変わらない」、「増えた」の順となっている。「1年前は居宅サービスは実施していない」は0.0%。

令和3年度の総事業収支の状況については、合計すると39.2%が『黒字』と回答し、『赤字』の合計は39.2%。赤字だった事業については、「地域密着型通所介護（利用実員18人以下）」が10.1%と最も高く、次いで「居宅介護支援」「通所介護（利用実員19人以上）」「赤字だった事業はない」、「訪問介護」の順となっている。総事業収益の当初見込みについては、合計すると57.0%が『下回った』と回答し、「やや見込みを上回った」が5.1%、「ほぼ見込み通りだった」が31.6%となっている。当初の見込みを下回った理由については、「利用者数を十分確保できなかった」が68.9%と最も高く、次いで「人件費などの必要経費が予想を上回った」、「サービスを提供する人材を確保できなかった」の順となっている。

令和2年度総事業収益の当初見込みについては、合計すると30.4%が『下回った』と回答し、『見込みを上回った』の合計は8.8%、「ほぼ見込み通りだった」が43.0%となっている。当初の見込みを下回った理由については、「利用者数を十分確保できなかった」が75.0%と最も高く、次いで「人件費などの必要経費が予想を上回った」、「利用者一人あたりのサービス量が少なかった」、「サービスを提供する人材を確保できなかった」の順となっている。

令和4年度総事業収益の見込みについては、「3年度とほぼ同じ」が32.9%と最も高く、次いで「3年度をやや上回る」が25.3%となっている。

事業経営上の問題点については、「職員の確保が難しい」が78.5%と最も高く、次いで「収益の確保が困難」、「事務作業量が多い」、「介護報酬が低い」、「職員の資質向上が難しい」、「職員の待遇改善ができない」の順となっている。サービス提供上の問題点については、「利用者の確保が難しい」が46.8%と最も高く、次いで「変更やキャンセルが多い」、「利用者一人に十分な時間をかけられない」、「休日や夜間の対応が難しい」、「困難事例への対処が難しい」の順となっている。

3 職員体制や人材育成について

退職した人の理由としては、「本人の個人的都合」が44.3%と最も高く、次いで「本人の適性の問題」、「勤務内容」「職場の人間関係」の順となっている。

人材確保に向けた取り組みについては、「複数の募集ルートを活用して人材を探している」が65.8%と最も高く、次いで「職員が気軽に相談できる環境をつくり、悩みや不安の解消を図っている」、「口コミや人づてを活用して人材を探している」、「職員の能力向上やキャリアアップに力を入れ、定着を図っている」の順となっている。

導入している人材育成・教育制度については、「職員の資質向上を目的とした研修」が68.4%と最も高く、次いで「自主研修・勉強会の奨励」、「ケアマネジャーの研修」、「新入職員の技能研修」の順となっている。

4 地域とのつながりについて

地域との交流については、「地域ボランティアとの交流」が13.9%と最も高く、次いで「地域の行事やイベントへの参加」「小中学校との交流」、「自治会との交流」、「事業所で地域住民も参加できるイベントを開催」、「幼稚園・保育園との交流」の順となっている。

5 今後の事業展開について

宿泊サービス事業への参入意向については、「参入したいとは思わない」が40.5%と最も高く、次いで「わからない」、「すでに参入している」の順となっている。

地域密着型サービスへの参入意向については、「検討したことはない」が48.1%と最も高く、次いで「すでに参入している」、「以前検討したことがあるが参入していない」の順となっている。地域密着型サービス参入への課題については、「新たなサービスに対応できる人材の確保」が59.5%と最も高く、次いで「地域密着型サービスの収益性」、「新たなサービスのための施設や事業所の確保」「参入のための資金の確保」「人員・設備・運営に関する基準」の順となっている。

6 介護保険制度について

介護保険制度への評価については、合計すると63.3%が『評価している』と回答し、『評価していない』の合計は34.2%。介護保険制度を評価している点については、「高齢者の家族の負担を軽減できた」が84.0%と最も高く、次いで「高齢者の負担を軽減できた」、「介護が社会全体の問題として考えられるようになった」、「介護に要する負担を保険制度で担う仕組みができた」の順となっていて、評価できない点については、「事務作業の負担が大きい」が81.5%と最も高く、次いで「介護報酬の設定に問題がある」、「制度が利用者にとってわかりにくい」「介護人材を十分確保できていない」、「高齢者の負担を十分軽減できていない」「介護事業がビジネスとして成り立ちにくい」「制度の先行きに不安がある」の順となっている。

【2】全体まとめ

事業所の運営状況については、令和3年度の総事業収支では、赤字と黒字の事業者数が同数となっている。また、赤字だった事業については、「地域密着型通所介護（利用実員18人以下）」が10.1%と最も高くなっている。

令和3年度の総事業収益については、『見込みを下回った』が最も高くなっており、厳しい結果となっている。見込みを下回った理由としては、利用者数の確保、人件費等の必要経費について挙げている事業者が多くなっている。

事業経営上の問題点については、「職員の確保が難しい」、「収益の確保が困難」、「事務作業量が多い」、「介護報酬が低い」、「職員の資質向上が難しい」、「職員の待遇改善ができない」が多く挙げられている。

今回の調査からは、

- ①継続的な人材の確保・育成、離職の防止
- ②利用者の確保等による経営基盤の強化

などの課題が読み取れる。

野田市 介護保険サービス利用者等実態調査
(介護サービス事業所職員調査)

－ 報告書 －

令和5年 3月
千葉県 野田市

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 調査結果	3
1 基本属性	3
(1) 性別	3
(2) 年齢	3
(3) 専任・兼任状況	4
(4) 介護サービスの種類	5
(5) 職種	6
(6) 職種の通算経験年数	7
(7) 事業所での通算勤務年数	7
(8) 雇用形態	8
(9) 平均労働時間	8
(10) 勤務体制	9
(11) 事業所の職員数	9
2 現在の業務について	10
(1) 事業所を選んだ理由	10
(2) 業務内容の満足度	11
(3) 業務内容に満足している理由	12
(4) 業務内容に不満な理由	13
(5) 仕事に対する理想と現実の差	14
3 職場環境について	15
(1) 上司とのコミュニケーション	15
(2) 他の職員とのコミュニケーション	15
(3) 研修などへの職場の理解	16
(4) 有給休暇の取得状況	16
(5) 有給休暇を希望通り取れない理由	17
4 業務に対する評価や待遇について	18
(1) 公平な評価制度の有無	18
(2) 評価への満足度	18
(3) 賃金の支払形態	19
(4) 給与・賃金の額	19
(5) 給与・賃金の額についての満足度	20
5 仕事に関する不安や今後のことについて	21
(1) 仕事のストレスの有無	21
(2) ストレスを感じる原因	22
(3) 仕事に関して不安を感じること	23
(4) 現在の事業所での就労継続意向	24

（５）現在の事業所で仕事を続けたくないと思う理由	25
（６）現在の職種での就労継続意向.....	26
（７）現在の職種で仕事を続けたくないと思う理由.....	27
Ⅲ 調査結果・まとめ	29
【１】項目別まとめ	29
【２】全体まとめ	30

I 調査の概要

【調査の目的】

「野田市シルバープラン（野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画）第9期計画」の策定に向けて、介護保険サービス提供事業所の職員におけるサービス提供の現状や、介護保険制度についての意識等を把握し、今後の高齢者福祉施策に活用することを目的として実施した。

【調査対象】

介護保険サービス提供事業所の職員

【調査方法】

郵送配布・回収

【調査期間】

令和4年（2022年）10月

【回収結果】

配布数	1,000人
有効回収数	492人
有効回収率	49.2%

【報告書の見方について】

- （1）集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- （2）2つ以上の回答を可能とした設問（複数回答）の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- （3）図表中に示すnは、比率算出上の基数（標本数）である。
- （4）この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。



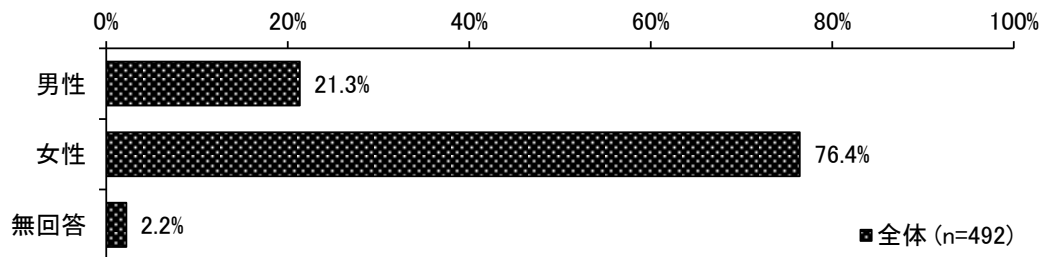
Ⅱ 調査結果

1 基本属性

(1) 性別

問1(1) あなたの性別はどちらですか。(☑は1つ)

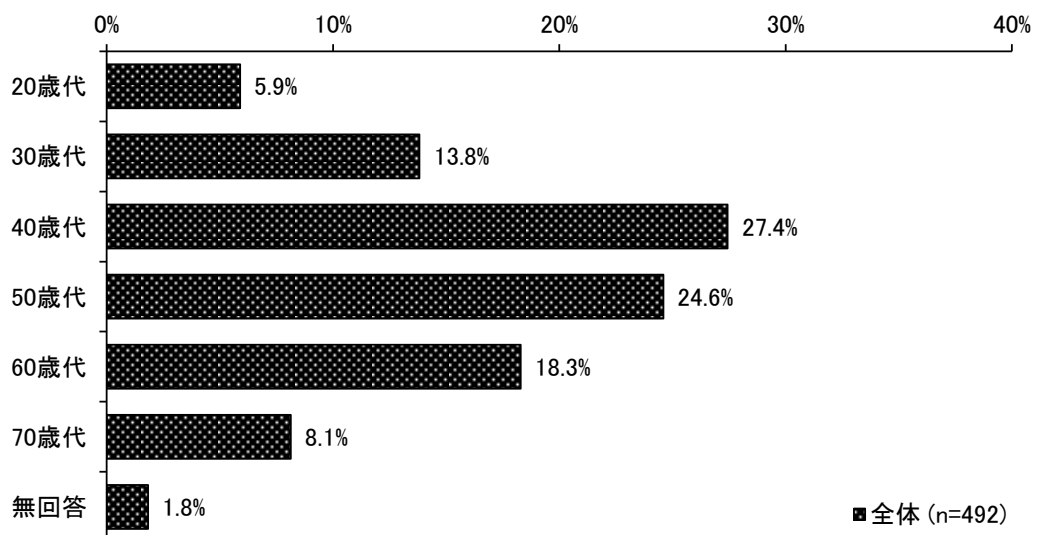
性別については、「男性」が21.3%、「女性」が76.4%となっています。



(2) 年齢

問1(2) あなたの年齢はおいくつですか。令和4年10月1日時点の満年齢をお書きください。

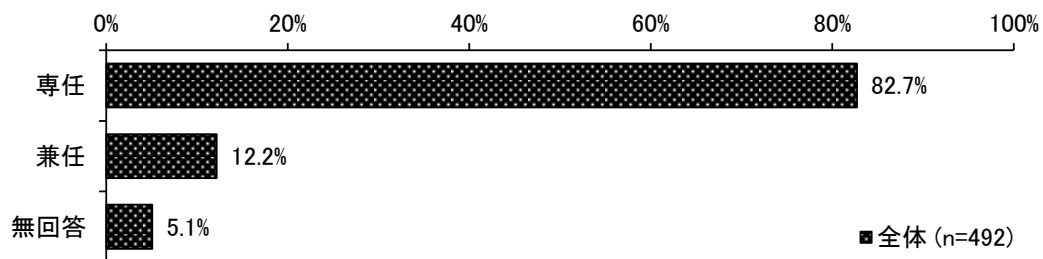
年齢については、「40歳代」の割合が27.4%と最も高く、次いで「50歳代」(24.6%)、「60歳代」(18.3%)の順となっています。



(3) 専任・兼任状況

問1(3) 調査対象の事業所では、専任で働いていますか。(☑は1つ)

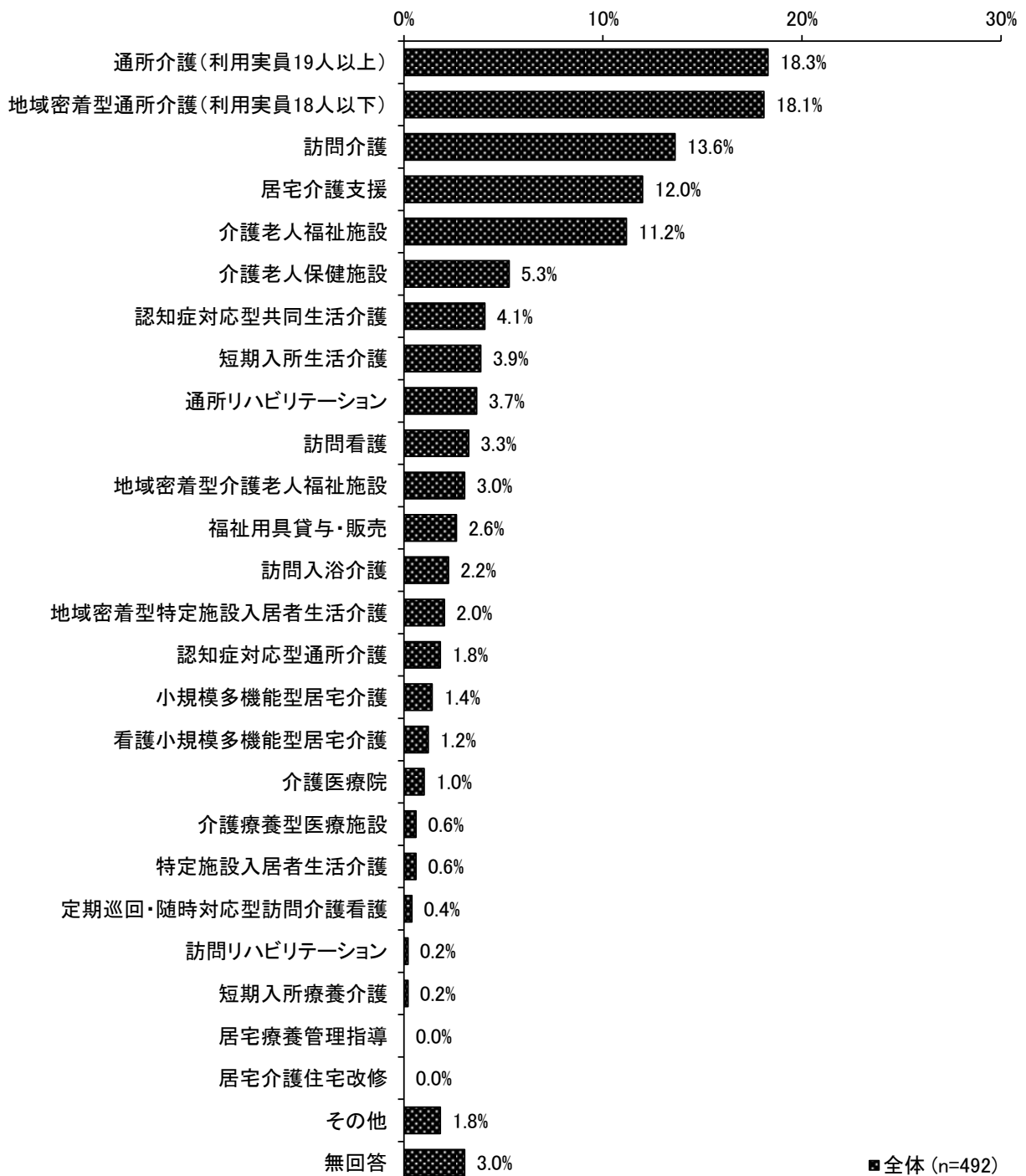
専任・兼任状況については、「専任」が82.7%、「兼任」が12.2%となっています。



(4) 介護サービスの種類

問1(4) あなたが従事している介護サービスの種類は、次のうちどれですか。
(あてはまるものすべてに☑)

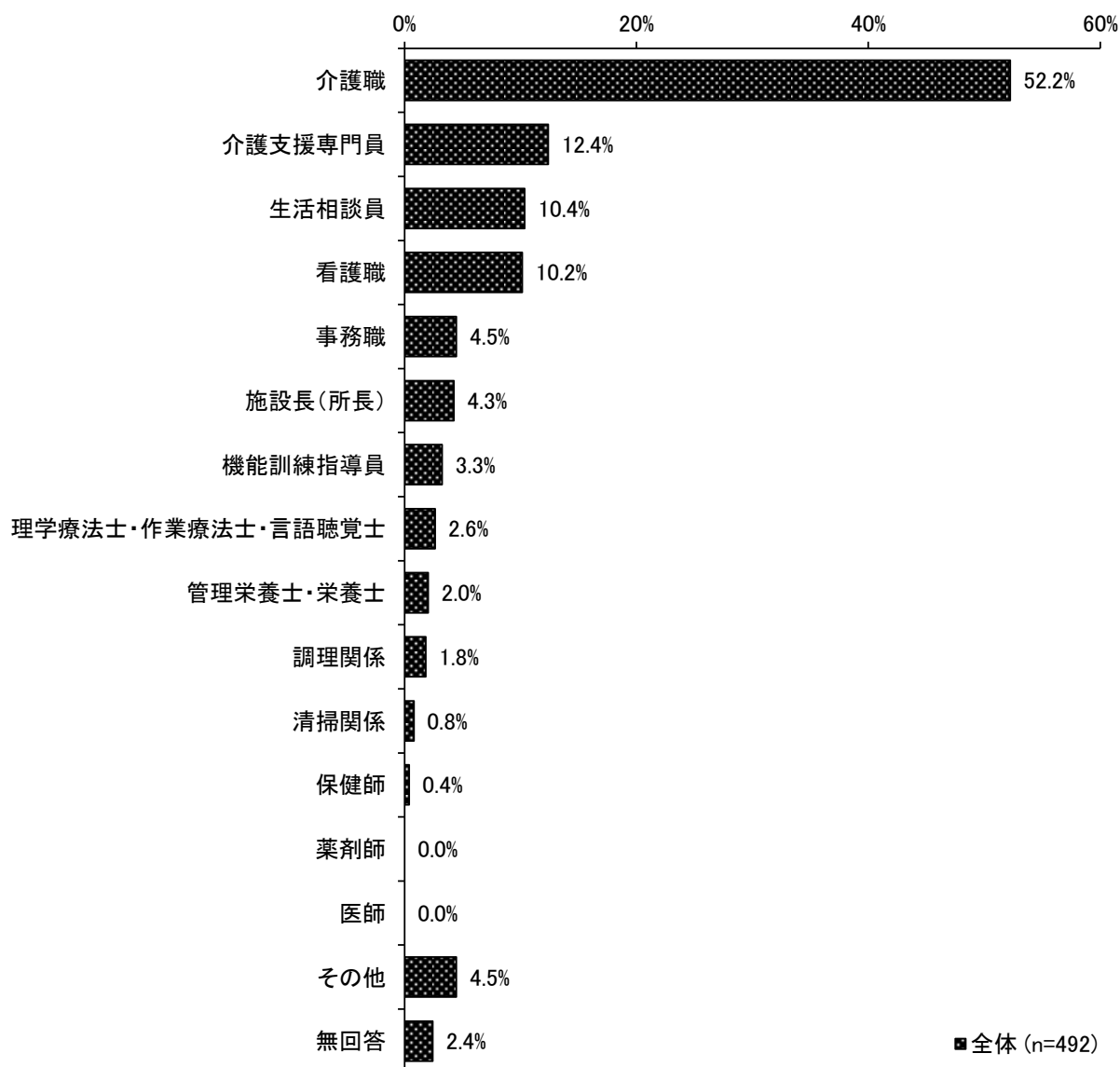
介護サービスの種類については、「通所介護（利用実員 19 人以上）」の割合が 18.3%と最も高く、次いで「地域密着型通所介護（利用実員 18 人以下）」(18.1%)、「訪問介護」(13.6%)、「居宅介護支援」(12.0%)の順となっています。



(5) 職種

問1(5) あなたの職種をお聞きます。(あてはまるものすべてに☑)

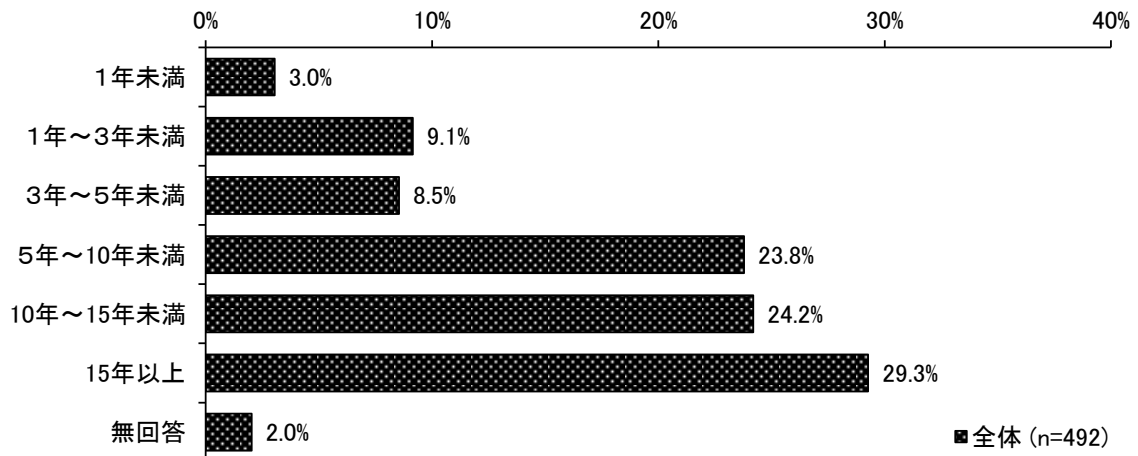
職種については、「介護職」の割合が52.2%と最も高く、次いで「介護支援専門員」(12.4%)、「生活相談員」(10.4%)の順となっています。



(6) 職種の通算経験年数

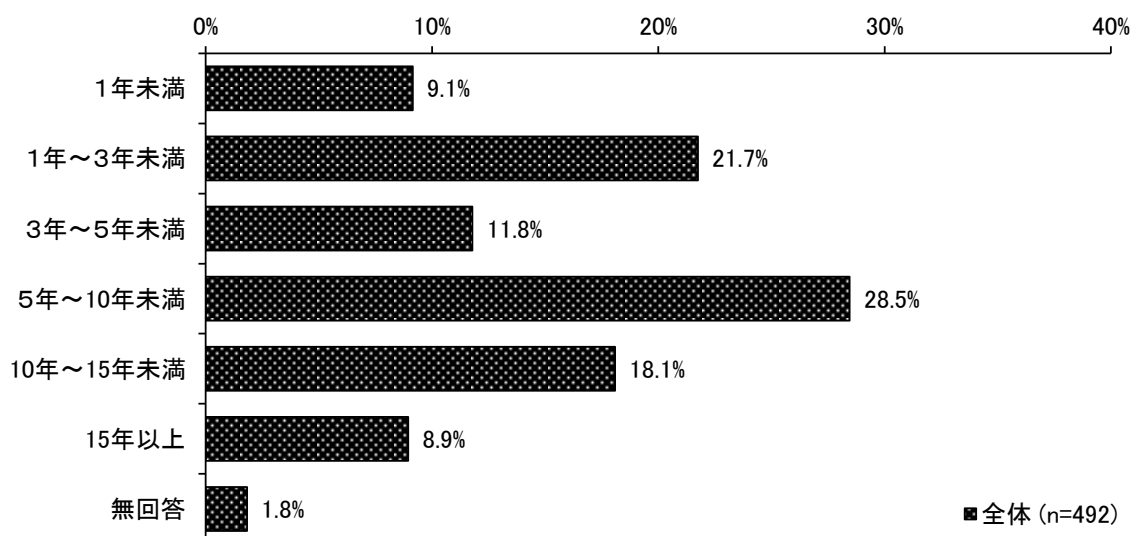
問1(6) 【問1(5)】でお答えいただいた職種の、通算経験年数をお聞きます。
(☑は1つ)

職種の通算経験年数については、「15年以上」の割合が29.3%と最も高く、次いで「10年～15年未満」(24.2%)、「5年～10年未満」(23.8%)、「1年～3年未満」(9.1%)の順となっています。

**(7) 事業所での通算勤務年数**

問1(7) 調査対象の事業所での、通算勤務年数をお聞きます。(☑は1つ)

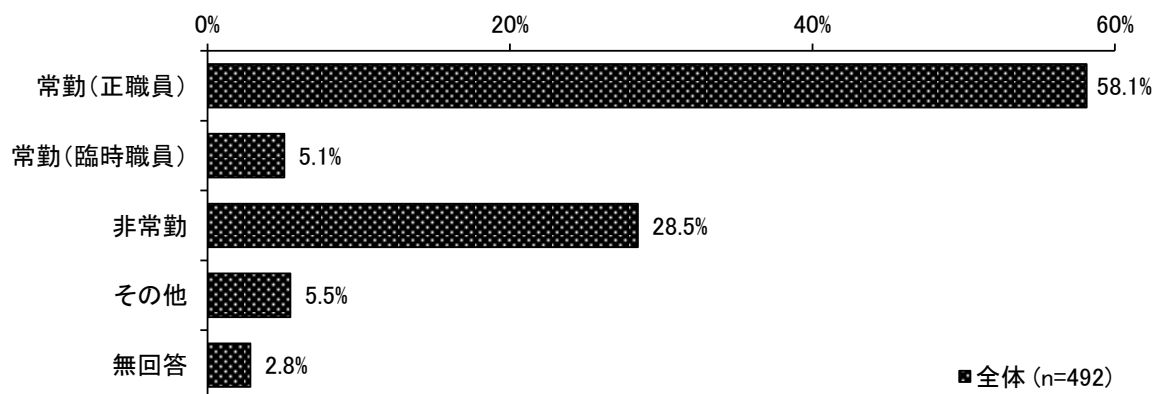
事業所での通算勤務年数については、「5年～10年未満」の割合が28.5%と最も高く、次いで「1年～3年未満」(21.7%)、「10年～15年未満」(18.1%)の順となっています。



(8) 雇用形態

問1(8) 調査対象の事業所での、あなたの雇用形態をお聞きします。(☑は1つ)

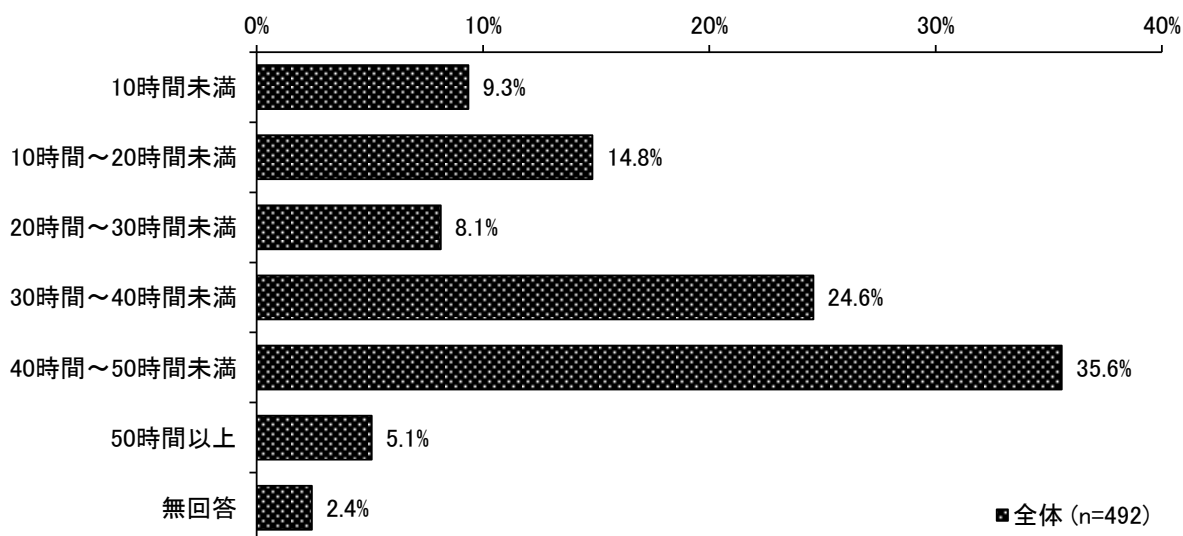
雇用形態については、「常勤(正職員)」の割合が58.1%と最も高く、次いで「非常勤」(28.5%)の順となっています。



(9) 平均労働時間

問1(9) あなたの1週間の平均労働時間をお聞きします。(☑は1つ)

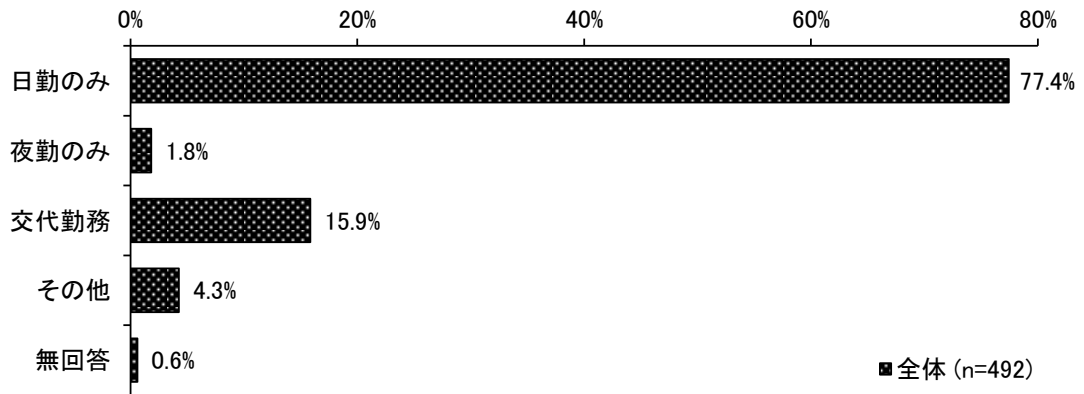
平均労働時間については、「40時間～50時間未満」の割合が35.6%と最も高く、次いで「30時間～40時間未満」(24.6%)、「10時間～20時間未満」(14.8%)の順となっています。



(10) 勤務体制

問 1 (10) 調査対象の事業所での、あなたの勤務体制をお聞きます。(☑は1つ)

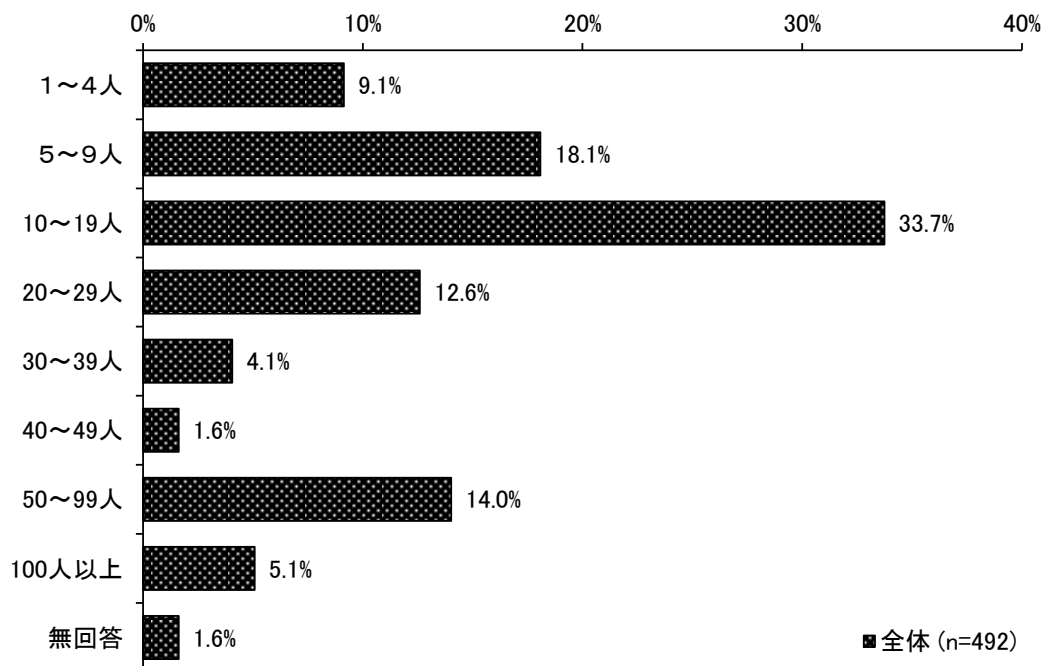
勤務体制については、「日勤のみ」の割合が77.4%と最も高く、次いで「交代勤務」(15.9%)の順となっています。



(11) 事業所の職員数

問 1 (11) 調査対象の事業所では、おおよそ何人くらいの職員（常勤・非常勤とも）が勤務していますか。(☑は1つ)

事業所の職員数については、「10～19人」の割合が33.7%と最も高く、次いで「5～9人」(18.1%)、「50～99人」(14.0%)、「20～29人」(12.6%)の順となっています。

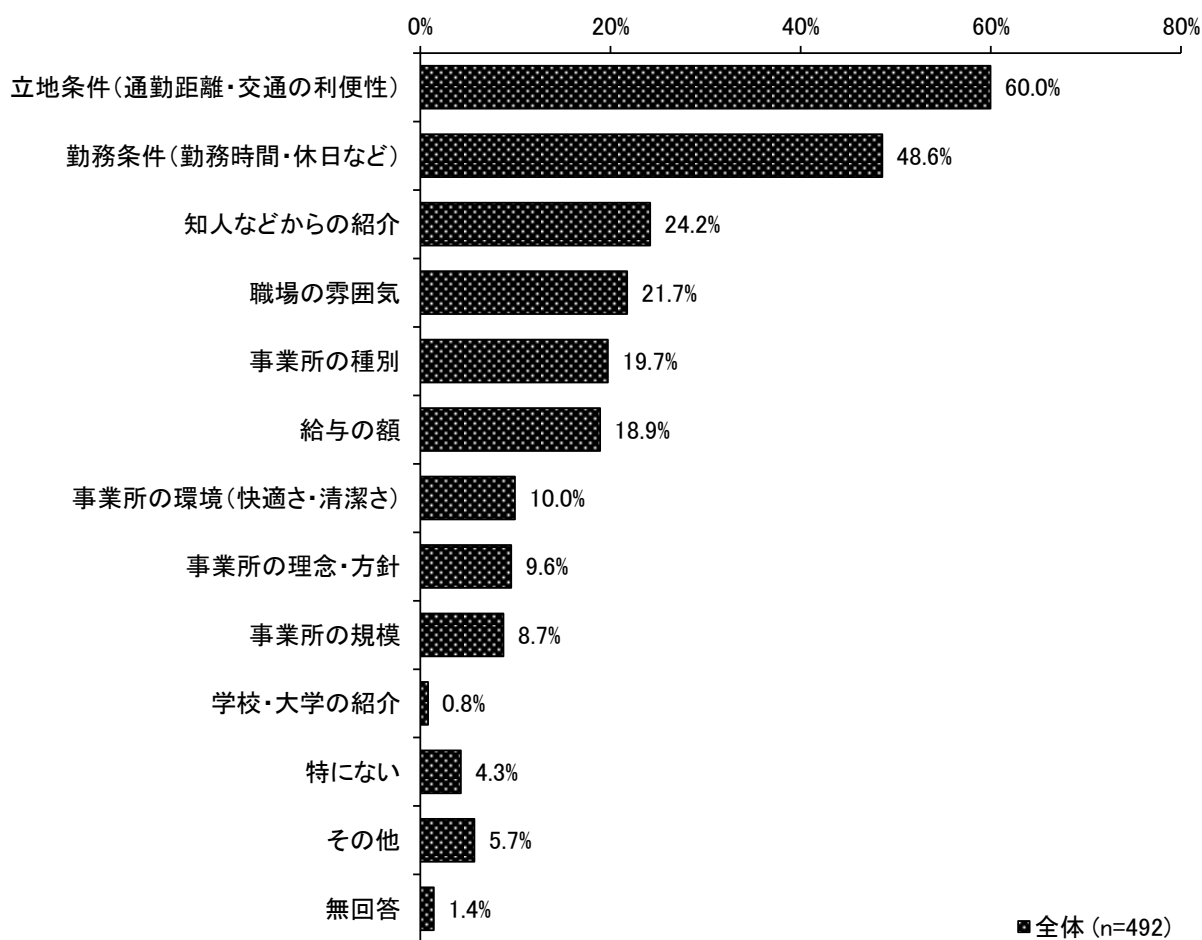


2 現在の業務について

(1) 事業所を選んだ理由

問2(1) あなたが現在の事業所を選んだ理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに☑)

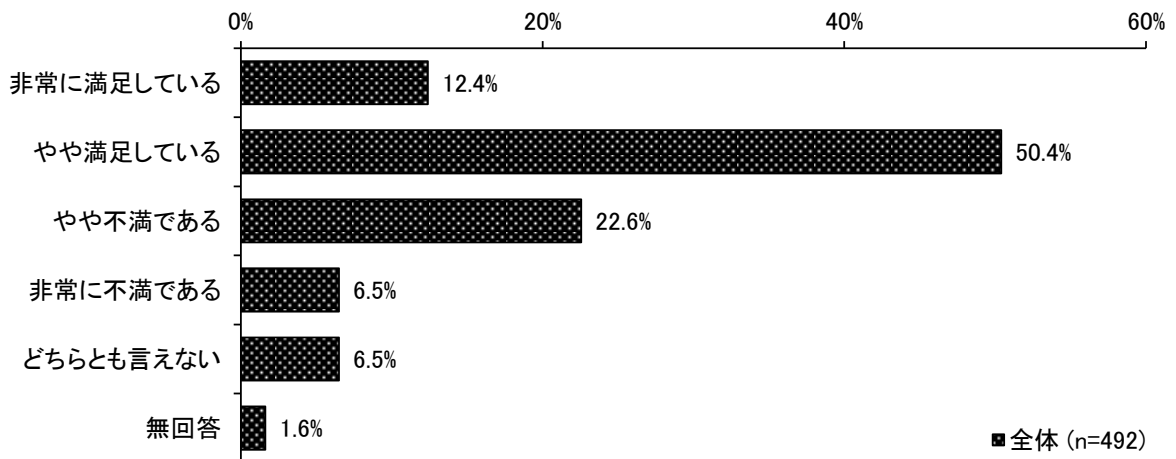
事業所を選んだ理由については、「立地条件(通勤距離・交通の利便性)」の割合が60.0%と最も高く、次いで「勤務条件(勤務時間・休日など)」(48.6%)、「知人などからの紹介」(24.2%)、「職場の雰囲気」(21.7%)の順となっています。



(2) 業務内容の満足度

問2(2) あなたは、現在の業務内容に満足していますか。(☑は1つ)

業務内容の満足度については、「やや満足している」の割合が50.4%と最も高く、「非常に満足している」(12.4%)を合計すると62.8%が『満足』と回答しています。一方、「やや不満である」(22.6%)、「非常に不満である」(6.5%)の合計は29.1%となっています。

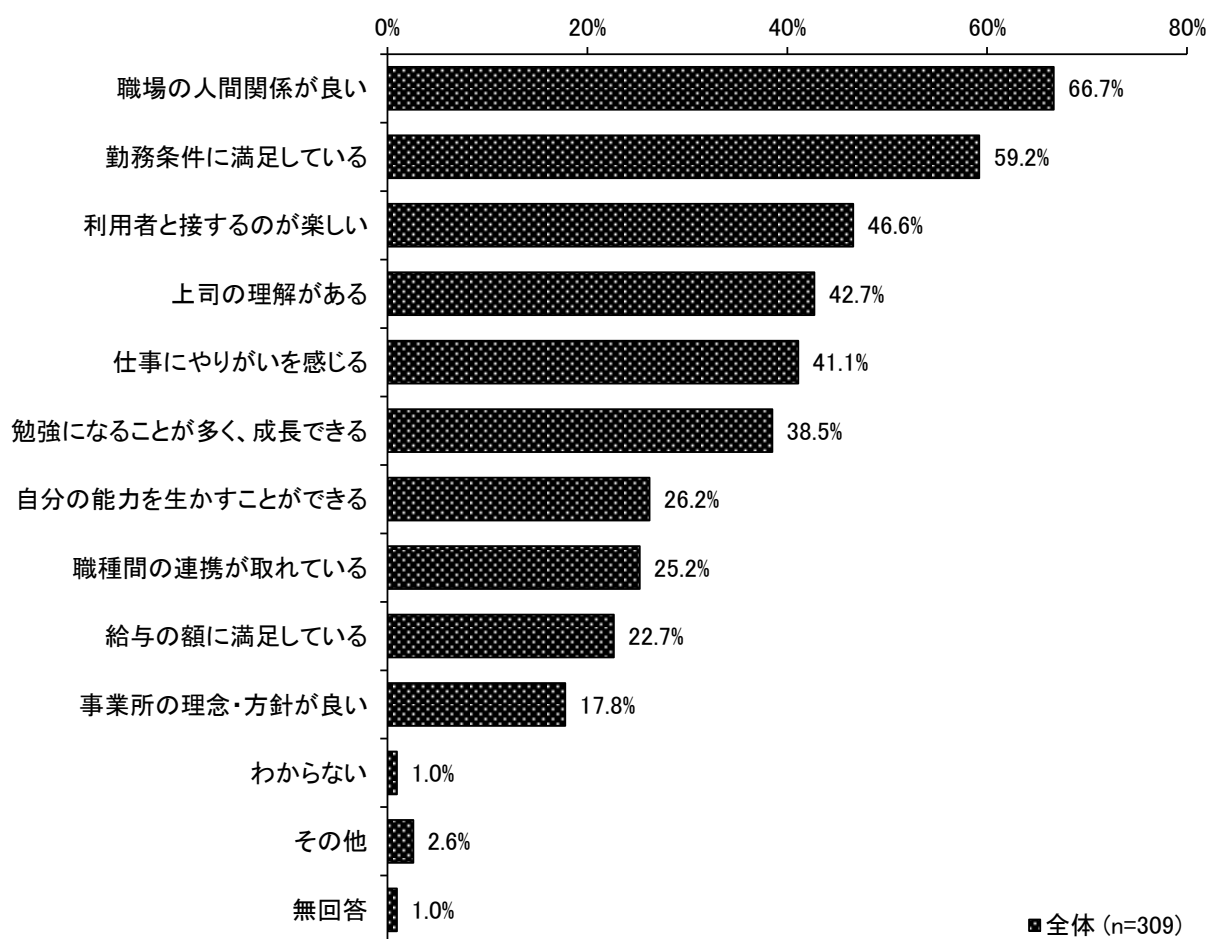


(3) 業務内容に満足している理由

【問2(2)で「非常に満足している」、「やや満足している」と回答した方にお聞きします。】

問2(3) どのような点で満足していますか。(あてはまるものすべてに☑)

業務内容に満足している理由については、「職場の人間関係が良い」の割合が66.7%と最も高く、次いで「勤務条件に満足している」(59.2%)、「利用者と接するのが楽しい」(46.6%)、「上司の理解がある」(42.7%)、「仕事にやりがいを感じる」(41.1%)、「勉強になることが多く、成長できる」(38.5%)の順となっています。

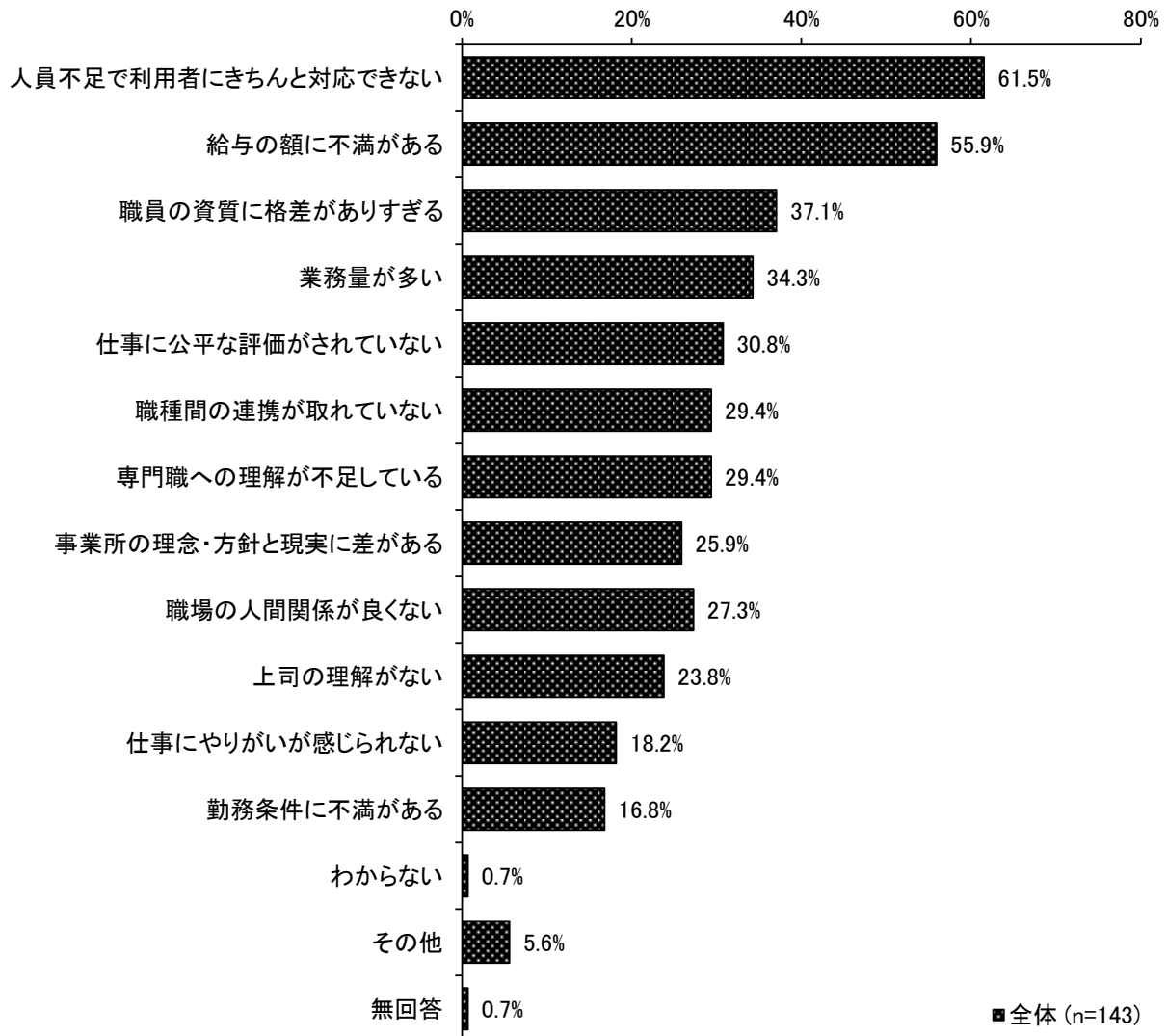


(4) 業務内容に不満な理由

【問2(2)で「やや不満である」、「非常に不満である」と回答した方にお聞きします。】

問2(4) どのような点を不満に思いますか。(あてはまるものすべてに☑)

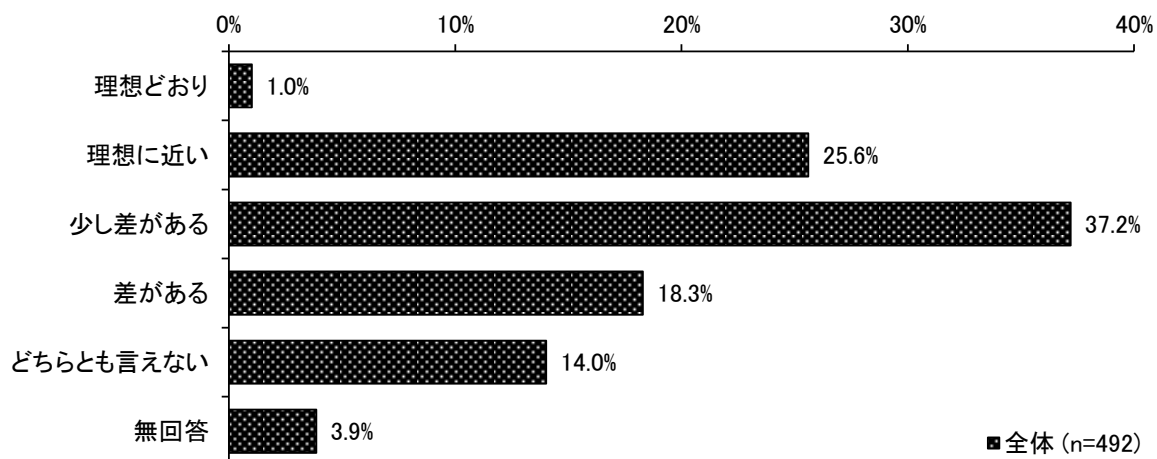
業務内容に不満な理由については、「人員不足で利用者にきちんと対応できない」の割合が61.5%と最も高く、次いで「給与の額に不満がある」(55.9%)、「職員の資質に格差がありすぎる」(37.1%)、「業務量が多い」(34.3%)の順となっています。



(5) 仕事に対する理想と現実の差

問2 (5) あなたには、自分の仕事に対する理想と現実には差がありますか。
(☑は1つ)

仕事に対する理想と現実の差については、「少し差がある」の割合が37.2%と最も高く、次いで「理想に近い」(25.6%)、「差がある」(18.3%)の順となっています。

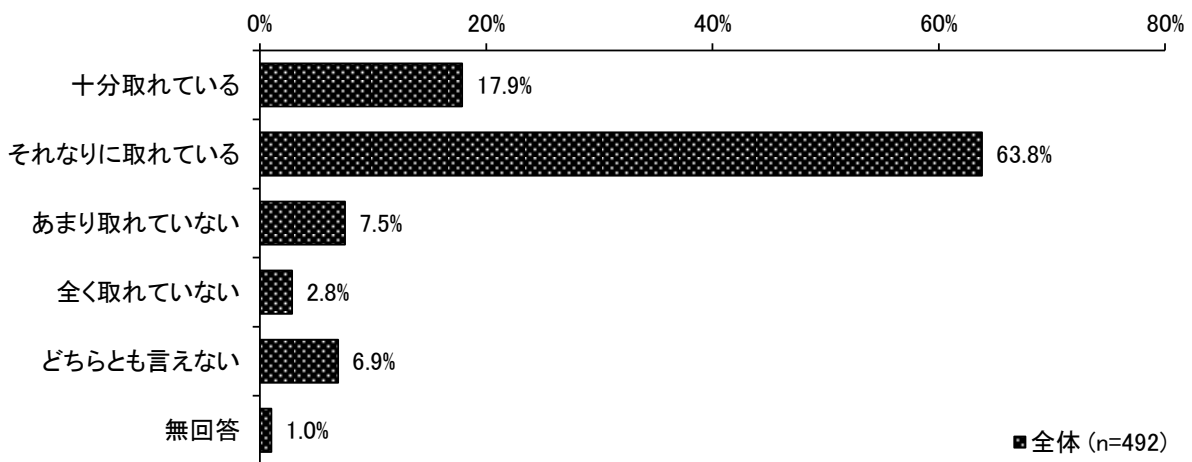


3 職場環境について

(1) 上司とのコミュニケーション

問3 (1) あなたは、職場の上司とのコミュニケーションが取れていると思いますか。(☑は1つ)

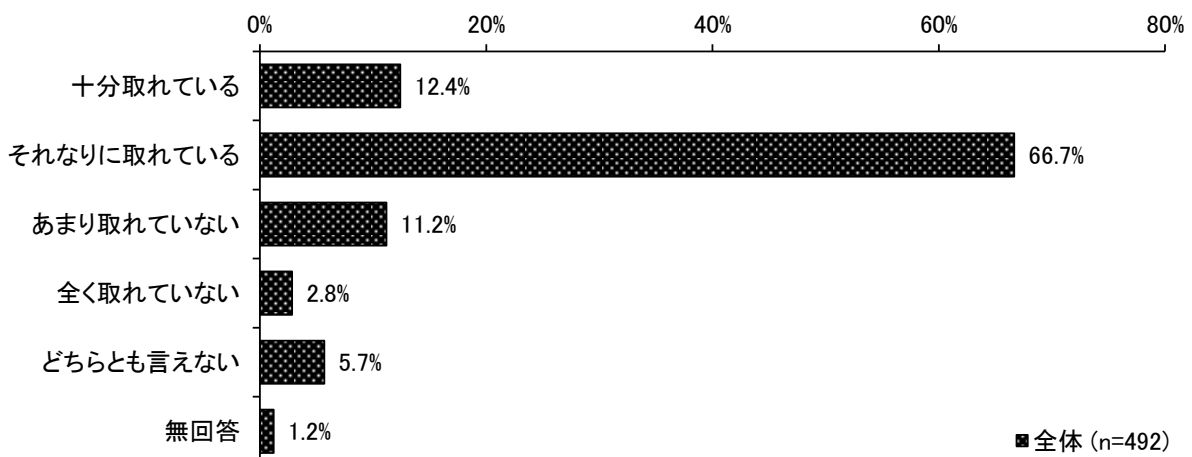
上司とのコミュニケーションについては、「それなりに取れている」の割合が63.8%と最も高く、「十分取れている」(17.9%)を合計すると81.7%が『取れている』と回答しています。一方、「あまり取れていない」(7.5%)、「全く取れていない」(2.8%)の合計は10.3%となっています。



(2) 他の職員とのコミュニケーション

問3 (2) あなたは、職場の他の職種の職員とコミュニケーションが取れていると思いますか。(☑は1つ)

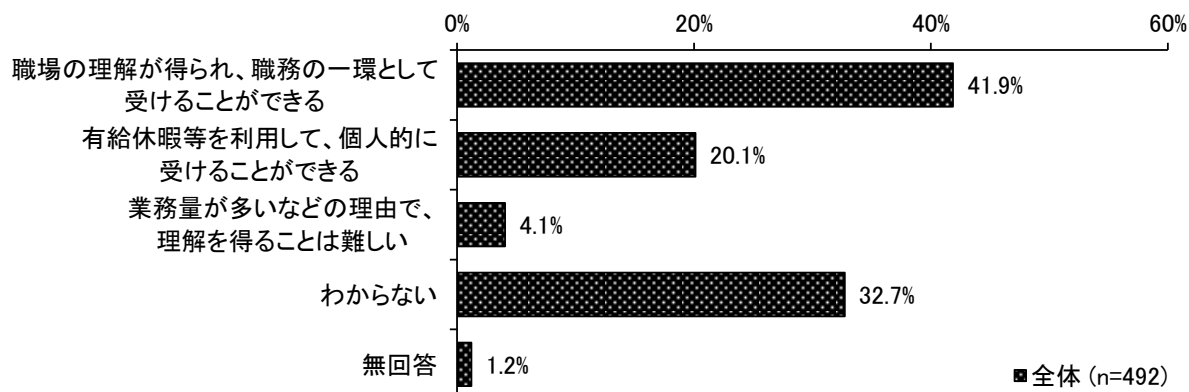
他の職員とのコミュニケーションについては、「それなりに取れている」の割合が66.7%と最も高く、「十分取れている」(12.4%)を合計すると79.1%が『取れている』と回答しています。一方、「あまり取れていない」(11.2%)、「全く取れていない」(2.8%)の合計は14.0%となっています。



(3) 研修などへの職場の理解

問3 (3) あなたが自主的に外部研修などを受ける場合、職場の理解は得られますか。(☑は1つ)

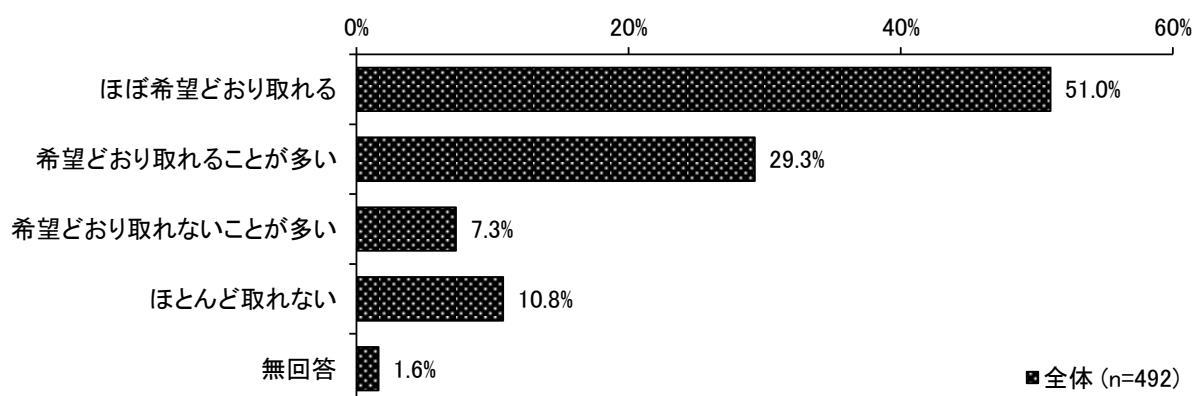
研修などへの職場の理解については、「職場の理解が得られ、職務の一環として受けることができる」の割合が41.9%と最も高く、次いで「わからない」(32.7%)、「有給休暇等を利用して、個人的に受けることができる」(20.1%)、「業務量が多いなどの理由で、理解を得ることは難しい」(4.1%)の順となっています。



(4) 有給休暇の取得状況

問3 (4) あなたは、希望どおり有給休暇を取ることができますか。(☑は1つ)

有給休暇の取得状況については、「ほぼ希望どおり取れる」の割合が51.0%と最も高く、次いで「希望どおり取れることが多い」(29.3%)、「ほとんど取れない」(10.8%)、「希望どおり取れないことが多い」(7.3%)の順となっています。

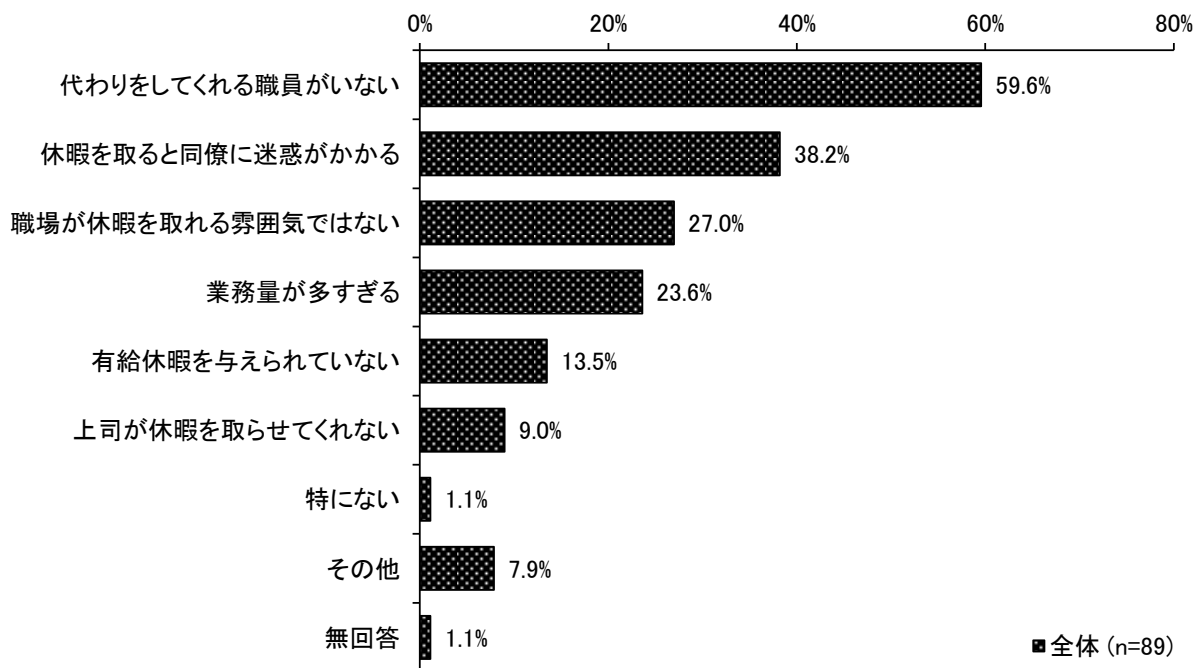


(5) 有給休暇を希望通り取れない理由

【問3(4)で「希望どおり取れないことが多い」、「ほとんど取れない」と回答した方にお聞きします。】

問3(5) 有給休暇を希望どおり取れない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに☑)

有給休暇を希望通り取れない理由については、「代わりをしてくれる職員がいない」の割合が59.6%と最も高く、次いで「休暇を取ると同僚に迷惑がかかる」(38.2%)、「職場が休暇を取れる雰囲気ではない」(27.0%)の順となっています。

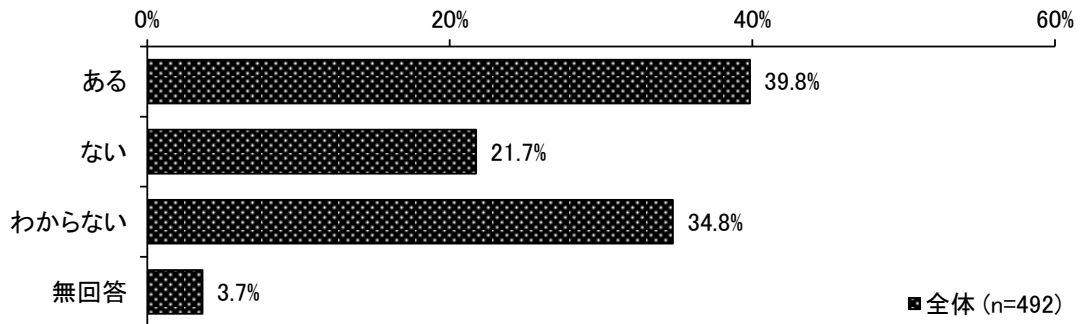


4 業務に対する評価や待遇について

(1) 公平な評価制度の有無

問4(1) あなたの職場では、業務に関して公平な評価が行われる制度（人事考課など）はありますか。（☑は1つ）

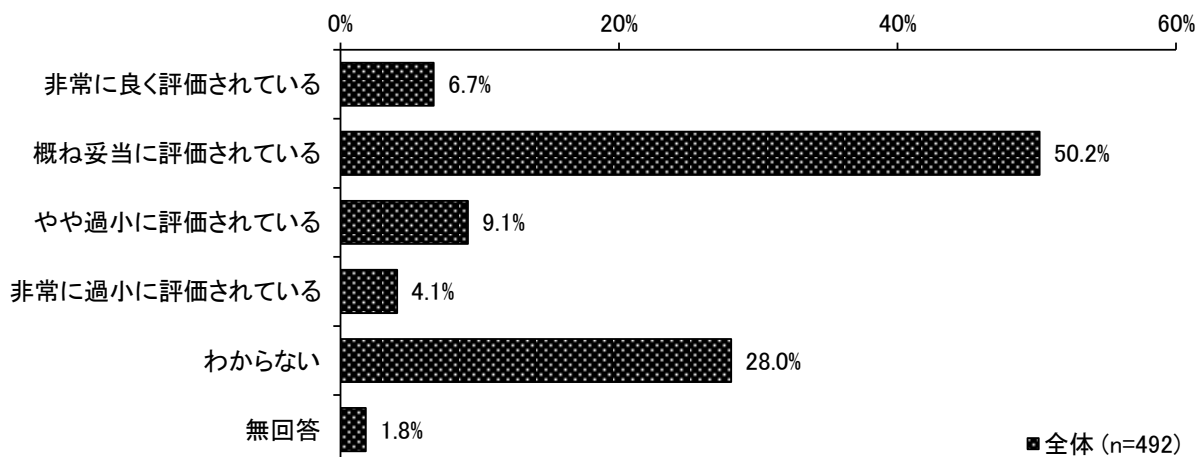
公平な評価制度の有無については、「ある」の割合が39.8%と最も高く、次いで「わからない」(34.8%)、「ない」(21.7%)の順となっています。



(2) 評価への満足度

問4(2) あなたの業務に対する評価をどのように感じていますか。（☑は1つ）

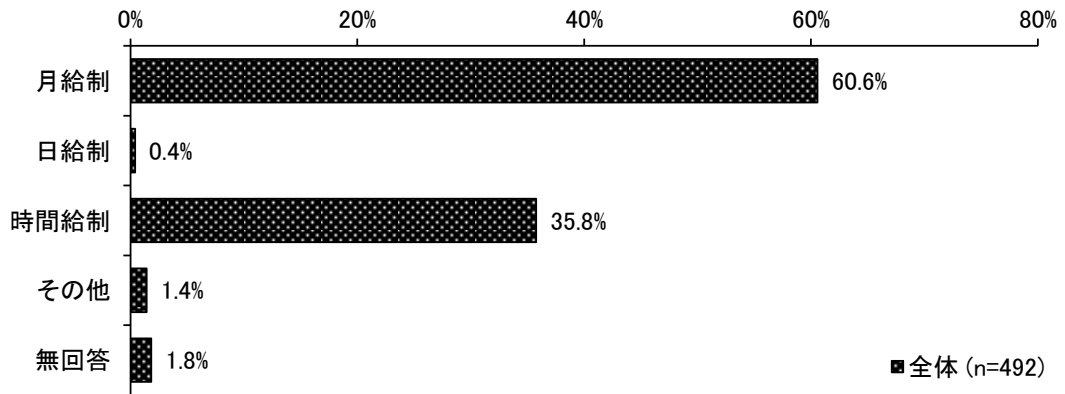
評価への満足度については、「概ね妥当に評価されている」の割合が50.2%と最も高く、次いで「わからない」(28.0%)、「やや過小に評価されている」(9.1%)の順となっています。



(3) 賃金の支払形態

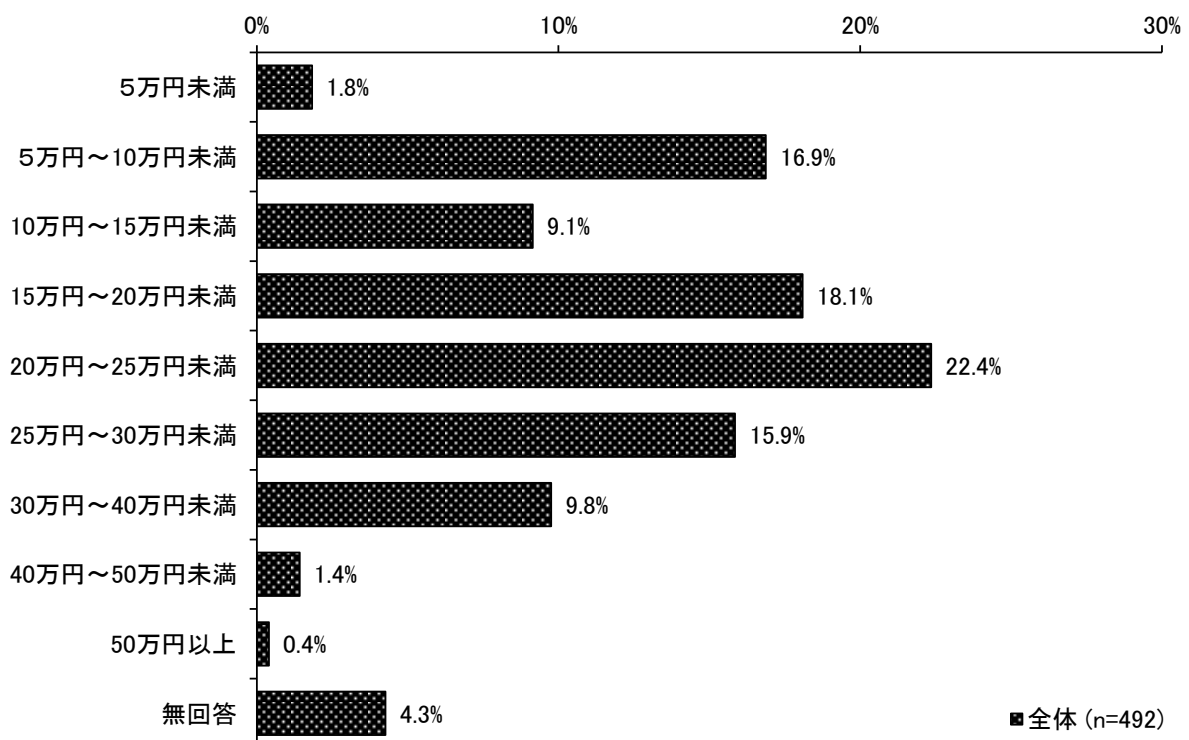
問4(3) 事業所から受け取る賃金の支払形態をお聞きます。(☑は1つ)

賃金の支払形態については、「月給制」の割合が60.6%と最も高く、次いで「時間給制」(35.8%)の順となっています。

**(4) 給与・賃金の額**

問4(4) 差し支えなければ、現在支給されている給与・賃金の額(月額【諸手当・税込】)をお答えください。(☑は1つ)

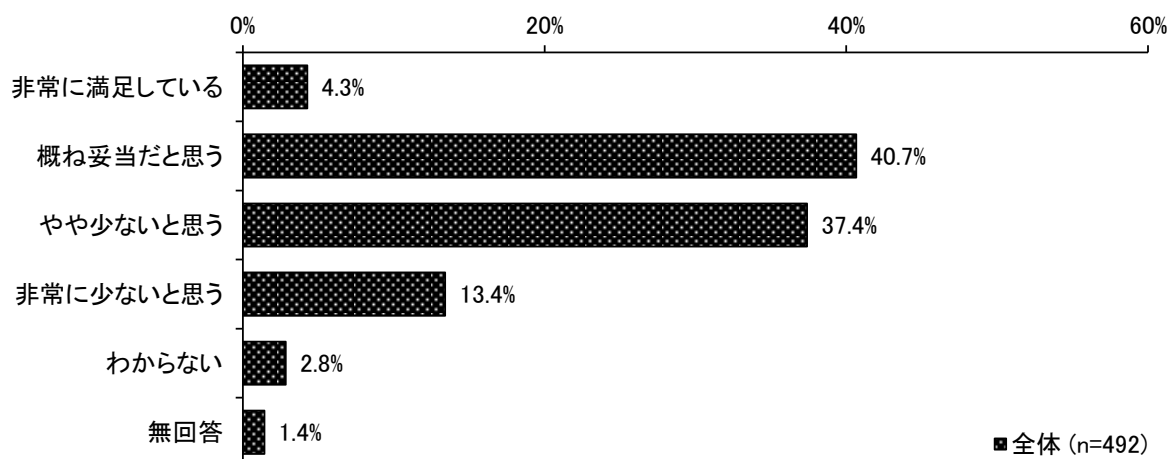
給与・賃金の額については、「20万円～25万円未満」の割合が22.4%と最も高く、次いで「15万円～20万円未満」(18.1%)、「5万円～10万円未満」(16.9%)の順となっています。



(5) 給与・賃金の額についての満足度

問4(5) あなたは、現在支給されている給与・賃金の額について、どのように感じていますか。(☑は1つ)

給与・賃金の額についての満足度については、「概ね妥当だと思う」の割合が40.7%と最も高く、次いで「やや少ないと思う」(37.4%)、「非常に少ないと思う」(13.4%)の順となっています。

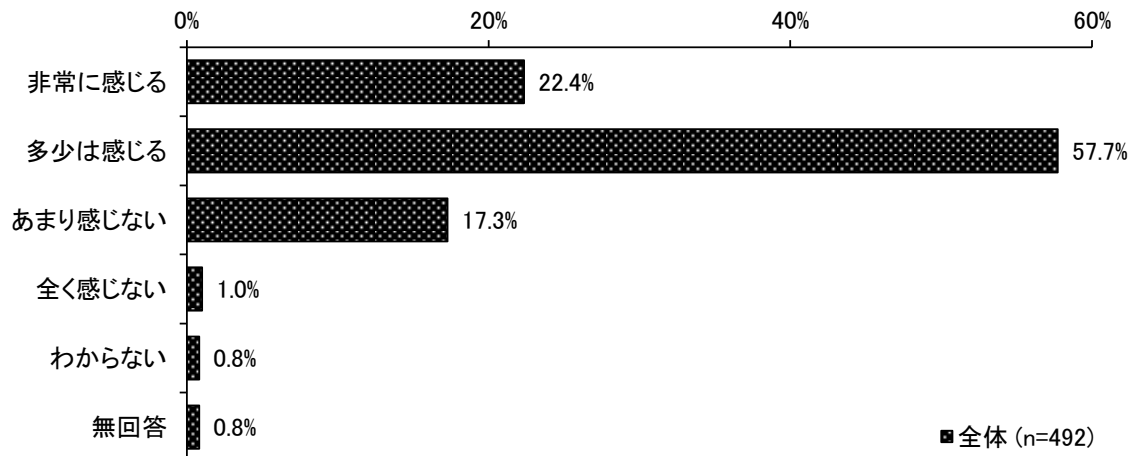


5 仕事に関する不安や今後のことについて

(1) 仕事のストレスの有無

問5(1) あなたは、仕事にストレスを感じることがありますか。(☑は1つ)

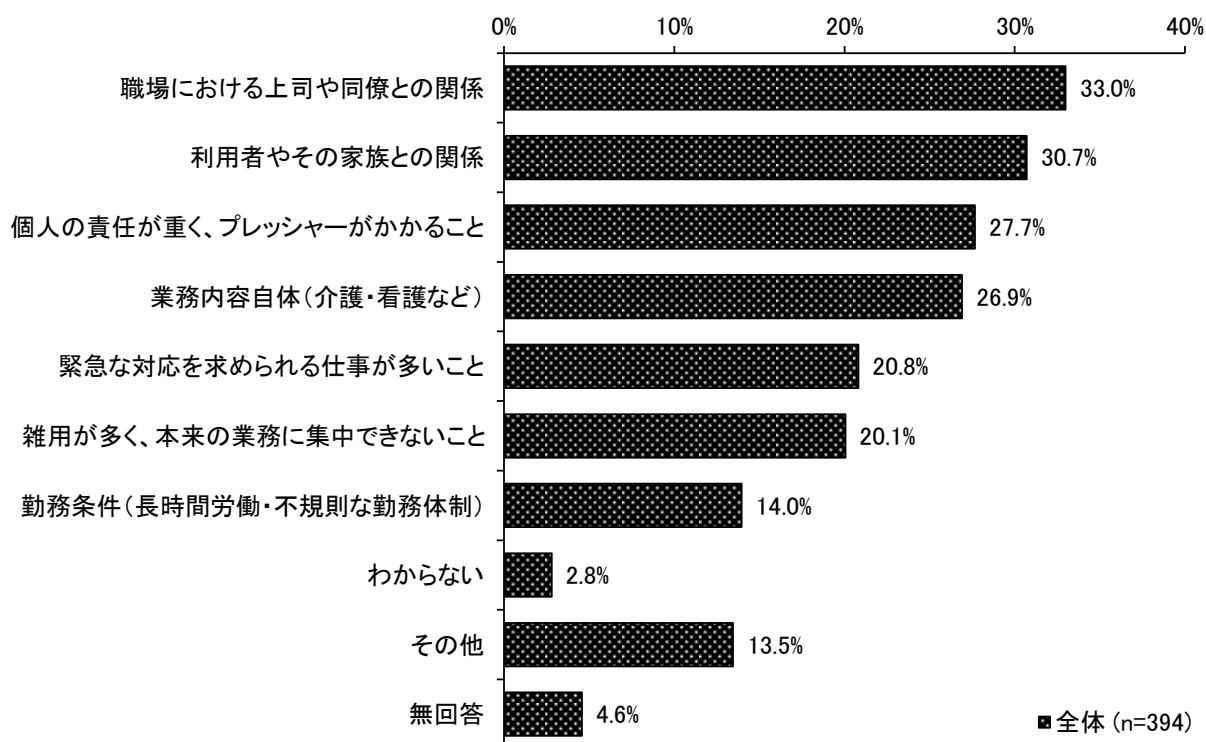
仕事のストレスの有無については、「多少は感じる」の割合が57.7%と最も高く、「非常に感じる」(22.4%)を合計すると80.1%が『感じる』と回答しています。一方、「あまり感じない」(17.3%)、「全く感じない」(1.0%)の合計は18.3%となっています。



(2) ストレスを感じる原因

【問5(1)で「非常に感じる」、「多少は感じる」と回答した方にお聞きします。】
問5(2) あなたがストレスを感じる原因は何ですか。
(あてはまるものすべてに☑)

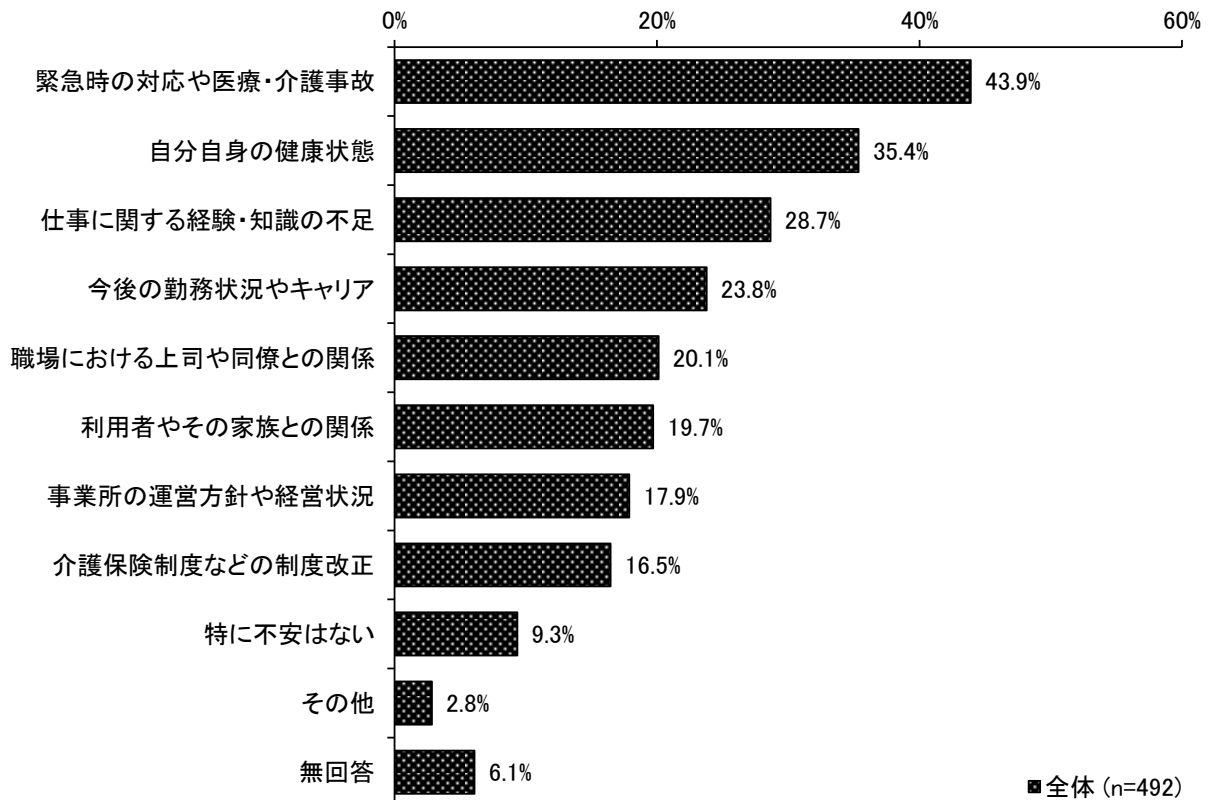
ストレスを感じる原因については、「職場における上司や同僚との関係」の割合が33.0%と最も高く、次いで「利用者やその家族との関係」(30.7%)、「個人の責任が重く、プレッシャーがかかること」(27.7%)、「業務内容自体(介護・看護など)」(26.9%)の順となっています。



(3) 仕事に関して不安を感じること

問5(3) あなたには、仕事に関して不安を感じることはありますか。
(あてはまるものすべてに☑)

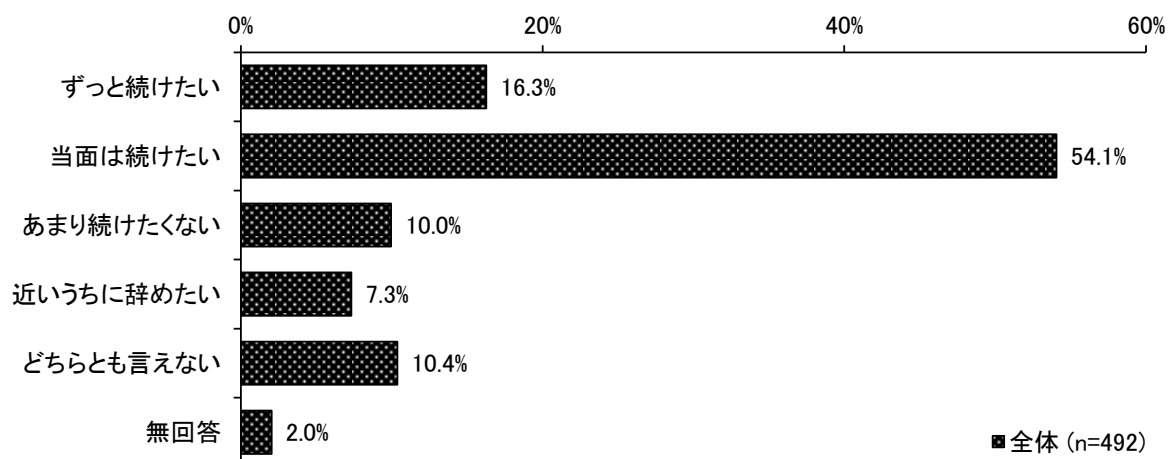
仕事に関して不安を感じることについては、「緊急時の対応や医療・介護事故」の割合が43.9%と最も高く、次いで「自分自身の健康状態」(35.4%)、「仕事に関する経験・知識の不足」(28.7%)、「今後の勤務状況やキャリア」(23.8%)の順となっています。



(4) 現在の事業所での就労継続意向

問5(4) あなたは、今後も現在の事業所で仕事を続けたいと思いますか。
(☑は1つ)

現在の事業所での就労継続意向については、「当面は続けたい」の割合が54.1%と最も高く、次いで「ずっと続けたい」(16.3%)、「どちらとも言えない」(10.4%)の順となっています。

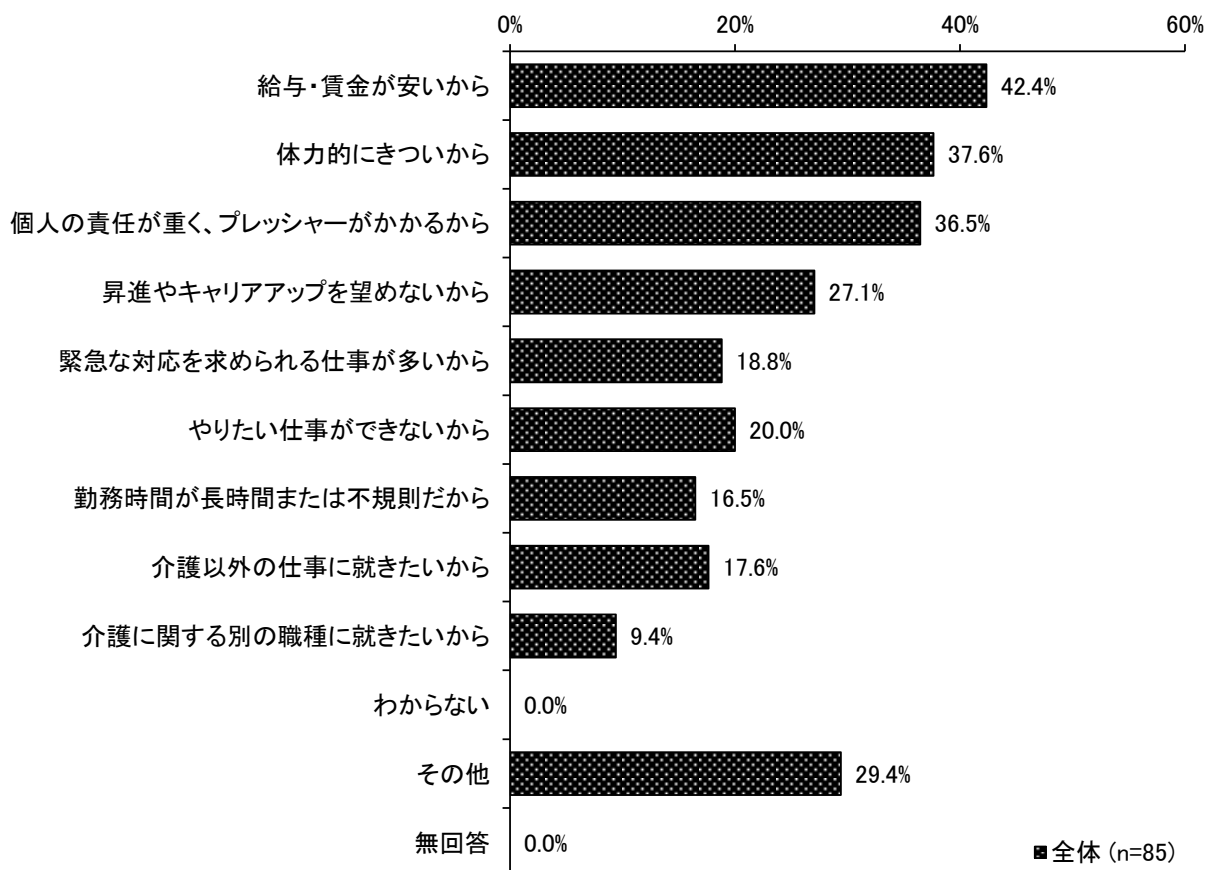


(5) 現在の事業所で仕事を続けたくないと思う理由

【問5(4)で「あまり続けたくない」、「近いうちに辞めたい」と回答した方にお聞きします。】

問5(5) 現在の事業所で仕事を続けたくないと思う理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに☑)

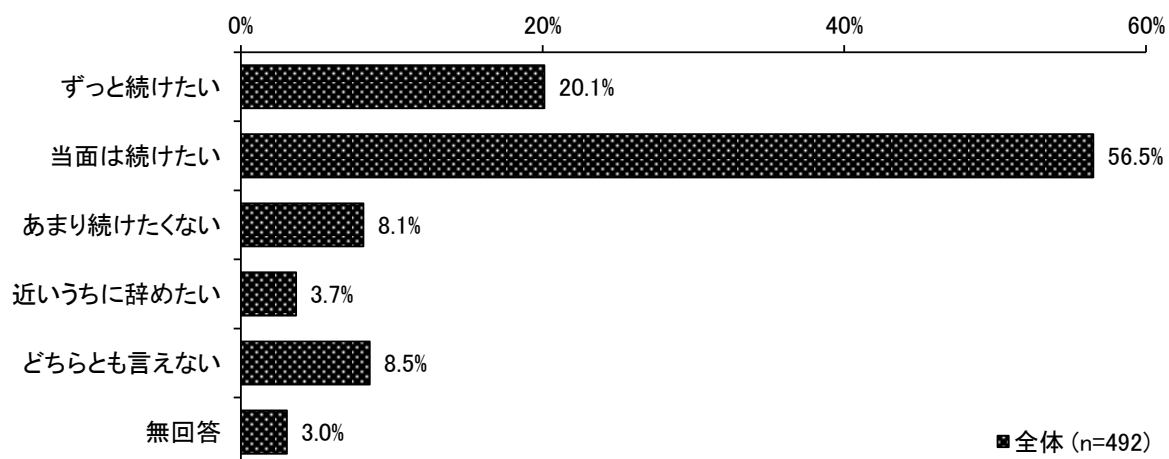
現在の事業所で仕事を続けたくないと思う理由については、「給与・賃金が安いから」の割合が42.4%と最も高く、次いで「体力的にきついから」(37.6%)、「個人の責任が重く、プレッシャーがかかるから」(36.5%)の順となっています。



(6) 現在の職種での就労継続意向

問5(6) あなたは、今後も現在の職種で仕事を続けたいと思いますか。(☑は1つ)

現在の職種での就労継続意向については、「当面は続けたい」の割合が56.5%と最も高く、次いで「ずっと続けたい」(20.1%)、「どちらとも言えない」(8.5%)の順となっています。

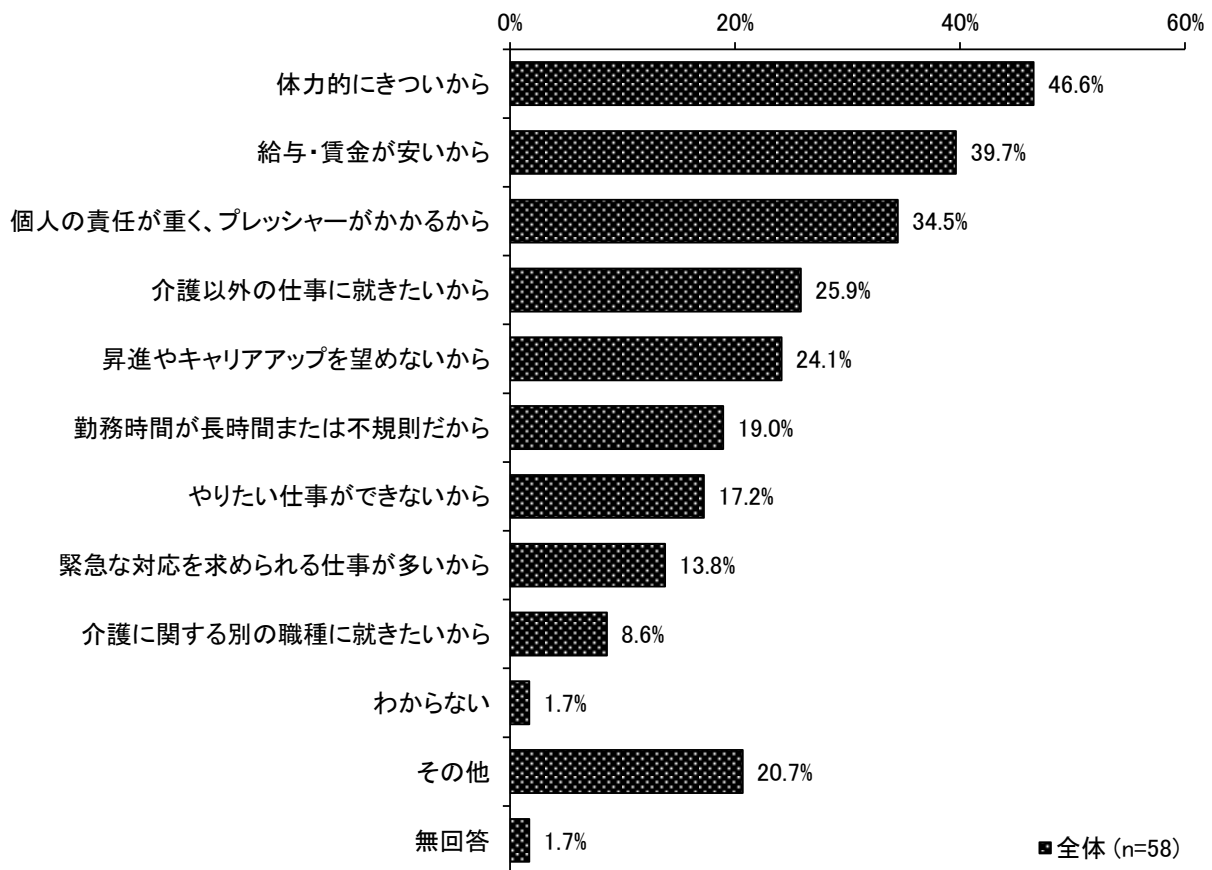


(7) 現在の職種で仕事を続けたくないと思う理由

【問5(6)で「あまり続けたくない」、「近いうちに辞めたい」と回答した方にお聞きします。】

問5(7) 現在の職種で仕事を続けたくないと思う理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに☑)

現在の職種で仕事を続けたくないと思う理由については、「体力的にきついから」の割合が46.6%と最も高く、次いで「給与・賃金が安いから」(39.7%)、「個人の責任が重く、プレッシャーがかかるから」(34.5%)、「介護以外の仕事に就きたいから」(25.9%)の順となっています。





Ⅲ 調査結果・まとめ

【1】項目別まとめ

1 基本属性

性別は「男性」が21.3%、「女性」が76.4%。年齢は「40歳代」が27.4%と最も高く、次いで「50歳代」、「60歳代」の順となっている。

職種は「介護職」が52.2%と最も高く、次いで「介護支援専門員」、「生活相談員」の順となっている。職種の通算経験年数は、「15年以上」が29.3%と最も高く、次いで「10年～15年未満」、「5年～10年未満」、「1年～3年未満」の順となっていて、事業所での通算勤務年数は、「5年～10年未満」が28.5%と最も高く、次いで「1年～3年未満」、「10年～15年未満」となっている。

雇用形態は、「常勤（正職員）」が58.1%と最も高く、次いで「非常勤」が28.5%の順となっている。平均労働時間は、「40時間～50時間未満」が35.6%と最も高く、次いで「30時間～40時間未満」、「10時間～20時間未満」の順となっている。

2 現在の業務について

事業所を選んだ理由については、「立地条件（通勤距離・交通の利便性）」が60.0%と最も高く、次いで「勤務条件（勤務時間・休日など）」、「知人などからの紹介」、「職場の雰囲気」の順となっている。業務内容の満足度については、合計すると62.8%が『満足』と回答し、『不満』の合計は29.1%となっている。仕事に対する理想と現実の差については、「少し差がある」が37.2%と最も高く、次いで「理想に近い」、「差がある」の順となっている。

3 職場環境について

上司とのコミュニケーションについては、合計すると81.7%が『取れている』と回答していて、『取れていない』の合計は10.3%。他の職種の職員とのコミュニケーションについては、合計すると79.1%が『取れている』と回答し、『取れていない』の合計は14.0%。

研修などへの職場の理解については、「職場の理解が得られ、職務の一環として受けることができる」が41.9%と最も高く、次いで「わからない」、「有給休暇等を利用して、個人的に受けることができる」、「業務量が多いなどの理由で、理解を得ることは難しい」の順となっている。

有給休暇の取得状況については、「ほぼ希望どおり取れる」が51.0%と最も高く、次いで「希望どおり取れることが多い」、「ほとんど取れない」、「希望どおり取れないことが多い」の順となっている。有給休暇を希望どおり取れない理由については、「代わりをしてくれる職員がいない」が59.6%と最も高く、次いで「休暇を取ると同僚に迷惑がかかる」、「職場が休暇を取れる雰囲気ではない」の順となっている。

4 業務に対する評価や待遇について

公平な評価制度の有無については、「ある」が39.8%と最も高く、次いで「わからない」が34.8%、「ない」が21.7%の順となっている。評価への満足度については、「概ね妥当に

評価されている」が50.2%と最も高く、次いで「わからない」、「やや過小に評価されている」の順となっている。

給与・賃金の額についての満足度については、「概ね妥当だと思う」が40.7%と最も高く、次いで「やや少ないと思う」、「非常に少ないと思う」の順となっている。

5 仕事に関する不安や今後のことについて

仕事のストレスの有無については、合計すると80.1%が『感じる』と回答し、『感じない』の合計は18.3%。ストレスを感じる原因については、「職場における上司や同僚との関係」が33.0%と最も高く、次いで「利用者やその家族との関係」、「個人の責任が重く、プレッシャーがかかること」、「業務内容自体（介護・看護など）」の順となっている。仕事に関して不安を感じることについては、「緊急時の対応や医療・介護事故」が43.9%と最も高く、次いで「自分自身の健康状態」、「仕事に関する経験・知識の不足」、「今後の勤務状況やキャリア」の順となっている。現在の事業所での就労継続意向については、「当面は続けたい」が54.1%と最も高く、次いで「ずっと続けたい」、「どちらとも言えない」の順となっている。現在の職種で仕事を続けたくないと思う理由については、「体力的にきつから」が46.6%と最も高く、次いで「給与・賃金が安いから」、「個人の責任が重く、プレッシャーがかかるから」の順となっている。

【2】全体まとめ

介護サービス事業所職員調査からは、人材の確保という点で様々な課題が表出している。従事者の属性においては、女性の割合が非常に多く、年代は40歳代以降が8割弱になっており、若者世代の担い手不足が顕著となっている。

ただし、業務内容の満足度は、62.8%が『満足』と回答し、現在の事業所での就労継続意向は、『続けたい』が70.4%、現在の職種での就労継続意向は、『続けたい』が76.6%と高い回答となっている。

業務におけるストレスについては、『感じる』が約8割となっており、ストレスを感じる原因については、「職場における上司や同僚との関係」「利用者やその家族との関係」が高くなっている。

給与・賃金の額については、『満足・妥当だと思う』が45.0%となっている。一方、『少ないと思う』が50.8%となっており、少ないと思う方が多い結果となっている。

今回の調査からは、

- ①若者世代を含む、さまざまな人が従事したいと思える労働環境の整備
- ②職員個人にかかるストレスの緩和
- ③キャリアアップのための研修や適切な人事評価制度を通じた人材育成
- ④給与・賃金の改善

などの課題が読み取れる。

野田市 介護保険サービス利用者等実態調査

(一般介護予防事業調査)

－ 報告書 －

令和5年 3月

千葉県 野田市

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 調査結果	3
1 基本属性	3
(1) 性別	3
(2) 年齢	3
(3) 居住地域	4
2 あなたのご家族や生活状況について	5
(1) 家族構成	5
(2) 住まいの形態	6
(3) 居住年数	7
(4) 日中独居の有無	7
3 外出・地域での活動について	8
(1) 外出時の移動手段	8
(2) 生きがいや趣味	9
(3) 集まりへの参加頻度	10
(4) 日常の楽しみ	11
(5) 市の催事情報の取得	12
(6) 生活意識や行動	13
(7) 近所との付き合い方	14
4 シルバーリハビリ体操について	15
(1) 「シルバーリハビリ体操」の認知度	15
(2) 「シルバーリハビリ体操」体験教室への参加の状況	15
(3) 「シルバーリハビリ体操」体験教室への参加の頻度	16
(4) 今後、希望する参加の頻度	16
(5) 「シルバーリハビリ体操」の体操指導士への興味	17
(6) 体操指導士になりたくない理由	17
5 のだまめ学校について	18
(1) 「のだまめ学校」の認知度	18
(2) 「のだまめ学校」への参加の状況	18
(3) 「のだまめ学校」への参加の頻度	19
(4) 参加していない理由	20
(5) 参加のきっかけ	21
(6) 参加したいと思うような活動の魅力	22
(7) 開催場所の近くにあって欲しい施設	23
(8) どんな関係の人が参加していれば参加したいか	24
(9) 今後、希望する参加の頻度	25

(10) 参加する時の移動手段.....	26
(11) 移動の許容時間.....	27
(12) 「のだまめ学校」で受講したい内容.....	28
(13) 各条件下での参加希望度.....	29
6 えんがわについて	30
(1) 「えんがわ」の認知度.....	30
(2) 「えんがわ」への参加の状況.....	30
(3) 「えんがわ」への参加意思.....	31
(4) 自身での「えんがわ」開設の意思.....	31
Ⅲ 調査結果・まとめ	33
【1】項目別まとめ	33
【2】全体まとめ	35

I 調査の概要

【調査の目的】

「野田市シルバープラン（野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画）第9期計画」の策定に向けて、地域の高齢者における生活の状況、住まいや暮らし、健康状態や介護保険制度についての意識等を把握し、今後の高齢者福祉施策に活用することを目的として実施した。

【調査対象】

要支援・要介護認定を受けていない高齢者

【調査方法】

郵送配布・回収

【調査期間】

令和4年（2022年）10月

【回収結果】

配布数	1,000人
有効回収数	709人
有効回収率	70.9%

【報告書の見方について】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした設問（複数回答）の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 図表中に示すnは、比率算出上の基数（標本数）である。
- (4) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。



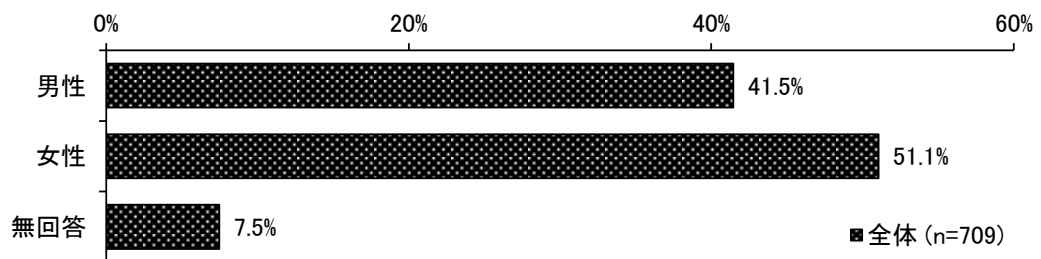
Ⅱ 調査結果

1 基本属性

(1) 性別

問1(1) あなたの性別はどちらですか。(☑は1つ)

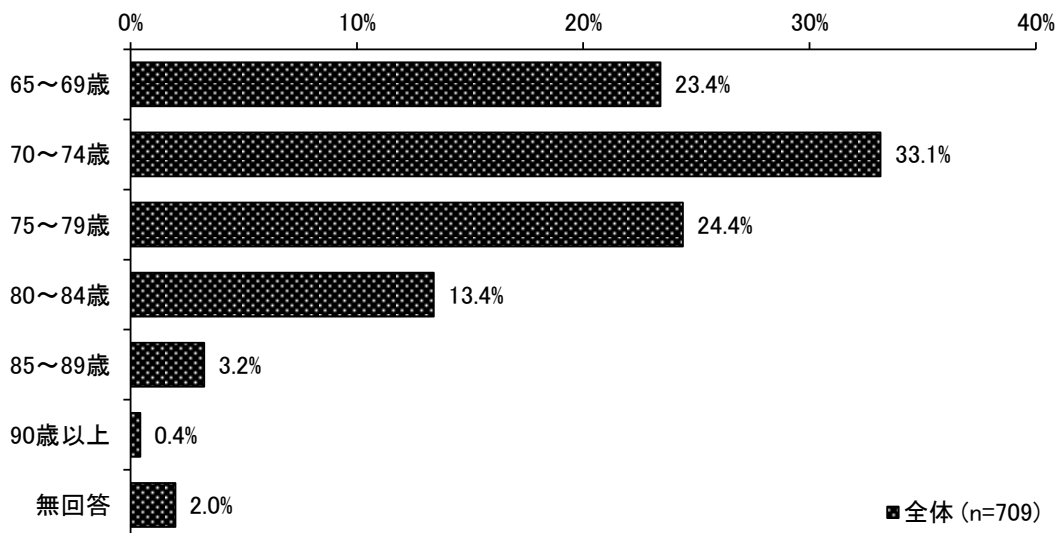
性別については、「男性」が41.5%、「女性」が51.1%となっています。



(2) 年齢

問1(2) あなたの年齢はおいくつですか。令和4年10月1日時点の満年齢をお書きください。

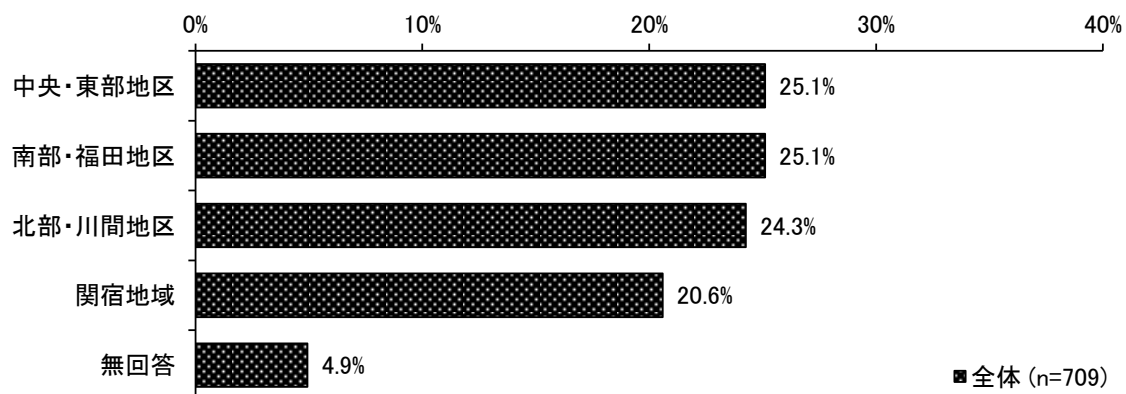
年齢については、「70～74歳」の割合が33.1%と最も高く、次いで「75～79歳」(24.4%)、「65～69歳」(23.4%)、「80～84歳」(13.4%)、「85歳～89歳」(3.2%)の順となっています。



(3) 居住地域

問1(3) あなたのお住いの地域はどこですか。大字名をお書きください。

居住地域については、「中央・東部地区」「南部・福田地区」が各 25.1%、「北部・川間地区」が 24.3%、「関宿地域」が 20.6%となっています。

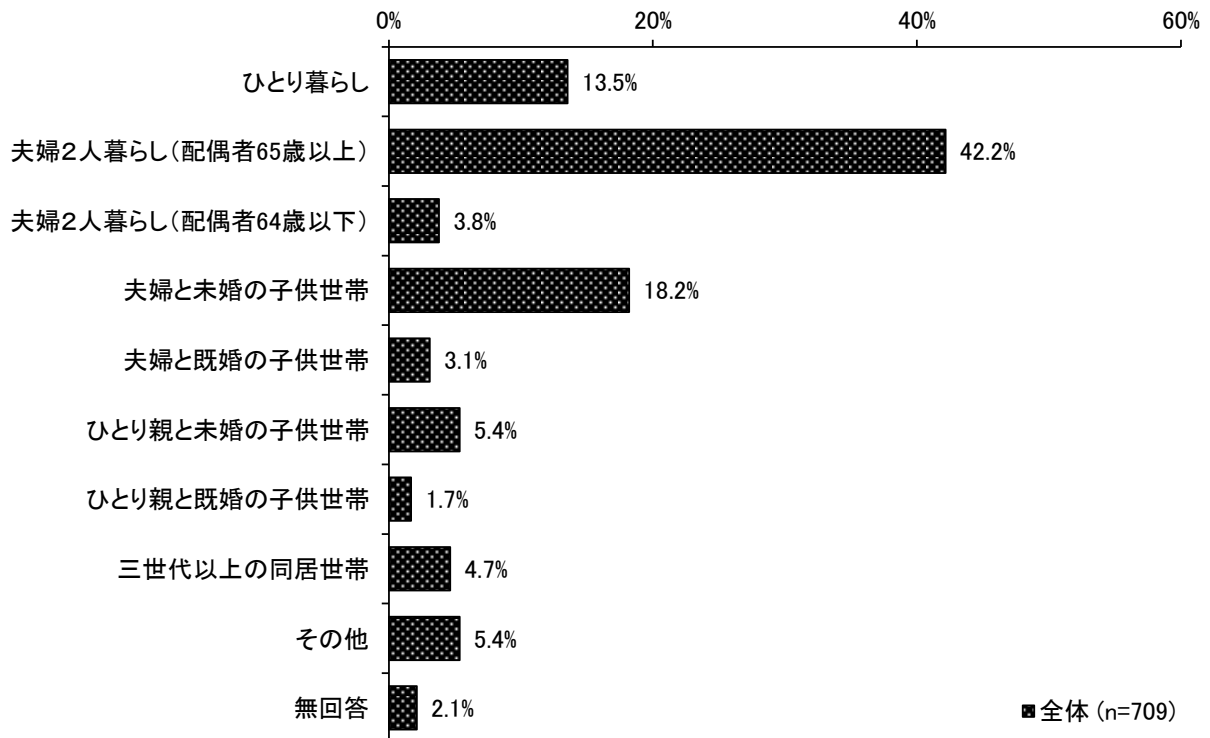


2 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成

問1(4) あなたの家族構成をお教えてください。(☑は1つ)

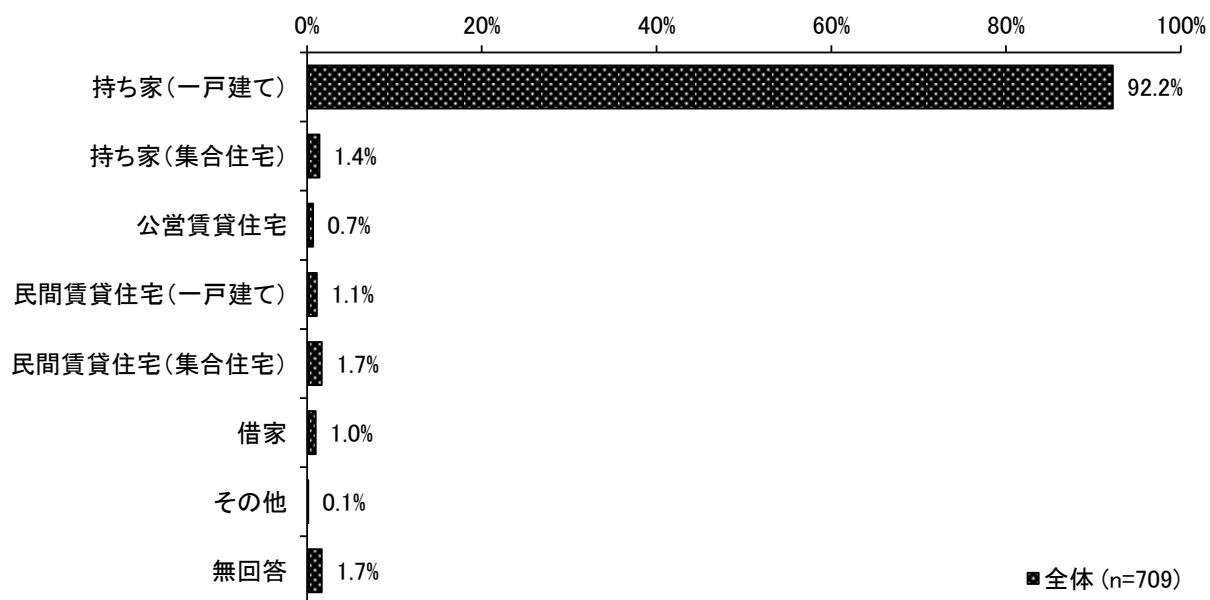
家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が42.2%と最も高く、次いで「夫婦と未婚の子供世帯」(18.2%)、「ひとり暮らし」(13.5%)の順となっています。



(2) 住まいの形態

問1 (5) あなたのお住まいは次のどれにあたりますか。(☑は1つ)

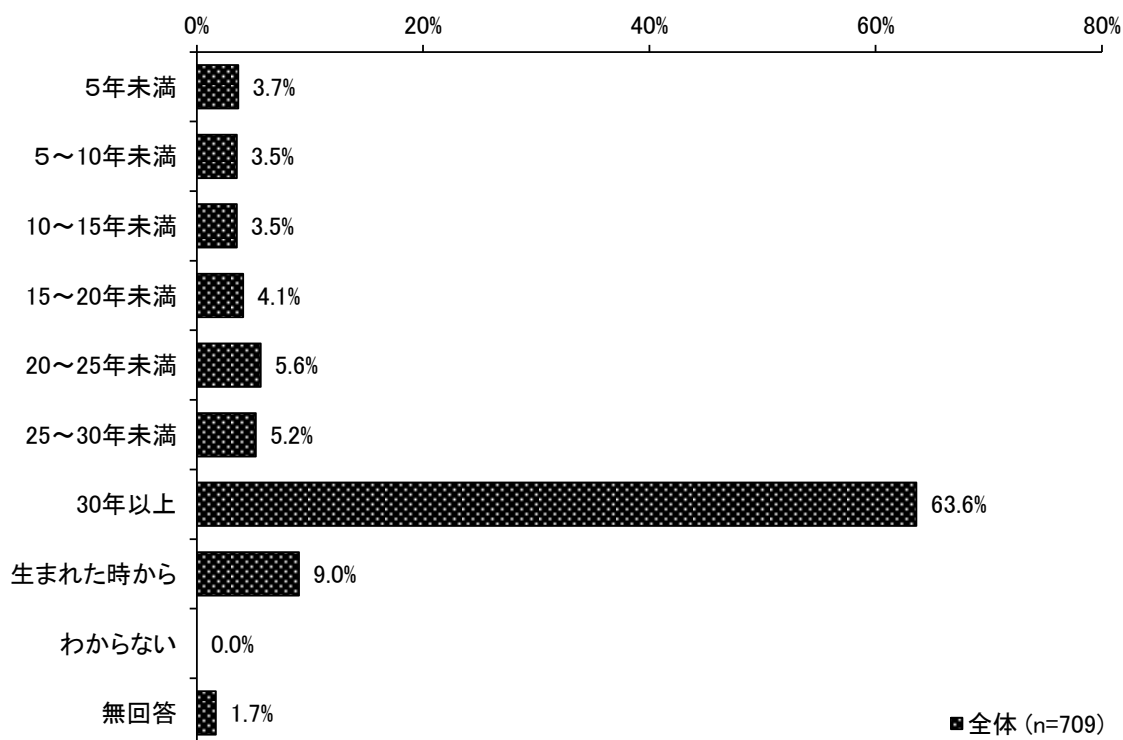
住まいの形態については、「持ち家（一戸建て）」の割合が92.2%と、9割を占めています。



(3) 居住年数

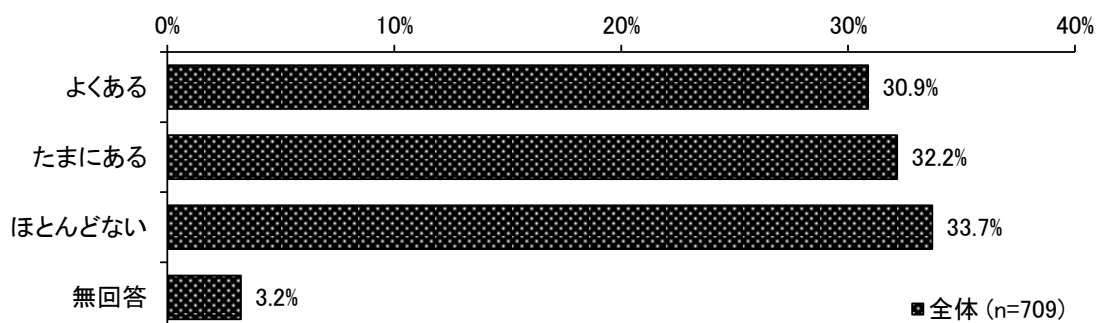
問1(6) あなたは現在のところにお住まいになってから、何年になりますか。
(☑は1つ)

居住年数については、「30年以上」の割合が63.6%と最も高く、次いで「生まれた時から」(9.0%)、「20～25年未満」(5.6%)の順となっています。

**(4) 日中独居の有無**

問1(7) あなたは日中、家で一人になることがありますか。(☑は1つ)

日中独居の有無については、「ほとんどない」の割合が33.7%と最も高く、次いで「たまにある」(32.2%)、「よくある」(30.9%)の順となっています。

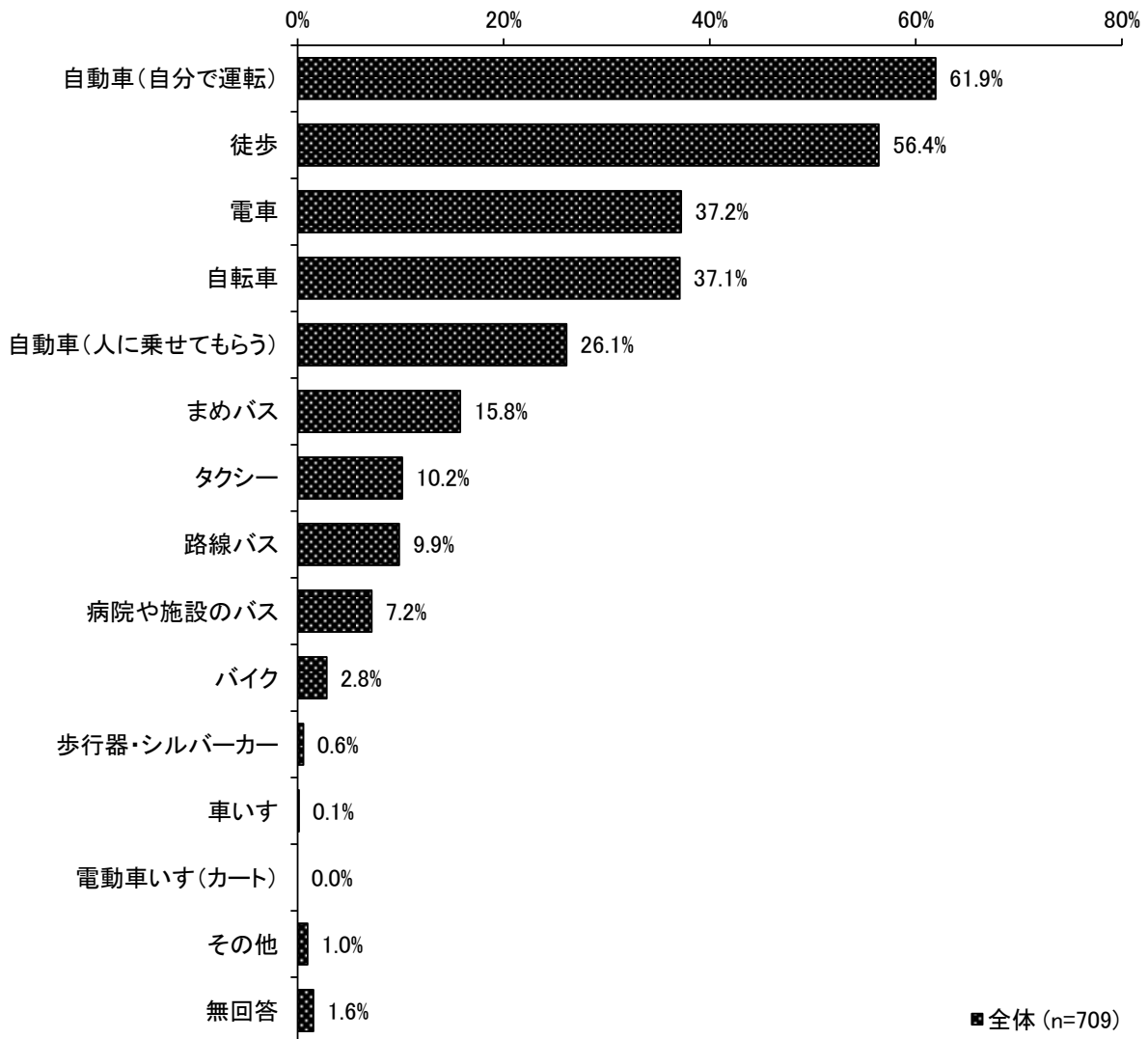


3 外出・地域での活動について

(1) 外出時の移動手段

問1 (8) 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに☑)

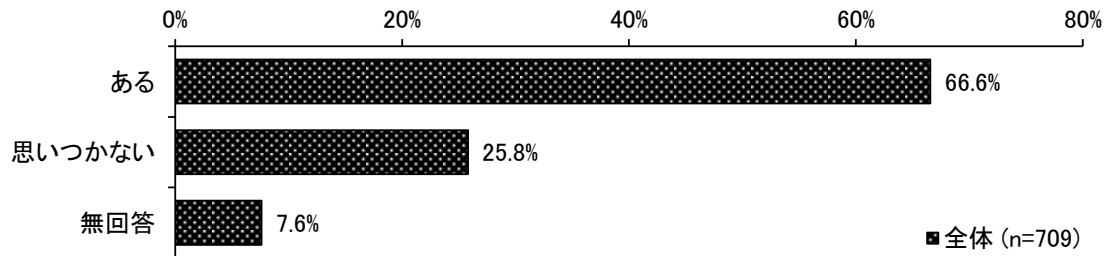
外出する際の移動手段については、「自動車(自分で運転)」の割合が61.9%と最も高く、次いで「徒歩」(56.4%)、「電車」(37.2%)、「自転車」(37.1%)、「自動車(人に乗せてもらう)」(26.1%)の順となっています。



(2) 生きがいや趣味

問1(9) あなたは、生きがいや趣味はありますか。(☑は1つ)

生きがいの有無については、「ある」が66.6%、「思いつかない」が25.8%となっています。

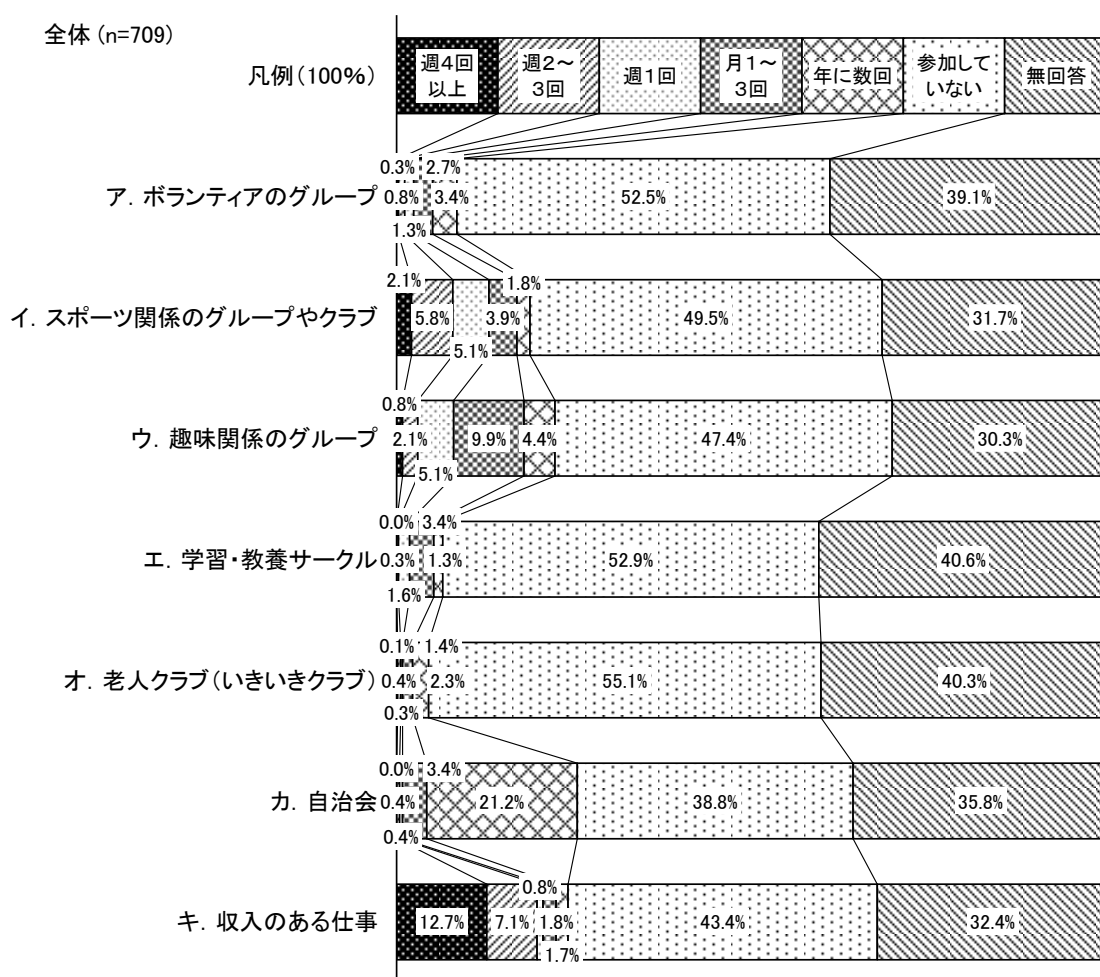


(3) 集まりへの参加頻度

問 1 (10) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
(ア～キまで、それぞれに1つずつ)

会・グループ等への参加頻度については、週4回以上から年に数回を合わせた『参加している』は、「カ. 自治会」の割合が25.4%と最も高く、次いで「キ. 収入のある仕事」(24.1%)、「ウ. 趣味関係のグループ」(22.3%)の順になっています。

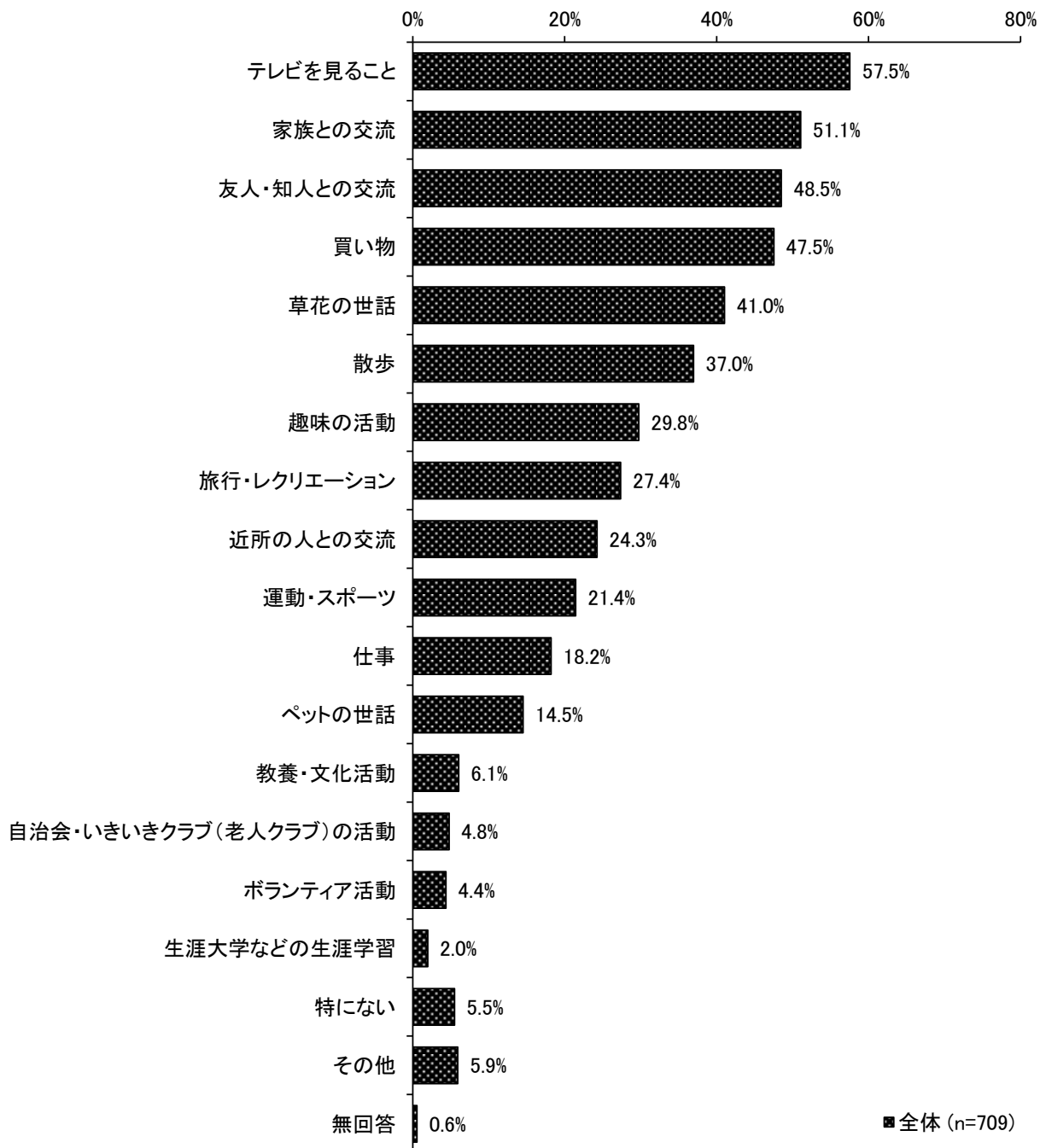
一方で「ア. ボランティアのグループ」「エ. 学習・教養サークル」「オ. 老人クラブ(いきいきクラブ)」は5割以上の方が「参加していない」と回答しています。



(4) 日常の楽しみ

問1 (11) あなたが現在、日常生活で楽しみにしていることは何ですか。
(あてはまるものすべてに☑)

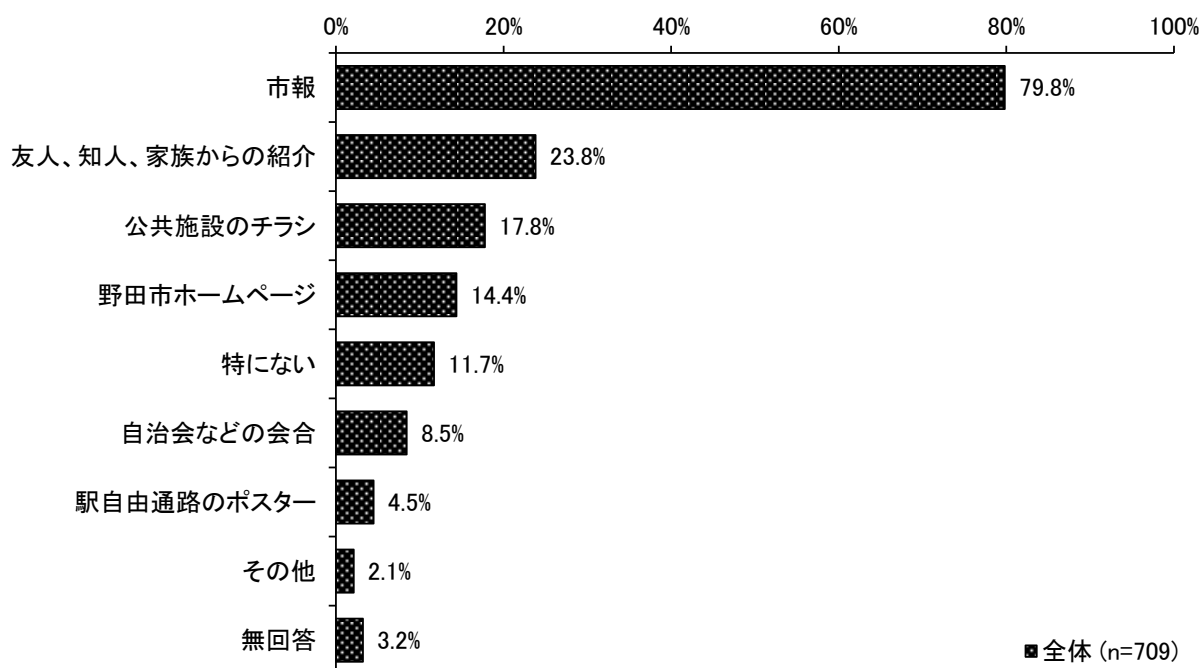
日常生活の楽しみについては、「テレビを見ること」の割合が57.5%と最も高く、次いで「家族との交流」(51.1%)、「友人・知人との交流」(48.5%)、「買い物」(47.5%)、「草花の世話」(41.0%)の順となっています。



(5) 市の催事情報の取得

問1 (12) あなたは、市の催し物（イベントや講演会等）の情報を何で知りますか。
（あてはまるものすべてに☑）

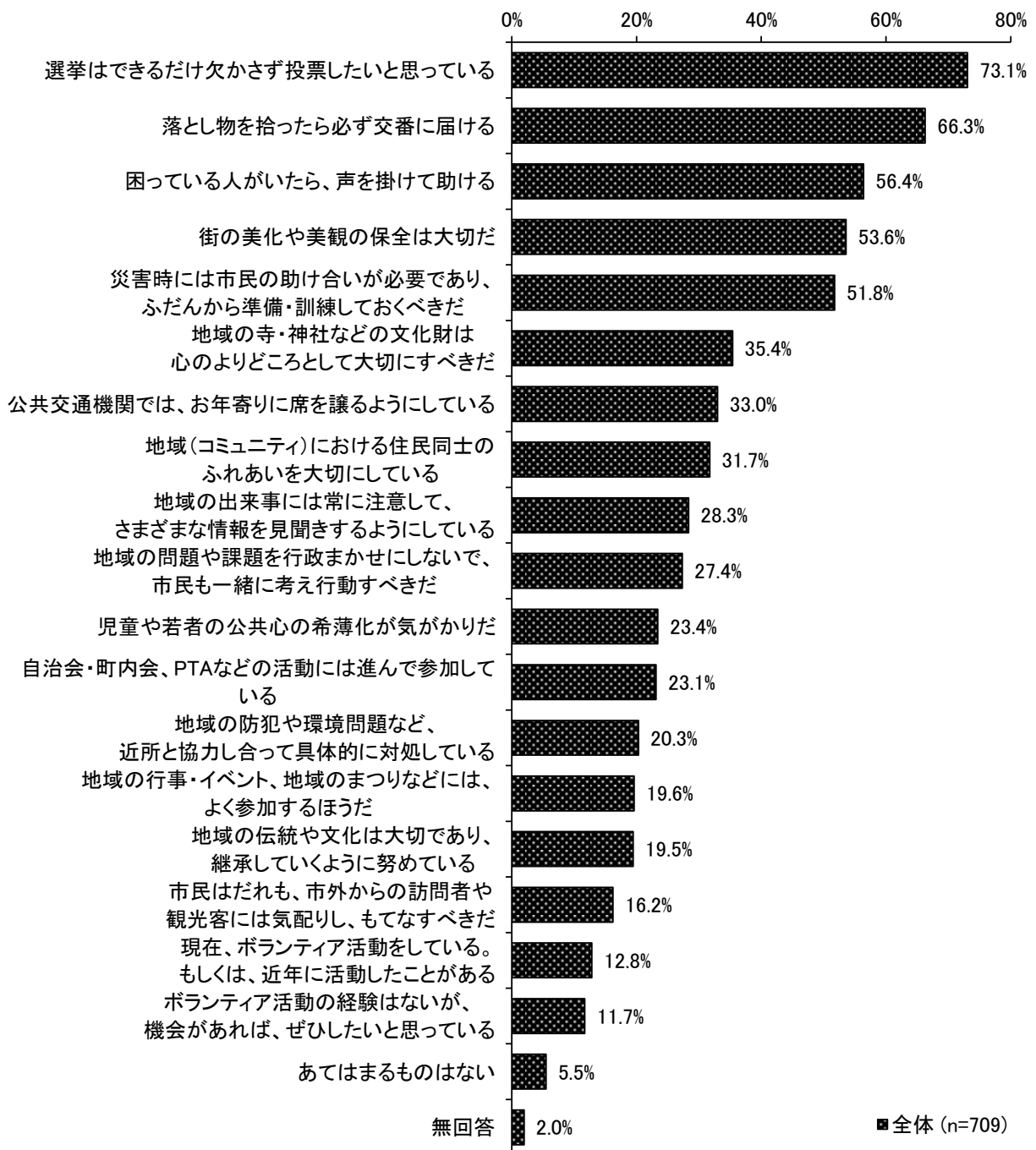
市の催事を知る手段については、「市報」が79.8%と最も高く約8割を占め、次いで「友人、知人、家族からの紹介」（23.8%）、「公共施設のチラシ」（17.8%）、「野田市ホームページ」（14.4%）の順となっています。



(6) 生活意識や行動

問1 (13) ふだんの生活意識や行動について、あなたご自身のお考えについてお伺いします。次の中からあなたの考え方や行動に近いものをすべてお選びください。(あてはまるものすべてに☑)

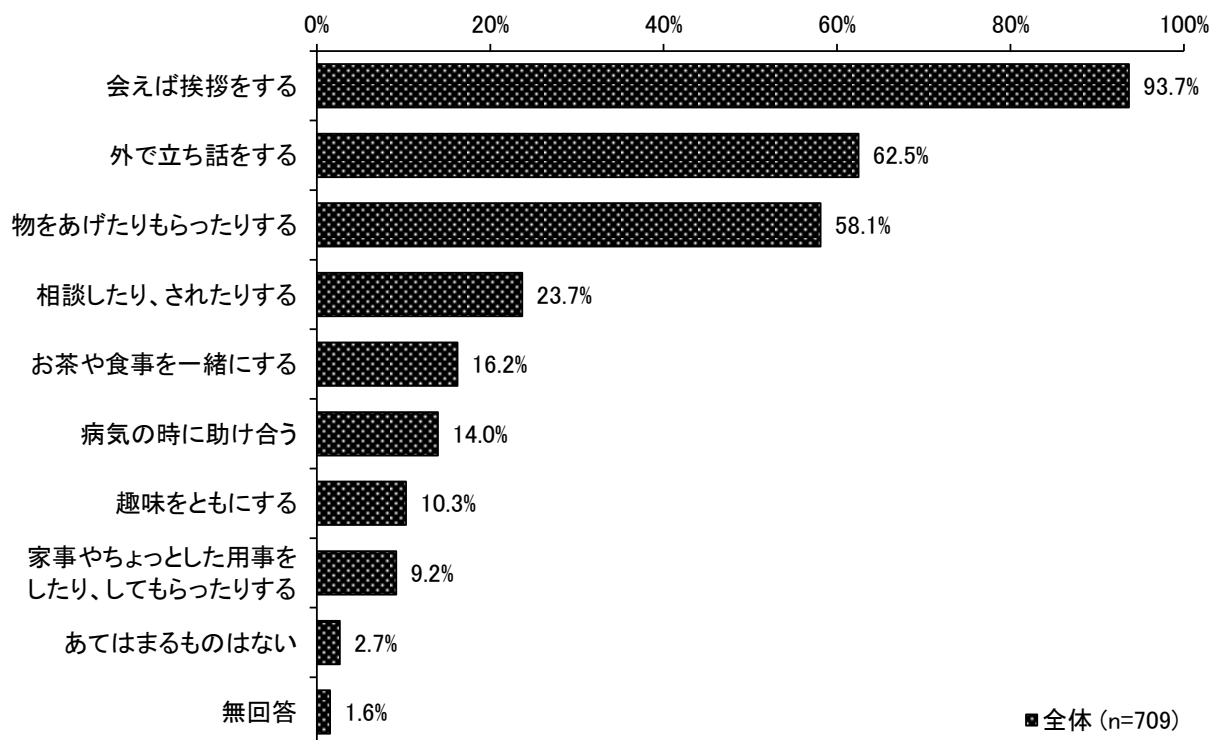
ふだんの生活意識や行動については、「選挙はできるだけ欠かさず投票したいと思っている」の割合が73.1%と最も高く、次いで「落とし物を拾ったら必ず交番に届ける」(66.3%)、「困っている人がいたら、声を掛けて助ける」(56.4%)、「街の美化や美観の保全は大切だ」(53.6%)の順となっています。



(7) 近所との付き合い方

問1 (14) 近所との付き合い方について近いものをお選びください。
(あてはまるものすべてに☑)

近所との付き合い方については、「会えば挨拶をする」の割合が93.7%と最も高く、次いで「外で立ち話をする」(62.5%)、「物をあげたりもらったりする」(58.1%)、「相談したり、されたりする」(23.7%)の順となっています。

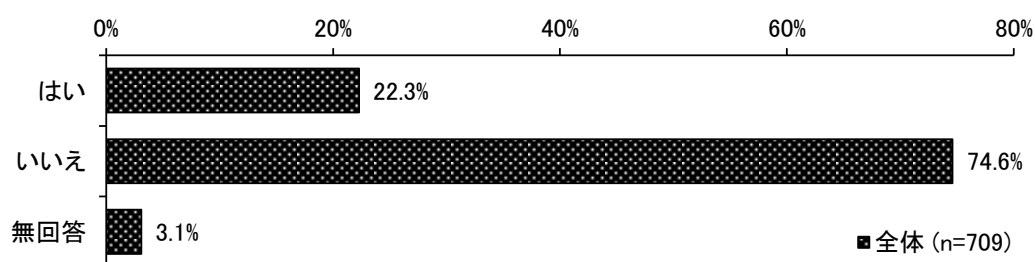


4 シルバーリハビリ体操について

(1) 「シルバーリハビリ体操」の認知度

問2 1 (1) あなたは「シルバーリハビリ体操」を知っていますか。(☑は1つ)

「シルバーリハビリ体操」の認知度については、「はい（知っている）」が 22.3%、「いいえ（知らない）」が 74.6%となっています。

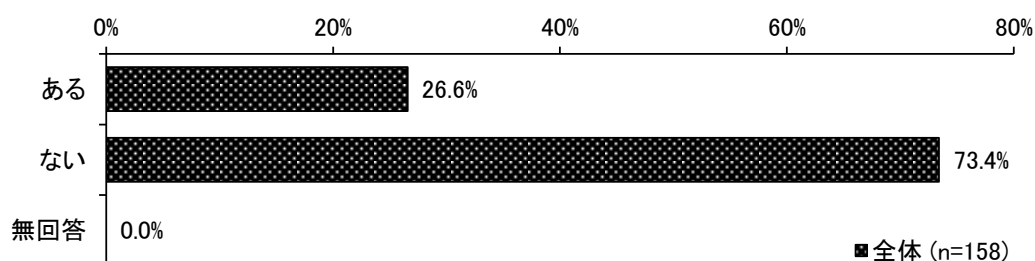


(2) 「シルバーリハビリ体操」体験教室への参加の状況

【(1)で「はい」と回答した方にお伺いします。】

問2 1 (2) あなたは「シルバーリハビリ体操」の体験教室に参加したことがありますか。(☑は1つ)

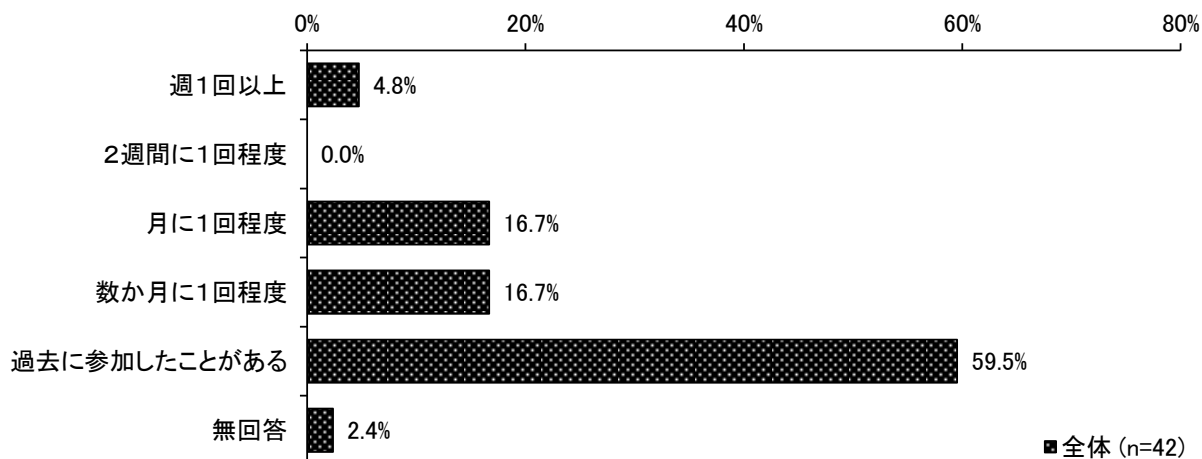
「シルバーリハビリ体操」体験教室への参加の状況については、「(参加したことが) ある」が 26.6%、「(参加したことが) ない」が 73.4%となっています。



(3) 「シルバーリハビリ体操」体験教室への参加の頻度

【(2)で「ある」と回答した方にお伺いします。】
問2 1 (3) どのぐらいの頻度で参加していますか。(☑は1つ)

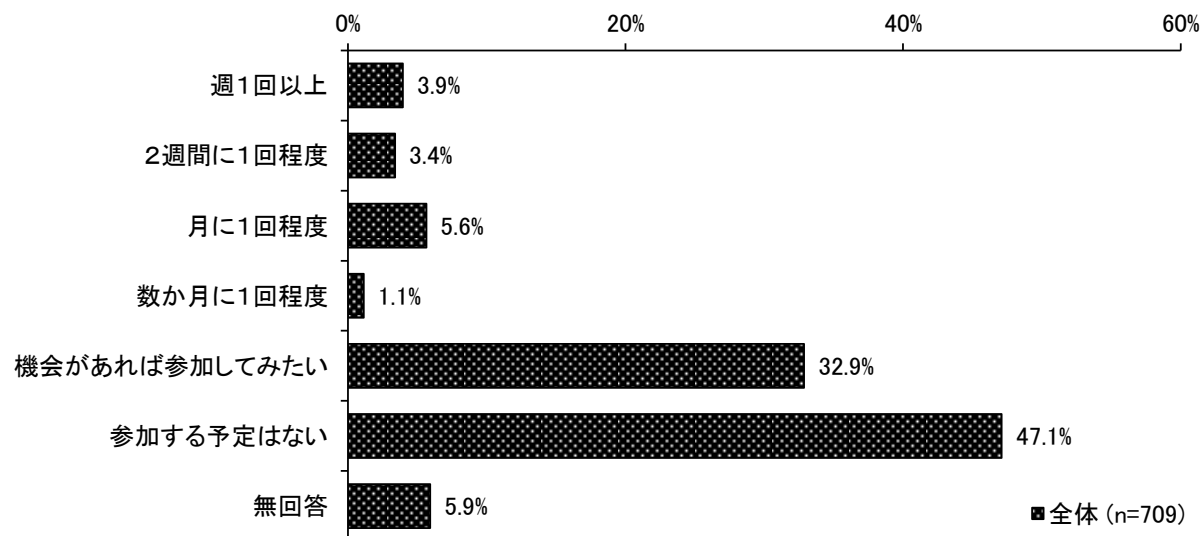
「シルバーリハビリ体操」体験教室への参加の頻度については、「過去に参加したことがある」の割合が59.5%と最も高く、次いで「月に1回程度」「数か月に1回程度」(各16.7%)、「週1回以上」(4.8%)の順となっています。



(4) 今後、希望する参加の頻度

【ここからはすべての方へお伺いします。】
問2 1 (4) 今後、どのぐらいの頻度で参加したいと思いますか。(☑は1つ)

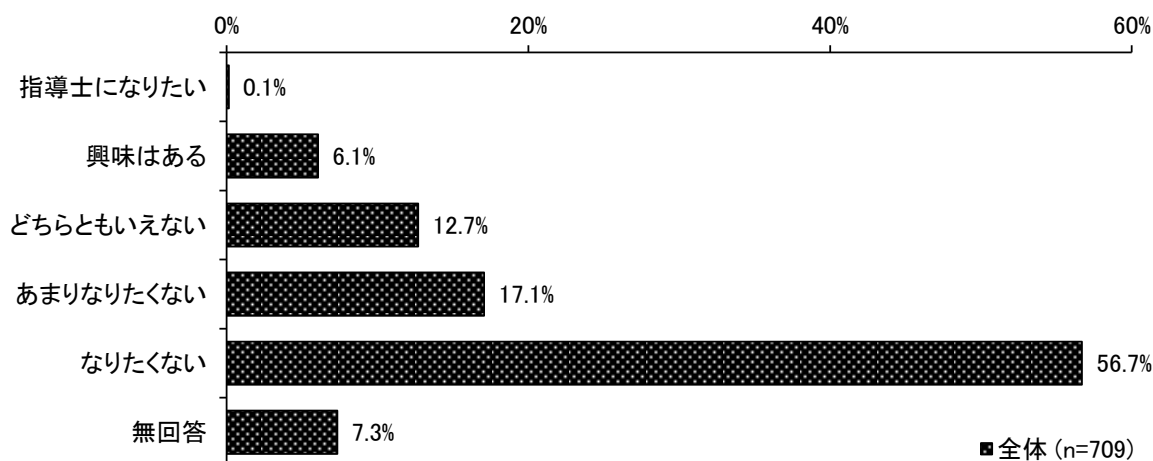
今後、希望する参加の頻度については、「参加する予定はない」の割合が47.1%と最も高く、次いで「機会があれば参加してみたい」(32.9%)、「月に1回程度」(5.6%)、「週1回以上」(3.9%)となっています。



(5) 「シルバーリハビリ体操」の体操指導士への興味

問2 1 (5) あなたは「シルバーリハビリ体操」の体操指導士になりたいと思いますか。(☑は1つ)

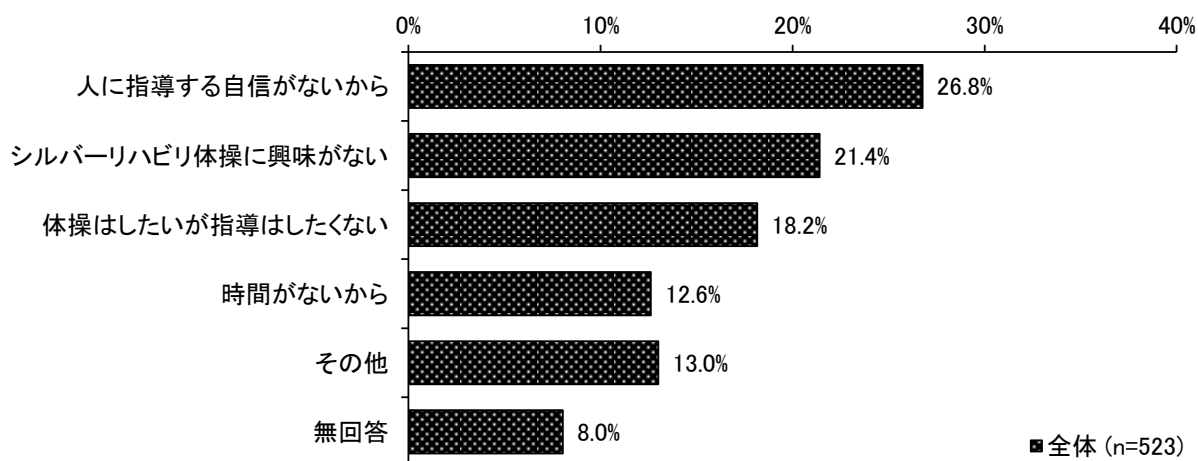
「シルバーリハビリ体操」の体操指導士への興味については、「なりたくない」の割合が56.7%と最も高く、次いで「あまりなりたくない」(17.1%)、「どちらともいえない」(12.7%)となっています。



(6) 体操指導士になりたくない理由

【(5)で「あまりなりたくない」、「なりたくない」と回答した方にお伺いします。】
問2 1 (6) なりたくない理由をお答えください。(☑は1つ)

体操指導士になりたくない理由については、「人に指導する自信がないから」の割合が26.8%と最も高く、次いで「シルバーリハビリ体操に興味がない」(21.4%)、「体操はしたいが指導はしたくない」(18.2%)、「その他」(13.0%)、「時間がないから」(12.6%)の順となっています。

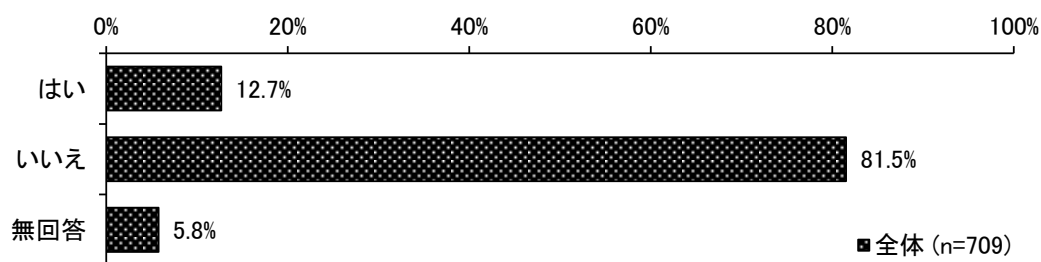


5 のだまめ学校について

(1) 「のだまめ学校」の認知度

問2 2 (1) あなたは「のだまめ学校」を知っていますか。(☑は1つ)

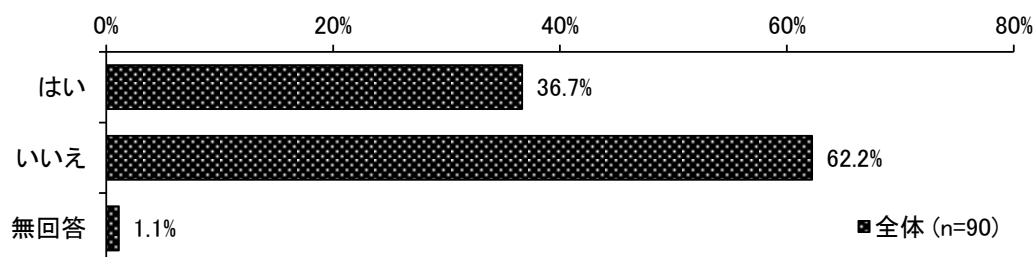
「のだまめ学校」の認知度については、「はい (知っている)」が 12.7%、「いいえ (知らない)」が 81.5%となっています。



(2) 「のだまめ学校」への参加の状況

【(1)で「はい」と回答した方へお伺いします。】
問2 2 (2) あなたは「のだまめ学校」に参加したことがありますか。
(☑は1つ)

「のだまめ学校」への参加の状況については、「はい (参加したことがある)」が 36.7%、「いいえ (参加したことがない)」が 62.2%となっています。

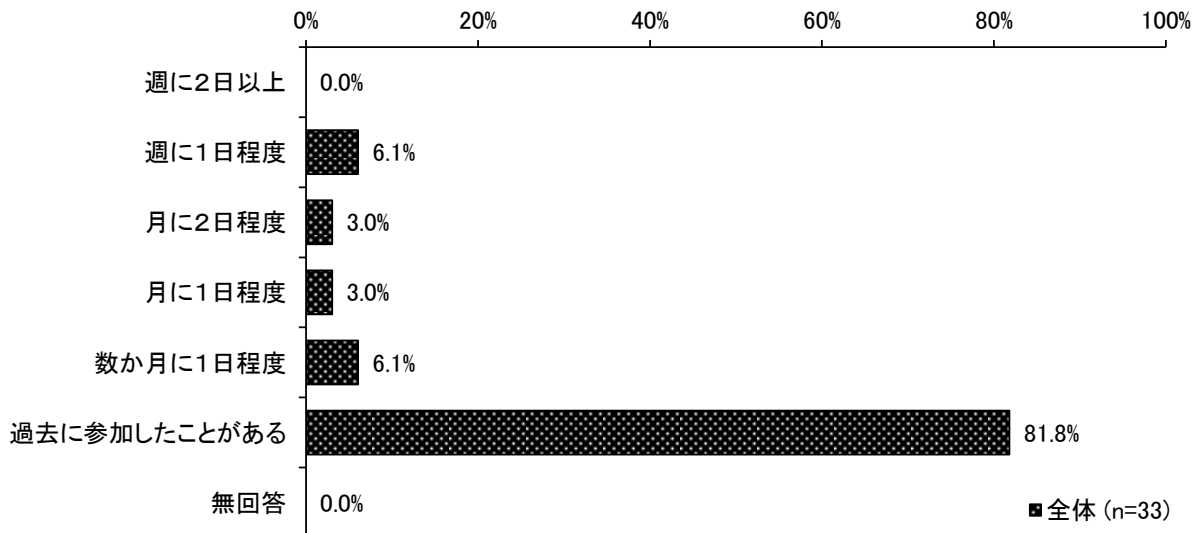


(3) 「のだまめ学校」への参加の頻度

【(2)で「はい」と回答した方へお伺いします。】

問2 2(3) あなたは、どのぐらいの頻度で「のだまめ学校」に参加していますか。(☑は1つ)

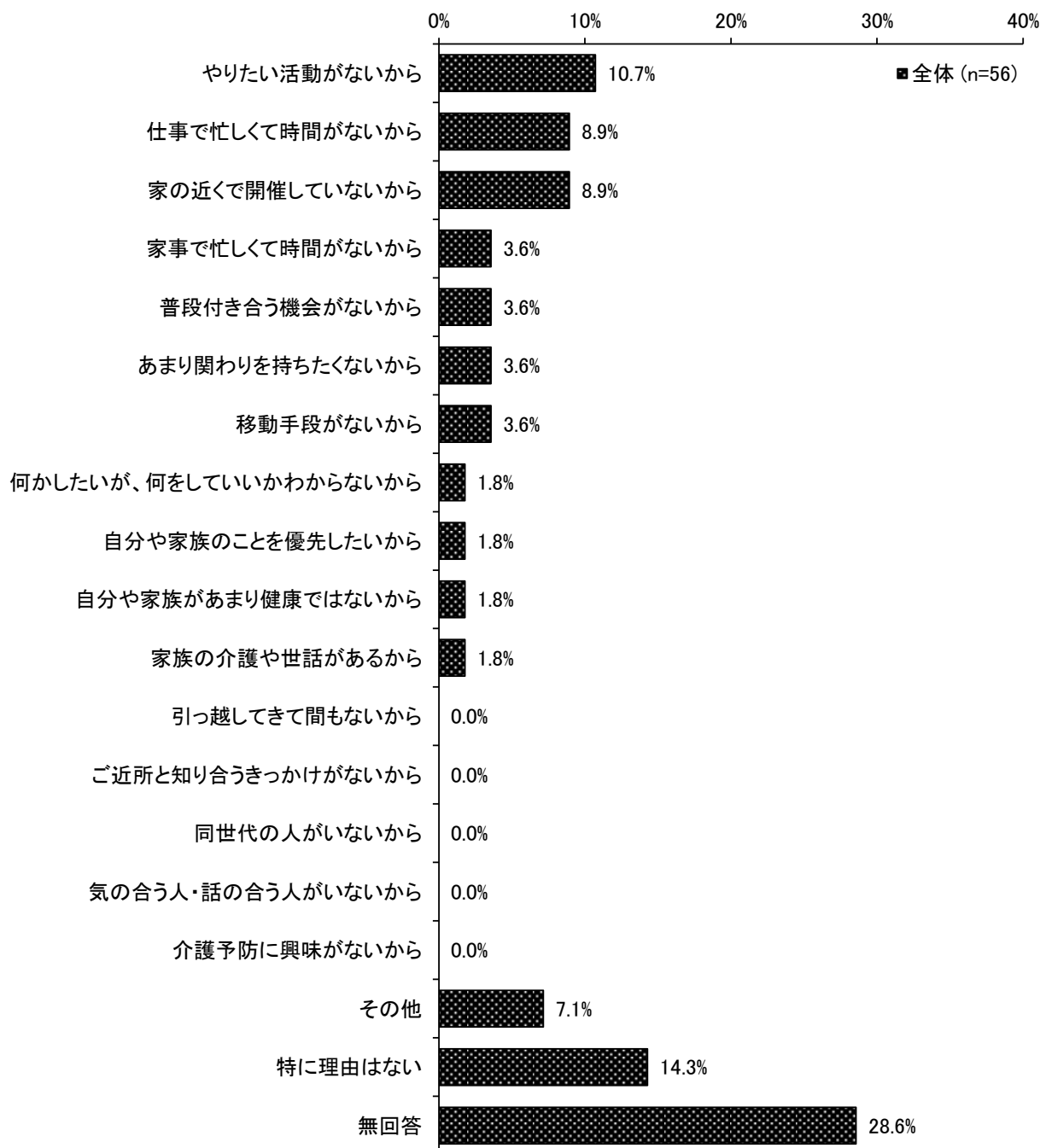
「のだまめ学校」への参加の頻度については、「過去に参加したことがある」の割合が81.8%と最も高く、次いで「週に1日程度」「数か月に1日程度」(各6.1%)、「月に2日程度」「月に1日程度」(各3.0%)の順となっています。



(4) 参加していない理由

【(2) で「いいえ」と回答した方へお伺いします。】
問2 2(4) 参加していない理由をお答えください。(☑は1つ)

「のだまめ学校」に参加していない理由については、「特に理由はない」の割合が14.3%と最も高く、次いで「やりたい活動がないから」(10.7%)、「仕事で忙しくて時間がないから」「家の近くで開催していないから」(各8.9%)、「その他」(7.1%)の順となっています。

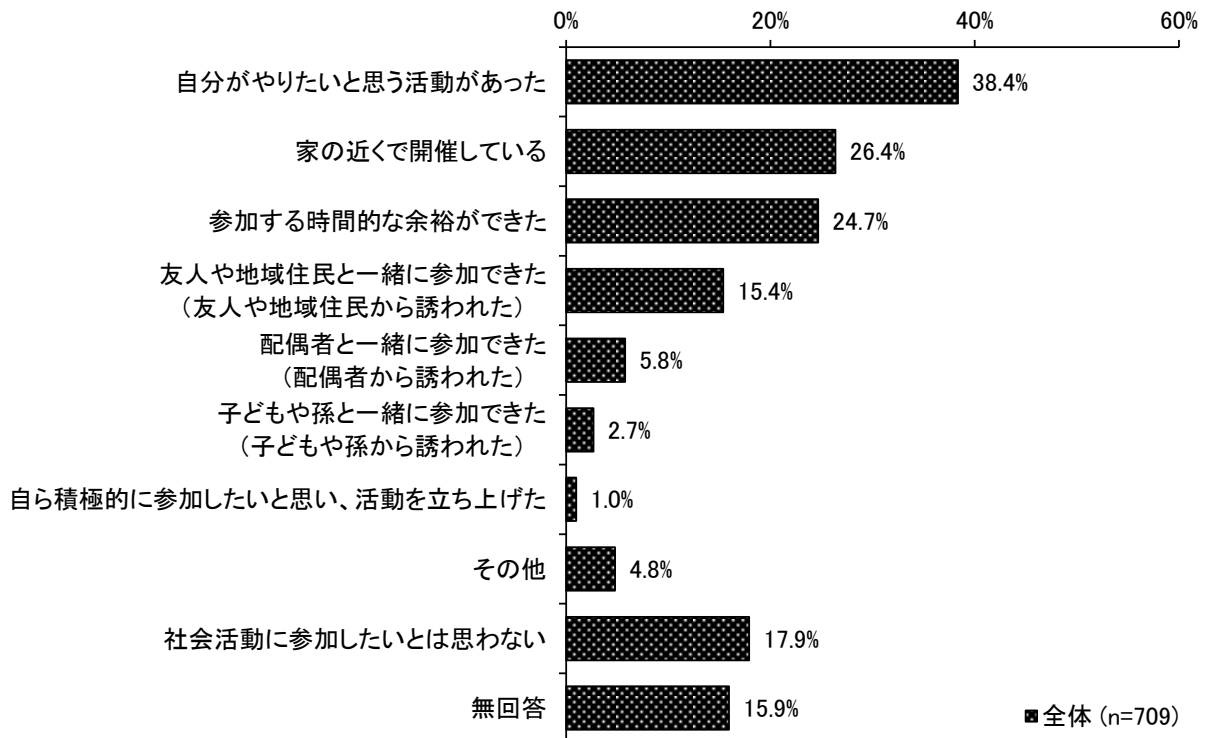


(5) 参加のきっかけ

【ここからはすべての方へお伺いします。】

問2 2 (5) どういったことが参加したまたは参加するきっかけになると思いますか。(あてはまるものすべてに☑)

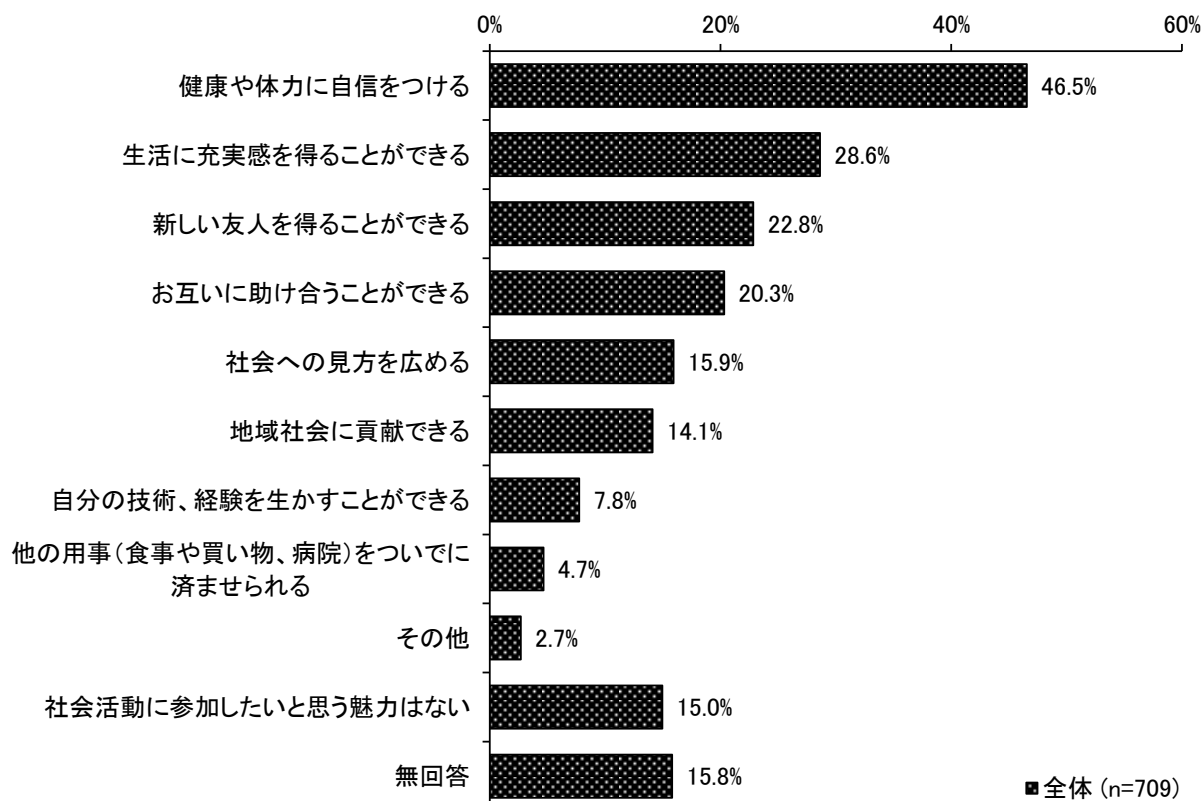
「のだまめ学校」の参加のきっかけについては、「自分がやりたいと思う活動があった」の割合が38.4%と最も高く、次いで「家の近くで開催している」(26.4%)、「参加する時間的な余裕ができた」(24.7%)の順となっています。



(6) 参加したいと思うような活動の魅力

問 2 2 (6) 参加したいと思うような活動の魅力はどれにあたりますか。
(あてはまるものすべてに☑)

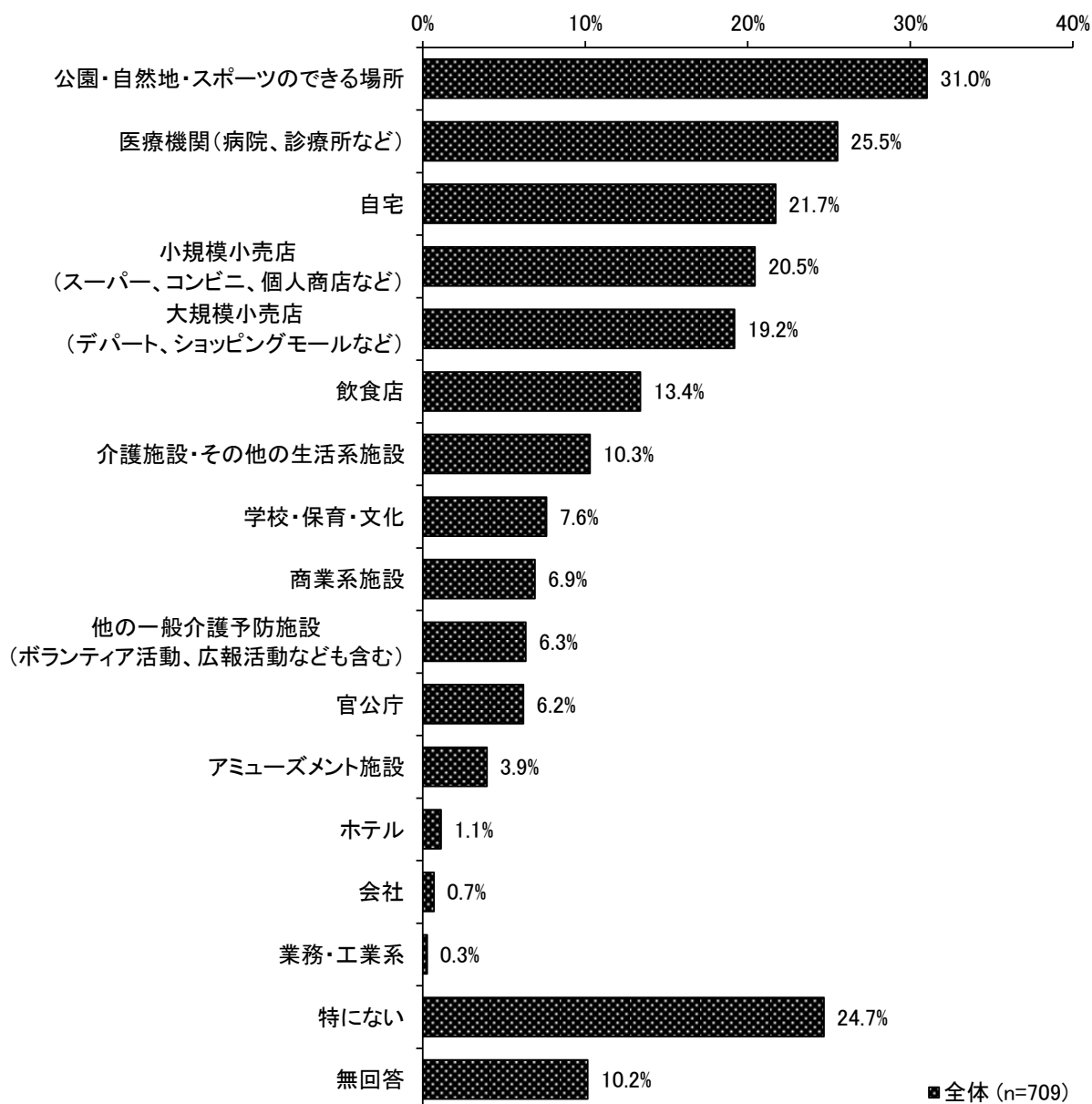
参加したいと思うような活動の魅力については、「健康や体力に自信をつける」の割合が46.5%と最も高く、次いで「生活に充実感を得ることができる」(28.6%)、「新しい友人を得ることができる」(22.8%)、「お互いに助け合うことができる」(20.3%)の順となっています。



(7) 開催場所の近くにあって欲しい施設

問 2 2 (7) 開催場所の近くにあって欲しい施設はどれですか。
(あてはまるものすべてに☑)

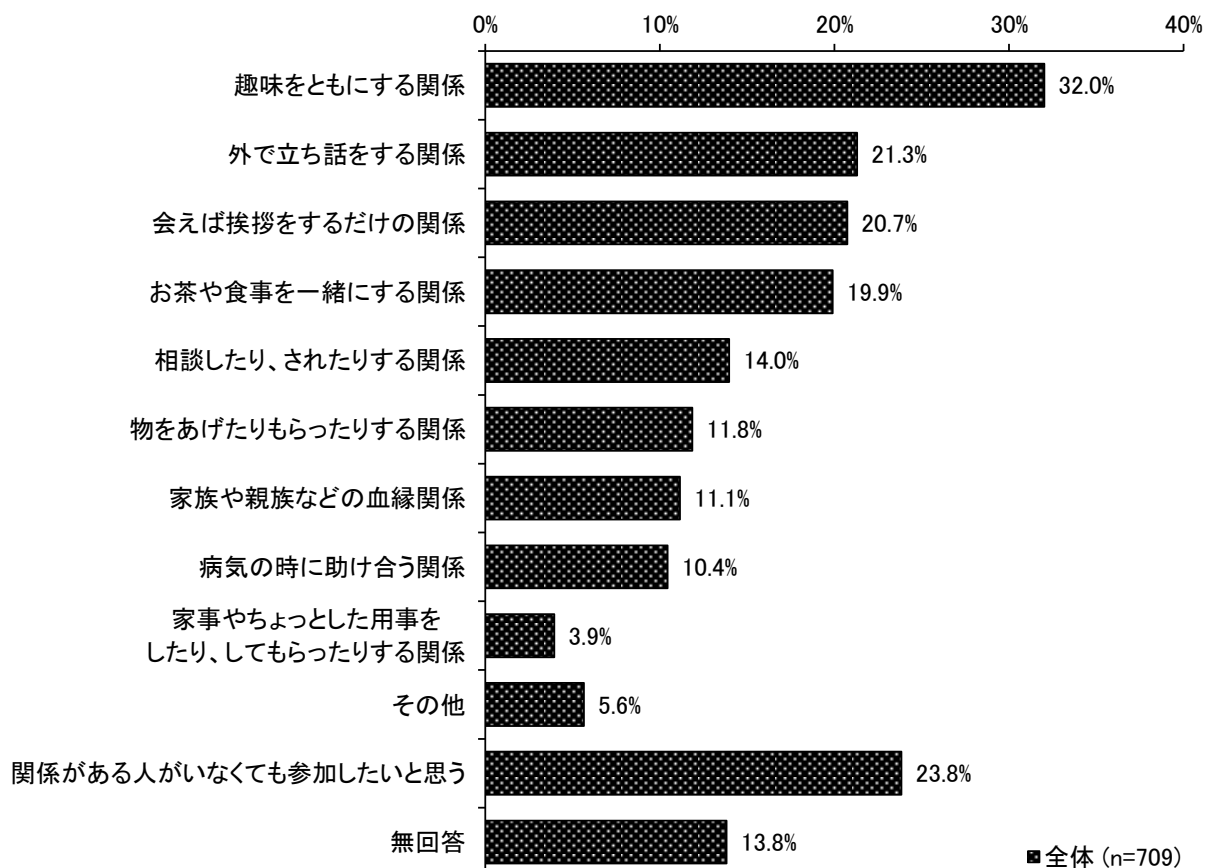
開催場所の近くにあって欲しい施設については、「公園・自然地・スポーツのできる場所」の割合が31.0%と最も高く、次いで「医療機関（病院、診療所など）」(25.5%)、「特にない」(24.7%)、「自宅」(21.7%)、「小規模小売店（スーパー、コンビニ、個人商店など）」(20.5%)の順となっています。



(8) どんな関係の人が参加していれば参加したいか

問 2 2 (8) あなたとどんな関係の人が参加者に含まれていると参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに☑)

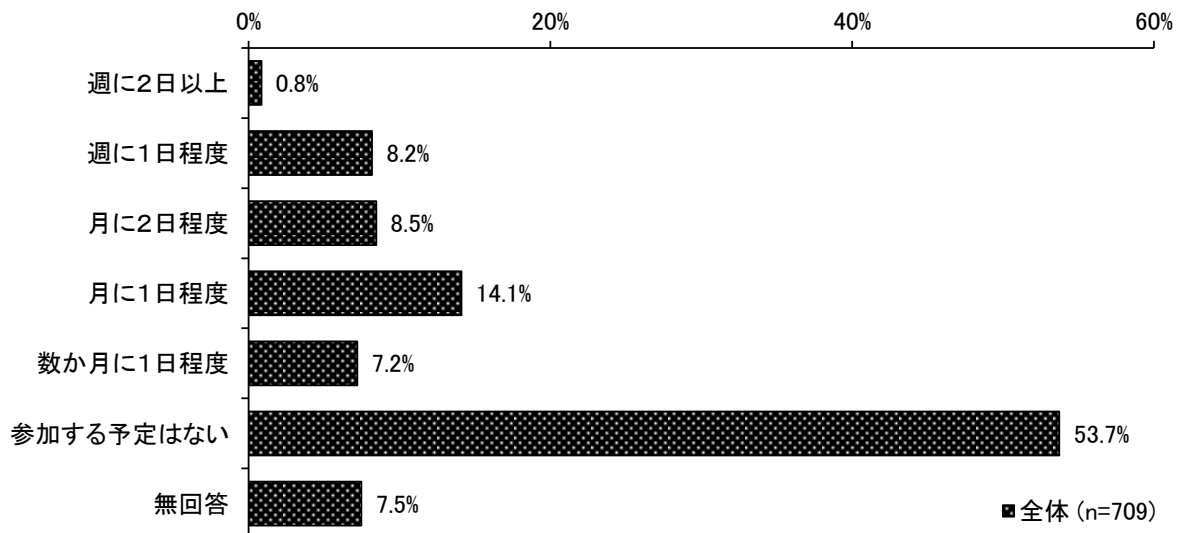
どんな関係の人が参加していれば参加したいかについては、「趣味をともにする関係」の割合が 32.0%と最も高く、次いで「関係がある人がいなくても参加したいと思う」(23.8%)、「外で立ち話をする関係」(21.3%)、「会えば挨拶をするだけの関係」(20.7%)の順となっています。



(9) 今後、希望する参加の頻度

問 2 2 (9) あなたは今後、どのぐらいの頻度で「のだまめ学校」に参加したい
 と思いますか。(☑は1つ)

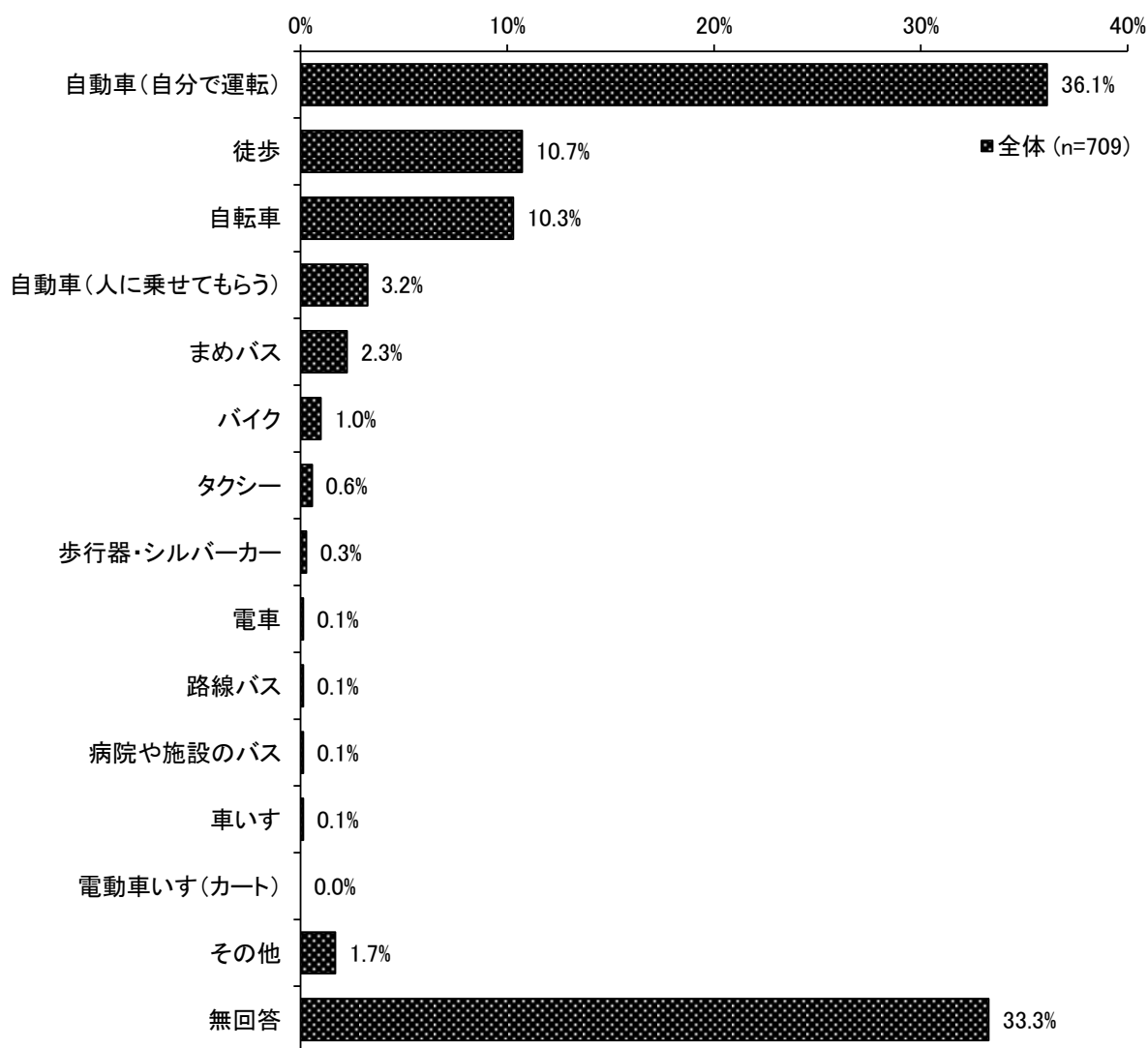
今後、希望する参加の頻度については、「参加する予定はない」の割合が 53.7%と最も高く、次いで「月に1日程度」(14.1%)、「月に2日程度」(8.5%)、「週に1日程度」(8.2%)、「数か月に1日程度」(7.2%)の順となっています。



(10) 参加する時の移動手段

問 2 2 (10) 参加しているもしくは参加するとした時の移動手段は何ですか。
(☑は1つ)

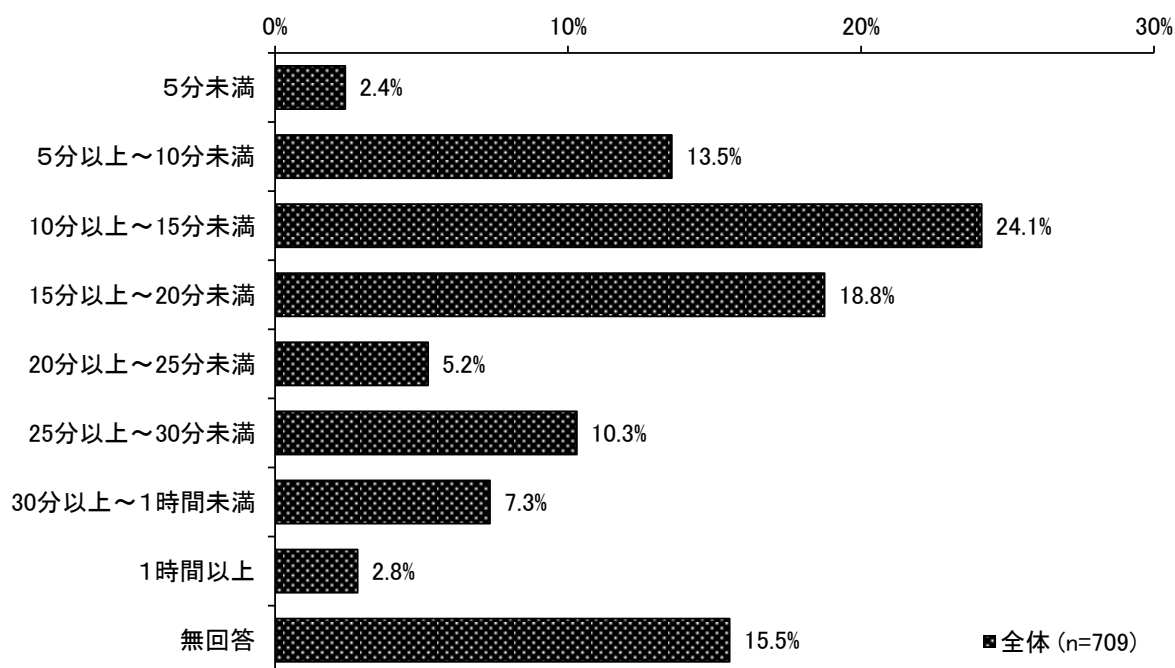
参加する時の移動手段については、「自動車（自分で運転）」の割合が36.1%と最も高く、次いで「徒歩」(10.7%)、「自転車」(10.3%)、「自動車（人に乗せてもらう）」(3.2%)の順となっています。



(11) 移動の許容時間

問 2 2 (11) (10) の移動手段で移動できる許容時間はどのくらいですか。
(☑は1つ)

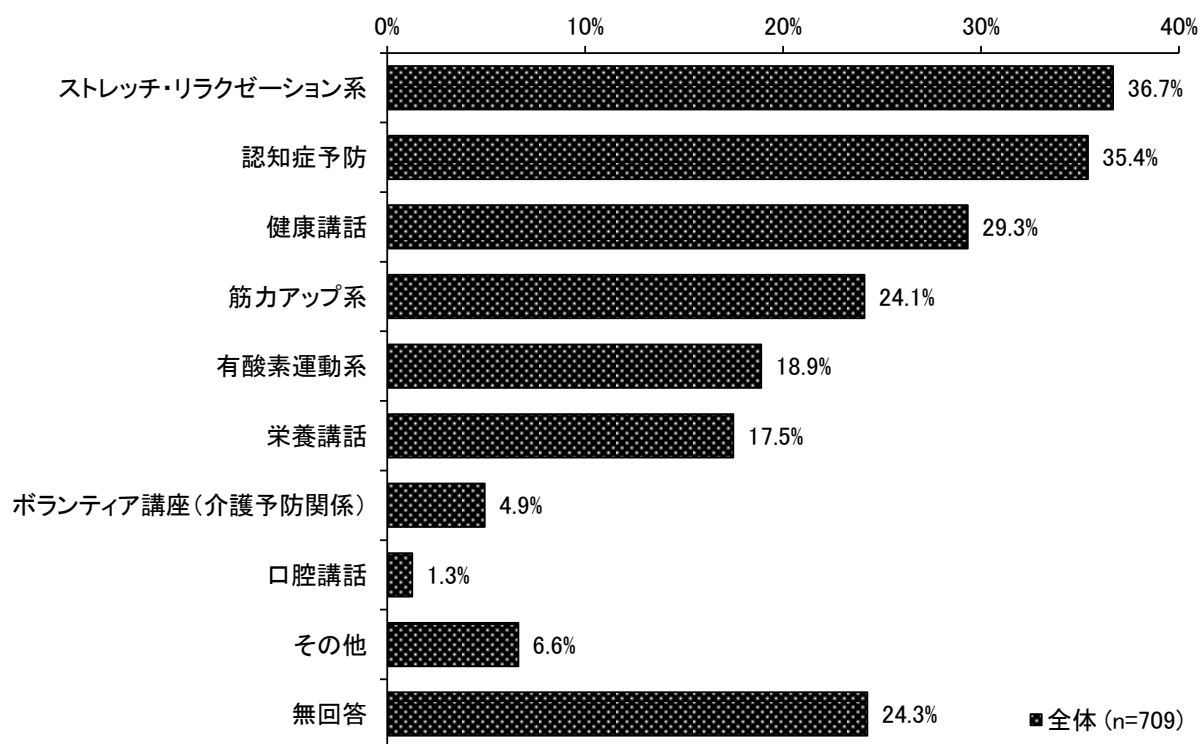
移動の許容時間については、「10分以上～15分未満」の割合が24.1%と最も高く、次いで「15分以上～20分未満」(18.8%)、「5分以上～10分未満」(13.5%)、「25分以上～30分未満」(10.3%)の順となっています。



(12) 「のだまめ学校」で受講したい内容

問 2 2 (12) 「のだまめ学校」で受講したい内容をお答えください。
(あてはまるもの3つまでに☑)

「のだまめ学校」で受講したい内容については、「ストレッチ・リラクゼーション系」の割合が36.7%と最も高く、次いで「認知症予防」(35.4%)、「健康講話」(29.3%)、「筋力アップ系」(24.1%)、「有酸素運動系」(18.9%)の順となっています。

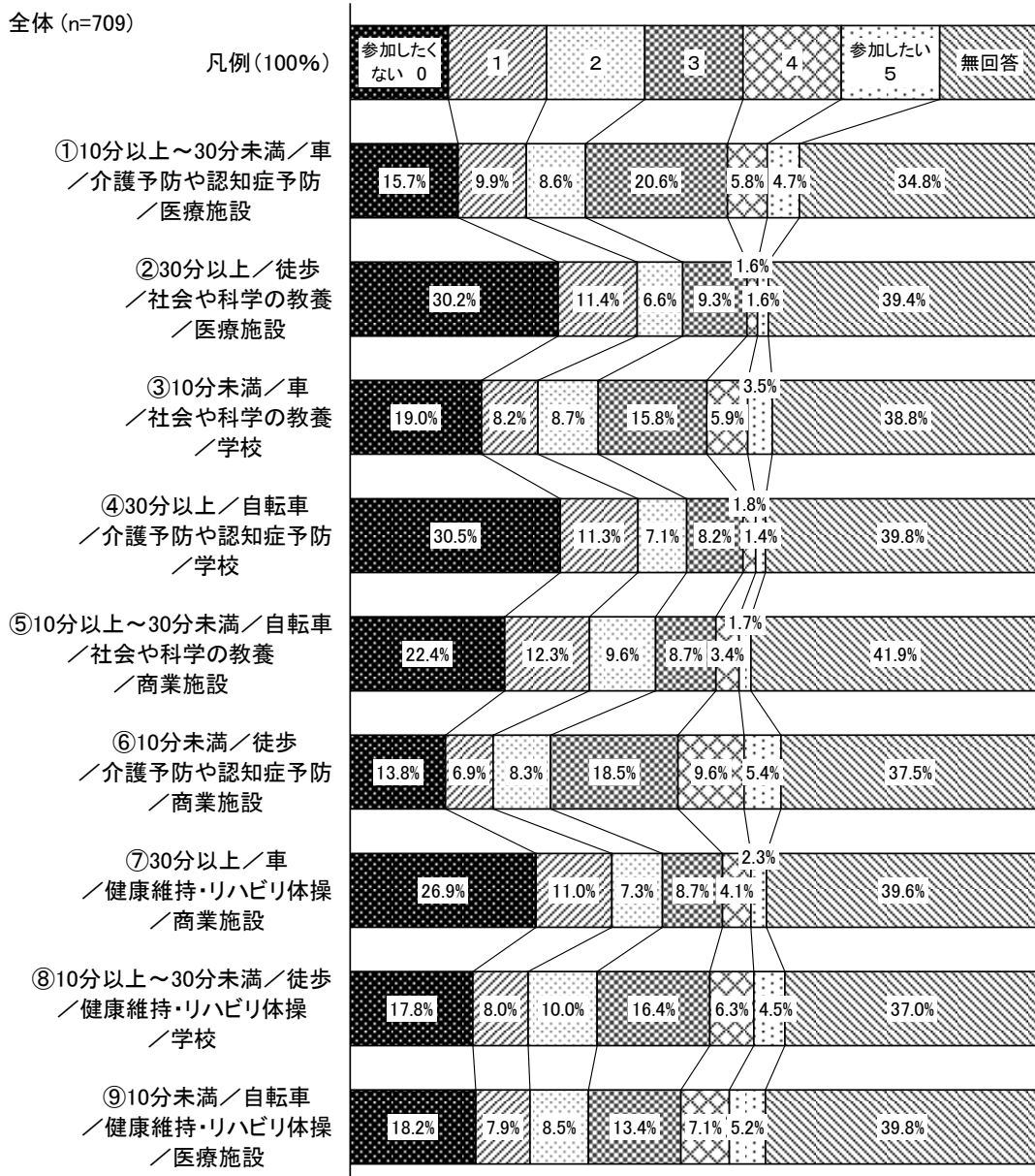


(13) 各条件下での参加希望度

問 2 2 (13) 「のだまめ学校」に参加する場合に、下表のような移動時間・交通手段・講座内容・開催場所の組み合わせがあったとしたら、どれくらい参加したいと思いますか。記入例を参考に、5点満点で、それぞれあてはまる数字に1つずつ☑をつけてください。
 ※組み合わせは「移動時間」、「交通手段」、「講座内容」、「開催場所」の順となっています。

各条件下での参加希望度は、3～5点を合わせた『参加したい』は「⑥10分未満／徒歩／介護予防や認知症予防／商業施設」の割合が33.5%と最も高く、次いで「①10分以上～30分未満／車／介護予防や認知症予防／医療施設」(31.1%)の順となっています。

一方、0～2点を合わせた『参加したくない』は「④30分以上／自転車／介護予防や認知症予防／学校」の割合が48.9%と最も高く、次いで「②30分以上／徒歩／社会や科学の教養／医療施設」(48.2%)の順となっています。

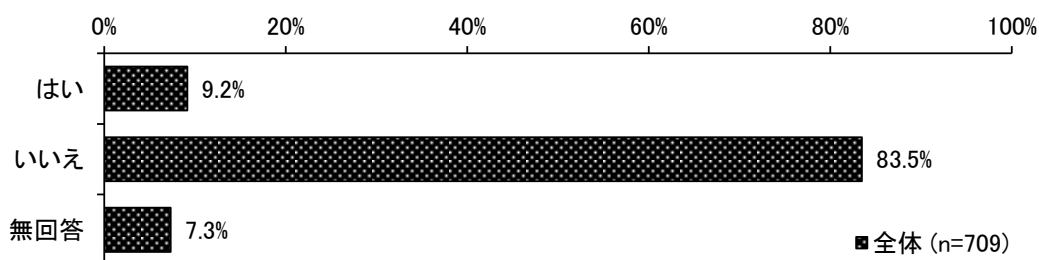


6 えんがわについて

(1) 「えんがわ」の認知度

問2 3 (1) あなたは「えんがわ」を知っていますか。(☑は1つ)

「えんがわ」の認知度については、「はい(知っている)」が9.2%、「いいえ(知らない)」が83.5%となっています。

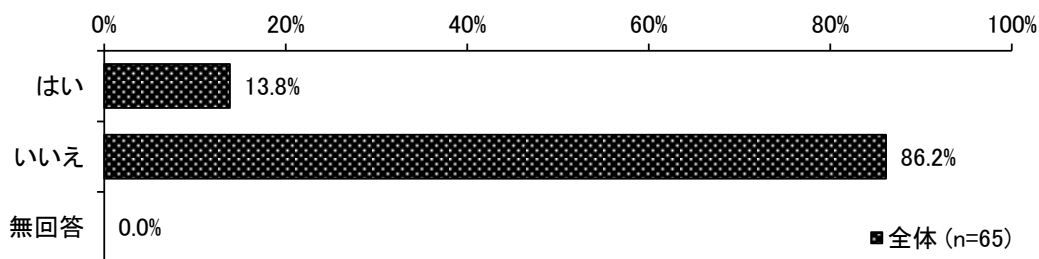


(2) 「えんがわ」への参加の状況

【(1)で「はい」と回答した方へお伺いします。】

問2 3 (2) あなたは「えんがわ」に参加したことがありますか。(☑は1つ)

「えんがわ」への参加の状況については、「はい(参加したことがある)」が13.8%、「いいえ(参加したことがない)」が86.2%となっています。

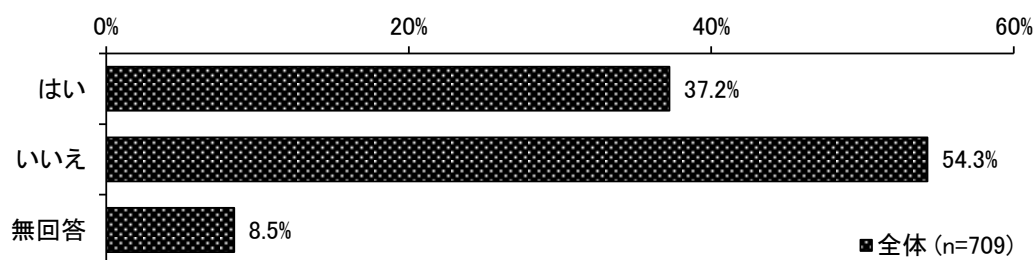


(3) 「えんがわ」への参加意思

【ここからはすべての方へお伺いします。】

問2 3 (3) あなたはご自宅の近くに「えんがわ」が開設している場合、参加しようと思いますか。(☑は1つ)

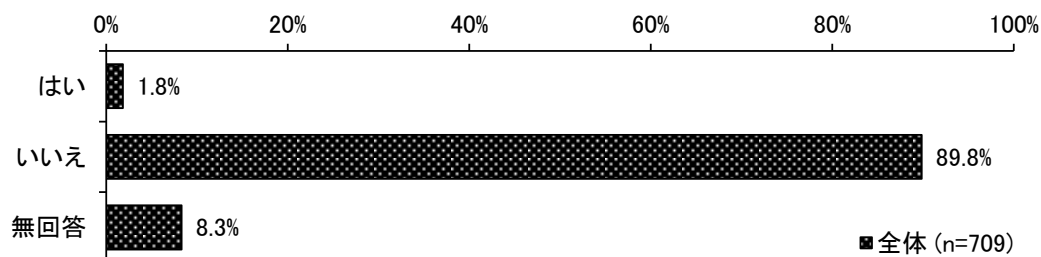
自宅近くに「えんがわ」が開設している場合の参加の意思については、「はい（参加しようと思う）」が 37.2%、「いいえ（参加しようとは思わない）」が 54.3%となっています。



(4) 自身での「えんがわ」開設の意思

問2 3 (4) あなたは、ご自身で「えんがわ」を開設しようと思いますか。(☑は1つ)

自身での「えんがわ」の開設の意思については、「はい（開設しようと思う）」が 1.8%、「いいえ（開設しようとは思わない）」が 89.8%となっています。





Ⅲ 調査結果・まとめ

【1】項目別まとめ

1 基本属性

性別は、「男性」が 41.5%、「女性」が 51.1%となっている。年齢は、「70～74 歳」が 33.1%と最も高く、次いで「75～79 歳」、「65～69 歳」の順となっている。居住地域は、「中央・東部地区」「南部・福田地区」が各 25.1%、「北部・川間地区」が 24.3%、「関宿地域」が 20.6%となっている。

2 あなたのご家族や生活状況について

家族構成については、「夫婦 2 人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 42.2%と最も高く、次いで「夫婦と未婚の子供世帯」、「ひとり暮らし」の順となっており、日中家で一人になる頻度については、「たまにある」が 32.2%、「よくある」が 30.9%となっている。

3 外出・地域での活動について

外出時の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が 61.9%と最も高く、自分で車を運転している割合が 6 割を超えている。次いで「徒歩」が 56.4%、「電車」が 37.2%、「自転車」が 37.1%の順となっている。

生きがいや趣味については、66.6%が「ある」と答えている。

集まりへの参加頻度については、「自治会」の「年に数回」が 21.2%と最も高く、日常の楽しみについては、「テレビを見ること」が 57.5%と最も高く、次いで「家族との交流」が 51.1%、「友人・知人との交流」が 48.5%の順となっている。

市の催事情報の取得については、「市報」が 79.8%と大半を占め、次いで「友人、知人、家族からの紹介」、「公共施設のチラシ」の順となっている。

生活意識や行動については、「選挙はできるだけ欠かさず投票したいと思っている」、「落とし物を拾ったら必ず交番に届ける」、「困っている人がいたら、声を掛けて助ける」、「街の美化や美観の保全是大切だ」、「災害時には市民の助け合いが必要であり、ふだんから準備・訓練しておくべきだ」が高くなっている。

近所との付き合い方については、「会えば挨拶をする」が 9 割以上となっている。

4 シルバーリハビリ体操について

シルバーリハビリ体操の認知度については、74.6%が「いいえ（知らない）」、体験教室への参加については、73.4%が「(参加したことが) ない」と答えており、認知度、参加状況ともに高いとは言えない。

一方で「はい（知っている）」は 22.3%、「(参加したことが) ある」は 26.6%で、頻度としては、「過去に参加したことがある」が 59.5%、「月に 1 回程度」「数か月に 1 回程度」が各 16.7%となっている。

5 のだまめ学校について

のだまめ学校の認知度については、「はい（知っている）」が 12.7%、「いいえ（知らない）」が 81.5%で、参加については、「はい（参加したことがある）」が 36.7%、「いいえ（参加したことがない）」が 62.2%となっている。

参加の頻度は、「過去に参加したことがある」が 81.8%と最も高く、次いで「週に1日程度」「数カ月に1日程度」が各 6.1%、「週に2日以上」「月に1日程度」が各 3.0%の順となっていて、月に1日以上参加している方は合計で 12.1%となっている。

参加していない理由としては、「やりたい活動がないから」が 10.7%と最も高く、次いで「仕事で忙しくて時間がないから」「家の近くで開催していないから」が各 8.9%の順となっている。

参加のきっかけについては、「自分がやりたいと思う活動があった」が 38.4%と最も高く、のだまめ学校の活動の魅力については、「健康や体力に自信をつける」が 46.5%と最も高く、次いで「生活に充実感を得ることができる」が 28.6%、「新しい友人を得ることができる」が 22.8%、「お互いに助け合うことができる」が 20.3%の順となっている。

参加する時の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が 36.1%と最も高く、次いで「徒歩」が 10.7%、「自転車」が 10.3%、「自動車（人に乗せてもらう）」が 3.2%の順となっている。

受講したい内容では、「ストレッチ・リラクゼーション系」が 36.7%と最も高く、次いで「認知症予防」が 35.4%、「健康講話」が 29.3%の順となっている。

また、各条件下での参加希望度では、参加に意欲的な『参加したい』は、「10分未満／徒歩／介護予防や認知症予防／商業施設」「10分以上～30分未満／車／介護予防や認知症予防／医療施設」で参加希望が高くなっている。

6 えんがわについて

えんがわの認知度については、「はい（知っている）」が 9.2%、「いいえ（知らない）」が 83.5%となっており、参加については、「はい（参加したことがある）」が 13.8%、「いいえ（参加したことがない）」が 86.2%となっている。

また、自宅の近くでえんがわが開設された場合の参加意向は、「はい（参加しようと思う）」が 37.2%、「いいえ（参加しようとは思わない）」が 54.3%となっており、さらに自身でえんがわを開設しようと思うかについては、「はい（開設しようと思う）」が 1.8%、「いいえ（開設しようとは思わない）」が 89.8%となっている。

【2】全体まとめ

一般介護予防事業調査からは、家族構成において、配偶者 65 歳以上の夫婦 2 人暮らしが全体の約 4 割強を占め、日中一人になることがよくある方が全体の約 3 割となっており、コミュニケーションの不足や健康状態の見守り不足などの問題が懸念される。

外出時の移動手段においては、自分で車を運転する方が約 6 割と最も高くなっているが、徒歩も 5 割半ばとなっている。

「介護予防 10 年の計」として取り組んでいる「シルバーリハビリ体操」、「のだまめ学校」、「えんがわ」といった市民の自助・互助を中心とした取組については、認知度が低い状態にあるが、「のだまめ学校」への各条件下での参加希望度では、参加に意欲的な『参加したい』は、「10 分未満／徒歩／介護予防や認知症予防／商業施設」「10 分以上～30 分未満／車／介護予防や認知症予防／医療施設」で参加希望が高くなっている。

今回の調査からは、

- ①独居などによる社会的孤立を防ぐための地域との繋がり創出
- ②「介護予防 10 年の計」のより一層の周知
- ③より身近な場所での自助・互助による介護予防活動の展開促進

などの課題が読み取れる。